

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

2.1 可搬型設備等による対応

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																																																																																																																																						
<p>c. 大規模損壊時プラント状態確認チェックシート 大規模損壊時プラント状態確認チェックシート（案）</p> <p>大規模損壊時プラント状態確認チェックシート（1/9）</p> <p>【注意事項】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 初期対応フローにしたがって4～14項の確認を実施した後、5～14項の確認を実施する。 2. 原子力が停止していない場合は停止操作、タービン駆動補助水ポンプの起動が必要で起動していない場合は起動操作を「運転操作所内」にしたがい、優先して実施する。 3. 確認結果は項目ごとに確認全体指揮者へ報告する。 4. 建屋等の損傷状況、周辺防護率及び火災等の状況に十分注意しながらチェックする。 5. チェックシート採取時は、作業非計及び通話可能な通信設備を確保する。 6. プラント状態の確認は、複数名で実施する。 7. 状態の確認について (1) 「はい」：機器状態の確認については、機器に損傷がない場合は動作可能とみなす。 (2) 「いいえ」：機器状態の確認については、機器に損傷が見られる場合は動作不能とする。 (3) 「不明」：建屋等の損傷（火災、浸水等含む）によりチェックできない場合、不明は動作不能とみなす。 (4) 「観音中」：未確認のもの。 8. 「不明」の場合はアクセスルートが確保され確認可能となれば再確認を行う。 <p>1. 初期状態の確認 【ステップ1】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>項目</th> <th>状態</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1-1</td> <td>原子力が停止 (確認日時 / :)</td> <td>はい・いいえ・不明・調査中</td> <td></td> </tr> <tr> <td>1-2</td> <td>タービン駆動補助水ポンプ 運転可能</td> <td>はい・いいえ・不明・調査中</td> <td>プラント監視機表示時は、確認に困難がなければ「はい」とする。</td> </tr> <tr> <td>1-3</td> <td>主蒸気速がし弁動作可能</td> <td>はい・いいえ・不明・調査中</td> <td>緊急時対策室と中央制御室の連絡が可能であれば「はい」とする。</td> </tr> <tr> <td>1-4</td> <td>中央制御室と連絡可能</td> <td>はい・いいえ</td> <td>緊急時対策室は、中央制御室のプラント監視機能が機能していることが確認できれば「はい」とする。</td> </tr> <tr> <td>1-5</td> <td>プラント状態の確認が可能</td> <td>はい・いいえ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>1-6</td> <td>ECCS作動なし</td> <td>はい・いいえ・不明・調査中</td> <td>プラント監視機能喪失時は、「不明」とする。</td> </tr> <tr> <td>1-7</td> <td>水循環の停止</td> <td>はい・いいえ・不明・調査中</td> <td>津波警報又は大津波警報発令時に確認する。</td> </tr> </tbody> </table>	番号	項目	状態	備考	1-1	原子力が停止 (確認日時 / :)	はい・いいえ・不明・調査中		1-2	タービン駆動補助水ポンプ 運転可能	はい・いいえ・不明・調査中	プラント監視機表示時は、確認に困難がなければ「はい」とする。	1-3	主蒸気速がし弁動作可能	はい・いいえ・不明・調査中	緊急時対策室と中央制御室の連絡が可能であれば「はい」とする。	1-4	中央制御室と連絡可能	はい・いいえ	緊急時対策室は、中央制御室のプラント監視機能が機能していることが確認できれば「はい」とする。	1-5	プラント状態の確認が可能	はい・いいえ		1-6	ECCS作動なし	はい・いいえ・不明・調査中	プラント監視機能喪失時は、「不明」とする。	1-7	水循環の停止	はい・いいえ・不明・調査中	津波警報又は大津波警報発令時に確認する。	<p>3. プラント状態確認チェックシートによる確認 第2.1表 プラント状態確認チェックシートによる確認</p> <p>確認表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>確認項目</th> <th>確認日時</th> <th>年</th> <th>月</th> <th>日</th> <th>時</th> <th>分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>【注意事項】</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>1. チェックシートは、建屋外に出るまで、確定、本館内に保管し保管する。</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2. プラント状態の確認（その1）を複数回に実施し未確認項目を恐れがある場合は、その後、プラント状態の確認（その2）を実施する。実施した後の各項目のチェックは、適宜更新する。</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3. 周囲の状況に十分注意しながらチェックし、チェック困難な場合は「不明」とする。（建屋の損傷状況、周辺防護率等）</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>4. 動作可能及び使用可能は耳視、警報等で判断する。</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <ol style="list-style-type: none"> 1. プラント状態の確認(その1)【優先確認事項】 (1) 中央制御室の状況 <table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>項目</th> <th>状態</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>中央制御室との連絡</td> <td>可能・不可</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>中央制御室使用可能</td> <td>可能・不可</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>プラントパラメータ確認</td> <td>可能・不可</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> (2) 使用済燃料プールの状況 <table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>項目</th> <th>状態</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>使用済燃料プールの水位</td> <td>適量水位・水位低下傾向・不明</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>使用済燃料プール上部空間放射線モニタ指示</td> <td>上昇なし・上昇あり・不明</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> (3) 炉心冷却機能及び放射性物質閉じ込め機能 <table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>項目</th> <th>状態</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>原子炉停止確認</td> <td>成功・失敗・不明 (確認日時 / :)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>原子炉の圧力</td> <td>適量中・無圧水・不明</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>燃焼室内空気気体放射線モニタ指示</td> <td>上昇なし・上昇あり・不明</td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>モニタリングポスト指示</td> <td>上昇なし・上昇あり・不明</td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>交流電圧</td> <td>あり・なし</td> <td></td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>交流電流(100% 常設電流)</td> <td>あり・なし</td> <td></td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>アクセスルート</td> <td>閉塞物なし・閉塞物あり</td> <td></td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>アクセスルート2</td> <td>閉塞物なし・閉塞物あり</td> <td></td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>保管エリア1の状況</td> <td>閉塞物なし・閉塞物あり</td> <td></td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>保管エリア2の状況</td> <td>閉塞物なし・閉塞物あり</td> <td></td> </tr> <tr> <td>11</td> <td>保管エリア3の状況</td> <td>閉塞物なし・閉塞物あり</td> <td></td> </tr> <tr> <td>12</td> <td>保管エリア4の状況</td> <td>閉塞物なし・閉塞物あり</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> (4) 大型航空機の衝突または大規模な火災 <table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>項目</th> <th>状態</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>航空機の接近への警戒</td> <td>なし・あり</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>航空機燃料による火災</td> <td>火災なし・火災あり・不明</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>保管エリア1、燃料口及び燃料口までのアクセスルートに影響を与える火災</td> <td>火災なし・火災あり・不明</td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>上記以外による火災</td> <td>火災なし・火災あり・不明</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 プラント状態確認チェックシートは、今後の確認によって変更可能性がある。</p>	確認項目	確認日時	年	月	日	時	分	【注意事項】							1. チェックシートは、建屋外に出るまで、確定、本館内に保管し保管する。							2. プラント状態の確認（その1）を複数回に実施し未確認項目を恐れがある場合は、その後、プラント状態の確認（その2）を実施する。実施した後の各項目のチェックは、適宜更新する。							3. 周囲の状況に十分注意しながらチェックし、チェック困難な場合は「不明」とする。（建屋の損傷状況、周辺防護率等）							4. 動作可能及び使用可能は耳視、警報等で判断する。							番号	項目	状態	備考	1	中央制御室との連絡	可能・不可		2	中央制御室使用可能	可能・不可		3	プラントパラメータ確認	可能・不可		番号	項目	状態	備考	1	使用済燃料プールの水位	適量水位・水位低下傾向・不明		2	使用済燃料プール上部空間放射線モニタ指示	上昇なし・上昇あり・不明		番号	項目	状態	備考	1	原子炉停止確認	成功・失敗・不明 (確認日時 / :)		2	原子炉の圧力	適量中・無圧水・不明		3	燃焼室内空気気体放射線モニタ指示	上昇なし・上昇あり・不明		4	モニタリングポスト指示	上昇なし・上昇あり・不明		5	交流電圧	あり・なし		6	交流電流(100% 常設電流)	あり・なし		7	アクセスルート	閉塞物なし・閉塞物あり		8	アクセスルート2	閉塞物なし・閉塞物あり		9	保管エリア1の状況	閉塞物なし・閉塞物あり		10	保管エリア2の状況	閉塞物なし・閉塞物あり		11	保管エリア3の状況	閉塞物なし・閉塞物あり		12	保管エリア4の状況	閉塞物なし・閉塞物あり		番号	項目	状態	備考	1	航空機の接近への警戒	なし・あり		2	航空機燃料による火災	火災なし・火災あり・不明		3	保管エリア1、燃料口及び燃料口までのアクセスルートに影響を与える火災	火災なし・火災あり・不明		4	上記以外による火災	火災なし・火災あり・不明		<p>3. プラント状態確認チェックシートによる確認 プラント状態確認チェックシート（1 / 9）</p> <p>プラント状態確認チェックシート</p> <p>【注意事項】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. チェックシートには、発電所対策本部長（又は代行者）の指示に基づき確認した情報又は各種が必要に応じて確認した情報を記載する。 2. 確認結果は、発電所対策本部長（代行者）及び休日については、全体指揮者（又は代行者）に報告する。発電所対策本部長（代行者）及び休日については、全体指揮者（又は代行者）に報告された確認結果を必ず、本館内に情報共有する。 3. 本チェックシートの確認者は、建屋の損傷状況、周辺防護率、周囲の状況に十分注意しながらチェックを実施し、チェック困難な場合は「不明」又は「観音中」とし、確認可能なものから実施する。 4. 「不明」：火災や浸水等の影響により状況が確認できないもの、「観音中」：未確認のもの 5. 「不明」の場合には、その時点において使用不能と見なすが、アクセスルートが確保され確認可能となれば再度確認する。 6. 設備の起動可能及び使用可能については、赤色、警報等による判断に加え、サブシステムの状況も含めて判断する。 <p>【ステップ1】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 初期状態の確認 (確認日時: 年 月 日 時 分 (確認者:)) <table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>項目</th> <th>状態</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1-1</td> <td>3号炉中央制御室との連絡可能</td> <td>連絡可能・連絡不可</td> <td></td> </tr> <tr> <td>1-2</td> <td>1・2号炉中央制御室との連絡可能</td> <td>連絡可能・連絡不可</td> <td></td> </tr> <tr> <td>1-3</td> <td>中央制御室でのプラントパラメータ確認</td> <td>可能・不可</td> <td></td> </tr> <tr> <td>1-4</td> <td>緊急時対策室でのプラントパラメータ確認</td> <td>可能・不可</td> <td></td> </tr> <tr> <td>1-5</td> <td>原子炉停止</td> <td>指示確認・停止不可・不明 (確認日時 / :)</td> <td>中央制御室（トリップ表示表示、中性子束指示）で確認できない場合は、現場（トリップ監視装置）にて確認する。</td> </tr> <tr> <td>1-6</td> <td>タービン駆動補助水ポンプ</td> <td>運転可能・不可・不明 (確認日時 / :)</td> <td>中央制御室で確認できない場合は、現場にて確認する。</td> </tr> <tr> <td>1-7</td> <td>主蒸気速がし弁</td> <td>動作可能・不可・不明</td> <td>中央制御室で確認できない場合は、非緊急からの高気圧注水を確認する。</td> </tr> <tr> <td>1-8</td> <td>可搬型大型注水ポンプ車の準備</td> <td>準備中・準備不可・不明</td> <td></td> </tr> <tr> <td>1-9</td> <td>可搬型大型注水ポンプ車の準備</td> <td>準備中・準備不可・不明</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> ※1 確認の前記の「可能」には、運転中・動作中を含む。 ※2 プラント対応又は大規模な火災への対応を目的に行うため、可搬型大型注水ポンプ車の準備を確認する。ただし、原子炉格納容器の外観に明らかな損傷が確認された場合は、可搬型大型注水ポンプ車の準備を直ちに開始する。 2. センタ指示の確認 (確認日時: 年 月 日 時 分 (確認者:)) <table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>項目</th> <th>状態</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2-1</td> <td>モニタリングポスト及びモニタリングディスプレイ</td> <td>指示値正常・あり・なし・不明</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2-2</td> <td>プロセッサモニタ</td> <td>指示値正常・あり・なし・不明</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2-3</td> <td>表示モニタ</td> <td>指示値正常・あり・なし・不明</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> 3. 火災の確認 (確認日時: 年 月 日 時 分 (確認者:)) <table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>項目</th> <th>状態</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3-1</td> <td>航空機燃料等による火災</td> <td>火災あり・火災なし・不明</td> <td><input type="checkbox"/> 3号炉原子炉格納容器 <input type="checkbox"/> 3号炉原子炉建屋 <input type="checkbox"/> 3号炉原子炉格納建屋</td> </tr> <tr> <td>3-2</td> <td>可搬型設備保管場所、燃料口及び燃料口までのアクセスルートに影響を与える火災</td> <td>火災あり・火災なし・不明</td> <td><input type="checkbox"/> 保管場所 <input type="checkbox"/> 燃料口出現 <input type="checkbox"/> アクセスルート</td> </tr> <tr> <td>3-3</td> <td>上記以外による火災</td> <td>火災あり・火災なし・不明</td> <td><input type="checkbox"/> 発生場所 <input type="checkbox"/> 発生場所</td> </tr> </tbody> </table> 	番号	項目	状態	備考	1-1	3号炉中央制御室との連絡可能	連絡可能・連絡不可		1-2	1・2号炉中央制御室との連絡可能	連絡可能・連絡不可		1-3	中央制御室でのプラントパラメータ確認	可能・不可		1-4	緊急時対策室でのプラントパラメータ確認	可能・不可		1-5	原子炉停止	指示確認・停止不可・不明 (確認日時 / :)	中央制御室（トリップ表示表示、中性子束指示）で確認できない場合は、現場（トリップ監視装置）にて確認する。	1-6	タービン駆動補助水ポンプ	運転可能・不可・不明 (確認日時 / :)	中央制御室で確認できない場合は、現場にて確認する。	1-7	主蒸気速がし弁	動作可能・不可・不明	中央制御室で確認できない場合は、非緊急からの高気圧注水を確認する。	1-8	可搬型大型注水ポンプ車の準備	準備中・準備不可・不明		1-9	可搬型大型注水ポンプ車の準備	準備中・準備不可・不明		番号	項目	状態	備考	2-1	モニタリングポスト及びモニタリングディスプレイ	指示値正常・あり・なし・不明		2-2	プロセッサモニタ	指示値正常・あり・なし・不明		2-3	表示モニタ	指示値正常・あり・なし・不明		番号	項目	状態	備考	3-1	航空機燃料等による火災	火災あり・火災なし・不明	<input type="checkbox"/> 3号炉原子炉格納容器 <input type="checkbox"/> 3号炉原子炉建屋 <input type="checkbox"/> 3号炉原子炉格納建屋	3-2	可搬型設備保管場所、燃料口及び燃料口までのアクセスルートに影響を与える火災	火災あり・火災なし・不明	<input type="checkbox"/> 保管場所 <input type="checkbox"/> 燃料口出現 <input type="checkbox"/> アクセスルート	3-3	上記以外による火災	火災あり・火災なし・不明	<input type="checkbox"/> 発生場所 <input type="checkbox"/> 発生場所	<p>【大飯】【女川】 設備及び運用の相違に伴うプラント状態確認項目等の相違</p>
番号	項目	状態	備考																																																																																																																																																																																																																																																						
1-1	原子力が停止 (確認日時 / :)	はい・いいえ・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																							
1-2	タービン駆動補助水ポンプ 運転可能	はい・いいえ・不明・調査中	プラント監視機表示時は、確認に困難がなければ「はい」とする。																																																																																																																																																																																																																																																						
1-3	主蒸気速がし弁動作可能	はい・いいえ・不明・調査中	緊急時対策室と中央制御室の連絡が可能であれば「はい」とする。																																																																																																																																																																																																																																																						
1-4	中央制御室と連絡可能	はい・いいえ	緊急時対策室は、中央制御室のプラント監視機能が機能していることが確認できれば「はい」とする。																																																																																																																																																																																																																																																						
1-5	プラント状態の確認が可能	はい・いいえ																																																																																																																																																																																																																																																							
1-6	ECCS作動なし	はい・いいえ・不明・調査中	プラント監視機能喪失時は、「不明」とする。																																																																																																																																																																																																																																																						
1-7	水循環の停止	はい・いいえ・不明・調査中	津波警報又は大津波警報発令時に確認する。																																																																																																																																																																																																																																																						
確認項目	確認日時	年	月	日	時	分																																																																																																																																																																																																																																																			
【注意事項】																																																																																																																																																																																																																																																									
1. チェックシートは、建屋外に出るまで、確定、本館内に保管し保管する。																																																																																																																																																																																																																																																									
2. プラント状態の確認（その1）を複数回に実施し未確認項目を恐れがある場合は、その後、プラント状態の確認（その2）を実施する。実施した後の各項目のチェックは、適宜更新する。																																																																																																																																																																																																																																																									
3. 周囲の状況に十分注意しながらチェックし、チェック困難な場合は「不明」とする。（建屋の損傷状況、周辺防護率等）																																																																																																																																																																																																																																																									
4. 動作可能及び使用可能は耳視、警報等で判断する。																																																																																																																																																																																																																																																									
番号	項目	状態	備考																																																																																																																																																																																																																																																						
1	中央制御室との連絡	可能・不可																																																																																																																																																																																																																																																							
2	中央制御室使用可能	可能・不可																																																																																																																																																																																																																																																							
3	プラントパラメータ確認	可能・不可																																																																																																																																																																																																																																																							
番号	項目	状態	備考																																																																																																																																																																																																																																																						
1	使用済燃料プールの水位	適量水位・水位低下傾向・不明																																																																																																																																																																																																																																																							
2	使用済燃料プール上部空間放射線モニタ指示	上昇なし・上昇あり・不明																																																																																																																																																																																																																																																							
番号	項目	状態	備考																																																																																																																																																																																																																																																						
1	原子炉停止確認	成功・失敗・不明 (確認日時 / :)																																																																																																																																																																																																																																																							
2	原子炉の圧力	適量中・無圧水・不明																																																																																																																																																																																																																																																							
3	燃焼室内空気気体放射線モニタ指示	上昇なし・上昇あり・不明																																																																																																																																																																																																																																																							
4	モニタリングポスト指示	上昇なし・上昇あり・不明																																																																																																																																																																																																																																																							
5	交流電圧	あり・なし																																																																																																																																																																																																																																																							
6	交流電流(100% 常設電流)	あり・なし																																																																																																																																																																																																																																																							
7	アクセスルート	閉塞物なし・閉塞物あり																																																																																																																																																																																																																																																							
8	アクセスルート2	閉塞物なし・閉塞物あり																																																																																																																																																																																																																																																							
9	保管エリア1の状況	閉塞物なし・閉塞物あり																																																																																																																																																																																																																																																							
10	保管エリア2の状況	閉塞物なし・閉塞物あり																																																																																																																																																																																																																																																							
11	保管エリア3の状況	閉塞物なし・閉塞物あり																																																																																																																																																																																																																																																							
12	保管エリア4の状況	閉塞物なし・閉塞物あり																																																																																																																																																																																																																																																							
番号	項目	状態	備考																																																																																																																																																																																																																																																						
1	航空機の接近への警戒	なし・あり																																																																																																																																																																																																																																																							
2	航空機燃料による火災	火災なし・火災あり・不明																																																																																																																																																																																																																																																							
3	保管エリア1、燃料口及び燃料口までのアクセスルートに影響を与える火災	火災なし・火災あり・不明																																																																																																																																																																																																																																																							
4	上記以外による火災	火災なし・火災あり・不明																																																																																																																																																																																																																																																							
番号	項目	状態	備考																																																																																																																																																																																																																																																						
1-1	3号炉中央制御室との連絡可能	連絡可能・連絡不可																																																																																																																																																																																																																																																							
1-2	1・2号炉中央制御室との連絡可能	連絡可能・連絡不可																																																																																																																																																																																																																																																							
1-3	中央制御室でのプラントパラメータ確認	可能・不可																																																																																																																																																																																																																																																							
1-4	緊急時対策室でのプラントパラメータ確認	可能・不可																																																																																																																																																																																																																																																							
1-5	原子炉停止	指示確認・停止不可・不明 (確認日時 / :)	中央制御室（トリップ表示表示、中性子束指示）で確認できない場合は、現場（トリップ監視装置）にて確認する。																																																																																																																																																																																																																																																						
1-6	タービン駆動補助水ポンプ	運転可能・不可・不明 (確認日時 / :)	中央制御室で確認できない場合は、現場にて確認する。																																																																																																																																																																																																																																																						
1-7	主蒸気速がし弁	動作可能・不可・不明	中央制御室で確認できない場合は、非緊急からの高気圧注水を確認する。																																																																																																																																																																																																																																																						
1-8	可搬型大型注水ポンプ車の準備	準備中・準備不可・不明																																																																																																																																																																																																																																																							
1-9	可搬型大型注水ポンプ車の準備	準備中・準備不可・不明																																																																																																																																																																																																																																																							
番号	項目	状態	備考																																																																																																																																																																																																																																																						
2-1	モニタリングポスト及びモニタリングディスプレイ	指示値正常・あり・なし・不明																																																																																																																																																																																																																																																							
2-2	プロセッサモニタ	指示値正常・あり・なし・不明																																																																																																																																																																																																																																																							
2-3	表示モニタ	指示値正常・あり・なし・不明																																																																																																																																																																																																																																																							
番号	項目	状態	備考																																																																																																																																																																																																																																																						
3-1	航空機燃料等による火災	火災あり・火災なし・不明	<input type="checkbox"/> 3号炉原子炉格納容器 <input type="checkbox"/> 3号炉原子炉建屋 <input type="checkbox"/> 3号炉原子炉格納建屋																																																																																																																																																																																																																																																						
3-2	可搬型設備保管場所、燃料口及び燃料口までのアクセスルートに影響を与える火災	火災あり・火災なし・不明	<input type="checkbox"/> 保管場所 <input type="checkbox"/> 燃料口出現 <input type="checkbox"/> アクセスルート																																																																																																																																																																																																																																																						
3-3	上記以外による火災	火災あり・火災なし・不明	<input type="checkbox"/> 発生場所 <input type="checkbox"/> 発生場所																																																																																																																																																																																																																																																						

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

2.1 可搬型設備等による対応

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
<p>大規模稼働時プラント状態確認チェックシート（2/9）</p> <p>2. 放水砲及び大容量ポンプ（放水砲用）の確認 【ステップ1】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>確認者</th> <th>確認日時</th> <th>平成</th> <th>年</th> <th>月</th> <th>日</th> <th>時</th> <th>分</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2-1</td> <td>放水砲及び大容量ポンプ（放水砲用）準備可能</td> <td>はい</td> <td>いいえ</td> <td>不明</td> <td>調査中</td> <td></td> <td></td> <td>外観に損傷がなく稼働できる状況であれば「はい」とする。</td> </tr> </tbody> </table> <p>3. モニタ指示確認</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>確認者</th> <th>確認日時</th> <th>平成</th> <th>年</th> <th>月</th> <th>日</th> <th>時</th> <th>分</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3-1</td> <td>モニタリングステーション及びモニタリングポスト 指示上昇</td> <td>はい</td> <td>いいえ</td> <td>不明</td> <td>調査中</td> <td></td> <td></td> <td>プラント機能喪失時は、1、2号炉中央制御室にて確認する。確認できない場合は、可搬式モニタリングポスト等にて確認する。</td> </tr> <tr> <td>3-2</td> <td>プロセスモニタ 指示上昇</td> <td>はい</td> <td>いいえ</td> <td>不明</td> <td>調査中</td> <td></td> <td></td> <td>プラント機能喪失時は、制御室にて確認する。</td> </tr> <tr> <td>3-3</td> <td>エリアモニタ 指示上昇</td> <td>はい</td> <td>いいえ</td> <td>不明</td> <td>調査中</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>4. 火災の確認</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>確認者</th> <th>確認日時</th> <th>平成</th> <th>年</th> <th>月</th> <th>日</th> <th>時</th> <th>分</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4-1</td> <td>航空機衝突による火災が発生していない</td> <td>はい</td> <td>いいえ</td> <td>不明</td> <td>調査中</td> <td></td> <td></td> <td>監視カメラ又は現場目視により確認する。</td> </tr> <tr> <td>4-2</td> <td>上記以外による火災が発生していない</td> <td>はい</td> <td>いいえ</td> <td>不明</td> <td>調査中</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>5. 対応可能な要員の確認 【ステップ2】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>確認者</th> <th>確認日時</th> <th>平成</th> <th>年</th> <th>月</th> <th>日</th> <th>時</th> <th>分</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>5-1</td> <td>緊急時対策本部要員</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>6名*</td> </tr> <tr> <td>5-2</td> <td>対応可能な運転員数</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>運転員* 1、2号炉：10名 3、4号炉：12名</td> </tr> <tr> <td>5-3</td> <td>対応可能な緊急安全対策要員数</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>29名*</td> </tr> <tr> <td>5-4</td> <td>対応可能な緊急安全対策要員数（消火活動要員）</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>7名*</td> </tr> <tr> <td>5-4</td> <td>化学消防自動車 使用可能</td> <td>はい</td> <td>いいえ</td> <td>不明</td> <td>調査中</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>5-4</td> <td>小型動力ポンプ付水槽車 使用可能</td> <td>はい</td> <td>いいえ</td> <td>不明</td> <td>調査中</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>5-4</td> <td>消防大形消防送車 使用可能</td> <td>はい</td> <td>いいえ</td> <td>不明</td> <td>調査中</td> <td></td> <td></td> <td>外観に損傷がなく移動できる状況であれば「はい」とする。</td> </tr> <tr> <td>5-4</td> <td>消防救急送車 使用可能</td> <td>はい</td> <td>いいえ</td> <td>不明</td> <td>調査中</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>5-4</td> <td>中型放水車 使用可能</td> <td>はい</td> <td>いいえ</td> <td>不明</td> <td>調査中</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>5-4</td> <td>送水車（消防用） 使用可能</td> <td>はい</td> <td>いいえ</td> <td>不明</td> <td>調査中</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>* 休日・夜間の対応要員数。（停止時の要員数は異なる。）</p>	確認者	確認日時	平成	年	月	日	時	分	備考	2-1	放水砲及び大容量ポンプ（放水砲用）準備可能	はい	いいえ	不明	調査中			外観に損傷がなく稼働できる状況であれば「はい」とする。	確認者	確認日時	平成	年	月	日	時	分	備考	3-1	モニタリングステーション及びモニタリングポスト 指示上昇	はい	いいえ	不明	調査中			プラント機能喪失時は、1、2号炉中央制御室にて確認する。確認できない場合は、可搬式モニタリングポスト等にて確認する。	3-2	プロセスモニタ 指示上昇	はい	いいえ	不明	調査中			プラント機能喪失時は、制御室にて確認する。	3-3	エリアモニタ 指示上昇	はい	いいえ	不明	調査中				確認者	確認日時	平成	年	月	日	時	分	備考	4-1	航空機衝突による火災が発生していない	はい	いいえ	不明	調査中			監視カメラ又は現場目視により確認する。	4-2	上記以外による火災が発生していない	はい	いいえ	不明	調査中				確認者	確認日時	平成	年	月	日	時	分	備考	5-1	緊急時対策本部要員							6名*	5-2	対応可能な運転員数							運転員* 1、2号炉：10名 3、4号炉：12名	5-3	対応可能な緊急安全対策要員数							29名*	5-4	対応可能な緊急安全対策要員数（消火活動要員）							7名*	5-4	化学消防自動車 使用可能	はい	いいえ	不明	調査中				5-4	小型動力ポンプ付水槽車 使用可能	はい	いいえ	不明	調査中				5-4	消防大形消防送車 使用可能	はい	いいえ	不明	調査中			外観に損傷がなく移動できる状況であれば「はい」とする。	5-4	消防救急送車 使用可能	はい	いいえ	不明	調査中				5-4	中型放水車 使用可能	はい	いいえ	不明	調査中				5-4	送水車（消防用） 使用可能	はい	いいえ	不明	調査中				<p>2. プラント状態の確認(その2)</p> <p>(1) プラントパラメータ確認</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>確認者</th> <th>確認日時</th> <th>平成</th> <th>年</th> <th>月</th> <th>日</th> <th>時</th> <th>分</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2-1</td> <td>原子炉排水</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>不明</td> </tr> <tr> <td>2-2</td> <td>原子炉圧力</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>不明</td> </tr> <tr> <td>2-3</td> <td>原子炉格納容器圧力</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>不明</td> </tr> <tr> <td>2-4</td> <td>プロセスモニタ指示</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>上昇なし・上昇あり・不明</td> </tr> <tr> <td>2-5</td> <td>エリアモニタ指示</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>上昇なし・上昇あり・不明</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 対応可能な要員の確認</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>確認者</th> <th>確認日時</th> <th>平成</th> <th>年</th> <th>月</th> <th>日</th> <th>時</th> <th>分</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2-1</td> <td>原子力防災管理者(6)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>6名</td> </tr> <tr> <td>2-2</td> <td>原子炉主任技術者(4)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>4名</td> </tr> <tr> <td>2-3</td> <td>副班長(1)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1名</td> </tr> <tr> <td>2-4</td> <td>2号炉運転員(7)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>7名</td> </tr> <tr> <td>2-5</td> <td>上記1～4以外の重み事故等対策要員(22)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>22名</td> </tr> <tr> <td>2-6</td> <td>1号及び3号炉運転員(8)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>8名</td> </tr> <tr> <td>2-7</td> <td>泊発電所大要員(消防隊員) (6)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>6名</td> </tr> </tbody> </table> <p>* 「内」は夜間及び休日（平日の勤務時間外以外）において必要な要員として発電所内に確保している人員</p> <p>(3) 通信関係の確認</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>確認者</th> <th>確認日時</th> <th>平成</th> <th>年</th> <th>月</th> <th>日</th> <th>時</th> <th>分</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3-1</td> <td>受電設備（バーゼン）</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>使用可能・使用不可・不明</td> </tr> <tr> <td>3-2</td> <td>電力保安通信用電話設備</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>使用可能・使用不可・不明</td> </tr> <tr> <td>3-3</td> <td>衛星電話設備（固定型）</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>使用可能・使用不可・不明</td> </tr> <tr> <td>3-4</td> <td>衛星電話設備（携帯型）</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>使用可能・使用不可・不明</td> </tr> <tr> <td>3-5</td> <td>無線連絡設備（固定型）</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>使用可能・使用不可・不明</td> </tr> <tr> <td>3-6</td> <td>無線連絡設備（携帯型）</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>使用可能・使用不可・不明</td> </tr> <tr> <td>3-7</td> <td>安全パラメータ表示システム（9000）</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>使用可能・使用不可・不明</td> </tr> <tr> <td>3-8</td> <td>加入電話機</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>使用可能・使用不可・不明</td> </tr> <tr> <td>3-9</td> <td>加入FAX</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>使用可能・使用不可・不明</td> </tr> <tr> <td>3-10</td> <td>テレビ会議システム</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>使用可能・使用不可・不明</td> </tr> <tr> <td>3-11</td> <td>専用電話設備（地方公共団体用ネットワーク）</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>使用可能・使用不可・不明</td> </tr> <tr> <td>3-12</td> <td>IP電話</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>使用可能・使用不可・不明</td> </tr> <tr> <td>3-13</td> <td>IP-FAX</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>使用可能・使用不可・不明</td> </tr> </tbody> </table> <p>注：プラント状態確認チェックシートは、今後の調練によって見直し可能性がある</p>	確認者	確認日時	平成	年	月	日	時	分	備考	2-1	原子炉排水							不明	2-2	原子炉圧力							不明	2-3	原子炉格納容器圧力							不明	2-4	プロセスモニタ指示							上昇なし・上昇あり・不明	2-5	エリアモニタ指示							上昇なし・上昇あり・不明	確認者	確認日時	平成	年	月	日	時	分	備考	2-1	原子力防災管理者(6)							6名	2-2	原子炉主任技術者(4)							4名	2-3	副班長(1)							1名	2-4	2号炉運転員(7)							7名	2-5	上記1～4以外の重み事故等対策要員(22)							22名	2-6	1号及び3号炉運転員(8)							8名	2-7	泊発電所大要員(消防隊員) (6)							6名	確認者	確認日時	平成	年	月	日	時	分	備考	3-1	受電設備（バーゼン）							使用可能・使用不可・不明	3-2	電力保安通信用電話設備							使用可能・使用不可・不明	3-3	衛星電話設備（固定型）							使用可能・使用不可・不明	3-4	衛星電話設備（携帯型）							使用可能・使用不可・不明	3-5	無線連絡設備（固定型）							使用可能・使用不可・不明	3-6	無線連絡設備（携帯型）							使用可能・使用不可・不明	3-7	安全パラメータ表示システム（9000）							使用可能・使用不可・不明	3-8	加入電話機							使用可能・使用不可・不明	3-9	加入FAX							使用可能・使用不可・不明	3-10	テレビ会議システム							使用可能・使用不可・不明	3-11	専用電話設備（地方公共団体用ネットワーク）							使用可能・使用不可・不明	3-12	IP電話							使用可能・使用不可・不明	3-13	IP-FAX							使用可能・使用不可・不明	<p>大規模稼働時プラント状態確認チェックシート（2/9）</p> <p>4. 要員の確認 (確認日時： 年 月 日 時 分) (確認者：)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>項目</th> <th>要員数(名)</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4-1</td> <td>原子力防災管理者【0】</td> <td>6</td> <td>名</td> </tr> <tr> <td>4-2</td> <td>原子炉主任技術者【0】</td> <td>4</td> <td>名</td> </tr> <tr> <td>4-3</td> <td>副班長【1】</td> <td>1</td> <td>名</td> </tr> <tr> <td>4-4</td> <td>上記以外の災害対策本部要員【2】</td> <td>22</td> <td>名</td> </tr> <tr> <td>4-5</td> <td>2号炉運転員【6】</td> <td>7</td> <td>名</td> </tr> <tr> <td>4-6</td> <td>災害対策要員【1】</td> <td>1</td> <td>名</td> </tr> <tr> <td>4-7</td> <td>災害対策要員（支援）【0】</td> <td>0</td> <td>名</td> </tr> <tr> <td>4-8</td> <td>消防要員【0】</td> <td>0</td> <td>名</td> </tr> <tr> <td>4-9</td> <td>1、2号炉運転員【0】</td> <td>0</td> <td>名</td> </tr> </tbody> </table> <p>注：「内」は夜間及び休日（平日の勤務時間外以外）において必要な要員として発電所内に確保している人員</p> <p>5. 通信連絡設備の確認 (確認日時： 年 月 日 時 分) (確認者：)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>項目</th> <th>使用可能</th> <th>状態</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>5-1</td> <td>受電設備</td> <td>使用可能</td> <td>可能・不可・不明・調査中</td> <td></td> </tr> <tr> <td>5-2</td> <td>電力保安通信用電話設備</td> <td>保安電話（固定）</td> <td>使用可能</td> <td>可能・不可・不明・調査中</td> </tr> <tr> <td>5-3</td> <td>衛星電話設備</td> <td>保安電話（携帯）</td> <td>使用可能</td> <td>可能・不可・不明・調査中</td> </tr> <tr> <td>5-4</td> <td>衛星保安電話</td> <td>衛星保安電話</td> <td>使用可能</td> <td>可能・不可・不明・調査中</td> </tr> <tr> <td>5-5</td> <td>無線連絡設備</td> <td>無線連絡設備</td> <td>使用可能</td> <td>可能・不可・不明・調査中</td> </tr> <tr> <td>5-6</td> <td>無線連絡設備</td> <td>無線連絡設備</td> <td>使用可能</td> <td>可能・不可・不明・調査中</td> </tr> <tr> <td>5-7</td> <td>安全パラメータ表示システム</td> <td>固定電話</td> <td>使用可能</td> <td>可能・不可・不明・調査中</td> </tr> <tr> <td>5-8</td> <td>加入電話機</td> <td>FAX</td> <td>使用可能</td> <td>可能・不可・不明・調査中</td> </tr> <tr> <td>5-9</td> <td>加入電話機</td> <td>使用可能</td> <td>可能・不可・不明・調査中</td> <td></td> </tr> <tr> <td>5-10</td> <td>テレビ会議システム</td> <td>使用可能</td> <td>可能・不可・不明・調査中</td> <td></td> </tr> <tr> <td>5-11</td> <td>専用電話設備</td> <td>固定電話</td> <td>使用可能</td> <td>可能・不可・不明・調査中</td> </tr> <tr> <td>5-12</td> <td>専用電話設備</td> <td>FAX</td> <td>使用可能</td> <td>可能・不可・不明・調査中</td> </tr> <tr> <td>5-13</td> <td>IP電話</td> <td>使用可能</td> <td>可能・不可・不明・調査中</td> <td></td> </tr> <tr> <td>5-14</td> <td>専用電話設備</td> <td>固定電話</td> <td>使用可能</td> <td>可能・不可・不明・調査中</td> </tr> <tr> <td>5-15</td> <td>専用電話設備</td> <td>FAX</td> <td>使用可能</td> <td>可能・不可・不明・調査中</td> </tr> <tr> <td>5-16</td> <td>IP電話</td> <td>IP電話システム</td> <td>使用可能</td> <td>可能・不可・不明・調査中</td> </tr> <tr> <td>5-17</td> <td>IP-FAX</td> <td>IP-FAX</td> <td>使用可能</td> <td>可能・不可・不明・調査中</td> </tr> <tr> <td>5-18</td> <td>IP-FAX</td> <td>IP-FAX</td> <td>使用可能</td> <td>可能・不可・不明・調査中</td> </tr> <tr> <td>5-19</td> <td>IP-FAX</td> <td>IP-FAX</td> <td>使用可能</td> <td>可能・不可・不明・調査中</td> </tr> <tr> <td>5-20</td> <td>IP-FAX</td> <td>IP-FAX</td> <td>使用可能</td> <td>可能・不可・不明・調査中</td> </tr> </tbody> </table> <p>注：特急内付、泊付、岩内町、共和町、宇治山田センター、葛城センター、島根直</p>	番号	項目	要員数(名)	備考	4-1	原子力防災管理者【0】	6	名	4-2	原子炉主任技術者【0】	4	名	4-3	副班長【1】	1	名	4-4	上記以外の災害対策本部要員【2】	22	名	4-5	2号炉運転員【6】	7	名	4-6	災害対策要員【1】	1	名	4-7	災害対策要員（支援）【0】	0	名	4-8	消防要員【0】	0	名	4-9	1、2号炉運転員【0】	0	名	番号	項目	使用可能	状態	備考	5-1	受電設備	使用可能	可能・不可・不明・調査中		5-2	電力保安通信用電話設備	保安電話（固定）	使用可能	可能・不可・不明・調査中	5-3	衛星電話設備	保安電話（携帯）	使用可能	可能・不可・不明・調査中	5-4	衛星保安電話	衛星保安電話	使用可能	可能・不可・不明・調査中	5-5	無線連絡設備	無線連絡設備	使用可能	可能・不可・不明・調査中	5-6	無線連絡設備	無線連絡設備	使用可能	可能・不可・不明・調査中	5-7	安全パラメータ表示システム	固定電話	使用可能	可能・不可・不明・調査中	5-8	加入電話機	FAX	使用可能	可能・不可・不明・調査中	5-9	加入電話機	使用可能	可能・不可・不明・調査中		5-10	テレビ会議システム	使用可能	可能・不可・不明・調査中		5-11	専用電話設備	固定電話	使用可能	可能・不可・不明・調査中	5-12	専用電話設備	FAX	使用可能	可能・不可・不明・調査中	5-13	IP電話	使用可能	可能・不可・不明・調査中		5-14	専用電話設備	固定電話	使用可能	可能・不可・不明・調査中	5-15	専用電話設備	FAX	使用可能	可能・不可・不明・調査中	5-16	IP電話	IP電話システム	使用可能	可能・不可・不明・調査中	5-17	IP-FAX	IP-FAX	使用可能	可能・不可・不明・調査中	5-18	IP-FAX	IP-FAX	使用可能	可能・不可・不明・調査中	5-19	IP-FAX	IP-FAX	使用可能	可能・不可・不明・調査中	5-20	IP-FAX	IP-FAX	使用可能	可能・不可・不明・調査中	<p>【大飯】 【女川】</p> <p>設備及び運用の相違に伴うプラント状態確認項目等の相違</p>
確認者	確認日時	平成	年	月	日	時	分	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
2-1	放水砲及び大容量ポンプ（放水砲用）準備可能	はい	いいえ	不明	調査中			外観に損傷がなく稼働できる状況であれば「はい」とする。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
確認者	確認日時	平成	年	月	日	時	分	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
3-1	モニタリングステーション及びモニタリングポスト 指示上昇	はい	いいえ	不明	調査中			プラント機能喪失時は、1、2号炉中央制御室にて確認する。確認できない場合は、可搬式モニタリングポスト等にて確認する。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
3-2	プロセスモニタ 指示上昇	はい	いいえ	不明	調査中			プラント機能喪失時は、制御室にて確認する。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
3-3	エリアモニタ 指示上昇	はい	いいえ	不明	調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
確認者	確認日時	平成	年	月	日	時	分	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
4-1	航空機衝突による火災が発生していない	はい	いいえ	不明	調査中			監視カメラ又は現場目視により確認する。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
4-2	上記以外による火災が発生していない	はい	いいえ	不明	調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
確認者	確認日時	平成	年	月	日	時	分	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
5-1	緊急時対策本部要員							6名*																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
5-2	対応可能な運転員数							運転員* 1、2号炉：10名 3、4号炉：12名																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
5-3	対応可能な緊急安全対策要員数							29名*																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
5-4	対応可能な緊急安全対策要員数（消火活動要員）							7名*																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
5-4	化学消防自動車 使用可能	はい	いいえ	不明	調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
5-4	小型動力ポンプ付水槽車 使用可能	はい	いいえ	不明	調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
5-4	消防大形消防送車 使用可能	はい	いいえ	不明	調査中			外観に損傷がなく移動できる状況であれば「はい」とする。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
5-4	消防救急送車 使用可能	はい	いいえ	不明	調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
5-4	中型放水車 使用可能	はい	いいえ	不明	調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
5-4	送水車（消防用） 使用可能	はい	いいえ	不明	調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
確認者	確認日時	平成	年	月	日	時	分	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
2-1	原子炉排水							不明																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
2-2	原子炉圧力							不明																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
2-3	原子炉格納容器圧力							不明																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
2-4	プロセスモニタ指示							上昇なし・上昇あり・不明																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
2-5	エリアモニタ指示							上昇なし・上昇あり・不明																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
確認者	確認日時	平成	年	月	日	時	分	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
2-1	原子力防災管理者(6)							6名																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
2-2	原子炉主任技術者(4)							4名																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
2-3	副班長(1)							1名																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
2-4	2号炉運転員(7)							7名																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
2-5	上記1～4以外の重み事故等対策要員(22)							22名																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
2-6	1号及び3号炉運転員(8)							8名																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
2-7	泊発電所大要員(消防隊員) (6)							6名																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
確認者	確認日時	平成	年	月	日	時	分	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
3-1	受電設備（バーゼン）							使用可能・使用不可・不明																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
3-2	電力保安通信用電話設備							使用可能・使用不可・不明																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
3-3	衛星電話設備（固定型）							使用可能・使用不可・不明																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
3-4	衛星電話設備（携帯型）							使用可能・使用不可・不明																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
3-5	無線連絡設備（固定型）							使用可能・使用不可・不明																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
3-6	無線連絡設備（携帯型）							使用可能・使用不可・不明																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
3-7	安全パラメータ表示システム（9000）							使用可能・使用不可・不明																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
3-8	加入電話機							使用可能・使用不可・不明																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
3-9	加入FAX							使用可能・使用不可・不明																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
3-10	テレビ会議システム							使用可能・使用不可・不明																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
3-11	専用電話設備（地方公共団体用ネットワーク）							使用可能・使用不可・不明																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
3-12	IP電話							使用可能・使用不可・不明																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
3-13	IP-FAX							使用可能・使用不可・不明																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
番号	項目	要員数(名)	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
4-1	原子力防災管理者【0】	6	名																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
4-2	原子炉主任技術者【0】	4	名																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
4-3	副班長【1】	1	名																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
4-4	上記以外の災害対策本部要員【2】	22	名																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
4-5	2号炉運転員【6】	7	名																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
4-6	災害対策要員【1】	1	名																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
4-7	災害対策要員（支援）【0】	0	名																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
4-8	消防要員【0】	0	名																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
4-9	1、2号炉運転員【0】	0	名																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
番号	項目	使用可能	状態	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
5-1	受電設備	使用可能	可能・不可・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
5-2	電力保安通信用電話設備	保安電話（固定）	使用可能	可能・不可・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
5-3	衛星電話設備	保安電話（携帯）	使用可能	可能・不可・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
5-4	衛星保安電話	衛星保安電話	使用可能	可能・不可・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
5-5	無線連絡設備	無線連絡設備	使用可能	可能・不可・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
5-6	無線連絡設備	無線連絡設備	使用可能	可能・不可・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
5-7	安全パラメータ表示システム	固定電話	使用可能	可能・不可・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
5-8	加入電話機	FAX	使用可能	可能・不可・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
5-9	加入電話機	使用可能	可能・不可・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
5-10	テレビ会議システム	使用可能	可能・不可・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
5-11	専用電話設備	固定電話	使用可能	可能・不可・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
5-12	専用電話設備	FAX	使用可能	可能・不可・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
5-13	IP電話	使用可能	可能・不可・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
5-14	専用電話設備	固定電話	使用可能	可能・不可・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
5-15	専用電話設備	FAX	使用可能	可能・不可・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
5-16	IP電話	IP電話システム	使用可能	可能・不可・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
5-17	IP-FAX	IP-FAX	使用可能	可能・不可・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
5-18	IP-FAX	IP-FAX	使用可能	可能・不可・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
5-19	IP-FAX	IP-FAX	使用可能	可能・不可・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
5-20	IP-FAX	IP-FAX	使用可能	可能・不可・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
<p>大規模稼働時プラント状態確認チェックシート（3/9）</p> <p>6. 通信連絡設備の確認 【ステップ2】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>確認者</th> <th>確認日時</th> <th>平成</th> <th>年</th> <th>月</th> <th>日</th> <th>時</th> <th>分</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>6-1</td> <td>避難指令設備</td> <td>使用可能</td> <td>はい</td> <td>いいえ</td> <td>不明</td> <td>調査中</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>6-2</td> <td>保安電話（固定）</td> <td>使用可能</td> <td>はい</td> <td>いいえ</td> <td>不明</td> <td>調査中</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>6-3</td> <td>保安電話（携帯）</td> <td>使用可能</td> <td>はい</td> <td>いいえ</td> <td>不明</td> <td>調査中</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>6-4</td> <td>衛星保安電話</td> <td>使用可能</td> <td>はい</td> <td>いいえ</td> <td>不明</td> <td>調査中</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>6-5</td> <td>衛星電話（固定）</td> <td>使用可能</td> <td>はい</td> <td>いいえ</td> <td>不明</td> <td>調査中</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>6-6</td> <td>社内TV会議システム</td> <td>使用可能</td> <td>はい</td> <td>いいえ</td> <td>不明</td> <td>調査中</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>6-7</td> <td>衛星電話（可搬）</td> <td>使用可能</td> <td>はい</td> <td>いいえ</td> <td>不明</td> <td>調査中</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>6-8</td> <td>インターフォン</td> <td>使用可能</td> <td>はい</td> <td>いいえ</td> <td>不明</td> <td>調査中</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>6-9</td> <td>緊急時衛星通信システム</td> <td>使用可能</td> <td>はい</td> <td>いいえ</td> <td>不明</td> <td>調査中</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>6-10</td> <td>加入電話</td> <td>使用可能</td> <td>はい</td> <td>いいえ</td> <td>不明</td> <td>調査中</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>6-11</td> <td>加入ファクシミリ</td> <td>使用可能</td> <td>はい</td> <td>いいえ</td> <td>不明</td> <td>調査中</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>6-12</td> <td>無線連絡設備</td> <td>使用可能</td> <td>はい</td> <td>いいえ</td> <td>不明</td> <td>調査中</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>6-13</td> <td>統合原子力防災ネットワークに接続する通信連絡設備</td> <td>使用可能</td> <td>はい</td> <td>いいえ</td> <td>不明</td> <td>調査中</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>6-14</td> <td>S P D S（安全パラメータ表示システム）表示装置</td> <td>使用可能</td> <td>はい</td> <td>いいえ</td> <td>不明</td> <td>調査中</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>6-15</td> <td>携行型通信装置</td> <td>使用可能</td> <td>はい</td> <td>いいえ</td> <td>不明</td> <td>調査中</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>6-16</td> <td>衛星電話（携帯）</td> <td>使用可能</td> <td>はい</td> <td>いいえ</td> <td>不明</td> <td>調査中</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 緊急時対策所の通信連絡設備を確認する。通信状態の確認は発信音ありの場合又は実際に使用することができる場合は「はい」とする。</p>	確認者	確認日時	平成	年	月	日	時	分	備考	6-1	避難指令設備	使用可能	はい	いいえ	不明	調査中			6-2	保安電話（固定）	使用可能	はい	いいえ	不明	調査中			6-3	保安電話（携帯）	使用可能	はい	いいえ	不明	調査中			6-4	衛星保安電話	使用可能	はい	いいえ	不明	調査中			6-5	衛星電話（固定）	使用可能	はい	いいえ	不明	調査中			6-6	社内TV会議システム	使用可能	はい	いいえ	不明	調査中			6-7	衛星電話（可搬）	使用可能	はい	いいえ	不明	調査中			6-8	インターフォン	使用可能	はい	いいえ	不明	調査中			6-9	緊急時衛星通信システム	使用可能	はい	いいえ	不明	調査中			6-10	加入電話	使用可能	はい	いいえ	不明	調査中			6-11	加入ファクシミリ	使用可能	はい	いいえ	不明	調査中			6-12	無線連絡設備	使用可能	はい	いいえ	不明	調査中			6-13	統合原子力防災ネットワークに接続する通信連絡設備	使用可能	はい	いいえ	不明	調査中			6-14	S P D S（安全パラメータ表示システム）表示装置	使用可能	はい	いいえ	不明	調査中			6-15	携行型通信装置	使用可能	はい	いいえ	不明	調査中			6-16	衛星電話（携帯）	使用可能	はい	いいえ	不明	調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
確認者	確認日時	平成	年	月	日	時	分	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
6-1	避難指令設備	使用可能	はい	いいえ	不明	調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
6-2	保安電話（固定）	使用可能	はい	いいえ	不明	調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
6-3	保安電話（携帯）	使用可能	はい	いいえ	不明	調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
6-4	衛星保安電話	使用可能	はい	いいえ	不明	調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
6-5	衛星電話（固定）	使用可能	はい	いいえ	不明	調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
6-6	社内TV会議システム	使用可能	はい	いいえ	不明	調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
6-7	衛星電話（可搬）	使用可能	はい	いいえ	不明	調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
6-8	インターフォン	使用可能	はい	いいえ	不明	調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
6-9	緊急時衛星通信システム	使用可能	はい	いいえ	不明	調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
6-10	加入電話	使用可能	はい	いいえ	不明	調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
6-11	加入ファクシミリ	使用可能	はい	いいえ	不明	調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
6-12	無線連絡設備	使用可能	はい	いいえ	不明	調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
6-13	統合原子力防災ネットワークに接続する通信連絡設備	使用可能	はい	いいえ	不明	調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
6-14	S P D S（安全パラメータ表示システム）表示装置	使用可能	はい	いいえ	不明	調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
6-15	携行型通信装置	使用可能	はい	いいえ	不明	調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
6-16	衛星電話（携帯）	使用可能	はい	いいえ	不明	調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

2.1 可搬型設備等による対応

大飯発電所3 / 4号炉				女川原子力発電所2号炉				泊発電所3号炉				相違理由																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
<p>大規模損壊プラント状態確認チェックシート (4/9)</p> <p>7. 電源系統の確認 【ステップ3】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>確認者</th> <th>確認日時</th> <th>平成</th> <th>年</th> <th>月</th> <th>日</th> <th>時</th> <th>分</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>番号</td> <td>項目</td> <td>状態</td> <td colspan="5"></td> <td>備考</td> </tr> <tr> <td>7-1</td> <td>外部電源 受電可能</td> <td>はい・いいえ・不明</td> <td colspan="5">調査中</td> <td></td> </tr> <tr> <td>7-2</td> <td>ディーゼル発電機 運転可能</td> <td>はい・いいえ・不明</td> <td colspan="5">調査中</td> <td></td> </tr> <tr> <td>7-3</td> <td>空冷式非常用発電装置 運転可能</td> <td>はい・いいえ・不明</td> <td colspan="5">調査中</td> <td></td> </tr> <tr> <td>7-4</td> <td>非常用高圧母線 受電可能</td> <td>はい・いいえ・不明</td> <td colspan="5">調査中</td> <td></td> </tr> <tr> <td>7-5</td> <td>非常用高圧母線 受電可能</td> <td>はい・いいえ・不明</td> <td colspan="5">調査中</td> <td></td> </tr> <tr> <td>7-6</td> <td>ディーゼル発電機 (他号炉) 運転可能</td> <td>はい・いいえ・不明</td> <td colspan="5">調査中</td> <td></td> </tr> <tr> <td>7-7</td> <td>蓄電池 (安全防衛系用) 動作可能</td> <td>はい・いいえ・不明</td> <td colspan="5">調査中</td> <td></td> </tr> <tr> <td>7-8</td> <td>号機間電力融通ケーブル (3号~4号) 使用可能</td> <td>はい・いいえ・不明</td> <td colspan="5">調査中</td> <td></td> </tr> <tr> <td>7-9</td> <td>号機間電力融通ケーブル (3号~4号) 使用可能</td> <td>はい・いいえ・不明</td> <td colspan="5">調査中</td> <td></td> </tr> <tr> <td>7-10</td> <td>号機間電力融通ケーブル (1, 2号~3, 4号) 使用可能</td> <td>はい・いいえ・不明</td> <td colspan="5">調査中</td> <td></td> </tr> <tr> <td>7-11</td> <td>代替用内蔵装置 受電可能</td> <td>はい・いいえ・不明</td> <td colspan="5">調査中</td> <td></td> </tr> <tr> <td>7-12</td> <td>電源車 運転可能</td> <td>はい・いいえ・不明</td> <td colspan="5">調査中</td> <td></td> </tr> <tr> <td>7-13</td> <td>No.1予備変圧器2次側ケーブル 使用可能</td> <td>はい・いいえ・不明</td> <td colspan="5">調査中</td> <td></td> </tr> <tr> <td>7-14</td> <td>No.2予備変圧器2次側ケーブル 使用可能</td> <td>はい・いいえ・不明</td> <td colspan="5">調査中</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				確認者	確認日時	平成	年	月	日	時	分	備考	番号	項目	状態						備考	7-1	外部電源 受電可能	はい・いいえ・不明	調査中						7-2	ディーゼル発電機 運転可能	はい・いいえ・不明	調査中						7-3	空冷式非常用発電装置 運転可能	はい・いいえ・不明	調査中						7-4	非常用高圧母線 受電可能	はい・いいえ・不明	調査中						7-5	非常用高圧母線 受電可能	はい・いいえ・不明	調査中						7-6	ディーゼル発電機 (他号炉) 運転可能	はい・いいえ・不明	調査中						7-7	蓄電池 (安全防衛系用) 動作可能	はい・いいえ・不明	調査中						7-8	号機間電力融通ケーブル (3号~4号) 使用可能	はい・いいえ・不明	調査中						7-9	号機間電力融通ケーブル (3号~4号) 使用可能	はい・いいえ・不明	調査中						7-10	号機間電力融通ケーブル (1, 2号~3, 4号) 使用可能	はい・いいえ・不明	調査中						7-11	代替用内蔵装置 受電可能	はい・いいえ・不明	調査中						7-12	電源車 運転可能	はい・いいえ・不明	調査中						7-13	No.1予備変圧器2次側ケーブル 使用可能	はい・いいえ・不明	調査中						7-14	No.2予備変圧器2次側ケーブル 使用可能	はい・いいえ・不明	調査中						<p>(4) 建屋等へのアクセス性の確認</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>確認日時</th> <th>平成</th> <th>年</th> <th>月</th> <th>日</th> <th>時</th> <th>分</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>番号</td> <td>項目</td> <td>状態</td> <td colspan="4"></td> <td>備考</td> </tr> <tr> <td>1</td> <td>原子炉建屋へのアクセス</td> <td>可能・不可・不明</td> <td colspan="4"></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>制御建屋へのアクセス</td> <td>可能・不可・不明</td> <td colspan="4"></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>中央制御室へのアクセス</td> <td>可能・不可・不明</td> <td colspan="4"></td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>備忘室(ボンプエリア)へのアクセス</td> <td>可能・不可・不明</td> <td colspan="4"></td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>取水口へのアクセス</td> <td>可能・不可・不明</td> <td colspan="4"></td> <td></td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>可搬型設備接続口(原子炉建屋 東側) (原本約機タンク接続口含む)</td> <td>使用可能・使用不可・不明</td> <td colspan="4"></td> <td></td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>可搬型設備接続口(原子炉建屋 東側)</td> <td>使用可能・使用不可・不明</td> <td colspan="4"></td> <td></td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>可搬型設備接続口(原子炉建屋 東側)</td> <td>使用可能・使用不可・不明</td> <td colspan="4"></td> <td></td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>可搬型設備接続口(制御建屋 建屋内)</td> <td>使用可能・使用不可・不明</td> <td colspan="4"></td> <td></td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>可搬型設備接続口(制御建屋 南側)</td> <td>使用可能・使用不可・不明</td> <td colspan="4"></td> <td></td> </tr> <tr> <td>11</td> <td>可搬型設備接続口(原子炉建屋 建屋内)</td> <td>使用可能・使用不可・不明</td> <td colspan="4"></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				確認日時	平成	年	月	日	時	分	備考	番号	項目	状態					備考	1	原子炉建屋へのアクセス	可能・不可・不明						2	制御建屋へのアクセス	可能・不可・不明						3	中央制御室へのアクセス	可能・不可・不明						4	備忘室(ボンプエリア)へのアクセス	可能・不可・不明						5	取水口へのアクセス	可能・不可・不明						6	可搬型設備接続口(原子炉建屋 東側) (原本約機タンク接続口含む)	使用可能・使用不可・不明						7	可搬型設備接続口(原子炉建屋 東側)	使用可能・使用不可・不明						8	可搬型設備接続口(原子炉建屋 東側)	使用可能・使用不可・不明						9	可搬型設備接続口(制御建屋 建屋内)	使用可能・使用不可・不明						10	可搬型設備接続口(制御建屋 南側)	使用可能・使用不可・不明						11	可搬型設備接続口(原子炉建屋 建屋内)	使用可能・使用不可・不明						<p>プラント状態確認チェックシート (3/9)</p> <p>【ステップ3】</p> <p>6. 建屋等へのアクセス性の確認 (確認日時) 年 月 日 時 分 (確認者) 上</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>項目</th> <th>状態</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>6-1</td> <td>原子炉建屋</td> <td>アクセス可能</td> <td>可能・不可・不明・調査中</td> </tr> <tr> <td>6-2</td> <td>原子炉建屋</td> <td>アクセス可能</td> <td>可能・不可・不明・調査中</td> </tr> <tr> <td>6-3</td> <td>タービン発電機建屋</td> <td>アクセス可能</td> <td>可能・不可・不明・調査中</td> </tr> <tr> <td>6-4</td> <td>電気制御室</td> <td>アクセス可能</td> <td>可能・不可・不明・調査中</td> </tr> <tr> <td>6-5</td> <td>タービン建屋</td> <td>アクセス可能</td> <td>可能・不可・不明・調査中</td> </tr> <tr> <td>6-6</td> <td>備忘室(ボンプ建屋)</td> <td>アクセス可能</td> <td>可能・不可・不明・調査中</td> </tr> <tr> <td>6-7</td> <td>可搬型大型ボンプ接続口(西)</td> <td>使用可能</td> <td>可能・不可・不明・調査中</td> </tr> <tr> <td>6-8</td> <td>可搬型大型ボンプ接続口(東)</td> <td>使用可能</td> <td>可能・不可・不明・調査中</td> </tr> <tr> <td>6-9</td> <td>可搬型大型ボンプ接続口(西)</td> <td>使用可能</td> <td>可能・不可・不明・調査中</td> </tr> <tr> <td>6-10</td> <td>可搬型大型ボンプ接続口(東)</td> <td>使用可能</td> <td>可能・不可・不明・調査中</td> </tr> </tbody> </table> <p>7. 緊急損壊状態の確認 (確認日時) 年 月 日 時 分 (確認者) 上</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>項目</th> <th>状態</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>7-1</td> <td>原子炉建屋</td> <td>損傷</td> <td>あり・なし・不明・調査中</td> </tr> <tr> <td>7-2</td> <td>原子炉建屋</td> <td>損傷</td> <td>あり・なし・不明・調査中</td> </tr> <tr> <td>7-3</td> <td>原子炉建屋</td> <td>損傷</td> <td>あり・なし・不明・調査中</td> </tr> <tr> <td>7-4</td> <td>タービン発電機建屋</td> <td>損傷</td> <td>あり・なし・不明・調査中</td> </tr> <tr> <td>7-5</td> <td>電気制御室</td> <td>損傷</td> <td>あり・なし・不明・調査中</td> </tr> <tr> <td>7-6</td> <td>タービン建屋</td> <td>損傷</td> <td>あり・なし・不明・調査中</td> </tr> <tr> <td>7-7</td> <td>備忘室(ボンプ建屋)</td> <td>損傷</td> <td>あり・なし・不明・調査中</td> </tr> </tbody> </table> <p>8. 建屋等の内部確認 (確認日時) 年 月 日 時 分 (確認者) 上</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>項目</th> <th>状態</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>8-1</td> <td>使用済燃料ピット</td> <td>アクセス可能</td> <td>可能・不可・不明・調査中</td> </tr> <tr> <td>8-2</td> <td>使用済燃料ピット</td> <td>損傷</td> <td>あり・なし・不明・調査中</td> </tr> <tr> <td>8-3</td> <td>中央制御室へのアクセス</td> <td>アクセス可能</td> <td>可能・不可・不明・調査中</td> </tr> <tr> <td>8-4</td> <td>主蒸気配管室へのアクセス</td> <td>アクセス可能</td> <td>可能・不可・不明・調査中</td> </tr> <tr> <td>8-5</td> <td>安全補綴器室へのアクセス</td> <td>アクセス可能</td> <td>可能・不可・不明・調査中</td> </tr> <tr> <td>8-6</td> <td>安全補綴器室へのアクセス</td> <td>アクセス可能</td> <td>可能・不可・不明・調査中</td> </tr> <tr> <td>8-7</td> <td>燃料貯蔵施設(燃料貯蔵室)へのアクセス</td> <td>アクセス可能</td> <td>可能・不可・不明・調査中</td> </tr> <tr> <td>8-8</td> <td>燃料貯蔵施設(燃料貯蔵室)へのアクセス</td> <td>アクセス可能</td> <td>可能・不可・不明・調査中</td> </tr> <tr> <td>8-9</td> <td>可搬型大型ボンプ接続口(西)</td> <td>使用可能</td> <td>可能・不可・不明・調査中</td> </tr> <tr> <td>8-10</td> <td>可搬型大型ボンプ接続口(東)</td> <td>使用可能</td> <td>可能・不可・不明・調査中</td> </tr> <tr> <td>8-11</td> <td>可搬型大型ボンプ接続口(西)</td> <td>使用可能</td> <td>可能・不可・不明・調査中</td> </tr> <tr> <td>8-12</td> <td>可搬型大型ボンプ接続口(東)</td> <td>使用可能</td> <td>可能・不可・不明・調査中</td> </tr> </tbody> </table>				番号	項目	状態	備考	6-1	原子炉建屋	アクセス可能	可能・不可・不明・調査中	6-2	原子炉建屋	アクセス可能	可能・不可・不明・調査中	6-3	タービン発電機建屋	アクセス可能	可能・不可・不明・調査中	6-4	電気制御室	アクセス可能	可能・不可・不明・調査中	6-5	タービン建屋	アクセス可能	可能・不可・不明・調査中	6-6	備忘室(ボンプ建屋)	アクセス可能	可能・不可・不明・調査中	6-7	可搬型大型ボンプ接続口(西)	使用可能	可能・不可・不明・調査中	6-8	可搬型大型ボンプ接続口(東)	使用可能	可能・不可・不明・調査中	6-9	可搬型大型ボンプ接続口(西)	使用可能	可能・不可・不明・調査中	6-10	可搬型大型ボンプ接続口(東)	使用可能	可能・不可・不明・調査中	番号	項目	状態	備考	7-1	原子炉建屋	損傷	あり・なし・不明・調査中	7-2	原子炉建屋	損傷	あり・なし・不明・調査中	7-3	原子炉建屋	損傷	あり・なし・不明・調査中	7-4	タービン発電機建屋	損傷	あり・なし・不明・調査中	7-5	電気制御室	損傷	あり・なし・不明・調査中	7-6	タービン建屋	損傷	あり・なし・不明・調査中	7-7	備忘室(ボンプ建屋)	損傷	あり・なし・不明・調査中	番号	項目	状態	備考	8-1	使用済燃料ピット	アクセス可能	可能・不可・不明・調査中	8-2	使用済燃料ピット	損傷	あり・なし・不明・調査中	8-3	中央制御室へのアクセス	アクセス可能	可能・不可・不明・調査中	8-4	主蒸気配管室へのアクセス	アクセス可能	可能・不可・不明・調査中	8-5	安全補綴器室へのアクセス	アクセス可能	可能・不可・不明・調査中	8-6	安全補綴器室へのアクセス	アクセス可能	可能・不可・不明・調査中	8-7	燃料貯蔵施設(燃料貯蔵室)へのアクセス	アクセス可能	可能・不可・不明・調査中	8-8	燃料貯蔵施設(燃料貯蔵室)へのアクセス	アクセス可能	可能・不可・不明・調査中	8-9	可搬型大型ボンプ接続口(西)	使用可能	可能・不可・不明・調査中	8-10	可搬型大型ボンプ接続口(東)	使用可能	可能・不可・不明・調査中	8-11	可搬型大型ボンプ接続口(西)	使用可能	可能・不可・不明・調査中	8-12	可搬型大型ボンプ接続口(東)	使用可能	可能・不可・不明・調査中	<p>【大飯】【女川】 設備及び運用の相違に伴うプラント状態確認項目等の相違</p>
確認者	確認日時	平成	年	月	日	時	分	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
番号	項目	状態						備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
7-1	外部電源 受電可能	はい・いいえ・不明	調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
7-2	ディーゼル発電機 運転可能	はい・いいえ・不明	調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
7-3	空冷式非常用発電装置 運転可能	はい・いいえ・不明	調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
7-4	非常用高圧母線 受電可能	はい・いいえ・不明	調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
7-5	非常用高圧母線 受電可能	はい・いいえ・不明	調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
7-6	ディーゼル発電機 (他号炉) 運転可能	はい・いいえ・不明	調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
7-7	蓄電池 (安全防衛系用) 動作可能	はい・いいえ・不明	調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
7-8	号機間電力融通ケーブル (3号~4号) 使用可能	はい・いいえ・不明	調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
7-9	号機間電力融通ケーブル (3号~4号) 使用可能	はい・いいえ・不明	調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
7-10	号機間電力融通ケーブル (1, 2号~3, 4号) 使用可能	はい・いいえ・不明	調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
7-11	代替用内蔵装置 受電可能	はい・いいえ・不明	調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
7-12	電源車 運転可能	はい・いいえ・不明	調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
7-13	No.1予備変圧器2次側ケーブル 使用可能	はい・いいえ・不明	調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
7-14	No.2予備変圧器2次側ケーブル 使用可能	はい・いいえ・不明	調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
確認日時	平成	年	月	日	時	分	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
番号	項目	状態					備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
1	原子炉建屋へのアクセス	可能・不可・不明																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
2	制御建屋へのアクセス	可能・不可・不明																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
3	中央制御室へのアクセス	可能・不可・不明																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
4	備忘室(ボンプエリア)へのアクセス	可能・不可・不明																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
5	取水口へのアクセス	可能・不可・不明																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
6	可搬型設備接続口(原子炉建屋 東側) (原本約機タンク接続口含む)	使用可能・使用不可・不明																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
7	可搬型設備接続口(原子炉建屋 東側)	使用可能・使用不可・不明																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
8	可搬型設備接続口(原子炉建屋 東側)	使用可能・使用不可・不明																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
9	可搬型設備接続口(制御建屋 建屋内)	使用可能・使用不可・不明																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
10	可搬型設備接続口(制御建屋 南側)	使用可能・使用不可・不明																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
11	可搬型設備接続口(原子炉建屋 建屋内)	使用可能・使用不可・不明																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
番号	項目	状態	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
6-1	原子炉建屋	アクセス可能	可能・不可・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
6-2	原子炉建屋	アクセス可能	可能・不可・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
6-3	タービン発電機建屋	アクセス可能	可能・不可・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
6-4	電気制御室	アクセス可能	可能・不可・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
6-5	タービン建屋	アクセス可能	可能・不可・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
6-6	備忘室(ボンプ建屋)	アクセス可能	可能・不可・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
6-7	可搬型大型ボンプ接続口(西)	使用可能	可能・不可・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
6-8	可搬型大型ボンプ接続口(東)	使用可能	可能・不可・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
6-9	可搬型大型ボンプ接続口(西)	使用可能	可能・不可・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
6-10	可搬型大型ボンプ接続口(東)	使用可能	可能・不可・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
番号	項目	状態	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
7-1	原子炉建屋	損傷	あり・なし・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
7-2	原子炉建屋	損傷	あり・なし・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
7-3	原子炉建屋	損傷	あり・なし・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
7-4	タービン発電機建屋	損傷	あり・なし・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
7-5	電気制御室	損傷	あり・なし・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
7-6	タービン建屋	損傷	あり・なし・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
7-7	備忘室(ボンプ建屋)	損傷	あり・なし・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
番号	項目	状態	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
8-1	使用済燃料ピット	アクセス可能	可能・不可・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
8-2	使用済燃料ピット	損傷	あり・なし・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
8-3	中央制御室へのアクセス	アクセス可能	可能・不可・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
8-4	主蒸気配管室へのアクセス	アクセス可能	可能・不可・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
8-5	安全補綴器室へのアクセス	アクセス可能	可能・不可・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
8-6	安全補綴器室へのアクセス	アクセス可能	可能・不可・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
8-7	燃料貯蔵施設(燃料貯蔵室)へのアクセス	アクセス可能	可能・不可・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
8-8	燃料貯蔵施設(燃料貯蔵室)へのアクセス	アクセス可能	可能・不可・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
8-9	可搬型大型ボンプ接続口(西)	使用可能	可能・不可・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
8-10	可搬型大型ボンプ接続口(東)	使用可能	可能・不可・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
8-11	可搬型大型ボンプ接続口(西)	使用可能	可能・不可・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
8-12	可搬型大型ボンプ接続口(東)	使用可能	可能・不可・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
<p>8. 建屋等へのアクセス性の確認*</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>確認者</th> <th>確認日時</th> <th>平成</th> <th>年</th> <th>月</th> <th>日</th> <th>時</th> <th>分</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>番号</td> <td>項目</td> <td>状態</td> <td colspan="5"></td> <td>備考</td> </tr> <tr> <td>8-1</td> <td>原子炉格納容器</td> <td>アクセス可能</td> <td>はい・いいえ・不明</td> <td colspan="5">調査中</td> <td></td> </tr> <tr> <td>8-2</td> <td>制御建屋</td> <td>アクセス可能</td> <td>はい・いいえ・不明</td> <td colspan="5">調査中</td> <td></td> </tr> <tr> <td>8-3</td> <td>廃棄物処理建屋</td> <td>アクセス可能</td> <td>はい・いいえ・不明</td> <td colspan="5">調査中</td> <td></td> </tr> <tr> <td>8-4</td> <td>原子炉周辺の建屋(管理区域)</td> <td>アクセス可能</td> <td>はい・いいえ・不明</td> <td colspan="5">調査中</td> <td>外観を監視カメラ又は現場目視により確認する。</td> </tr> <tr> <td>8-5</td> <td>原子炉周辺の建屋(非管理区域)</td> <td>アクセス可能</td> <td>はい・いいえ・不明</td> <td colspan="5">調査中</td> <td></td> </tr> <tr> <td>8-6</td> <td>原子炉周辺の建屋(非管理区域)</td> <td>アクセス可能</td> <td>はい・いいえ・不明</td> <td colspan="5">調査中</td> <td></td> </tr> <tr> <td>8-7</td> <td>タービン建屋</td> <td>アクセス可能</td> <td>はい・いいえ・不明</td> <td colspan="5">調査中</td> <td></td> </tr> <tr> <td>8-8</td> <td>永久構台</td> <td>アクセス可能</td> <td>はい・いいえ・不明</td> <td colspan="5">調査中</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>* 建屋の損壊状態を含め、事故対応への支障の有無の観点から確認すること。</p>				確認者	確認日時	平成	年	月	日	時	分	備考	番号	項目	状態						備考	8-1	原子炉格納容器	アクセス可能	はい・いいえ・不明	調査中						8-2	制御建屋	アクセス可能	はい・いいえ・不明	調査中						8-3	廃棄物処理建屋	アクセス可能	はい・いいえ・不明	調査中						8-4	原子炉周辺の建屋(管理区域)	アクセス可能	はい・いいえ・不明	調査中					外観を監視カメラ又は現場目視により確認する。	8-5	原子炉周辺の建屋(非管理区域)	アクセス可能	はい・いいえ・不明	調査中						8-6	原子炉周辺の建屋(非管理区域)	アクセス可能	はい・いいえ・不明	調査中						8-7	タービン建屋	アクセス可能	はい・いいえ・不明	調査中						8-8	永久構台	アクセス可能	はい・いいえ・不明	調査中						<p>(5) 緊急損壊状態確認</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>確認日時</th> <th>平成</th> <th>年</th> <th>月</th> <th>日</th> <th>時</th> <th>分</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>番号</td> <td>項目</td> <td>状態</td> <td colspan="4"></td> <td>備考</td> </tr> <tr> <td>1</td> <td>原子炉建屋損傷</td> <td>損傷なし・損傷あり・不明</td> <td colspan="4"></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>タービン建屋損傷</td> <td>損傷なし・損傷あり・不明</td> <td colspan="4"></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>制御建屋損傷</td> <td>損傷なし・損傷あり・不明</td> <td colspan="4"></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				確認日時	平成	年	月	日	時	分	備考	番号	項目	状態					備考	1	原子炉建屋損傷	損傷なし・損傷あり・不明						2	タービン建屋損傷	損傷なし・損傷あり・不明						3	制御建屋損傷	損傷なし・損傷あり・不明						<p>プラント状態確認チェックシート (4/9)</p> <p>【ステップ3】</p> <p>9. 電源系統の確認 (確認日時) 年 月 日 時 分 (確認者) 上</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>項目</th> <th>状態</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>9-1</td> <td>外部電源</td> <td>使用可能</td> <td>可能・不可・不明・調査中</td> </tr> <tr> <td>9-2</td> <td>A-ブローゼル発電機</td> <td>運転可能</td> <td>可能・不可・不明・調査中</td> </tr> <tr> <td>9-3</td> <td>B-ブローゼル発電機</td> <td>運転可能</td> <td>可能・不可・不明・調査中</td> </tr> <tr> <td>9-4</td> <td>代替非常用発電機</td> <td>運転可能</td> <td>可能・不可・不明・調査中</td> </tr> <tr> <td>9-5</td> <td>タービン</td> <td>使用可能</td> <td>可能・不可・不明・調査中</td> </tr> <tr> <td>9-6</td> <td>タービン</td> <td>使用可能</td> <td>可能・不可・不明・調査中</td> </tr> <tr> <td>9-7</td> <td>1A~1B-ブローゼル発電機</td> <td>運転可能</td> <td>可能・不可・不明・調査中</td> </tr> <tr> <td>9-8</td> <td>2A~2B-ブローゼル発電機</td> <td>運転可能</td> <td>可能・不可・不明・調査中</td> </tr> <tr> <td>9-9</td> <td>代替非常用発電機</td> <td>使用可能</td> <td>可能・不可・不明・調査中</td> </tr> <tr> <td>9-10</td> <td>号機間接続ケーブル</td> <td>使用可能</td> <td>可能・不可・不明・調査中</td> </tr> <tr> <td>9-11</td> <td>予備ケーブル</td> <td>使用可能</td> <td>可能・不可・不明・調査中</td> </tr> <tr> <td>9-12</td> <td>代替用内蔵装置</td> <td>使用可能</td> <td>可能・不可・不明・調査中</td> </tr> <tr> <td>9-13</td> <td>A-非常用電源</td> <td>使用可能</td> <td>可能・不可・不明・調査中</td> </tr> <tr> <td>9-14</td> <td>B-非常用電源</td> <td>使用可能</td> <td>可能・不可・不明・調査中</td> </tr> <tr> <td>9-15</td> <td>A-非常用電源 (非常用)</td> <td>使用可能</td> <td>可能・不可・不明・調査中</td> </tr> <tr> <td>9-16</td> <td>B-非常用電源 (非常用)</td> <td>使用可能</td> <td>可能・不可・不明・調査中</td> </tr> <tr> <td>9-17</td> <td>蓄電池</td> <td>使用可能</td> <td>可能・不可・不明・調査中</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 現周目による水位低下又は漏れ検査からの漏水がなければ「はい」とする。 ※2 該当箇所へのアクセスが可能で接続箇所が破損がなく接続が可能であれば「はい」とする。</p>				番号	項目	状態	備考	9-1	外部電源	使用可能	可能・不可・不明・調査中	9-2	A-ブローゼル発電機	運転可能	可能・不可・不明・調査中	9-3	B-ブローゼル発電機	運転可能	可能・不可・不明・調査中	9-4	代替非常用発電機	運転可能	可能・不可・不明・調査中	9-5	タービン	使用可能	可能・不可・不明・調査中	9-6	タービン	使用可能	可能・不可・不明・調査中	9-7	1A~1B-ブローゼル発電機	運転可能	可能・不可・不明・調査中	9-8	2A~2B-ブローゼル発電機	運転可能	可能・不可・不明・調査中	9-9	代替非常用発電機	使用可能	可能・不可・不明・調査中	9-10	号機間接続ケーブル	使用可能	可能・不可・不明・調査中	9-11	予備ケーブル	使用可能	可能・不可・不明・調査中	9-12	代替用内蔵装置	使用可能	可能・不可・不明・調査中	9-13	A-非常用電源	使用可能	可能・不可・不明・調査中	9-14	B-非常用電源	使用可能	可能・不可・不明・調査中	9-15	A-非常用電源 (非常用)	使用可能	可能・不可・不明・調査中	9-16	B-非常用電源 (非常用)	使用可能	可能・不可・不明・調査中	9-17	蓄電池	使用可能	可能・不可・不明・調査中																																																																																																																																																																							
確認者	確認日時	平成	年	月	日	時	分	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
番号	項目	状態						備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
8-1	原子炉格納容器	アクセス可能	はい・いいえ・不明	調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
8-2	制御建屋	アクセス可能	はい・いいえ・不明	調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
8-3	廃棄物処理建屋	アクセス可能	はい・いいえ・不明	調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
8-4	原子炉周辺の建屋(管理区域)	アクセス可能	はい・いいえ・不明	調査中					外観を監視カメラ又は現場目視により確認する。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
8-5	原子炉周辺の建屋(非管理区域)	アクセス可能	はい・いいえ・不明	調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
8-6	原子炉周辺の建屋(非管理区域)	アクセス可能	はい・いいえ・不明	調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
8-7	タービン建屋	アクセス可能	はい・いいえ・不明	調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
8-8	永久構台	アクセス可能	はい・いいえ・不明	調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
確認日時	平成	年	月	日	時	分	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
番号	項目	状態					備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
1	原子炉建屋損傷	損傷なし・損傷あり・不明																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
2	タービン建屋損傷	損傷なし・損傷あり・不明																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
3	制御建屋損傷	損傷なし・損傷あり・不明																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
番号	項目	状態	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
9-1	外部電源	使用可能	可能・不可・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
9-2	A-ブローゼル発電機	運転可能	可能・不可・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
9-3	B-ブローゼル発電機	運転可能	可能・不可・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
9-4	代替非常用発電機	運転可能	可能・不可・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
9-5	タービン	使用可能	可能・不可・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
9-6	タービン	使用可能	可能・不可・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
9-7	1A~1B-ブローゼル発電機	運転可能	可能・不可・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
9-8	2A~2B-ブローゼル発電機	運転可能	可能・不可・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
9-9	代替非常用発電機	使用可能	可能・不可・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
9-10	号機間接続ケーブル	使用可能	可能・不可・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
9-11	予備ケーブル	使用可能	可能・不可・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
9-12	代替用内蔵装置	使用可能	可能・不可・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
9-13	A-非常用電源	使用可能	可能・不可・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
9-14	B-非常用電源	使用可能	可能・不可・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
9-15	A-非常用電源 (非常用)	使用可能	可能・不可・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
9-16	B-非常用電源 (非常用)	使用可能	可能・不可・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
9-17	蓄電池	使用可能	可能・不可・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
<p>大規模損壊プラント状態確認チェックシート (6/9)</p> <p>9. 建屋等の健全性確認 【ステップ3】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>確認者</th> <th>確認日時</th> <th>平成</th> <th>年</th> <th>月</th> <th>日</th> <th>時</th> <th>分</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>番号</td> <td>項目</td> <td>状態</td> <td colspan="5"></td> <td>備考</td> </tr> <tr> <td>9-1</td> <td>原子炉格納容器</td> <td>損傷なし</td> <td>はい・いいえ・不明</td> <td colspan="5">調査中</td> <td></td> </tr> <tr> <td>9-2</td> <td>制御建屋</td> <td>損傷なし</td> <td>はい・いいえ・不明</td> <td colspan="5">調査中</td> <td></td> </tr> <tr> <td>9-3</td> <td>廃棄物処理建屋</td> <td>損傷なし</td> <td>はい・いいえ・不明</td> <td colspan="5">調査中</td> <td></td> </tr> <tr> <td>9-4</td> <td>原子炉周辺の建屋(管理区域)</td> <td>損傷なし</td> <td>はい・いいえ・不明</td> <td colspan="5">調査中</td> <td>外観を監視カメラ又は現場目視により確認する。</td> </tr> <tr> <td>9-5</td> <td>原子炉周辺の建屋(非管理区域)</td> <td>損傷なし</td> <td>はい・いいえ・不明</td> <td colspan="5">調査中</td> <td></td> </tr> <tr> <td>9-6</td> <td>原子炉周辺の建屋(非管理区域)</td> <td>損傷なし</td> <td>はい・いいえ・不明</td> <td colspan="5">調査中</td> <td></td> </tr> <tr> <td>9-7</td> <td>タービン建屋</td> <td>損傷なし</td> <td>はい・いいえ・不明</td> <td colspan="5">調査中</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				確認者	確認日時	平成	年	月	日	時	分	備考	番号	項目	状態						備考	9-1	原子炉格納容器	損傷なし	はい・いいえ・不明	調査中						9-2	制御建屋	損傷なし	はい・いいえ・不明	調査中						9-3	廃棄物処理建屋	損傷なし	はい・いいえ・不明	調査中						9-4	原子炉周辺の建屋(管理区域)	損傷なし	はい・いいえ・不明	調査中					外観を監視カメラ又は現場目視により確認する。	9-5	原子炉周辺の建屋(非管理区域)	損傷なし	はい・いいえ・不明	調査中						9-6	原子炉周辺の建屋(非管理区域)	損傷なし	はい・いいえ・不明	調査中						9-7	タービン建屋	損傷なし	はい・いいえ・不明	調査中						<p>10. 建屋等の内部確認</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>確認者</th> <th>確認日時</th> <th>平成</th> <th>年</th> <th>月</th> <th>日</th> <th>時</th> <th>分</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>番号</td> <td>項目</td> <td>状態</td> <td colspan="5"></td> <td>備考</td> </tr> <tr> <td>10-1</td> <td>使用済燃料ピット</td> <td>アクセス可能</td> <td>はい・いいえ・不明</td> <td colspan="5">調査中</td> <td></td> </tr> <tr> <td>10-2</td> <td>使用済燃料ピット</td> <td>損傷なし</td> <td>はい・いいえ・不明</td> <td colspan="5">調査中</td> <td>外観を監視カメラ又は現場目視により確認する。</td> </tr> <tr> <td>10-3</td> <td>中央制御室</td> <td>アクセス可能</td> <td>はい・いいえ・不明</td> <td colspan="5">調査中</td> <td></td> </tr> <tr> <td>10-4</td> <td>主蒸気配管室</td> <td>アクセス可能</td> <td>はい・いいえ・不明</td> <td colspan="5">調査中</td> <td></td> </tr> <tr> <td>10-5</td> <td>安全補綴器室</td> <td>アクセス可能</td> <td>はい・いいえ・不明</td> <td colspan="5">調査中</td> <td></td> </tr> <tr> <td>10-6</td> <td>原子炉周辺の建屋</td> <td>アクセス可能</td> <td>はい・いいえ・不明</td> <td colspan="5">調査中</td> <td></td> </tr> <tr> <td>10-7</td> <td>使用済燃料ピット接続口</td> <td>はい・いいえ・不明</td> <td colspan="5">調査中</td> <td></td> </tr> <tr> <td>10-8</td> <td>原子炉周辺の建屋電源接続箇所</td> <td>はい・いいえ・不明</td> <td colspan="5">調査中</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				確認者	確認日時	平成	年	月	日	時	分	備考	番号	項目	状態						備考	10-1	使用済燃料ピット	アクセス可能	はい・いいえ・不明	調査中						10-2	使用済燃料ピット	損傷なし	はい・いいえ・不明	調査中					外観を監視カメラ又は現場目視により確認する。	10-3	中央制御室	アクセス可能	はい・いいえ・不明	調査中						10-4	主蒸気配管室	アクセス可能	はい・いいえ・不明	調査中						10-5	安全補綴器室	アクセス可能	はい・いいえ・不明	調査中						10-6	原子炉周辺の建屋	アクセス可能	はい・いいえ・不明	調査中						10-7	使用済燃料ピット接続口	はい・いいえ・不明	調査中						10-8	原子炉周辺の建屋電源接続箇所	はい・いいえ・不明	調査中						<p>※1 現周目による水位低下又は漏れ検査からの漏水がなければ「はい」とする。 ※2 該当箇所へのアクセスが可能で接続箇所が破損がなく接続が可能であれば「はい」とする。</p>																																																																																																																																																																																																				
確認者	確認日時	平成	年	月	日	時	分	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
番号	項目	状態						備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
9-1	原子炉格納容器	損傷なし	はい・いいえ・不明	調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
9-2	制御建屋	損傷なし	はい・いいえ・不明	調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
9-3	廃棄物処理建屋	損傷なし	はい・いいえ・不明	調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
9-4	原子炉周辺の建屋(管理区域)	損傷なし	はい・いいえ・不明	調査中					外観を監視カメラ又は現場目視により確認する。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
9-5	原子炉周辺の建屋(非管理区域)	損傷なし	はい・いいえ・不明	調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
9-6	原子炉周辺の建屋(非管理区域)	損傷なし	はい・いいえ・不明	調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
9-7	タービン建屋	損傷なし	はい・いいえ・不明	調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
確認者	確認日時	平成	年	月	日	時	分	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
番号	項目	状態						備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
10-1	使用済燃料ピット	アクセス可能	はい・いいえ・不明	調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
10-2	使用済燃料ピット	損傷なし	はい・いいえ・不明	調査中					外観を監視カメラ又は現場目視により確認する。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
10-3	中央制御室	アクセス可能	はい・いいえ・不明	調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
10-4	主蒸気配管室	アクセス可能	はい・いいえ・不明	調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
10-5	安全補綴器室	アクセス可能	はい・いいえ・不明	調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
10-6	原子炉周辺の建屋	アクセス可能	はい・いいえ・不明	調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
10-7	使用済燃料ピット接続口	はい・いいえ・不明	調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
10-8	原子炉周辺の建屋電源接続箇所	はい・いいえ・不明	調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

2.1 可搬型設備等による対応

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																
	<p>(6)電源系統の確認</p> <p style="text-align: center;">確認日時 年 月 日 時 分</p> <table border="1" data-bbox="689 217 1218 960"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>項目</th> <th>状態</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>外部電源受電</td><td>受電中・停電中・使用不可・不明</td><td></td></tr> <tr><td>2</td><td>非常用ディーゼル発電機(A)</td><td>運転中・待機中・使用不可・不明</td><td></td></tr> <tr><td>3</td><td>非常用M/G(C)受電</td><td>受電中・停電中・使用不可・不明</td><td></td></tr> <tr><td>4</td><td>非常用P/C(C)受電</td><td>受電中・停電中・使用不可・不明</td><td></td></tr> <tr><td>5</td><td>125V直流主母線盤2A、2A-1受電</td><td>受電中・停電中・使用不可・不明</td><td></td></tr> <tr><td>6</td><td>125V蓄電池2A</td><td>使用可能・使用不可・不明</td><td></td></tr> <tr><td>7</td><td>250V直流主母線盤受電</td><td>受電中・停電中・使用不可・不明</td><td></td></tr> <tr><td>8</td><td>200V蓄電池</td><td>使用可能・使用不可・不明</td><td></td></tr> <tr><td>9</td><td>非常用ディーゼル発電機(B)</td><td>運転中・待機中・使用不可・不明</td><td></td></tr> <tr><td>10</td><td>非常用M/G(D)受電</td><td>受電中・停電中・使用不可・不明</td><td></td></tr> <tr><td>11</td><td>非常用P/C(D)受電</td><td>受電中・停電中・使用不可・不明</td><td></td></tr> <tr><td>12</td><td>125V直流主母線盤2B、2B-1受電</td><td>受電中・停電中・使用不可・不明</td><td></td></tr> <tr><td>13</td><td>125V蓄電池2B</td><td>使用可能・使用不可・不明</td><td></td></tr> <tr><td>14</td><td>高圧ガスシリンダ型ディーゼル発電機</td><td>運転中・待機中・使用不可・不明</td><td></td></tr> <tr><td>15</td><td>非常用M/G(H)受電</td><td>受電中・停電中・使用不可・不明</td><td></td></tr> <tr><td>16</td><td>125V直流主母線盤2B受電</td><td>受電中・停電中・使用不可・不明</td><td></td></tr> <tr><td>17</td><td>125V蓄電池2B</td><td>使用可能・使用不可・不明</td><td></td></tr> <tr><td>18</td><td>ガスタービン発電機(A)</td><td>運転中・待機中・使用不可・不明</td><td></td></tr> <tr><td>19</td><td>ガスタービン発電機(B)</td><td>運転中・待機中・使用不可・不明</td><td></td></tr> <tr><td>20</td><td>緊急用高圧母線(F)受電</td><td>受電中・停電中・使用不可・不明</td><td></td></tr> <tr><td>21</td><td>緊急用高圧母線(G)受電</td><td>受電中・停電中・使用不可・不明</td><td></td></tr> <tr><td>22</td><td>125V代替蓄電池</td><td>使用可能・使用不可・不明</td><td></td></tr> <tr><td>23</td><td>軽油タンク A系</td><td>使用可能・使用不可・不明</td><td></td></tr> <tr><td>24</td><td>軽油タンク B系</td><td>使用可能・使用不可・不明</td><td></td></tr> <tr><td>25</td><td>軽油タンク 庫内系</td><td>使用可能・使用不可・不明</td><td></td></tr> <tr><td>26</td><td>ガスタービン発電機燃料油タンク</td><td>使用可能・使用不可・不明</td><td></td></tr> <tr><td>27</td><td>缶号が電源系統設備</td><td>使用可能・使用不可・不明</td><td></td></tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center; font-size: small;">注) プラント状態確認チェックシートは、今後の訓練によって見直し可能がある</p>	番号	項目	状態	備考	1	外部電源受電	受電中・停電中・使用不可・不明		2	非常用ディーゼル発電機(A)	運転中・待機中・使用不可・不明		3	非常用M/G(C)受電	受電中・停電中・使用不可・不明		4	非常用P/C(C)受電	受電中・停電中・使用不可・不明		5	125V直流主母線盤2A、2A-1受電	受電中・停電中・使用不可・不明		6	125V蓄電池2A	使用可能・使用不可・不明		7	250V直流主母線盤受電	受電中・停電中・使用不可・不明		8	200V蓄電池	使用可能・使用不可・不明		9	非常用ディーゼル発電機(B)	運転中・待機中・使用不可・不明		10	非常用M/G(D)受電	受電中・停電中・使用不可・不明		11	非常用P/C(D)受電	受電中・停電中・使用不可・不明		12	125V直流主母線盤2B、2B-1受電	受電中・停電中・使用不可・不明		13	125V蓄電池2B	使用可能・使用不可・不明		14	高圧ガスシリンダ型ディーゼル発電機	運転中・待機中・使用不可・不明		15	非常用M/G(H)受電	受電中・停電中・使用不可・不明		16	125V直流主母線盤2B受電	受電中・停電中・使用不可・不明		17	125V蓄電池2B	使用可能・使用不可・不明		18	ガスタービン発電機(A)	運転中・待機中・使用不可・不明		19	ガスタービン発電機(B)	運転中・待機中・使用不可・不明		20	緊急用高圧母線(F)受電	受電中・停電中・使用不可・不明		21	緊急用高圧母線(G)受電	受電中・停電中・使用不可・不明		22	125V代替蓄電池	使用可能・使用不可・不明		23	軽油タンク A系	使用可能・使用不可・不明		24	軽油タンク B系	使用可能・使用不可・不明		25	軽油タンク 庫内系	使用可能・使用不可・不明		26	ガスタービン発電機燃料油タンク	使用可能・使用不可・不明		27	缶号が電源系統設備	使用可能・使用不可・不明			<p>【大飯】【女川】 設備及び運用の相違に伴うプラント状態確認項目等の相違</p>
番号	項目	状態	備考																																																																																																																
1	外部電源受電	受電中・停電中・使用不可・不明																																																																																																																	
2	非常用ディーゼル発電機(A)	運転中・待機中・使用不可・不明																																																																																																																	
3	非常用M/G(C)受電	受電中・停電中・使用不可・不明																																																																																																																	
4	非常用P/C(C)受電	受電中・停電中・使用不可・不明																																																																																																																	
5	125V直流主母線盤2A、2A-1受電	受電中・停電中・使用不可・不明																																																																																																																	
6	125V蓄電池2A	使用可能・使用不可・不明																																																																																																																	
7	250V直流主母線盤受電	受電中・停電中・使用不可・不明																																																																																																																	
8	200V蓄電池	使用可能・使用不可・不明																																																																																																																	
9	非常用ディーゼル発電機(B)	運転中・待機中・使用不可・不明																																																																																																																	
10	非常用M/G(D)受電	受電中・停電中・使用不可・不明																																																																																																																	
11	非常用P/C(D)受電	受電中・停電中・使用不可・不明																																																																																																																	
12	125V直流主母線盤2B、2B-1受電	受電中・停電中・使用不可・不明																																																																																																																	
13	125V蓄電池2B	使用可能・使用不可・不明																																																																																																																	
14	高圧ガスシリンダ型ディーゼル発電機	運転中・待機中・使用不可・不明																																																																																																																	
15	非常用M/G(H)受電	受電中・停電中・使用不可・不明																																																																																																																	
16	125V直流主母線盤2B受電	受電中・停電中・使用不可・不明																																																																																																																	
17	125V蓄電池2B	使用可能・使用不可・不明																																																																																																																	
18	ガスタービン発電機(A)	運転中・待機中・使用不可・不明																																																																																																																	
19	ガスタービン発電機(B)	運転中・待機中・使用不可・不明																																																																																																																	
20	緊急用高圧母線(F)受電	受電中・停電中・使用不可・不明																																																																																																																	
21	緊急用高圧母線(G)受電	受電中・停電中・使用不可・不明																																																																																																																	
22	125V代替蓄電池	使用可能・使用不可・不明																																																																																																																	
23	軽油タンク A系	使用可能・使用不可・不明																																																																																																																	
24	軽油タンク B系	使用可能・使用不可・不明																																																																																																																	
25	軽油タンク 庫内系	使用可能・使用不可・不明																																																																																																																	
26	ガスタービン発電機燃料油タンク	使用可能・使用不可・不明																																																																																																																	
27	缶号が電源系統設備	使用可能・使用不可・不明																																																																																																																	

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

2.1 可搬型設備等による対応

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
<p>大規模稼働時プラント状態確認チェックシート（6/9）</p> <p>1.1. 機器状態の確認</p> <p>(1) 代替電源等で運転又は使用可能な機器[※] 【ステップ4】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>確認者</th> <th>確認日時</th> <th>平成</th> <th>年</th> <th>月</th> <th>日</th> <th>時</th> <th>分</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>番号</td> <td>項目</td> <td>状態</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>11-01-1</td> <td>タービン駆動給水ポンプ</td> <td>運転可能</td> <td>はい、いいえ、不明</td> <td>調査中</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>11-01-2</td> <td>主蒸気減圧弁</td> <td>使用可能</td> <td>はい、いいえ、不明</td> <td>調査中</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>11-01-3</td> <td>加圧減圧弁</td> <td>使用可能</td> <td>はい、いいえ、不明</td> <td>調査中</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>11-01-4</td> <td>恒設代替給水ポンプ</td> <td>運転可能</td> <td>はい、いいえ、不明</td> <td>調査中</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>11-01-5</td> <td>アンモニア空気浄化ファン</td> <td>運転可能</td> <td>はい、いいえ、不明</td> <td>調査中</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>11-01-6</td> <td>消火ポンプ</td> <td>運転可能</td> <td>はい、いいえ、不明</td> <td>調査中</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>11-01-7</td> <td>蒸気発生器補助給油装置圧力ポンプ（電動）</td> <td>運転可能</td> <td>はい、いいえ、不明</td> <td>調査中</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>※ プラント監視機能が喪失している場合は、運転中（使用中）の場合又は機器に損傷がなければ「はい」とする。ただし、加圧器がしきりによって可搬型バッテリー、窒素ポンプ（又は、可搬式空気圧縮機）が健全で原子炉格納容器の破損がなければ「はい」とする。</p> <p>(2) 常設電源で運転する機器[※]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>確認者</th> <th>確認日時</th> <th>平成</th> <th>年</th> <th>月</th> <th>日</th> <th>時</th> <th>分</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>番号</td> <td>項目</td> <td>状態</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>11-02-1</td> <td>電動補助給水ポンプ</td> <td>運転可能</td> <td>はい、いいえ、不明</td> <td>調査中</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>11-02-2</td> <td>余熱除去ポンプ</td> <td>運転可能</td> <td>はい、いいえ、不明</td> <td>調査中</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>11-02-3</td> <td>乾てんポンプ</td> <td>運転可能</td> <td>はい、いいえ、不明</td> <td>調査中</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>11-02-4</td> <td>高圧注入ポンプ</td> <td>運転可能</td> <td>はい、いいえ、不明</td> <td>調査中</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>11-02-5</td> <td>格納容器スプレイポンプ</td> <td>運転可能</td> <td>はい、いいえ、不明</td> <td>調査中</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>11-02-6</td> <td>海水ポンプ</td> <td>運転可能</td> <td>はい、いいえ、不明</td> <td>調査中</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>11-02-7</td> <td>原子炉補助冷却水ポンプ</td> <td>運転可能</td> <td>はい、いいえ、不明</td> <td>調査中</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>11-02-8</td> <td>使用済燃料ピットポンプ</td> <td>運転可能</td> <td>はい、いいえ、不明</td> <td>調査中</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>11-02-9</td> <td>制御用空気圧縮機</td> <td>運転可能</td> <td>はい、いいえ、不明</td> <td>調査中</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>※ プラント監視機能が喪失している場合は、運転中又は受電中であり、機器に損傷がない場合は「はい」とする。大規模稼働時プラント状態確認チェックシート（7/9）</p> <p>(3) 静的機器[※]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>確認者</th> <th>確認日時</th> <th>平成</th> <th>年</th> <th>月</th> <th>日</th> <th>時</th> <th>分</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>番号</td> <td>項目</td> <td>状態</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>11-03-1</td> <td>格納容器内循環ユニット</td> <td>使用可能</td> <td>はい、いいえ、不明</td> <td>調査中</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>11-03-2</td> <td>燃料取扱用ピット</td> <td>損傷なし</td> <td>はい、いいえ、不明</td> <td>調査中</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>11-03-3</td> <td>復水ピット</td> <td>損傷なし</td> <td>はい、いいえ、不明</td> <td>調査中</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>11-03-4</td> <td>淡水タンク</td> <td>損傷なし</td> <td>はい、いいえ、不明</td> <td>調査中</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>11-03-5</td> <td>1次系純水タンク</td> <td>損傷なし</td> <td>はい、いいえ、不明</td> <td>調査中</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>※ プラント監視機能が喪失している場合は、外観により損傷がなければ「はい」とする。ただし、格納容器内循環ユニットは原子炉格納容器の破損がなければ「はい」とする。</p>	確認者	確認日時	平成	年	月	日	時	分	備考	番号	項目	状態							11-01-1	タービン駆動給水ポンプ	運転可能	はい、いいえ、不明	調査中					11-01-2	主蒸気減圧弁	使用可能	はい、いいえ、不明	調査中					11-01-3	加圧減圧弁	使用可能	はい、いいえ、不明	調査中					11-01-4	恒設代替給水ポンプ	運転可能	はい、いいえ、不明	調査中					11-01-5	アンモニア空気浄化ファン	運転可能	はい、いいえ、不明	調査中					11-01-6	消火ポンプ	運転可能	はい、いいえ、不明	調査中					11-01-7	蒸気発生器補助給油装置圧力ポンプ（電動）	運転可能	はい、いいえ、不明	調査中					確認者	確認日時	平成	年	月	日	時	分	備考	番号	項目	状態							11-02-1	電動補助給水ポンプ	運転可能	はい、いいえ、不明	調査中					11-02-2	余熱除去ポンプ	運転可能	はい、いいえ、不明	調査中					11-02-3	乾てんポンプ	運転可能	はい、いいえ、不明	調査中					11-02-4	高圧注入ポンプ	運転可能	はい、いいえ、不明	調査中					11-02-5	格納容器スプレイポンプ	運転可能	はい、いいえ、不明	調査中					11-02-6	海水ポンプ	運転可能	はい、いいえ、不明	調査中					11-02-7	原子炉補助冷却水ポンプ	運転可能	はい、いいえ、不明	調査中					11-02-8	使用済燃料ピットポンプ	運転可能	はい、いいえ、不明	調査中					11-02-9	制御用空気圧縮機	運転可能	はい、いいえ、不明	調査中					確認者	確認日時	平成	年	月	日	時	分	備考	番号	項目	状態							11-03-1	格納容器内循環ユニット	使用可能	はい、いいえ、不明	調査中					11-03-2	燃料取扱用ピット	損傷なし	はい、いいえ、不明	調査中					11-03-3	復水ピット	損傷なし	はい、いいえ、不明	調査中					11-03-4	淡水タンク	損傷なし	はい、いいえ、不明	調査中					11-03-5	1次系純水タンク	損傷なし	はい、いいえ、不明	調査中					<p>(7) 常設設備の確認(1/2)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>確認日時</th> <th>平成</th> <th>年</th> <th>月</th> <th>日</th> <th>時</th> <th>分</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>番号</td> <td>項目</td> <td>状態</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>1</td> <td>制御棒駆動水圧系</td> <td>運転中・停止中・電源なし・使用不可・不明</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>ほう水注入系</td> <td>運転中・停止中・電源なし・使用不可・不明</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>原子炉隔離時冷却系</td> <td>運転中・待機中・使用不可・不明</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>高圧代替注水系</td> <td>運転中・待機中・使用不可・不明</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>高圧炉心スプレイ系</td> <td>運転中・停止中・電源なし・使用不可・不明</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>主蒸気減圧弁安全弁</td> <td>使用可能・使用不可・不明</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>高圧減圧弁安全弁</td> <td>使用可能・使用不可・不明</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>代替高圧減圧弁供給系</td> <td>使用可能・使用不可・不明</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>高圧炉心スプレイ系</td> <td>運転中・停止中・電源なし・使用不可・不明</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>残留熱除去系（A）</td> <td>運転中・停止中・電源なし・使用不可・不明</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>11</td> <td>残留熱除去系（B）</td> <td>運転中・停止中・電源なし・使用不可・不明</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>12</td> <td>残留熱除去系（C）</td> <td>運転中・停止中・電源なし・使用不可・不明</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>13</td> <td>代替冷却器</td> <td>運転中・停止中・電源なし・使用不可・不明</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>14</td> <td>直汲型高圧注水系</td> <td>運転中・停止中・電源なし・使用不可・不明</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>15</td> <td>復水系</td> <td>運転中・停止中・電源なし・使用不可・不明</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>16</td> <td>給水系</td> <td>運転中・停止中・電源なし・使用不可・不明</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>17</td> <td>復水補助水</td> <td>運転中・停止中・電源なし・使用不可・不明</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>18</td> <td>純水循環水</td> <td>運転中・停止中・電源なし・使用不可・不明</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>19</td> <td>ろ過水</td> <td>運転中・停止中・電源なし・使用不可・不明</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>20</td> <td>原子炉冷却材浄化系</td> <td>運転中・停止中・電源なし・使用不可・不明</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>21</td> <td>ドライウェル冷却系</td> <td>運転中・停止中・電源なし・使用不可・不明</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) プラント状態確認チェックシートは、今後の訓練によって取替の可能性がある</p>	確認日時	平成	年	月	日	時	分	備考	番号	項目	状態						1	制御棒駆動水圧系	運転中・停止中・電源なし・使用不可・不明						2	ほう水注入系	運転中・停止中・電源なし・使用不可・不明						3	原子炉隔離時冷却系	運転中・待機中・使用不可・不明						4	高圧代替注水系	運転中・待機中・使用不可・不明						5	高圧炉心スプレイ系	運転中・停止中・電源なし・使用不可・不明						6	主蒸気減圧弁安全弁	使用可能・使用不可・不明						7	高圧減圧弁安全弁	使用可能・使用不可・不明						8	代替高圧減圧弁供給系	使用可能・使用不可・不明						9	高圧炉心スプレイ系	運転中・停止中・電源なし・使用不可・不明						10	残留熱除去系（A）	運転中・停止中・電源なし・使用不可・不明						11	残留熱除去系（B）	運転中・停止中・電源なし・使用不可・不明						12	残留熱除去系（C）	運転中・停止中・電源なし・使用不可・不明						13	代替冷却器	運転中・停止中・電源なし・使用不可・不明						14	直汲型高圧注水系	運転中・停止中・電源なし・使用不可・不明						15	復水系	運転中・停止中・電源なし・使用不可・不明						16	給水系	運転中・停止中・電源なし・使用不可・不明						17	復水補助水	運転中・停止中・電源なし・使用不可・不明						18	純水循環水	運転中・停止中・電源なし・使用不可・不明						19	ろ過水	運転中・停止中・電源なし・使用不可・不明						20	原子炉冷却材浄化系	運転中・停止中・電源なし・使用不可・不明						21	ドライウェル冷却系	運転中・停止中・電源なし・使用不可・不明						<p>泊発電所3号炉 プラント状態確認チェックシート（5/9）</p> <p>【ステップ4】</p> <p>10. 機器状態の確認</p> <p>(1) 3号炉原子炉格納容器</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>確認者</th> <th>確認日時</th> <th>平成</th> <th>年</th> <th>月</th> <th>日</th> <th>時</th> <th>分</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>番号</td> <td>項目</td> <td>状態</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>10-01-1</td> <td>恒設代替格納容器スプレイポンプ</td> <td>運転可能</td> <td>可動・不可・不明</td> <td>調査中</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>10-01-2</td> <td>タービン駆動給水ポンプ</td> <td>運転可能</td> <td>可動・不可・不明</td> <td>調査中</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>10-01-3</td> <td>A-1 格納容器給水ポンプ</td> <td>運転可能</td> <td>可動・不可・不明</td> <td>調査中</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>10-01-4</td> <td>B-1 格納容器給水ポンプ</td> <td>運転可能</td> <td>可動・不可・不明</td> <td>調査中</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>10-01-5</td> <td>A-2 格納容器給水ポンプ</td> <td>運転可能</td> <td>可動・不可・不明</td> <td>調査中</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>10-01-6</td> <td>B-2 格納容器給水ポンプ</td> <td>運転可能</td> <td>可動・不可・不明</td> <td>調査中</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>10-01-7</td> <td>格納容器内循環ユニット</td> <td>使用可能</td> <td>可動・不可・不明</td> <td>調査中</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>10-01-8</td> <td>燃料取扱用ピット可搬型エアリフト</td> <td>使用可能</td> <td>可動・不可・不明</td> <td>調査中</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>10-01-9</td> <td>燃料取扱用ピット水没計（可搬型）</td> <td>使用可能</td> <td>可動・不可・不明</td> <td>調査中</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>10-01-10</td> <td>可搬型格納容器内水漏れ検出計測ユニット</td> <td>使用可能</td> <td>可動・不可・不明</td> <td>調査中</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>10-01-11</td> <td>可搬型アンモニア水濃度計測ユニット</td> <td>使用可能</td> <td>可動・不可・不明</td> <td>調査中</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>10-01-12</td> <td>格納容器内空気圧縮機</td> <td>使用可能</td> <td>可動・不可・不明</td> <td>調査中</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>10-01-13</td> <td>格納容器内空気圧縮機</td> <td>使用可能</td> <td>可動・不可・不明</td> <td>調査中</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>10-01-14</td> <td>燃料取扱用ピット可搬型エアリフト</td> <td>使用可能</td> <td>可動・不可・不明</td> <td>調査中</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>10-01-15</td> <td>燃料取扱用ピット水没計（可搬型）</td> <td>使用可能</td> <td>可動・不可・不明</td> <td>調査中</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>10-01-16</td> <td>可搬型格納容器内水漏れ検出計測ユニット</td> <td>使用可能</td> <td>可動・不可・不明</td> <td>調査中</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>10-01-17</td> <td>可搬型アンモニア水濃度計測ユニット</td> <td>使用可能</td> <td>可動・不可・不明</td> <td>調査中</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>10-01-18</td> <td>格納容器内空気圧縮機</td> <td>使用可能</td> <td>可動・不可・不明</td> <td>調査中</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>10-01-19</td> <td>格納容器内空気圧縮機</td> <td>使用可能</td> <td>可動・不可・不明</td> <td>調査中</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>10-01-20</td> <td>燃料取扱用ピット可搬型エアリフト</td> <td>使用可能</td> <td>可動・不可・不明</td> <td>調査中</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>10-01-21</td> <td>燃料取扱用ピット水没計（可搬型）</td> <td>使用可能</td> <td>可動・不可・不明</td> <td>調査中</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>10-01-22</td> <td>可搬型格納容器内水漏れ検出計測ユニット</td> <td>使用可能</td> <td>可動・不可・不明</td> <td>調査中</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>10-01-23</td> <td>可搬型アンモニア水濃度計測ユニット</td> <td>使用可能</td> <td>可動・不可・不明</td> <td>調査中</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>10-01-24</td> <td>格納容器内空気圧縮機</td> <td>使用可能</td> <td>可動・不可・不明</td> <td>調査中</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>10-01-25</td> <td>格納容器内空気圧縮機</td> <td>使用可能</td> <td>可動・不可・不明</td> <td>調査中</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>10-01-26</td> <td>燃料取扱用ピット可搬型エアリフト</td> <td>使用可能</td> <td>可動・不可・不明</td> <td>調査中</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>10-01-27</td> <td>燃料取扱用ピット水没計（可搬型）</td> <td>使用可能</td> <td>可動・不可・不明</td> <td>調査中</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>10-01-28</td> <td>可搬型格納容器内水漏れ検出計測ユニット</td> <td>使用可能</td> <td>可動・不可・不明</td> <td>調査中</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>10-01-29</td> <td>可搬型アンモニア水濃度計測ユニット</td> <td>使用可能</td> <td>可動・不可・不明</td> <td>調査中</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>10-01-30</td> <td>格納容器内空気圧縮機</td> <td>使用可能</td> <td>可動・不可・不明</td> <td>調査中</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>10-01-31</td> <td>格納容器内空気圧縮機</td> <td>使用可能</td> <td>可動・不可・不明</td> <td>調査中</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>10-01-32</td> <td>燃料取扱用ピット可搬型エアリフト</td> <td>使用可能</td> <td>可動・不可・不明</td> <td>調査中</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>10-01-33</td> <td>燃料取扱用ピット水没計（可搬型）</td> <td>使用可能</td> <td>可動・不可・不明</td> <td>調査中</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>10-01-34</td> <td>可搬型格納容器内水漏れ検出計測ユニット</td> <td>使用可能</td> <td>可動・不可・不明</td> <td>調査中</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>10-01-35</td> <td>可搬型アンモニア水濃度計測ユニット</td> <td>使用可能</td> <td>可動・不可・不明</td> <td>調査中</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>10-01-36</td> <td>格納容器内空気圧縮機</td> <td>使用可能</td> <td>可動・不可・不明</td> <td>調査中</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>10-01-37</td> <td>格納容器内空気圧縮機</td> <td>使用可能</td> <td>可動・不可・不明</td> <td>調査中</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>10-01-38</td> <td>燃料取扱用ピット可搬型エアリフト</td> <td>使用可能</td> <td>可動・不可・不明</td> <td>調査中</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>10-01-39</td> <td>燃料取扱用ピット水没計（可搬型）</td> <td>使用可能</td> <td>可動・不可・不明</td> <td>調査中</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>10-01-40</td> <td>可搬型格納容器内水漏れ検出計測ユニット</td> <td>使用可能</td> <td>可動・不可・不明</td> <td>調査中</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>10-01-41</td> <td>可搬型アンモニア水濃度計測ユニット</td> <td>使用可能</td> <td>可動・不可・不明</td> <td>調査中</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>10-01-42</td> <td>格納容器内空気圧縮機</td> <td>使用可能</td> <td>可動・不可・不明</td> <td>調査中</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>10-01-43</td> <td>格納容器内空気圧縮機</td> <td>使用可能</td> <td>可動・不可・不明</td> <td>調査中</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>10-01-44</td> <td>燃料取扱用ピット可搬型エアリフト</td> <td>使用可能</td> <td>可動・不可・不明</td> <td>調査中</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>10-01-45</td> <td>燃料取扱用ピット水没計（可搬型）</td> <td>使用可能</td> <td>可動・不可・不明</td> <td>調査中</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>10-01-46</td> <td>可搬型格納容器内水漏れ検出計測ユニット</td> <td>使用可能</td> <td>可動・不可・不明</td> <td>調査中</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>10-01-47</td> <td>可搬型アンモニア水濃度計測ユニット</td> <td>使用可能</td> <td>可動・不可・不明</td> <td>調査中</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>10-01-48</td> <td>格納容器内空気圧縮機</td> <td>使用可能</td> <td>可動・不可・不明</td> <td>調査中</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>10-01-49</td> <td>格納容器内空気圧縮機</td> <td>使用可能</td> <td>可動・不可・不明</td> <td>調査中</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>10-01-50</td> <td>燃料取扱用ピット可搬型エアリフト</td> <td>使用可能</td> <td>可動・不可・不明</td> <td>調査中</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>10-01-51</td> <td>燃料取扱用ピット水没計（可搬型）</td> <td>使用可能</td> <td>可動・不可・不明</td> <td>調査中</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>10-01-52</td> <td>可搬型格納容器内水漏れ検出計測ユニット</td> <td>使用可能</td> <td>可動・不可・不明</td> <td>調査中</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>10-01-53</td> <td>可搬型アンモニア水濃度計測ユニット</td> <td>使用可能</td> <td>可動・不可・不明</td> <td>調査中</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>10-01-54</td> <td>格納容器内空気圧縮機</td> <td>使用可能</td> <td>可動・不可・不明</td> <td>調査中</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>10-01-55</td> <td>格納容器内空気圧縮機</td> <td>使用可能</td> <td>可動・不可・不明</td> <td>調査中</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>10-01-56</td> <td>燃料取扱用ピット可搬型エアリフト</td> <td>使用可能</td> <td>可動・不可・不明</td> <td>調査中</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>10-01-57</td> <td>燃料取扱用ピット水没計（可搬型）</td> <td>使用可能</td> <td>可動・不可・不明</td> <td>調査中</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>10-01-58</td> <td>可搬型格納容器内水漏れ検出計測ユニット</td> <td>使用可能</td> <td>可動・不可・不明</td> <td>調査中</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>10-01-59</td> <td>可搬型アンモニア水濃度計測ユニット</td> <td>使用可能</td> <td>可動・不可・不明</td> <td>調査中</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>10-01-60</td> <td>格納容器内空気圧縮機</td> <td>使用可能</td> <td>可動・不可・不明</td> <td>調査中</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>10-01-61</td> <td>格納容器内空気圧縮機</td> <td>使用可能</td> <td>可動・不可・不明</td> <td>調査中</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>10-01-62</td> <td>燃料取扱用ピット可搬型エアリフト</td> <td>使用可能</td> <td>可動・不可・不明</td> <td>調査中</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>10-01-63</td> <td>燃料取扱用ピット水没計（可搬型）</td> <td>使用可能</td> <td>可動・不可・不明</td> <td>調査中</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>10-01-64</td> <td>可搬型格納容器内水漏れ検出計測ユニット</td> <td>使用可能</td> <td>可動・不可・不明</td> <td>調査中</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>10-01-65</td> <td>可搬型アンモニア水濃度計測ユニット</td> <td>使用可能</td> <td>可動・不可・不明</td> <td>調査中</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>10-01-66</td> <td>格納容器内空気圧縮機</td> <td>使用可能</td> <td>可動・不可・不明</td> <td>調査中</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>10-01-67</td> <td>格納容器内空気圧縮機</td> <td>使用可能</td> <td>可動・不可・不明</td> <td>調査中</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>10-01-68</td> <td>燃料取扱用ピット可搬型エアリフト</td> <td>使用可能</td> <td>可動・不可・不明</td> <td>調査中</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>10-01-69</td> <td>燃料取扱用ピット水没計（可搬型）</td> <td>使用可能</td> <td>可動・不可・不明</td> <td>調査中</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>10-01-70</td> <td>可搬型格納容器内水漏れ検出計測ユニット</td> <td>使用可能</td> <td>可動・不可・不明</td> <td>調査中</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>10-01-71</td> <td>可搬型アンモニア水濃度計測ユニット</td> <td>使用可能</td> <td>可動・不可・不明</td> <td>調査中</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>10-01-72</td> <td>格納容器内空気圧縮機</td> <td>使用可能</td> <td>可動・不可・不明</td> <td>調査中</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>10-01-73</td> <td>格納容器内空気圧縮機</td> <td>使用可能</td> <td>可動・不可・不明</td> <td>調査中</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>10-01-74</td> <td>燃料取扱用ピット可搬型エアリフト</td> <td>使用可能</td> <td>可動・不可・不明</td> <td>調査中</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>10-01-75</td> <td>燃料取扱用ピット水没計（可搬型）</td> <td>使用可能</td> <td>可動・不可・不明</td> <td>調査中</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>10-01-76</td> <td>可搬型格納容器内水漏れ検出計測ユニット</td> <td>使用可能</td> <td>可動・不可・不明</td> <td>調査中</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>10-01-77</td> <td>可搬型アンモニア水濃度計測ユニット</td> <td>使用可能</td> <td>可動・不可・不明</td> <td>調査中</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>10-01-78</td> <td>格納容器内空気圧縮機</td> <td>使用可能</td> <td>可動・不可・不明</td> <td>調査中</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>10-01-79</td> <td>格納容器内空気圧縮機</td> <td>使用可能</td> <td>可動・不可・不明</td> <td>調査中</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>10-01-80</td> <td>燃料取扱用ピット可搬型エアリフト</td> <td>使用可能</td> <td>可動・不可・不明</td> <td>調査中</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>10-01-81</td> <td>燃料取扱用ピット水没計（可搬型）</td> <td>使用可能</td> <td>可動・不可・不明</td> <td>調査中</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>10-01-82</td> <td>可搬型格納容器内水漏れ検出計測ユニット</td> <td>使用可能</td> <td>可動・不可・不明</td> <td>調査中</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>10-01-83</td> <td>可搬型アンモニア水濃度計測ユニット</td> <td>使用可能</td> <td>可動・不可・不明</td> <td>調査中</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>10-01-84</td> <td>格納容器内空気圧縮機</td> <td>使用可能</td> <td>可動・不可・不明</td> <td>調査中</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>10-01-85</td> <td>格納容器内空気圧縮機</td> <td>使用可能</td> <td>可動・不可・不明</td> <td>調査中</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>10-01-86</td> <td>燃料取扱用ピット可搬型エアリフト</td> <td>使用可能</td> <td>可動・不可・不明</td> <td>調査中</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>10-01-87</td> <td>燃料取扱用ピット水没計（可搬型）</td> <td>使用可能</td> <td>可動・不可・不明</td> <td>調査中</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>10-01-88</td> <td>可搬型格納容器内水漏れ検出計測ユニット</td> <td>使用可能</td> <td>可動・不可・不明</td> <td>調査中</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>10-01-89</td> <td>可搬型アンモニア水濃度計測ユニット</td> <td>使用可能</td> <td>可動・不可・不明</td> <td>調査中</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody></table>	確認者	確認日時	平成	年	月	日	時	分	備考	番号	項目	状態							10-01-1	恒設代替格納容器スプレイポンプ	運転可能	可動・不可・不明	調査中					10-01-2	タービン駆動給水ポンプ	運転可能	可動・不可・不明	調査中					10-01-3	A-1 格納容器給水ポンプ	運転可能	可動・不可・不明	調査中					10-01-4	B-1 格納容器給水ポンプ	運転可能	可動・不可・不明	調査中					10-01-5	A-2 格納容器給水ポンプ	運転可能	可動・不可・不明	調査中					10-01-6	B-2 格納容器給水ポンプ	運転可能	可動・不可・不明	調査中					10-01-7	格納容器内循環ユニット	使用可能	可動・不可・不明	調査中					10-01-8	燃料取扱用ピット可搬型エアリフト	使用可能	可動・不可・不明	調査中					10-01-9	燃料取扱用ピット水没計（可搬型）	使用可能	可動・不可・不明	調査中					10-01-10	可搬型格納容器内水漏れ検出計測ユニット	使用可能	可動・不可・不明	調査中					10-01-11	可搬型アンモニア水濃度計測ユニット	使用可能	可動・不可・不明	調査中					10-01-12	格納容器内空気圧縮機	使用可能	可動・不可・不明	調査中					10-01-13	格納容器内空気圧縮機	使用可能	可動・不可・不明	調査中					10-01-14	燃料取扱用ピット可搬型エアリフト	使用可能	可動・不可・不明	調査中					10-01-15	燃料取扱用ピット水没計（可搬型）	使用可能	可動・不可・不明	調査中					10-01-16	可搬型格納容器内水漏れ検出計測ユニット	使用可能	可動・不可・不明	調査中					10-01-17	可搬型アンモニア水濃度計測ユニット	使用可能	可動・不可・不明	調査中					10-01-18	格納容器内空気圧縮機	使用可能	可動・不可・不明	調査中					10-01-19	格納容器内空気圧縮機	使用可能	可動・不可・不明	調査中					10-01-20	燃料取扱用ピット可搬型エアリフト	使用可能	可動・不可・不明	調査中					10-01-21	燃料取扱用ピット水没計（可搬型）	使用可能	可動・不可・不明	調査中					10-01-22	可搬型格納容器内水漏れ検出計測ユニット	使用可能	可動・不可・不明	調査中					10-01-23	可搬型アンモニア水濃度計測ユニット	使用可能	可動・不可・不明	調査中					10-01-24	格納容器内空気圧縮機	使用可能	可動・不可・不明	調査中					10-01-25	格納容器内空気圧縮機	使用可能	可動・不可・不明	調査中					10-01-26	燃料取扱用ピット可搬型エアリフト	使用可能	可動・不可・不明	調査中					10-01-27	燃料取扱用ピット水没計（可搬型）	使用可能	可動・不可・不明	調査中					10-01-28	可搬型格納容器内水漏れ検出計測ユニット	使用可能	可動・不可・不明	調査中					10-01-29	可搬型アンモニア水濃度計測ユニット	使用可能	可動・不可・不明	調査中					10-01-30	格納容器内空気圧縮機	使用可能	可動・不可・不明	調査中					10-01-31	格納容器内空気圧縮機	使用可能	可動・不可・不明	調査中					10-01-32	燃料取扱用ピット可搬型エアリフト	使用可能	可動・不可・不明	調査中					10-01-33	燃料取扱用ピット水没計（可搬型）	使用可能	可動・不可・不明	調査中					10-01-34	可搬型格納容器内水漏れ検出計測ユニット	使用可能	可動・不可・不明	調査中					10-01-35	可搬型アンモニア水濃度計測ユニット	使用可能	可動・不可・不明	調査中					10-01-36	格納容器内空気圧縮機	使用可能	可動・不可・不明	調査中					10-01-37	格納容器内空気圧縮機	使用可能	可動・不可・不明	調査中					10-01-38	燃料取扱用ピット可搬型エアリフト	使用可能	可動・不可・不明	調査中					10-01-39	燃料取扱用ピット水没計（可搬型）	使用可能	可動・不可・不明	調査中					10-01-40	可搬型格納容器内水漏れ検出計測ユニット	使用可能	可動・不可・不明	調査中					10-01-41	可搬型アンモニア水濃度計測ユニット	使用可能	可動・不可・不明	調査中					10-01-42	格納容器内空気圧縮機	使用可能	可動・不可・不明	調査中					10-01-43	格納容器内空気圧縮機	使用可能	可動・不可・不明	調査中					10-01-44	燃料取扱用ピット可搬型エアリフト	使用可能	可動・不可・不明	調査中					10-01-45	燃料取扱用ピット水没計（可搬型）	使用可能	可動・不可・不明	調査中					10-01-46	可搬型格納容器内水漏れ検出計測ユニット	使用可能	可動・不可・不明	調査中					10-01-47	可搬型アンモニア水濃度計測ユニット	使用可能	可動・不可・不明	調査中					10-01-48	格納容器内空気圧縮機	使用可能	可動・不可・不明	調査中					10-01-49	格納容器内空気圧縮機	使用可能	可動・不可・不明	調査中					10-01-50	燃料取扱用ピット可搬型エアリフト	使用可能	可動・不可・不明	調査中					10-01-51	燃料取扱用ピット水没計（可搬型）	使用可能	可動・不可・不明	調査中					10-01-52	可搬型格納容器内水漏れ検出計測ユニット	使用可能	可動・不可・不明	調査中					10-01-53	可搬型アンモニア水濃度計測ユニット	使用可能	可動・不可・不明	調査中					10-01-54	格納容器内空気圧縮機	使用可能	可動・不可・不明	調査中					10-01-55	格納容器内空気圧縮機	使用可能	可動・不可・不明	調査中					10-01-56	燃料取扱用ピット可搬型エアリフト	使用可能	可動・不可・不明	調査中					10-01-57	燃料取扱用ピット水没計（可搬型）	使用可能	可動・不可・不明	調査中					10-01-58	可搬型格納容器内水漏れ検出計測ユニット	使用可能	可動・不可・不明	調査中					10-01-59	可搬型アンモニア水濃度計測ユニット	使用可能	可動・不可・不明	調査中					10-01-60	格納容器内空気圧縮機	使用可能	可動・不可・不明	調査中					10-01-61	格納容器内空気圧縮機	使用可能	可動・不可・不明	調査中					10-01-62	燃料取扱用ピット可搬型エアリフト	使用可能	可動・不可・不明	調査中					10-01-63	燃料取扱用ピット水没計（可搬型）	使用可能	可動・不可・不明	調査中					10-01-64	可搬型格納容器内水漏れ検出計測ユニット	使用可能	可動・不可・不明	調査中					10-01-65	可搬型アンモニア水濃度計測ユニット	使用可能	可動・不可・不明	調査中					10-01-66	格納容器内空気圧縮機	使用可能	可動・不可・不明	調査中					10-01-67	格納容器内空気圧縮機	使用可能	可動・不可・不明	調査中					10-01-68	燃料取扱用ピット可搬型エアリフト	使用可能	可動・不可・不明	調査中					10-01-69	燃料取扱用ピット水没計（可搬型）	使用可能	可動・不可・不明	調査中					10-01-70	可搬型格納容器内水漏れ検出計測ユニット	使用可能	可動・不可・不明	調査中					10-01-71	可搬型アンモニア水濃度計測ユニット	使用可能	可動・不可・不明	調査中					10-01-72	格納容器内空気圧縮機	使用可能	可動・不可・不明	調査中					10-01-73	格納容器内空気圧縮機	使用可能	可動・不可・不明	調査中					10-01-74	燃料取扱用ピット可搬型エアリフト	使用可能	可動・不可・不明	調査中					10-01-75	燃料取扱用ピット水没計（可搬型）	使用可能	可動・不可・不明	調査中					10-01-76	可搬型格納容器内水漏れ検出計測ユニット	使用可能	可動・不可・不明	調査中					10-01-77	可搬型アンモニア水濃度計測ユニット	使用可能	可動・不可・不明	調査中					10-01-78	格納容器内空気圧縮機	使用可能	可動・不可・不明	調査中					10-01-79	格納容器内空気圧縮機	使用可能	可動・不可・不明	調査中					10-01-80	燃料取扱用ピット可搬型エアリフト	使用可能	可動・不可・不明	調査中					10-01-81	燃料取扱用ピット水没計（可搬型）	使用可能	可動・不可・不明	調査中					10-01-82	可搬型格納容器内水漏れ検出計測ユニット	使用可能	可動・不可・不明	調査中					10-01-83	可搬型アンモニア水濃度計測ユニット	使用可能	可動・不可・不明	調査中					10-01-84	格納容器内空気圧縮機	使用可能	可動・不可・不明	調査中					10-01-85	格納容器内空気圧縮機	使用可能	可動・不可・不明	調査中					10-01-86	燃料取扱用ピット可搬型エアリフト	使用可能	可動・不可・不明	調査中					10-01-87	燃料取扱用ピット水没計（可搬型）	使用可能	可動・不可・不明	調査中					10-01-88	可搬型格納容器内水漏れ検出計測ユニット	使用可能	可動・不可・不明	調査中					10-01-89	可搬型アンモニア水濃度計測ユニット	使用可能	可動・不可・不明	調査中				
確認者	確認日時	平成	年	月	日	時	分	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
番号	項目	状態																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
11-01-1	タービン駆動給水ポンプ	運転可能	はい、いいえ、不明	調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
11-01-2	主蒸気減圧弁	使用可能	はい、いいえ、不明	調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
11-01-3	加圧減圧弁	使用可能	はい、いいえ、不明	調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
11-01-4	恒設代替給水ポンプ	運転可能	はい、いいえ、不明	調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
11-01-5	アンモニア空気浄化ファン	運転可能	はい、いいえ、不明	調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
11-01-6	消火ポンプ	運転可能	はい、いいえ、不明	調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
11-01-7	蒸気発生器補助給油装置圧力ポンプ（電動）	運転可能	はい、いいえ、不明	調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
確認者	確認日時	平成	年	月	日	時	分	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
番号	項目	状態																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
11-02-1	電動補助給水ポンプ	運転可能	はい、いいえ、不明	調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
11-02-2	余熱除去ポンプ	運転可能	はい、いいえ、不明	調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
11-02-3	乾てんポンプ	運転可能	はい、いいえ、不明	調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
11-02-4	高圧注入ポンプ	運転可能	はい、いいえ、不明	調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
11-02-5	格納容器スプレイポンプ	運転可能	はい、いいえ、不明	調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
11-02-6	海水ポンプ	運転可能	はい、いいえ、不明	調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
11-02-7	原子炉補助冷却水ポンプ	運転可能	はい、いいえ、不明	調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
11-02-8	使用済燃料ピットポンプ	運転可能	はい、いいえ、不明	調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
11-02-9	制御用空気圧縮機	運転可能	はい、いいえ、不明	調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
確認者	確認日時	平成	年	月	日	時	分	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
番号	項目	状態																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
11-03-1	格納容器内循環ユニット	使用可能	はい、いいえ、不明	調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
11-03-2	燃料取扱用ピット	損傷なし	はい、いいえ、不明	調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
11-03-3	復水ピット	損傷なし	はい、いいえ、不明	調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
11-03-4	淡水タンク	損傷なし	はい、いいえ、不明	調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
11-03-5	1次系純水タンク	損傷なし	はい、いいえ、不明	調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
確認日時	平成	年	月	日	時	分	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
番号	項目	状態																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
1	制御棒駆動水圧系	運転中・停止中・電源なし・使用不可・不明																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
2	ほう水注入系	運転中・停止中・電源なし・使用不可・不明																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
3	原子炉隔離時冷却系	運転中・待機中・使用不可・不明																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
4	高圧代替注水系	運転中・待機中・使用不可・不明																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
5	高圧炉心スプレイ系	運転中・停止中・電源なし・使用不可・不明																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
6	主蒸気減圧弁安全弁	使用可能・使用不可・不明																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
7	高圧減圧弁安全弁	使用可能・使用不可・不明																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
8	代替高圧減圧弁供給系	使用可能・使用不可・不明																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
9	高圧炉心スプレイ系	運転中・停止中・電源なし・使用不可・不明																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
10	残留熱除去系（A）	運転中・停止中・電源なし・使用不可・不明																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
11	残留熱除去系（B）	運転中・停止中・電源なし・使用不可・不明																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
12	残留熱除去系（C）	運転中・停止中・電源なし・使用不可・不明																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
13	代替冷却器	運転中・停止中・電源なし・使用不可・不明																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
14	直汲型高圧注水系	運転中・停止中・電源なし・使用不可・不明																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
15	復水系	運転中・停止中・電源なし・使用不可・不明																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
16	給水系	運転中・停止中・電源なし・使用不可・不明																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
17	復水補助水	運転中・停止中・電源なし・使用不可・不明																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
18	純水循環水	運転中・停止中・電源なし・使用不可・不明																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
19	ろ過水	運転中・停止中・電源なし・使用不可・不明																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
20	原子炉冷却材浄化系	運転中・停止中・電源なし・使用不可・不明																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
21	ドライウェル冷却系	運転中・停止中・電源なし・使用不可・不明																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
確認者	確認日時	平成	年	月	日	時	分	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
番号	項目	状態																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
10-01-1	恒設代替格納容器スプレイポンプ	運転可能	可動・不可・不明	調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
10-01-2	タービン駆動給水ポンプ	運転可能	可動・不可・不明	調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
10-01-3	A-1 格納容器給水ポンプ	運転可能	可動・不可・不明	調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
10-01-4	B-1 格納容器給水ポンプ	運転可能	可動・不可・不明	調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
10-01-5	A-2 格納容器給水ポンプ	運転可能	可動・不可・不明	調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
10-01-6	B-2 格納容器給水ポンプ	運転可能	可動・不可・不明	調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
10-01-7	格納容器内循環ユニット	使用可能	可動・不可・不明	調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
10-01-8	燃料取扱用ピット可搬型エアリフト	使用可能	可動・不可・不明	調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
10-01-9	燃料取扱用ピット水没計（可搬型）	使用可能	可動・不可・不明	調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
10-01-10	可搬型格納容器内水漏れ検出計測ユニット	使用可能	可動・不可・不明	調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
10-01-11	可搬型アンモニア水濃度計測ユニット	使用可能	可動・不可・不明	調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
10-01-12	格納容器内空気圧縮機	使用可能	可動・不可・不明	調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
10-01-13	格納容器内空気圧縮機	使用可能	可動・不可・不明	調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
10-01-14	燃料取扱用ピット可搬型エアリフト	使用可能	可動・不可・不明	調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
10-01-15	燃料取扱用ピット水没計（可搬型）	使用可能	可動・不可・不明	調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
10-01-16	可搬型格納容器内水漏れ検出計測ユニット	使用可能	可動・不可・不明	調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
10-01-17	可搬型アンモニア水濃度計測ユニット	使用可能	可動・不可・不明	調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
10-01-18	格納容器内空気圧縮機	使用可能	可動・不可・不明	調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
10-01-19	格納容器内空気圧縮機	使用可能	可動・不可・不明	調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
10-01-20	燃料取扱用ピット可搬型エアリフト	使用可能	可動・不可・不明	調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
10-01-21	燃料取扱用ピット水没計（可搬型）	使用可能	可動・不可・不明	調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
10-01-22	可搬型格納容器内水漏れ検出計測ユニット	使用可能	可動・不可・不明	調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
10-01-23	可搬型アンモニア水濃度計測ユニット	使用可能	可動・不可・不明	調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
10-01-24	格納容器内空気圧縮機	使用可能	可動・不可・不明	調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
10-01-25	格納容器内空気圧縮機	使用可能	可動・不可・不明	調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
10-01-26	燃料取扱用ピット可搬型エアリフト	使用可能	可動・不可・不明	調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
10-01-27	燃料取扱用ピット水没計（可搬型）	使用可能	可動・不可・不明	調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
10-01-28	可搬型格納容器内水漏れ検出計測ユニット	使用可能	可動・不可・不明	調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
10-01-29	可搬型アンモニア水濃度計測ユニット	使用可能	可動・不可・不明	調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
10-01-30	格納容器内空気圧縮機	使用可能	可動・不可・不明	調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
10-01-31	格納容器内空気圧縮機	使用可能	可動・不可・不明	調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
10-01-32	燃料取扱用ピット可搬型エアリフト	使用可能	可動・不可・不明	調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
10-01-33	燃料取扱用ピット水没計（可搬型）	使用可能	可動・不可・不明	調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
10-01-34	可搬型格納容器内水漏れ検出計測ユニット	使用可能	可動・不可・不明	調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
10-01-35	可搬型アンモニア水濃度計測ユニット	使用可能	可動・不可・不明	調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
10-01-36	格納容器内空気圧縮機	使用可能	可動・不可・不明	調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
10-01-37	格納容器内空気圧縮機	使用可能	可動・不可・不明	調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
10-01-38	燃料取扱用ピット可搬型エアリフト	使用可能	可動・不可・不明	調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
10-01-39	燃料取扱用ピット水没計（可搬型）	使用可能	可動・不可・不明	調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
10-01-40	可搬型格納容器内水漏れ検出計測ユニット	使用可能	可動・不可・不明	調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
10-01-41	可搬型アンモニア水濃度計測ユニット	使用可能	可動・不可・不明	調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
10-01-42	格納容器内空気圧縮機	使用可能	可動・不可・不明	調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
10-01-43	格納容器内空気圧縮機	使用可能	可動・不可・不明	調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
10-01-44	燃料取扱用ピット可搬型エアリフト	使用可能	可動・不可・不明	調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
10-01-45	燃料取扱用ピット水没計（可搬型）	使用可能	可動・不可・不明	調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
10-01-46	可搬型格納容器内水漏れ検出計測ユニット	使用可能	可動・不可・不明	調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
10-01-47	可搬型アンモニア水濃度計測ユニット	使用可能	可動・不可・不明	調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
10-01-48	格納容器内空気圧縮機	使用可能	可動・不可・不明	調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
10-01-49	格納容器内空気圧縮機	使用可能	可動・不可・不明	調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
10-01-50	燃料取扱用ピット可搬型エアリフト	使用可能	可動・不可・不明	調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
10-01-51	燃料取扱用ピット水没計（可搬型）	使用可能	可動・不可・不明	調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
10-01-52	可搬型格納容器内水漏れ検出計測ユニット	使用可能	可動・不可・不明	調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
10-01-53	可搬型アンモニア水濃度計測ユニット	使用可能	可動・不可・不明	調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
10-01-54	格納容器内空気圧縮機	使用可能	可動・不可・不明	調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
10-01-55	格納容器内空気圧縮機	使用可能	可動・不可・不明	調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
10-01-56	燃料取扱用ピット可搬型エアリフト	使用可能	可動・不可・不明	調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
10-01-57	燃料取扱用ピット水没計（可搬型）	使用可能	可動・不可・不明	調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
10-01-58	可搬型格納容器内水漏れ検出計測ユニット	使用可能	可動・不可・不明	調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
10-01-59	可搬型アンモニア水濃度計測ユニット	使用可能	可動・不可・不明	調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
10-01-60	格納容器内空気圧縮機	使用可能	可動・不可・不明	調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
10-01-61	格納容器内空気圧縮機	使用可能	可動・不可・不明	調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
10-01-62	燃料取扱用ピット可搬型エアリフト	使用可能	可動・不可・不明	調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
10-01-63	燃料取扱用ピット水没計（可搬型）	使用可能	可動・不可・不明	調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
10-01-64	可搬型格納容器内水漏れ検出計測ユニット	使用可能	可動・不可・不明	調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
10-01-65	可搬型アンモニア水濃度計測ユニット	使用可能	可動・不可・不明	調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
10-01-66	格納容器内空気圧縮機	使用可能	可動・不可・不明	調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
10-01-67	格納容器内空気圧縮機	使用可能	可動・不可・不明	調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
10-01-68	燃料取扱用ピット可搬型エアリフト	使用可能	可動・不可・不明	調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
10-01-69	燃料取扱用ピット水没計（可搬型）	使用可能	可動・不可・不明	調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
10-01-70	可搬型格納容器内水漏れ検出計測ユニット	使用可能	可動・不可・不明	調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
10-01-71	可搬型アンモニア水濃度計測ユニット	使用可能	可動・不可・不明	調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
10-01-72	格納容器内空気圧縮機	使用可能	可動・不可・不明	調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
10-01-73	格納容器内空気圧縮機	使用可能	可動・不可・不明	調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
10-01-74	燃料取扱用ピット可搬型エアリフト	使用可能	可動・不可・不明	調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
10-01-75	燃料取扱用ピット水没計（可搬型）	使用可能	可動・不可・不明	調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
10-01-76	可搬型格納容器内水漏れ検出計測ユニット	使用可能	可動・不可・不明	調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
10-01-77	可搬型アンモニア水濃度計測ユニット	使用可能	可動・不可・不明	調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
10-01-78	格納容器内空気圧縮機	使用可能	可動・不可・不明	調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
10-01-79	格納容器内空気圧縮機	使用可能	可動・不可・不明	調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
10-01-80	燃料取扱用ピット可搬型エアリフト	使用可能	可動・不可・不明	調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
10-01-81	燃料取扱用ピット水没計（可搬型）	使用可能	可動・不可・不明	調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
10-01-82	可搬型格納容器内水漏れ検出計測ユニット	使用可能	可動・不可・不明	調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
10-01-83	可搬型アンモニア水濃度計測ユニット	使用可能	可動・不可・不明	調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
10-01-84	格納容器内空気圧縮機	使用可能	可動・不可・不明	調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
10-01-85	格納容器内空気圧縮機	使用可能	可動・不可・不明	調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
10-01-86	燃料取扱用ピット可搬型エアリフト	使用可能	可動・不可・不明	調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
10-01-87	燃料取扱用ピット水没計（可搬型）	使用可能	可動・不可・不明	調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
10-01-88	可搬型格納容器内水漏れ検出計測ユニット	使用可能	可動・不可・不明	調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
10-01-89	可搬型アンモニア水濃度計測ユニット	使用可能	可動・不可・不明	調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

2.1 可搬型設備等による対応

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																																																																																					
	<p>(7)常設設備の確認(2/2)</p> <table border="1" data-bbox="689 204 1216 928"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>項目</th> <th>確認日時 年 月 日 時 分</th> <th>状態</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>22</td><td>原子炉格納容器フィルタベント系</td><td></td><td>使用可能・使用不可・不明</td><td></td></tr> <tr><td>23</td><td>蒸気強化ベント系</td><td></td><td>使用可能・使用不可・不明</td><td></td></tr> <tr><td>24</td><td>タービンバイパス系</td><td></td><td>使用可能・使用不可・不明</td><td></td></tr> <tr><td>25</td><td>非常用蒸気処理系</td><td></td><td>運転中・停止中・電源なし・使用不可・不明</td><td></td></tr> <tr><td>26</td><td>燃料プール冷却浄化系</td><td></td><td>運転中・停止中・電源なし・使用不可・不明</td><td></td></tr> <tr><td>27</td><td>燃料プール補給水系</td><td></td><td>運転中・停止中・電源なし・使用不可・不明</td><td></td></tr> <tr><td>28</td><td>燃料プール排水系（常設配管）</td><td></td><td>使用可能・使用不可・不明</td><td></td></tr> <tr><td>29</td><td>燃料プールのスレイ系（常設配管）</td><td></td><td>使用可能・使用不可・不明</td><td></td></tr> <tr><td>30</td><td>可燃性ガス濃度検知系</td><td></td><td>運転中・停止中・電源なし・使用不可・不明</td><td></td></tr> <tr><td>31</td><td>静的無磁式水素再結合装置</td><td></td><td>使用可能・使用不可・不明</td><td></td></tr> <tr><td>32</td><td>原子炉補機冷却海水系（A）</td><td></td><td>運転中・停止中・電源なし・使用不可・不明</td><td></td></tr> <tr><td>33</td><td>原子炉補機冷却海水系（B）</td><td></td><td>運転中・停止中・電源なし・使用不可・不明</td><td></td></tr> <tr><td>34</td><td>原子炉補機冷却海水系（A）</td><td></td><td>運転中・停止中・電源なし・使用不可・不明</td><td></td></tr> <tr><td>35</td><td>原子炉補機冷却海水系（B）</td><td></td><td>運転中・停止中・電源なし・使用不可・不明</td><td></td></tr> <tr><td>36</td><td>蒸気炉心スプレイ補機冷却水系</td><td></td><td>運転中・停止中・電源なし・使用不可・不明</td><td></td></tr> <tr><td>37</td><td>蒸気炉心スプレイ補機冷却水系</td><td></td><td>運転中・停止中・電源なし・使用不可・不明</td><td></td></tr> <tr><td>38</td><td>タービン補機冷却海水系</td><td></td><td>運転中・停止中・電源なし・使用不可・不明</td><td></td></tr> <tr><td>39</td><td>タービン補機冷却海水系</td><td></td><td>運転中・停止中・電源なし・使用不可・不明</td><td></td></tr> <tr><td>40</td><td>地下水位低下設備</td><td></td><td>運転中・停止中・電源なし・使用不可・不明</td><td></td></tr> <tr><td>41</td><td>原子炉格納容器（R）調整系</td><td></td><td>運転中・停止中・電源なし・使用不可・不明</td><td></td></tr> </tbody> </table> <p data-bbox="878 986 1189 1002">注1：プラント状態確認チェックシートは、今後の判断によって見直し可能である。</p>	番号	項目	確認日時 年 月 日 時 分	状態	備考	22	原子炉格納容器フィルタベント系		使用可能・使用不可・不明		23	蒸気強化ベント系		使用可能・使用不可・不明		24	タービンバイパス系		使用可能・使用不可・不明		25	非常用蒸気処理系		運転中・停止中・電源なし・使用不可・不明		26	燃料プール冷却浄化系		運転中・停止中・電源なし・使用不可・不明		27	燃料プール補給水系		運転中・停止中・電源なし・使用不可・不明		28	燃料プール排水系（常設配管）		使用可能・使用不可・不明		29	燃料プールのスレイ系（常設配管）		使用可能・使用不可・不明		30	可燃性ガス濃度検知系		運転中・停止中・電源なし・使用不可・不明		31	静的無磁式水素再結合装置		使用可能・使用不可・不明		32	原子炉補機冷却海水系（A）		運転中・停止中・電源なし・使用不可・不明		33	原子炉補機冷却海水系（B）		運転中・停止中・電源なし・使用不可・不明		34	原子炉補機冷却海水系（A）		運転中・停止中・電源なし・使用不可・不明		35	原子炉補機冷却海水系（B）		運転中・停止中・電源なし・使用不可・不明		36	蒸気炉心スプレイ補機冷却水系		運転中・停止中・電源なし・使用不可・不明		37	蒸気炉心スプレイ補機冷却水系		運転中・停止中・電源なし・使用不可・不明		38	タービン補機冷却海水系		運転中・停止中・電源なし・使用不可・不明		39	タービン補機冷却海水系		運転中・停止中・電源なし・使用不可・不明		40	地下水位低下設備		運転中・停止中・電源なし・使用不可・不明		41	原子炉格納容器（R）調整系		運転中・停止中・電源なし・使用不可・不明		<p>プラント状態確認チェックシート（6/9）</p> <p>【5号炉】</p> <p>(2) 3号炉D-1/Aーディーゼル発電機燃料供給ポンプ (確認日時: 年 月 日 時 分) (確認者:)</p> <table border="1" data-bbox="1256 212 1787 284"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>項目</th> <th>状態</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>10-C0-1</td><td>Aーディーゼル発電機燃料供給ポンプ</td><td>運転可能</td><td>可能・不可・不明・調査中</td></tr> <tr><td>10-C0-2</td><td>Bーディーゼル発電機燃料供給ポンプ</td><td>運転可能</td><td>可能・不可・不明・調査中</td></tr> </tbody> </table> <p>(3) 3号炉原子炉補助機 (確認日時: 年 月 日 時 分) (確認者:)</p> <table border="1" data-bbox="1256 292 1787 571"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>項目</th> <th>状態</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>10-C0-1</td><td>Aー冷却ポンプ</td><td>運転可能</td><td>可能・不可・不明・調査中</td></tr> <tr><td>10-C0-2</td><td>Bー冷却ポンプ</td><td>運転可能</td><td>可能・不可・不明・調査中</td></tr> <tr><td>10-C0-3</td><td>Cー冷却ポンプ</td><td>運転可能</td><td>可能・不可・不明・調査中</td></tr> <tr><td>10-C0-4</td><td>Aー格納容器スプレイポンプ</td><td>運転可能</td><td>可能・不可・不明・調査中</td></tr> <tr><td>10-C0-5</td><td>Bー格納容器スプレイポンプ</td><td>運転可能</td><td>可能・不可・不明・調査中</td></tr> <tr><td>10-C0-6</td><td>Aー再圧注入ポンプ</td><td>運転可能</td><td>可能・不可・不明・調査中</td></tr> <tr><td>10-C0-7</td><td>Bー再圧注入ポンプ</td><td>運転可能</td><td>可能・不可・不明・調査中</td></tr> <tr><td>10-C0-8</td><td>Aー非熱除去ポンプ</td><td>運転可能</td><td>可能・不可・不明・調査中</td></tr> <tr><td>10-C0-9</td><td>Bー非熱除去ポンプ</td><td>運転可能</td><td>可能・不可・不明・調査中</td></tr> <tr><td>10-C0-10</td><td>Aー排水セットポンプ</td><td>運転可能</td><td>可能・不可・不明・調査中</td></tr> <tr><td>10-C0-11</td><td>Bー排水セットポンプ</td><td>運転可能</td><td>可能・不可・不明・調査中</td></tr> <tr><td>10-C0-12</td><td>使用済燃料セット可搬型スリッパモニタ</td><td>使用可能</td><td>可能・不可・不明・調査中</td></tr> <tr><td>10-C0-13</td><td>加圧蒸気発生機</td><td>使用可能</td><td>可能・不可・不明・調査中</td></tr> <tr><td>10-C0-14</td><td>可搬型蒸気発生機</td><td>使用可能</td><td>可能・不可・不明・調査中</td></tr> </tbody> </table> <p>(4) 3号炉隔離ポンプ (確認日時: 年 月 日 時 分) (確認者:)</p> <table border="1" data-bbox="1256 579 1787 683"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>項目</th> <th>状態</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>10-E0-1</td><td>Aー原子炉補機冷却海水ポンプ</td><td>運転可能</td><td>可能・不可・不明・調査中</td></tr> <tr><td>10-E0-2</td><td>Bー原子炉補機冷却海水ポンプ</td><td>運転可能</td><td>可能・不可・不明・調査中</td></tr> <tr><td>10-E0-3</td><td>Cー原子炉補機冷却海水ポンプ</td><td>運転可能</td><td>可能・不可・不明・調査中</td></tr> <tr><td>10-E0-4</td><td>Dー原子炉補機冷却海水ポンプ</td><td>運転可能</td><td>可能・不可・不明・調査中</td></tr> </tbody> </table> <p>※1：緑色の状態の「可能」には、運転中、動作中を含む。 ※2：当該エリアに稼働目を監視する設備は、運転可能、使用可能な有数を確認し記載する。</p>	番号	項目	状態	備考	10-C0-1	Aーディーゼル発電機燃料供給ポンプ	運転可能	可能・不可・不明・調査中	10-C0-2	Bーディーゼル発電機燃料供給ポンプ	運転可能	可能・不可・不明・調査中	番号	項目	状態	備考	10-C0-1	Aー冷却ポンプ	運転可能	可能・不可・不明・調査中	10-C0-2	Bー冷却ポンプ	運転可能	可能・不可・不明・調査中	10-C0-3	Cー冷却ポンプ	運転可能	可能・不可・不明・調査中	10-C0-4	Aー格納容器スプレイポンプ	運転可能	可能・不可・不明・調査中	10-C0-5	Bー格納容器スプレイポンプ	運転可能	可能・不可・不明・調査中	10-C0-6	Aー再圧注入ポンプ	運転可能	可能・不可・不明・調査中	10-C0-7	Bー再圧注入ポンプ	運転可能	可能・不可・不明・調査中	10-C0-8	Aー非熱除去ポンプ	運転可能	可能・不可・不明・調査中	10-C0-9	Bー非熱除去ポンプ	運転可能	可能・不可・不明・調査中	10-C0-10	Aー排水セットポンプ	運転可能	可能・不可・不明・調査中	10-C0-11	Bー排水セットポンプ	運転可能	可能・不可・不明・調査中	10-C0-12	使用済燃料セット可搬型スリッパモニタ	使用可能	可能・不可・不明・調査中	10-C0-13	加圧蒸気発生機	使用可能	可能・不可・不明・調査中	10-C0-14	可搬型蒸気発生機	使用可能	可能・不可・不明・調査中	番号	項目	状態	備考	10-E0-1	Aー原子炉補機冷却海水ポンプ	運転可能	可能・不可・不明・調査中	10-E0-2	Bー原子炉補機冷却海水ポンプ	運転可能	可能・不可・不明・調査中	10-E0-3	Cー原子炉補機冷却海水ポンプ	運転可能	可能・不可・不明・調査中	10-E0-4	Dー原子炉補機冷却海水ポンプ	運転可能	可能・不可・不明・調査中	<p>【大飯】【女川】 設備及び運用の相違に伴うプラント状態確認項目等の相違</p>
番号	項目	確認日時 年 月 日 時 分	状態	備考																																																																																																																																																																																																				
22	原子炉格納容器フィルタベント系		使用可能・使用不可・不明																																																																																																																																																																																																					
23	蒸気強化ベント系		使用可能・使用不可・不明																																																																																																																																																																																																					
24	タービンバイパス系		使用可能・使用不可・不明																																																																																																																																																																																																					
25	非常用蒸気処理系		運転中・停止中・電源なし・使用不可・不明																																																																																																																																																																																																					
26	燃料プール冷却浄化系		運転中・停止中・電源なし・使用不可・不明																																																																																																																																																																																																					
27	燃料プール補給水系		運転中・停止中・電源なし・使用不可・不明																																																																																																																																																																																																					
28	燃料プール排水系（常設配管）		使用可能・使用不可・不明																																																																																																																																																																																																					
29	燃料プールのスレイ系（常設配管）		使用可能・使用不可・不明																																																																																																																																																																																																					
30	可燃性ガス濃度検知系		運転中・停止中・電源なし・使用不可・不明																																																																																																																																																																																																					
31	静的無磁式水素再結合装置		使用可能・使用不可・不明																																																																																																																																																																																																					
32	原子炉補機冷却海水系（A）		運転中・停止中・電源なし・使用不可・不明																																																																																																																																																																																																					
33	原子炉補機冷却海水系（B）		運転中・停止中・電源なし・使用不可・不明																																																																																																																																																																																																					
34	原子炉補機冷却海水系（A）		運転中・停止中・電源なし・使用不可・不明																																																																																																																																																																																																					
35	原子炉補機冷却海水系（B）		運転中・停止中・電源なし・使用不可・不明																																																																																																																																																																																																					
36	蒸気炉心スプレイ補機冷却水系		運転中・停止中・電源なし・使用不可・不明																																																																																																																																																																																																					
37	蒸気炉心スプレイ補機冷却水系		運転中・停止中・電源なし・使用不可・不明																																																																																																																																																																																																					
38	タービン補機冷却海水系		運転中・停止中・電源なし・使用不可・不明																																																																																																																																																																																																					
39	タービン補機冷却海水系		運転中・停止中・電源なし・使用不可・不明																																																																																																																																																																																																					
40	地下水位低下設備		運転中・停止中・電源なし・使用不可・不明																																																																																																																																																																																																					
41	原子炉格納容器（R）調整系		運転中・停止中・電源なし・使用不可・不明																																																																																																																																																																																																					
番号	項目	状態	備考																																																																																																																																																																																																					
10-C0-1	Aーディーゼル発電機燃料供給ポンプ	運転可能	可能・不可・不明・調査中																																																																																																																																																																																																					
10-C0-2	Bーディーゼル発電機燃料供給ポンプ	運転可能	可能・不可・不明・調査中																																																																																																																																																																																																					
番号	項目	状態	備考																																																																																																																																																																																																					
10-C0-1	Aー冷却ポンプ	運転可能	可能・不可・不明・調査中																																																																																																																																																																																																					
10-C0-2	Bー冷却ポンプ	運転可能	可能・不可・不明・調査中																																																																																																																																																																																																					
10-C0-3	Cー冷却ポンプ	運転可能	可能・不可・不明・調査中																																																																																																																																																																																																					
10-C0-4	Aー格納容器スプレイポンプ	運転可能	可能・不可・不明・調査中																																																																																																																																																																																																					
10-C0-5	Bー格納容器スプレイポンプ	運転可能	可能・不可・不明・調査中																																																																																																																																																																																																					
10-C0-6	Aー再圧注入ポンプ	運転可能	可能・不可・不明・調査中																																																																																																																																																																																																					
10-C0-7	Bー再圧注入ポンプ	運転可能	可能・不可・不明・調査中																																																																																																																																																																																																					
10-C0-8	Aー非熱除去ポンプ	運転可能	可能・不可・不明・調査中																																																																																																																																																																																																					
10-C0-9	Bー非熱除去ポンプ	運転可能	可能・不可・不明・調査中																																																																																																																																																																																																					
10-C0-10	Aー排水セットポンプ	運転可能	可能・不可・不明・調査中																																																																																																																																																																																																					
10-C0-11	Bー排水セットポンプ	運転可能	可能・不可・不明・調査中																																																																																																																																																																																																					
10-C0-12	使用済燃料セット可搬型スリッパモニタ	使用可能	可能・不可・不明・調査中																																																																																																																																																																																																					
10-C0-13	加圧蒸気発生機	使用可能	可能・不可・不明・調査中																																																																																																																																																																																																					
10-C0-14	可搬型蒸気発生機	使用可能	可能・不可・不明・調査中																																																																																																																																																																																																					
番号	項目	状態	備考																																																																																																																																																																																																					
10-E0-1	Aー原子炉補機冷却海水ポンプ	運転可能	可能・不可・不明・調査中																																																																																																																																																																																																					
10-E0-2	Bー原子炉補機冷却海水ポンプ	運転可能	可能・不可・不明・調査中																																																																																																																																																																																																					
10-E0-3	Cー原子炉補機冷却海水ポンプ	運転可能	可能・不可・不明・調査中																																																																																																																																																																																																					
10-E0-4	Dー原子炉補機冷却海水ポンプ	運転可能	可能・不可・不明・調査中																																																																																																																																																																																																					

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

2.1 可搬型設備等による対応

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
<p>大規模稼働時プラント状態確認チェックシート（7/9）</p> <p>(4) 可搬型重大事故等対応設備等</p> <p>a. 1、2号炉前道路エリア (E.L.+約30m以上) 【ステップ4】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>確認者</th> <th>確認日時</th> <th>平成</th> <th>年</th> <th>月</th> <th>日</th> <th>時</th> <th>分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th>番号</th> <th>項目</th> <th>状態</th> <th>備考</th> <td colspan="5"></td> </tr> <tr> <td>11-(4)-1</td> <td>4号 電源車</td> <td>運転可能</td> <td>はい・いいえ・不明・調査中</td> <td colspan="5"></td> </tr> <tr> <td>11-(4)-2</td> <td>4号 電源車 (可搬式代替貯圧注水ポンプ用)</td> <td>運転可能</td> <td>はい・いいえ・不明・調査中</td> <td colspan="5"></td> </tr> <tr> <td>11-(4)-3</td> <td>4号 可搬式代替貯圧注水ポンプ</td> <td>運転可能</td> <td>はい・いいえ・不明・調査中</td> <td colspan="5"></td> </tr> <tr> <td>11-(4)-4</td> <td>4号 スプレッドヘッド</td> <td>使用可能</td> <td>はい・いいえ・不明・調査中</td> <td colspan="5"></td> </tr> <tr> <td>11-(4)-5</td> <td>4号 仮設組立式水槽</td> <td>使用可能</td> <td>はい・いいえ・不明・調査中</td> <td colspan="5"></td> </tr> <tr> <td>11-(4)-6</td> <td>大容量ポンプ</td> <td>運転可能</td> <td>はい・いいえ・不明・調査中</td> <td colspan="5"></td> </tr> <tr> <td>11-(4)-7</td> <td>大容量ポンプ(放水用)</td> <td>運転可能</td> <td>はい・いいえ・不明・調査中</td> <td colspan="5"></td> </tr> <tr> <td>11-(4)-8</td> <td>放水塔</td> <td>使用可能</td> <td>はい・いいえ・不明・調査中</td> <td colspan="5"></td> </tr> <tr> <td>11-(4)-9</td> <td>高圧容器</td> <td>使用可能</td> <td>はい・いいえ・不明・調査中</td> <td colspan="5"></td> </tr> <tr> <td>11-(4)-10</td> <td>タンクローリー</td> <td>使用可能</td> <td>はい・いいえ・不明・調査中</td> <td colspan="5"></td> </tr> <tr> <td>11-(4)-11</td> <td>シルトフェンス</td> <td>使用可能</td> <td>はい・いいえ・不明・調査中</td> <td colspan="5"></td> </tr> <tr> <td>11-(4)-12</td> <td>電源車(緊急時対応用)</td> <td>運転可能</td> <td>はい・いいえ・不明・調査中</td> <td colspan="5"></td> </tr> <tr> <td>11-(4)-13</td> <td>ブルドーザー</td> <td>運転可能</td> <td>はい・いいえ・不明・調査中</td> <td colspan="5"></td> </tr> <tr> <td>11-(4)-14</td> <td>4号 送水車</td> <td>運転可能</td> <td>はい・いいえ・不明・調査中</td> <td colspan="5"></td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 本表に損傷がなく移動できる状況であれば「はい」とする。 ※2 健全台数を確認し備考欄へ記載する。</p> <p>b. 3、4号炉前道路エリア (E.L.+約30m以上) 【ステップ4】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>確認者</th> <th>確認日時</th> <th>平成</th> <th>年</th> <th>月</th> <th>日</th> <th>時</th> <th>分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th>番号</th> <th>項目</th> <th>状態</th> <th>備考</th> <td colspan="5"></td> </tr> <tr> <td>11-(4)-15</td> <td>3号 空冷式非常用発電装置</td> <td>運転可能</td> <td>はい・いいえ・不明・調査中</td> <td colspan="5"></td> </tr> <tr> <td>11-(4)-16</td> <td>ポンプ車</td> <td>運転可能</td> <td>はい・いいえ・不明・調査中</td> <td colspan="5"></td> </tr> <tr> <td>11-(4)-17</td> <td>3号 電源車</td> <td>運転可能</td> <td>はい・いいえ・不明・調査中</td> <td colspan="5"></td> </tr> <tr> <td>11-(4)-18</td> <td>3号 電源車 (可搬式代替貯圧注水ポンプ用)</td> <td>運転可能</td> <td>はい・いいえ・不明・調査中</td> <td colspan="5"></td> </tr> <tr> <td>11-(4)-19</td> <td>3号 可搬式代替貯圧注水ポンプ</td> <td>運転可能</td> <td>はい・いいえ・不明・調査中</td> <td colspan="5"></td> </tr> <tr> <td>11-(4)-20</td> <td>3号 スプレッドヘッド</td> <td>使用可能</td> <td>はい・いいえ・不明・調査中</td> <td colspan="5"></td> </tr> <tr> <td>11-(4)-21</td> <td>3号 仮設組立式水槽</td> <td>使用可能</td> <td>はい・いいえ・不明・調査中</td> <td colspan="5"></td> </tr> <tr> <td>11-(4)-22</td> <td>3号 送水車</td> <td>運転可能</td> <td>はい・いいえ・不明・調査中</td> <td colspan="5"></td> </tr> <tr> <td>11-(4)-23</td> <td>4号 空冷式非常用発電装置</td> <td>運転可能</td> <td>はい・いいえ・不明・調査中</td> <td colspan="5"></td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 本表に損傷がなく移動又は使用できる状況であれば「はい」とする。 ※2 健全台数を確認し備考欄へ記載する。</p>	確認者	確認日時	平成	年	月	日	時	分	番号	項目	状態	備考						11-(4)-1	4号 電源車	運転可能	はい・いいえ・不明・調査中						11-(4)-2	4号 電源車 (可搬式代替貯圧注水ポンプ用)	運転可能	はい・いいえ・不明・調査中						11-(4)-3	4号 可搬式代替貯圧注水ポンプ	運転可能	はい・いいえ・不明・調査中						11-(4)-4	4号 スプレッドヘッド	使用可能	はい・いいえ・不明・調査中						11-(4)-5	4号 仮設組立式水槽	使用可能	はい・いいえ・不明・調査中						11-(4)-6	大容量ポンプ	運転可能	はい・いいえ・不明・調査中						11-(4)-7	大容量ポンプ(放水用)	運転可能	はい・いいえ・不明・調査中						11-(4)-8	放水塔	使用可能	はい・いいえ・不明・調査中						11-(4)-9	高圧容器	使用可能	はい・いいえ・不明・調査中						11-(4)-10	タンクローリー	使用可能	はい・いいえ・不明・調査中						11-(4)-11	シルトフェンス	使用可能	はい・いいえ・不明・調査中						11-(4)-12	電源車(緊急時対応用)	運転可能	はい・いいえ・不明・調査中						11-(4)-13	ブルドーザー	運転可能	はい・いいえ・不明・調査中						11-(4)-14	4号 送水車	運転可能	はい・いいえ・不明・調査中						確認者	確認日時	平成	年	月	日	時	分	番号	項目	状態	備考						11-(4)-15	3号 空冷式非常用発電装置	運転可能	はい・いいえ・不明・調査中						11-(4)-16	ポンプ車	運転可能	はい・いいえ・不明・調査中						11-(4)-17	3号 電源車	運転可能	はい・いいえ・不明・調査中						11-(4)-18	3号 電源車 (可搬式代替貯圧注水ポンプ用)	運転可能	はい・いいえ・不明・調査中						11-(4)-19	3号 可搬式代替貯圧注水ポンプ	運転可能	はい・いいえ・不明・調査中						11-(4)-20	3号 スプレッドヘッド	使用可能	はい・いいえ・不明・調査中						11-(4)-21	3号 仮設組立式水槽	使用可能	はい・いいえ・不明・調査中						11-(4)-22	3号 送水車	運転可能	はい・いいえ・不明・調査中						11-(4)-23	4号 空冷式非常用発電装置	運転可能	はい・いいえ・不明・調査中						<p>(8) 可搬型設備及び資機材の確認 (1/4)</p> <p>8-1 第1保管エリア</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>確認者</th> <th>確認日時</th> <th>平成</th> <th>年</th> <th>月</th> <th>日</th> <th>時</th> <th>分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th>番号</th> <th>項目</th> <th>状態</th> <th>備考</th> <td colspan="5"></td> </tr> <tr> <td>1</td> <td>ブルドーザー</td> <td>使用可能・使用不可・不明</td> <td></td> <td colspan="5"></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>大容量送水ポンプ (タイプ1)</td> <td>使用可能・使用不可・不明</td> <td></td> <td colspan="5"></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>原子炉補修代替給水加熱交換器ユニット</td> <td>使用可能・使用不可・不明</td> <td></td> <td colspan="5"></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>緊急補給装置</td> <td>使用可能・使用不可・不明</td> <td></td> <td colspan="5"></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>可搬型空冷式発電装置</td> <td>使用可能・使用不可・不明</td> <td></td> <td colspan="5"></td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>大容量送水ポンプ (タイプ1)</td> <td>使用可能・使用不可・不明</td> <td></td> <td colspan="5"></td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>小型船舶</td> <td>使用可能・使用不可・不明</td> <td></td> <td colspan="5"></td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>ホイールローダー</td> <td>使用可能・使用不可・不明</td> <td></td> <td colspan="5"></td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>バックホウ</td> <td>使用可能・使用不可・不明</td> <td></td> <td colspan="5"></td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>大型化学所高圧水車</td> <td>使用可能・使用不可・不明</td> <td></td> <td colspan="5"></td> </tr> <tr> <td>11</td> <td>急降補給装置</td> <td>使用可能・使用不可・不明</td> <td></td> <td colspan="5"></td> </tr> <tr> <td>12</td> <td>モニタリングカー</td> <td>使用可能・使用不可・不明</td> <td></td> <td colspan="5"></td> </tr> <tr> <td>13</td> <td>放水車</td> <td>使用可能・使用不可・不明</td> <td></td> <td colspan="5"></td> </tr> <tr> <td>14</td> <td>シルトフェンス</td> <td>使用可能・使用不可・不明</td> <td></td> <td colspan="5"></td> </tr> <tr> <td>15</td> <td>放射線物質貯蔵庫</td> <td>使用可能・使用不可・不明</td> <td></td> <td colspan="5"></td> </tr> <tr> <td>16</td> <td>可搬型モニタリングポスト</td> <td>使用可能・使用不可・不明</td> <td></td> <td colspan="5"></td> </tr> <tr> <td>17</td> <td>急降式高圧混合装置</td> <td>使用可能・使用不可・不明</td> <td></td> <td colspan="5"></td> </tr> </tbody> </table>	確認者	確認日時	平成	年	月	日	時	分	番号	項目	状態	備考						1	ブルドーザー	使用可能・使用不可・不明							2	大容量送水ポンプ (タイプ1)	使用可能・使用不可・不明							3	原子炉補修代替給水加熱交換器ユニット	使用可能・使用不可・不明							4	緊急補給装置	使用可能・使用不可・不明							5	可搬型空冷式発電装置	使用可能・使用不可・不明							6	大容量送水ポンプ (タイプ1)	使用可能・使用不可・不明							7	小型船舶	使用可能・使用不可・不明							8	ホイールローダー	使用可能・使用不可・不明							9	バックホウ	使用可能・使用不可・不明							10	大型化学所高圧水車	使用可能・使用不可・不明							11	急降補給装置	使用可能・使用不可・不明							12	モニタリングカー	使用可能・使用不可・不明							13	放水車	使用可能・使用不可・不明							14	シルトフェンス	使用可能・使用不可・不明							15	放射線物質貯蔵庫	使用可能・使用不可・不明							16	可搬型モニタリングポスト	使用可能・使用不可・不明							17	急降式高圧混合装置	使用可能・使用不可・不明							<p>プラント状態確認チェックシート (7/9)</p> <p>【ステップ4】</p> <p>(5) 屋外 (確認日時: 年 月 日 時 分) (確認者:)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>項目</th> <th>状態</th> <th>備考</th> <td colspan="4"></td> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>11-(5)-1</td> <td>ディーゼル駆動式ポンプ</td> <td>運転可能</td> <td>可動・不可・不明・調査中</td> <td>3号炉給排水処理装置</td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td>11-(5)-2</td> <td>燃料油駆動式ポンプ</td> <td>運転可能</td> <td>可動・不可・不明・調査中</td> <td>3号炉給排水処理装置</td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td>11-(5)-3</td> <td>A-1燃料貯蔵槽</td> <td>使用可能</td> <td>可動・不可・不明・調査中</td> <td colspan="4"></td> </tr> <tr> <td>11-(5)-4</td> <td>A-2燃料貯蔵槽</td> <td>使用可能</td> <td>可動・不可・不明・調査中</td> <td colspan="4"></td> </tr> <tr> <td>11-(5)-5</td> <td>B-1燃料貯蔵槽</td> <td>使用可能</td> <td>可動・不可・不明・調査中</td> <td colspan="4"></td> </tr> <tr> <td>11-(5)-6</td> <td>B-2燃料貯蔵槽</td> <td>使用可能</td> <td>可動・不可・不明・調査中</td> <td colspan="4"></td> </tr> <tr> <td>11-(5)-7</td> <td>冷却給水ポンプ</td> <td>使用可能</td> <td>可動・不可・不明・調査中</td> <td colspan="4"></td> </tr> <tr> <td>11-(5)-8</td> <td>取水塔</td> <td>使用可能</td> <td>可動・不可・不明・調査中</td> <td colspan="4"></td> </tr> <tr> <td>11-(5)-9</td> <td>2次冷却水タンク</td> <td>使用可能</td> <td>可動・不可・不明・調査中</td> <td colspan="4"></td> </tr> <tr> <td>11-(5)-10</td> <td>1、2号炉冷却水タンク</td> <td>使用可能</td> <td>可動・不可・不明・調査中</td> <td colspan="4"></td> </tr> <tr> <td>11-(5)-11</td> <td>3号炉冷却水タンク</td> <td>使用可能</td> <td>可動・不可・不明・調査中</td> <td colspan="4"></td> </tr> <tr> <td>11-(5)-12</td> <td>取水塔</td> <td>使用可能</td> <td>可動・不可・不明・調査中</td> <td colspan="4"></td> </tr> <tr> <td>11-(5)-13</td> <td>3号炉スクリーン架</td> <td>使用可能</td> <td>可動・不可・不明・調査中</td> <td>取水取水装置</td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td>11-(5)-14</td> <td>3号炉取水口</td> <td>使用可能</td> <td>可動・不可・不明・調査中</td> <td>取水取水装置</td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td>11-(5)-15</td> <td>1、2号炉スクリーン架</td> <td>使用可能</td> <td>可動・不可・不明・調査中</td> <td>取水取水装置</td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td>11-(5)-16</td> <td>1、2号炉取水口</td> <td>使用可能</td> <td>可動・不可・不明・調査中</td> <td>取水取水装置</td> <td colspan="3"></td> </tr> </tbody> </table> <p>(6) 5m合衆車庫エリア (確認日時: 年 月 日 時 分) (確認者:)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>項目</th> <th>状態</th> <th>備考</th> <td colspan="4"></td> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>11-(6)-1</td> <td>可搬型大容量送水ポンプ車</td> <td>運転可能</td> <td>可動・不可・不明・調査中</td> <td>(台2台)</td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td>11-(6)-2</td> <td>可搬型スプレッドヘッド</td> <td>使用可能</td> <td>可動・不可・不明・調査中</td> <td>(台2台)</td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td>11-(6)-3</td> <td>可搬型大容量送水ポンプ車</td> <td>運転可能</td> <td>可動・不可・不明・調査中</td> <td>(台2台)</td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td>11-(6)-4</td> <td>放水車</td> <td>使用可能</td> <td>可動・不可・不明・調査中</td> <td colspan="4"></td> </tr> <tr> <td>11-(6)-5</td> <td>燃料油貯蔵槽</td> <td>運転可能</td> <td>可動・不可・不明・調査中</td> <td colspan="4"></td> </tr> <tr> <td>11-(6)-6</td> <td>燃料油貯蔵槽</td> <td>使用可能</td> <td>可動・不可・不明・調査中</td> <td colspan="4"></td> </tr> <tr> <td>11-(6)-7</td> <td>化学貯蔵槽車</td> <td>運転可能</td> <td>可動・不可・不明・調査中</td> <td colspan="4"></td> </tr> <tr> <td>11-(6)-8</td> <td>放射線貯蔵槽自動車</td> <td>運転可能</td> <td>可動・不可・不明・調査中</td> <td colspan="4"></td> </tr> <tr> <td>11-(6)-9</td> <td>大規模火災用消防自動車</td> <td>運転可能</td> <td>可動・不可・不明・調査中</td> <td colspan="4"></td> </tr> <tr> <td>11-(6)-10</td> <td>燃料油貯蔵槽</td> <td>使用可能</td> <td>可動・不可・不明・調査中</td> <td>(台2台)</td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td>11-(6)-11</td> <td>シルトフェンス</td> <td>使用可能</td> <td>可動・不可・不明・調査中</td> <td colspan="4"></td> </tr> <tr> <td>11-(6)-12</td> <td>ホース巻取・回収車 (放水用)</td> <td>運転可能</td> <td>可動・不可・不明・調査中</td> <td>資機材</td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td>11-(6)-13</td> <td>ホース巻取・回収車 (放水用)</td> <td>運転可能</td> <td>可動・不可・不明・調査中</td> <td>資機材</td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td>11-(6)-14</td> <td>燃料油貯蔵槽</td> <td>運転可能</td> <td>可動・不可・不明・調査中</td> <td>資機材</td> <td colspan="3"></td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 種別が不明な「可動」は、運転時・動作不可含む。 ※2 当該エリアに複数の有数量の設備は、運転可能・使用可能な台数を確認し記載する。</p>	番号	項目	状態	備考					11-(5)-1	ディーゼル駆動式ポンプ	運転可能	可動・不可・不明・調査中	3号炉給排水処理装置				11-(5)-2	燃料油駆動式ポンプ	運転可能	可動・不可・不明・調査中	3号炉給排水処理装置				11-(5)-3	A-1燃料貯蔵槽	使用可能	可動・不可・不明・調査中					11-(5)-4	A-2燃料貯蔵槽	使用可能	可動・不可・不明・調査中					11-(5)-5	B-1燃料貯蔵槽	使用可能	可動・不可・不明・調査中					11-(5)-6	B-2燃料貯蔵槽	使用可能	可動・不可・不明・調査中					11-(5)-7	冷却給水ポンプ	使用可能	可動・不可・不明・調査中					11-(5)-8	取水塔	使用可能	可動・不可・不明・調査中					11-(5)-9	2次冷却水タンク	使用可能	可動・不可・不明・調査中					11-(5)-10	1、2号炉冷却水タンク	使用可能	可動・不可・不明・調査中					11-(5)-11	3号炉冷却水タンク	使用可能	可動・不可・不明・調査中					11-(5)-12	取水塔	使用可能	可動・不可・不明・調査中					11-(5)-13	3号炉スクリーン架	使用可能	可動・不可・不明・調査中	取水取水装置				11-(5)-14	3号炉取水口	使用可能	可動・不可・不明・調査中	取水取水装置				11-(5)-15	1、2号炉スクリーン架	使用可能	可動・不可・不明・調査中	取水取水装置				11-(5)-16	1、2号炉取水口	使用可能	可動・不可・不明・調査中	取水取水装置				番号	項目	状態	備考					11-(6)-1	可搬型大容量送水ポンプ車	運転可能	可動・不可・不明・調査中	(台2台)				11-(6)-2	可搬型スプレッドヘッド	使用可能	可動・不可・不明・調査中	(台2台)				11-(6)-3	可搬型大容量送水ポンプ車	運転可能	可動・不可・不明・調査中	(台2台)				11-(6)-4	放水車	使用可能	可動・不可・不明・調査中					11-(6)-5	燃料油貯蔵槽	運転可能	可動・不可・不明・調査中					11-(6)-6	燃料油貯蔵槽	使用可能	可動・不可・不明・調査中					11-(6)-7	化学貯蔵槽車	運転可能	可動・不可・不明・調査中					11-(6)-8	放射線貯蔵槽自動車	運転可能	可動・不可・不明・調査中					11-(6)-9	大規模火災用消防自動車	運転可能	可動・不可・不明・調査中					11-(6)-10	燃料油貯蔵槽	使用可能	可動・不可・不明・調査中	(台2台)				11-(6)-11	シルトフェンス	使用可能	可動・不可・不明・調査中					11-(6)-12	ホース巻取・回収車 (放水用)	運転可能	可動・不可・不明・調査中	資機材				11-(6)-13	ホース巻取・回収車 (放水用)	運転可能	可動・不可・不明・調査中	資機材				11-(6)-14	燃料油貯蔵槽	運転可能	可動・不可・不明・調査中	資機材				<p>【大飯】【女川】 設備及び運用の相違に伴うプラント状態確認項目等の相違</p>
確認者	確認日時	平成	年	月	日	時	分																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
番号	項目	状態	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
11-(4)-1	4号 電源車	運転可能	はい・いいえ・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
11-(4)-2	4号 電源車 (可搬式代替貯圧注水ポンプ用)	運転可能	はい・いいえ・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
11-(4)-3	4号 可搬式代替貯圧注水ポンプ	運転可能	はい・いいえ・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
11-(4)-4	4号 スプレッドヘッド	使用可能	はい・いいえ・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
11-(4)-5	4号 仮設組立式水槽	使用可能	はい・いいえ・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
11-(4)-6	大容量ポンプ	運転可能	はい・いいえ・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
11-(4)-7	大容量ポンプ(放水用)	運転可能	はい・いいえ・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
11-(4)-8	放水塔	使用可能	はい・いいえ・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
11-(4)-9	高圧容器	使用可能	はい・いいえ・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
11-(4)-10	タンクローリー	使用可能	はい・いいえ・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
11-(4)-11	シルトフェンス	使用可能	はい・いいえ・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
11-(4)-12	電源車(緊急時対応用)	運転可能	はい・いいえ・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
11-(4)-13	ブルドーザー	運転可能	はい・いいえ・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
11-(4)-14	4号 送水車	運転可能	はい・いいえ・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
確認者	確認日時	平成	年	月	日	時	分																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
番号	項目	状態	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
11-(4)-15	3号 空冷式非常用発電装置	運転可能	はい・いいえ・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
11-(4)-16	ポンプ車	運転可能	はい・いいえ・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
11-(4)-17	3号 電源車	運転可能	はい・いいえ・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
11-(4)-18	3号 電源車 (可搬式代替貯圧注水ポンプ用)	運転可能	はい・いいえ・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
11-(4)-19	3号 可搬式代替貯圧注水ポンプ	運転可能	はい・いいえ・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
11-(4)-20	3号 スプレッドヘッド	使用可能	はい・いいえ・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
11-(4)-21	3号 仮設組立式水槽	使用可能	はい・いいえ・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
11-(4)-22	3号 送水車	運転可能	はい・いいえ・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
11-(4)-23	4号 空冷式非常用発電装置	運転可能	はい・いいえ・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
確認者	確認日時	平成	年	月	日	時	分																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
番号	項目	状態	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
1	ブルドーザー	使用可能・使用不可・不明																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
2	大容量送水ポンプ (タイプ1)	使用可能・使用不可・不明																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
3	原子炉補修代替給水加熱交換器ユニット	使用可能・使用不可・不明																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
4	緊急補給装置	使用可能・使用不可・不明																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
5	可搬型空冷式発電装置	使用可能・使用不可・不明																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
6	大容量送水ポンプ (タイプ1)	使用可能・使用不可・不明																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
7	小型船舶	使用可能・使用不可・不明																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
8	ホイールローダー	使用可能・使用不可・不明																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
9	バックホウ	使用可能・使用不可・不明																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
10	大型化学所高圧水車	使用可能・使用不可・不明																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
11	急降補給装置	使用可能・使用不可・不明																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
12	モニタリングカー	使用可能・使用不可・不明																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
13	放水車	使用可能・使用不可・不明																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
14	シルトフェンス	使用可能・使用不可・不明																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
15	放射線物質貯蔵庫	使用可能・使用不可・不明																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
16	可搬型モニタリングポスト	使用可能・使用不可・不明																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
17	急降式高圧混合装置	使用可能・使用不可・不明																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
番号	項目	状態	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
11-(5)-1	ディーゼル駆動式ポンプ	運転可能	可動・不可・不明・調査中	3号炉給排水処理装置																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
11-(5)-2	燃料油駆動式ポンプ	運転可能	可動・不可・不明・調査中	3号炉給排水処理装置																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
11-(5)-3	A-1燃料貯蔵槽	使用可能	可動・不可・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
11-(5)-4	A-2燃料貯蔵槽	使用可能	可動・不可・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
11-(5)-5	B-1燃料貯蔵槽	使用可能	可動・不可・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
11-(5)-6	B-2燃料貯蔵槽	使用可能	可動・不可・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
11-(5)-7	冷却給水ポンプ	使用可能	可動・不可・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
11-(5)-8	取水塔	使用可能	可動・不可・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
11-(5)-9	2次冷却水タンク	使用可能	可動・不可・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
11-(5)-10	1、2号炉冷却水タンク	使用可能	可動・不可・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
11-(5)-11	3号炉冷却水タンク	使用可能	可動・不可・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
11-(5)-12	取水塔	使用可能	可動・不可・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
11-(5)-13	3号炉スクリーン架	使用可能	可動・不可・不明・調査中	取水取水装置																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
11-(5)-14	3号炉取水口	使用可能	可動・不可・不明・調査中	取水取水装置																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
11-(5)-15	1、2号炉スクリーン架	使用可能	可動・不可・不明・調査中	取水取水装置																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
11-(5)-16	1、2号炉取水口	使用可能	可動・不可・不明・調査中	取水取水装置																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
番号	項目	状態	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
11-(6)-1	可搬型大容量送水ポンプ車	運転可能	可動・不可・不明・調査中	(台2台)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
11-(6)-2	可搬型スプレッドヘッド	使用可能	可動・不可・不明・調査中	(台2台)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
11-(6)-3	可搬型大容量送水ポンプ車	運転可能	可動・不可・不明・調査中	(台2台)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
11-(6)-4	放水車	使用可能	可動・不可・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
11-(6)-5	燃料油貯蔵槽	運転可能	可動・不可・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
11-(6)-6	燃料油貯蔵槽	使用可能	可動・不可・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
11-(6)-7	化学貯蔵槽車	運転可能	可動・不可・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
11-(6)-8	放射線貯蔵槽自動車	運転可能	可動・不可・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
11-(6)-9	大規模火災用消防自動車	運転可能	可動・不可・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
11-(6)-10	燃料油貯蔵槽	使用可能	可動・不可・不明・調査中	(台2台)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
11-(6)-11	シルトフェンス	使用可能	可動・不可・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
11-(6)-12	ホース巻取・回収車 (放水用)	運転可能	可動・不可・不明・調査中	資機材																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
11-(6)-13	ホース巻取・回収車 (放水用)	運転可能	可動・不可・不明・調査中	資機材																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
11-(6)-14	燃料油貯蔵槽	運転可能	可動・不可・不明・調査中	資機材																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
<p>大規模稼働時プラント状態確認チェックシート (8/9)</p> <p>c. 3、4号重油タンク近傍エリア (E.L.+約30m以上) 【ステップ4】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>確認者</th> <th>確認日時</th> <th>平成</th> <th>年</th> <th>月</th> <th>日</th> <th>時</th> <th>分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th>番号</th> <th>項目</th> <th>状態</th> <th>備考</th> <td colspan="5"></td> </tr> <tr> <td>11-(4)-24</td> <td>ブルドーザー</td> <td>運転可能</td> <td>はい・いいえ・不明・調査中</td> <td colspan="5"></td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 本表に損傷がなく移動できる状況であれば「はい」とする。</p> <p>d. 1、2号重油タンク近傍エリア (E.L.+約30m以上) 【ステップ4】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>確認者</th> <th>確認日時</th> <th>平成</th> <th>年</th> <th>月</th> <th>日</th> <th>時</th> <th>分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th>番号</th> <th>項目</th> <th>状態</th> <th>備考</th> <td colspan="5"></td> </tr> <tr> <td>11-(4)-25</td> <td>3号 電源車</td> <td>運転可能</td> <td>はい・いいえ・不明・調査中</td> <td colspan="5"></td> </tr> <tr> <td>11-(4)-26</td> <td>4号 電源車</td> <td>運転可能</td> <td>はい・いいえ・不明・調査中</td> <td colspan="5"></td> </tr> <tr> <td>11-(4)-27</td> <td>3号 電源車 (可搬式代替貯圧注水ポンプ用)</td> <td>運転可能</td> <td>はい・いいえ・不明・調査中</td> <td colspan="5"></td> </tr> <tr> <td>11-(4)-28</td> <td>4号 電源車 (可搬式代替貯圧注水ポンプ用)</td> <td>運転可能</td> <td>はい・いいえ・不明・調査中</td> <td colspan="5"></td> </tr> <tr> <td>11-(4)-29</td> <td>3号 可搬式代替貯圧注水ポンプ</td> <td>運転可能</td> <td>はい・いいえ・不明・調査中</td> <td colspan="5"></td> </tr> <tr> <td>11-(4)-30</td> <td>3号 仮設組立式水槽</td> <td>使用可能</td> <td>はい・いいえ・不明・調査中</td> <td colspan="5"></td> </tr> <tr> <td>11-(4)-31</td> <td>4号 可搬式代替貯圧注水ポンプ</td> <td>運転可能</td> <td>はい・いいえ・不明・調査中</td> <td colspan="5"></td> </tr> <tr> <td>11-(4)-32</td> <td>4号 仮設組立式水槽</td> <td>使用可能</td> <td>はい・いいえ・不明・調査中</td> <td colspan="5"></td> </tr> <tr> <td>11-(4)-33</td> <td>大容量ポンプ</td> <td>運転可能</td> <td>はい・いいえ・不明・調査中</td> <td colspan="5"></td> </tr> <tr> <td>11-(4)-34</td> <td>3号 送水車</td> <td>運転可能</td> <td>はい・いいえ・不明・調査中</td> <td colspan="5"></td> </tr> <tr> <td>11-(4)-35</td> <td>4号 送水車</td> <td>運転可能</td> <td>はい・いいえ・不明・調査中</td> <td colspan="5"></td> </tr> <tr> <td>11-(4)-36</td> <td>シルトフェンス</td> <td>使用可能</td> <td>はい・いいえ・不明・調査中</td> <td colspan="5"></td> </tr> <tr> <td>11-(4)-37</td> <td>タンクローリー</td> <td>使用可能</td> <td>はい・いいえ・不明・調査中</td> <td colspan="5"></td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 本表に損傷がなく移動できる状況であれば「はい」とする。</p>	確認者	確認日時	平成	年	月	日	時	分	番号	項目	状態	備考						11-(4)-24	ブルドーザー	運転可能	はい・いいえ・不明・調査中						確認者	確認日時	平成	年	月	日	時	分	番号	項目	状態	備考						11-(4)-25	3号 電源車	運転可能	はい・いいえ・不明・調査中						11-(4)-26	4号 電源車	運転可能	はい・いいえ・不明・調査中						11-(4)-27	3号 電源車 (可搬式代替貯圧注水ポンプ用)	運転可能	はい・いいえ・不明・調査中						11-(4)-28	4号 電源車 (可搬式代替貯圧注水ポンプ用)	運転可能	はい・いいえ・不明・調査中						11-(4)-29	3号 可搬式代替貯圧注水ポンプ	運転可能	はい・いいえ・不明・調査中						11-(4)-30	3号 仮設組立式水槽	使用可能	はい・いいえ・不明・調査中						11-(4)-31	4号 可搬式代替貯圧注水ポンプ	運転可能	はい・いいえ・不明・調査中						11-(4)-32	4号 仮設組立式水槽	使用可能	はい・いいえ・不明・調査中						11-(4)-33	大容量ポンプ	運転可能	はい・いいえ・不明・調査中						11-(4)-34	3号 送水車	運転可能	はい・いいえ・不明・調査中						11-(4)-35	4号 送水車	運転可能	はい・いいえ・不明・調査中						11-(4)-36	シルトフェンス	使用可能	はい・いいえ・不明・調査中						11-(4)-37	タンクローリー	使用可能	はい・いいえ・不明・調査中						<p>注) プラント状態確認チェックシートは、今後の稼働によって変更可能な項目がある</p>																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
確認者	確認日時	平成	年	月	日	時	分																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
番号	項目	状態	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
11-(4)-24	ブルドーザー	運転可能	はい・いいえ・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
確認者	確認日時	平成	年	月	日	時	分																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
番号	項目	状態	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
11-(4)-25	3号 電源車	運転可能	はい・いいえ・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
11-(4)-26	4号 電源車	運転可能	はい・いいえ・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
11-(4)-27	3号 電源車 (可搬式代替貯圧注水ポンプ用)	運転可能	はい・いいえ・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
11-(4)-28	4号 電源車 (可搬式代替貯圧注水ポンプ用)	運転可能	はい・いいえ・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
11-(4)-29	3号 可搬式代替貯圧注水ポンプ	運転可能	はい・いいえ・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
11-(4)-30	3号 仮設組立式水槽	使用可能	はい・いいえ・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
11-(4)-31	4号 可搬式代替貯圧注水ポンプ	運転可能	はい・いいえ・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
11-(4)-32	4号 仮設組立式水槽	使用可能	はい・いいえ・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
11-(4)-33	大容量ポンプ	運転可能	はい・いいえ・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
11-(4)-34	3号 送水車	運転可能	はい・いいえ・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
11-(4)-35	4号 送水車	運転可能	はい・いいえ・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
11-(4)-36	シルトフェンス	使用可能	はい・いいえ・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
11-(4)-37	タンクローリー	使用可能	はい・いいえ・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

2.1 可搬型設備等による対応

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
<p>大飯電機時プラント状態確認チェックシート (9 / 9)</p> <p>1. 目見トランスエリア (北:平均5m以上) 【ステップ4】</p> <p>確認者 確認日時 平成 年 月 日 時 分</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>項目</th> <th>状態</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>11-(4)-28</td> <td>電源車 (予備機) 運転可能</td> <td>はい・いいえ・不明・調査中</td> <td></td> </tr> <tr> <td>11-(4)-29</td> <td>電源車 (可搬式代替用圧注水ポンプ用) (予備機) 運転可能</td> <td>はい・いいえ・不明・調査中</td> <td></td> </tr> <tr> <td>11-(4)-40</td> <td>可搬式代替用圧注水ポンプ (予備機) 運転可能</td> <td>はい・いいえ・不明・調査中</td> <td></td> </tr> <tr> <td>11-(4)-41</td> <td>色選組立式水櫃 (予備機) 使用可能</td> <td>はい・いいえ・不明・調査中</td> <td></td> </tr> <tr> <td>11-(4)-42</td> <td>スプレッドヘッド (予備機) 使用可能</td> <td>はい・いいえ・不明・調査中</td> <td></td> </tr> <tr> <td>11-(4)-43</td> <td>送水車 (予備機) 運転可能</td> <td>はい・いいえ・不明・調査中</td> <td></td> </tr> <tr> <td>11-(4)-44</td> <td>シフトファンズ (予備機) 使用可能</td> <td>はい・いいえ・不明・調査中</td> <td></td> </tr> <tr> <td>11-(4)-45</td> <td>放水砲 (予備機) 使用可能</td> <td>はい・いいえ・不明・調査中</td> <td></td> </tr> <tr> <td>11-(4)-46</td> <td>泡漏合器 (予備機) 使用可能</td> <td>はい・いいえ・不明・調査中</td> <td></td> </tr> <tr> <td>11-(4)-47</td> <td>電源車 (緊急時対応用) (予備機) 運転可能</td> <td>はい・いいえ・不明・調査中</td> <td></td> </tr> <tr> <td>11-(4)-48</td> <td>大容量ポンプ (予備機) 運転可能</td> <td>はい・いいえ・不明・調査中</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 本欄に相違がなく移動できる状況であれば「はい」とする。</p> <p>1.2. 炉心状態の確認及び1次冷却系からの大規模な漏えいの確認 【ステップ5】</p> <p>確認者 確認日時 平成 年 月 日 時 分</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>項目</th> <th>状態</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>12-1</td> <td>炉心相違なし</td> <td>はい・いいえ・不明・調査中</td> <td></td> </tr> <tr> <td>12-2</td> <td>1次冷却系から大規模な漏えいなし</td> <td>はい・いいえ・不明・調査中</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>※ プラント監視機能が喪失している場合は、初動対応フローに示すパラメータを可搬型計測器により測定する。</p> <p>1.3. 原子炉格納容器の確認 【ステップ6】</p> <p>確認者 確認日時 平成 年 月 日 時 分</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>項目</th> <th>状態</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>13-1</td> <td>原子炉格納容器の減圧不要</td> <td>はい・いいえ・不明・調査中</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>※ プラント監視機能が喪失している場合は、初動対応フローに示すパラメータを可搬型計測器により測定する。</p> <p>1.4. 1次冷却系からの漏えいの確認 【ステップ7】</p> <p>確認者 確認日時 平成 年 月 日 時 分</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>項目</th> <th>状態</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>14-1</td> <td>1次冷却系から漏えいなし</td> <td>はい・いいえ・不明・調査中</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>※ プラント監視機能が喪失している場合は、初動対応フローに示すパラメータを可搬型計測器により測定する。</p>	番号	項目	状態	備考	11-(4)-28	電源車 (予備機) 運転可能	はい・いいえ・不明・調査中		11-(4)-29	電源車 (可搬式代替用圧注水ポンプ用) (予備機) 運転可能	はい・いいえ・不明・調査中		11-(4)-40	可搬式代替用圧注水ポンプ (予備機) 運転可能	はい・いいえ・不明・調査中		11-(4)-41	色選組立式水櫃 (予備機) 使用可能	はい・いいえ・不明・調査中		11-(4)-42	スプレッドヘッド (予備機) 使用可能	はい・いいえ・不明・調査中		11-(4)-43	送水車 (予備機) 運転可能	はい・いいえ・不明・調査中		11-(4)-44	シフトファンズ (予備機) 使用可能	はい・いいえ・不明・調査中		11-(4)-45	放水砲 (予備機) 使用可能	はい・いいえ・不明・調査中		11-(4)-46	泡漏合器 (予備機) 使用可能	はい・いいえ・不明・調査中		11-(4)-47	電源車 (緊急時対応用) (予備機) 運転可能	はい・いいえ・不明・調査中		11-(4)-48	大容量ポンプ (予備機) 運転可能	はい・いいえ・不明・調査中		番号	項目	状態	備考	12-1	炉心相違なし	はい・いいえ・不明・調査中		12-2	1次冷却系から大規模な漏えいなし	はい・いいえ・不明・調査中		番号	項目	状態	備考	13-1	原子炉格納容器の減圧不要	はい・いいえ・不明・調査中		番号	項目	状態	備考	14-1	1次冷却系から漏えいなし	はい・いいえ・不明・調査中		<p>(8) 可搬型設備及び資機材の確認 (2/4)</p> <p>8-2 第2保管エリア</p> <p>確認日時 年 月 日 時 分</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>項目</th> <th>状態</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>大容量送水ポンプ (タイプ1)</td> <td>使用可能・使用不可・不明</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>大容量送水ポンプ (タイプ2)</td> <td>使用可能・使用不可・不明</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>電源車</td> <td>使用可能・使用不可・不明</td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>タンクローリ</td> <td>使用可能・使用不可・不明</td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>ホース延長回収車</td> <td>使用可能・使用不可・不明</td> <td></td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>可搬型モニタリングポスト</td> <td>使用可能・使用不可・不明</td> <td></td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>代替気象観測設備</td> <td>使用可能・使用不可・不明</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>8-3 第3保管エリア</p> <p>確認日時 年 月 日 時 分</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>項目</th> <th>状態</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>大容量送水ポンプ (タイプ1)</td> <td>使用可能・使用不可・不明</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>原子炉格納容器冷却水熱交換機ユニット</td> <td>使用可能・使用不可・不明</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>電源車</td> <td>使用可能・使用不可・不明</td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>タンクローリ</td> <td>使用可能・使用不可・不明</td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>ホース延長回収車</td> <td>使用可能・使用不可・不明</td> <td></td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>化学消泡自動車</td> <td>使用可能・使用不可・不明</td> <td></td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>泡漏消滅送車</td> <td>使用可能・使用不可・不明</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>注) プラント状態確認チェックシートには、今後の訓練によって見直し可能性のある</p>	番号	項目	状態	備考	1	大容量送水ポンプ (タイプ1)	使用可能・使用不可・不明		2	大容量送水ポンプ (タイプ2)	使用可能・使用不可・不明		3	電源車	使用可能・使用不可・不明		4	タンクローリ	使用可能・使用不可・不明		5	ホース延長回収車	使用可能・使用不可・不明		6	可搬型モニタリングポスト	使用可能・使用不可・不明		7	代替気象観測設備	使用可能・使用不可・不明		番号	項目	状態	備考	1	大容量送水ポンプ (タイプ1)	使用可能・使用不可・不明		2	原子炉格納容器冷却水熱交換機ユニット	使用可能・使用不可・不明		3	電源車	使用可能・使用不可・不明		4	タンクローリ	使用可能・使用不可・不明		5	ホース延長回収車	使用可能・使用不可・不明		6	化学消泡自動車	使用可能・使用不可・不明		7	泡漏消滅送車	使用可能・使用不可・不明		<p>プラント状態確認チェックシート (8 / 9)</p> <p>【ステップ4】</p> <p>(7) 緊急時対応用トリア (確認日時: 年 月 日 時 分) (確認者:)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>項目</th> <th>状態</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>10-(7)-1</td> <td>緊急時対応用圧注水ポンプ</td> <td>運転可能</td> <td>可能・不可・不明・調査中 (右2台)</td> </tr> </tbody> </table> <p>(8) 1号炉東側3mエリア (確認日時: 年 月 日 時 分) (確認者:)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>項目</th> <th>状態</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>10-(8)-1</td> <td>可搬型大容量送水ポンプ車</td> <td>運転可能</td> <td>可能・不可・不明・調査中</td> </tr> <tr> <td>10-(8)-2</td> <td>送水車</td> <td>使用可能</td> <td>可能・不可・不明・調査中</td> </tr> <tr> <td>10-(8)-3</td> <td>泡漏合器</td> <td>運転可能</td> <td>可能・不可・不明・調査中</td> </tr> <tr> <td>10-(8)-4</td> <td>可搬型直高電圧用発電機</td> <td>運転可能</td> <td>可能・不可・不明・調査中 (右2台)</td> </tr> <tr> <td>10-(8)-5</td> <td>緊急時対応用圧注水ポンプ</td> <td>運転可能</td> <td>可能・不可・不明・調査中 (右2台)</td> </tr> <tr> <td>10-(8)-6</td> <td>シフトファンズ</td> <td>使用可能</td> <td>可能・不可・不明・調査中</td> </tr> <tr> <td>10-(8)-7</td> <td>ホース延長回収車 (送水車用)</td> <td>運転可能</td> <td>可能・不可・不明・調査中 資機材</td> </tr> <tr> <td>10-(8)-8</td> <td>ホースロープ (自主所有設備)</td> <td>運転可能</td> <td>可能・不可・不明・調査中</td> </tr> </tbody> </table> <p>(10) 2号炉東側3mエリア(a) (確認日時: 年 月 日 時 分) (確認者:)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>項目</th> <th>状態</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>10-(10)-1</td> <td>可搬型大容量送水ポンプ車</td> <td>運転可能</td> <td>可能・不可・不明・調査中 (右2台)</td> </tr> <tr> <td>10-(10)-2</td> <td>可搬型スプレッドヘッド</td> <td>使用可能</td> <td>可能・不可・不明・調査中 (右2台)</td> </tr> <tr> <td>10-(10)-3</td> <td>可搬型気象観測車</td> <td>運転可能</td> <td>可能・不可・不明・調査中 (右2台)</td> </tr> <tr> <td>10-(10)-4</td> <td>可搬型直高電圧用発電機</td> <td>運転可能</td> <td>可能・不可・不明・調査中</td> </tr> <tr> <td>10-(10)-5</td> <td>緊急時対応用圧注水ポンプ</td> <td>運転可能</td> <td>可能・不可・不明・調査中 (右2台)</td> </tr> <tr> <td>10-(10)-6</td> <td>シフトファンズ</td> <td>使用可能</td> <td>可能・不可・不明・調査中</td> </tr> <tr> <td>10-(10)-7</td> <td>ホース延長回収車 (送水車用)</td> <td>運転可能</td> <td>可能・不可・不明・調査中 資機材</td> </tr> <tr> <td>10-(10)-8</td> <td>ホースロープ (自主所有設備)</td> <td>運転可能</td> <td>可能・不可・不明・調査中</td> </tr> </tbody> </table> <p>(11) 2号炉東側3mエリア(b) (確認日時: 年 月 日 時 分) (確認者:)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>項目</th> <th>状態</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>10-(11)-1</td> <td>可搬型大容量送水ポンプ車</td> <td>運転可能</td> <td>可能・不可・不明・調査中</td> </tr> <tr> <td>10-(11)-2</td> <td>可搬型直高電圧用発電機</td> <td>運転可能</td> <td>可能・不可・不明・調査中 (右2台)</td> </tr> <tr> <td>10-(11)-3</td> <td>可搬型タンクローリ</td> <td>運転可能</td> <td>可能・不可・不明・調査中 (右2台)</td> </tr> <tr> <td>10-(11)-4</td> <td>ホースロープ</td> <td>運転可能</td> <td>可能・不可・不明・調査中</td> </tr> <tr> <td>10-(11)-5</td> <td>ホース巻上</td> <td>運転可能</td> <td>可能・不可・不明・調査中</td> </tr> <tr> <td>10-(11)-6</td> <td>緊急時対応用圧注水ポンプ</td> <td>運転可能</td> <td>可能・不可・不明・調査中 (右2台)</td> </tr> <tr> <td>10-(11)-7</td> <td>可搬型自動車</td> <td>使用可能</td> <td>可能・不可・不明・調査中</td> </tr> <tr> <td>10-(11)-8</td> <td>代替気象観測車</td> <td>運転可能</td> <td>可能・不可・不明・調査中 資機材</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 確認の取組の「可能」には、運転中・動作中を含む。 ※2 当該エリアに備置物を配備する設備は、運転可能・使用可能な台数を確認し記載する。</p> <p>プラント状態確認チェックシート (9 / 9)</p> <p>【ステップ4】</p> <p>(12) 原燃石管理道路脇西側60mエリア (確認日時: 年 月 日 時 分) (確認者:)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>確認項目</th> <th>状態</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>10-(12)-1</td> <td>可搬型大容量送水ポンプ車</td> <td>運転可能</td> <td>可能・不可・不明・調査中</td> </tr> <tr> <td>10-(12)-2</td> <td>可搬型気象観測車</td> <td>運転可能</td> <td>可能・不可・不明・調査中</td> </tr> <tr> <td>10-(12)-3</td> <td>ホースロープ (自主所有設備)</td> <td>運転可能</td> <td>可能・不可・不明・調査中</td> </tr> <tr> <td>10-(12)-4</td> <td>大規模噴霧対応用電気設備</td> <td>使用可能</td> <td>可能・不可・不明・調査中</td> </tr> </tbody> </table> <p>(13) その他のエリア (確認日時: 年 月 日 時 分) (確認者:)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>確認項目</th> <th>状態</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>10-(13)-1</td> <td>可搬型モニタリングポスト</td> <td>使用可能</td> <td>可能・不可・不明・調査中 (個別) 緊急時対応用東西</td> </tr> <tr> <td>10-(13)-2</td> <td>可搬型気象観測設備</td> <td>使用可能</td> <td>可能・不可・不明・調査中 (個別) 緊急時対応用東西</td> </tr> <tr> <td>10-(13)-3</td> <td>泡漏合器設備</td> <td>使用可能</td> <td>可能・不可・不明・調査中 (式) 式) 緊急時対応用東西</td> </tr> <tr> <td>10-(13)-4</td> <td>泡漏消滅コンテナ式設備</td> <td>運転可能</td> <td>可能・不可・不明・調査中 機内保管機材、資機材</td> </tr> <tr> <td>10-(13)-5</td> <td>ホースロープ</td> <td>運転可能</td> <td>可能・不可・不明・調査中 機内保管機材</td> </tr> <tr> <td>10-(13)-6</td> <td>代替気象観測車</td> <td>使用可能</td> <td>可能・不可・不明・調査中 組立組立1台、10m 搬送車</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 確認の取組の「可能」には、運転中・動作中を含む。 ※2 当該エリアに備置物を配備する設備は、運転可能・使用可能な台数を確認し記載する。</p>	番号	項目	状態	備考	10-(7)-1	緊急時対応用圧注水ポンプ	運転可能	可能・不可・不明・調査中 (右2台)	番号	項目	状態	備考	10-(8)-1	可搬型大容量送水ポンプ車	運転可能	可能・不可・不明・調査中	10-(8)-2	送水車	使用可能	可能・不可・不明・調査中	10-(8)-3	泡漏合器	運転可能	可能・不可・不明・調査中	10-(8)-4	可搬型直高電圧用発電機	運転可能	可能・不可・不明・調査中 (右2台)	10-(8)-5	緊急時対応用圧注水ポンプ	運転可能	可能・不可・不明・調査中 (右2台)	10-(8)-6	シフトファンズ	使用可能	可能・不可・不明・調査中	10-(8)-7	ホース延長回収車 (送水車用)	運転可能	可能・不可・不明・調査中 資機材	10-(8)-8	ホースロープ (自主所有設備)	運転可能	可能・不可・不明・調査中	番号	項目	状態	備考	10-(10)-1	可搬型大容量送水ポンプ車	運転可能	可能・不可・不明・調査中 (右2台)	10-(10)-2	可搬型スプレッドヘッド	使用可能	可能・不可・不明・調査中 (右2台)	10-(10)-3	可搬型気象観測車	運転可能	可能・不可・不明・調査中 (右2台)	10-(10)-4	可搬型直高電圧用発電機	運転可能	可能・不可・不明・調査中	10-(10)-5	緊急時対応用圧注水ポンプ	運転可能	可能・不可・不明・調査中 (右2台)	10-(10)-6	シフトファンズ	使用可能	可能・不可・不明・調査中	10-(10)-7	ホース延長回収車 (送水車用)	運転可能	可能・不可・不明・調査中 資機材	10-(10)-8	ホースロープ (自主所有設備)	運転可能	可能・不可・不明・調査中	番号	項目	状態	備考	10-(11)-1	可搬型大容量送水ポンプ車	運転可能	可能・不可・不明・調査中	10-(11)-2	可搬型直高電圧用発電機	運転可能	可能・不可・不明・調査中 (右2台)	10-(11)-3	可搬型タンクローリ	運転可能	可能・不可・不明・調査中 (右2台)	10-(11)-4	ホースロープ	運転可能	可能・不可・不明・調査中	10-(11)-5	ホース巻上	運転可能	可能・不可・不明・調査中	10-(11)-6	緊急時対応用圧注水ポンプ	運転可能	可能・不可・不明・調査中 (右2台)	10-(11)-7	可搬型自動車	使用可能	可能・不可・不明・調査中	10-(11)-8	代替気象観測車	運転可能	可能・不可・不明・調査中 資機材	番号	確認項目	状態	備考	10-(12)-1	可搬型大容量送水ポンプ車	運転可能	可能・不可・不明・調査中	10-(12)-2	可搬型気象観測車	運転可能	可能・不可・不明・調査中	10-(12)-3	ホースロープ (自主所有設備)	運転可能	可能・不可・不明・調査中	10-(12)-4	大規模噴霧対応用電気設備	使用可能	可能・不可・不明・調査中	番号	確認項目	状態	備考	10-(13)-1	可搬型モニタリングポスト	使用可能	可能・不可・不明・調査中 (個別) 緊急時対応用東西	10-(13)-2	可搬型気象観測設備	使用可能	可能・不可・不明・調査中 (個別) 緊急時対応用東西	10-(13)-3	泡漏合器設備	使用可能	可能・不可・不明・調査中 (式) 式) 緊急時対応用東西	10-(13)-4	泡漏消滅コンテナ式設備	運転可能	可能・不可・不明・調査中 機内保管機材、資機材	10-(13)-5	ホースロープ	運転可能	可能・不可・不明・調査中 機内保管機材	10-(13)-6	代替気象観測車	使用可能	可能・不可・不明・調査中 組立組立1台、10m 搬送車	<p>【大飯】【女川】 設備及び運用の相違に伴うプラント状態確認項目等の相違</p>
番号	項目	状態	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
11-(4)-28	電源車 (予備機) 運転可能	はい・いいえ・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
11-(4)-29	電源車 (可搬式代替用圧注水ポンプ用) (予備機) 運転可能	はい・いいえ・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
11-(4)-40	可搬式代替用圧注水ポンプ (予備機) 運転可能	はい・いいえ・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
11-(4)-41	色選組立式水櫃 (予備機) 使用可能	はい・いいえ・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
11-(4)-42	スプレッドヘッド (予備機) 使用可能	はい・いいえ・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
11-(4)-43	送水車 (予備機) 運転可能	はい・いいえ・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
11-(4)-44	シフトファンズ (予備機) 使用可能	はい・いいえ・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
11-(4)-45	放水砲 (予備機) 使用可能	はい・いいえ・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
11-(4)-46	泡漏合器 (予備機) 使用可能	はい・いいえ・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
11-(4)-47	電源車 (緊急時対応用) (予備機) 運転可能	はい・いいえ・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
11-(4)-48	大容量ポンプ (予備機) 運転可能	はい・いいえ・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
番号	項目	状態	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
12-1	炉心相違なし	はい・いいえ・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
12-2	1次冷却系から大規模な漏えいなし	はい・いいえ・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
番号	項目	状態	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
13-1	原子炉格納容器の減圧不要	はい・いいえ・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
番号	項目	状態	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
14-1	1次冷却系から漏えいなし	はい・いいえ・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
番号	項目	状態	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
1	大容量送水ポンプ (タイプ1)	使用可能・使用不可・不明																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
2	大容量送水ポンプ (タイプ2)	使用可能・使用不可・不明																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
3	電源車	使用可能・使用不可・不明																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
4	タンクローリ	使用可能・使用不可・不明																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
5	ホース延長回収車	使用可能・使用不可・不明																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
6	可搬型モニタリングポスト	使用可能・使用不可・不明																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
7	代替気象観測設備	使用可能・使用不可・不明																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
番号	項目	状態	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
1	大容量送水ポンプ (タイプ1)	使用可能・使用不可・不明																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
2	原子炉格納容器冷却水熱交換機ユニット	使用可能・使用不可・不明																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
3	電源車	使用可能・使用不可・不明																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
4	タンクローリ	使用可能・使用不可・不明																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
5	ホース延長回収車	使用可能・使用不可・不明																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
6	化学消泡自動車	使用可能・使用不可・不明																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
7	泡漏消滅送車	使用可能・使用不可・不明																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
番号	項目	状態	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
10-(7)-1	緊急時対応用圧注水ポンプ	運転可能	可能・不可・不明・調査中 (右2台)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
番号	項目	状態	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
10-(8)-1	可搬型大容量送水ポンプ車	運転可能	可能・不可・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
10-(8)-2	送水車	使用可能	可能・不可・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
10-(8)-3	泡漏合器	運転可能	可能・不可・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
10-(8)-4	可搬型直高電圧用発電機	運転可能	可能・不可・不明・調査中 (右2台)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
10-(8)-5	緊急時対応用圧注水ポンプ	運転可能	可能・不可・不明・調査中 (右2台)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
10-(8)-6	シフトファンズ	使用可能	可能・不可・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
10-(8)-7	ホース延長回収車 (送水車用)	運転可能	可能・不可・不明・調査中 資機材																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
10-(8)-8	ホースロープ (自主所有設備)	運転可能	可能・不可・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
番号	項目	状態	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
10-(10)-1	可搬型大容量送水ポンプ車	運転可能	可能・不可・不明・調査中 (右2台)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
10-(10)-2	可搬型スプレッドヘッド	使用可能	可能・不可・不明・調査中 (右2台)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
10-(10)-3	可搬型気象観測車	運転可能	可能・不可・不明・調査中 (右2台)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
10-(10)-4	可搬型直高電圧用発電機	運転可能	可能・不可・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
10-(10)-5	緊急時対応用圧注水ポンプ	運転可能	可能・不可・不明・調査中 (右2台)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
10-(10)-6	シフトファンズ	使用可能	可能・不可・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
10-(10)-7	ホース延長回収車 (送水車用)	運転可能	可能・不可・不明・調査中 資機材																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
10-(10)-8	ホースロープ (自主所有設備)	運転可能	可能・不可・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
番号	項目	状態	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
10-(11)-1	可搬型大容量送水ポンプ車	運転可能	可能・不可・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
10-(11)-2	可搬型直高電圧用発電機	運転可能	可能・不可・不明・調査中 (右2台)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
10-(11)-3	可搬型タンクローリ	運転可能	可能・不可・不明・調査中 (右2台)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
10-(11)-4	ホースロープ	運転可能	可能・不可・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
10-(11)-5	ホース巻上	運転可能	可能・不可・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
10-(11)-6	緊急時対応用圧注水ポンプ	運転可能	可能・不可・不明・調査中 (右2台)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
10-(11)-7	可搬型自動車	使用可能	可能・不可・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
10-(11)-8	代替気象観測車	運転可能	可能・不可・不明・調査中 資機材																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
番号	確認項目	状態	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
10-(12)-1	可搬型大容量送水ポンプ車	運転可能	可能・不可・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
10-(12)-2	可搬型気象観測車	運転可能	可能・不可・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
10-(12)-3	ホースロープ (自主所有設備)	運転可能	可能・不可・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
10-(12)-4	大規模噴霧対応用電気設備	使用可能	可能・不可・不明・調査中																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
番号	確認項目	状態	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
10-(13)-1	可搬型モニタリングポスト	使用可能	可能・不可・不明・調査中 (個別) 緊急時対応用東西																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
10-(13)-2	可搬型気象観測設備	使用可能	可能・不可・不明・調査中 (個別) 緊急時対応用東西																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
10-(13)-3	泡漏合器設備	使用可能	可能・不可・不明・調査中 (式) 式) 緊急時対応用東西																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
10-(13)-4	泡漏消滅コンテナ式設備	運転可能	可能・不可・不明・調査中 機内保管機材、資機材																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
10-(13)-5	ホースロープ	運転可能	可能・不可・不明・調査中 機内保管機材																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
10-(13)-6	代替気象観測車	使用可能	可能・不可・不明・調査中 組立組立1台、10m 搬送車																																																																																																																																																																																																																																																																																																																

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

2.1 可搬型設備等による対応

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																								
	<p>(8)可搬型設備及び資機材の確認 (3/4)</p> <p>8-4 第4保管エリア</p> <p style="text-align: center;">確認日時 年 月 日 時 分</p> <table border="1" data-bbox="689 229 1218 954"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>項目</th> <th>状態</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>大容積送水ポンプ (タイプ1)</td><td>使用可能・使用不可・不明</td><td></td></tr> <tr><td>2</td><td>薬液補給装置</td><td>使用可能・使用不可・不明</td><td></td></tr> <tr><td>3</td><td>可搬型薬液ガス供給装置</td><td>使用可能・使用不可・不明</td><td></td></tr> <tr><td>4</td><td>大容積送水ポンプ (タイプ2)</td><td>使用可能・使用不可・不明</td><td></td></tr> <tr><td>5</td><td>電送車</td><td>使用可能・使用不可・不明</td><td></td></tr> <tr><td>6</td><td>バックホウ</td><td>使用可能・使用不可・不明</td><td></td></tr> <tr><td>7</td><td>ホイールローダ</td><td>使用可能・使用不可・不明</td><td></td></tr> <tr><td>8</td><td>ホース延長回収車</td><td>使用可能・使用不可・不明</td><td></td></tr> <tr><td>9</td><td>排水機</td><td>使用可能・使用不可・不明</td><td></td></tr> <tr><td>10</td><td>シフトフェンス</td><td>使用可能・使用不可・不明</td><td></td></tr> <tr><td>11</td><td>放射線物質検査材</td><td>使用可能・使用不可・不明</td><td></td></tr> <tr><td>12</td><td>可搬型モニタリングポスト</td><td>使用可能・使用不可・不明</td><td></td></tr> <tr><td>13</td><td>代替気象観測設備</td><td>使用可能・使用不可・不明</td><td></td></tr> <tr><td>14</td><td>高圧水素気体貯蔵装置</td><td>使用可能・使用不可・不明</td><td></td></tr> <tr><td>15</td><td>原子炉補助機代替冷却水蒸気発生機ユニット</td><td>使用可能・使用不可・不明</td><td></td></tr> <tr><td>16</td><td>ダンプトラック</td><td>使用可能・使用不可・不明</td><td></td></tr> <tr><td>17</td><td>小型船舶</td><td>使用可能・使用不可・不明</td><td></td></tr> <tr><td>18</td><td>ブルドーザ</td><td>使用可能・使用不可・不明</td><td></td></tr> <tr><td>19</td><td>化学消防自動車</td><td>使用可能・使用不可・不明</td><td></td></tr> <tr><td>20</td><td>大型化学高圧放水車</td><td>使用可能・使用不可・不明</td><td></td></tr> <tr><td>21</td><td>泡消火機</td><td>使用可能・使用不可・不明</td><td></td></tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">(注) プラント状態確認チェックシートは、今後の調査によって見直し可能性がある</p>	番号	項目	状態	備考	1	大容積送水ポンプ (タイプ1)	使用可能・使用不可・不明		2	薬液補給装置	使用可能・使用不可・不明		3	可搬型薬液ガス供給装置	使用可能・使用不可・不明		4	大容積送水ポンプ (タイプ2)	使用可能・使用不可・不明		5	電送車	使用可能・使用不可・不明		6	バックホウ	使用可能・使用不可・不明		7	ホイールローダ	使用可能・使用不可・不明		8	ホース延長回収車	使用可能・使用不可・不明		9	排水機	使用可能・使用不可・不明		10	シフトフェンス	使用可能・使用不可・不明		11	放射線物質検査材	使用可能・使用不可・不明		12	可搬型モニタリングポスト	使用可能・使用不可・不明		13	代替気象観測設備	使用可能・使用不可・不明		14	高圧水素気体貯蔵装置	使用可能・使用不可・不明		15	原子炉補助機代替冷却水蒸気発生機ユニット	使用可能・使用不可・不明		16	ダンプトラック	使用可能・使用不可・不明		17	小型船舶	使用可能・使用不可・不明		18	ブルドーザ	使用可能・使用不可・不明		19	化学消防自動車	使用可能・使用不可・不明		20	大型化学高圧放水車	使用可能・使用不可・不明		21	泡消火機	使用可能・使用不可・不明			<p>【女川】</p> <p>設備及び運用の相違に伴うプラント状態確認項目等の相違</p>
番号	項目	状態	備考																																																																																								
1	大容積送水ポンプ (タイプ1)	使用可能・使用不可・不明																																																																																									
2	薬液補給装置	使用可能・使用不可・不明																																																																																									
3	可搬型薬液ガス供給装置	使用可能・使用不可・不明																																																																																									
4	大容積送水ポンプ (タイプ2)	使用可能・使用不可・不明																																																																																									
5	電送車	使用可能・使用不可・不明																																																																																									
6	バックホウ	使用可能・使用不可・不明																																																																																									
7	ホイールローダ	使用可能・使用不可・不明																																																																																									
8	ホース延長回収車	使用可能・使用不可・不明																																																																																									
9	排水機	使用可能・使用不可・不明																																																																																									
10	シフトフェンス	使用可能・使用不可・不明																																																																																									
11	放射線物質検査材	使用可能・使用不可・不明																																																																																									
12	可搬型モニタリングポスト	使用可能・使用不可・不明																																																																																									
13	代替気象観測設備	使用可能・使用不可・不明																																																																																									
14	高圧水素気体貯蔵装置	使用可能・使用不可・不明																																																																																									
15	原子炉補助機代替冷却水蒸気発生機ユニット	使用可能・使用不可・不明																																																																																									
16	ダンプトラック	使用可能・使用不可・不明																																																																																									
17	小型船舶	使用可能・使用不可・不明																																																																																									
18	ブルドーザ	使用可能・使用不可・不明																																																																																									
19	化学消防自動車	使用可能・使用不可・不明																																																																																									
20	大型化学高圧放水車	使用可能・使用不可・不明																																																																																									
21	泡消火機	使用可能・使用不可・不明																																																																																									

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

2.1 可搬型設備等による対応

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																
	<p>(8)可搬型設備及び資機材の確認 (1/4)</p> <p>8-5 緊急時対策建屋</p> <p style="text-align: right;">確認日時 年 月 日 時 分</p> <table border="1" data-bbox="689 229 1218 293"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>項目</th> <th>状態</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>電源車(緊急時対策用)</td> <td>使用可能・使用不可・不明</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>8-6 建屋内</p> <p style="text-align: right;">確認日時 年 月 日 時 分</p> <table border="1" data-bbox="689 357 1218 558"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>項目</th> <th>状態</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>使用済燃料プール注水ホース</td> <td>使用可能・使用不可・不明</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>使用済燃料プールのスプレインゾル</td> <td>使用可能・使用不可・不明</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>高圧酸素ガスポンプ</td> <td>使用可能・使用不可・不明</td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>逃がし安全弁用可搬型蓄電池</td> <td>使用可能・使用不可・不明</td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>建屋内敷設用ホース</td> <td>使用可能・使用不可・不明</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(D)水源状態の確認</p> <p style="text-align: right;">確認日時 年 月 日 時 分</p> <table border="1" data-bbox="689 622 1218 893"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>項目</th> <th>状態</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>裏水貯蔵タンク</td> <td>使用可能・使用不可・不明</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>ろ過水タンク</td> <td>使用可能・使用不可・不明</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>汲水貯水槽</td> <td>使用可能・使用不可・不明</td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>汽水タンク</td> <td>使用可能・使用不可・不明</td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>排水タンク</td> <td>使用可能・使用不可・不明</td> <td></td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>貯水水槽</td> <td>使用可能・使用不可・不明</td> <td></td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>耐震性貯水水槽</td> <td>使用可能・使用不可・不明</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center; font-size: small;">注) プラントの整備状況チェックシートは、今後の記録によって見直す可能性がある</p>	番号	項目	状態	備考	1	電源車(緊急時対策用)	使用可能・使用不可・不明		番号	項目	状態	備考	1	使用済燃料プール注水ホース	使用可能・使用不可・不明		2	使用済燃料プールのスプレインゾル	使用可能・使用不可・不明		3	高圧酸素ガスポンプ	使用可能・使用不可・不明		4	逃がし安全弁用可搬型蓄電池	使用可能・使用不可・不明		5	建屋内敷設用ホース	使用可能・使用不可・不明		番号	項目	状態	備考	1	裏水貯蔵タンク	使用可能・使用不可・不明		2	ろ過水タンク	使用可能・使用不可・不明		3	汲水貯水槽	使用可能・使用不可・不明		4	汽水タンク	使用可能・使用不可・不明		5	排水タンク	使用可能・使用不可・不明		6	貯水水槽	使用可能・使用不可・不明		7	耐震性貯水水槽	使用可能・使用不可・不明			<p>【女川】</p> <p>設備及び運用の相違に伴うプラント状態確認項目等の相違</p>
番号	項目	状態	備考																																																																
1	電源車(緊急時対策用)	使用可能・使用不可・不明																																																																	
番号	項目	状態	備考																																																																
1	使用済燃料プール注水ホース	使用可能・使用不可・不明																																																																	
2	使用済燃料プールのスプレインゾル	使用可能・使用不可・不明																																																																	
3	高圧酸素ガスポンプ	使用可能・使用不可・不明																																																																	
4	逃がし安全弁用可搬型蓄電池	使用可能・使用不可・不明																																																																	
5	建屋内敷設用ホース	使用可能・使用不可・不明																																																																	
番号	項目	状態	備考																																																																
1	裏水貯蔵タンク	使用可能・使用不可・不明																																																																	
2	ろ過水タンク	使用可能・使用不可・不明																																																																	
3	汲水貯水槽	使用可能・使用不可・不明																																																																	
4	汽水タンク	使用可能・使用不可・不明																																																																	
5	排水タンク	使用可能・使用不可・不明																																																																	
6	貯水水槽	使用可能・使用不可・不明																																																																	
7	耐震性貯水水槽	使用可能・使用不可・不明																																																																	

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

2.1 可搬型設備等による対応

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: right;">添付資料 2.1.4</p> <p>大規模損壊発生時に使用する対応手順一覧</p> <p>大規模損壊発生時において、以下に示す【1】～【9】の各戦略による対応が必要と判断された場合には、個別戦略フローに基づいて当該の手順書を選択し、事故緩和措置を実施する。</p>	<p style="text-align: right;">添付資料 2.1.11</p> <p>個別戦略フローにおける対応手順書等及び設備一覧について</p> <p>大規模損壊発生時に初動対応フローから選択する個別戦略の決定に当たっては、要員及び設備を含めた残存する資源から必要な手順等を確認し、有効な戦略を迅速かつ確実に選定する必要がある。</p> <p>第1表に示す個別戦略による対応が必要と判断された場合には、個別戦略フローに基づいて当該の手順書等を選択し、事故緩和措置を実施する。</p> <p>また、第1図に大規模損壊発生時の対応手順書等の体系図を示す。</p>	<p style="text-align: right;">添付資料 2.1.4</p> <p>個別戦略フローにおける対応手順書等及び設備一覧について</p> <p>大規模損壊発生時に初動対応フローから選択する個別戦略の決定に当たっては、要員及び設備を含めた残存する資源から必要な手順等を確認し、有効な戦略を迅速かつ確実に選定する必要がある。</p> <p>表4-1に示す個別戦略による対応が必要と判断された場合には、個別戦略フローに基づいて当該の手順書等を選択し、事故緩和措置を実施する。</p> <p>また、図4-1及び図4-2に、大規模損壊対応に係る手順等についての文書体系及び事象進展に応じた対応手順による対応概念図を示す。</p>	<p>相違理由</p> <ul style="list-style-type: none"> ■記載内容の相違 <ul style="list-style-type: none"> ・泊は、女川と同様に、大規模損壊発生時に使用する手順とその手順で用いる設備について整理している。 ■記載表現の相違 ■記載表現の相違 <ul style="list-style-type: none"> ・大規模損壊対応に係る手順書体系の整理についての導入の文章の有無であるが、大飯も大規模損壊対応に係る手順書の体系を整理しており、実質的な相違なし。

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

2.1 可搬型設備等による対応

大飯発電所3/4号炉			女川原子力発電所2号炉			泊発電所3号炉			相違理由
対応フロー図中の手順	手順書名称(巻)	技術的能力に相当する基準の該当項目	項目名	項目内容	項目番号	項目名	項目内容	項目番号	<p>■記載内容の相違</p> <p>・泊は、大規模損壊発生時に使用する設備の一覧を記載</p> <p>【大飯】 【女川】 個別の対応手順の相違</p>
SFP スプレイ①	【大規模損壊所達】 ・N o. 2 淡水タンクから使用済燃料ピットへの注水（屋内消火栓） ・N o. 2 淡水タンクから使用済燃料ピットへの注水（屋外消火栓） ・ポンプ車によるN o. 3 淡水タンクから使用済燃料ピットへの注水手順 ・ポンプ車によるN o. 2 淡水タンクから使用済燃料ピットへの注水手順 ・1 次系純水タンクから使用済燃料ピットへの注水手順 ・海水から使用済燃料ピットへの注水手順	1.11, 1.13	送水車による使用済燃料ピットへのスプレイのための手順	送水車による使用済燃料ピットへのスプレイのための手順	1.11, 1.13	原子炉周辺建屋への放水砲・シルトフェンスによる放射性物質拡散抑制手順	原子炉周辺建屋への放水砲・シルトフェンスによる放射性物質拡散抑制手順	1.11, 1.13	
SFP スプレイ②	【大規模損壊所達】 ・化学清防自動車による使用済燃料ピットへのスプレイのための手順	1.11, 1.13	化学清防自動車による使用済燃料ピットへのスプレイのための手順	化学清防自動車による使用済燃料ピットへのスプレイのための手順	1.11, 1.13			1.11, 1.13	
SFP 監視	【大規模損壊所達】 ・使用済燃料ピット状況確認のための手順	1.11	使用済燃料ピット状況確認のための手順	使用済燃料ピット状況確認のための手順	1.11			1.11	
SFP 漏えい緩和	【大規模損壊所達】 ・使用済燃料ピット破損状況確認、漏えい抑制のための手順	1.11	使用済燃料ピット破損状況確認、漏えい抑制のための手順	使用済燃料ピット破損状況確認、漏えい抑制のための手順	1.11			1.11	
【原子炉停止機能の確保】			原子炉停止機能の確保			原子炉停止機能の確保			
原子炉停止操作	【事故後操作所則（第2部）】 ・ATWS 緩和設備の動作を確認する手順 ・原子炉手動トリップにより原子炉を停止する手順 ・タービン手動トリップ及び補助給水確保の手順 ・緊急ほうげん注入の手順	(1.1)	原子炉停止操作	原子炉停止操作	(1.1)				
【冷却機能の確保】			冷却機能の確保			冷却機能の確保			
SG 注水①	【6】「炉心冷却のための戦略」 【7】「SG による原子炉冷却のための戦略」 【炉心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する】 運転手順書 ・補助給水ポンプ機能回復の手順	1.2, 1.3 1.4, 1.5	SG注水	SG注水	1.2, 1.3 1.4, 1.5				
SG 注水②	【炉心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する】 運転手順書	1.2, 1.3 1.4, 1.5	SG注水	SG注水	1.2, 1.3 1.4, 1.5				

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

2.1 可搬型設備等による対応

大飯発電所3/4号炉			女川原子力発電所2号炉			泊発電所3号炉			相違理由			
対応フロー図中の手順	手順書名称（案）	技術的能力に係る審査基準の当該項目	設備	運用	体制	設備	運用	体制	設備	運用	体制	■記載内容の相違 ・泊は、大規模損壊発生時に使用する設備の一覧を記載 【大飯】 【女川】 個別の対応手順の相違
SG注水①	・全交流電源喪失時の対応手順 【炉心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書】 ・蒸気発生器の除熱機能を維持又は代替する手順 【大規模損壊所達】 ・蒸気発生器補給用仮設中圧ポンプによる蒸気発生器への注水のための手順	1.2, 1.3 1.4, 1.5	蒸気発生器 蒸気発生器補給用仮設中圧ポンプ 蒸気発生器補給用仮設中圧ポンプ	運転員 運転員 運転員	運転員 運転員 運転員	蒸気発生器 蒸気発生器補給用仮設中圧ポンプ 蒸気発生器補給用仮設中圧ポンプ	運転員 運転員 運転員	運転員 運転員 運転員	蒸気発生器 蒸気発生器補給用仮設中圧ポンプ 蒸気発生器補給用仮設中圧ポンプ	運転員 運転員 運転員	運転員 運転員 運転員	
SG手動減圧	【炉心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書】 ・主蒸気逃がし弁機能回復の手順	1.2, 1.3 1.4, 1.5	主蒸気逃がし弁 主蒸気逃がし弁	運転員 運転員	運転員 運転員	主蒸気逃がし弁 主蒸気逃がし弁	運転員 運転員	運転員 運転員	主蒸気逃がし弁 主蒸気逃がし弁	運転員 運転員	運転員 運転員	
RCS減圧	【炉心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書】 ・加圧器逃がし弁機能回復の手順 【大規模損壊所達】 ・加圧器逃がし弁に電源を供給する手順	1.2, 1.3	加圧器 加圧器 加圧器	運転員 運転員 運転員	運転員 運転員 運転員	加圧器 加圧器 加圧器	運転員 運転員 運転員	運転員 運転員 運転員	加圧器 加圧器 加圧器	運転員 運転員 運転員	運転員 運転員 運転員	
炉心注水①	【炉心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書】 ・恒設代替低圧注水ポンプを用いた代替炉心注水により原子炉を冷却する手順	1.4, 1.8	恒設代替低圧注水ポンプ 恒設代替低圧注水ポンプ	運転員 運転員	運転員 運転員	恒設代替低圧注水ポンプ 恒設代替低圧注水ポンプ	運転員 運転員	運転員 運転員	恒設代替低圧注水ポンプ 恒設代替低圧注水ポンプ	運転員 運転員	運転員 運転員	
炉心注水②	【炉心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書】 ・B充てんポンプ（自己冷却）を用いた代替炉心注水により原子炉を冷却する手順 【大規模損壊所達】 ・充てんポンプ自己冷却配管接続の手順	1.4, 1.8	B充てんポンプ B充てんポンプ B充てんポンプ	運転員 運転員 運転員	運転員 運転員 運転員	B充てんポンプ B充てんポンプ B充てんポンプ	運転員 運転員 運転員	運転員 運転員 運転員	B充てんポンプ B充てんポンプ B充てんポンプ	運転員 運転員 運転員	運転員 運転員 運転員	
炉心注水③	【炉心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書】 ・A格納容器スプレイポンプ（自己冷却）を用いた代替炉心注水により原子炉を冷却する手順 【大規模損壊所達】 ・格納容器スプレイポンプ自己冷却配管接続の手順	1.4, 1.8	A格納容器スプレイポンプ A格納容器スプレイポンプ A格納容器スプレイポンプ	運転員 運転員 運転員	運転員 運転員 運転員	A格納容器スプレイポンプ A格納容器スプレイポンプ A格納容器スプレイポンプ	運転員 運転員 運転員	運転員 運転員 運転員	A格納容器スプレイポンプ A格納容器スプレイポンプ A格納容器スプレイポンプ	運転員 運転員 運転員	運転員 運転員 運転員	
炉心注水④	【炉心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書】 ・消火ポンプを用いた代替炉心注水により原子炉を冷却する手順	1.4, 1.8	消火ポンプ 消火ポンプ	運転員 運転員	運転員 運転員	消火ポンプ 消火ポンプ	運転員 運転員	運転員 運転員	消火ポンプ 消火ポンプ	運転員 運転員	運転員 運転員	
炉心注水⑤	【炉心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する	1.4, 1.8										

追而【3号炉原子炉建屋西側を経由したホース敷設ルート変更の反映】
 （上表において所要時間（想定）又は必要人数（想定）の変更が必要となった場合は反映する。）

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

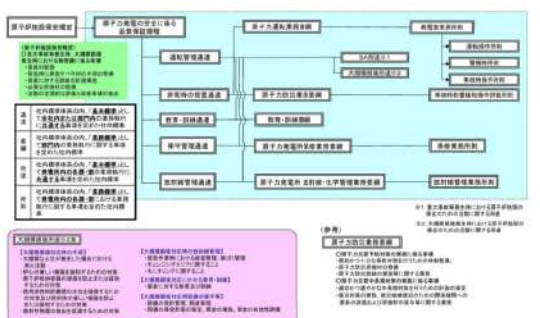
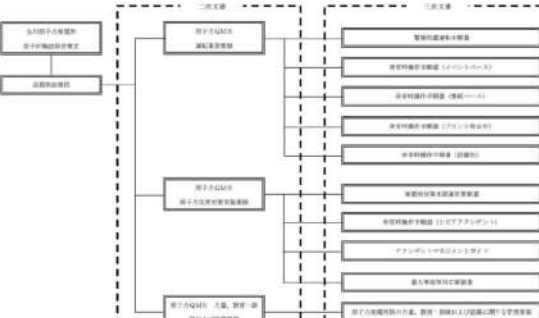

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

2.1 可搬型設備等による対応

大飯発電所3/4号炉			女川原子力発電所2号炉			泊発電所3号炉			相違理由
対応フロー图中的の 手順	手順書名称(案)	技術的能力に係る 審査基準の当 該項目	作業員数 (人)	作業時間 (分)	作業場所 (作業員数)	作業員数 (人)	作業時間 (分)	作業場所 (作業員数)	【女川】個別の対応手順の相違
炉心注水④	<p>【運転手順書】</p> <ul style="list-style-type: none"> 可搬式代替低圧注水ポンプを用いた代替炉心注水により炉心注水を冷却する手順 <p>【大規模損壊所達】</p> <ul style="list-style-type: none"> 可搬式代替低圧注水ポンプによる炉心注水の手順 <p>【大規模損壊所達】</p> <ul style="list-style-type: none"> 化学消防自動車による原子炉容器への注水のための手順 	1.4, 1.8	—	—	—	—	—	—	
【電源の確保】			—	—	—	—	—	—	
【5】「電源確保のための戦略」			—	—	—	—	—	—	
電源復旧①	<p>【炉心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する 運転手順書】</p> <ul style="list-style-type: none"> 空冷式非常用発電装置による電源の復旧手順 	1.14	—	—	—	—	—	—	
電源復旧②	<p>【炉心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する 運転手順書】</p> <ul style="list-style-type: none"> N.0.1 予備変圧器2次側恒設ケーブルを用いた号機間融通による電源の復旧手順(3号~4号) N.0.2 予備変圧器2次側恒設ケーブルを用いた号機間融通による電源の復旧手順(3号~4号) 	1.14	—	—	—	—	—	—	
電源復旧③	<p>【大規模損壊所達】</p> <ul style="list-style-type: none"> 恒設ケーブルを用いた号機間融通による電源の復旧手順(1,2号~3,4号) 恒設ケーブルを用いた号機間融通による電源の復旧手順(3号~4号) 予備ケーブルを用いた号機間融通による電源の復旧手順 	1.14	—	—	—	—	—	—	
電源復旧④	<p>【大規模損壊所達】</p> <ul style="list-style-type: none"> 電源車による電源復旧手順 	1.14	—	—	—	—	—	—	
電源復旧⑤	<p>【大規模損壊所達】</p> <ul style="list-style-type: none"> 代特所内電気設備による電源供給手順 	1.14	—	—	—	—	—	—	
電源復旧⑥	<p>【大規模損壊所達】</p> <ul style="list-style-type: none"> 可搬式整流器を用いた直流電源復旧の手順 	1.14	—	—	—	—	—	—	
【給水源の確保】			—	—	—	—	—	—	
【2】「放射性物質拡散抑制のための戦略」			—	—	—	—	—	—	
【3】「格納容器破損防止（破損炉心注水）のための戦略」			—	—	—	—	—	—	
【4】「格納容器過圧破損防止のための戦略」			—	—	—	—	—	—	
【6】「炉心冷却のための戦略」			—	—	—	—	—	—	

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

2.1 可搬型設備等による対応

大飯発電所 3 / 4号炉	女川原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由
<p>大規模損壊発生時の対応手順書体系</p> <p>a. 大飯発電所 規定文書大規模損壊関連体系図</p> <p>大規模損壊発生時において原子力防災組織、重大事故等対策要員が使用する文書体系については以下のとおり。</p>  <p>b. 大規模損壊時の対応手順書体系図</p> <p>大規模損壊発生時、「大規模損壊発生時における原子炉施設の保全のための活動に関する所達」の適用条件に該当すると原子力防災管理者または当直課長が判断した場合、各個別戦略を講じるため以下の手順書を用いて対応を行う。</p> <p>必要な対応操作については、「大規模損壊発生時における原子炉施設の保全のための活動に関する所達」により選定され、各基準に定められた手順により対応を行う。</p>	<p>1. 女川原子力発電所 手順書体系大規模損壊関連体系図</p> <p>大規模損壊発生時に必要となる手順書類について、発電所のQMS文書体系上の位置づけを第1図に示す。</p>  <p>(今後の検討により内容が変更となる可能性がある。)</p> <p>第1図 QMS文書体系上の手順書の位置づけ</p> <p>2. 大規模損壊発生時の対応手順書体系図</p> <p>発電所対策本部で使用する対応フローに従った措置を講じるため、以下の手順書を用いて対応を行う。また、対応手順書の機能体系を第2図に、手順書のリストを第2表に示す。</p> <p>(1) 発電所対策本部用手順書</p> <p>① 発電所対策本部運営要領書</p> <p>重大事故、大規模損壊等が発生した場合又はそのおそれがある場合に、緊急事態に関する発電所対策本部の責任と権限及び実施事項を定めた要領で発電所対策本部が使用する。また、発電所対策本部の運営及び、各機能班が実施する事項については、本要領書に定める。</p> <p>② アクシデントマネジメントガイド (AMG)</p> <p>炉心損傷後に想定されるプラント状態の判断や事故の進展防止及び影響緩和のために実施すべき操作の技術的根拠となる情報を定めたガイドで、運転員に対する支援活動の参考として、技術支援組織が使用する。</p> <p>③ 重大事故等対応要領書 (EHG)</p> <p>自然現象や大規模損壊等により、多数の恒設の電源設備・注水設備等が使用できない場合に、運転員の事故対応に必要な支援を行うための可搬型設備等による事故対応操作内容を定めた要領書で、重大事故等対策要員及び初期消火要員（消防車隊）が使用する。</p>	<p>大規模損壊発生時の対応手順書体系</p> <p>1. 泊発電所 大規模損壊対応に係る文書体系図</p> <p>大規模損壊発生時において、運転員、災害対策要員等が使用する文書体系について以下に示す。</p>  <p>2. 大規模損壊に対応するための手順</p> <p>大規模損壊発生時には、事象の進展に応じて、以下に示す手順書（「泊発電所 運転要領」、「泊発電所 重大事故等および大規模損壊対応要領」、「泊発電所 原子力災害対策要領」及び「泊発電所 火災防護対策要領」）により対応する。</p>	<p>【大飯】【女川】記載表現の相違</p> <p>【大飯】【女川】記載表現の相違</p> <p>【女川】記載内容の相違</p> <p>・泊は、大飯や東海第二及び島根と同様に、個別の手順書については技術的能力1.0で説明している。</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

2.1 可搬型設備等による対応

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																										
	<p>第2表 大規模損壊時の対応手順書リスト</p> <table border="1" data-bbox="672 212 1189 379"> <thead> <tr> <th>発電所対策本部運営要領</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>情報班実施事項</td></tr> <tr><td>総務班実施事項</td></tr> <tr><td>広報班実施事項</td></tr> <tr><td>技術班実施事項</td></tr> <tr><td>放射線管理班実施事項</td></tr> <tr><td>保安班実施事項</td></tr> <tr><td>発電管理班実施事項</td></tr> </tbody> </table> <table border="1" data-bbox="672 411 1189 842"> <thead> <tr> <th>アクシデントマネジメントガイド（AMG）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>(a) 確認ガイド</td></tr> <tr><td>〔確認ガイド-1〕：炉心損傷確認ガイド</td></tr> <tr><td>〔確認ガイド-2〕：損傷炉心の冷却性確認ガイド</td></tr> <tr><td>〔確認ガイド-3〕：原子炉圧力容器破損の確認ガイド</td></tr> <tr><td>〔確認ガイド-4〕：格納容器モニタ (格納容器内パラメータの監視、格納容器健全性確認ガイド)</td></tr> <tr><td>(b) 操作ガイド</td></tr> <tr><td>〔操作ガイド-1〕：損傷炉心への注水操作ガイド</td></tr> <tr><td>〔操作ガイド-2〕：原子炉減圧操作ガイド（注水手段がある場合）</td></tr> <tr><td>〔操作ガイド-3〕：原子炉減圧操作ガイド（注水手段がない場合）</td></tr> <tr><td>〔操作ガイド-4〕：機器復旧後の切り替え操作ガイド</td></tr> <tr><td>〔操作ガイド-5〕：（原子炉圧力容器破損後の）原子炉への注水操作ガイド</td></tr> <tr><td>〔操作ガイド-6〕：ベドスタルへの注水操作ガイド</td></tr> <tr><td>〔操作ガイド-7〕：格納容器からの除熱操作ガイド</td></tr> <tr><td>〔操作ガイド-8〕：格納容器ベント操作ガイド</td></tr> <tr><td>〔操作ガイド-9〕：長期冷却操作ガイド</td></tr> <tr><td>〔操作ガイド-10〕：可燃性ガス濃度制御系（FCS）操作ガイド</td></tr> <tr><td>〔操作ガイド-11〕：原子炉ウエルへの注水操作ガイド</td></tr> <tr><td>〔操作ガイド-12〕：原子炉建屋可燃性ガス濃度制御操作ガイド</td></tr> </tbody> </table> <table border="1" data-bbox="672 874 1189 1166"> <thead> <tr> <th>重大事故等対応要領書（EIG）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>炉心冷却手順</td></tr> <tr><td>使用済燃料冷却手順</td></tr> <tr><td>格納容器機能維持手順</td></tr> <tr><td>建屋機能維持手順</td></tr> <tr><td>電源確保手順</td></tr> <tr><td>アクセスルート確保手順</td></tr> <tr><td>放射性物質拡散抑制手順</td></tr> <tr><td>消火手順</td></tr> <tr><td>水源確保手順</td></tr> <tr><td>燃料補給手順</td></tr> <tr><td>モニタリング手順</td></tr> <tr><td>アシスト手順</td></tr> </tbody> </table> <table border="1" data-bbox="672 1198 1189 1281"> <thead> <tr> <th>警報処置手順書</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>警報処置運転手順書</td></tr> </tbody> </table>	発電所対策本部運営要領	情報班実施事項	総務班実施事項	広報班実施事項	技術班実施事項	放射線管理班実施事項	保安班実施事項	発電管理班実施事項	アクシデントマネジメントガイド（AMG）	(a) 確認ガイド	〔確認ガイド-1〕：炉心損傷確認ガイド	〔確認ガイド-2〕：損傷炉心の冷却性確認ガイド	〔確認ガイド-3〕：原子炉圧力容器破損の確認ガイド	〔確認ガイド-4〕：格納容器モニタ (格納容器内パラメータの監視、格納容器健全性確認ガイド)	(b) 操作ガイド	〔操作ガイド-1〕：損傷炉心への注水操作ガイド	〔操作ガイド-2〕：原子炉減圧操作ガイド（注水手段がある場合）	〔操作ガイド-3〕：原子炉減圧操作ガイド（注水手段がない場合）	〔操作ガイド-4〕：機器復旧後の切り替え操作ガイド	〔操作ガイド-5〕：（原子炉圧力容器破損後の）原子炉への注水操作ガイド	〔操作ガイド-6〕：ベドスタルへの注水操作ガイド	〔操作ガイド-7〕：格納容器からの除熱操作ガイド	〔操作ガイド-8〕：格納容器ベント操作ガイド	〔操作ガイド-9〕：長期冷却操作ガイド	〔操作ガイド-10〕：可燃性ガス濃度制御系（FCS）操作ガイド	〔操作ガイド-11〕：原子炉ウエルへの注水操作ガイド	〔操作ガイド-12〕：原子炉建屋可燃性ガス濃度制御操作ガイド	重大事故等対応要領書（EIG）	炉心冷却手順	使用済燃料冷却手順	格納容器機能維持手順	建屋機能維持手順	電源確保手順	アクセスルート確保手順	放射性物質拡散抑制手順	消火手順	水源確保手順	燃料補給手順	モニタリング手順	アシスト手順	警報処置手順書	警報処置運転手順書		
発電所対策本部運営要領																																													
情報班実施事項																																													
総務班実施事項																																													
広報班実施事項																																													
技術班実施事項																																													
放射線管理班実施事項																																													
保安班実施事項																																													
発電管理班実施事項																																													
アクシデントマネジメントガイド（AMG）																																													
(a) 確認ガイド																																													
〔確認ガイド-1〕：炉心損傷確認ガイド																																													
〔確認ガイド-2〕：損傷炉心の冷却性確認ガイド																																													
〔確認ガイド-3〕：原子炉圧力容器破損の確認ガイド																																													
〔確認ガイド-4〕：格納容器モニタ (格納容器内パラメータの監視、格納容器健全性確認ガイド)																																													
(b) 操作ガイド																																													
〔操作ガイド-1〕：損傷炉心への注水操作ガイド																																													
〔操作ガイド-2〕：原子炉減圧操作ガイド（注水手段がある場合）																																													
〔操作ガイド-3〕：原子炉減圧操作ガイド（注水手段がない場合）																																													
〔操作ガイド-4〕：機器復旧後の切り替え操作ガイド																																													
〔操作ガイド-5〕：（原子炉圧力容器破損後の）原子炉への注水操作ガイド																																													
〔操作ガイド-6〕：ベドスタルへの注水操作ガイド																																													
〔操作ガイド-7〕：格納容器からの除熱操作ガイド																																													
〔操作ガイド-8〕：格納容器ベント操作ガイド																																													
〔操作ガイド-9〕：長期冷却操作ガイド																																													
〔操作ガイド-10〕：可燃性ガス濃度制御系（FCS）操作ガイド																																													
〔操作ガイド-11〕：原子炉ウエルへの注水操作ガイド																																													
〔操作ガイド-12〕：原子炉建屋可燃性ガス濃度制御操作ガイド																																													
重大事故等対応要領書（EIG）																																													
炉心冷却手順																																													
使用済燃料冷却手順																																													
格納容器機能維持手順																																													
建屋機能維持手順																																													
電源確保手順																																													
アクセスルート確保手順																																													
放射性物質拡散抑制手順																																													
消火手順																																													
水源確保手順																																													
燃料補給手順																																													
モニタリング手順																																													
アシスト手順																																													
警報処置手順書																																													
警報処置運転手順書																																													

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

2.1 可搬型設備等による対応

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p style="text-align: center;">非常時操作手順書（イベントベース）（AOP）</p> <p>原子炉スクラム 冷却材喪失 配管破断 給水喪失 原子炉再循環系故障 燃料破損 タービン系故障 電気系故障 その他系統故障 火災</p> <p style="text-align: center;">非常時操作手順書（微候ベース）（EOP）</p> <p>原子炉制御 格納容器制御 原子炉建屋制御 燃料プール制御 不測事態 電源回復</p> <p style="text-align: center;">非常時操作手順書（シビアアクシデント）（SOP）</p> <p>注水ストラテジー1 「損傷炉心への注水」 注水ストラテジー2 「長期の損傷炉心への注水」 注水ストラテジー3 a 「R P V破損前のベデスタル初期注水」 注水ストラテジー3 b 「R P V破損後のベデスタル注水」 注水ストラテジー4 「長期のR P V破損後の注水」 除熱ストラテジー1 「損傷炉心冷却後の除熱」 除熱ストラテジー2 「R P V破損後の除熱」 ペントストラテジー 「P C V破損防止」 水素制御ストラテジー 「原子炉建屋水素制御」</p> <p style="text-align: center;">非常時操作手順書（プラント停止中）</p> <p>崩壊熱除去機能喪失 原子炉冷却材喪失 燃料プール冷却機能喪失 燃料プール冷却材喪失 外部電源喪失 臨界事象発生</p> <p style="text-align: center;">非常時操作手順書（設備別）</p> <p>反応度制御 炉心冷却 使用済燃料冷却 格納容器機能維持 建屋機能維持 電源確保 アシスト</p>		

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

2.1 可搬型設備等による対応

大飯発電所3/4号炉	伊方発電所3号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p style="text-align: right;">添付資料 2.1.6</p> <p>大規模損壊時のイグナイタ起動判断について</p> <p>I. 水素爆発抑制戦略におけるイグナイタの起動について</p> <p>水素は、高温の燃料被覆管のジルコニウム (Zr) と水蒸気との接触により大量に発生する。従って、炉心が損傷し、破断口又は原子炉容器破損箇所から格納容器内に1次冷却材の漏えいが生じている場合、格納容器内の水素濃度が高くなっている可能性が高い。</p> <p>また、MCCIによっても追加の大量の水素発生可能性がある。</p> <p>そのため、炉心損傷後にイグナイタを起動する場合、水素燃焼による格納容器の健全性に与える影響を十分に考慮し、慎重な対応が必要となる。</p> <p>判断に用いる情報としては、格納容器内注水等、各種パラメータ等に基づくプラント状況の把握のほか、以下が考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事故経過時間 ・格納容器内圧力 ・格納容器内水素濃度及びその傾向 ・PARの温度及びその傾向 <p>ここで、原子炉容器破損により放出される水素及びMCCIにより発生する可能性のある水素を考慮した「水素燃焼」シーケンス（大破断LOCA+ECCS注入失敗+C/Vスプレイ注入）の解析により、余裕を考慮しても事故*発生後1時間以内であれば原子炉容器破損時の水素濃度は6vol%程度であり、十分水素濃度が低いことを確認している。</p> <p>また、イグナイタ周辺の機器については、イグナイタが着火する水素濃度8vol%程度での水素燃焼によって影響がないことを確認している。</p> <p>従って、事故発生後1時間以内であれば、事象進展の早い大破断LOCA起因の事故であっても原子炉容器破損前であり格納容器内水素濃度は8vol%未満であること、大破断LOCA起因と比べて事象進展が遅いトランジェント等の事故では炉心損傷前となることから、格納容器内水素濃度を確認することなく速やかにイグナイタを起動することとしている。</p> <p>※ 事故進展解析における大破断LOCA等の起回事象</p>	<p style="text-align: right;">添付資料 2.1.5</p> <p>大規模損壊時の格納容器水素イグナイタ起動判断について</p> <p>I. 水素爆発抑制のための戦略における格納容器水素イグナイタの起動について</p> <p>格納容器内の水素は、高温の燃料被覆管のジルコニウム (Zr) と水蒸気との接触により大量に発生する。したがって、炉心が損傷し、破断口又は原子炉容器破損箇所から格納容器内に1次冷却材の漏えいが生じている場合、格納容器内の水素濃度が高くなっている可能性が高い。</p> <p>また、MCCIによっても追加の大量の水素発生可能性がある。</p> <p>そのため、炉心損傷後に原子炉格納容器水素イグナイタ（以下「イグナイタ」という。）を起動する場合、水素燃焼による格納容器の健全性に与える影響を十分に考慮し、慎重な対応が必要となる。</p> <p>判断に用いる情報としては、格納容器内注水等、各種パラメータ等に基づくプラント状況の把握のほか、以下が考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事故経過時間 ・原子炉格納容器圧力 ・格納容器内水素濃度及びその傾向 ・原子炉格納容器内水素処理装置（以下「PAR」という。）の温度及びその傾向 <p>ここで、原子炉容器破損により放出される水素及びMCCIにより発生する可能性のある水素を考慮した「水素燃焼」シーケンス（大破断LOCA+ECCS注入失敗+C/Vスプレイ注入）の解析により、余裕を考慮しても事故*発生後1時間以内であれば原子炉容器破損時の水素濃度は6vol%程度であり、十分水素濃度が低いことを確認している。</p> <p>また、イグナイタ周辺の機器については、イグナイタが着火する水素濃度8vol%程度での水素燃焼によって影響がないことを確認している。</p> <p>したがって、事故発生後1時間以内であれば、事象進展の早い大破断LOCA起因の事故であっても原子炉容器破損前であり格納容器内水素濃度は8vol%未満であること、大破断LOCA起因と比べて事象進展が遅いトランジェント等の事故では炉心損傷前となることから、格納容器内水素濃度を確認することなく速やかにイグナイタを起動することとしている。</p> <p>※：事故進展解析における大破断LOCA等の起回事象</p>	<p>・女川には格納容器水素イグナイタに相当する設備はないことから、同様の資料はない。</p> <p>・大飯には同様の添付資料がないことから、泊3号炉と同じ3ループプラントである伊方3号炉との比較を示す。</p> <p>【伊方】設備名称の相違（以降、相違理由の記載を省略する）</p> <p>【伊方】記載表現の相違</p> <p>【伊方】パラメータ名称の相違（以降、相違理由の記載を省略する）</p> <p>【伊方】設備名称の相違</p>

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

2.1 可搬型設備等による対応

大飯発電所3/4号炉	伊方発電所3号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>ただし、イグナイタの起動は、大規模損壊対応として初動時に非常用電源系統の受電が不可能な場合においては1時間以内で起動することが困難であり、代替電気設備を使用しケーブル敷設の作業が必要であるため5時間程度経過した時点と想定される。</p> <p>この時点では、格納容器への脅威となる程のMCCIによる追加の水素発生はなく水素濃度の推移は比較的緩やかであり、水素爆轟防止の判断の目安となる13vol%に至らないと考えられる。</p> <p>また、水の放射線分解により長期的に生成する水素については、2kg/h程度と緩やかであり直ちに格納容器の脅威となることはなく、PARが健全であれば減少する。</p> <p>従って、発電所対策本部において判断するための十分な時間余裕があることから、利用可能な情報等に基づき上記の判断に用いる情報の特徴を踏まえて検討を行い、事象が進展し水素爆轟による格納容器破損の脅威が予想される場合、つまり格納容器破損の脅威に対する実効性があり、かつ水素燃焼による格納容器の健全性に悪影響を与えないと判断できる場合にイグナイタを起動する。</p> <p>判断に用いる情報について、(1)～(4)に整理する。</p> <p>(1) 事故経過時間</p> <p>大規模損壊では、5時間程度経過した時点での対応となる可能性がある。</p> <p>ここでは、PRAにおいて実施したMAAPを用いた代表PDS（プラント損傷状態）の事故進展解析の結果より、イグナイタ起動の格納容器破損への脅威に対する実効性について考察する。</p> <p>なお、実際は一部の安全系機器が動作していることが考えられ、本評価よりも事象進展が緩やかとなる可能性が高い。事故進展解析の結果については、詳細を参考1に示す。</p>	<p>ただし、イグナイタの起動は、大規模損壊対応として初動時に非常用電源系統の受電が不可能な場合においては1時間以内で起動することは困難であり、代替所内電気設備を使用しケーブル敷設の作業が必要であるため5時間程度経過した時点と想定される。</p> <p>しかしながら、この時点では、格納容器への脅威となる程のMCCIによる追加の水素の発生はなく水素濃度の推移は比較的緩やかであり、水素爆轟防止の判断の目安となる13vol%に至らないものと判断する。</p> <p>また、水の放射線分解により長期的に生成する水素については、2kg/h程度と緩やかであり直ちに格納容器の脅威となることはなく、PARが健全であれば減少する。</p> <p>このため、発電所対策本部において判断するための十分な時間余裕があることから、利用可能な情報等に基づき上記の判断に用いる情報の特徴を踏まえて検討を行い、事象が進展し水素爆轟による格納容器破損の脅威が予想される場合、つまり格納容器破損の脅威に対する実効性があり、かつ水素燃焼による格納容器の健全性に悪影響を与えないと判断できる場合にイグナイタを起動する。</p> <p>判断に用いる情報について、1. (1)～(4)に整理する。</p> <p>1. イグナイタ起動の判断に用いる情報</p> <p>(1) 事故経過時間</p> <p>大規模損壊では、5時間程度経過した時点での対応となる可能性がある。</p> <p>ここでは、さまざまな事象進展について検討するため、レベル1.5PRAにおいて実施したMAAPを用いた代表PDS（プラント損傷状態）の事故進展解析の結果より、イグナイタ起動の格納容器破損への脅威に対する実効性について考察する。</p> <p>なお、実際は一部の安全系機器が動作していることが考えられ、本評価よりも事象進展が緩やかとなる可能性が高い。事故進展解析の結果（代表3ループプラント）については、詳細を参考1に示す。</p> <p>泊3号炉は3ループプラントであり、代表3ループプラントと燃料体、原子炉等の構造が類似していること、また、有効性評価等の事故進展解析においては同じような挙動を示すことが分かっていることから、当該事故進展解析結果は泊3号炉に適用できるものと判断している。</p>	<p>【伊方】 設備名称の相違</p> <p>【伊方】 記載表現の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・泊は事象進展解析の結果から「至らない」と判断したものであるため、それを意図した表現としている。 <p>【伊方】 文章構成の相違</p> <p>【伊方】 記載表現の相違</p> <p>【伊方】 記載内容の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・泊は過去のヒアリングでの指摘事項を踏まえ、事故進展解析の結果が代表3ループプラントのものであることを明記した上で、これが泊3号炉に適用できると判断した理由を記載している。 	

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）


2.1 可搬型設備等による対応

大飯発電所3/4号炉	伊方発電所3号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>C/V スプレイ及び再循環に成功している場合（AEI 及び TEI）は、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事故早期から後期にかけて4 vol%以上あり、水素燃焼の可能性が考えられること ・格納容器への脅威となる MCCI の水素発生量ではなく、事故早期の水素濃度からの上昇がほとんどみられないこと ・その他、格納容器に脅威を与える現象は考えられないこと <p>から、対策を講じなくても水素燃焼、過圧破損等による格納容器への脅威はなく、高水素濃度で着火する可能性がある場合はイグナイタの起動を行うべきではない。</p> <p>C/V スプレイに成功し再循環に失敗している場合（AEW）は、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事故早期から後期にかけて4 vol%未満であり、水素燃焼の可能性は低いこと ・格納容器への脅威となる MCCI の水素発生量ではなく、再循環失敗により水蒸気の凝縮もないため徐々に水素濃度が低下すること ・格納容器への脅威は過圧破損であるため、再循環機能等の復旧に伴い水蒸気の凝縮による水素濃度の上昇が想定されるが、過圧破損までに MCCI による大量の水素発生がないことから、水素濃度を考慮しつつ格納容器内圧力の管理が可能と考えられることから、イグナイタを起動するメリットは小さい。 <p>C/V スプレイ及び再循環に失敗している場合（AED、SED 及び TED）は、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・破断口等からの水素放出直後を除き、事故早期から後期にかけては4 vol%未満であり、水素燃焼の可能性は低いこと ・C/V スプレイに失敗した場合は、格納容器への脅威となる MCCI による水素発生量の著しい増加（最も事象進展が早い解析においては事故発生から約5時間以上経過した時点）があり、過圧破損しなかった場合には水素濃度が更に上昇すること ・格納容器への脅威は過圧破損であるため、注水機能の復旧を行った場合、MCCI による水素発生が著しく増加した後においては水蒸気の凝縮による水素濃度の急激な上昇が想定されることから、時期にもよるがイグナイタを起動するメリットはある。 	<p>a. C/V スプレイ及び再循環に成功している場合 C/V スプレイ及び再循環に成功している場合（AEI 及び TEI）の特徴としては、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事故早期から後期にかけて水素濃度は4 vol%以上あり、水素燃焼の可能性が考えられる。 ・格納容器への脅威となる MCCI による水素発生量ではなく、事故早期の水素濃度からの上昇がほとんどみられない。 ・その他、格納容器に脅威を与える現象は考えられない。 <p>以上のことから、対策を講じなくても水素燃焼、過圧破損等による格納容器への脅威はなく、高水素濃度で着火する可能性がある場合はイグナイタの起動を行うべきではない。</p> <p>b. C/V スプレイに成功し再循環に失敗している場合 C/V スプレイに成功し再循環に失敗している場合（AEW）の特徴としては、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事故早期から後期にかけて4 vol%未満であり、水素燃焼の可能性は低い。 ・格納容器への脅威となる MCCI による水素発生量ではなく、再循環失敗により水蒸気の凝縮もないため徐々に水素濃度が低下する。 ・格納容器への脅威は過圧破損であるため、再循環機能等の復旧を行った場合、水蒸気の凝縮による水素濃度の上昇が想定されるが、過圧破損までに MCCI による大量の水素発生がない。以上のことから、水素濃度を考慮しつつ原子炉格納容器圧力の管理が可能と考えられるため、イグナイタを起動するメリットは小さい。 <p>c. C/V スプレイ及び再循環に失敗している場合 C/V スプレイ及び再循環に失敗している場合（AED、SED 及び TED）の特徴としては、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・破断口等からの水素放出直後を除き、事故早期から後期にかけては4 vol%未満であり、水素燃焼の可能性は低い。 ・C/V スプレイに失敗した場合は、格納容器への脅威となる MCCI による水素発生量の著しい増加（最も事象進展が早い解析においては事故発生から約5時間以上経過した時点）があり、過圧破損しなかった場合には水素濃度がさらに上昇する。 ・格納容器への脅威は過圧破損であるため、注水機能の復旧を行った場合、MCCI による水素発生が著しく増加した後においては水蒸気の凝縮による水素濃度の急激な上昇が想定される。以上のことから、起動のタイミング次第ではあるものの、イグナイタを起動するメリットはあると考えられる。 	<p>【伊方】文章構成及び記載表現の相違</p> <p>【伊方】文章構成及び記載表現の相違</p> <p>【伊方】文章構成及び記載表現の相違</p> <p>【伊方】記載表現の相違</p>

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

2.1 可搬型設備等による対応

大飯発電所3/4号炉	伊方発電所3号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>従って、安全系機器の作動状況、プラントパラメータ等からC/Vスプレイ失敗が明らかであり、MCCIによる水素の大量発生後に注水機能の復旧による過圧破損防止対策を講じる可能性がある場合には、水素濃度が低い時点でのイグナイタ起動については、格納容器破損への脅威に対する実効性が高い。</p> <p>(2) 格納容器内圧力 格納容器内圧力と格納容器内水素濃度の関係を第2.1.6-1図に示す。 MCCIにより発生する可能性のある水素を考慮し、水素反応の条件をZr100%と仮定しても、格納容器内圧力が最高使用圧力近傍であれば水素濃度は十分低い。 複数のチャンネルで同じ圧力であればデータの信頼性は高いため、水素濃度が十分低いと判断できる場合にはイグナイタを起動することが可能である。</p>  <p>第2.1.6-1図 伊方3号機 格納容器内圧力と格納容器内水素濃度の関係</p> <p>(3) 水素濃度 重大事故時における格納容器内の水素濃度を中央制御室において連続監視できるよう、可搬型の格納容器水素濃度計測装置を設置することとしている。 格納容器内注水が成功していれば、格納容器内の水素は攪拌により均一化されていると考えられるものの、1点のサンプリングによる測定であることから代表性の不確かさを有する。 原子炉格納容器からのサンプリングガスは、冷却器での冷却凝縮、湿分離器での水分除去により、ほぼドライ状態で格納容器水素濃度計測装置に送り測定する。詳細を参考2に示す。</p>	<p>したがって、安全系機器の作動状況、プラントパラメータ等からC/Vスプレイ失敗が明らかであり、MCCIによる水素の大量発生後に注水機能の復旧による過圧破損防止対策を講じる可能性がある場合には、水素濃度が低い時点でのイグナイタ起動については、格納容器破損への脅威に対する実効性が高い。</p> <p>(2) 原子炉格納容器圧力 原子炉格納容器圧力と格納容器内水素濃度の関係を図5-1に示す。 MCCIにより発生する可能性のある水素を考慮し、水素反応の条件をZr100%と仮定しても、原子炉格納容器圧力が最高使用圧力近傍であれば水素濃度は十分低い。 複数のチャンネルで同じ圧力であればデータの信頼性は高いため、水素濃度が十分低いと判断できる場合にはイグナイタを起動することが可能である。</p>  <p>図5-1 泊3号機における原子炉格納容器圧力と格納容器内水素濃度の関係</p> <p>枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p> <p>(3) 水素濃度 重大事故時における格納容器内の水素濃度を中央制御室において連続監視できるよう、可搬型格納容器内水素濃度計測ユニットを設置することとしている。 格納容器内注水が成功していれば、格納容器内の水素は攪拌により均一化されていると考えられるものの、1点のサンプリングによる測定であることから代表性の不確かさを有する。 原子炉格納容器からのサンプリングガスは、冷却器での冷却凝縮、湿分離器での水分除去により、ほぼドライ状態で可搬型格納容器内水素濃度計測ユニットに送り測定する。詳細を参考2に示す。</p>	<p>【伊方】記載表現の相違</p> <p>【伊方】設備名称の相違（以降、相違理由の記載を省略する）</p>	

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

2.1 可搬型設備等による対応

大飯発電所3/4号炉	伊方発電所3号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>・検出器 : 熱伝導度方式 ・測定レンジ: 水素濃度0～20vol%</p> <p>計測される水素濃度はドライ換算であるが、格納容器内の状態は水蒸気雰囲気であり実際の水素濃度は低い。 また、本装置は、水素濃度が変動する可能性のある範囲で測定できる設計としているものの、高精度で測定できるものではない。従って、イグナイタの起動に係る参考として水素濃度の推移の監視に利用することは可能であるが、精緻な水素濃度を把握することは困難である。</p> <p>(4) PARの温度 格納容器内に設置されているPARは、水素処理の状況を把握するため、筐体側面に熱電対シースを取り付け、触媒プレート上部のガス温度を測定することとしている。</p> <p>第2.1.6-2図より、水素濃度4vol%におけるPAR内部のガス温度は200℃～300℃程度であり、温度上昇から水素濃度を推定することが可能と考えられることから、イグナイタの起動に係る参考とすることができる。 例えば、全てのPARが格納容器内雰囲気温度と同程度の場合には、水素濃度は十分低いと推定できる。</p> <p>ただし、PARの再結合反応時の温度計による温度上昇の確認方法については、知見が少なく信頼性が低いと考えられるため、今後の国際的な試験状況等も踏まえて改善検討を行っていくこととしている。</p> <div data-bbox="665 978 1227 1385" style="border: 1px solid black; height: 250px; width: 100%;"></div> <p>第2.1.6-2図 PARの温度上昇</p>	<p>・検出器 : 熱伝導度方式 ・測定レンジ: 水素濃度0～20vol%</p> <p>計測される水素濃度はドライ換算であるが、格納容器内の状態は水蒸気雰囲気であり実際の水素濃度は低い。 また、本装置は、水素濃度が変動する可能性のある範囲で測定できる設計としているものの、高精度で測定できるものではない。したがって、イグナイタの起動に係る参考として水素濃度の推移の監視に利用することは可能であるが、精緻な水素濃度を把握することは困難である。</p> <p>(4) PARの温度 格納容器内に設置されているPARは、水素処理の状況を把握するため、筐体側面に熱電対シースを取り付け、触媒プレート上部のガス温度を測定することとしている。</p> <p>図5-2より、水素濃度4vol%におけるPAR内部のガス温度は200℃～300℃程度であり、温度上昇から水素濃度を推定することが可能と考えられることから、イグナイタの起動に係る参考情報となる。 例えば、すべてのPARが格納容器内雰囲気温度と同程度の場合には、PARによる水素処理が行われておらず格納容器内の水素濃度は十分低いと推定できる。</p> <p>ただし、PARの再結合反応時の温度計による温度上昇の確認方法については、知見が少なく信頼性が低いと考えられるため、今後の国際的な試験状況等も踏まえて改善検討を行っていくこととしている。</p> <div data-bbox="1240 978 1803 1385" style="border: 1px solid black; height: 250px; width: 100%;"></div> <p>図5-2 PARの温度上昇</p> <div data-bbox="1240 1417 1803 1465" style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p>枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p> </div>	

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

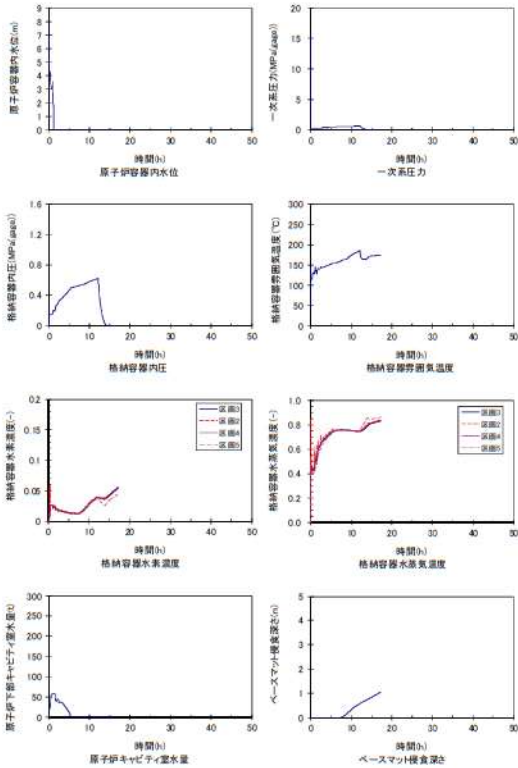
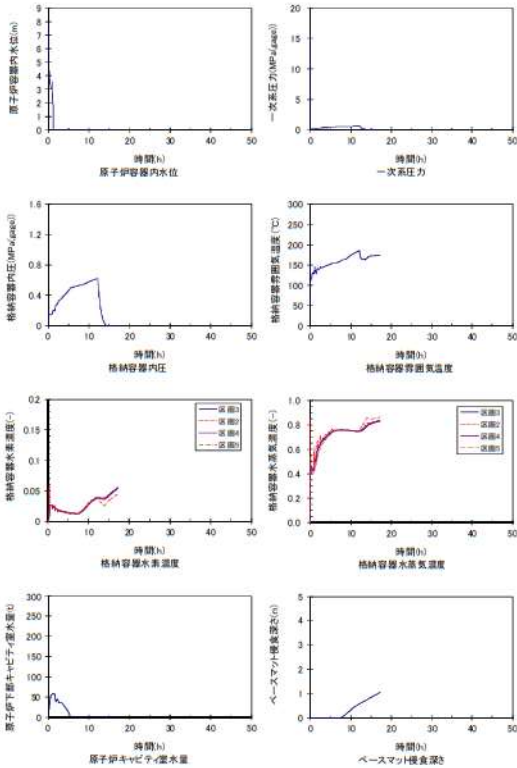
2.1 可搬型設備等による対応

大飯発電所3/4号炉	伊方発電所3号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>(5) イグナイタの起動判断 注水機能の復旧による過圧破損防止対策の実施等、事象の進展に伴い水素爆轟による格納容器破損の脅威が予想される場合であって、かつ水素濃度が低く起動に伴う水素燃焼により格納容器の健全性に悪影響が及ばないと判断できる以下の場合、イグナイタを起動することができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・信頼性の高い格納容器内圧力が把握でき、圧力が最高使用圧力近傍である場合 <p>なお、以下の情報も参考とすることができる。これらは、単独ではデータの信頼性から水素濃度が低いと判断することは困難であるが、複数の情報から総合的に判断できる可能性がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水素濃度測定の結果が相当程度低い場合 ・全ての PAR の温度が格納容器雰囲気温度と同程度である場合 ・安全系機器の作動状況、プラントパラメータによりプラント状態が把握でき、事故進展解析と比較することにより水素濃度が低いことが推定できる場合 <p style="text-align: right;">以上</p>	<p>2. イグナイタの起動判断 注水機能の復旧による過圧破損防止対策の実施等、事象の進展に伴い水素爆轟による格納容器破損の脅威が予想される場合であって、かつ水素濃度が低く起動に伴う水素燃焼により原子炉格納容器の健全性に悪影響が及ばないと判断できる以下の場合、イグナイタを起動することができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・信頼性の高い原子炉格納容器圧力が把握でき、圧力が最高使用圧力近傍である場合 <p>なお、以下の情報も参考とすることができる。これらは、単独ではデータの信頼性から水素濃度が低いと判断することは困難であるが、複数の情報から総合的に判断できる可能性がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水素濃度の測定結果が継続して低い場合 ・すべての PAR の温度が格納容器内雰囲気温度と同程度である場合 ・安全系機器の作動状況、プラントパラメータによりプラント状態が把握でき、事故進展解析と比較することにより水素濃度が低いことが推定できる場合 	<p>【伊方】文章構成の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・泊は1. (1)～(4)の情報を参考にして、イグナイタの起動判断をすることから、本項は別項目としている。 <p>【伊方】記載表現の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・泊は、前述のとおり、水素濃度は、その推移の監視に利用することが有効であると判断しているため、それを意図した記載としている。

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

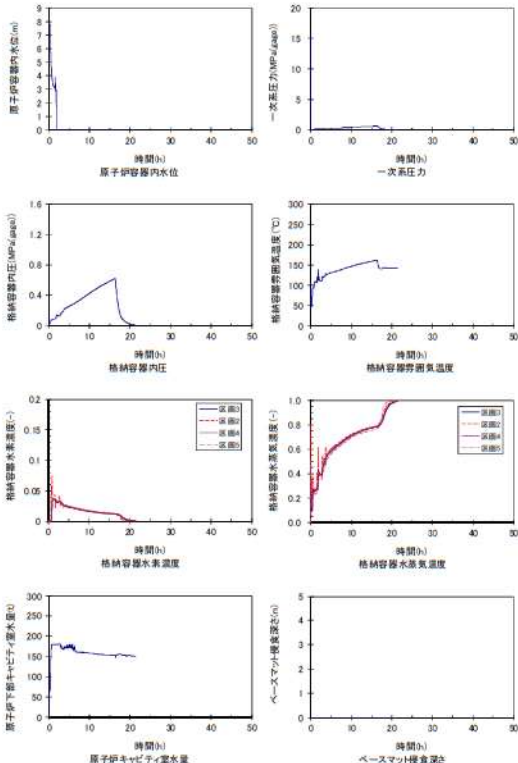
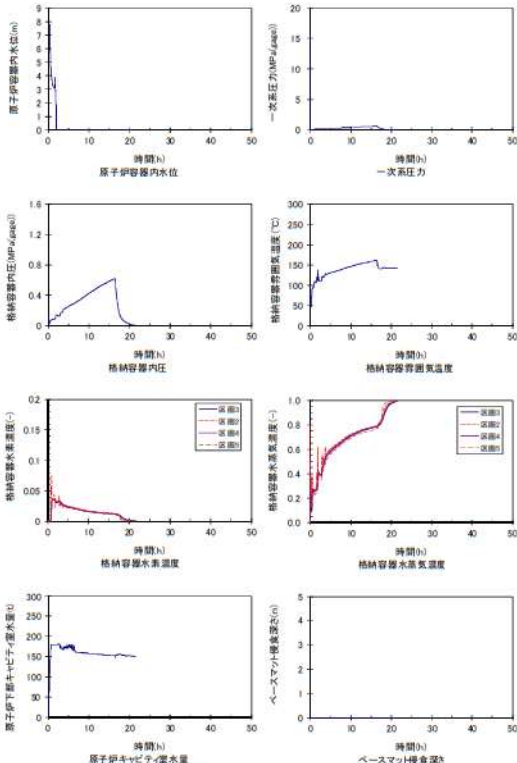
2.1 可搬型設備等による対応

大飯発電所3/4号炉	伊方発電所3号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	 <p style="text-align: center;">代表的な物理量の時間変化 (AED) 参考図 1-1 熱水力挙動の解析結果</p>	 <p style="text-align: center;">代表的な物理量の時間変化 (AED) 参考図 1-1 熱水力挙動の解析結果</p>	

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

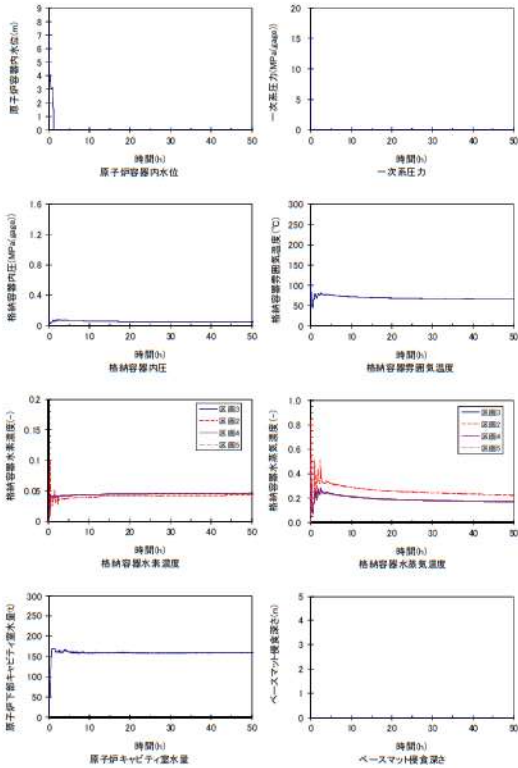
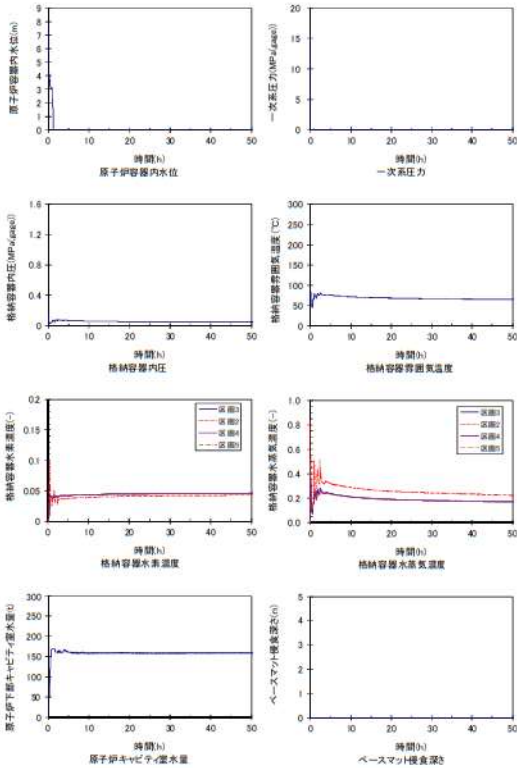
2.1 可搬型設備等による対応

大飯発電所3/4号炉	伊方発電所3号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	 <p style="text-align: center;">代表的な物理量の時間変化 (AEW) 参考図1-2 熱水力挙動の解析結果</p>	 <p style="text-align: center;">代表的な物理量の時間変化 (AEW) 参考図1-2 熱水力挙動の解析結果</p>	

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

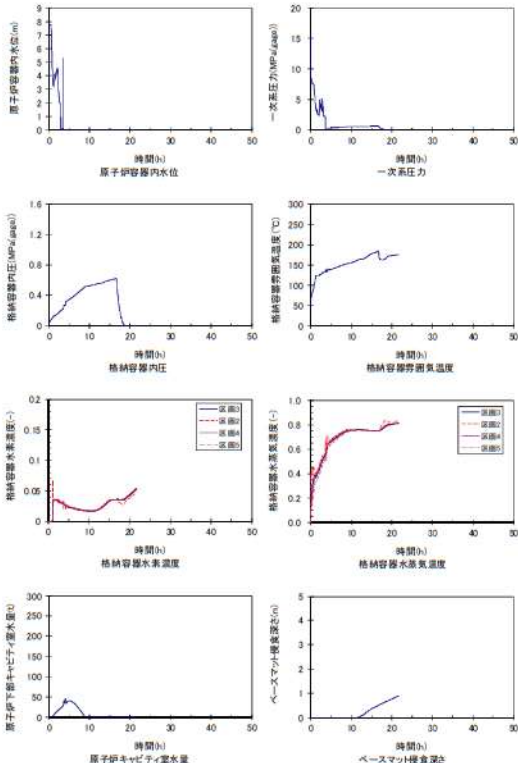
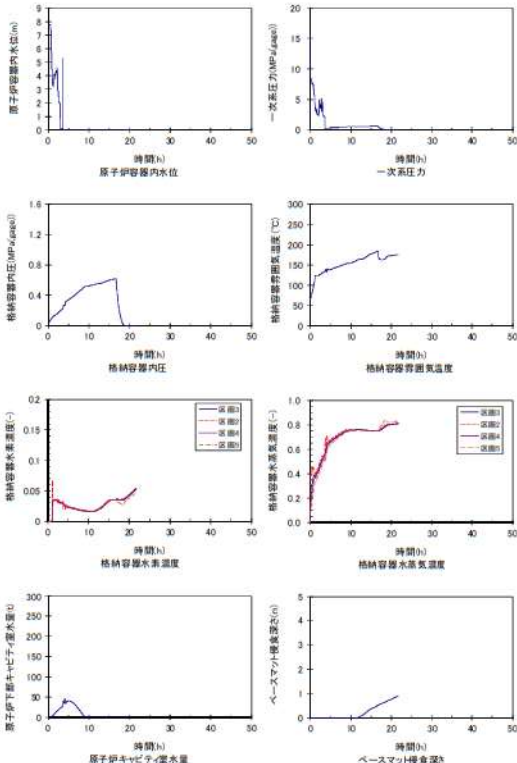
2.1 可搬型設備等による対応

大飯発電所3/4号炉	伊方発電所3号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	 <p style="text-align: center;">代表的な物理量の時間変化 (AEI) 参考図1-3 熱水力挙動の解析結果</p>	 <p style="text-align: center;">代表的な物理量の時間変化 (AEI) 参考図1-3 熱水力挙動の解析結果</p>	

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

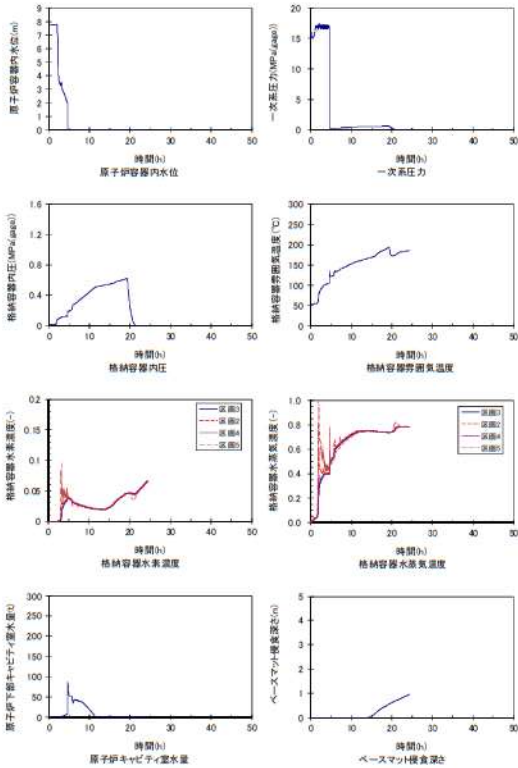
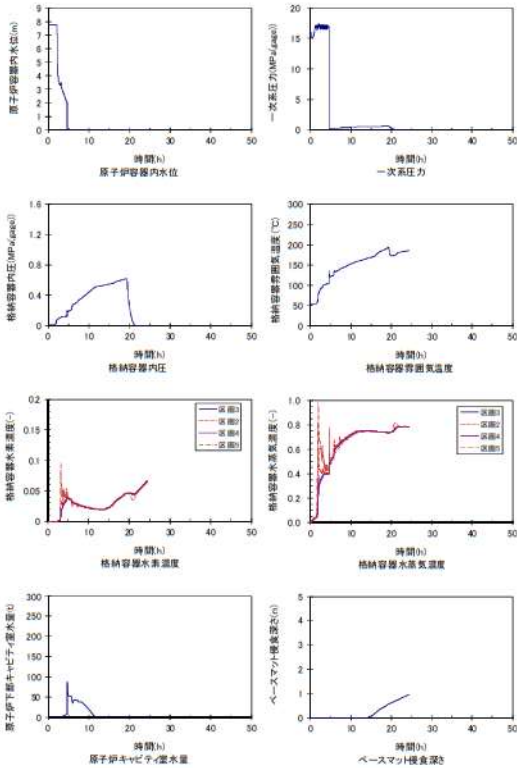
2.1 可搬型設備等による対応

大飯発電所3/4号炉	伊方発電所3号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	 <p style="text-align: center;">代表的な物理量の時間変化 (SED) 参考図 1-4 熱水力挙動の解析結果</p>	 <p style="text-align: center;">代表的な物理量の時間変化 (SED) 参考図 1-4 熱水力挙動の解析結果</p>	

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

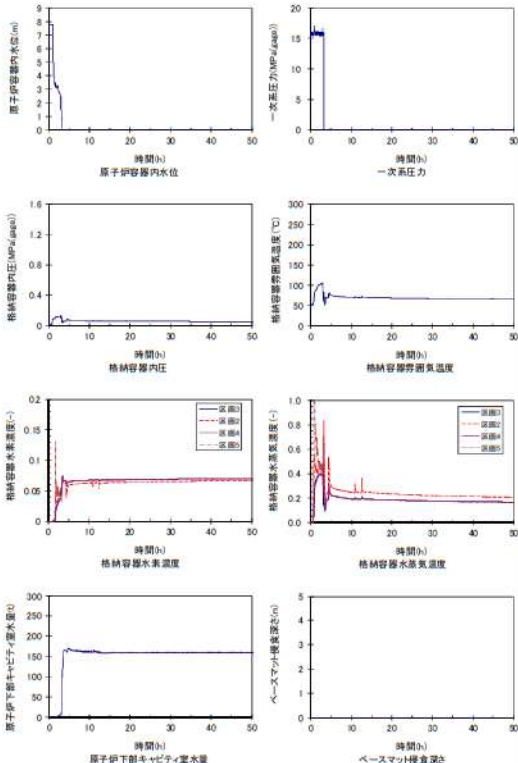
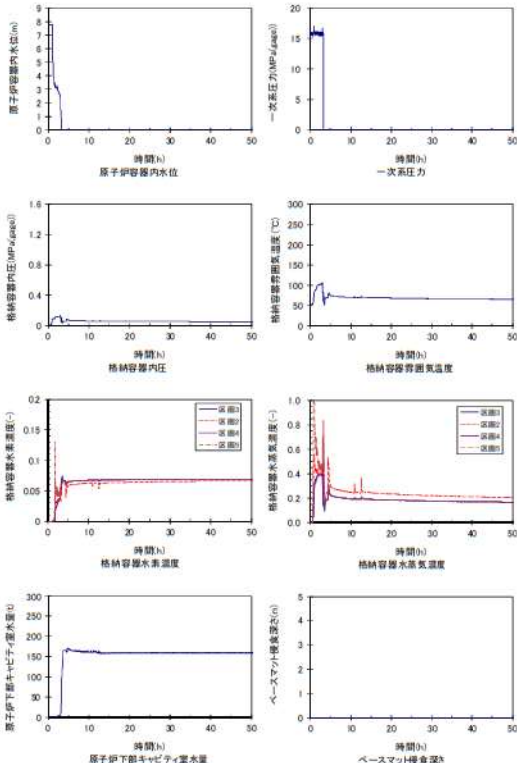
2.1 可搬型設備等による対応

大飯発電所3/4号炉	伊方発電所3号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	 <p style="text-align: center;">代表的な物理量の時間変化 (TED) 参考図 1-5 熱水力挙動の解析結果</p>	 <p style="text-align: center;">代表的な物理量の時間変化 (TED) 参考図 1-5 熱水力挙動の解析結果</p>	

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

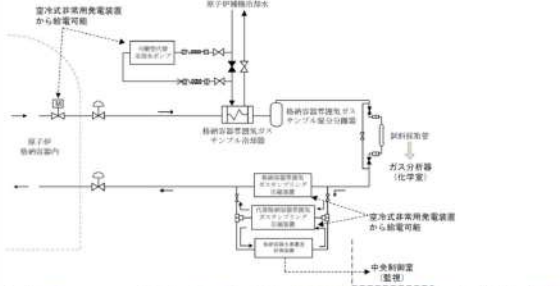
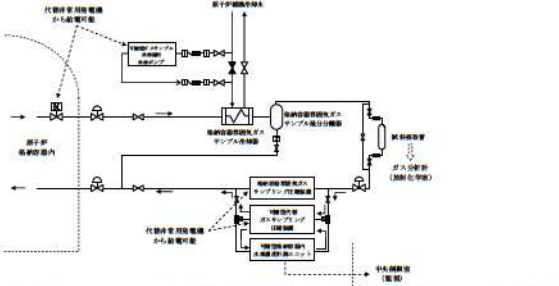
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

2.1 可搬型設備等による対応

大飯発電所3/4号炉	伊方発電所3号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	 <p>原子炉容器内水位 一次系圧力 格納容器内圧 格納容器内温度 格納容器内圧 格納容器内温度 格納容器内圧 格納容器内温度 原子炉下部キャビティ水量 ベースマウント浸食深さ</p>	 <p>原子炉容器内水位 一次系圧力 格納容器内圧 格納容器内温度 格納容器内圧 格納容器内温度 格納容器内圧 格納容器内温度 原子炉下部キャビティ水量 ベースマウント浸食深さ</p>	
	<p>代表的な物理量の時間変化 (TEI) 参考図 1-6 熱水力挙動の解析結果</p>	<p>代表的な物理量の時間変化 (TEI) 参考図 1-6 熱水力挙動の解析結果</p>	

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

2.1 可搬型設備等による対応

大飯発電所3/4号炉	伊方発電所3号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p style="text-align: center;">(参考2)</p> <p style="text-align: center;">原子炉格納容器の水素濃度測定について</p> <p>重大事故時の原子炉格納容器内の水素濃度の状況を監視するために、以下により水素濃度の測定を実施する。</p> <p>1. 水素濃度監視設備</p> <p>(1) 設備概要</p> <p>炉心損傷事故時に、事故の初期段階から、水素濃度が変動する可能性のある範囲で原子炉格納容器内の水素濃度を連続測定ができるよう、可搬型の格納容器水素濃度計測装置を、事故後サンプリング設備に接続し、事故時の原子炉格納容器内の水素濃度を中央制御室において連続監視できるようにする。</p> <p>格納容器水素濃度計測装置</p> <p>検出器：熱伝導度方式 計測範囲：水素濃度 0～20vol%</p> <p>また、サンプリングガスから原子炉格納容器内の水素濃度を測定するための後備設備としてガス分析器（ガスクロマトグラフ）も有している。</p> <p>ガス分析器</p> <p>検出器：熱伝導度方式 計測範囲：水素濃度 0～100vol%</p> <p>(2) 代替電源の確保</p> <p>原子炉格納容器内の水素濃度を測定するために必要な電動弁や代替格納容器雰囲気ガスサンプリング圧縮装置などの電源は、非常用電源から給電可能となっており、全交流動力電源喪失の場合にも、空冷式非常用発電装置から給電可能としている。</p>  <p>参考図2-1 格納容器水素濃度計測装置を使用した格納容器水素濃度</p>	<p style="text-align: center;">(参考2)</p> <p style="text-align: center;">原子炉格納容器の水素濃度測定について</p> <p>重大事故時の原子炉格納容器内の水素濃度の状況を監視するために、以下により水素濃度の測定を実施する。</p> <p>1. 水素濃度監視設備</p> <p>(1) 設備概要</p> <p>炉心損傷事故時に、事故の初期段階から、水素濃度が変動する可能性のある範囲で原子炉格納容器内の水素濃度を連続監視することができるよう、可搬型格納容器内水素濃度計測ユニットを、格納容器雰囲気ガス試料採取設備に接続し、事故時の原子炉格納容器内の水素濃度を中央制御室において連続監視できるようにする。</p> <p>可搬型格納容器内水素濃度計測ユニット</p> <p>検出器：熱伝導度方式 計測範囲：水素濃度 0～20vol%</p> <p>また、サンプリングガスから原子炉格納容器内の水素濃度を測定するための後備設備としてガス分析計（ガスクロマトグラフ）も有している。</p> <p>ガス分析計</p> <p>検出器：熱伝導度方式 計測範囲：水素濃度 0～100vol%</p> <p>(2) 代替電源の確保</p> <p>原子炉格納容器内の水素濃度を測定するために必要な格納容器取り出し部の電動弁や可搬型代替ガスサンプリング圧縮装置等の電源は、非常用電源から給電可能となっており、全交流動力電源喪失時にも、代替非常用発電機から給電可能としている。</p>  <p>参考図2-1 可搬型格納容器内水素濃度計測ユニットを使用した格納容器水素濃度測定</p>	<p>【伊方】設備名称の相違（以降、相違理由の記載を省略する）</p> <p>【伊方】設備名称の相違（以降、相違理由の記載を省略する）</p> <p>【伊方】記載表現の相違</p> <p>【伊方】記載表現の相違</p>

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

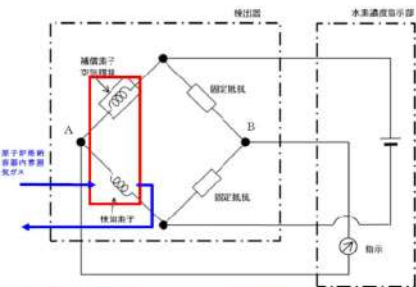
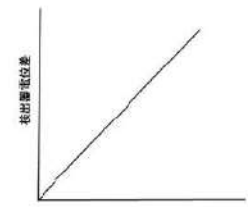
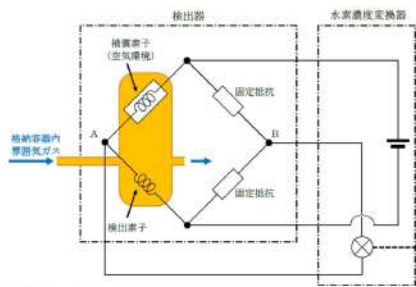
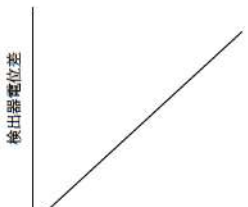
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

2.1 可搬型設備等による対応

大飯発電所3/4号炉	伊方発電所3号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p style="text-align: right;">(別紙)</p> <p>格納容器水素濃度計測装置の測定原理と適用性について</p> <p>1. 格納容器水素濃度計測装置について</p> <p>格納容器水素濃度計測装置は、著しい炉心の損傷が発生した場合に、原子炉格納容器内に発生する水素を監視する目的で、水素濃度が変動する可能性のある範囲で測定できる設計としている。</p> <p>PWRプラントでは、炉心損傷時に原子炉格納容器内に発生する水素濃度を制御し、原子炉格納容器外へ排出する等の操作はないことから、格納容器水素濃度計測装置は、事故時に想定する水素濃度範囲内（13vol%未満）であることやPARやイグナイタによる水素濃度低減等を原子炉格納容器内水素濃度の推移（トレンド）として連続的に監視できることが主な役割である。</p> <p>このために、格納容器水素濃度計測装置は、事故初期に容易に準備対応ができ、炉心損傷時の環境条件に対応できるものであることが求められ、プロセス計器として、中央制御室にて原子炉格納容器内水素濃度の推移（トレンド）を連続的に監視できることが重要となる。水素濃度レベルの程度や推移の監視ができる計測精度としては、概ね1 vol%以下の計測精度を有する必要がある。</p> <p>一方、ガス分析器（ガスクロマトグラフ）は、詳細なガス成分割合の分析を高精度で測定することができるが、分析員の手分析測定による間欠的な試料採取のため、被ばく等の観点から炉心損傷事故初期の対応が困難であり、中央制御室でのリアルタイムでの連続的な水素濃度監視については格納容器水素濃度計測装置での監視測定が適している。</p> <p>格納容器水素濃度計測装置は、水素の熱伝導率が空気、窒素、酸素等と大きく異なることを利用した、水素に着目した熱伝導方式の濃度計であり、事故時に酸素濃度等のガス成分に変動があっても熱伝導率に大きな変化がない。また、キセノン等の不活性ガスはバックグラウンドとなる空気と比較してモル分率が十分小さいためサンプルガスの熱伝導率への影響は十分小さいことから、水素濃度測定に対する大きな誤差にはならない利点がある。</p> <p>したがって、後述するシステムとしての計測精度を認識した上で、重大事故対処時の原子炉格納容器内の水素濃度の推移、傾向（トレンド）の監視のために対応できるものとしている。</p>	<p style="text-align: right;">(別紙1)</p> <p>可搬型格納容器内水素濃度計測ユニットの測定原理と適用性について</p> <p>1. 可搬型格納容器内水素濃度計測ユニットについて</p> <p>可搬型格納容器内水素濃度計測ユニットは、著しい炉心の損傷が発生した場合に、原子炉格納容器内に発生する水素を監視する目的で、水素濃度が変動する可能性のある範囲で測定できる設計としている。</p> <p>PWRプラントでは、炉心損傷時に原子炉格納容器内に発生する水素濃度を制御する目的で原子炉格納容器外へ排出する等の操作はないことから、可搬型格納容器内水素濃度計測ユニットは、事故時に想定する水素濃度範囲内（13vol%未満）であることやPARやイグナイタによる水素濃度低減等を原子炉格納容器内水素濃度の推移（トレンド）として連続的に監視できることが主な役割である。</p> <p>このために、可搬型格納容器内水素濃度計測ユニットは、事故初期に容易に準備対応ができ、炉心損傷時の環境条件に対応できるものであることが求められ、プロセス計器として、中央制御室にて原子炉格納容器内水素濃度の推移（トレンド）を連続的に監視できることが重要となる。水素濃度レベルの程度や推移の監視ができる計測精度としては、概ね1 vol%以下の計測精度を有する必要がある。</p> <p>一方、ガス分析計（ガスクロマトグラフ）は、詳細なガス成分割合の分析を高精度で測定することができるが、分析員の手分析測定による間欠的な試料採取のため、被ばく等の観点から炉心損傷事故初期の対応が困難であり、中央制御室でのリアルタイムでの連続的な水素濃度監視については可搬型格納容器内水素濃度計測ユニットでの監視測定が適している。</p> <p>可搬型格納容器内水素濃度計測ユニットは、水素の熱伝導率が空気、窒素、酸素等と大きく異なることを利用した、水素に着目した熱伝導方式の濃度計であり、事故時に酸素濃度等のガス成分に変動があっても熱伝導率に大きな変化がない。また、キセノン等の不活性ガスはバックグラウンドとなる空気と比較してモル分率が十分小さいためサンプルガスの熱伝導率への影響は十分小さいことから、水素濃度測定に対する大きな誤差にはならない利点がある。</p> <p>したがって、後述するシステムとしての計測精度を認識した上で、重大事故対処時の原子炉格納容器内の水素濃度の推移、傾向（トレンド）の監視のために対応できるものとしている。</p>	<p>【伊方】記載表現の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

2.1 可搬型設備等による対応

大飯発電所3/4号炉	伊方発電所3号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>2. 格納容器水素濃度計測装置の測定原理 (1) 測定原理 熱伝導度方式の水素検出器は、参考図 2-1 に示すとおり、白金線のフィラメントで構成する検知素子と補償素子、及び2つの固定抵抗でブリッジ回路を構成している。 検知素子の部分に、サンプリングされた格納容器内雰囲気ガスが流れるようになっており、補償素子側は基準となる標準空気が密閉されている。また、サンプリングガスは直接触れない構造になっている。 （補償素子の標準空気容器の外側にはサンプリングガスが同様に流れ、温度補償が考慮された構造である。）</p>  <p>参考図 2-1 水素検出回路概要図</p>  <p>図-2 水素濃度と検出器電位差の関係</p> <p>参考図 2-2 水素濃度と検出器電位差の関係</p>	<p>2. 可搬型格納容器内水素濃度計測ユニットの測定原理 (1) 測定原理 熱伝導度方式の水素検出器は、別図-1 に示すとおり、白金線のフィラメントで構成する検出素子と補償素子、及び2つの固定抵抗でブリッジ回路を構成している。 検出素子の部分に、サンプリングされた格納容器内雰囲気ガスが流れるようになっており、補償素子側は基準となる標準空気が密閉されており、サンプリングガスは直接触れない構造になっている。 （補償素子の標準空気容器の外側にはサンプリングガスが同様に流れ、温度補償が考慮された構造である。）</p>  <p>別図-1 水素検出回路概要図</p> <p>水素濃度変換器により電圧を印可して検出素子と補償素子の両方の白金線を約 200℃に加熱した状態で、水素を含む測定ガスを流すと、検出素子側は測定ガスが熱を奪い、検出素子の温度が低下することにより抵抗が低下する。これに伴いブリッジ回路の平衡状態が失われ、別図-1のAB間に電位差（電流）が生じる。この電位差が水素濃度に比例する（別図-2）原理を用いて、水素濃度を測定する。</p>  <p>別図-2 水素濃度と検出器電位差の関係</p>	<p>【伊方】名称の相違</p> <p>【伊方】記載表現の相違</p> <p>【伊方】記載内容の相違 ・泊は前述した水素検出器による測定の原理について記載している</p>

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

2.1 可搬型設備等による対応

大飯発電所3/4号炉	伊方発電所3号炉	泊発電所3号炉	相違理由																												
	<p>水素検出器は、酸素、窒素などの空気中のガスに対し、水素ガスの熱伝導率の差が大きいことを利用し、標準空気に対するサンプリングガスの熱伝導率の差を検出する方式のものである。</p> <p>水素の熱伝導率は、0.18W/(m・K) at25℃, 1atmである一方、酸素、窒素は、約0.026~0.027W/(m・K) at25℃, 1atmで基準となる空気（約0.026W/(m・K) at25℃, 1atm）と熱伝導率がほぼ同じであり、空気内主要成分は窒素が78vol%程度、酸素が20vol%程度であることから、PARやイグナイタによる水素除去が進み、酸素濃度等のサンプルガス成分に変動があっても熱伝導率に大きな変化がなく、水素濃度測定に対する大きな誤差にはならない利点があり、原子炉格納容器内雰囲気ガスにおける水素濃度に着目したプロセス計器として適用できるものである。</p> <p>また、燃料損傷時に発生するキセノン等の不活性ガスはバックグラウンドとなる空気に対して熱伝導率は低い、水素や空気と比較してモル分率が十分小さい（約1000分の1以下）ため、サンプルガスの熱伝導率への影響は十分小さく、水素濃度測定に対する大きな誤差にはならない。</p> <p>なお、事故時仮に一酸化炭素が発生した場合においても、一酸化炭素の熱伝導率は、0.025W/(m・K) at25℃, 1atmであり、空気に近い値であるため、水素濃度測定に対する大きな誤差にはならない。</p> <p>以上より、原子炉格納容器内雰囲気ガスを測定する場合でも、水素濃度計が持つ計測誤差（±5% span, 0~20vol%レンジで±1vol%）を大きく逸脱しない範囲で水素濃度の測定が可能と考えられる。</p> <table border="1" data-bbox="667 986 1032 1141"> <thead> <tr> <th>ガスの種類</th> <th>熱伝導率 (mW/m・K) at25℃, 1atm</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>水素</td> <td>180.6 (0.18W/(m・K))</td> </tr> <tr> <td>窒素</td> <td>25.84</td> </tr> <tr> <td>酸素</td> <td>26.59</td> </tr> <tr> <td>空気</td> <td>25.9 (約0.026W/(m・K))</td> </tr> <tr> <td>キセノン</td> <td>5.59</td> </tr> <tr> <td>一酸化炭素</td> <td>25.0</td> </tr> </tbody> </table>	ガスの種類	熱伝導率 (mW/m・K) at25℃, 1atm	水素	180.6 (0.18W/(m・K))	窒素	25.84	酸素	26.59	空気	25.9 (約0.026W/(m・K))	キセノン	5.59	一酸化炭素	25.0	<p>水素検出器は、酸素、窒素などの空気中のガスに対し、水素ガスの熱伝導率の差が大きいことを利用し、標準空気に対するサンプリングガスの熱伝導率の差を検出する方式のものである。</p> <p>水素の熱伝導率は、0.18W/(m・K) at25℃, 1atmである一方、酸素、窒素は、約0.026~0.027W/(m・K) at25℃, 1atmで基準となる空気（約0.026W/(m・K) at25℃, 1atm）と熱伝導率がほぼ同じであり、空気内主要成分は窒素が78vol%程度、酸素が20vol%程度であることから、PARやイグナイタによる水素除去が進み、酸素濃度等のサンプルガス成分に変動があっても熱伝導率に大きな変化がなく、水素濃度測定に対する大きな誤差にはならない利点があり、原子炉格納容器内雰囲気ガスにおける水素濃度に着目したプロセス計器として適用できるものである。</p> <p>また、燃料損傷時に発生するキセノン等の不活性ガスはバックグラウンドとなる空気に対して熱伝導率は低い、水素や空気と比較してモル分率が十分小さい（約1000分の1以下）ため、サンプルガスの熱伝導率への影響は十分小さく、水素濃度測定に対する大きな誤差にはならない。</p> <p>なお、事故時仮に一酸化炭素が発生した場合においても、一酸化炭素の熱伝導率は、25.0mW/(m・K) at25℃, 1atmであり、空気（25.9mW/(m・K) at25℃, 1atm）に近い値であるため、水素濃度測定に対する大きな誤差にはならない。</p> <p>以上より、原子炉格納容器内雰囲気ガスを測定する場合でも、水素濃度計が持つ計測誤差（±5% span, 0~20vol%レンジで±1vol%）を大きく逸脱しない範囲で水素濃度の測定が可能と考えられる。</p> <table border="1" data-bbox="1243 986 1653 1141"> <thead> <tr> <th>ガスの種類</th> <th>熱伝導率 (mW/m・K) at25℃, 1atm</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>水素</td> <td>180.6 (0.18W/(m・K))</td> </tr> <tr> <td>窒素</td> <td>25.84</td> </tr> <tr> <td>酸素</td> <td>26.59</td> </tr> <tr> <td>空気</td> <td>25.9 (約0.026W/(m・K))</td> </tr> <tr> <td>キセノン</td> <td>5.59</td> </tr> <tr> <td>一酸化炭素</td> <td>25.0</td> </tr> </tbody> </table>	ガスの種類	熱伝導率 (mW/m・K) at25℃, 1atm	水素	180.6 (0.18W/(m・K))	窒素	25.84	酸素	26.59	空気	25.9 (約0.026W/(m・K))	キセノン	5.59	一酸化炭素	25.0	<p>【伊方】記載表現の相違</p>
ガスの種類	熱伝導率 (mW/m・K) at25℃, 1atm																														
水素	180.6 (0.18W/(m・K))																														
窒素	25.84																														
酸素	26.59																														
空気	25.9 (約0.026W/(m・K))																														
キセノン	5.59																														
一酸化炭素	25.0																														
ガスの種類	熱伝導率 (mW/m・K) at25℃, 1atm																														
水素	180.6 (0.18W/(m・K))																														
窒素	25.84																														
酸素	26.59																														
空気	25.9 (約0.026W/(m・K))																														
キセノン	5.59																														
一酸化炭素	25.0																														

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

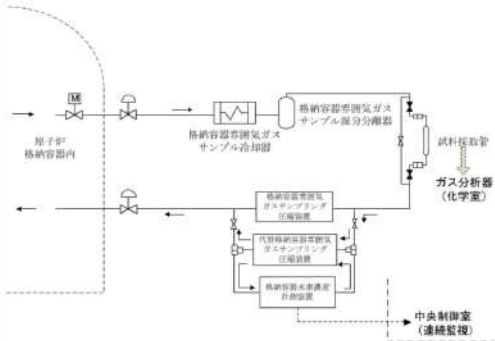
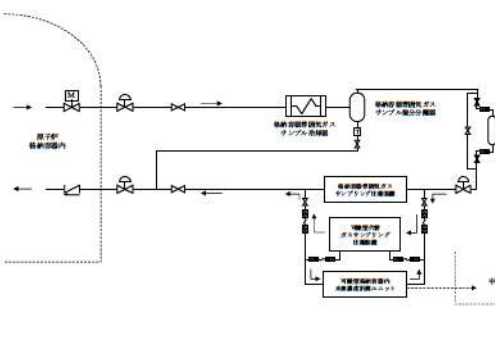
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

2.1 可搬型設備等による対応

大飯発電所3/4号炉	伊方発電所3号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>(2) 格納容器水素濃度計測装置の構造 格納容器水素濃度計測装置の構造概要は参考図2-3のとおりである。</p> <div data-bbox="667 279 1225 834" style="border: 2px solid black; height: 348px; width: 249px; margin: 10px auto;"></div> <p>参考図2-3 格納容器水素濃度計測装置（基本構成図）</p>	<p>(2) 可搬型格納容器内水素濃度計測ユニットの構造 可搬型格納容器内水素濃度計測ユニットの構造概要は別図-3のとおりである。</p> <div data-bbox="1243 279 1800 834" style="border: 2px solid black; height: 348px; width: 249px; margin: 10px auto;"></div> <p>別図-3 可搬型格納容器内水素濃度計測ユニット（基本構成図）</p> <div data-bbox="1243 890 1800 930" style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p>枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p> </div>	

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

2.1 可搬型設備等による対応

大飯発電所3/4号炉	伊方発電所3号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>3. 格納容器水素濃度計測装置の仕様と水素濃度測定システム構成</p> <p>(1) 格納容器水素濃度計測装置の基本仕様 測定レンジ：水素濃度0～20vol%に設定 測定精度：±5%span 上記測定レンジの空气中水素濃度に対して±1vol%</p> <p>使用温度範囲：-10～70℃ 使用圧力範囲：大気圧（±10kPa） 測定ガス流量：約1ℓ/min</p> <p>水素濃度計測装置の計測範囲0～20vol%において、計器仕様上は最大±1vol%の誤差を生じる可能性があるが、この誤差があることを理解した上で、十分に事故対処時の水素濃度の推移、傾向（トレンド）を監視することができる。</p> <p>(2) 水素濃度測定システム構成 格納容器水素濃度計測装置による事故後サンプリング設備の構成を、参考図2-4に示す。 原子炉格納容器からのサンプリングガスは、格納容器雰囲気ガスサンプル冷却器で冷却凝縮し、湿分分離器で水分を除去する。そして、ほぼドライ状態となったサンプリングガスを格納容器水素濃度計測装置に送り測定する。格納容器水素濃度計測装置（検出器）からの信号は、中央制御室の水素濃度指示計に表示されるため、中央制御室での水素濃度の監視が可能である。</p>  <p>参考図2-4 事故後サンプリング設備</p>	<p>3. 可搬型格納容器内水素濃度計測ユニットの仕様と水素濃度測定システム構成</p> <p>(1) 可搬型格納容器内水素濃度計測ユニットの基本仕様 測定レンジ：水素濃度0～20vol%に設定 測定精度：±5%span 上記測定レンジの空气中水素濃度に対して±1vol%</p> <p>使用温度範囲：-10～70℃ 使用圧力範囲：大気圧（±10kPa） 測定ガス流量：約1ℓ/min</p> <p>水素濃度の計測範囲0～20vol%において、計器仕様上は最大±1vol%の誤差を生じる可能性があるが、この誤差があることを理解した上で、十分に事故対処時の水素濃度の推移、傾向（トレンド）を監視していくことができる。</p> <p>(2) 水素濃度測定システム構成 可搬型格納容器内水素濃度計測ユニットによる格納容器雰囲気ガス試料採取設備の構成を別図-4に示す。 原子炉格納容器からのサンプリングガスは、格納容器雰囲気ガスサンプル冷却器で冷却凝縮し、湿分分離器で水分を除去する。そして、ほぼドライ状態となったサンプリングガスを可搬型格納容器内水素濃度計測ユニットに送り測定する。可搬型格納容器内水素濃度計測ユニット（検出器）からの信号は、水素濃度変換器を経て中央制御室のAM設備監視操作盤に表示されるため、中央制御室での水素濃度の監視が可能である。</p>  <p>別図-4 格納容器雰囲気ガス試料採取設備</p>	<p>【伊方】記載表現の相違</p> <p>【伊方】設備構成の相違 ・水素濃度の指示部に係る設備構成の相違</p>

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

2.1 可搬型設備等による対応

大飯発電所3/4号炉	伊方発電所3号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>(3) 測定ガス条件の水素濃度測定精度への影響評価</p> <p>a. 温度</p> <p>サンプリングされた格納容器内雰囲気ガスは、十分な除熱性能を有している格納容器雰囲気ガスサンプル冷却器により、原子炉補機冷却水（以下「CCW」という。）と熱交換することで約45℃以下まで冷却され[*]、その後の検出器までの配管での放熱もあることから十分に検出器の適用温度範囲内まで冷却され、ほぼ一定温度で検出器にサンプリングガスを供給することが可能である。</p> <p>また、標準空気が密封された補償素子の周囲にもサンプリングガスが流れることで、標準空気の温度がサンプリングガスに追従するように温度補償される検出器構造となっている。したがって、サンプリングガスの温度は一定温度で検出器に供給され、検出器内で温度補償されることから、使用する条件下において水素濃度測定への影響は十分小さい設計としている。なお、水素濃度4 vol%の試料ガスについて、温度を20℃～60℃の範囲で変化させて試験を行い、有意な水素濃度の変化が認められないことを確認している。（参考図 2-5）</p> <p>※：重大事故時の原子炉格納容器内温度138℃とし、CCWの温度を夏場の40℃とした場合でも、冷却器により約45℃以下に冷却できる。</p> <div data-bbox="665 804 1227 1209" style="border: 1px solid black; height: 250px; width: 100%;"></div> <p>参考図 2-5 各温度条件での水素濃度出力値</p> <p>b. 流量</p> <p>検出器へ流れるサンプリングガスの流量は、1ℓ/min程度の小流量としており、流量の変動がないよう流量制御することとしている。</p> <p>なお、検出器へ流れるサンプリングガス流量を約0.6～1.20/minの範囲で変化させた試験を行い、水素濃度計測装置</p>	<p>(3) 測定ガス条件の水素濃度測定精度への影響評価</p> <p>a. 温度</p> <p>サンプリングされた原子炉格納容器内雰囲気ガスは、十分な除熱性能を有している格納容器雰囲気ガスサンプル冷却器により、原子炉補機冷却水（以下「CCW」という。）と熱交換することで約45℃以下まで冷却することができ[*]、その後の検出器までの配管での放熱もあることから十分に検出器の適用温度範囲内まで冷却され、ほぼ一定温度で検出器にサンプリングガスを供給することが可能である。</p> <p>また、標準空気が密封された補償素子の周囲にもサンプリングガスが流れることで、標準空気の温度がサンプリングガスに追従するように温度補償される検出器構造となっている。したがって、サンプリングガスの温度は一定温度で検出器に供給され、検出器内で温度補償されることから、使用する条件下において水素濃度測定への影響は十分小さい設計としている。なお、水素濃度4 vol%の試料ガスについて、温度を20℃～60℃の範囲で変化させて試験を行い、有意な水素濃度の変化が認められないことを確認している。（別図-5）</p> <p>※：重大事故時の原子炉格納容器内温度を141℃とし、CCWの温度を夏場の35℃とした場合でも、冷却器により約45℃以下に冷却できる。</p> <div data-bbox="1240 804 1803 1209" style="border: 1px solid black; height: 250px; width: 100%;"></div> <p>別図-5 各温度条件での水素濃度出力値</p> <div data-bbox="1240 1241 1803 1278" style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p>枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p> </div> <p>b. 流量</p> <p>検出器へ流れるサンプリングガスの流量は、1L/min程度の小流量としており、流量の変動がないよう流量制御することとしている。</p> <p>なお、検出器へ流れるサンプリングガス流量を約0.6～1.2L/minの範囲で変化させた試験を行い、可搬型格納容器内</p>	<p>【伊方】 記載表現の相違</p> <p>【伊方】 設計及び設計条件の相違</p>

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

2.1 可搬型設備等による対応

大飯発電所3/4号炉	伊方発電所3号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>の指示に有意な変化は認められないことを確認している。</p> <p>c. 湿分 検出器へ流れるサンプリングガスの、水蒸気が除去されていない場合は、水素濃度測定値へ影響することが考えられるが、サンプリングする原子炉格納容器内雰囲気ガスは格納容器雰囲気ガスサンプル冷却器によりCCWと熱交換することで約45℃以下まで冷却され※、下流の湿分分離器によりサンプリングガス中の湿分を除去するよう設計しており、水素濃度計測装置の検出器に水分が付着するような状態となることはない。</p> <p>また、湿度が変動する要因としては、CCW温度（冷却性能）、雰囲気温度が考えられるが、いずれも急激な変動は考えられないため、検出器での湿度はほぼ一定であり、水素濃度測定へ影響を及ぼすことはない。</p> <p>なお、水素濃度0～20vol%、温度20℃の試料ガスについて、相対湿度を30～90%RHの範囲で変化させた試験を行った。</p> <p>その結果、水素濃度20vol%において0.5vol%程度の変化は見られるものの、相対湿度の変化に対して、水素濃度計指示に有意な変化はないことを確認している。（参考図2-6、2-7）</p> <div data-bbox="705 829 1187 1241" style="border: 1px solid black; width: 215px; height: 258px; margin: 10px auto;"></div> <p style="text-align: center;">参考図2-6 20℃における湿度依存性</p>	<p>水素濃度計測ユニットの指示に有意な変化は認められないことを確認している。</p> <p>c. 湿分 検出器へ流れるサンプリングガスの、水蒸気が除去されていない場合は、水素濃度測定値へ影響することが考えられるが、サンプリングする原子炉格納容器内雰囲気ガスは格納容器雰囲気ガスサンプル冷却器によりCCWと熱交換することで約45℃以下まで冷却され、下流の湿分分離器によりサンプリングガス中の湿分を除去するよう設計しており、可搬型格納容器内水素濃度計測ユニットの検出器に水分が付着するような状態となることはない。</p> <p>また、湿度が変動する要因としては、CCW温度（冷却性能）、雰囲気温度が考えられるが、いずれも急激な変動は考えられないため、検出器での湿度はほぼ一定であり、水素濃度測定へ影響を及ぼすことはない。</p> <p>なお、水素濃度0～20vol%、温度20℃の試料ガスについて、相対湿度を30～90%RHの範囲で変化させた試験を行った。</p> <p>その結果、水素濃度20vol%において0.5vol%程度の変化は見られるものの、相対湿度の変化に対して、水素濃度計指示に有意な変化はないことを確認している。（別図-6、7）</p> <div data-bbox="1288 829 1769 1241" style="border: 1px solid black; width: 215px; height: 258px; margin: 10px auto;"></div> <p style="text-align: center;">別図-6 20℃における湿度依存性</p> <div data-bbox="1243 1268 1803 1308" style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p>枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p> </div>	

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

2.1 可搬型設備等による対応

大飯発電所3/4号炉	伊方発電所3号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<div data-bbox="698 164 1178 571" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="730 572 1158 603" data-label="Caption"> <p>参考図 2-7 20℃における各湿度条件での感度</p> </div>	<div data-bbox="1267 164 1747 571" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="1290 572 1749 603" data-label="Caption"> <p>別図-7 20℃における各湿度条件での感度特性</p> </div> <div data-bbox="1245 603 1805 639" data-label="Text"> <p>枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p> </div>	

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

2.1 可搬型設備等による対応

大阪発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>添付資料 2.1.5 使用済燃料ピット（SFP）大規模漏えい時の対応について</p> <p>使用済燃料ピットに大規模漏えいが発生した場合における、使用済燃料ピットの優先順位に従った事故対応例について以下に示す。</p> <p>(1) 使用済燃料ピットの漏えい緩和のための操作を実行するための最も重要な判断は、使用済燃料ピット（建屋）へのアクセス可否となる。これは被害状態（火災の発生状況、線量等）に依存する。</p> <p>(2) 使用済燃料ピットへアクセス可能な場合には、準備から注水するまでの時間が比較的短い恒設設備（No.3淡水タンク及びNo.2淡水タンク）を用いた使用済燃料ピット注水操作を実行する。</p> <p>(3) (2)の操作により使用済燃料ピット水位の維持ができない場合、1次系補給水ポンプ、ポンプ車、送水車又は化学消防自動車を用いて使用済燃料ピットへ注水操作を試みる。</p> <p>(4) (3)による使用済燃料ピットへの注水を行っても水位が維持できない場合、原子炉周辺建屋（貯蔵槽内燃料体等）内部からのスプレィが可能であれば、送水車又は化学消防自動車を用いた使用済燃料ピットスプレィ操作を実行する。</p> <p>(5) (4)と並行して、使用済燃料ピットの漏えいを緩和するため、あらかじめ準備している漏えい緩和のための資機材を用いた手段により、使用済燃料ピット内側からの漏えい緩和を試みる。</p>	<p>添付資料 2.1.12 使用済燃料プール大規模漏えい時の対応について</p> <p>1. 使用済燃料プールにおける事故対応</p> <p>使用済燃料プールに大規模漏えいが発生した場合における優先順位に従った使用済燃料プールの事故対応例について以下に示す。</p> <p>(1) 使用済燃料プールの漏えい緩和のための操作を実施するに当たり、最も重要な判断は使用済燃料プール（原子炉建屋）へのアクセス可否となる。これは現場の被害状態（火災の発生状況、線量等）に依存する。</p> <p>(2) 常設設備による注水が可能な場合には、使用済燃料プールへの注水手段として、準備から注水するまでの時間が比較的短い常設設備（燃料プール補給水系、残留熱除去系（燃料プール水の補給）又ははる過水系）を用いた使用済燃料プールへの注水を行う。</p> <p>(3) (2)による使用済燃料プールへの注水が行えない場合、燃料プール代替注水系（常設配管）を用いた使用済燃料プールへの注水を実施する。 また、燃料プール代替注水系（常設配管）を用いた注水が困難な場合、使用済燃料プールへのアクセスが可能であれば燃料プール代替注水系（可搬型）を用いた注水を行う。</p> <p>(4) (2)又は(3)による使用済燃料プールへの注水を行っても水位が維持できない場合、原子炉建屋内部からのスプレィが可能であれば、燃料プールスプレィ系（常設配管）による使用済燃料プールへのスプレィを行う。 また、燃料プールスプレィ系（常設配管）を用いた使用済燃料プールへのスプレィが困難な場合、使用済燃料プールへのアクセスが可能であれば燃料プールスプレィ系（可搬型）を用いたスプレィを行う。</p> <p>(5) また、使用済燃料プールへのスプレィと並行して、使用済燃料プールの漏えいを緩和するため、あらかじめ準備している漏えい緩和のための資機材を用いた手段により、使用済燃料プール内側からの漏えい緩和を行う。</p>	<p>添付資料 2.1.6 使用済燃料ピット大規模漏えい時の対応について</p> <p>1. 使用済燃料ピットにおける事故対応</p> <p>使用済燃料ピットに大規模漏えいが発生した場合における、優先順位に従った使用済燃料ピットの事故対応例について以下に示す。</p> <p>(1) 使用済燃料ピットの漏えい緩和のための操作を実施するに当たり、最も重要な判断は使用済燃料ピット（燃料取扱棟）へのアクセス可否となる。これは現場の被害状態（火災の発生状況、線量等）に依存する。</p> <p>(2) 使用済燃料ピットへアクセス可能な場合には、準備から注水するまでの時間が比較的短い常設設備（燃料取替用水ポンプ、2次系補給水ポンプ、1次系純水ポンプ）又は消火設備（消火ポンプ又は化学消防自動車）を用いた使用済燃料ピットへの注水を行う。</p> <p>(3) (2)の操作により使用済燃料ピット水位が維持できない場合、可搬型大型送水ポンプ車を用いた使用済燃料ピットへの注水を試みる。</p> <p>(4) (3)による使用済燃料ピットへの注水を行っても水位が維持できない場合、燃料取扱棟内部でのスプレィが可能であれば、可搬型大型送水ポンプ車又は化学消防自動車を用いた使用済燃料ピットへのスプレィを行う。</p> <p>(5) (4)と並行して、使用済燃料ピットの漏えいを緩和するため、あらかじめ準備している漏えい緩和のための資機材を用いた手段により、使用済燃料ピット内側からの漏えい緩和を試みる。</p> <p>(6) 使用済燃料ピットへのアクセスが困難な場合には、使用済燃料ピットへ直接アクセスせずに注水する手段として、可搬型大型送水ポンプ車を使用済燃料ピット脱塩塔樹脂充てんラインへ接続し、使用済燃料ピットへ注水する手段を状況に応じて試みる。ただし、周辺の放射線量率が上昇している場合には、速やかな使用済燃料ピットスプレィが必要であることから(7)を優先する。</p>	<p>相違理由</p> <p>■記載表現の相違</p> <p>【女川】設備名称の相違（以降、相違理由の記載を省略する）</p> <p>■記載表現の相違</p> <p>■記載表現の相違</p> <p>■設備・運用の相違及び記載方針の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・泊は、女川審査実績を踏まえ、通常時の補給に使用する燃料取替用水ポンプ及び2次系補給水ポンプを含めて記載する。 ・泊は消火ポンプ又は化学消防自動車を用いて、屋内消火栓から使用済燃料ピットへ注水する。 ・大阪は、No.3淡水タンク又はNo.2淡水タンクから使用済燃料ピットへ重力注水する。使用する設備は異なるが、比較的短時間で注水できる常設設備を優先して使用し、使用済燃料ピットへ注水する方針に相違はない。 ・泊は、1次系補給水ポンプについては、泊は準備時間の短い手順を優先することから他の常設設備に引き続いて使用するが、大阪は水源である1次系純水タンクの容量が小さいため他の設備を優先して使用することとしており、優先順位の考え方に応じた記載としている。 <p>【大阪】【女川】対応手段の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・泊は、可搬型のポンプ及び可搬型ホースを用いた注水・スプレィを実施することとしており、女川のような注水・スプレィを目的とした常設配管は設けていない。ただし、大規模損壊に特化した手順として、可搬型大型送水ポンプ車を使用済燃料ピット脱塩塔樹脂充てんラインに接続して、使用済燃料ピットへ注水する手順を整備する。

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

2.1 可搬型設備等による対応

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>(6) 使用済燃料ピットへアクセス出来ない場合や建屋内部での使用済燃料ピットスプレーが困難な場合、送水車又は化学消防自動車を用いた建屋外部からのスプレー操作を実施する。 また、大容量ポンプ（放水砲用）を用いた使用済燃料ピットへの放水操作を実施する。</p>	<p>(6) 使用済燃料プールへアクセスできない場合や原子炉建屋内部での使用済燃料プールのスプレーが困難な場合、放水設備（大気への拡散抑制設備）による対応を行う。</p>	<p>(7) 使用済燃料ピットへアクセスできない場合や建屋内部での使用済燃料ピットスプレーが困難な場合、可搬型大型送水ポンプ車を用いた建屋外部からのスプレーを行う。 また、可搬型大容量海水送水ポンプ車を用いた使用済燃料ピットへの放水を行う。</p>	<p>■設備・運用の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> 泊3号は、化学消防自動車及び可搬型スプレーノズルを用いた使用済燃料ピットへのスプレーについて、化学消防自動車の性能を踏まえ建屋外部スプレーには使用しない。

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

2.1 可搬型設備等による対応

大飯発電所3 / 4号炉

重大事故時の使用済燃料ピットの監視対応フロー

① 使用済燃料ピットの水位が低下
 使用済燃料ピットの状態、周辺環境の把握
 使用済燃料ピット水漏えい抑制対策、漏えい率評価の実施

② 通常の給水
 通常の水準リラインから給水が可能か？
 可 通常の給水
 不可 可搬型SF監視設備の配置

③ 可搬型SF監視設備の配置
 使用済燃料ピット水漏えい程度は？
 小規模 消火栓や消防ポンプ等による給水
 大規模 使用済燃料ピットエリアでの作業が可能か？
 不可 放水砲による放水へ
 可 可搬式スプレイ設備の準備

④ 可搬式スプレイ設備の準備
 ⑤ スプレイ

<各設備の監視機能>

計器名称	①	②	③	④	⑤
水位					
使用済燃料ピット水位					
使用済燃料ピット水位 (AM用)					
可搬式用済燃料ピット水位					
温度					
使用済燃料ピット温度					
使用済燃料ピット温度 (AM用)					
空間線量率					
使用済燃料ピット区域エリアモニタ					
可搬式用済燃料ピット区域周辺エリアモニタ					
状態監視					
使用済燃料ピット監視カメラ					

注) 青：設計基準対象施設
 赤：重大事故等対応設備

女川原子力発電所2号炉

2. 重大事故を想定した使用済燃料プールの監視対応フロー

① 使用済燃料プールの水位が低下
 使用済燃料プールの状況、周辺環境の把握
 使用済燃料プール漏えい抑制対策、漏えい率評価の実施

② 常設設備による注水
 常設設備による注水が可能か？
 YES 常設設備による注水
 NO 燃料プール代替注水系(常設配管)又は(可搬型)による注水

③ 燃料プール代替注水系(常設配管)又は(可搬型)による注水
 使用済燃料プール水位は維持可能か？
 YES 使用済燃料プールへの注水継続
 NO 使用済燃料プールへのスプレイ

※1 燃料プール補給水系、残熱除去系(燃料プール水の補給)又ははる過水塔による注水。
 ※2 架橋材等による漏えい緩和措置が有効な場合は実施する。

第1図 使用済燃料プールの監視対応フロー

第1表 各設備の監視機能

計器 (パラメータ) 名称	①	②	③	④
水位				
燃料貯蔵プール水位計				
使用済燃料プール水位 (ヒートサーモ)				
使用済燃料プール水位 (ガイドバルブ式)				
温度				
使用済燃料プール温度 (ヒートサーモ)				
使用済燃料プール温度 (ガイドバルブ式)				
空間線量率				
使用済燃料プール上部空間放射線モニタ (低線量)				
使用済燃料プール上部空間放射線モニタ (高線量)				
状態監視				
使用済燃料プール監視カメラ				

泊発電所3号炉

2. 重大事故を想定した使用済燃料ピットの監視対応フロー

① 使用済燃料ピットの水位が低下
 使用済燃料ピットの状態、周辺環境の把握
 使用済燃料ピット水漏えい抑制対策、漏えい率評価の実施

② 通常の注水
 通常の水準リラインからの注水が可能か？
 YES 通常の注水
 NO 1次系補給水ポンプ及び消火ポンプによる注水 可搬型大型注水ポンプ車による注水

③ 可搬型大型注水ポンプ車による注水
 使用済燃料ピット水位は維持可能か？
 YES 燃料貯蔵プール内及びその周辺で作業可能か？
 不可 放水砲による放水
 可 可搬型スプレイノズル及び可搬型大型注水ポンプ車による使用済燃料ピット監視カメラ等設備による注水

④ 可搬型スプレイノズル及び可搬型大型注水ポンプ車による使用済燃料ピット監視カメラ等設備による注水

使用済燃料ピット水位(可搬型)設置
 使用済燃料ピット可搬型エリアモニタ設置
 使用済燃料ピット監視カメラ空冷設備対策実施

図6-1 使用済燃料ピットの監視対応フロー

表6-1 各設備の監視機能

計器名称	①	②	③	④
水位				
使用済燃料ピット水位				
使用済燃料ピット水位 (AM用)				
使用済燃料ピット水位 (可搬型)				
温度				
使用済燃料ピット温度				
使用済燃料ピット温度 (AM用)				
使用済燃料ピット監視カメラ				
線量当量率				
使用済燃料ピット可搬型エリアモニタ				

相違理由

【大飯】【女川】記載表現の相違

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

2.1 可搬型設備等による対応

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																														
<p style="text-align: right;">添付5-1</p> <p>使用済燃料ピットへのスプレイ手順の妥当性について</p> <p>(1) 使用済燃料ピットへの必要スプレイ流量について 送水車等による使用済燃料ピット（以下「SFP」という）への注水によっても SFP 水位を維持できないような漏えいが生じた場合に実施する SFP スプレイ手順について、SFP 内に保管されている照射済燃料の冷却に必要なスプレイ流量を算出する。</p> <p>a. 評価条件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・SFP 内の冷却水が流出して燃料が全露出している状態を想定する。 ・崩壊熱をスプレイ水により冷却できるスプレイ流量を算出する。 ・スプレイ水の温度は保守的に見積っても 40℃程度であるが、顕熱冷却による効果は考慮せずに飽和水（大気圧下）と仮定する。 ・想定する崩壊熱は、定検中（全炉心燃料取出し後）と出力運転中（定検終了直後）の2ケースを評価する。 （SFP の有効性評価と同一の発熱量） <table border="1" data-bbox="91 951 645 1294"> <thead> <tr> <th colspan="2">大飯3（4）号炉</th> </tr> <tr> <th></th> <th>3（4）号炉</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">燃焼条件</td> <td><燃焼度></td> </tr> <tr> <td>3 回照射燃料 55,000MWd/t</td> </tr> <tr> <td>2 回照射燃料 36,700MWd/t</td> </tr> <tr> <td><ウラン濃縮度></td> <td>4.8wt%</td> </tr> <tr> <td>運転期間</td> <td>13 ヶ月</td> </tr> <tr> <td>停止期間（定期検査での停止期間）</td> <td>30 日</td> </tr> <tr> <td>燃料取出期間</td> <td>8.5 日</td> </tr> </tbody> </table>	大飯3（4）号炉			3（4）号炉	燃焼条件	<燃焼度>	3 回照射燃料 55,000MWd/t	2 回照射燃料 36,700MWd/t	<ウラン濃縮度>	4.8wt%	運転期間	13 ヶ月	停止期間（定期検査での停止期間）	30 日	燃料取出期間	8.5 日	<p>3. 使用済燃料プールへのスプレイ手順の妥当性について</p> <p>a. 評価条件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・SFP 内の冷却水が流出して燃料が全露出している状態を想定する。 ・崩壊熱をスプレイ水により冷却できるスプレイ流量を算出する。 ・スプレイ水の温度は保守的に見積っても 40℃程度であるが、顕熱冷却による効果は考慮せずに飽和水（大気圧下）と仮定する。 ・想定する崩壊熱は、定期事業者検査中（全炉心燃料取出後）と運転中（燃料装荷後）の2ケースを評価する。 （使用済燃料ピットの有効性評価と同一の発熱量） <p>使用済燃料ピットに貯蔵する燃料の崩壊熱評価条件を表6-2に、定期事業者検査中（全炉心燃料取出後）と運転中（燃料装荷後）における崩壊熱を表6-3及び表6-4にそれぞれ示す。</p> <p>表6-2 泊発電所3号炉における使用済燃料ピットに貯蔵する燃料の崩壊熱評価条件^{*1}</p> <table border="1" data-bbox="1249 951 1789 1230"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">泊発電所3号炉</th> </tr> <tr> <th>MOX燃料</th> <th>ウラン燃料</th> <th>1, 2号炉燃料</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>燃焼条件</td> <td> ・燃焼度： 3 回照射燃料 45,000MWd/t 2 回照射燃料 35,000MWd/t^{*2} 1 回照射燃料 15,000MWd/t ・Pu 含有率： 4.1wt%濃縮ウラン相当 </td> <td> ・燃焼度： 3 回照射燃料 55,000MWd/t 2 回照射燃料 36,700MWd/t 1 回照射燃料 18,300MWd/t ・ウラン濃縮度： 4.8wt% </td> <td></td> </tr> <tr> <td>運転期間</td> <td>13 ヶ月</td> <td>同左</td> <td>同左</td> </tr> <tr> <td>停止期間（定期検査での停止期間）</td> <td>30 日</td> <td>同左</td> <td>同左</td> </tr> <tr> <td>燃料取出期間</td> <td>7.5 日</td> <td>同左</td> <td>2年冷却後輸送</td> </tr> </tbody> </table> <p><small>*1：泊発電所3号炉 ウラン・プルトニウム混合酸化物燃料使用等に伴う原子炉設置変更許可申請（平成21年3月申請）安全審査における使用済燃料ピット冷却設備の評価条件 *2：MOX燃料は、2回照射で取り出されることも想定され、その場合は燃料有効活用の観点から、取り出し時の燃焼度が300MWd/tを超えることも考えられることから、2回照射 MOX燃料の燃焼度は最高燃焼度の2/3である36700d/tより高めの35000d/tに設定している。なお、安全審査等での評価に用いた MOX燃料平均燃焼度における2回照射取出 MOX燃料の燃焼度の最高値は31,250d/tであり、35000d/tに包摂される。</small></p>		泊発電所3号炉			MOX燃料	ウラン燃料	1, 2号炉燃料	燃焼条件	・燃焼度： 3 回照射燃料 45,000MWd/t 2 回照射燃料 35,000MWd/t ^{*2} 1 回照射燃料 15,000MWd/t ・Pu 含有率： 4.1wt%濃縮ウラン相当	・燃焼度： 3 回照射燃料 55,000MWd/t 2 回照射燃料 36,700MWd/t 1 回照射燃料 18,300MWd/t ・ウラン濃縮度： 4.8wt%		運転期間	13 ヶ月	同左	同左	停止期間（定期検査での停止期間）	30 日	同左	同左	燃料取出期間	7.5 日	同左	2年冷却後輸送	<p>3. 使用済燃料ピットへのスプレイ手順の妥当性について</p> <p>(1) 使用済燃料ピットへの必要スプレイ流量について 可搬型大型送水ポンプ車等による使用済燃料ピットへの注水によっても使用済燃料ピット水位を維持できないような規模の漏えいが生じた場合に実施する使用済燃料ピットスプレイ手順について、使用済燃料ピット内に保管されている照射済燃料の冷却に必要なスプレイ流量を算出する。</p> <p>a. 評価条件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・使用済燃料ピット内の冷却水が流出して燃料が全露出している状態を想定する。 ・崩壊熱をスプレイ水により冷却できるスプレイ流量を算出する。 ・スプレイ水の温度は保守的に見積っても 40℃程度であるが、顕熱冷却による効果は考慮せずに飽和水（大気圧下）と仮定する。 ・想定する崩壊熱は、定期事業者検査中（全炉心燃料取出後）と運転中（燃料装荷後）の2ケースを評価する。 （使用済燃料ピットの有効性評価と同一の発熱量） <p>使用済燃料ピットに貯蔵する燃料の崩壊熱評価条件を表6-2に、定期事業者検査中（全炉心燃料取出後）と運転中（燃料装荷後）における崩壊熱を表6-3及び表6-4にそれぞれ示す。</p> <p>表6-2 泊発電所3号炉における使用済燃料ピットに貯蔵する燃料の崩壊熱評価条件^{*1}</p> <table border="1" data-bbox="1249 951 1789 1230"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">泊発電所3号炉</th> </tr> <tr> <th>MOX燃料</th> <th>ウラン燃料</th> <th>1, 2号炉燃料</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>燃焼条件</td> <td> ・燃焼度： 3 回照射燃料 45,000MWd/t 2 回照射燃料 35,000MWd/t^{*2} 1 回照射燃料 15,000MWd/t ・Pu 含有率： 4.1wt%濃縮ウラン相当 </td> <td> ・燃焼度： 3 回照射燃料 55,000MWd/t 2 回照射燃料 36,700MWd/t 1 回照射燃料 18,300MWd/t ・ウラン濃縮度： 4.8wt% </td> <td></td> </tr> <tr> <td>運転期間</td> <td>13 ヶ月</td> <td>同左</td> <td>同左</td> </tr> <tr> <td>停止期間（定期検査での停止期間）</td> <td>30 日</td> <td>同左</td> <td>同左</td> </tr> <tr> <td>燃料取出期間</td> <td>7.5 日</td> <td>同左</td> <td>2年冷却後輸送</td> </tr> </tbody> </table> <p><small>*1：泊発電所3号炉 ウラン・プルトニウム混合酸化物燃料使用等に伴う原子炉設置変更許可申請（平成21年3月申請）安全審査における使用済燃料ピット冷却設備の評価条件 *2：MOX燃料は、2回照射で取り出されることも想定され、その場合は燃料有効活用の観点から、取り出し時の燃焼度が300MWd/tを超えることも考えられることから、2回照射 MOX燃料の燃焼度は最高燃焼度の2/3である36700d/tより高めの35000d/tに設定している。なお、安全審査等での評価に用いた MOX燃料平均燃焼度における2回照射取出 MOX燃料の燃焼度の最高値は31,250d/tであり、35000d/tに包摂される。</small></p>		泊発電所3号炉			MOX燃料	ウラン燃料	1, 2号炉燃料	燃焼条件	・燃焼度： 3 回照射燃料 45,000MWd/t 2 回照射燃料 35,000MWd/t ^{*2} 1 回照射燃料 15,000MWd/t ・Pu 含有率： 4.1wt%濃縮ウラン相当	・燃焼度： 3 回照射燃料 55,000MWd/t 2 回照射燃料 36,700MWd/t 1 回照射燃料 18,300MWd/t ・ウラン濃縮度： 4.8wt%		運転期間	13 ヶ月	同左	同左	停止期間（定期検査での停止期間）	30 日	同左	同左	燃料取出期間	7.5 日	同左	2年冷却後輸送	<p>【女川】記載箇所の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・女川は必要なスプレイ流量は4項で整理している。 ■記載表現の相違 ・泊は本資料においては「使用済燃料ピット」を「SFP」と読み替えない（以降、相違理由の記載を省略する） ■記載表現の相違 ■記載表現の相違 ■記載表現の相違
大飯3（4）号炉																																																																	
	3（4）号炉																																																																
燃焼条件	<燃焼度>																																																																
	3 回照射燃料 55,000MWd/t																																																																
	2 回照射燃料 36,700MWd/t																																																																
<ウラン濃縮度>	4.8wt%																																																																
運転期間	13 ヶ月																																																																
停止期間（定期検査での停止期間）	30 日																																																																
燃料取出期間	8.5 日																																																																
	泊発電所3号炉																																																																
	MOX燃料	ウラン燃料	1, 2号炉燃料																																																														
燃焼条件	・燃焼度： 3 回照射燃料 45,000MWd/t 2 回照射燃料 35,000MWd/t ^{*2} 1 回照射燃料 15,000MWd/t ・Pu 含有率： 4.1wt%濃縮ウラン相当	・燃焼度： 3 回照射燃料 55,000MWd/t 2 回照射燃料 36,700MWd/t 1 回照射燃料 18,300MWd/t ・ウラン濃縮度： 4.8wt%																																																															
運転期間	13 ヶ月	同左	同左																																																														
停止期間（定期検査での停止期間）	30 日	同左	同左																																																														
燃料取出期間	7.5 日	同左	2年冷却後輸送																																																														
	泊発電所3号炉																																																																
	MOX燃料	ウラン燃料	1, 2号炉燃料																																																														
燃焼条件	・燃焼度： 3 回照射燃料 45,000MWd/t 2 回照射燃料 35,000MWd/t ^{*2} 1 回照射燃料 15,000MWd/t ・Pu 含有率： 4.1wt%濃縮ウラン相当	・燃焼度： 3 回照射燃料 55,000MWd/t 2 回照射燃料 36,700MWd/t 1 回照射燃料 18,300MWd/t ・ウラン濃縮度： 4.8wt%																																																															
運転期間	13 ヶ月	同左	同左																																																														
停止期間（定期検査での停止期間）	30 日	同左	同左																																																														
燃料取出期間	7.5 日	同左	2年冷却後輸送																																																														

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

2.1 可搬型設備等による対応

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																													
<p>【比較のため、前ページより再掲】</p> <p>b. 評価式</p> <p>SFP 内燃料体の崩壊熱をスプレイ水の気化熱によって取り除くために必要なスプレイ流量は、SFP 内燃料体の崩壊熱Qによるスプレイ水の蒸散量$\Delta V / \Delta t$ (m³/h) に等しいとして、下式で計算した。</p> $\Delta V / \Delta t \text{ (m}^3/\text{h)} = Q \text{ (MW)} \times 3600 / (\rho \text{ (kg/m}^3) \times h_{fg} \text{ (kJ/kg)}) *1$ <p>ρ (飽和水密度) : 958kg/m³ *2 h_{fg} (飽和水蒸発潜熱) : 2,257kJ/kg *2 Q (貯蔵槽内燃料体の崩壊熱) : 11.674MW *3 (停止時最大値)</p> <p>*1 : $(\rho \times \Delta V)$ (kg) の飽和水が蒸気になるための熱量は $h_{fg} \times (\rho \times \Delta V)$ (kJ) で、貯蔵槽内燃料体の Δt 時間あたりの崩壊熱量 $Q \Delta t$ に等しい。 なお、保有水は保守的に大気圧下での飽和水 (100℃) として評価している。 *2 : 物性値の出自：国立天文台編「理科年表」 *3 : 燃料取出スキーム (次頁) 参照</p> <p>c. 大飯発電所3(4)号炉において、必要な SFP スプレイ流量</p> <table border="1" data-bbox="91 1098 595 1209"> <thead> <tr> <th></th> <th colspan="2">大飯3(4)号炉</th> </tr> <tr> <th></th> <th>定期検査中 (全炉心燃料取出後)</th> <th>出力運転中 (定検終了直後)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>崩壊熱</td> <td>11.674 MW</td> <td>4.743 MW</td> </tr> <tr> <td>必要なスプレイ流量</td> <td>約19.44 m³/h</td> <td>約7.90 m³/h</td> </tr> <tr> <td></td> <td>約85.5 gpm</td> <td>約32.8 gpm</td> </tr> </tbody> </table>		大飯3(4)号炉			定期検査中 (全炉心燃料取出後)	出力運転中 (定検終了直後)	崩壊熱	11.674 MW	4.743 MW	必要なスプレイ流量	約19.44 m ³ /h	約7.90 m ³ /h		約85.5 gpm	約32.8 gpm	<p>【比較のため、添付 2.1.6-16 より再掲】</p> <p>(3) 判定基準 放水試験の判定基準を以下に示す。 ①使用済燃料プール内燃料体の崩壊熱 (6.7MW) を除去するために必要なスプレイ流量* (約 9.7m³/h) を満足すること。 ②使用済燃料プール全域にスプレイ可能であること。</p> <p>* : 使用済燃料プール内燃料体の崩壊熱Q [kW]を除去するために必要なスプレイ流量V [m³/h]は、以下の式により求められる。</p> $V = Q \div (H_{SH} + H_{SL}) \times m \times 3600$ <p>H_{SH} : 水の顕熱(40℃~100℃) (大気圧) [kJ/kg] H_{SL} : 水の蒸発潜熱[kJ/kg] m : 水の比容積 [m³/kg]</p>	<p>b. 評価式</p> <p>使用済燃料ピット内燃料体の崩壊熱をスプレイ水の気化熱によって取り除くために必要なスプレイ流量は、使用済燃料ピット内燃料体の崩壊熱Qによるスプレイ水の蒸発水量$\Delta V / \Delta t$ [m³/h] に等しいとして、下式で計算した。</p> $\Delta V / \Delta t \text{ [m}^3/\text{h]} = Q \text{ [MW]} \times 10^3 \times 3,600 / (\rho \text{ [kg/m}^3) \times hfg \text{ [kJ/kg]} *1$ <p>ρ (飽和水密度) : 958[kg/m³]*2 hfg (飽和水蒸発潜熱) : 2,256.5[kJ/kg]*3 Q (使用済燃料ピット内燃料体の崩壊熱) : 燃料取出スキーム (表 6-3 及び表 6-4) 参照</p> <p>*1 : $(\rho \times \Delta V)$ [kg] の飽和水が蒸気になるための熱量は $hfg \times (\rho \times \Delta V)$ [kJ] で、使用済燃料の Δt 時間あたりの崩壊熱量 $Q \Delta t$ に等しい。なお、保有水は保守的に大気圧下での飽和水 (100℃) として評価している。 *2 : 物性値の出自 国立天文台編 2011 年「理科年表」 *3 : 1999 日本機械学会蒸気表</p> <p>c. 評価結果 泊発電所3号炉において、使用済燃料ピットの熱負荷が最大となるような組み合わせで貯蔵された燃料を冷却するために必要なスプレイ流量を表6-5に示す。</p> <p>表 6-5 泊発電所3号炉において必要なスプレイ流量</p> <table border="1" data-bbox="1249 1098 1796 1209"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">泊3号炉</th> </tr> <tr> <th>定期事業者検査中 (全炉心燃料取出後)</th> <th>運転中 (燃料装荷後)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>崩壊熱</td> <td>11.508 [MW]</td> <td>5.122 [MW]</td> </tr> <tr> <td>必要なスプレイ流量</td> <td>約 19.16 [m³/h]</td> <td>約 8.53 [m³/h]</td> </tr> <tr> <td></td> <td>約 84.4 [gpm]</td> <td>約 37.6 [gpm]</td> </tr> </tbody> </table>		泊3号炉		定期事業者検査中 (全炉心燃料取出後)	運転中 (燃料装荷後)	崩壊熱	11.508 [MW]	5.122 [MW]	必要なスプレイ流量	約 19.16 [m ³ /h]	約 8.53 [m ³ /h]		約 84.4 [gpm]	約 37.6 [gpm]	<p>【女川】記載箇所の相違</p> <p>■記載表現の相違</p>
	大飯3(4)号炉																															
	定期検査中 (全炉心燃料取出後)	出力運転中 (定検終了直後)																														
崩壊熱	11.674 MW	4.743 MW																														
必要なスプレイ流量	約19.44 m ³ /h	約7.90 m ³ /h																														
	約85.5 gpm	約32.8 gpm																														
	泊3号炉																															
	定期事業者検査中 (全炉心燃料取出後)	運転中 (燃料装荷後)																														
崩壊熱	11.508 [MW]	5.122 [MW]																														
必要なスプレイ流量	約 19.16 [m ³ /h]	約 8.53 [m ³ /h]																														
	約 84.4 [gpm]	約 37.6 [gpm]																														

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

2.1 可搬型設備等による対応

大阪発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>d. まとめ SFPの熱負荷が最大となるような組み合わせで燃料を貯蔵した場合を想定した厳しい条件でも、当該の燃料の崩壊熱除去に必要なスプレイ流量は約19.44m³/hである。</p> <p>大阪発電所3（4）号炉で配備している可搬型スプレイ設備（スプレイヘッド2台、送水車等）により、上記流量及びNEI 06-12で要求されるスプレイ流量（200gpm＝約45.4m³/h）を上回る約120m³/hを確保可能である。 （送水車は2セット以上、スプレイヘッドは1セット以上配備している。）</p>		<p>d. まとめ 使用済燃料ピットの熱負荷が最大となるような組合せで燃料を貯蔵した場合を想定した厳しい条件でも、当該の燃料の崩壊熱除去に必要なスプレイ流量は、約19.16m³/hである。</p> <p>泊発電所3号炉で配備している可搬型スプレイ設備（可搬型スプレイノズル2台、可搬型大型送水ポンプ車等）により、上記流量及びNEI 06-12で要求されるスプレイ流量（200gpm＝約45.4m³/h）を上回る約120m³/hを確保可能である。 （可搬型大型送水ポンプ車は2セット以上、可搬型スプレイノズルは1セット以上を配備している。）</p>	<p>■設計方針の相違 ・使用済燃料ピット内の燃料の崩壊熱の相違に伴い必要なスプレイ流量が異なる。 ■記載表現の相違</p>

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

2.1 可搬型設備等による対応

大阪発電所 3 / 4号炉	女川原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由
<p>(2) SFP 水の大規模漏えい時の未臨界性評価</p> <p>SFP 水が喪失した場合を想定し、SFP の未臨界性評価を実施した。</p> <p>燃料の燃焼計算には、2次元輸送計算コード PHOENIX-PVer. 8 を使用し、実効増倍率の計算には、3次元モンテカルロ計算コード KENO-VI を内蔵した SCALEVer. 6.0 を用いた。</p>	<p>(1) 使用済燃料プール水の大規模漏えい時の未臨界性評価</p> <p>女川 2号炉の使用済燃料プールでは、ボロン添加ステンレス鋼製ラックセルに燃料を貯蔵している。</p> <p>使用済燃料プールには、通常は限られた体数の新燃料と使用済燃料が貯蔵されるが、臨界設計については新燃料及びいかなる燃焼度の燃料を貯蔵しても十分安全側の評価を得るように、炉心装荷時の無限増倍率として 1.30 を仮定している。</p> <p>また、プール水温、ラック製造公差、ボロン添加率、ラックセル内燃料配置それぞれについて最も結果が厳しくなる状態で評価している。</p> <p>未臨界性評価の基本計算条件を第 2表に示す。</p> <p>仮に使用済燃料プール水が大規模漏えいし、燃料プールスプレイ系が作動する状態となった場合には、使用済燃料プールの水密度が減少することにより、ラックセル内で、中性子を減速する効果が減少し、実効増倍率を低下させる効果がある。</p> <p>一方、ラックセル間では水及びラックセルによる中性子を吸収する効果が減少するため、隣接ラックへの中性子の流れ込みが強くなり、実効増倍率を増加させる効果が生じる。</p> <p>低水密度状態を想定した場合の使用済燃料プールの実効増倍率は上記の 2つの効果のバランスにより決定されるため、ラックの材質・ピッチの組み合わせによっては、通常の冠水状態と比較して臨界評価結果が厳しくなる可能性がある。</p> <p>そこで、女川 2号炉の使用済燃料プールにおいて水密度を 1.0 ~ 0.0g/cm³ と変化させて、実効増倍率を第 2 図に示す体系で計算したところ、中性子の強吸収体であるラックセル中のボロンの効果により、実効増倍率を増加させる効果である隣接ラックへの中性子の流れ込みが抑制されることから、第 3 図に示すとおり水密度の減少に伴い実効増倍率は単調に減少する結果が得られた。</p> <p>このため、水密度が減少する事象が生じた場合でも未臨界は維持されることを確認した。</p> <p>なお、解析には米国オークリッジ国立研究所 (ORNL) により米国原子力規制委員会 (NRC) の原子力関連許認可評価用に作成された三次元多群輸送計算コードであり、米国内及び日本国内の臨界安全評価に広く使用されている SCALE システムを用いた。</p>	<p>(2) 使用済燃料ビット水の大規模漏えい時の未臨界性評価</p> <p>a. 評価方針</p> <p>大規模漏えい時における使用済燃料ビットの未臨界性評価は、可搬型スプレイ設備による冷却により臨界にならないよう配慮したラック形状及び燃料配置が維持される範囲において、スプレイや蒸気条件においても未臨界を維持できることを確認するため、使用済燃料ビット全体の水密度を一律に 0.0g/cm³ ~ 1.0g/cm³ に変化させた場合の使用済燃料ビットの未臨界性評価を実施した。</p> <p>評価には、米国オークリッジ国立研究所 (ORNL) により米国原子力規制委員会 (NRC) の原子力関連許認可評価用に作成されたモンテカルロ法に基づく 3次元多群輸送計算コードであり、米国内及び日本国内の臨界安全評価に広く使用されている SCALE システムを用いた。</p>	<p>【大阪】 【女川】 記載表現の相違</p> <p>【大阪】 【女川】 評価方針に係る記載内容の相違</p> <p>■評価に係る記載内容の相違</p>

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

2.1 可搬型設備等による対応

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>a. 実施内容</p> <p>SFPにウラン燃料を配置した条件（Aエリアでは貯蔵する領域を考慮、Bエリアはウラン新燃料を敷き詰め）で、あらゆる水密度の未臨界性評価を実施する。</p> <p>判定基準は、$k_{eff} \leq 0.98$（不確定性を含む）とする。</p>		<p>評価基準は、不確定性を含めて実効増倍率が0.98以下となる設計とする。</p> <p>不確定性としては、臨界計算上の不確定性及び製作公差に基づく不確定性（ラックセル内での燃料体が偏る効果を含む）を考慮する。</p> <p>b. 計算方法</p> <p>(a) 計算体系</p> <p>計算体系は、垂直方向、水平方向ともに有限の体系とする。垂直方向は、上下部の構造物による中性子反射効果を考慮し、燃料有効長上部は低密度状態においても、十分な反射効果が得られる厚さ（中性子反射効果が飽和する厚さ）である300mmの水反射と仮定し、燃料有効長下部についても同様に、1000mmのコンクリートとして評価する。</p> <p>水平方向は、貯蔵体数の多いBピットを対象とし、ピット側面の構造物による中性子反射効果を考慮し、垂直方向上部と同様に300mmの水反射を仮定する。</p> <p>評価モデルは、Bピットにウラン新燃料のみを貯蔵した条件並びに実運用を考慮した体数のMOX新燃料及びウラン新燃料を貯蔵した条件で評価する。</p> <p>未臨界性評価の計算体系を図6-2から図6-5に示す。</p> <p>(b) 計算条件</p> <p>評価の計算条件は以下に示すとおり、貯蔵される燃料仕様の範囲内で未臨界性評価上厳しい結果を与えるように設定している。</p> <p>イ. ウラン燃料の濃縮度は約4.8wt%であるが、これに余裕と濃縮度公差を見込み %とする。</p> <p>ロ. MOX燃料は、核分裂性プルトニウム（Pu）割合が約68wt%となる代表組成を想定する。この場合、約4.1wt%濃縮ウラン相当となるMOX燃料のPu含有率は約9wt%であるが、保守的に設置変更許可申請書（平成22年11月16日許可）本文における燃料材最大Pu含有率13wt%とする。さらに、^{241}Puから^{241}Amへの壊変は無視し、^{241}Amについては全て^{241}Puとする。</p> <p>ハ. 使用済燃料ピット内の水は純水とし、残存しているほう素は考慮しない。</p> <p>ニ. 燃料有効長は、公称値3,648mmから延長し、3,660mmとする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-top: 10px;"> <p>枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p> </div>	<p>■記載箇所の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・泊は実施内容（評価方針）について前ページに記載している。 <p>■記載表現の相違</p> <p>■記載内容の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・泊は不確定性を考慮して評価を行うことを記載している。 <p>■記載内容の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・泊は計算方法として、計算体系及び計算条件について記載する

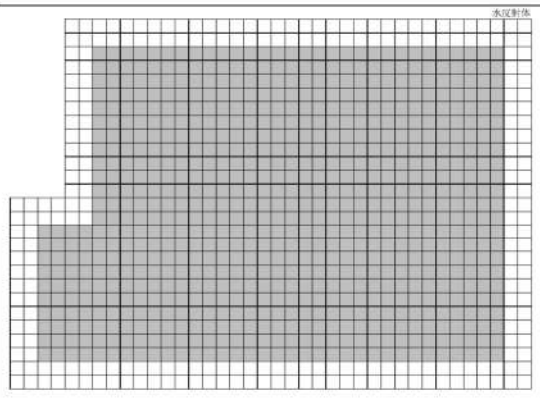
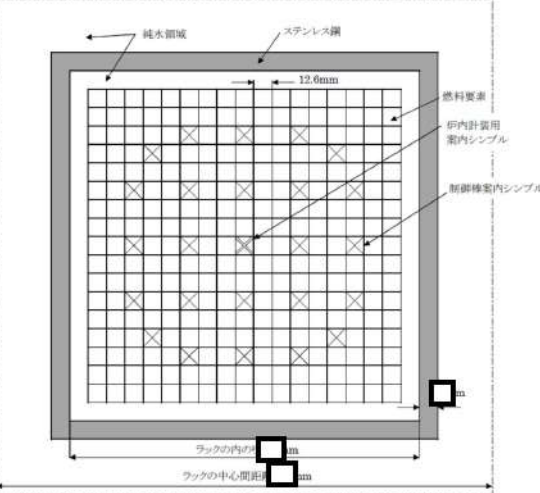

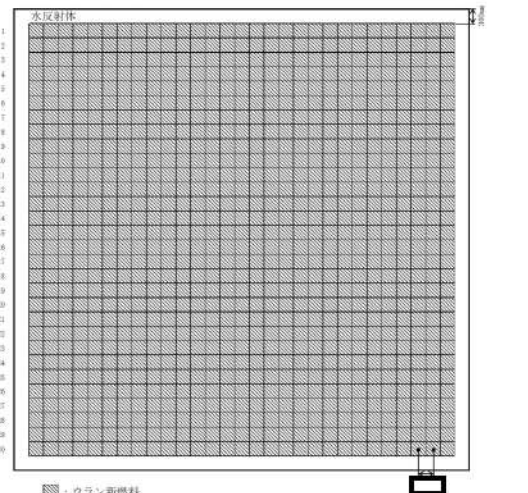

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

2.1 可搬型設備等による対応

大阪発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																												
	<p style="text-align: center;">第2表 未臨界性評価の基本計算条件</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">項目</th> <th style="width: 70%;">仕様</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="7">燃料仕様</td> <td>燃料種類</td> <td>9×9燃料（A型）</td> </tr> <tr> <td>²³⁵U濃縮度</td> <td>□ wt% ※1</td> </tr> <tr> <td>ペレット密度</td> <td>理論密度の約97%</td> </tr> <tr> <td>ペレット直径</td> <td>0.96 cm</td> </tr> <tr> <td>被覆管外径</td> <td>1.12 cm</td> </tr> <tr> <td>被覆管厚さ</td> <td>0.71 mm</td> </tr> <tr> <td>燃料有効長</td> <td>3.71 m</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">使用済燃料貯蔵ラック</td> <td>ラックタイプ</td> <td>角管型</td> </tr> <tr> <td>ラックピッチ（長辺方向） （短辺方向）</td> <td>□ mm □ mm</td> </tr> <tr> <td>材料</td> <td>ボロン添加ステンレス鋼</td> </tr> <tr> <td>ボロン濃度</td> <td>□ wt% ※2</td> </tr> <tr> <td>厚さ 内り（長辺方向） （短辺方向）</td> <td>□ mm □ mm □ mm</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 未臨界性評価用燃料集合体（$k_{\infty}=1.30$ 未燃焼組成、Gdなし） ※2 ボロン濃度の解析使用値は、製造公差下限値とする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; text-align: center; margin-top: 5px;"> 枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。 </div>	項目	仕様	燃料仕様	燃料種類	9×9燃料（A型）	²³⁵ U濃縮度	□ wt% ※1	ペレット密度	理論密度の約97%	ペレット直径	0.96 cm	被覆管外径	1.12 cm	被覆管厚さ	0.71 mm	燃料有効長	3.71 m	使用済燃料貯蔵ラック	ラックタイプ	角管型	ラックピッチ（長辺方向） （短辺方向）	□ mm □ mm	材料	ボロン添加ステンレス鋼	ボロン濃度	□ wt% ※2	厚さ 内り（長辺方向） （短辺方向）	□ mm □ mm □ mm	<p>ホ. ラックセルの仕様のうち、ボロン添加ステンレス鋼の厚さは中性子吸収効果を少なくするために下限値の□mmとする。また、ボロン添加量は規格の下限値である0.95wt%とする。</p> <p>へ. Aビット及びBビットのラック仕様は同一であり、未臨界性評価上厳しい結果を与えるよう、燃料貯蔵体数が多いBビットを対象に評価を実施する。</p> <p>以下の基本設計条件は公称値を使用するが、製作公差を未臨界性評価上厳しい結果を与えるように不確定性として考慮する。（以下「製作公差に基づく不確定性として考慮する計算条件」という。）なお、製作公差に基づく不確定性として考慮する計算条件には、ラックセル内での燃料体が偏る効果を含む。</p> <p>ト. ラックセルの中心間距離 チ. ラックセルの内り リ. ラックセル内での燃料体の偏る効果（ラックセル内燃料偏心） ス. 燃料材の直径及び密度 ル. 燃料被覆材の内径及び外径 ヲ. 燃料要素の中心間隔（燃料体外寸）</p> <p>本計算における基本計算条件を表6-6に示す。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; text-align: center; margin-top: 10px;"> 枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。 </div>	
項目	仕様																														
燃料仕様	燃料種類	9×9燃料（A型）																													
	²³⁵ U濃縮度	□ wt% ※1																													
	ペレット密度	理論密度の約97%																													
	ペレット直径	0.96 cm																													
	被覆管外径	1.12 cm																													
	被覆管厚さ	0.71 mm																													
	燃料有効長	3.71 m																													
使用済燃料貯蔵ラック	ラックタイプ	角管型																													
	ラックピッチ（長辺方向） （短辺方向）	□ mm □ mm																													
	材料	ボロン添加ステンレス鋼																													
	ボロン濃度	□ wt% ※2																													
	厚さ 内り（長辺方向） （短辺方向）	□ mm □ mm □ mm																													

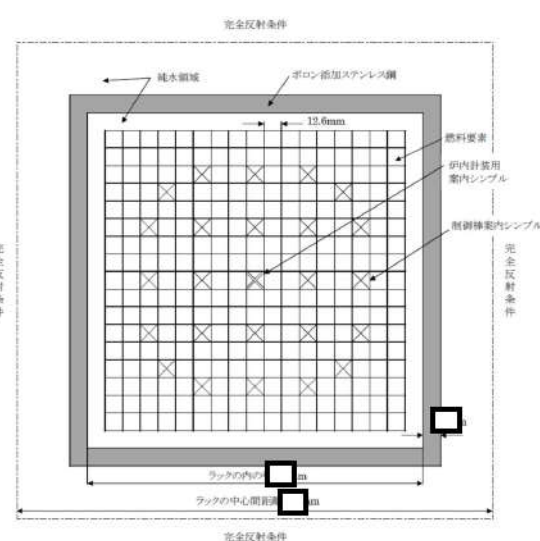
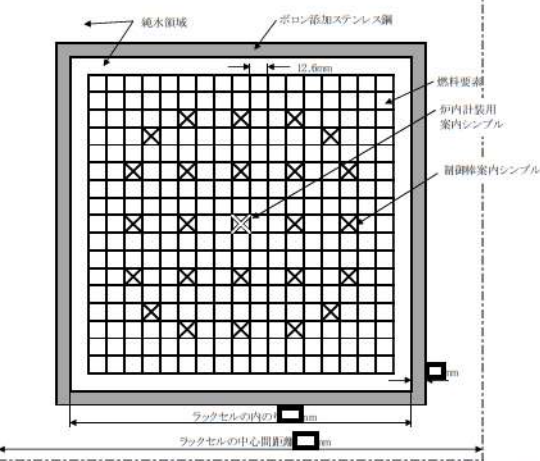
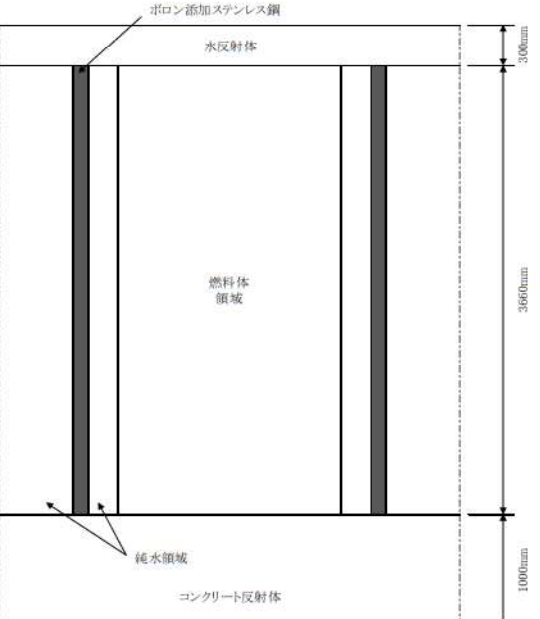
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

2.1 可搬型設備等による対応

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
 <p>未臨界性評価の解析モデル図 (A エリア) (1/2)</p>  <p>未臨界性評価の解析モデル図 (A エリア) (2/2)</p> <p>枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>	 <p>第2図 女川2号炉使用済燃料貯蔵ラック計算体系</p> <p>枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。</p>	 <p>図6-2 Bピットにウラン新燃料のみを貯蔵した場合の計算体系 (水平方向、Bピット全体)</p>  <p>図6-3 Bピットに実運用を考慮した体数のMOX新燃料及びウラン新燃料を貯蔵した場合の計算体系 (水平方向、Bピット全体)</p> <p>枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>	

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

2.1 可搬型設備等による対応

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
 <p>完全反射条件</p> <p>純水領域</p> <p>ボロン添加ステンレス鋼</p> <p>12.6mm</p> <p>燃料要素</p> <p>炉内計装用案内シンプル</p> <p>制御棒案内シンプル</p> <p>ラックの内径</p> <p>ラックの中心間距離</p> <p>完全反射条件</p> <p>未臨界性評価の解析モデル図 (Bエリア)</p> <p>枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>		 <p>純水領域</p> <p>ボロン添加ステンレス鋼</p> <p>12.6mm</p> <p>燃料要素</p> <p>炉内計装用案内シンプル</p> <p>制御棒案内シンプル</p> <p>ラックセルの内径</p> <p>ラックセルの中心間距離</p> <p>図6-4 大規模漏えい時の使用済燃料ピットの未臨界性評価の計算体系 (水平方向、燃料体部拡大)</p> <p>枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>  <p>ボロン添加ステンレス鋼</p> <p>水反射体</p> <p>300mm</p> <p>燃料体領域</p> <p>3660mm</p> <p>純水領域</p> <p>1000mm</p> <p>コンクリート反射体</p> <p>図6-5 大規模漏えい時の使用済燃料ピットの未臨界性評価の計算体系 (垂直方向)</p>	

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

2.1 可搬型設備等による対応



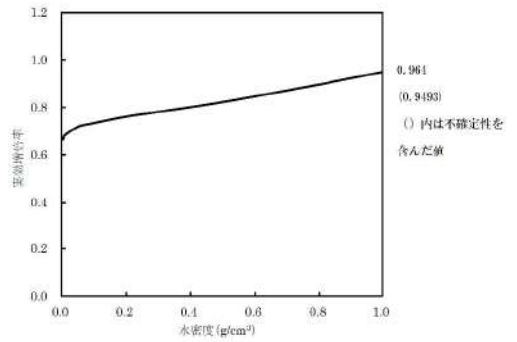
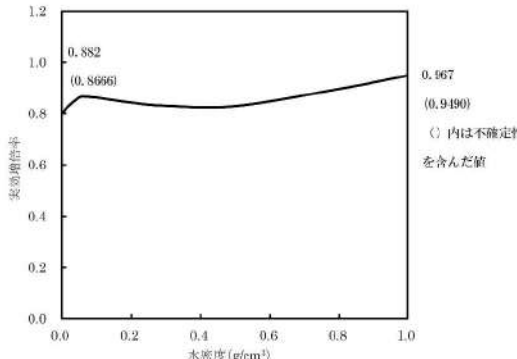
大飯発電所3 / 4号炉		
第1表 大規模漏えい時の使用済燃料ピットの未臨界性評価の計算条件 (Aエリア)		
	計算条件	備考
(燃料体)	17×17型ウラン燃料	—
燃料 ²³⁵ U濃縮度	□ 1%	4.80wt%に濃縮度公差を見込んだ値
燃料材密度	理論密度の97%	(注1)
燃料材直径	8.19mm	(注1)
燃料被覆材 内径	8.36mm	(注1)
燃料被覆材 外径	9.5mm	(注1)
燃料要素中心間隔	12.6mm	(注1)
燃料有効長	3,660mm	公称値3,648mmを延長
貯蔵領域	領域A 燃焼度 0MWD/t の燃料を貯蔵 領域B 燃焼度 20,000MWD/t の燃料を貯蔵	—
(ラック)	—	配置は図参照
ラックタイプ	キャン型	—
ラックの中心間距離	□ mm	(注1)
材 料	ステンレス鋼	—
厚 さ	□ mm	(注2)
内 の り	□ mm	(注1)
(使用済燃料ピット内の水分条件)	純水	残存しているほう素は考慮しない
密度	0.0~1.0g/cm ³	—
(注1) 製作公差に基づく不確定性として考慮する計算条件 (注2) 中性子吸収効果を少なくするため下限値を使用		
第2表 大規模漏えい時の使用済燃料ピットの未臨界性評価の計算条件 (Bエリア)		
	計算条件	備考
(燃料体)	17×17型ウラン燃料	—
燃料 ²³⁵ U濃縮度	□ 1%	5.00wt%に濃縮度公差を見込んだ値
燃料材密度	理論密度の97%	(注1)
燃料材直径	8.19mm	(注1)
燃料被覆材 内径	8.36mm	(注1)
燃料被覆材 外径	9.5mm	(注1)
燃料要素中心間隔	12.6mm	(注1)
燃料有効長	3,660mm	公称値3,648mmを延長
(ラック)	—	配置は図参照
ラックタイプ	キャン型	—
ラックの中心間距離	□ mm	(注1)
材 料	ボロン添加ステンレス鋼	—
ボロン添加量	0.95wt%	(注2)
厚 さ	□ mm	(注2)
内 の り	□ mm	(注1)
(使用済燃料ピット内の水分条件)	純水	残存しているほう素は考慮しない
密度	0.0~1.0g/cm ³	—
(注1) 製作公差に基づく不確定性として考慮する計算条件 (注2) 中性子吸収効果を少なくするため下限値を使用		
枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。		

女川原子力発電所2号炉		
【比較のため、添付2.1.6-10ページより再掲】		
第2表 未臨界性評価の基本計算条件		
	項目	仕様
燃料仕様	燃料種類	9×9燃料 (A型)
	²³⁵ U濃縮度	□ wt% ※1
	ペレット密度	理論密度の約97%
	ペレット直径	0.96 cm
	被覆管外径	1.12 cm
	被覆管厚さ	0.71 mm
	燃料有効長	3.71 m
	ラックタイプ	角管型
	ラックピッチ (長辺方向)	□ mm
	(短辺方向)	□ mm
使用済燃料貯蔵ラック	材料	ボロン添加ステンレス鋼
	ボロン濃度	□ wt% ※2
	厚さ	□ mm
	内 の り (長辺方向)	□ mm
(短辺方向)	□ mm	
※1 未臨界性評価用燃料集合体 (k _∞ =1.30 未燃焼組成、Gdなし) ※2 ボロン濃度の解析使用値は、製造公差下限値とする。		
枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。		

泊発電所3号炉					
表6-6 未臨界性評価の基本計算条件					
燃料仕様	項 目	仕 様			
燃料仕様	燃料種類	17×17型 ウラン燃料	17×17型 MOX 燃料		
	²³⁵ U濃縮度又はPu含有率/Pu組成	□ 1%	13wt%/代表組成表6-7参照		
	燃料材密度	理論密度の97%	理論密度の97%		
	燃料要素中心間隔	12.6mm	同左		
	燃料材直径	8.19mm	同左		
	燃料被覆材内径	8.36mm	同左		
	燃料被覆材外径	9.50mm	同左		
	燃料有効長	3660mm	同左		
	使用済燃料ラック	ラックタイプ	キャン型		
		ラックセルの中心間距離	□ mm		
材料		ボロン添加ステンレス鋼			
ボロン含有量		0.95wt% ※1			
板厚		□ mm			
内 の り		□ mm			
SFP内の水のほう素濃度	0 ppm ※2				
SFP内の水密度	0.0~1.0g/cm ³				
枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。					
表6-7 代表組成					
Pu 組成 (wt%)					
²³⁹ Pu	²⁴⁰ Pu	²⁴¹ Pu	²⁴² Pu	²⁴³ Am	
1.9	57.5	23.3	10.0(11.9)	5.4	1.9(0.0)
() 内は未臨界性評価に用いた値					
【大飯】【女川】記載内容の相違 ・泊は、MOX燃料の代表組成について記載					



赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

2.1 可搬型設備等による対応

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																									
<p>b. 評価結果</p> <p>SFPの未臨界性評価結果を下表に示す。あらゆる水密度において臨界未満である。</p> <p>下表では、k_{eff} が最も高くなる評価結果を示す。</p> <table border="1" data-bbox="94 379 645 534"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>評価結果^(注)</th> <th>評価基準</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">実効増倍率</td> <td>Aエリア</td> <td>0.956 (0.9410)</td> <td>≤ 0.98</td> </tr> <tr> <td>Bエリア</td> <td>0.964 (0.9504)</td> <td>≤ 0.98</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 不確定性を含む。()内は不確定性を含まない値。</p>  <p>図 使用済燃料ピット配置</p>			評価結果 ^(注)	評価基準	実効増倍率	Aエリア	0.956 (0.9410)	≤ 0.98	Bエリア	0.964 (0.9504)	≤ 0.98	 <p>第3図 実効増倍率の水密度依存性</p> <p>枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。</p>	<p>c. 評価結果</p> <p>使用済燃料ピットの未臨界性評価結果を表6-8、図6-6及び図6-7に示す。実効増倍率は不確定性を考慮しても最大で0.967となり0.98以下を満足している。</p> <p>表6-8 泊3号炉Bピット未臨界性評価結果（水密度0.0～1.0g/cm³の範囲において実効増倍率が最も高くなる評価結果）</p> <table border="1" data-bbox="1249 375 1792 486"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価項目</th> <th colspan="2">実効増倍率^(注)</th> <th rowspan="2">関連する計算体系図</th> </tr> <tr> <th>評価結果</th> <th>水密度条件</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ウラン新燃料</td> <td>0.964 (0.9493)</td> <td>1.0g/cm³</td> <td>図6-2、図6-4、 図6-5</td> </tr> <tr> <td>ウラン新燃料+MOX新燃料</td> <td>0.967 (0.9490)</td> <td>1.0g/cm³</td> <td>図6-3、図6-4、 図6-5</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注)：不確定性含む。()内は不確定性を含まない値。</p>  <p>図6-6 Bピットにウラン新燃料のみを貯蔵した場合の実効増倍率と水密度の関係（有限配列体系）</p>  <p>図6-7 Bピットに実運用を考慮した体数のMOX新燃料及びウラン新燃料を貯蔵した場合の実効増倍率と水密度の関係（有限配列体系）</p>	評価項目	実効増倍率 ^(注)		関連する計算体系図	評価結果	水密度条件	ウラン新燃料	0.964 (0.9493)	1.0g/cm ³	図6-2、図6-4、 図6-5	ウラン新燃料+MOX新燃料	0.967 (0.9490)	1.0g/cm ³	図6-3、図6-4、 図6-5	<p>■記載内容の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> 大阪は使用済燃料ピットの配置を記載 泊は女川審査実績を踏まえ、実効増倍率と水密度の関係を記載
		評価結果 ^(注)	評価基準																									
実効増倍率	Aエリア	0.956 (0.9410)	≤ 0.98																									
	Bエリア	0.964 (0.9504)	≤ 0.98																									
評価項目	実効増倍率 ^(注)		関連する計算体系図																									
	評価結果	水密度条件																										
ウラン新燃料	0.964 (0.9493)	1.0g/cm ³	図6-2、図6-4、 図6-5																									
ウラン新燃料+MOX新燃料	0.967 (0.9490)	1.0g/cm ³	図6-3、図6-4、 図6-5																									

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

2.1 可搬型設備等による対応

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>c. 地震による SFP ラック損傷時の未臨界性維持について</p> <p>大飯3（4）号炉の SFP ラックにおいて、耐震上で相対的に強度余裕の少ない箇所は、「ビット壁」と「固定板の溶接部」である。</p> <p>仮に基準地震動を超える大きな地震力が作用し、これらの部分が破損した場合でもラックブロック自体に大きな負荷がかかることはない。</p> <p>一方、燃料集合体を水平方向に支持し、燃料集合体間の距離を維持するための部材（支持格子）及び中性子吸収材（ラックセル）については、基準地震動に対して一定程度の裕度を有しており健全性が期待できることから、燃料集合体間の間隔が維持されるため未臨界性に影響を与えることはない。</p>  <p>大飯3（4）号炉の SFP ラックセル数 <Aエリア>：974体 ブロックA：78、ブロックB：117、ブロックC：117、 ブロックD：130 ブロックE：140、ブロックF：126、ブロックG：126、 ブロックH：140 <Bエリア>：1155体 ブロックI：289、ブロックJ：272、ブロックK：306、 ブロックL：288</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin-left: auto;">枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>		<p>(3) 地震による使用済燃料ラック損傷時の未臨界性維持について</p> <p>泊発電所3号炉の使用済燃料ラックにおいて、耐震上、相対的に強度余裕の少ない箇所は、「取付ボルト」及び「ビット壁と固定板の溶接部」である（図6-8参照）。</p> <p>仮に基準地震動を超える大きな地震力が作用し、これらの部分が破損した場合でも、使用済燃料ラックにはSFP床面との摩擦抵抗分の荷重しか作用しないため、荷重は壁サポート時に比べて小さく、ラックブロック自体に大きな負荷がかかることはない。</p> <p>また、燃料集合体を水平方向に支持し燃料集合体間の間隔を維持するための部材（支持格子）及び中性子吸収材（ラックセル）については、基準地震動に対して一定程度の裕度を有しており健全性が期待できることから、燃料集合体間の間隔が維持されるため未臨界性に影響を与えることはない。</p>  <p>図6-8 サポート部の構造例（壁支持型：泊3号炉 ビットA）※</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin-left: auto;">枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>	<p>【女川】記載方針の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・泊は、使用済燃料ビットのラック形状等により未臨界を維持できる設計とすることから、地震によるラック損傷時における未臨界性維持について整理している。 <p>■記載表現の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・泊はサポート部損傷時における使用済燃料ラックへの影響の説明を充実化している。

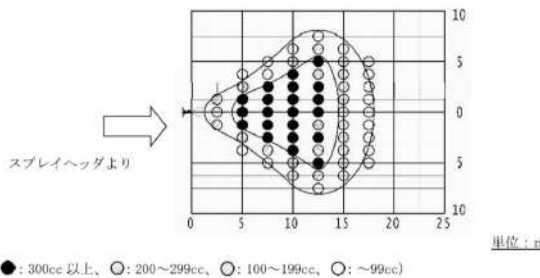



赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

2.1 可搬型設備等による対応

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>(3) スプレィヘッダの放水範囲について 本資料は、2台のスプレィヘッダで使用済燃料ピット全域にスプレィできることを示すものである。(スプレィヘッダは大阪3号炉用2台、大阪4号炉用2台及び予備2台の計6台を配備している。)</p> <p>a. 放水角度の設定範囲 スプレィヘッダの放水角度は、縦方向に10°～45°の任意の角度(仰角)に設定することが可能である。また、横方向には、スプレィヘッダ内に水が流れることにより、±10°、±15°、±20°の角度でノズルが旋回し、広範囲にスプレィすることが可能である。(旋回させないことも可能) なお、ノズルの設定変更により、噴霧状態から直線状態まで放水状態を変更することが可能である。</p> <p>b. 放水範囲 放水試験を実施し、放水範囲の確認を行っている。</p> <p>(a) 試験条件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・放水角度(仰角) : 30° ・旋回角度 : ±20° ・流量 : 60m³/h <p>・試験時間 : 1分間</p> <p>・直径約22cmのバケツを並べ、放水量を確認</p> <p>(b) 試験結果 旋回させない状態で飛距離を約15mになるよう設定した後、旋回状態にした場合の分布範囲は下図のとおり。</p>	<p>4. 使用済燃料プールへの必要スプレィ流量について</p> <p>(1) 試験方法 スプレィノズルの放水試験方法は、開口部直径約0.3mの試験容器を並べてスプレィノズルによる放水を実施し、放水量の計測及び放水範囲の確認を実施する。 試験に際しては、流量及び放水圧力を測定し、実際のスプレィノズルによる使用済燃料プールへのスプレィ状態と同様の状態で試験可能となるよう考慮した。</p> <p>(2) 測定条件 放水試験は以下の条件で実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・放水角度(仰角) : 30° ・旋回角度 : 40°(左右各20°) ・流量 : 700L/min(42m³/h) ・放水圧 : 0.4MPa ・試験時間 : 1分間 <p>・水平飛距離 : 15m及び10m</p> <p>(3) 判定基準 放水試験の判定基準を以下に示す。 ①使用済燃料プール内燃料体の崩壊熱(6.7MW)を除去するために必要なスプレィ流量*(約9.7m³/h)を満足すること。 ②使用済燃料プール全域にスプレィ可能であること。</p> <p>* : 使用済燃料プール内燃料体の崩壊熱Q[kW]を除去するために必要なスプレィ流量V[m³/h]は、以下の式により求められる。 $V = Q \div (H_{SH} + H_{SL}) \times m \times 3600$ H_{SH} : 水の顕熱(40℃～100℃)(大気圧)[kJ/kg] H_{SL} : 水の蒸発潜熱[kJ/kg] m : 水の比容積[m³/kg]</p> <p>(4) 測定結果 スプレィノズルによる放水試験の結果を第4図及び第5図に示す。</p>	<p>(4) 可搬型スプレィノズルの放水範囲について 本項は、2台の可搬型スプレィノズルで使用済燃料ピット全域にスプレィできることを示すものである。(可搬型スプレィノズルは予備を含め計4台を配備している。)</p> <p>a. 放水角度の設定範囲 可搬型スプレィノズルの放水角度は、縦方向に10°～45°の任意の角度(仰角)に設定することが可能である。また、横方向については、スプレィノズル内に水が流れることにより、±10°、±15°、±20°の角度でノズルが旋回し、広範囲にスプレィすることが可能である。(旋回させないことも可能) また、ノズルの設定により、霧状から棒状までスプレィ水の形状を変更することが可能である。</p> <p>b. 放水範囲 放水試験を実施し、放水範囲の確認を実施している。</p> <p>(a) 試験条件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・放水角度(仰角) : 30° ・旋回角度 : ±20° ・流量 : 60m³/h <p>・試験時間 : 1分間</p> <p>・直径約22cmのバケツを並べ放水量を確認</p> <p>(b) 試験結果 旋回させない状態で飛距離を約15mになるよう設定した後、旋回状態にした場合の放水による分布を図6-9に示す。</p>	<p>【女川】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・泊は必要スプレィ流量について <p>■記載表現の相違</p> <p>【女川】記載内容の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・○○○ <p>【大阪】【女川】記載表現の相違</p>

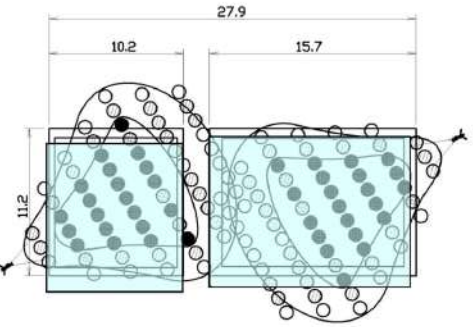

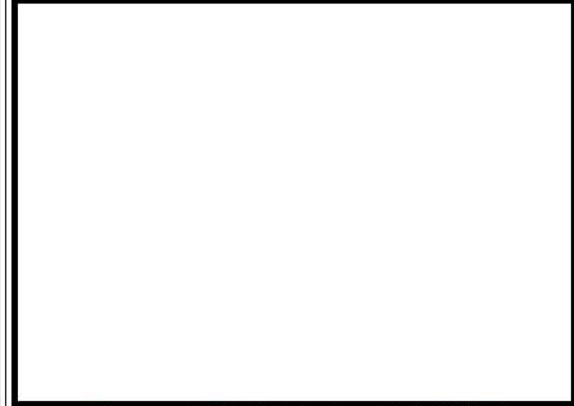
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

2.1 可搬型設備等による対応

大阪発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
 <p>単位：m</p>	 <p>第4図 スプレイノズル放水範囲(水平飛距離15m)</p>  <p>第5図 スプレイノズル放水範囲(水平飛距離10m)</p> <p>枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。</p>	 <p>図6-9 放水分布図</p> <p>枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>	



赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

2.1 可搬型設備等による対応

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>(c) 使用済燃料ピットへの放水範囲</p> <p>放水試験結果から、2箇所から放水することにより使用済燃料ピット全域に放水することが可能である。</p>  <p style="text-align: right;">単位:m</p>	<p>5. 必要スプレイ量の評価</p> <p>スプレイノズルによる使用済燃料プールへの放水試験の測定結果から、3台のスプレイノズルを使用して、使用済燃料プールへスプレイする場合の放水範囲を第6図、第7図に示す。</p> <p>第6図、第7図に示すとおり3個のスプレイノズルにより3箇所から放水することで、すべての使用済燃料プール内燃料体にスプレイすることが可能である。</p> <p>また、126m³/h（42m³/h/個）以上で使用済燃料プールへスプレイするため、使用済燃料プール内燃料体の崩壊熱を除去するために必要なスプレイ流量（約9.7m³/h）を満足することが可能である。</p>  <p>第6図 燃料プールスプレイ系（常設配管）によるスプレイ範囲</p>  <p>第7図 燃料プールスプレイ系（可搬型）によるスプレイ範囲</p> <p>注：柵とスプレイノズルを約3.2m離れた場合</p> <p>枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。</p>	<p>(c) 使用済燃料ピットへの放水範囲</p> <p>可搬型スプレイノズルによる使用済燃料ピットへの放水試験の結果から、2台の可搬型スプレイノズルを使用して、使用済燃料ピットへスプレイする場合の放水範囲を図6-10に示す。</p> <p>図6-10に示すとおり、2箇所から放水することにより使用済燃料ピット全域に放水することが可能である。</p>  <p>図6-10 使用済燃料ピットへの放水可能範囲</p> <p>枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>	<p>■記載表現の相違</p> <p>【女川】記載箇所の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・泊は2台の可搬型スプレイノズルによって必要スプレイ流量を満足することについては3(1)にて整理している。 <p>【女川】記載内容の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・泊は、可搬型スプレイノズルの配置についてe項で説明している。

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

2.1 可搬型設備等による対応

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>c. SFP へのスプレイヘッドの配置について</p> <p>下図のとおり、スプレイヘッドを SFP 近傍へ2台設置することで、SFP (A エリア及びB エリア) の全体にスプレイすることが可能となる。</p> <p>なお、2台のスプレイヘッドには、分岐具により分流し送水されるが、分岐具以降に設置している弁 (A エリア及びB エリア) の開度を予めルート毎に設定したマーキング位置とすることで、それぞれの必要流量 (60m³/h/台) は確保できる。</p>  <p>大阪3号炉建屋内におけるスプレイヘッドの設置図</p> <p>枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>		<p>c. 使用済燃料ピットへの可搬型スプレイノズルの配置について</p> <p>図6-11 に示すとおり、可搬型スプレイノズルを使用済燃料ピット近傍へ2台設置することで、A 及びB の使用済燃料ピット全体にスプレイすることが可能となる。</p>  <p>図6-11 建屋内における可搬型スプレイノズルの設置場所 (ルート1及び2) (建屋内部でのスプレイ)</p> <p>枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>	<p>■記載表現の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

2.1 可搬型設備等による対応

大阪発電所3/4号炉

また、SFPへ近づけない場合を想定した、外部からのSFPスプレイを例示する。

例では、原子炉周辺建屋東の扉を開放してSFPへスプレイする想定としている。スプレイヘッダの性能曲線、原子炉周辺建屋高さ及びSFPまでの距離を勘案すると、放水角30度でスプレイすれば、Aエリア及びBエリアのSFPへスプレイすることが可能である。

STANDARD PRESSUREモード		
曲線	流量[L/min]	飛距離[m]
A	380	38
B	760	48
C	1100	54
D	1500	58
E	1900	63

← 約60m³/h

特図みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。

女川原子力発電所2号炉

泊発電所3号炉

また、図6-12に使用済燃料ビットへ近づけない場合を想定した、外部からの使用済燃料ビットスプレイを実施する場合の可搬型スプレイノズルの設置位置等について例示する。

例では、燃料取扱棟の東側シャッターを開放して、使用済燃料ビットへスプレイする想定としている。可搬型スプレイノズルの性能曲線、建屋高さ及び使用済燃料ビットまでの距離を勘案すると（図6-13）、放射角30°程度でスプレイすれば、A及びBの使用済燃料ビットへスプレイすることが可能である。

図6-12 可搬型スプレイノズルの設置場所の例（建屋外（入口）からのスプレイ）

図6-13 可搬型スプレイノズルの性能曲線

枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。

相違理由

■記載表現の相違

【女川】記載内容の相違

- ・泊は、SFPへ近づけない場合の外部からのSFPスプレイについて記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

2.1 可搬型設備等による対応

大阪発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>(4) 使用済燃料ピットから漏えい発生時の遮蔽設計基準到達時間について 故意による大型航空機の衝突等により、SFPが大規模に損壊し多量の漏えいが発生した場合を想定して、米国 NEI-06-12 (B.5.b ガイド) では、SFP へのスプレイ能力として 200gpm (≒45.4m³/h) 以上を要求している。</p> <p>仮に、使用済燃料ピットから NEI-06-12 におけるスプレイ能力 200gpm の漏えいが発生している想定とした場合、原子炉周辺建屋内の遮蔽設計基準 (0.15mSv/h) を満足させるための水位として大阪 3、4 号炉では燃料頂部より 4.38m を確保できれば良いことから、3 m 分の漏えい (875m³) 分の時間的余裕がある。(より厳しい条件として、通常運転時を想定して評価する。)</p> <p>崩壊熱による蒸発水量 (約 19.5m³/h) を加味すれば、875m³ / (45.4m³/h + 19.5m³/h) より約 13.4 時間で、原子炉周辺建屋遮蔽設計基準に到達する。(さらに燃料頂部が露出するまでには、更に 4.38m の水位がある。)</p> <p>この間の現実的な対応として、まずは短時間で準備可能な消火設備を活用した注水により水位低下の緩和を図り、その後、送水車等による外部からの注水を並行して実施することにより水位の維持を試みる。</p> <p>200gpm 程度の漏えいを想定した場合でも、これらの手段によって SFP 水位は維持できるものと考えられるが、注水が一切行われない想定とした場合であっても遮蔽設計基準 (0.15mSv/h) に到達するまでには約 13.4 時間程度要する計算である。</p> <p>なお、可搬型スプレイ設備の設置作業については、約 2 時間で設置することが可能であり、線量率を考慮しても、作業可能である。</p>	<p>(5) 使用済燃料ピットから漏えい発生時の遮蔽設計基準到達時間について 故意による大型航空機の衝突等により、使用済燃料ピットが大規模に損壊し大量の漏えいが発生した場合を想定して、米国における NEI-06-12 (B.5.b 対応ガイド) では、使用済燃料ピットへのスプレイ能力として 200gpm (≒45.4m³/h) 以上を要求している。</p> <p>仮に、使用済燃料ピットから NEI-06-12 におけるスプレイ能力 200gpm の漏えいが発生している想定とした場合、燃料取扱棟内の遮蔽設計基準 (0.15mSv/h) を満足させるための水位 (以下「遮蔽水位」という。) として、泊 3 号炉では燃料頂部より約 4.25m の水深を確保できれば良いことから、遮蔽水位に到達するまでには約 3.3m 分の漏えい (525m³) 分の時間的余裕がある。(より厳しい条件として、隣接する燃料検査ピット及び燃料取替用キャナルが切り離された状況を想定して評価)</p> <p>崩壊熱による蒸発量 (約 19.16m³/h) を加えた場合においても、遮蔽水位に到達するまでの時間は約 8.1 時間となる。(燃料頂部が露出するまでには、さらに約 4.25m の水位がある。)</p> <p>この間の現実的な対応として、まずは短時間で準備可能な常設設備等を活用した使用済燃料ピット注水により水位低下の緩和を図り、その後、可搬型大型送水ポンプ車等による外部からの注水を並行して実施することにより水位の維持を試みる。</p> <p>ただし、注水によっても水位の維持が困難又は漏えい量が明らかに注水能力を上回ると判断した場合には、燃料体の冷却に有効かつ効果的な手段となり得る使用済燃料ピットへのスプレイ手段へ速やかに移行する。</p> <p>なお、可搬型スプレイ設備については、約 2 時間で設置することが可能であり、線量率を考慮しても、作業可能である。</p>	<p>【女川】記載内容の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・泊は、使用済燃料ピットから漏えい発生時の遮蔽設計基準到達時間について記載 ■記載表現の相違 ■設計の相違による遮蔽水位到達までの水量及び漏えい発生時の時間余裕の相違 ■記載内容の相違 ・注水が行われない想定とした場合の遮蔽水位に到達するまでの時間は前述していることから、ここでは記載しない。 ■記載内容の相違 ・泊は、注水による水位の維持が困難な場合の対応手段について記載 ■記載表現の相違 	

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

2.1 可搬型設備等による対応

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>添付資料 2.1.6 放水砲の設置場所及び使用方法等について</p> <p>以下に、放水砲を使った具体的なプラント事故対応を例示する。</p> <p>(1) 放水砲による放射性物質の拡散抑制の具体的な対応例</p> <p>① 放水砲の使用の判断： 大規模損壊の発生により、炉心の著しい損傷及び原子炉格納容器の破損又は使用済燃料ピット内の燃料体等の著しい損傷に至るような場合には、「大規模損壊所達」に基づく初動対応フローにしたがい、プラント状態を把握するとともに、放射性物質の拡散抑制に対して迅速な対応ができるよう放水砲及び大容量ポンプ（放水砲用）の準備を行う。</p> <p>原子炉格納容器圧力の低下、エリアモニタ等の指示値の上昇、目視による原子炉格納容器の損傷等を確認した場合には、初動対応フローの優先順位にしたがい「放射性物質拡散抑制のための戦略フロー」を選択する。</p> <p>当該フローにおいては、格納容器スプレイラインが使用可能な場合は、準備時間が比較的短い格納容器スプレイを実施する。</p> <p>なお、本操作が実施不能な場合、又は放水砲及び大容量ポンプ（放水砲用）による放水が必要と判断された場合には、放水砲及び大容量ポンプ（放水砲用）による放射性物質の放出抑制のための操作を選択する。</p> <p>② 放水砲の設置位置の判断： 放水砲の設置位置として、原子炉格納容器へ放水する想定の場合には複数箇所を予め設定しているが、現場からの情報（風向き、火災の状況、損傷位置（高さ、方位））等を勘案し、原子力防災管理者又は副原子力防災管理者が総合的に判断して、適切な位置からの放水を重大事故等対策要員へ指示する。</p>	<p>添付資料 2.1.13 放水砲の設置位置及び使用方法等について</p> <p>1. 放水砲による具体的なプラント事故対応</p> <p>(1) 放水砲による大気への放射性物質の拡散抑制、大規模な火災の消火活動の具体的な対応例</p> <p>a. 放水砲の使用の判断 次のいずれかに該当する場合又はそのおそれがある場合は、放水砲を使用する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 原子炉格納容器へのあらゆる注水手段を講じても注水できず、原子炉格納容器の破損のおそれがあると判断した場合 原子炉格納容器からの異常な漏えいにより、原子炉格納容器フィルタベント系で原子炉格納容器の減圧及び除熱をしているものの、原子炉建屋内の水素濃度が低下しないことにより原子炉建屋ベント設備を開放する場合 燃料プールスプレイ系（常設配管）又は燃料プールスプレイ系（可搬型）による燃料プールスプレイができない場合 プラントの異常により、モニタリングポストの指示がオーダーレベルで上昇した場合 航空機燃料火災が発生した場合 <p>b. 放水砲の設置位置の判断 放水砲の設置位置として、大気への放射性物質の拡散抑制の場合にはあらかじめ設置位置候補を複数想定しているが、現場からの情報（風向き、損傷位置（高さ、方位））等を勘案し、発電所対策本部が総合的に判断して、適切な位置からの放水を指示する。</p> <p>また、消火活動の場合は、火災の状況（アクセスルート含む。）等を勘案し、設置位置を確保した上で、適切な位置から放水する。</p>	<p>添付資料 2.1.7 放水砲の設置位置及び使用方法等について</p> <p>1. 放水砲による具体的なプラント事故対応</p> <p>(1) 放水砲による大気への放射性物質の拡散抑制、大規模な火災の消火活動の具体的な対応例</p> <p>a. 放水砲の使用の判断 大規模損壊の発生により、炉心の著しい損傷及び原子炉格納容器の破損又は使用済燃料ピット内の燃料体等の著しい損傷に至るような場合には、大規模損壊発生時の対応手順書に基づく初動対応フローに従い、プラント状態を把握するとともに、放射性物質の拡散抑制に対して迅速な対応ができるよう可搬型大型送水ポンプ車の準備を行う。ただし、外観から原子炉格納容器に明らかな破損が確認された場合は、可搬型大容量海水送水ポンプ車、放水砲等の準備を開始する。</p> <p>原子炉格納容器圧力の低下、モニタの指示値の上昇、目視による原子炉格納容器の破損等を確認した場合には、初動対応フローの優先順位に従い、「放射性物質放出低減のための戦略フロー」を選択する。</p> <p>当該フローにおいては、格納容器スプレイラインが使用可能な場合には、準備時間が比較的短い格納容器スプレイを実施する。</p> <p>格納容器スプレイラインが使用不能な場合、又は放水砲及び可搬型大容量海水送水ポンプ車による放水が必要と判断された場合には、放水砲及び可搬型大容量海水送水ポンプ車による放射性物質の放出低減操作を選択する。</p> <p>b. 放水砲の設置位置の判断 放水砲の設置位置として、大気への放射性物質の拡散抑制のために原子炉格納容器又は燃料取扱棟へ放水する場合はあらかじめ設置位置候補を複数設定しているが、現場からの情報（風向き、火災の状況、損傷位置（高さ、方位））等を勘案し、原子力防災管理者又は副原子力防災管理者が総合的に判断して、適切な位置からの放水を発電所災害対策要員へ指示する。</p> <p>また、消火活動の場合は、火災の状況（アクセスルート含む。）等を勘案し、設置位置を確保した上で、適切な位置から放水する。</p>	<p>相違理由</p> <p>■記載表現の相違 ・泊は女川審査実績を反映し、放水砲を活用した消火活動について記載している。 【女川】手順着手の判断基準の相違 ・泊はプラント状態を把握し、緩和操作を選択するための判断フローに基づいて、対応操作を選定する。</p> <p>■記載表現の相違 ■運用の相違 ・泊は、大規模損壊が発生した場合（又は発生が疑われる場合）には、応用範囲が広い（炉心注水、C/Vスプレイ、C/A内自然対流冷却、SFP注水・スプレイ、RWSP・AFWP補給、消火等）可搬型大型送水ポンプ車の準備を速やかに開始する。ただし、原子炉格納容器の外観に明らかな破損が確認された場合には、可搬型大容量海水送水ポンプ車及び放水砲等を優先して準備する。（伊方と同様の考え方）</p> <p>■記載表現の相違 ■記載表現の相違 【女川】記載表現の相違 ・泊は現場からの情報以外の情報も勘案することを意図しているため、「等」の記載位置が異なる。</p> <p>■記載表現の相違 ・泊は女川審査実績を反映し、放水砲を活用した消火活動について記載している。</p>

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

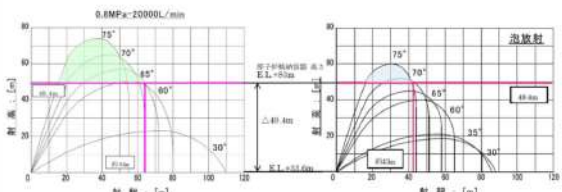
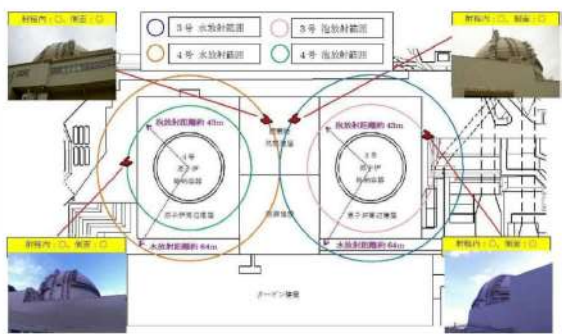




赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

2.1 可搬型設備等による対応

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>③ 放水砲の設置位置と原子炉格納容器又は使用済燃料ピットへの放水可能性</p> <p>[原子炉格納容器へ放水する場合]</p> <p>前述のとおり、放水砲は状況に応じて適切な場所に設置する。原子炉格納容器から約64mの範囲内に放水砲を設置すれば、原子炉格納容器頂部までの放水が可能である。</p> <p>また、海水取水箇所については複数箇所を想定するとともに、可搬型ホースの敷設ルートについても、その時の被害状況や火災の状況を勘案して柔軟な対応ができるよう複数のアクセスルートを想定した手順及び設備構成とする。</p> <p>[原子炉周辺建屋（貯蔵槽内燃料体等）へ放水する場合]</p> <p>使用済燃料ピットに大規模漏えいが発生した場合における対応は、「1.11 使用済燃料貯蔵槽の冷却等のための手順等」及び「1.12 工場等外への放射性物質の拡散を抑制するための手順等」に示すとおりであり、使用済燃料ピットにアクセスが困難な場合には、送水車による建屋外部からのスプレイ操作を実施する。</p> <p>さらに、本操作を実施することが困難な状況（大規模な火災等により接近できずに、十分な射程が確保できない場合）においては、放水砲及び大容量ポンプ（放水砲用）により原子炉周辺建屋（貯蔵槽内燃料体等）へスプレイする手段もある。この場合、原子炉格納容器へ放水する場合と同様、風向き、火災の状況、損傷位置（高さ、方位）等に応じて放水砲を設置する。</p> <p>放水砲及び大容量ポンプ（放水砲用）による原子炉格納容器等への放水により、放射性物質を含む汚染水が発生し、海洋へ拡散することを想定して、放水砲及び大容量ポンプ（放水砲用）による放水前にシルトフェンスにより汚染水の海洋への拡散抑制を行う。</p> <p>放水砲及び大容量ポンプ（放水砲用）による原子炉格納容器等への放水により、放射性物質を含む汚染水が雨水排水の流路を通して海へ流れることを想定して、排水路に放射性物質吸着剤を設置し、放射性物質を吸着する。</p> <p>放射性物質吸着剤は、汚染水が集水する排水路等シルトフェンスの内側に設置する。</p>	<p>c. 放水砲の設置位置と原子炉建屋（原子炉格納容器又は使用済燃料プール）への放水可能性</p> <p>前述のとおり、放水砲は状況に応じて適切な位置に設置する。原子炉建屋から約60mの範囲内に放水砲を仰角60°以上（泡消火放水の場合は、原子炉建屋から約58mの範囲内に放水砲を仰角60°以上。）で設置すれば、原子炉建屋屋上まで放水することができることから、原子炉格納容器又は使用済燃料プールへの放水は十分に可能である。</p> <p>また、海水取水箇所については複数箇所を想定するとともに、ホースの敷設ルートについても、その時の被害状況や火災の状況を勘案して柔軟な対応ができるよう複数のアクセスルートを確保し、複数のアクセスルートを想定した手順及び設備構成とする。</p> <p>なお、大気への放射性物質の拡散抑制の場合は、放射性物質を含む汚染水が敷地内の排水経路等を通して海へ流れることを想定し、シルトフェンスを設置することにより海洋への放射性物質の拡散抑制を行う。</p>	<p>c. 放水砲の設置位置と原子炉格納容器又は燃料取扱棟への放水可能性</p> <p>[原子炉格納容器へ放水する場合]</p> <p>前述のとおり、放水砲は状況に応じて適切な場所に設置する。原子炉格納容器から約71mの範囲内（泡消火放水の場合には、T.P.32mにおいて原子炉格納容器から約48mの範囲内）に放水砲を設置すれば、原子炉格納容器頂部までの放水が可能である。（図7-1から図7-4参照）</p> <p>また、海水取水箇所については複数箇所を想定するとともに、可搬型ホースの敷設ルートについても、その時の被害状況や火災の状況を勘案して柔軟な対応ができるよう複数のアクセスルートを想定した手順及び設備構成とする。（図7-1参照）</p> <p>[燃料取扱棟へ放水する場合]</p> <p>使用済燃料ピットに大規模漏えいが発生した場合における対応は、「1.11 使用済燃料貯蔵槽の冷却等のための手順等」及び「1.12 工場等外への放射性物質の拡散を抑制するための手順等」に示すとおりであり、使用済燃料ピットにアクセスが困難な場合には、可搬型大型送水ポンプ車及び可搬型スプレイノズルによる建屋外部からのスプレイ操作を実施する。</p> <p>さらに、本操作を実施することが困難な状況（大規模な火災等により接近できずに、十分な射程が確保できない場合）においては、放水砲及び可搬型大容量海水送水ポンプ車により燃料取扱棟へ放水する手段もある。この場合、原子炉格納容器へ放水する場合と同様、風向き、火災の状況、損傷位置（高さ、方位）等に応じて放水砲を設置する。（図7-5から図7-8参照）</p> <p>放水により放射性物質を含む汚染水が発生する場合、防潮堤の内側で放射性物質吸着剤を設置することにより汚染水の海洋への拡散抑制を行う。さらに、放射性物質吸着剤通過後の汚染水が集水桝から海へ流れ出すため、シルトフェンスを設置することにより、海洋への拡散範囲を抑制する。</p>	<p>【女川】設計の相違及びそれに伴う記載表現の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・女川は、原子炉建屋に原子炉格納容器及び使用済燃料プールを内包する設計であるため、原子炉建屋へ放水する。 <p>【大飯】【女川】設計方針の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・建屋設計及び放水に係る設備の性能の相違により、放水可能な範囲が異なる。 <p>【大飯】【女川】記載表現の相違</p> <p>【大飯】【女川】記載表現の相違</p> <p>■記載表現の相違</p> <p>【大飯】【女川】記載方針（記載順序）の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・泊は、設置優先順位が上位の放射性物質吸着剤について、先に記載する。

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

2.1 可搬型設備等による対応

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>大飯発電所3/4号炉</p>  <p>水放射による放水砲性能曲線 泡放射による放水砲性能曲線</p> <p>◆格納容器仕様（高さ：E.L.+83m、直径：45.6m） ◆放水砲性能曲線より ・原子炉格納容器トップに放水するための射高は、原子炉格納容器トップ高さ（83m）－グランドレベル（E.L. 33.6m）＝49.4m ・原子炉格納容器トップに放水するための射程は約64m ・原子炉格納容器トップに放水するための放水砲の角度は、65°～75°</p> <p>放水砲型式：PM-8P ノズル圧力：0.8MPa 放射量：20,000L/min ※本放射曲線は理論値であり飛距離は無風時を設定していません。</p> 	<p>女川原子力発電所2号炉</p> <p>2. 放水砲の設置位置について (1) 海水放水（放射性物質拡散抑制）の場合</p>  <p>第1図 放水砲設置位置（海水放水の場合）</p>  <p>第2図 射程と射高の関係 （海水放水、原子炉建屋西側からの放水の場合）</p> <p>原子炉建屋の仕様 ・高さ（原子炉建屋屋上）地上高35.7m ・幅（原子炉建屋上部最大）：51m 放水砲の射高、射程及び仰角の関係（放水曲線）より、 ・原子炉建屋屋上に放水するための射高は、原子炉建屋の地上高35.7m ・原子炉建屋中心に放水するための射程は、約60m ・原子炉建屋屋上に放水するための放水砲の仰角は、60°以上 なお、本曲線は、実放射計測のデータから割り出した理論値であり、射程は無風時を想定している。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin-left: auto; margin-right: auto;"> 枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。 </div>	<p>泊発電所3号炉</p>  <p>図7-1 原子炉格納容器への放水時における放水砲設置位置及びホース敷設ルート（水放水時）</p>  <p>図7-2 原子炉格納容器への各放水位置における射高と射程の関係（水放水時）</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin-left: auto; margin-right: auto;"> 枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。 </div>	<p>相違理由</p> <p>【大飯】【女川】記載表現の相違 ・図表の整理方法は異なるが、記載内容に相違はない。</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）



2.1 可搬型設備等による対応

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<div data-bbox="667 165 1225 547" style="border: 2px solid black; height: 239px; width: 249px;"></div> <p data-bbox="824 547 1068 566">第3図 射程と射高の関係</p> <p data-bbox="739 572 1153 595">(海水放水、原子炉建屋北側からの放水の場合)</p> <p data-bbox="667 601 806 619">原子炉建屋の仕様</p> <ul data-bbox="667 624 972 663" style="list-style-type: none"> ・高さ(原子炉建屋屋上)地上高35.7m ・幅(原子炉建屋上部最大):38m <p data-bbox="667 668 1079 686">放水砲の射高、射程及び仰角の関係(放水曲線)より、</p> <ul data-bbox="667 691 1207 756" style="list-style-type: none"> ・原子炉建屋屋上に放水するための射高は、原子炉建屋の地上高35.7m ・原子炉建屋中心に放水するための射程は、約60m ・原子炉建屋屋上に放水するための放水砲の仰角は、60°以上 <p data-bbox="667 761 1211 798">なお、本曲線は、実放射計測のデータから割り出した理論値であり、射程は無風時を想定している。</p> <div data-bbox="667 802 1225 1168" style="border: 2px solid black; height: 229px; width: 249px;"></div> <p data-bbox="824 1177 1068 1197">第4図 射程と射高の関係</p> <p data-bbox="739 1203 1153 1225">(海水放水、原子炉建屋東側からの放水の場合)</p> <p data-bbox="667 1232 806 1249">原子炉建屋の仕様</p> <ul data-bbox="667 1254 972 1294" style="list-style-type: none"> ・高さ(原子炉建屋屋上)地上高35.7m ・幅(原子炉建屋上部最大):51m <p data-bbox="667 1299 1079 1316">放水砲の射高、射程及び仰角の関係(放水曲線)より、</p> <ul data-bbox="667 1321 1207 1386" style="list-style-type: none"> ・原子炉建屋屋上に放水するための射高は、原子炉建屋の地上高35.7m ・原子炉建屋中心に放水するための射程は、約60m ・原子炉建屋屋上に放水するための放水砲の仰角は、60°以上 <p data-bbox="667 1391 1211 1428">なお、本曲線は、実放射計測のデータから割り出した理論値であり、射程は無風時を想定している。</p> <div data-bbox="833 1441 1218 1465" style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p>枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。</p> </div>		<p data-bbox="1825 140 2078 159">【大飯】【女川】記載表現の相違</p> <ul data-bbox="1825 165 2141 215" style="list-style-type: none"> ・図表の整理方法は異なるが、記載内容に相違はない。

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

2.1 可搬型設備等による対応

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>(2) 泡消火放水（航空機燃料火災）の場合</p>  <p>第5図 放水砲設置位置（泡消火放水の場合）</p>  <p>第6図 射程と射高の関係 （泡消火放水，原子炉建屋西側からの放水の場合）</p> <p>原子炉建屋の仕様</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高さ（原子炉建屋屋上）地上高35.7m ・幅（原子炉建屋上部最大）：51m <p>放水砲の射高、射程及び仰角の関係（放水曲線）より、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・原子炉建屋屋上に放水するための射高は、原子炉建屋の地上高35.7m ・原子炉建屋中心に放水するための射程は、約58m ・原子炉建屋屋上に放水するための放水砲の仰角は、60°以上 <p>なお、本曲線は、実放射計測のデータから割り出した理論値であり、射程は無風時を想定している。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin: 10px auto;">枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。</div>	 <p>図7-3 原子炉格納容器への放水時における放水砲設置位置及びホース敷設ルート（泡放水時）</p>  <p>図7-4 原子炉格納容器への各放水位置における射高と射程の関係（泡放水時）</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin: 10px auto;">枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</div>	<p>相違理由</p> <p>【大飯】【女川】記載表現の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図表の整理方法は異なるが、記載内容に相違はない。

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

2.1 可搬型設備等による対応

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<div data-bbox="667 145 1225 507" style="border: 2px solid black; height: 200px; width: 100%;"></div> <p data-bbox="824 517 1068 539">第7図 射程と射高の関係</p> <p data-bbox="728 545 1164 568">(泡消火放水, 原子炉建屋北側からの放水の場合)</p> <p data-bbox="667 572 806 592">原子炉建屋の仕様</p> <ul data-bbox="667 595 974 638" style="list-style-type: none"> ・高さ(原子炉建屋屋上)地上高35.7m ・幅(原子炉建屋上部最大):38m <p data-bbox="667 639 1081 659">放水砲の射高、射程及び仰角の関係(放水曲線)より、</p> <ul data-bbox="667 662 1209 727" style="list-style-type: none"> ・原子炉建屋屋上に放水するための射高は、原子炉建屋の地上高35.7m ・原子炉建屋中心に放水するための射程は、約58m ・原子炉建屋屋上に放水するための放水砲の仰角は、60°以上 <p data-bbox="667 729 1211 769">なお、本曲線は、実放射計測のデータから割り出した理論値であり、射程は無風時を想定している。</p> <div data-bbox="667 799 1225 1161" style="border: 2px solid black; height: 200px; width: 100%;"></div> <p data-bbox="824 1171 1068 1193">第8図 射程と射高の関係</p> <p data-bbox="728 1200 1164 1222">(泡消火放水, 原子炉建屋東側からの放水の場合)</p> <p data-bbox="667 1227 806 1246">原子炉建屋の仕様</p> <ul data-bbox="667 1249 974 1292" style="list-style-type: none"> ・高さ(原子炉建屋屋上)地上高35.7m ・幅(原子炉建屋上部最大):51m <p data-bbox="667 1294 1081 1313">放水砲の射高、射程及び仰角の関係(放水曲線)より、</p> <ul data-bbox="667 1316 1209 1382" style="list-style-type: none"> ・原子炉建屋屋上に放水するための射高は、原子炉建屋の地上高35.7m ・原子炉建屋中心に放水するための射程は、約58m ・原子炉建屋屋上に放水するための放水砲の仰角は、60°以上 <p data-bbox="667 1383 1211 1423">なお、本曲線は、実放射計測のデータから割り出した理論値であり、射程は無風時を想定している。</p> <div data-bbox="831 1437 1218 1465" style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p data-bbox="837 1442 1167 1461">枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。</p> </div>		<p data-bbox="1825 140 2078 159">【大飯】【女川】記載表現の相違</p> <ul data-bbox="1825 169 2145 217" style="list-style-type: none"> ・図表の整理方法は異なるが、記載内容に相違はない。

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

2.1 可搬型設備等による対応

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
		 <p data-bbox="1243 577 1800 625">図7-5 使用済燃料ピットへの放水時における放水砲設置位置及びホース敷設ルート（水放水時）</p>  <p data-bbox="1243 1388 1800 1436">図7-6 使用済燃料ピットへの各放水位置における射高と射程の関係（水放水時）</p> <p data-bbox="1310 1442 1800 1468">枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>	<p data-bbox="1818 140 2134 162">【大飯】【女川】記載表現の相違</p> <ul data-bbox="1818 169 2134 217" style="list-style-type: none"> ・図表の整理方法は異なるが、記載内容に相違はない。

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

2.1 可搬型設備等による対応

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
		 <p data-bbox="1243 606 1803 654">図7-7 使用済燃料ピットへの放水時における放水砲設置位置及びホース敷設ルート（泡放水時）</p>  <p data-bbox="1243 1388 1803 1436">図7-8 使用済燃料ピットへの各放水位置における射高と射程の関係（泡放水時）</p> <p data-bbox="1310 1444 1803 1468">枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>	<p data-bbox="1825 135 2139 159">【大飯】【女川】記載表現の相違</p> <ul data-bbox="1825 167 2139 215" style="list-style-type: none"> ・図表の整理方法は異なるが、記載内容に相違はない。

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

2.1 可搬型設備等による対応

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: right;">添付 6-1</p> <p>放水砲の放射方法について 放水砲の放射方法としては、直線状放射から噴霧状放射への切替えが可能であり、噴霧状放射は直線状放射に比べ射程距離が短くなるものの、より細かい水滴径が期待できる。</p> <p>放射性ブルーム放出時には、放水砲により放水した水により、放射性ブルームに含まれる微粒子状の放射性物質が除去されることが期待できるが、微粒子状の放射性物質の粒子径は、0.1～0.5μmと考えられ、この粒子径の微粒子の水滴による除去機構は、水滴と微粒子の慣性衝突作用（水滴径0.3mmφ前後で最も衝突作用が大きくなる）によるものであり、噴霧状放射を活用することで、その衝突作用に期待できる。また、水滴と微粒子の相対速度を大きくし、水の流量を大きくすることで、除去効果の増大が期待できる。</p> <p>したがって、ブルーム放出時の放水砲の放射方法としては、以下のとおりとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> 原子炉格納容器の破損箇所が確認できる場合 <p>原子炉格納容器損壊部に向けて放水し、噴射ノズルを調整することにより噴霧状で損壊箇所を覆うことが可能であれば、噴霧状放射を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 原子炉格納容器の損壊部が不明な場合 <p>原子炉格納容器頂部に向けて放水し、原子炉格納容器全体を覆う。</p> <p>なお、原子炉格納容器頂部のように、直線状放射でしか届かない場合においても、到達点では霧状になっていることから（第1図参照）、放射性物質の除去に期待できる。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>第1図 直状放射による放水※ 第2図 直線状放射による放水状況</p> <p>※ 参考文献：「第14回 消防防災研究講演会資料」から抜粋 主催 消防庁消防大学校 消防研究センターより</p>	<p>3. 放水砲の放射方法について 放水砲の放射方法としては、直状放射から噴霧放射への切替えが可能であり、噴霧放射は直状放射に比べて射程距離が短くなるもののより細かい水滴径が期待できるため、高い放射性物質の除去効果が期待できる。</p> <p>放射性雲放出時には、放水砲により放水した水により、放射性雲に含まれる微粒子状の放射性物質が除去されることが期待できる。</p> <p>したがって、放射性雲放出時の放水砲の放射方法としては、以下のとおりとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> 原子炉建屋（原子炉格納容器又は使用済燃料プール）の破損箇所が確認できる場合 <p>原子炉建屋の破損箇所に向けて放水し、噴射ノズルを調整することにより噴霧放射で損壊箇所を最大限覆うことができるよう放射する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 原子炉建屋（原子炉格納容器又は使用済燃料プール）の破損箇所が確認できない場合 <p>原子炉建屋の中央に向けて放水する。</p> <p>なお、直状放射でしか届かない場合においても、到達点では霧状になっていることから、放射性物質の除去に期待できる（第9図）。</p> <div style="display: flex; justify-content: center;">  </div> <p>第9図 直状放射による放水</p>	<p>2. 放水砲の放射方法について 放水砲の放射方法としては、直状放射から噴霧放射への切替えが可能であり、噴霧放射は直状放射に比べて射程距離が短くなるものの、より細かい水滴径が期待できるため、高い放射性物質の除去効果が期待できる。</p> <p>放射性ブルーム放出時には、放水砲により放水した水により、放射性ブルームに含まれる微粒子状の放射性物質が除去されることが期待できるが、微粒子状の放射性物質の粒子径は、0.1～0.5μmと考えられ、この粒子径の微粒子の水滴による除去機構は、微粒子と水滴の慣性衝突作用（水滴径0.3mmφ前後で最も衝突作用が大きくなる）によるものであり、噴霧放射を活用することで、その衝突作用に期待できる。また、水滴と微粒子の相対速度を大きくし、水の流量を大きくすることで、除去効果の増大が期待できる。</p> <p>したがって、ブルーム放出時の放水砲の放射方法としては、以下のとおりとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> 原子炉格納容器の破損箇所が確認できる場合 <p>原子炉格納容器破損部に向けて放水し、噴射ノズルを調整することにより噴霧放射で破損箇所を覆うことが可能であれば、噴霧放射を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 原子炉格納容器の破損箇所が不明な場合 <p>原子炉格納容器頂部に向けて放水し、原子炉格納容器全体を覆う。</p> <p>なお、直状放射でしか届かない場合においても、到達点では霧状になっていることから（図7-9及び図7-10参照）、放射性物質の除去に期待できる。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>図7-9 直状放射による放水※ 図7-10 直状放射による放水状況</p> <p>※ 参考文献：「第14回 消防防災研究講演会資料」から抜粋 主催 消防庁消防大学校 消防研究センターより</p>	<p>相違理由</p> <ul style="list-style-type: none"> ■記載表現の相違 【女川】記載内容の相違 <ul style="list-style-type: none"> ・泊は放水による放射性物質の除去のメカニズムについて記載している。 【女川】記載内容の相違 <ul style="list-style-type: none"> ・泊は、直状放射による放水について、文献を参考にしている。

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

2.1 可搬型設備等による対応

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">比較対象なし</div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">比較対象なし</div>	<p style="text-align: right;">添付資料 2.1.8</p> <p>大規模損壊発生時において中央制御室におけるプラント監視及び制御機能の一部に期待できる場合の対応について</p> <p>泊発電所において大規模損壊が発生した場合には、原子力防災管理者（夜間及び休日（平日の勤務時間帯以外）は副原子力防災管理者）の指揮の下、「泊発電所 重大事故等および大規模損壊対応要領」（以下「大規模損壊等対応要領」という。）に基づき対応することを基本とするが、中央制御室におけるプラント監視及び制御機能（又は機能の一部）が健全な場合においては、設計基準事故対処設備等の常設機器による対応手段が事故対応上に有効となる可能性があることから、当該機器等を活用した「泊発電所 運転要領」（以下「運転要領」という。）に基づく運転員による中央制御室からの対応操作にも期待する。</p> <p>大規模損壊が発生しているような状況下では、使用できる設計基準事故対処設備等が限定的となる可能性が高いことから、重大事故等対応のように運転員が主体となって実施する運転要領に基づいた対応操作は困難であると予想される。このため、大規模損壊発生時において中央制御室におけるプラント監視及び制御機能（又は機能の一部）が健全であり設計基準事故対処設備等の常設機器の活用が見込まれる場合であっても、発電所対策本部長の指揮により発電所対策本部が主体的となって活動を行うとともに、運転員は、発電所対策本部長の指示により運転要領を部分的に活用した中央制御室からの対応操作を試みることとなる。</p> <p>以下に、大規模損壊発生時において、中央制御室におけるプラント監視及び制御機能（又は機能の一部）が健全であると想定される2ケースについての対応の考え方を示す。</p> <p>1. 重大事故等発生時に期待する安全機能が喪失することにより大規模損壊の対応へ移行する場合の対応 <u>（運転要領 ⇒ 運転要領＋大規模損壊等対応要領）</u> 重大事故等発生時において、運転要領の事象ベース又は安全機能ベースに基づく対応操作を実施中、期待する安全機能が喪失する等により運転要領に基づいた事故対応が困難であると発電所課長（当直）が判断した場合には、発電所対策本部長は原子炉主任技術者、技術支援等からの助言を踏まえて総合的に判断し、大規模損壊等対応要領に基づく対応への移行を決定する。 （この時点で運転要領に基づく運転員主体の事故対応から、大規模損壊等対応要領に基づく発電所対策本部主体の事故対応へとシフトする。）</p>	<p>【大飯】【女川】資料構成の相違</p> <p>・泊は、過去のヒアリングにおける指摘事項への回答資料を添付する。</p>

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

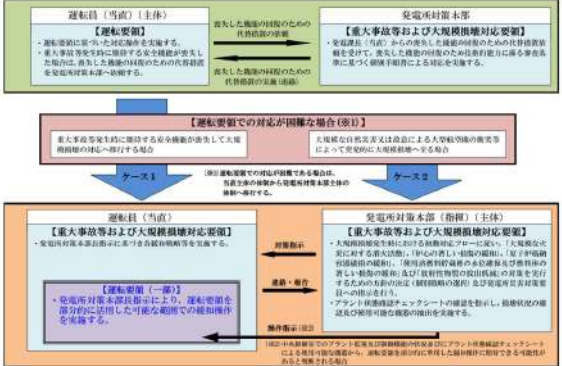
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

2.1 可搬型設備等による対応

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
		<p>この状況においても、本ケースのように直前までプラント状況が把握できており、中央制御室でのプラント監視及び制御機能（又は機能の一部）に期待できる状況では、使用可能な設計基準事故対処設備等の常設設備による事故対応が準備時間も短いことから事象緩和に効果的となる可能性がある。</p> <p>このため、発電課長（当直）は、運転要領に基づいた事故対応が困難であると判断した場合には、使える可能性のある設計基準事故対処設備等の状況、安全機能パラメータや緩和操作の成否等について、発電所対策本部と情報共有するとともに、発電所対策本部長の指示により、使用可能な設計基準事故対処設備等による運転要領を部分的に準用した対応操作を可能な範囲で実施する。</p> <p>2. 大規模な自然災害又は故意による大型航空機の衝突その他のテロリズムによってプラントに大規模な損壊が発生した場合の対応 （大規模損壊等対応要領 ⇒ 大規模損壊等対応要領＋運転要領）</p> <p>大規模な自然災害又は故意による大型航空機の衝突等の突発的な事象によってプラントに大規模な損壊が発生し、中央制御室におけるプラント監視及び制御機能が一部に制限され、運転員（当直）が主体的にならざるに於ては、運転要領に基づく対応が困難な場合、原子力防災管理者（夜間及び休日（平日の勤務時間帯以外）は副原子力防災管理者）は発電課長（当直）等の報告によりプラント状況等を速やかに確認するとともに、大規模損壊等対応要領の適用を判断し、当該要領に基づく緩和措置を発電所災害対策要員に指示する。</p> <p>発電所対策本部が主体となって緩和措置等を実施する場合であっても、中央制御室においてプラント監視及び制御機能（又は機能の一部）に期待できる場合には、使用可能な設計基準事故対処設備等の常設設備を優先的に活用することによって事象の緩和措置を効果的に行える可能性がある。</p> <p>このため、発電所対策本部の指示により、大規模損壊等対応要領に基づき、使える可能性のある設計基準事故対処設備等の状況、安全機能パラメータ等を速やかに確認し使用可否を判断するとともに、運転員は、使用可能な設計基準事故対処設備等による運転要領を部分的に準用した対応操作を可能な範囲で実施する。</p>	

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

2.1 可搬型設備等による対応

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
		<p>以上の「重大事故等発生時に期待する複数の安全機能が喪失して大規模損壊の対応へ移行する場合」及び「大規模な自然災害又は故意による大型航空機の衝突等によって突発的に大規模損壊へ至る場合」において、運転要領を部分的に準用した中央制御室での運転操作を行う場合の運転員及び発電所対策本部の対応の流れについて、「大規模損壊発生時において中央制御室におけるプラント監視及び制御機能（又は機能の一部）に期待できる場合の対応例」として図8-1に示す。</p> <p>なお、大規模損壊等対応要領においては、設計基準事故対処設備等の状況を確認するためのチェックシートを整備するとともに、当該要領に基づく個別戦略フローにおいて、設計基準事故対処設備を優先的に活用することを明示し、中央制御室におけるプラント監視及び制御機能に期待できる場合における運転要領を部分的に活用した対応操作を考慮したものである。</p>  <p>図8-1 大規模損壊発生時において中央制御室におけるプラント監視及び制御機能又は機能の一部に期待できる場合の対応例</p>	

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

2.1 可搬型設備等による対応

対応手順	手順書	技術的能力に 係る要基基準 の当該項目	可搬型設備	水源	備考	所要時間	必要 要員 人数	外工事要に対する適用性			手順成立のため 必要な事項
								搬空機 新設	地盤 改良	電巻	
【置し はめる 機能の 確保】	放射線物質拡散抑制のための 避難経路	【大規模損壊所達】 ・CVスプレッド ・CV放水	—	海水	—	30分	8名	×	×	○	・アクセスルート の確保 ・燃料補給
			・大容量ポンプ（放水専用） （放水専用） （組数：1.20台、容量：1,320㎓/分） ・放水砲（3.4号弁未用） 古敷自右	海水	—	3.5時間	12名	△	○	○	・アクセスルート の確保 ・燃料補給

技術的能力に 係る要基基準 の当該項目	可搬型設備	水源	備考	所要時間	必要 要員 人数	搬空機 新設	地盤 改良	電巻	手順成立のため 必要な事項
【大規模損壊所達】 ・CVスプレッド ・CV放水	【大規模損壊所達】 ・CVスプレッド ・CV放水	海水	—	30分	8名	×	×	○	・アクセスルート の確保 ・燃料補給

追而【3号炉原子炉建屋西側を経由したホース敷設ルート変更の反映】 （上表において所要時間（想定）又は必要人数（想定）の変更が必要と なった場合は反映する。）	【大規模損壊所達】 ・CVスプレッド ・CV放水	【大規模損壊所達】 ・CVスプレッド ・CV放水	【大規模損壊所達】 ・CVスプレッド ・CV放水	【大規模損壊所達】 ・CVスプレッド ・CV放水	【大規模損壊所達】 ・CVスプレッド ・CV放水	【大規模損壊所達】 ・CVスプレッド ・CV放水	【大規模損壊所達】 ・CVスプレッド ・CV放水	【大規模損壊所達】 ・CVスプレッド ・CV放水	【大規模損壊所達】 ・CVスプレッド ・CV放水	【大規模損壊所達】 ・CVスプレッド ・CV放水	【大規模損壊所達】 ・CVスプレッド ・CV放水	外工事要に対する適用性			手順成立のため 必要な事項
												搬空機 新設	地盤 改良	電巻	
追而【3号炉原子炉建屋西側を経由したホース敷設ルート変更の反映】 （上表において所要時間（想定）又は必要人数（想定）の変更が必要と なった場合は反映する。）	【大規模損壊所達】 ・CVスプレッド ・CV放水	【大規模損壊所達】 ・CVスプレッド ・CV放水	【大規模損壊所達】 ・CVスプレッド ・CV放水	【大規模損壊所達】 ・CVスプレッド ・CV放水	【大規模損壊所達】 ・CVスプレッド ・CV放水	【大規模損壊所達】 ・CVスプレッド ・CV放水	【大規模損壊所達】 ・CVスプレッド ・CV放水	【大規模損壊所達】 ・CVスプレッド ・CV放水	【大規模損壊所達】 ・CVスプレッド ・CV放水	【大規模損壊所達】 ・CVスプレッド ・CV放水	【大規模損壊所達】 ・CVスプレッド ・CV放水	△	○	○	・アクセスルート の確保 ・燃料補給

相違理由

- 自然災害による影響評価結果の相違
- 泊は、女川と同様に、大規模な自然災害による大規模損壊として、竜巻の影響は地震及び津波に含まれると評価している。

2.1 可搬型設備等による対応

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉		女川原子力発電所2号炉		泊発電所3号炉	
炉心字種	炉心仕様	手動巻	経路の能力 の劣化率(%)	可搬型設備	水盤
・OVスプレッド	【炉心の重し、鋼筋コンクリート 安定性を向上させる構造 特徴】炉心の重しをボルト で吊り上げる構造特徴 スプレッドの寸法	【炉心の重し、鋼筋コンクリート 安定性を向上させる構造 特徴】炉心の重しをボルト で吊り上げる構造特徴 スプレッドの寸法	1.6,1.6 1.7,1.8	-	ボルト 吊り上げ 金具
・OVスプレッド	【炉心の重し、鋼筋コンクリート 安定性を向上させる構造 特徴】炉心の重しをボルト で吊り上げる構造特徴 スプレッドの寸法	【炉心の重し、鋼筋コンクリート 安定性を向上させる構造 特徴】炉心の重しをボルト で吊り上げる構造特徴 スプレッドの寸法	1.6,1.7 1.8	-	ボルト 吊り上げ 金具
・OVスプレッド	【炉心の重し、鋼筋コンクリート 安定性を向上させる構造 特徴】炉心の重しをボルト で吊り上げる構造特徴 スプレッドの寸法	【炉心の重し、鋼筋コンクリート 安定性を向上させる構造 特徴】炉心の重しをボルト で吊り上げる構造特徴 スプレッドの寸法	1.6,1.6,1.7 1.8,1.12	-	ボルト 吊り上げ 金具

炉心字種	炉心仕様	手動巻	経路の能力 の劣化率(%)	可搬型設備	水盤
・OVスプレッド	【炉心の重し、鋼筋コンクリート 安定性を向上させる構造 特徴】炉心の重しをボルト で吊り上げる構造特徴 スプレッドの寸法	【炉心の重し、鋼筋コンクリート 安定性を向上させる構造 特徴】炉心の重しをボルト で吊り上げる構造特徴 スプレッドの寸法	1.6,1.6 1.7,1.8	・可搬型設備(ボルト吊り上げ 金具) ・鋼筋コンクリート安定性を 向上させる構造特徴(ボルト で吊り上げる構造)	ボルト 吊り上げ 金具
・OVスプレッド	【炉心の重し、鋼筋コンクリート 安定性を向上させる構造 特徴】炉心の重しをボルト で吊り上げる構造特徴 スプレッドの寸法	【炉心の重し、鋼筋コンクリート 安定性を向上させる構造 特徴】炉心の重しをボルト で吊り上げる構造特徴 スプレッドの寸法	1.6,1.7 1.8	・可搬型設備(ボルト吊り上げ 金具) ・鋼筋コンクリート安定性を 向上させる構造特徴(ボルト で吊り上げる構造)	ボルト 吊り上げ 金具
・OVスプレッド	【炉心の重し、鋼筋コンクリート 安定性を向上させる構造 特徴】炉心の重しをボルト で吊り上げる構造特徴 スプレッドの寸法	【炉心の重し、鋼筋コンクリート 安定性を向上させる構造 特徴】炉心の重しをボルト で吊り上げる構造特徴 スプレッドの寸法	1.6,1.6,1.7 1.8,1.12	・可搬型設備(ボルト吊り上げ 金具) ・鋼筋コンクリート安定性を 向上させる構造特徴(ボルト で吊り上げる構造)	ボルト 吊り上げ 金具

大飯発電所3/4号炉		女川原子力発電所2号炉		泊発電所3号炉	
炉心字種	炉心仕様	手動巻	経路の能力 の劣化率(%)	可搬型設備	水盤
・OVスプレッド	【炉心の重し、鋼筋コンクリート 安定性を向上させる構造 特徴】炉心の重しをボルト で吊り上げる構造特徴 スプレッドの寸法	【炉心の重し、鋼筋コンクリート 安定性を向上させる構造 特徴】炉心の重しをボルト で吊り上げる構造特徴 スプレッドの寸法	1.6,1.6 1.7,1.8	-	ボルト 吊り上げ 金具
・OVスプレッド	【炉心の重し、鋼筋コンクリート 安定性を向上させる構造 特徴】炉心の重しをボルト で吊り上げる構造特徴 スプレッドの寸法	【炉心の重し、鋼筋コンクリート 安定性を向上させる構造 特徴】炉心の重しをボルト で吊り上げる構造特徴 スプレッドの寸法	1.6,1.7 1.8	-	ボルト 吊り上げ 金具
・OVスプレッド	【炉心の重し、鋼筋コンクリート 安定性を向上させる構造 特徴】炉心の重しをボルト で吊り上げる構造特徴 スプレッドの寸法	【炉心の重し、鋼筋コンクリート 安定性を向上させる構造 特徴】炉心の重しをボルト で吊り上げる構造特徴 スプレッドの寸法	1.6,1.6,1.7 1.8,1.12	-	ボルト 吊り上げ 金具

泊発電所3号炉				相違理由	
炉心字種	炉心仕様	手動巻	経路の能力 の劣化率(%)	可搬型設備	水盤
・OVスプレッド	【炉心の重し、鋼筋コンクリート 安定性を向上させる構造 特徴】炉心の重しをボルト で吊り上げる構造特徴 スプレッドの寸法	【炉心の重し、鋼筋コンクリート 安定性を向上させる構造 特徴】炉心の重しをボルト で吊り上げる構造特徴 スプレッドの寸法	1.6,1.6 1.7,1.8	-	ボルト 吊り上げ 金具
・OVスプレッド	【炉心の重し、鋼筋コンクリート 安定性を向上させる構造 特徴】炉心の重しをボルト で吊り上げる構造特徴 スプレッドの寸法	【炉心の重し、鋼筋コンクリート 安定性を向上させる構造 特徴】炉心の重しをボルト で吊り上げる構造特徴 スプレッドの寸法	1.6,1.7 1.8	-	ボルト 吊り上げ 金具
・OVスプレッド	【炉心の重し、鋼筋コンクリート 安定性を向上させる構造 特徴】炉心の重しをボルト で吊り上げる構造特徴 スプレッドの寸法	【炉心の重し、鋼筋コンクリート 安定性を向上させる構造 特徴】炉心の重しをボルト で吊り上げる構造特徴 スプレッドの寸法	1.6,1.6,1.7 1.8,1.12	-	ボルト 吊り上げ 金具

■自然災害による影響評価結果の相違
 ・泊は、女川と同様に、大規模な自然災害による大規模損壊として、竜巻の影響は地震及び津波に包含されると評価している。

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

2.1 可搬型設備等による対応

対応手順	手順書	技術的能力に係る審査基準の当該項目	可搬型設備	水源	備考	所要時間	必要作業員	外部重要に与える運用性				手順書に記した必要事項
								航空機衝突	地震	津波	電停	
格納容器過圧破損防止のための対応 【問し込める機能の確保】	【格納容器過圧破損防止のための対応】 ・可搬式代替格納容器スプレッドによる格納容器過圧破損防止 ・可搬式代替格納容器スプレッドによる格納容器過圧破損防止 ・可搬式代替格納容器スプレッドによる格納容器過圧破損防止	1.4.1.6 1.4.1.7 1.4.1.8	・可搬式代替格納容器スプレッド （容量：100m ³ /h） ・可搬式代替格納容器スプレッド （容量：600m ³ /h） ・可搬式代替格納容器スプレッド （容量：300m ³ /h） ・可搬式代替格納容器スプレッド （容量：120m ³ /h）	海水	※3,4号炉共用の手配1台有り	4時間	12名	○	○	○	○	・アクセスルート の確保 ・燃料補給
			1.4.1.6.1.7 1.4.1.12	—	海水	—	30分	8名	○	×	×	○
格納容器過圧破損防止のための対応 【問し込める機能の確保】	【格納容器過圧破損防止のための対応】 ・可搬式代替格納容器スプレッドによる格納容器過圧破損防止 ・可搬式代替格納容器スプレッドによる格納容器過圧破損防止 ・可搬式代替格納容器スプレッドによる格納容器過圧破損防止	1.5.1.6 1.7	・本容量ポンプ（3,4号炉共用） 台数3台 （総容量：1,800m ³ /h）	海水	—	8時間	20名	○	○	○	○	・アクセスルート の確保 ・燃料補給

対応手順	手順書	技術的能力に係る審査基準の当該項目	可搬型設備	水源	備考	所要時間	必要作業員	外部重要に与える運用性				手順書に記した必要事項
								航空機衝突	地震	津波	電停	
格納容器過圧破損防止のための対応 【問し込める機能の確保】	【格納容器過圧破損防止のための対応】 ・可搬式代替格納容器スプレッドによる格納容器過圧破損防止 ・可搬式代替格納容器スプレッドによる格納容器過圧破損防止 ・可搬式代替格納容器スプレッドによる格納容器過圧破損防止	1.4.1.6 1.4.1.7 1.4.1.8	・可搬式代替格納容器スプレッド （容量：100m ³ /h） ・可搬式代替格納容器スプレッド （容量：600m ³ /h） ・可搬式代替格納容器スプレッド （容量：300m ³ /h） ・可搬式代替格納容器スプレッド （容量：120m ³ /h）	海水	—	4時間	12名	○	○	○	○	・アクセスルート の確保 ・燃料補給
			1.4.1.6.1.7 1.4.1.12	—	海水	—	30分	8名	○	×	×	○
格納容器過圧破損防止のための対応 【問し込める機能の確保】	【格納容器過圧破損防止のための対応】 ・可搬式代替格納容器スプレッドによる格納容器過圧破損防止 ・可搬式代替格納容器スプレッドによる格納容器過圧破損防止 ・可搬式代替格納容器スプレッドによる格納容器過圧破損防止	1.5.1.6 1.7	・本容量ポンプ（3,4号炉共用） 台数3台 （総容量：1,800m ³ /h）	海水	—	8時間	20名	○	○	○	○	・アクセスルート の確保 ・燃料補給

対応手順	手順書	技術的能力に係る審査基準の当該項目	可搬型設備	水源	備考	所要時間	必要作業員	外部重要に与える運用性				手順書に記した必要事項
								航空機衝突	地震	津波	電停	
格納容器過圧破損防止のための対応 【問し込める機能の確保】	【格納容器過圧破損防止のための対応】 ・可搬式代替格納容器スプレッドによる格納容器過圧破損防止 ・可搬式代替格納容器スプレッドによる格納容器過圧破損防止 ・可搬式代替格納容器スプレッドによる格納容器過圧破損防止	1.4.1.6 1.4.1.7 1.4.1.8	・可搬式代替格納容器スプレッド （容量：100m ³ /h） ・可搬式代替格納容器スプレッド （容量：600m ³ /h） ・可搬式代替格納容器スプレッド （容量：300m ³ /h） ・可搬式代替格納容器スプレッド （容量：120m ³ /h）	海水	—	4時間	12名	○	○	○	○	・アクセスルート の確保 ・燃料補給
			1.4.1.6.1.7 1.4.1.12	—	海水	—	30分	8名	○	×	×	○
格納容器過圧破損防止のための対応 【問し込める機能の確保】	【格納容器過圧破損防止のための対応】 ・可搬式代替格納容器スプレッドによる格納容器過圧破損防止 ・可搬式代替格納容器スプレッドによる格納容器過圧破損防止 ・可搬式代替格納容器スプレッドによる格納容器過圧破損防止	1.5.1.6 1.7	・本容量ポンプ（3,4号炉共用） 台数3台 （総容量：1,800m ³ /h）	海水	—	8時間	20名	○	○	○	○	・アクセスルート の確保 ・燃料補給

追而【3号炉原子炉建屋西側を経由したホース敷設ルート変更の反映】
 （上表において所要時間（想定）又は必要人数（想定）の変更が必要となった場合は反映する。）

相違理由	
■自然災害による影響評価結果の相違	・泊は、女川と同様に、大規模な自然災害による大規模損壊として、竜巻の影響は地震及び津波に包含されると評価している。

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

2.1 可搬型設備等による対応

大飯発電所3/4号炉		女川原子力発電所2号炉		泊発電所3号炉	
機器設備	仕様等	仕様	備考	設置機	相違理由
	<p>◇機器設備の仕様書（図表類）、設置要件仕様書書（図表類）</p> <p>◇図表：伊原川川中流域水質改善計画（E.F.00a, 01a, 02a） ◇図表：伊原川川中流域水質改善計画（E.F.00b, 01b, 02b） ◇図表：伊原川川中流域水質改善計画（E.F.00c, 01c, 02c） ◇図表：伊原川川中流域水質改善計画（E.F.00d, 01d, 02d）</p>	<p>◇図表：伊原川川中流域水質改善計画（E.F.00a, 01a, 02a） ◇図表：伊原川川中流域水質改善計画（E.F.00b, 01b, 02b） ◇図表：伊原川川中流域水質改善計画（E.F.00c, 01c, 02c） ◇図表：伊原川川中流域水質改善計画（E.F.00d, 01d, 02d）</p>	<p>◇図表：伊原川川中流域水質改善計画（E.F.00a, 01a, 02a） ◇図表：伊原川川中流域水質改善計画（E.F.00b, 01b, 02b） ◇図表：伊原川川中流域水質改善計画（E.F.00c, 01c, 02c） ◇図表：伊原川川中流域水質改善計画（E.F.00d, 01d, 02d）</p>		
ポンプ 制御盤	<p>ポンプの運転制御（モーター）</p> <p>◇図表：伊原川川中流域水質改善計画（E.F.00a, 01a, 02a） ◇図表：伊原川川中流域水質改善計画（E.F.00b, 01b, 02b） ◇図表：伊原川川中流域水質改善計画（E.F.00c, 01c, 02c） ◇図表：伊原川川中流域水質改善計画（E.F.00d, 01d, 02d）</p>	<p>ポンプの運転制御（モーター）</p> <p>◇図表：伊原川川中流域水質改善計画（E.F.00a, 01a, 02a） ◇図表：伊原川川中流域水質改善計画（E.F.00b, 01b, 02b） ◇図表：伊原川川中流域水質改善計画（E.F.00c, 01c, 02c） ◇図表：伊原川川中流域水質改善計画（E.F.00d, 01d, 02d）</p>	<p>ポンプの運転制御（モーター）</p> <p>◇図表：伊原川川中流域水質改善計画（E.F.00a, 01a, 02a） ◇図表：伊原川川中流域水質改善計画（E.F.00b, 01b, 02b） ◇図表：伊原川川中流域水質改善計画（E.F.00c, 01c, 02c） ◇図表：伊原川川中流域水質改善計画（E.F.00d, 01d, 02d）</p>		
ポンプ 制御盤	<p>ポンプの運転制御（モーター）</p> <p>◇図表：伊原川川中流域水質改善計画（E.F.00a, 01a, 02a） ◇図表：伊原川川中流域水質改善計画（E.F.00b, 01b, 02b） ◇図表：伊原川川中流域水質改善計画（E.F.00c, 01c, 02c） ◇図表：伊原川川中流域水質改善計画（E.F.00d, 01d, 02d）</p>	<p>ポンプの運転制御（モーター）</p> <p>◇図表：伊原川川中流域水質改善計画（E.F.00a, 01a, 02a） ◇図表：伊原川川中流域水質改善計画（E.F.00b, 01b, 02b） ◇図表：伊原川川中流域水質改善計画（E.F.00c, 01c, 02c） ◇図表：伊原川川中流域水質改善計画（E.F.00d, 01d, 02d）</p>	<p>ポンプの運転制御（モーター）</p> <p>◇図表：伊原川川中流域水質改善計画（E.F.00a, 01a, 02a） ◇図表：伊原川川中流域水質改善計画（E.F.00b, 01b, 02b） ◇図表：伊原川川中流域水質改善計画（E.F.00c, 01c, 02c） ◇図表：伊原川川中流域水質改善計画（E.F.00d, 01d, 02d）</p>		

■自然災害による影響評価結果の相違

- 泊は、女川と同様に、大規模な自然災害による大規模損壊として、竜巻の影響は地震及び津波に包含されると評価している。

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

2.1 可搬型設備等による対応

Table with 4 main columns: 対応手順, 手順書, 可搬型設備, and 技術的能力に係る緊急時の当番項目. It details emergency response procedures for power outages at three reactors, comparing equipment and personnel requirements.

追記【3号炉原子炉建屋西側を経由したホース敷設ルート変更の反映】
(上表において所要時間(想定)又は必要人数(想定)の変更が必要となった場合は反映する。)

相違理由
■自然災害による影響評価結果の相違
・泊は、女川と同様に、大規模な自然災害による大規模損壊として、竜巻の影響は地震及び津波に包含されると評価している。

注1：「備前機、前機機」(想定)及び「必要人数(想定)」は、(暫定的)訓練等中継機による作業となる可能性がある。

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

2.1 可搬型設備等による対応

大飯発電所3/4号炉		女川原子力発電所2号炉		泊発電所3号炉		相違理由	
対応内容	対応内容	対応内容	対応内容	対応内容	対応内容	対応内容	対応内容
<p>【対応内容】</p> <p>・中心部水送</p> <p>・中心部水送</p> <p>・中心部水送</p> <p>・中心部水送</p> <p>・中心部水送</p>	<p>【対応内容】</p> <p>・中心部水送</p> <p>・中心部水送</p> <p>・中心部水送</p> <p>・中心部水送</p> <p>・中心部水送</p>	<p>【対応内容】</p> <p>・中心部水送</p> <p>・中心部水送</p> <p>・中心部水送</p> <p>・中心部水送</p> <p>・中心部水送</p>	<p>【対応内容】</p> <p>・中心部水送</p> <p>・中心部水送</p> <p>・中心部水送</p> <p>・中心部水送</p> <p>・中心部水送</p>	<p>【対応内容】</p> <p>・中心部水送</p> <p>・中心部水送</p> <p>・中心部水送</p> <p>・中心部水送</p> <p>・中心部水送</p>	<p>【対応内容】</p> <p>・中心部水送</p> <p>・中心部水送</p> <p>・中心部水送</p> <p>・中心部水送</p> <p>・中心部水送</p>	<p>【対応内容】</p> <p>・中心部水送</p> <p>・中心部水送</p> <p>・中心部水送</p> <p>・中心部水送</p> <p>・中心部水送</p>	<p>【対応内容】</p> <p>・中心部水送</p> <p>・中心部水送</p> <p>・中心部水送</p> <p>・中心部水送</p> <p>・中心部水送</p>
<p>【対応内容】</p> <p>・中心部水送</p> <p>・中心部水送</p> <p>・中心部水送</p> <p>・中心部水送</p> <p>・中心部水送</p>	<p>【対応内容】</p> <p>・中心部水送</p> <p>・中心部水送</p> <p>・中心部水送</p> <p>・中心部水送</p> <p>・中心部水送</p>	<p>【対応内容】</p> <p>・中心部水送</p> <p>・中心部水送</p> <p>・中心部水送</p> <p>・中心部水送</p> <p>・中心部水送</p>	<p>【対応内容】</p> <p>・中心部水送</p> <p>・中心部水送</p> <p>・中心部水送</p> <p>・中心部水送</p> <p>・中心部水送</p>	<p>【対応内容】</p> <p>・中心部水送</p> <p>・中心部水送</p> <p>・中心部水送</p> <p>・中心部水送</p> <p>・中心部水送</p>	<p>【対応内容】</p> <p>・中心部水送</p> <p>・中心部水送</p> <p>・中心部水送</p> <p>・中心部水送</p> <p>・中心部水送</p>	<p>【対応内容】</p> <p>・中心部水送</p> <p>・中心部水送</p> <p>・中心部水送</p> <p>・中心部水送</p> <p>・中心部水送</p>	<p>【対応内容】</p> <p>・中心部水送</p> <p>・中心部水送</p> <p>・中心部水送</p> <p>・中心部水送</p> <p>・中心部水送</p>

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

2.1 可搬型設備等による対応

大飯発電所3/4号炉		女川原子力発電所2号炉		泊発電所3号炉		相違理由
対応仕様	仕様	仕様	仕様	仕様	仕様	
<p>【対応仕様①】</p> <p>【対応仕様②】</p> <p>【対応仕様③】</p> <p>【対応仕様④】</p> <p>【対応仕様⑤】</p> <p>【対応仕様⑥】</p>	<p>【対応仕様①】</p> <p>【対応仕様②】</p> <p>【対応仕様③】</p> <p>【対応仕様④】</p> <p>【対応仕様⑤】</p> <p>【対応仕様⑥】</p>	<p>【対応仕様①】</p> <p>【対応仕様②】</p> <p>【対応仕様③】</p> <p>【対応仕様④】</p> <p>【対応仕様⑤】</p> <p>【対応仕様⑥】</p>	<p>【対応仕様①】</p> <p>【対応仕様②】</p> <p>【対応仕様③】</p> <p>【対応仕様④】</p> <p>【対応仕様⑤】</p> <p>【対応仕様⑥】</p>	<p>【対応仕様①】</p> <p>【対応仕様②】</p> <p>【対応仕様③】</p> <p>【対応仕様④】</p> <p>【対応仕様⑤】</p> <p>【対応仕様⑥】</p>	<p>【対応仕様①】</p> <p>【対応仕様②】</p> <p>【対応仕様③】</p> <p>【対応仕様④】</p> <p>【対応仕様⑤】</p> <p>【対応仕様⑥】</p>	<p>【対応仕様①】</p> <p>【対応仕様②】</p> <p>【対応仕様③】</p> <p>【対応仕様④】</p> <p>【対応仕様⑤】</p> <p>【対応仕様⑥】</p>
<p>【対応仕様①】</p> <p>【対応仕様②】</p> <p>【対応仕様③】</p> <p>【対応仕様④】</p> <p>【対応仕様⑤】</p> <p>【対応仕様⑥】</p>	<p>【対応仕様①】</p> <p>【対応仕様②】</p> <p>【対応仕様③】</p> <p>【対応仕様④】</p> <p>【対応仕様⑤】</p> <p>【対応仕様⑥】</p>	<p>【対応仕様①】</p> <p>【対応仕様②】</p> <p>【対応仕様③】</p> <p>【対応仕様④】</p> <p>【対応仕様⑤】</p> <p>【対応仕様⑥】</p>	<p>【対応仕様①】</p> <p>【対応仕様②】</p> <p>【対応仕様③】</p> <p>【対応仕様④】</p> <p>【対応仕様⑤】</p> <p>【対応仕様⑥】</p>	<p>【対応仕様①】</p> <p>【対応仕様②】</p> <p>【対応仕様③】</p> <p>【対応仕様④】</p> <p>【対応仕様⑤】</p> <p>【対応仕様⑥】</p>	<p>【対応仕様①】</p> <p>【対応仕様②】</p> <p>【対応仕様③】</p> <p>【対応仕様④】</p> <p>【対応仕様⑤】</p> <p>【対応仕様⑥】</p>	<p>【対応仕様①】</p> <p>【対応仕様②】</p> <p>【対応仕様③】</p> <p>【対応仕様④】</p> <p>【対応仕様⑤】</p> <p>【対応仕様⑥】</p>

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

2.1 可搬型設備等による対応

大飯発電所3/4号炉		女川原子力発電所2号炉		泊発電所3号炉		相違理由
対応内容	対応内容	対応内容	対応内容	対応内容	対応内容	
<p>【対応内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> - 電源機取込 - 電源機取込 	<p>【対応内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> - 電源機取込 - 電源機取込 - 電源機取込 - 電源機取込 - 電源機取込 	<p>【対応内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> - 電源機取込 - 電源機取込 - 電源機取込 - 電源機取込 - 電源機取込 	<p>【対応内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> - 電源機取込 - 電源機取込 - 電源機取込 - 電源機取込 - 電源機取込 	<p>【対応内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> - 電源機取込 - 電源機取込 - 電源機取込 - 電源機取込 - 電源機取込 	<p>【対応内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> - 電源機取込 - 電源機取込 - 電源機取込 - 電源機取込 - 電源機取込 	<p>【対応内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> - 電源機取込 - 電源機取込 - 電源機取込 - 電源機取込 - 電源機取込
<p>【対応内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> - 電源機取込 - 電源機取込 - 電源機取込 - 電源機取込 - 電源機取込 	<p>【対応内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> - 電源機取込 - 電源機取込 - 電源機取込 - 電源機取込 - 電源機取込 	<p>【対応内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> - 電源機取込 - 電源機取込 - 電源機取込 - 電源機取込 - 電源機取込 	<p>【対応内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> - 電源機取込 - 電源機取込 - 電源機取込 - 電源機取込 - 電源機取込 	<p>【対応内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> - 電源機取込 - 電源機取込 - 電源機取込 - 電源機取込 - 電源機取込 	<p>【対応内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> - 電源機取込 - 電源機取込 - 電源機取込 - 電源機取込 - 電源機取込 	<p>【対応内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> - 電源機取込 - 電源機取込 - 電源機取込 - 電源機取込 - 電源機取込

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

2.1 可搬型設備等による対応

大飯発電所3／4号炉		女川原子力発電所2号炉		泊発電所3号炉		相違理由	
対応項目	対応内容	対応項目	対応内容	対応項目	対応内容	対応項目	対応内容
運転時	<p>【前記事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運転時 	<p>【前記事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運転時 	<p>【前記事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運転時 	<p>【前記事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運転時 	<p>【前記事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運転時 	<p>【前記事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運転時 	<p>【前記事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運転時
緊急時	<p>【前記事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・緊急時 	<p>【前記事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・緊急時 	<p>【前記事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・緊急時 	<p>【前記事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・緊急時 	<p>【前記事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・緊急時 	<p>【前記事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・緊急時 	<p>【前記事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・緊急時
非常時	<p>【前記事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・非常時 	<p>【前記事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・非常時 	<p>【前記事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・非常時 	<p>【前記事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・非常時 	<p>【前記事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・非常時 	<p>【前記事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・非常時 	<p>【前記事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・非常時
事故時	<p>【前記事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事故時 	<p>【前記事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事故時 	<p>【前記事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事故時 	<p>【前記事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事故時 	<p>【前記事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事故時 	<p>【前記事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事故時 	<p>【前記事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事故時

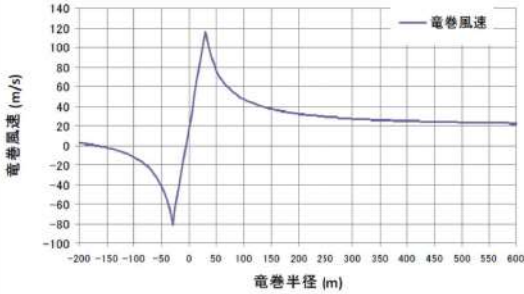
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

2.1 可搬型設備等による対応

大飯発電所3/4号炉		女川原子力発電所2号炉		泊発電所3号炉		相違理由					
対応手順	手順書	技術的能力に係る重要基準の当該項目	可搬型設備	水源	備考	所要時間	必要要員	外部事業に対する適用性			手順成立のために必要な事項
								航空機搬入	設置	津波	
【送水源の確保】	【中心の新しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書】 ・蒸気発生器2次側による中心冷却のための水を確保し、冷却を継続する。 【大規模損傷対応】 ・海水を用いた復水ピットへの補給のための手順	1.13	—	No.2取水タンク	No.2取水から復水ピットへの補給	45分	3名	△	×	○	・アクセスポートの確保 ・燃料補給
			—	海水	海水を用いた復水ピットへの補給	送水車 容量2台/ユニット 塔 (燃料：1.3M ³ /h、流量：300m ³ /h)	3.4時間	5名	○	○	○
【その他】	【大規模損傷対応】 ・代替監視器による監視	1.2	可搬型計測器 百数台/ユニット	—	—	適宜	2名	○	○	○	・直流電源装置


赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

2.1 可搬型設備等による対応

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由								
<p style="text-align: right;">添付7-2</p> <p>竜巻に対する可搬型重大事故等対処設備の隔離の考え方について</p> <p>(1) 竜巻被害幅の想定</p> <p>竜巻に対する設備の防護対策については、竜巻被害幅を考慮し設計基準対処設備、常設重大事故等対処設備及び可搬型重大事故等対処設備が同時に機能喪失しないよう、可搬型重大事故等対処設備を原子炉建屋等から十分に隔離した保管場所に配置するとともに、当該設備同士も十分に距離をとって配置することとしている。ここで、可搬型重大事故等対処設備の分散配置検討においては、日本国内で観測された最大の竜巻であるF3竜巻を超えるF4竜巻による評価を行った。評価に用いたパラメータは以下の通り。</p> <p style="text-align: center;">表1. 評価竜巻のパラメータ</p> <table border="1" data-bbox="91 603 645 679"> <thead> <tr> <th>最大風速 V_D (m/s) *1</th> <th>移動速度 V_T (m/s) *2</th> <th>最大接線風速 V_{Rm} (m/s) *2</th> <th>最大接線風速半径 R_m (m) *2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>116</td> <td>17.4</td> <td>98.6</td> <td>30</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1：F4竜巻風速93～116m/sの最大値を採用 ※2：原子力発電所の竜巻影響評価ガイドに従い算出</p> <div style="text-align: center;"> <p>ランキン渦モデルによる竜巻風速</p>  </div> <p>図1. ランキン渦モデルによる評価竜巻の風速と半径</p> <p>可搬型重大事故対処設備について、竜巻による浮き上がりに伴う損傷と、飛来物の衝突による損傷を対象とし、浮き上がりについては、最も浮き上がりやすい形状である、可搬型重大事故等対処設備を保管しているコンテナの浮き上がりを、飛来物による損傷については、設計飛来物である鋼製材、鋼製パイプ、砂利について、各々評価を行った。</p> <p>浮き上がりの評価方法は、参考1に示すランキン渦モデルにより、可搬型重大事故対処設備の空力パラメータより、浮き上がりの生じる風速を求め、評価竜巻の中心からの距離を算出した。</p>	最大風速 V_D (m/s) *1	移動速度 V_T (m/s) *2	最大接線風速 V_{Rm} (m/s) *2	最大接線風速半径 R_m (m) *2	116	17.4	98.6	30			<p>■資料構成の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> 泊は、女川と同様に、大規模な自然災害による大規模損壊として、竜巻の影響は地震及び津波に包含されると評価していることから、同様の資料を整備していない。
最大風速 V_D (m/s) *1	移動速度 V_T (m/s) *2	最大接線風速 V_{Rm} (m/s) *2	最大接線風速半径 R_m (m) *2								
116	17.4	98.6	30								

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

2.1 可搬型設備等による対応

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																								
<p>飛来物による損傷については、設計飛来物である鋼製材、鋼製パイプ、砂利のうち、鋼製パイプより飛びやすく、砂利よりも重い鋼製材の浮き上がりの生じる範囲を考える。 鋼製材の浮き上がりの生じる距離は115mであり、保守的に被害幅を230mとする。</p>  <p>図2. 竜巻被害幅の範囲と可搬型重大事故等対処設備の位置関係について</p> <p>図2に、竜巻移動方向の考察に基づいた竜巻の進路を例示する。可搬型重大事故対処設備の設置位置を最も包含する3号原子炉建屋中心を通過する竜巻を想定した場合、原子炉建屋内に設置している非常用ディーゼル発電機が機能喪失に至った場合においても、分散配置する電源車、大容量ポンプ車等の複数の可搬型重大事故等対処設備が防護されると期待できることから、喪失した当該機能の回復措置を講じることが可能である。</p> <p>表2に大飯原子力発電所3、4号機の竜巻影響評価において用いた設計飛来物と、可搬型重大事故対処設備の代表的な空力パラメータを示す。</p> <p>表2. 想定飛来物の空力パラメータ等</p> <table border="1" data-bbox="98 1125 642 1412"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>サイズ(長さ×幅×高さ) [m]</th> <th>質量 [kg]</th> <th>空力パラメータ (C_DA/m²/kg)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>鋼製パイプ</td> <td>2.00×0.05×0.05</td> <td>8.4</td> <td>0.0057</td> </tr> <tr> <td>鋼製材</td> <td>4.20×0.30×0.20</td> <td>135</td> <td>0.0089</td> </tr> <tr> <td>砂利</td> <td>0.04×0.04×0.04</td> <td>0.18</td> <td>0.0176</td> </tr> <tr> <td>コンテナ(消防ポンプ12台収納)</td> <td>6.00×2.60×2.40</td> <td>3,476</td> <td>0.0069</td> </tr> <tr> <td>空冷式非常用電源</td> <td>15.45×2.99×4.1</td> <td>38,025</td> <td>0.0021</td> </tr> <tr> <td>大容量ポンプ</td> <td>12.69×2.495×3.5</td> <td>24,230</td> <td>0.0023</td> </tr> <tr> <td>可搬式代替低圧注水ポンプ</td> <td>8.455×2.23×2.465</td> <td>5,744</td> <td>0.0052</td> </tr> <tr> <td>電源車</td> <td>11.5×2.49×3.555</td> <td>17,195</td> <td>0.0030</td> </tr> <tr> <td>タンクローリー</td> <td>6.755×2.2×2.4</td> <td>4,300</td> <td>0.0056</td> </tr> <tr> <td>ドーザーショベル</td> <td>6.2×2.5×3.285</td> <td>21,320</td> <td>0.0015</td> </tr> <tr> <td>ホイールローダー</td> <td>7.29×2.68×3.29</td> <td>12,355</td> <td>0.0028</td> </tr> <tr> <td>モニタリングカー</td> <td>5.02×1.69×2.53</td> <td>2665</td> <td>0.0063</td> </tr> <tr> <td>放水砲</td> <td>3.8×2.2×1.75</td> <td>2,100</td> <td>0.0059</td> </tr> </tbody> </table>	名称	サイズ(長さ×幅×高さ) [m]	質量 [kg]	空力パラメータ (C _D A/m ² /kg)	鋼製パイプ	2.00×0.05×0.05	8.4	0.0057	鋼製材	4.20×0.30×0.20	135	0.0089	砂利	0.04×0.04×0.04	0.18	0.0176	コンテナ(消防ポンプ12台収納)	6.00×2.60×2.40	3,476	0.0069	空冷式非常用電源	15.45×2.99×4.1	38,025	0.0021	大容量ポンプ	12.69×2.495×3.5	24,230	0.0023	可搬式代替低圧注水ポンプ	8.455×2.23×2.465	5,744	0.0052	電源車	11.5×2.49×3.555	17,195	0.0030	タンクローリー	6.755×2.2×2.4	4,300	0.0056	ドーザーショベル	6.2×2.5×3.285	21,320	0.0015	ホイールローダー	7.29×2.68×3.29	12,355	0.0028	モニタリングカー	5.02×1.69×2.53	2665	0.0063	放水砲	3.8×2.2×1.75	2,100	0.0059			<p>■資料構成の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> 泊は、女川と同様に、大規模な自然災害による大規模損壊として、竜巻の影響は地震及び津波に包含されると評価していることから、同様の資料を整備していない。
名称	サイズ(長さ×幅×高さ) [m]	質量 [kg]	空力パラメータ (C _D A/m ² /kg)																																																								
鋼製パイプ	2.00×0.05×0.05	8.4	0.0057																																																								
鋼製材	4.20×0.30×0.20	135	0.0089																																																								
砂利	0.04×0.04×0.04	0.18	0.0176																																																								
コンテナ(消防ポンプ12台収納)	6.00×2.60×2.40	3,476	0.0069																																																								
空冷式非常用電源	15.45×2.99×4.1	38,025	0.0021																																																								
大容量ポンプ	12.69×2.495×3.5	24,230	0.0023																																																								
可搬式代替低圧注水ポンプ	8.455×2.23×2.465	5,744	0.0052																																																								
電源車	11.5×2.49×3.555	17,195	0.0030																																																								
タンクローリー	6.755×2.2×2.4	4,300	0.0056																																																								
ドーザーショベル	6.2×2.5×3.285	21,320	0.0015																																																								
ホイールローダー	7.29×2.68×3.29	12,355	0.0028																																																								
モニタリングカー	5.02×1.69×2.53	2665	0.0063																																																								
放水砲	3.8×2.2×1.75	2,100	0.0059																																																								

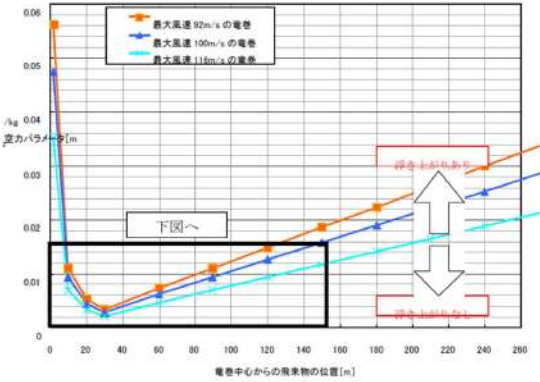
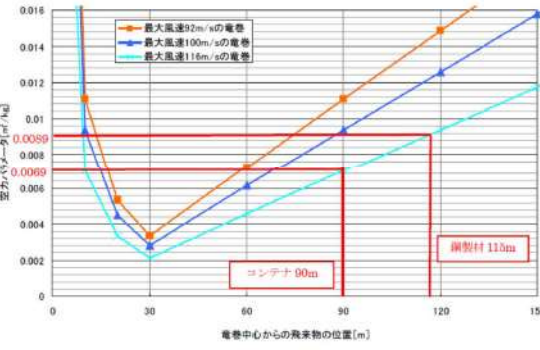
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

2.1 可搬型設備等による対応

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>次頁に示す図3及び図4は、それぞれの竜巻の規模（最大風速92m、100m、116m）に対し、空力パラメータと飛来物の位置関係（初期位置）を表したものであり、上記に示す各飛来物の空力パラメータがグラフ線から下部領域となるような位置に存在すれば、当該物品が浮き上がることはない。</p> <p>例えば風速100m/sを超えるような116m/sの竜巻が発生した場合においても、タンクローリーであれば、竜巻中心から51m程度離隔されていれば浮き上がることはない評価となっている。</p> <p>なお、設計飛来物を超える運動エネルギー、貫通力を持つ物品については、空力パラメータが0.0026以上となる場合、固縛等の適切な管理をすることとしており、また、他の物品についても飛散防止に努める運用とする予定である。</p> <p>以上より、設計竜巻を超える風速116m/sの竜巻において3号機または4号機原子炉建屋を通過する場合を想定しても、当該範囲外に可搬型重大事故等対処設備を分散配置することによって、可搬型重大事故等対処設備、並びに原子炉建屋に設置している常設重大事故等対処設備及び設計基準事故等対処設備が同時に機能喪失することはないものと期待できる。</p>			<p>■資料構成の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> 泊は、女川と同様に、大規模な自然災害による大規模損壊として、竜巻の影響は地震及び津波に包含されると評価していることから、同様の資料を整備していない。

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

2.1 可搬型設備等による対応

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
 <p>図3. 空カパラメータと竜巻中心からの飛来物の位置</p>  <p>図4. 空カパラメータと竜巻中心からの飛来物の位置（拡大図）</p>			<p>■資料構成の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> 泊は、女川と同様に、大規模な自然災害による大規模損壊として、竜巻の影響は地震及び津波に包含されると評価していることから、同様の資料を整備していない。

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

2.1 可搬型設備等による対応

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>参考1. ランキン渦モデルによる浮き上がり速度の算出</p>  <p>図5. ランキン渦モデル説明図</p> $\frac{C_D A}{m} (\text{空力パラメータ}) > \frac{2g}{\rho V_r \sqrt{V_D^2 + V_V^2}}$ <p>が成立すれば、物体は浮き上がることとなる。 したがって、前項の図2及び図3において、折れ線から下部の領域に空力パラメータがあれば当該の物体は浮き上がらないことを意味する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> $V_r = \frac{4}{3\sqrt{5}} V_{rot}$ $V_{rot} = \begin{cases} \frac{r}{R_m} V_{sm} & \text{if } 0 \leq r \leq R_m \\ \frac{R_m}{r} V_{sm} & \text{if } R_m \leq r \end{cases}$ <p>ここで、V_{sm}は $r=R_m$ の時の V_{rot} であり、V_{rot} の最大値になる。その時、最大風速 V_5 は、 $V_D = V_{sm} + V_V = V_{sm} + 0.15V_D$</p> <p>$V_v$: 竜巻の接線方向風速 V_r : 竜巻の周方向風速 V_v : 竜巻の鉛直方向風速 V_s : 竜巻の移動速度 V_{rot} : 竜巻の旋回風速 V_{sm} : 竜巻の最大接線風速 V_5 : 竜巻の最大風速 r : 竜巻中心からの飛来物の位置 R_m : 竜巻の接線風速が最大となる半径 (=30m)</p> </div>			<p>■資料構成の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> 泊は、女川と同様に、大規模な自然災害による大規模損壊として、竜巻の影響は地震及び津波に含まれると評価していることから、同様の資料を整備していない。

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

2.1 可搬型設備等による対応

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: right;">添付7-2</p> <p>大規模な津波の襲来を想定した燃料油貯蔵タンクベント管からの海水流入の影響について</p> <p>地下に埋設している燃料油貯蔵タンクのベント管は、地中（トレンチ内）を通り頑健性を有する原子炉周辺建屋の外壁面に沿って設置するとともに、耐震Sクラス設計であり、さらに緩衝材を設置していることから、津波又は津波の漂流物によって破損する可能性は低い。</p> <p>また、ベント管の頂部高さはE.L.約+15mに設置しており、想定を超える津波によりベント管からの海水が流入する可能性は低い。</p> <p>万一、燃料油貯蔵タンク内に海水が混入することを想定した場合においても、重油と海水は密度差によって自然に分離され海水は下部に溜まることから、検尺棒に塗布した試薬の色覚変化で重油と海水が分離されていること及び海水の水位を確認した上で、タンクローリーへは貯蔵タンクの上部から汲み上げることで分離された重油を使用することができ、機器等への燃料補給は可能である。</p>	<p style="text-align: center;">女川原子力発電所2号炉</p> <p style="text-align: right;">添付9-1</p> <p>大規模な津波の襲来を想定したディーゼル発電機燃料油貯槽ベント管からの海水流入の影響について</p> <p>地下に埋設しているディーゼル発電機燃料油貯槽のベント管は、地中（トレンチ内）を通り、頑健性を有するディーゼル発電機建屋の外壁面に沿って設置している。ベント管は基準地震動に対する耐震性を確保する方針であり、さらに各ベント管に対してデブリガードを設置していることから、津波又は津波による漂流物によって損傷する可能性は低い。</p> <p>また、ベント管の頂部（開口部）は、すべてT.P.15m以上（A1,A2:T.P.+15.5m, B1,B2:+T.P.20.1m）に位置しており、基準津波に対して一定程度の裕度を有する。（図9-1）</p> <p>万一、ディーゼル発電機燃料油貯槽内に海水が混入することを想定した場合においても、一定時間経過後には、軽油と海水は密度差によって自然に分離され海水は下部に溜まることから、分離された軽油を使用することで機器等への燃料補給は可能である。</p> <p>なお、分離して貯油槽下部に溜まった海水については、以下の設備及び手順により排出することができる。</p> <p><燃料油貯油槽内の軽油と海水の分離手順（図9-2）></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 検尺棒にウォーターフィリングペースト（水に触れた部分のみ赤く変色する性質）を塗布した後、貯油槽の測深管に検尺棒を挿入し、検尺棒が赤く変色した部分を確認することにより、軽油と海水が分離されていること及び混入したおおよその海水量を把握する。 2. 仮設の軽油汲み上げポンプを運転し、検尺棒により把握したおおよその海水量を仮設の油水分離槽に汲み上げる。油水分離槽内の軽油と海水が分離した後、海水を油水分離槽下部のドレン弁から排出する。これを繰り返す。軽油のみが汲み上げられるようになったことを確認したのち、汲み上げ先を通常の汲み上げ先であるタンクローリーへ切り替える。 	<p>大規模な津波の襲来を想定したディーゼル発電機燃料油貯槽ベント管からの海水流入の影響について</p> <p>地下に埋設しているディーゼル発電機燃料油貯槽のベント管は、地中（トレンチ内）を通り、頑健性を有するディーゼル発電機建屋の外壁面に沿って設置している。ベント管は基準地震動に対する耐震性を確保する方針であり、さらに各ベント管に対してデブリガードを設置していることから、津波又は津波による漂流物によって損傷する可能性は低い。</p> <p>また、ベント管の頂部（開口部）は、すべてT.P.15m以上（A1,A2:T.P.+15.5m, B1,B2:+T.P.20.1m）に位置しており、基準津波に対して一定程度の裕度を有する。（図9-1）</p> <p>万一、ディーゼル発電機燃料油貯槽内に海水が混入することを想定した場合においても、一定時間経過後には、軽油と海水は密度差によって自然に分離され海水は下部に溜まることから、分離された軽油を使用することで機器等への燃料補給は可能である。</p> <p>なお、分離して貯油槽下部に溜まった海水については、以下の設備及び手順により排出することができる。</p> <p><燃料油貯油槽内の軽油と海水の分離手順（図9-2）></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 検尺棒にウォーターフィリングペースト（水に触れた部分のみ赤く変色する性質）を塗布した後、貯油槽の測深管に検尺棒を挿入し、検尺棒が赤く変色した部分を確認することにより、軽油と海水が分離されていること及び混入したおおよその海水量を把握する。 2. 仮設の軽油汲み上げポンプを運転し、検尺棒により把握したおおよその海水量を仮設の油水分離槽に汲み上げる。油水分離槽内の軽油と海水が分離した後、海水を油水分離槽下部のドレン弁から排出する。これを繰り返す。軽油のみが汲み上げられるようになったことを確認したのち、汲み上げ先を通常の汲み上げ先であるタンクローリーへ切り替える。 	<p>相違理由</p> <ul style="list-style-type: none"> ■設備名称の相違（以降、相違理由の記載を省略する） ■建屋名称の相違 ■記載表現の相違 ■設計の相違 <ul style="list-style-type: none"> ・泊は、B1及びB2のディーゼル発電機燃料油貯槽のベント管について、さらに裕度を確保する設計としている。 ■記載表現の相違 ■設計の相違 <ul style="list-style-type: none"> ・泊は、非常用ディーゼル発電機の燃料に軽油を用いるため、油種に相違はあるものの、海水が混入した際には密度差によって自然に分離することに相違はない。 ■記載表現の相違 ■記載方針の相違 ■対応方法の相違 <ul style="list-style-type: none"> ・大飯は、海水が混入し、密度差によって上層に分離した重油のみをタンクローリーに直接汲み上げる手順である。 ・泊は、貯油槽に混入した海水を、仮設の油水分離槽に汲み上げることで排出したのちに軽油を汲み上げる手順である。

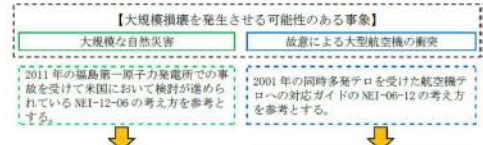

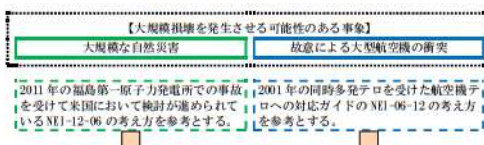
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

2.1 可搬型設備等による対応

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>燃料油貯蔵タンクのベント管と燃料汲み上げのイメージ</p> <p>4号炉 燃料油貯蔵タンクベント管</p> <p>3号炉 燃料油貯蔵タンクベント管</p>		<p>図9-1 ディーゼル発電機燃料油貯油槽のベント管</p> <p>図9-2 貯油槽の軽油と海水の分離方法のイメージ図</p>	<p>■記載表現の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

2.1 可搬型設備等による対応

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																												
添付資料 2.1.8 米国ガイド (NEI-06-12 及び NEI-12-06) で参考とした事項について	添付資料 2.1.15 米国ガイド (NEI-06-12 及び NEI-12-06) で参考とした事項について	添付資料 2.1.10 米国ガイド (NEI-06-12 及び NEI-12-06) で参考とした事項について																																													
大規模な自然災害又は故意による大型航空機の衝突その他のテロリズムによる大規模損壊についての前提条件を設定するに当たり、米国における大規模自然災害への対応ガイド (NEI-12-06) 及び航空機テロへの対応ガイド (NEI-06-12) も参考している。 これらガイドラインは以下のような内容である。	大規模な自然災害及び故意による大型航空機の衝突その他のテロリズムによる大規模損壊についての前提条件を設定するに当たり、米国における大規模自然災害への対応ガイド (NEI-12-06) 及び航空機テロへの対応ガイド (NEI-06-12) も参考している。 これらガイドラインは以下のような内容である。 (第1図)	大規模な自然災害及び故意による大型航空機の衝突その他のテロリズムによる大規模損壊についての前提条件を設定するに当たり、米国における大規模自然災害への対応ガイド (NEI-12-06) 及び航空機テロへの対応ガイド (NEI-06-12) も参考している。 これらガイドラインは以下のような内容である。 (図10-1)	■記載表現の相違 ■記載表現の相違 ・泊は、女川と同様に、図番を明記している。																																												
 <table border="1" data-bbox="89 582 638 941"> <thead> <tr> <th>事象想定</th> <th>大規模な自然災害</th> <th>故意による大型航空機の衝突</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>喪失する機能及び状況</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・サイト特有の外部ハザードを特定し、当該ハザードの設計基準外レベルを想定する。 ・大規模地震又は津波による長期交流電源喪失 (ELAP) 及び最終ヒートシンク喪失 (LUBS) の同時発生により、格納容器破損 (炉心損傷) が発生する可能性がある。 </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・故意による大型航空機の衝突による大規模な火災又は爆発により広範囲なエリアが損傷する。 ・機器のみならず中央制御室での運転員によるプラント監視機能及び制御機能や機器への接近性が喪失する。 ・格納容器破損により、放射性物質が放出される可能性がある。 ・使用済燃料ピットの破損により、水位が確保できなくなる可能性及び放射性物質が放出される可能性がある。 </td> </tr> <tr> <td>予兆</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・事前の予兆がない災害と予兆を検知できる災害に分けられる。予兆を検知できる場合には事前に安全措置を講じるための時間的余裕がある。 </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・事前の予兆がなく突発的に発生する。 </td> </tr> <tr> <td>設備の防護</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・サイト特有の外部事象に対して、可搬型重大事故等対処設備を適切に設置及び防護する。 </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・損傷箇所から 100m 以内の屋外設備等については、機能喪失している可能性がある。 </td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">-</td> </tr> </tbody> </table>	事象想定	大規模な自然災害	故意による大型航空機の衝突	喪失する機能及び状況	<ul style="list-style-type: none"> ・サイト特有の外部ハザードを特定し、当該ハザードの設計基準外レベルを想定する。 ・大規模地震又は津波による長期交流電源喪失 (ELAP) 及び最終ヒートシンク喪失 (LUBS) の同時発生により、格納容器破損 (炉心損傷) が発生する可能性がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・故意による大型航空機の衝突による大規模な火災又は爆発により広範囲なエリアが損傷する。 ・機器のみならず中央制御室での運転員によるプラント監視機能及び制御機能や機器への接近性が喪失する。 ・格納容器破損により、放射性物質が放出される可能性がある。 ・使用済燃料ピットの破損により、水位が確保できなくなる可能性及び放射性物質が放出される可能性がある。 	予兆	<ul style="list-style-type: none"> ・事前の予兆がない災害と予兆を検知できる災害に分けられる。予兆を検知できる場合には事前に安全措置を講じるための時間的余裕がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事前の予兆がなく突発的に発生する。 	設備の防護	<ul style="list-style-type: none"> ・サイト特有の外部事象に対して、可搬型重大事故等対処設備を適切に設置及び防護する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・損傷箇所から 100m 以内の屋外設備等については、機能喪失している可能性がある。 	その他	-		 <table border="1" data-bbox="672 582 1209 989"> <thead> <tr> <th>事象想定</th> <th>大規模な自然災害</th> <th>故意による大型航空機の衝突</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>喪失する機能及び状況</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・サイト特有の外部ハザードを特定し、当該ハザードの設計基準外レベルを想定する。 ・大規模地震又は津波による長期交流電源喪失 (ELAP) 及び最終ヒートシンク喪失 (LUBS) の同時発生により、格納容器破損 (炉心損傷) が発生する可能性がある。 </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・故意による大型航空機の衝突による大規模な火災・爆発により広範囲なエリアが損傷する。 ・機器のみならず中央制御室での運転員によるプラント監視・制御機能や機器への接近性が喪失する。 ・格納容器破損により、放射性物質が放出される可能性がある。 ・使用済燃料ピットの破損により、水位が確保できなくなる可能性及び放射性物質が放出される可能性がある。 </td> </tr> <tr> <td>予兆</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・事前の予兆がない災害と予兆を検知できる災害に分けられる。予兆を検知できる場合には事前に安全措置を講じるための時間的余裕がある。 </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・事前の予兆がなく突発的に発生する。 </td> </tr> <tr> <td>設備の防護</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・サイト特有の外部事象に対して、可搬型重大事故等対処設備を適切に設置及び防護する。 </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・損傷箇所から 100m 以内の屋外設備等については、機能喪失している可能性がある。 </td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">-</td> </tr> </tbody> </table>	事象想定	大規模な自然災害	故意による大型航空機の衝突	喪失する機能及び状況	<ul style="list-style-type: none"> ・サイト特有の外部ハザードを特定し、当該ハザードの設計基準外レベルを想定する。 ・大規模地震又は津波による長期交流電源喪失 (ELAP) 及び最終ヒートシンク喪失 (LUBS) の同時発生により、格納容器破損 (炉心損傷) が発生する可能性がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・故意による大型航空機の衝突による大規模な火災・爆発により広範囲なエリアが損傷する。 ・機器のみならず中央制御室での運転員によるプラント監視・制御機能や機器への接近性が喪失する。 ・格納容器破損により、放射性物質が放出される可能性がある。 ・使用済燃料ピットの破損により、水位が確保できなくなる可能性及び放射性物質が放出される可能性がある。 	予兆	<ul style="list-style-type: none"> ・事前の予兆がない災害と予兆を検知できる災害に分けられる。予兆を検知できる場合には事前に安全措置を講じるための時間的余裕がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事前の予兆がなく突発的に発生する。 	設備の防護	<ul style="list-style-type: none"> ・サイト特有の外部事象に対して、可搬型重大事故等対処設備を適切に設置及び防護する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・損傷箇所から 100m 以内の屋外設備等については、機能喪失している可能性がある。 	その他	-		 <table border="1" data-bbox="1254 582 1792 989"> <thead> <tr> <th>事象想定</th> <th>大規模な自然災害</th> <th>故意による大型航空機の衝突</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>喪失する機能及び状況</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・サイト特有の外部ハザードを特定し、当該ハザードの設計基準外レベルを想定する。 ・大規模地震又は津波による長期交流電源喪失 (ELAP) 及び最終ヒートシンク喪失 (LUBS) の同時発生により、格納容器破損 (炉心損傷) が発生する可能性がある。 </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・故意による大型航空機の衝突による大規模な火災・爆発により広範囲なエリアが損傷する。 ・機器のみならず中央制御室での運転員によるプラント監視及び制御機能や機器への接近性が喪失する。 ・格納容器破損により、放射性物質が放出される可能性がある。 ・使用済燃料ピットの破損により、水位が確保できなくなる可能性及び放射性物質が放出される可能性がある。 </td> </tr> <tr> <td>予兆</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・事前の予兆がない災害と予兆を検知できる災害に分けられる。予兆を検知できる場合には事前に安全措置を講じるための時間的余裕がある。 </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・事前の予兆がなく突発的に発生する。 </td> </tr> <tr> <td>設備の防護</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・サイト特有の外部事象に対して、可搬型重大事故等対処設備を適切に設置及び防護する。 </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・損傷箇所から 100m 以内の屋外設備等については、機能喪失している可能性がある。 </td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">-</td> </tr> </tbody> </table>	事象想定	大規模な自然災害	故意による大型航空機の衝突	喪失する機能及び状況	<ul style="list-style-type: none"> ・サイト特有の外部ハザードを特定し、当該ハザードの設計基準外レベルを想定する。 ・大規模地震又は津波による長期交流電源喪失 (ELAP) 及び最終ヒートシンク喪失 (LUBS) の同時発生により、格納容器破損 (炉心損傷) が発生する可能性がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・故意による大型航空機の衝突による大規模な火災・爆発により広範囲なエリアが損傷する。 ・機器のみならず中央制御室での運転員によるプラント監視及び制御機能や機器への接近性が喪失する。 ・格納容器破損により、放射性物質が放出される可能性がある。 ・使用済燃料ピットの破損により、水位が確保できなくなる可能性及び放射性物質が放出される可能性がある。 	予兆	<ul style="list-style-type: none"> ・事前の予兆がない災害と予兆を検知できる災害に分けられる。予兆を検知できる場合には事前に安全措置を講じるための時間的余裕がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事前の予兆がなく突発的に発生する。 	設備の防護	<ul style="list-style-type: none"> ・サイト特有の外部事象に対して、可搬型重大事故等対処設備を適切に設置及び防護する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・損傷箇所から 100m 以内の屋外設備等については、機能喪失している可能性がある。 	その他	-	
事象想定	大規模な自然災害	故意による大型航空機の衝突																																													
喪失する機能及び状況	<ul style="list-style-type: none"> ・サイト特有の外部ハザードを特定し、当該ハザードの設計基準外レベルを想定する。 ・大規模地震又は津波による長期交流電源喪失 (ELAP) 及び最終ヒートシンク喪失 (LUBS) の同時発生により、格納容器破損 (炉心損傷) が発生する可能性がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・故意による大型航空機の衝突による大規模な火災又は爆発により広範囲なエリアが損傷する。 ・機器のみならず中央制御室での運転員によるプラント監視機能及び制御機能や機器への接近性が喪失する。 ・格納容器破損により、放射性物質が放出される可能性がある。 ・使用済燃料ピットの破損により、水位が確保できなくなる可能性及び放射性物質が放出される可能性がある。 																																													
予兆	<ul style="list-style-type: none"> ・事前の予兆がない災害と予兆を検知できる災害に分けられる。予兆を検知できる場合には事前に安全措置を講じるための時間的余裕がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事前の予兆がなく突発的に発生する。 																																													
設備の防護	<ul style="list-style-type: none"> ・サイト特有の外部事象に対して、可搬型重大事故等対処設備を適切に設置及び防護する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・損傷箇所から 100m 以内の屋外設備等については、機能喪失している可能性がある。 																																													
その他	-																																														
事象想定	大規模な自然災害	故意による大型航空機の衝突																																													
喪失する機能及び状況	<ul style="list-style-type: none"> ・サイト特有の外部ハザードを特定し、当該ハザードの設計基準外レベルを想定する。 ・大規模地震又は津波による長期交流電源喪失 (ELAP) 及び最終ヒートシンク喪失 (LUBS) の同時発生により、格納容器破損 (炉心損傷) が発生する可能性がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・故意による大型航空機の衝突による大規模な火災・爆発により広範囲なエリアが損傷する。 ・機器のみならず中央制御室での運転員によるプラント監視・制御機能や機器への接近性が喪失する。 ・格納容器破損により、放射性物質が放出される可能性がある。 ・使用済燃料ピットの破損により、水位が確保できなくなる可能性及び放射性物質が放出される可能性がある。 																																													
予兆	<ul style="list-style-type: none"> ・事前の予兆がない災害と予兆を検知できる災害に分けられる。予兆を検知できる場合には事前に安全措置を講じるための時間的余裕がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事前の予兆がなく突発的に発生する。 																																													
設備の防護	<ul style="list-style-type: none"> ・サイト特有の外部事象に対して、可搬型重大事故等対処設備を適切に設置及び防護する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・損傷箇所から 100m 以内の屋外設備等については、機能喪失している可能性がある。 																																													
その他	-																																														
事象想定	大規模な自然災害	故意による大型航空機の衝突																																													
喪失する機能及び状況	<ul style="list-style-type: none"> ・サイト特有の外部ハザードを特定し、当該ハザードの設計基準外レベルを想定する。 ・大規模地震又は津波による長期交流電源喪失 (ELAP) 及び最終ヒートシンク喪失 (LUBS) の同時発生により、格納容器破損 (炉心損傷) が発生する可能性がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・故意による大型航空機の衝突による大規模な火災・爆発により広範囲なエリアが損傷する。 ・機器のみならず中央制御室での運転員によるプラント監視及び制御機能や機器への接近性が喪失する。 ・格納容器破損により、放射性物質が放出される可能性がある。 ・使用済燃料ピットの破損により、水位が確保できなくなる可能性及び放射性物質が放出される可能性がある。 																																													
予兆	<ul style="list-style-type: none"> ・事前の予兆がない災害と予兆を検知できる災害に分けられる。予兆を検知できる場合には事前に安全措置を講じるための時間的余裕がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事前の予兆がなく突発的に発生する。 																																													
設備の防護	<ul style="list-style-type: none"> ・サイト特有の外部事象に対して、可搬型重大事故等対処設備を適切に設置及び防護する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・損傷箇所から 100m 以内の屋外設備等については、機能喪失している可能性がある。 																																													
その他	-																																														
	第1図 米国ガイド (NEI-06-12及びNEI-12-06) の概要	図10-1 米国ガイド (NEI-06-12及びNEI-12-06) の概要																																													

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

2.1 可搬型設備等による対応

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: right;">添付資料 2.1.9</p> <p>大規模損壊発生時に必要な可搬型重大事故等対処設備等の配備及び防護の状況について</p> <p>大規模損壊を発生させる可能性のある大規模な自然災害（地震、津波、竜巻）及び故意による大型航空機の衝突が発生した場合に備えた重大事故等対処設備等の配備及び防護について、大飯発電所における対応状況を以下に示す。</p> <p>なお、これらの対応については、2.1.4(1)に示す「大規模な自然災害又は故意による大型航空機の衝突その他テロリズムへの対応に必要な設備の配備及び当該設備の防護の基本的な考え方」に基づく。</p>	<p style="text-align: right;">添付資料 2.1.16</p> <p>大規模損壊発生時に必要な可搬型重大事故等対処設備等の配備及び防護の状況について</p> <p>大規模損壊を発生させる可能性のある大規模な自然災害（地震、津波）及び故意による大型航空機の衝突が発生した場合に備えた重大事故等対処設備等の配備及び防護について、対応状況を第1表に示す。</p> <p>なお、これらの対応については、2.1.2.3(1)に示す「大規模な自然災害又は故意による大型航空機の衝突その他テロリズムへの対応に必要な設備の配備及び当該設備の防護の基本的な考え方」に基づく。</p>	<p style="text-align: right;">添付資料 2.1.11</p> <p>大規模損壊発生時に必要な可搬型重大事故等対処設備等の配備及び防護の状況について</p> <p>大規模損壊を発生させる可能性のある大規模な自然災害（地震、津波）及び故意による大型航空機の衝突が発生した場合に備えた重大事故等対処設備等の配備及び防護について、対応状況を表11-1に示す。</p> <p>なお、これらの対応については、2.1.2.3(1)に示す「大規模な自然災害又は故意による大型航空機の衝突その他テロリズムへの対応に必要な設備の配備及び当該設備の防護の基本的な考え方」に基づく。</p>	<p>相違理由</p> <p>■記載表現の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・泊は自然災害に竜巻を含んでいない。（島根と同様） 【大飯】【女川】記載表現の相違 【大飯】【女川】記載表現の相違 ・泊は、2.1.2.3(1)の項目名称を記載していることから「の」が含まれている。

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

2.1 可搬型設備等による対応

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																								
<p>表1 大規模損壊発生時の可搬型重大事故等対処設備等の配備及び防護の状況</p> <p>○大規模地震</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>災害に対する考慮事項</th> <th>対応状況</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>機器の防護・機能確保 機器の保管場所等の考慮 (耐震性のある構造物内での保管、機器の耐震性等)</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 可搬型重大事故等対処設備については、耐震性のある地盤又は基準地震動Ssに対して裕度を持つ原子炉建屋又は原子炉周辺建屋内に配置し、常設重大事故等対処設備とは異なる保管場所に保管している。 基準地震動Ssに対して裕度を持つ原子炉建屋又は原子炉周辺建屋内に配置している常設重大事故等対処設備については、当該設備自体についても、基準地震動Ssに対して裕度を持った設計としており、容易に機能を喪失することはないものと判断する。 地震による溢水及び火災に対して、可搬型重大事故等対処設備については、屋外の高台に分散配置していることから影響を受けないものと判断する。 </td> </tr> <tr> <td>機器の配備</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 機器の輸送手段の確保（輸送経路の障害の考慮） 機器の接続箇所へのアクセス性の確保 </td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th>災害に対する考慮事項</th> <th>対応状況</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>機器の配備</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 可搬型重大事故等対処設備については、津波、斜面崩落、段差発生の影響を受けないE.L. + 約14m以上の高台に配備している。また、電源供給や復水ビット等への補給についてもE.L. + 約31m以上において実施できることからガレキは発生しないものと考えられる。 E.L. + 約13m以上においてガレキ等により機器の輸送に影響が発生する場合に備えて配備しているブルドーザにより、ガレキを撤去しアクセスルートを確保する。 </td> </tr> <tr> <td>機器の接続箇所へのアクセス性の確保</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 恒設ラインへの接続箇所を2箇所設置しており、各々の接続箇所までのアクセスルートがそれぞれ別ルートで確保されている。また、可搬型重大事故等対処設備については、津波、斜面崩落、段差発生の影響を受けないE.L. + 約14m以上の高台に配備されていることから、仮に基準津波を一定程度超える津波が襲来した場合においても当該箇所へのアクセス性に影響はない。 E.L. + 3.0mの恒設ラインへの接続箇所については、利用できない可能性がある。 燃料油については、地下に埋設してある燃料油貯蔵タンクからの給油に期待することから、敷地内に津波が襲来した直後は給油することができないが、津波が引いた後には給油可能となる。E.L. + 15.53mに設置してある燃料油貯蔵タンクのパントラインは、基準津波に対して十分裕度を持った高さに設置されており、先端部から海水が流入することはない。 </td> </tr> </tbody> </table>	災害に対する考慮事項	対応状況	機器の防護・機能確保 機器の保管場所等の考慮 (耐震性のある構造物内での保管、機器の耐震性等)	<ul style="list-style-type: none"> 可搬型重大事故等対処設備については、耐震性のある地盤又は基準地震動Ssに対して裕度を持つ原子炉建屋又は原子炉周辺建屋内に配置し、常設重大事故等対処設備とは異なる保管場所に保管している。 基準地震動Ssに対して裕度を持つ原子炉建屋又は原子炉周辺建屋内に配置している常設重大事故等対処設備については、当該設備自体についても、基準地震動Ssに対して裕度を持った設計としており、容易に機能を喪失することはないものと判断する。 地震による溢水及び火災に対して、可搬型重大事故等対処設備については、屋外の高台に分散配置していることから影響を受けないものと判断する。 	機器の配備	<ul style="list-style-type: none"> 機器の輸送手段の確保（輸送経路の障害の考慮） 機器の接続箇所へのアクセス性の確保 	災害に対する考慮事項	対応状況	機器の配備	<ul style="list-style-type: none"> 可搬型重大事故等対処設備については、津波、斜面崩落、段差発生の影響を受けないE.L. + 約14m以上の高台に配備している。また、電源供給や復水ビット等への補給についてもE.L. + 約31m以上において実施できることからガレキは発生しないものと考えられる。 E.L. + 約13m以上においてガレキ等により機器の輸送に影響が発生する場合に備えて配備しているブルドーザにより、ガレキを撤去しアクセスルートを確保する。 	機器の接続箇所へのアクセス性の確保	<ul style="list-style-type: none"> 恒設ラインへの接続箇所を2箇所設置しており、各々の接続箇所までのアクセスルートがそれぞれ別ルートで確保されている。また、可搬型重大事故等対処設備については、津波、斜面崩落、段差発生の影響を受けないE.L. + 約14m以上の高台に配備されていることから、仮に基準津波を一定程度超える津波が襲来した場合においても当該箇所へのアクセス性に影響はない。 E.L. + 3.0mの恒設ラインへの接続箇所については、利用できない可能性がある。 燃料油については、地下に埋設してある燃料油貯蔵タンクからの給油に期待することから、敷地内に津波が襲来した直後は給油することができないが、津波が引いた後には給油可能となる。E.L. + 15.53mに設置してある燃料油貯蔵タンクのパントラインは、基準津波に対して十分裕度を持った高さに設置されており、先端部から海水が流入することはない。 	<p>第1表 大規模損壊発生時の可搬型重大事故等対処設備等の配備及び防護の状況</p> <p>○大規模な地震</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>災害に対する考慮事項</th> <th>対応状況</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>機器の防護・機能確保</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 機器の保管場所等の考慮 (耐震性のある構造物内での保管、機器の耐震性等) </td> </tr> <tr> <td>機器の配備</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 機器の輸送手段の確保（輸送経路の障害の考慮） 機器の接続箇所へのアクセス性の確保 </td> </tr> </tbody> </table>	災害に対する考慮事項	対応状況	機器の防護・機能確保	<ul style="list-style-type: none"> 機器の保管場所等の考慮 (耐震性のある構造物内での保管、機器の耐震性等) 	機器の配備	<ul style="list-style-type: none"> 機器の輸送手段の確保（輸送経路の障害の考慮） 機器の接続箇所へのアクセス性の確保 	<p>表11-1 大規模損壊発生時の可搬型重大事故等対処設備等の配備及び防護の状況</p> <p>○大規模な地震</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>災害に対する考慮事項</th> <th>対応状況</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>機器の防護・機能確保</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 機器の保管場所等の考慮 (耐震性のある構造物内での保管、機器の耐震性等) </td> </tr> <tr> <td>機器の配備</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 機器の輸送手段の確保（輸送経路の障害の考慮） 機器の接続箇所へのアクセス性の確保 </td> </tr> </tbody> </table>	災害に対する考慮事項	対応状況	機器の防護・機能確保	<ul style="list-style-type: none"> 機器の保管場所等の考慮 (耐震性のある構造物内での保管、機器の耐震性等) 	機器の配備	<ul style="list-style-type: none"> 機器の輸送手段の確保（輸送経路の障害の考慮） 機器の接続箇所へのアクセス性の確保 	<p>【大飯】【女川】記載表現の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> 記載表現に相違はあるものの、記載内容に相違はない。
災害に対する考慮事項	対応状況																										
機器の防護・機能確保 機器の保管場所等の考慮 (耐震性のある構造物内での保管、機器の耐震性等)	<ul style="list-style-type: none"> 可搬型重大事故等対処設備については、耐震性のある地盤又は基準地震動Ssに対して裕度を持つ原子炉建屋又は原子炉周辺建屋内に配置し、常設重大事故等対処設備とは異なる保管場所に保管している。 基準地震動Ssに対して裕度を持つ原子炉建屋又は原子炉周辺建屋内に配置している常設重大事故等対処設備については、当該設備自体についても、基準地震動Ssに対して裕度を持った設計としており、容易に機能を喪失することはないものと判断する。 地震による溢水及び火災に対して、可搬型重大事故等対処設備については、屋外の高台に分散配置していることから影響を受けないものと判断する。 																										
機器の配備	<ul style="list-style-type: none"> 機器の輸送手段の確保（輸送経路の障害の考慮） 機器の接続箇所へのアクセス性の確保 																										
災害に対する考慮事項	対応状況																										
機器の配備	<ul style="list-style-type: none"> 可搬型重大事故等対処設備については、津波、斜面崩落、段差発生の影響を受けないE.L. + 約14m以上の高台に配備している。また、電源供給や復水ビット等への補給についてもE.L. + 約31m以上において実施できることからガレキは発生しないものと考えられる。 E.L. + 約13m以上においてガレキ等により機器の輸送に影響が発生する場合に備えて配備しているブルドーザにより、ガレキを撤去しアクセスルートを確保する。 																										
機器の接続箇所へのアクセス性の確保	<ul style="list-style-type: none"> 恒設ラインへの接続箇所を2箇所設置しており、各々の接続箇所までのアクセスルートがそれぞれ別ルートで確保されている。また、可搬型重大事故等対処設備については、津波、斜面崩落、段差発生の影響を受けないE.L. + 約14m以上の高台に配備されていることから、仮に基準津波を一定程度超える津波が襲来した場合においても当該箇所へのアクセス性に影響はない。 E.L. + 3.0mの恒設ラインへの接続箇所については、利用できない可能性がある。 燃料油については、地下に埋設してある燃料油貯蔵タンクからの給油に期待することから、敷地内に津波が襲来した直後は給油することができないが、津波が引いた後には給油可能となる。E.L. + 15.53mに設置してある燃料油貯蔵タンクのパントラインは、基準津波に対して十分裕度を持った高さに設置されており、先端部から海水が流入することはない。 																										
災害に対する考慮事項	対応状況																										
機器の防護・機能確保	<ul style="list-style-type: none"> 機器の保管場所等の考慮 (耐震性のある構造物内での保管、機器の耐震性等) 																										
機器の配備	<ul style="list-style-type: none"> 機器の輸送手段の確保（輸送経路の障害の考慮） 機器の接続箇所へのアクセス性の確保 																										
災害に対する考慮事項	対応状況																										
機器の防護・機能確保	<ul style="list-style-type: none"> 機器の保管場所等の考慮 (耐震性のある構造物内での保管、機器の耐震性等) 																										
機器の配備	<ul style="list-style-type: none"> 機器の輸送手段の確保（輸送経路の障害の考慮） 機器の接続箇所へのアクセス性の確保 																										

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

2.1 可搬型設備等による対応

大飯発電所3/4号炉		女川原子力発電所2号炉		泊発電所3号炉		相違理由																	
○大規模津波		○大規模な津波		○大規模な津波		<p>【大飯】【女川】記載表現の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・泊は、記載内容の充実の観点から、記載表現を大飯に合わせている。 ・記載表現は異なるものの、対応状況に大きな相違はない。 																	
<table border="1"> <thead> <tr> <th>災害に対する考慮事項</th> <th>対応状況</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> 機器の防護・機能確保 機器の保管場所等の考慮 （津波よりも高い位置の保管、津波から防護できる構造物内の保管） </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・原子炉建屋及び原子炉周辺建屋に対して浸水防護策を施していることから、基準津波を一定程度超えるが敷地高さに到達しない津波・洪水に対しては、当該の建屋内に配置されている設備についての機能は維持される。 ・基準津波に対し十分な余裕を持たせた、E.L. + 約14m以上の高台に可搬型重大事故等対処設備を配置しており、仮に基準津波を一定程度超える津波が発生した場合においても容易に機能喪失はしないものと判断する。 ・主要なパラメータについても、E.L. + 21.3mにおいて可搬型計測器による計測が可能としており、基準津波を一定程度超える津波が発生した場合においてもプラントの状況把握に期待できる。 </td> </tr> <tr> <td> 機器の配備 機器の輸送手段の確保 （輸送経路の障害の考慮） </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・可搬型重大事故等対処設備については、津波、斜面崩落、段差発生の影響を受けないE.L. + 約14m以上の高台に配備している。また、電源供給や復水ビット等への補給についてもE.L. + 約31m以上において実施できることからガレキは発生しないものと考えられる。 ・E.L. + 約13m以上においてガレキ等により機器の輸送に影響が発生する場合に備えて配備しているブルドーザにより、ガレキを撤去しアクセスルートを確認する。 </td> </tr> </tbody> </table>	災害に対する考慮事項	対応状況	機器の防護・機能確保 機器の保管場所等の考慮 （津波よりも高い位置の保管、津波から防護できる構造物内の保管）	<ul style="list-style-type: none"> ・原子炉建屋及び原子炉周辺建屋に対して浸水防護策を施していることから、基準津波を一定程度超えるが敷地高さに到達しない津波・洪水に対しては、当該の建屋内に配置されている設備についての機能は維持される。 ・基準津波に対し十分な余裕を持たせた、E.L. + 約14m以上の高台に可搬型重大事故等対処設備を配置しており、仮に基準津波を一定程度超える津波が発生した場合においても容易に機能喪失はしないものと判断する。 ・主要なパラメータについても、E.L. + 21.3mにおいて可搬型計測器による計測が可能としており、基準津波を一定程度超える津波が発生した場合においてもプラントの状況把握に期待できる。 	機器の配備 機器の輸送手段の確保 （輸送経路の障害の考慮）		<ul style="list-style-type: none"> ・可搬型重大事故等対処設備については、津波、斜面崩落、段差発生の影響を受けないE.L. + 約14m以上の高台に配備している。また、電源供給や復水ビット等への補給についてもE.L. + 約31m以上において実施できることからガレキは発生しないものと考えられる。 ・E.L. + 約13m以上においてガレキ等により機器の輸送に影響が発生する場合に備えて配備しているブルドーザにより、ガレキを撤去しアクセスルートを確認する。 	<table border="1"> <thead> <tr> <th>災害に対する考慮事項</th> <th>対応状況</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> 機器の防護・機能確保 機器の保管場所等の考慮 （津波よりも高い位置の保管、津波から防護できる構造物内の保管） </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・敷地に遡上する津波を超える津波に対して余裕を有する高台に保管する。 </td> </tr> <tr> <td> 機器の配備 機器の輸送手段の確保 （輸送経路の障害の考慮） </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・可搬型重大事故等対処設備のアクセスルートについては、津波によるがれき等を考慮し、ブルドーザを配備する。 ・恒設ライン等への接続箇所を2箇所設置し、これらの接続箇所は分散して配置する。 ・一時的にアクセス不能となる可能性があるが、津波が引いた後にはアクセス可能となる。 ・各々の接続箇所までのアクセスルートは、それぞれ別のルートで確保する。 </td> </tr> </tbody> </table>	災害に対する考慮事項	対応状況	機器の防護・機能確保 機器の保管場所等の考慮 （津波よりも高い位置の保管、津波から防護できる構造物内の保管）	<ul style="list-style-type: none"> ・敷地に遡上する津波を超える津波に対して余裕を有する高台に保管する。 	機器の配備 機器の輸送手段の確保 （輸送経路の障害の考慮）	<ul style="list-style-type: none"> ・可搬型重大事故等対処設備のアクセスルートについては、津波によるがれき等を考慮し、ブルドーザを配備する。 ・恒設ライン等への接続箇所を2箇所設置し、これらの接続箇所は分散して配置する。 ・一時的にアクセス不能となる可能性があるが、津波が引いた後にはアクセス可能となる。 ・各々の接続箇所までのアクセスルートは、それぞれ別のルートで確保する。 	<table border="1"> <thead> <tr> <th>災害に対する考慮事項</th> <th>対応状況</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> 機器の防護・機能確保 機器の保管場所等の考慮 （津波よりも高い位置の保管、津波から防護できる構造物内の保管） </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・原子炉建屋及び原子炉補助建屋に対して浸水防護策を施していることから、津波によるT.P.15m未満の浸水に対しては、当該建屋内に配置されている設備についての機能が維持される。 ・屋外の可搬型重大事故等対処設備は、基準津波を超える津波に対して余裕を有する高台（T.P.31m以上）に保管する。 ・主要なプラントパラメータについて、T.P.28.9m以上において可搬型計測器による計測を可能としており、基準津波を超える津波が発生した場合においてもプラントの状況把握に期待できる。 </td> </tr> <tr> <td> 機器の配備 機器の輸送手段の確保 （輸送経路の障害の考慮） </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・可搬型重大事故等対処設備のアクセスルートについては、津波によるガレキ等を考慮し、ホイールローダ及びバックホウをT.P.31m以上の高台に保管する。 ・また、高台（T.P.31m以上）に保管する可搬型重大事故等対処設備による電源供給や燃料取替用ビット等への補給等について、T.P.31mにおいても実施可能な設備構成とすることで、津波によるガレキの影響を受けないものと考えられる。 </td> </tr> <tr> <td> 機器の配備 機器の輸送手段の確保 （輸送経路の障害の考慮） </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・常設ラインへの接続箇所を2箇所設置しており、これらの接続箇所は分散して配置する。 ・このうち1箇所は、基準津波を超える津波に対して余裕を有する高所（T.P.31m以上）に設置することから、当該箇所へのアクセス性に影響はない。もう1箇所の接続箇所については、一時的にアクセス不能となる可能性があるが、津波が引いた後にはアクセス可能となる。 ・各々の接続箇所までのアクセスルートは、それぞれ別のルートで確保する。 ・燃料油については、地下に埋設してある燃料油貯油槽からの給油に期待することから、敷地内に津波が発生した直後は給油することができないが、津波が引いた後には給油可能となる。E.L. + 15.5mに設置してある燃料油貯蔵タンクのペントラインは、基準津波に対して十分余裕を持った高さに設置されており、先端部から海水が流入することはない。 </td> </tr> </tbody> </table>	災害に対する考慮事項	対応状況	機器の防護・機能確保 機器の保管場所等の考慮 （津波よりも高い位置の保管、津波から防護できる構造物内の保管）	<ul style="list-style-type: none"> ・原子炉建屋及び原子炉補助建屋に対して浸水防護策を施していることから、津波によるT.P.15m未満の浸水に対しては、当該建屋内に配置されている設備についての機能が維持される。 ・屋外の可搬型重大事故等対処設備は、基準津波を超える津波に対して余裕を有する高台（T.P.31m以上）に保管する。 ・主要なプラントパラメータについて、T.P.28.9m以上において可搬型計測器による計測を可能としており、基準津波を超える津波が発生した場合においてもプラントの状況把握に期待できる。 	機器の配備 機器の輸送手段の確保 （輸送経路の障害の考慮）	<ul style="list-style-type: none"> ・可搬型重大事故等対処設備のアクセスルートについては、津波によるガレキ等を考慮し、ホイールローダ及びバックホウをT.P.31m以上の高台に保管する。 ・また、高台（T.P.31m以上）に保管する可搬型重大事故等対処設備による電源供給や燃料取替用ビット等への補給等について、T.P.31mにおいても実施可能な設備構成とすることで、津波によるガレキの影響を受けないものと考えられる。 	機器の配備 機器の輸送手段の確保 （輸送経路の障害の考慮）	<ul style="list-style-type: none"> ・常設ラインへの接続箇所を2箇所設置しており、これらの接続箇所は分散して配置する。 ・このうち1箇所は、基準津波を超える津波に対して余裕を有する高所（T.P.31m以上）に設置することから、当該箇所へのアクセス性に影響はない。もう1箇所の接続箇所については、一時的にアクセス不能となる可能性があるが、津波が引いた後にはアクセス可能となる。 ・各々の接続箇所までのアクセスルートは、それぞれ別のルートで確保する。 ・燃料油については、地下に埋設してある燃料油貯油槽からの給油に期待することから、敷地内に津波が発生した直後は給油することができないが、津波が引いた後には給油可能となる。E.L. + 15.5mに設置してある燃料油貯蔵タンクのペントラインは、基準津波に対して十分余裕を持った高さに設置されており、先端部から海水が流入することはない。
災害に対する考慮事項	対応状況																						
機器の防護・機能確保 機器の保管場所等の考慮 （津波よりも高い位置の保管、津波から防護できる構造物内の保管）	<ul style="list-style-type: none"> ・原子炉建屋及び原子炉周辺建屋に対して浸水防護策を施していることから、基準津波を一定程度超えるが敷地高さに到達しない津波・洪水に対しては、当該の建屋内に配置されている設備についての機能は維持される。 ・基準津波に対し十分な余裕を持たせた、E.L. + 約14m以上の高台に可搬型重大事故等対処設備を配置しており、仮に基準津波を一定程度超える津波が発生した場合においても容易に機能喪失はしないものと判断する。 ・主要なパラメータについても、E.L. + 21.3mにおいて可搬型計測器による計測が可能としており、基準津波を一定程度超える津波が発生した場合においてもプラントの状況把握に期待できる。 																						
機器の配備 機器の輸送手段の確保 （輸送経路の障害の考慮）	<ul style="list-style-type: none"> ・可搬型重大事故等対処設備については、津波、斜面崩落、段差発生の影響を受けないE.L. + 約14m以上の高台に配備している。また、電源供給や復水ビット等への補給についてもE.L. + 約31m以上において実施できることからガレキは発生しないものと考えられる。 ・E.L. + 約13m以上においてガレキ等により機器の輸送に影響が発生する場合に備えて配備しているブルドーザにより、ガレキを撤去しアクセスルートを確認する。 																						
災害に対する考慮事項	対応状況																						
機器の防護・機能確保 機器の保管場所等の考慮 （津波よりも高い位置の保管、津波から防護できる構造物内の保管）	<ul style="list-style-type: none"> ・敷地に遡上する津波を超える津波に対して余裕を有する高台に保管する。 																						
機器の配備 機器の輸送手段の確保 （輸送経路の障害の考慮）	<ul style="list-style-type: none"> ・可搬型重大事故等対処設備のアクセスルートについては、津波によるがれき等を考慮し、ブルドーザを配備する。 ・恒設ライン等への接続箇所を2箇所設置し、これらの接続箇所は分散して配置する。 ・一時的にアクセス不能となる可能性があるが、津波が引いた後にはアクセス可能となる。 ・各々の接続箇所までのアクセスルートは、それぞれ別のルートで確保する。 																						
災害に対する考慮事項	対応状況																						
機器の防護・機能確保 機器の保管場所等の考慮 （津波よりも高い位置の保管、津波から防護できる構造物内の保管）	<ul style="list-style-type: none"> ・原子炉建屋及び原子炉補助建屋に対して浸水防護策を施していることから、津波によるT.P.15m未満の浸水に対しては、当該建屋内に配置されている設備についての機能が維持される。 ・屋外の可搬型重大事故等対処設備は、基準津波を超える津波に対して余裕を有する高台（T.P.31m以上）に保管する。 ・主要なプラントパラメータについて、T.P.28.9m以上において可搬型計測器による計測を可能としており、基準津波を超える津波が発生した場合においてもプラントの状況把握に期待できる。 																						
機器の配備 機器の輸送手段の確保 （輸送経路の障害の考慮）	<ul style="list-style-type: none"> ・可搬型重大事故等対処設備のアクセスルートについては、津波によるガレキ等を考慮し、ホイールローダ及びバックホウをT.P.31m以上の高台に保管する。 ・また、高台（T.P.31m以上）に保管する可搬型重大事故等対処設備による電源供給や燃料取替用ビット等への補給等について、T.P.31mにおいても実施可能な設備構成とすることで、津波によるガレキの影響を受けないものと考えられる。 																						
機器の配備 機器の輸送手段の確保 （輸送経路の障害の考慮）	<ul style="list-style-type: none"> ・常設ラインへの接続箇所を2箇所設置しており、これらの接続箇所は分散して配置する。 ・このうち1箇所は、基準津波を超える津波に対して余裕を有する高所（T.P.31m以上）に設置することから、当該箇所へのアクセス性に影響はない。もう1箇所の接続箇所については、一時的にアクセス不能となる可能性があるが、津波が引いた後にはアクセス可能となる。 ・各々の接続箇所までのアクセスルートは、それぞれ別のルートで確保する。 ・燃料油については、地下に埋設してある燃料油貯油槽からの給油に期待することから、敷地内に津波が発生した直後は給油することができないが、津波が引いた後には給油可能となる。E.L. + 15.5mに設置してある燃料油貯蔵タンクのペントラインは、基準津波に対して十分余裕を持った高さに設置されており、先端部から海水が流入することはない。 																						
<table border="1"> <thead> <tr> <th>災害に対する考慮事項</th> <th>対応状況</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> 機器の接続箇所へのアクセス性の確保 </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・恒設ラインへの接続箇所を2箇所設置しており、各々の接続箇所までのアクセスルートがそれぞれ別ルートで確保されている。また、可搬型重大事故等対処設備については、津波、斜面崩落、段差発生の影響を受けないE.L. + 約14m以上の高台に配備されていることから、仮に基準津波を一定程度超える津波が発生した場合においても当該箇所へのアクセス性に影響はない。 ・E.L. + 3.0mの恒設ラインへの接続箇所については、利用できない可能性がある。 ・燃料油については、地下に埋設してある燃料油貯蔵タンクからの給油に期待することから、敷地内に津波が発生した直後は給油することができないが、津波が引いた後には給油可能となる。E.L. + 15.5mに設置してある燃料油貯蔵タンクのペントラインは、基準津波に対して十分余裕を持った高さに設置されており、先端部から海水が流入することはない。 </td> </tr> </tbody> </table>	災害に対する考慮事項	対応状況	機器の接続箇所へのアクセス性の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・恒設ラインへの接続箇所を2箇所設置しており、各々の接続箇所までのアクセスルートがそれぞれ別ルートで確保されている。また、可搬型重大事故等対処設備については、津波、斜面崩落、段差発生の影響を受けないE.L. + 約14m以上の高台に配備されていることから、仮に基準津波を一定程度超える津波が発生した場合においても当該箇所へのアクセス性に影響はない。 ・E.L. + 3.0mの恒設ラインへの接続箇所については、利用できない可能性がある。 ・燃料油については、地下に埋設してある燃料油貯蔵タンクからの給油に期待することから、敷地内に津波が発生した直後は給油することができないが、津波が引いた後には給油可能となる。E.L. + 15.5mに設置してある燃料油貯蔵タンクのペントラインは、基準津波に対して十分余裕を持った高さに設置されており、先端部から海水が流入することはない。 																			
災害に対する考慮事項	対応状況																						
機器の接続箇所へのアクセス性の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・恒設ラインへの接続箇所を2箇所設置しており、各々の接続箇所までのアクセスルートがそれぞれ別ルートで確保されている。また、可搬型重大事故等対処設備については、津波、斜面崩落、段差発生の影響を受けないE.L. + 約14m以上の高台に配備されていることから、仮に基準津波を一定程度超える津波が発生した場合においても当該箇所へのアクセス性に影響はない。 ・E.L. + 3.0mの恒設ラインへの接続箇所については、利用できない可能性がある。 ・燃料油については、地下に埋設してある燃料油貯蔵タンクからの給油に期待することから、敷地内に津波が発生した直後は給油することができないが、津波が引いた後には給油可能となる。E.L. + 15.5mに設置してある燃料油貯蔵タンクのペントラインは、基準津波に対して十分余裕を持った高さに設置されており、先端部から海水が流入することはない。 																						

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

2.1 可搬型設備等による対応

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由						
○大規模竜巻									
<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="96 272 197 292">災害に対する考慮事項</th> <th data-bbox="443 272 647 292">対応状況</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="96 296 197 759"> 機器の防護・機能確保 機器の保管場所等の考慮 （強風に対応できる構造物内での保管、保管場所の分散） </td> <td data-bbox="320 296 647 759"> <ul style="list-style-type: none"> 原子炉建屋及び原子炉周辺建屋については、竜巻（台風）に対して頑健性を有すると考えられることから、建屋内に保管している機器については健全であると判断される。 F3を超える風速100m/sの竜巻を想定しても、可搬型重大事故等対処設備については100m以上の離隔距離を確保した保管場所に分散させて保管しており、竜巻被害幅、移動方向の傾向分析から判断して同時に機能喪失しないことが期待できる。 風速100m/sを超える竜巻の発生確率は極めて低いが、仮に発生した場合でも、分散配置、固縛により対応の耐性を有していることから、同時にすべての可搬型重大事故等対処設備が機能喪失する可能性は低いものと判断する。 可搬型重大事故等対処設備は、設計基準を超える竜巻により破損する可能性のある海水ポンプ室及びエリアと、竜巻被害幅及び進路方向を考慮した対応の離隔距離を置いて配備していることから、これらが同時に機能喪失に至ることはないものと期待できる。 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="96 764 197 1018"> 機器の配備 機器の輸送手段の確保 （輸送経路の障害の考慮） </td> <td data-bbox="320 764 647 1018"> <ul style="list-style-type: none"> ガレキ等により機器の輸送に影響が発生する場合には、ブルドーザが分散配置されており、進路方向の傾向分析から判断して同時に機能を喪失する可能性は低いことから、ガレキを撤去しアクセスルートを確保できるものと判断する。 可搬型重大事故等対処設備については分散配置して保管しており、また、当該設備による原子炉建屋へのアクセスルートについては複数ルート確保されていることから、竜巻により同時に、複数の可搬型設備に係るアクセスルートが喪失しないものと判断する。 </td> </tr> </tbody> </table>	災害に対する考慮事項	対応状況	機器の防護・機能確保 機器の保管場所等の考慮 （強風に対応できる構造物内での保管、保管場所の分散）	<ul style="list-style-type: none"> 原子炉建屋及び原子炉周辺建屋については、竜巻（台風）に対して頑健性を有すると考えられることから、建屋内に保管している機器については健全であると判断される。 F3を超える風速100m/sの竜巻を想定しても、可搬型重大事故等対処設備については100m以上の離隔距離を確保した保管場所に分散させて保管しており、竜巻被害幅、移動方向の傾向分析から判断して同時に機能喪失しないことが期待できる。 風速100m/sを超える竜巻の発生確率は極めて低いが、仮に発生した場合でも、分散配置、固縛により対応の耐性を有していることから、同時にすべての可搬型重大事故等対処設備が機能喪失する可能性は低いものと判断する。 可搬型重大事故等対処設備は、設計基準を超える竜巻により破損する可能性のある海水ポンプ室及びエリアと、竜巻被害幅及び進路方向を考慮した対応の離隔距離を置いて配備していることから、これらが同時に機能喪失に至ることはないものと期待できる。 	機器の配備 機器の輸送手段の確保 （輸送経路の障害の考慮）	<ul style="list-style-type: none"> ガレキ等により機器の輸送に影響が発生する場合には、ブルドーザが分散配置されており、進路方向の傾向分析から判断して同時に機能を喪失する可能性は低いことから、ガレキを撤去しアクセスルートを確保できるものと判断する。 可搬型重大事故等対処設備については分散配置して保管しており、また、当該設備による原子炉建屋へのアクセスルートについては複数ルート確保されていることから、竜巻により同時に、複数の可搬型設備に係るアクセスルートが喪失しないものと判断する。 			<p>■想定する自然災害の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> 泊は、女川と同様に、大規模損壊に至る可能性のある自然災害として竜巻を特定したが、その影響は、地震及び津波の影響の包含されるものと評価しており、竜巻に対する考慮事項は整理しない。
災害に対する考慮事項	対応状況								
機器の防護・機能確保 機器の保管場所等の考慮 （強風に対応できる構造物内での保管、保管場所の分散）	<ul style="list-style-type: none"> 原子炉建屋及び原子炉周辺建屋については、竜巻（台風）に対して頑健性を有すると考えられることから、建屋内に保管している機器については健全であると判断される。 F3を超える風速100m/sの竜巻を想定しても、可搬型重大事故等対処設備については100m以上の離隔距離を確保した保管場所に分散させて保管しており、竜巻被害幅、移動方向の傾向分析から判断して同時に機能喪失しないことが期待できる。 風速100m/sを超える竜巻の発生確率は極めて低いが、仮に発生した場合でも、分散配置、固縛により対応の耐性を有していることから、同時にすべての可搬型重大事故等対処設備が機能喪失する可能性は低いものと判断する。 可搬型重大事故等対処設備は、設計基準を超える竜巻により破損する可能性のある海水ポンプ室及びエリアと、竜巻被害幅及び進路方向を考慮した対応の離隔距離を置いて配備していることから、これらが同時に機能喪失に至ることはないものと期待できる。 								
機器の配備 機器の輸送手段の確保 （輸送経路の障害の考慮）	<ul style="list-style-type: none"> ガレキ等により機器の輸送に影響が発生する場合には、ブルドーザが分散配置されており、進路方向の傾向分析から判断して同時に機能を喪失する可能性は低いことから、ガレキを撤去しアクセスルートを確保できるものと判断する。 可搬型重大事故等対処設備については分散配置して保管しており、また、当該設備による原子炉建屋へのアクセスルートについては複数ルート確保されていることから、竜巻により同時に、複数の可搬型設備に係るアクセスルートが喪失しないものと判断する。 								
<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="96 1054 197 1074">災害に対する考慮事項</th> <th data-bbox="443 1054 647 1074">対応状況</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="96 1078 197 1278"> 機器の接続箇所へのアクセス性の確保 </td> <td data-bbox="320 1078 647 1278"> <ul style="list-style-type: none"> 台風については強風の状態が当面継続する可能性があるが、検知までに時間的な余裕があることから、機器の接続等を予め実施する等の事前準備を実施することが可能である。ただし、台風によって屋外の海水ポンプが破損する可能性は考えにくいことから、台風に特化した可搬型重大事故等対処設備への配慮は必要ないものと判断する。 竜巻については、継続時間は短いことから強風状態でのアクセス性確保の考慮は不要と判断する。 </td> </tr> </tbody> </table>	災害に対する考慮事項	対応状況	機器の接続箇所へのアクセス性の確保	<ul style="list-style-type: none"> 台風については強風の状態が当面継続する可能性があるが、検知までに時間的な余裕があることから、機器の接続等を予め実施する等の事前準備を実施することが可能である。ただし、台風によって屋外の海水ポンプが破損する可能性は考えにくいことから、台風に特化した可搬型重大事故等対処設備への配慮は必要ないものと判断する。 竜巻については、継続時間は短いことから強風状態でのアクセス性確保の考慮は不要と判断する。 					
災害に対する考慮事項	対応状況								
機器の接続箇所へのアクセス性の確保	<ul style="list-style-type: none"> 台風については強風の状態が当面継続する可能性があるが、検知までに時間的な余裕があることから、機器の接続等を予め実施する等の事前準備を実施することが可能である。ただし、台風によって屋外の海水ポンプが破損する可能性は考えにくいことから、台風に特化した可搬型重大事故等対処設備への配慮は必要ないものと判断する。 竜巻については、継続時間は短いことから強風状態でのアクセス性確保の考慮は不要と判断する。 								

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

2.1 可搬型設備等による対応

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																										
<p>○故意による大型航空機の衝突</p> <table border="1" data-bbox="91 260 645 938"> <thead> <tr> <th>災害に対する考慮事項</th> <th>対応状況</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> <table border="1"> <tr> <td>機器の防護・機能確保</td> <td> 機器の保管場所等の考慮 （頑健性のある構造物内での保管、原子炉建屋からの100m隔離） </td> </tr> </table> </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 可搬型重大事故等対処設備については、分散配置して保管しており、同時に機能喪失しないものと判断する。 可搬型重大事故等対処設備は、原子炉建屋から100m以上隔離して配置していることから、原子炉建屋内外等にある常設重大事故等対処設備及び設計基準事故対処設備と同時に機能喪失に至ることはないものと判断する。 </td> </tr> <tr> <td> <table border="1"> <tr> <td>機器の配備</td> <td> 機器の輸送手段の確保（輸送経路の障害の考慮） </td> </tr> </table> </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 可搬型重大事故等対処設備に係るアクセスルートについては、西側、東側の2ルート確保されており、大型航空機が原子炉建屋に衝突しても1ルートの確保は期待できる。また、アクセスルートでガレキが発生した場合においては、原子炉建屋から100m隔離された場所に配備しているブルドーザにより、ガレキを撤去しアクセスルートを確認する。 故意による大型航空機の衝突により大規模な燃料火災が発生した場合には、原子炉建屋から100m以上離れた場所に配置している化学消防自動車及び泡消火設備により消火活動を行って、アクセスルートを確認する。 </td> </tr> <tr> <td> <table border="1"> <tr> <td>機器の接続箇所へのアクセス性の確保</td> <td> ・恒設ラインへの接続箇所を2箇所設置しており、これらは位置的な分散）が図られるとともに、各々の接続箇所までのアクセスルートが別ルートで確保できていることから、同時に機能喪失に至ることはないものと判断する。 </td> </tr> </table> </td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	災害に対する考慮事項	対応状況	<table border="1"> <tr> <td>機器の防護・機能確保</td> <td> 機器の保管場所等の考慮 （頑健性のある構造物内での保管、原子炉建屋からの100m隔離） </td> </tr> </table>	機器の防護・機能確保	機器の保管場所等の考慮 （頑健性のある構造物内での保管、原子炉建屋からの100m隔離）	<ul style="list-style-type: none"> 可搬型重大事故等対処設備については、分散配置して保管しており、同時に機能喪失しないものと判断する。 可搬型重大事故等対処設備は、原子炉建屋から100m以上隔離して配置していることから、原子炉建屋内外等にある常設重大事故等対処設備及び設計基準事故対処設備と同時に機能喪失に至ることはないものと判断する。 	<table border="1"> <tr> <td>機器の配備</td> <td> 機器の輸送手段の確保（輸送経路の障害の考慮） </td> </tr> </table>	機器の配備	機器の輸送手段の確保（輸送経路の障害の考慮）	<ul style="list-style-type: none"> 可搬型重大事故等対処設備に係るアクセスルートについては、西側、東側の2ルート確保されており、大型航空機が原子炉建屋に衝突しても1ルートの確保は期待できる。また、アクセスルートでガレキが発生した場合においては、原子炉建屋から100m隔離された場所に配備しているブルドーザにより、ガレキを撤去しアクセスルートを確認する。 故意による大型航空機の衝突により大規模な燃料火災が発生した場合には、原子炉建屋から100m以上離れた場所に配置している化学消防自動車及び泡消火設備により消火活動を行って、アクセスルートを確認する。 	<table border="1"> <tr> <td>機器の接続箇所へのアクセス性の確保</td> <td> ・恒設ラインへの接続箇所を2箇所設置しており、これらは位置的な分散）が図られるとともに、各々の接続箇所までのアクセスルートが別ルートで確保できていることから、同時に機能喪失に至ることはないものと判断する。 </td> </tr> </table>	機器の接続箇所へのアクセス性の確保	・恒設ラインへの接続箇所を2箇所設置しており、これらは位置的な分散）が図られるとともに、各々の接続箇所までのアクセスルートが別ルートで確保できていることから、同時に機能喪失に至ることはないものと判断する。		<p>○故意による大型航空機の衝突</p> <table border="1" data-bbox="667 260 1220 767"> <thead> <tr> <th>災害に対する考慮事項</th> <th>対応状況</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> <table border="1"> <tr> <td>機器の防護・機能確保</td> <td> 機器の保管場所等の考慮 （頑健性のある構造物内での保管、原子炉建屋からの100m隔離） </td> </tr> </table> </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 屋外に保管する可搬型重大事故等対処設備は、故意による大型航空機の衝突その他のテロリズムによる影響を考慮して、原子炉建屋及び制御建屋から100m以上の隔離距離を確保するとともに、当該可搬型重大事故等対処設備がその機能を代替する屋外の設計基準対処設備及び常設重大事故等対処設備から100m以上の隔離距離を確保した上で、当該建屋及び当該設備と同時に影響を受けない場所に分散して保管する。 </td> </tr> <tr> <td> <table border="1"> <tr> <td>機器の配備</td> <td> 機器の輸送手段の確保（輸送経路の障害の考慮） </td> </tr> </table> </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 想定される重大事故等の対処に必要な可搬型重大事故等対処設備のアクセスルートについては、複数のルートを確保する。また、アクセスルートでガレキが発生した場合においても、原子炉建屋から100m以上隔離された場所に配備しているブルドーザにより、ガレキを撤去することでアクセスルートを確認する。 大規模な燃料火災が発生した場合には、原子炉建屋から100m以上離れた場所に配置している化学消防自動車等の泡消火設備により消火活動を行って、アクセスルートを確認する。 </td> </tr> <tr> <td> <table border="1"> <tr> <td>機器の接続箇所へのアクセス性の確保</td> <td> ・恒設ライン等への接続箇所を2箇所設置しており、これらの接続箇所は分散して配置する。 ・各々の接続箇所までのアクセスルートは、それぞれ別のルートで確保する。 </td> </tr> </table> </td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	災害に対する考慮事項	対応状況	<table border="1"> <tr> <td>機器の防護・機能確保</td> <td> 機器の保管場所等の考慮 （頑健性のある構造物内での保管、原子炉建屋からの100m隔離） </td> </tr> </table>	機器の防護・機能確保	機器の保管場所等の考慮 （頑健性のある構造物内での保管、原子炉建屋からの100m隔離）	<ul style="list-style-type: none"> 屋外に保管する可搬型重大事故等対処設備は、故意による大型航空機の衝突その他のテロリズムによる影響を考慮して、原子炉建屋及び制御建屋から100m以上の隔離距離を確保するとともに、当該可搬型重大事故等対処設備がその機能を代替する屋外の設計基準対処設備及び常設重大事故等対処設備から100m以上の隔離距離を確保した上で、当該建屋及び当該設備と同時に影響を受けない場所に分散して保管する。 	<table border="1"> <tr> <td>機器の配備</td> <td> 機器の輸送手段の確保（輸送経路の障害の考慮） </td> </tr> </table>	機器の配備	機器の輸送手段の確保（輸送経路の障害の考慮）	<ul style="list-style-type: none"> 想定される重大事故等の対処に必要な可搬型重大事故等対処設備のアクセスルートについては、複数のルートを確保する。また、アクセスルートでガレキが発生した場合においても、原子炉建屋から100m以上隔離された場所に配備しているブルドーザにより、ガレキを撤去することでアクセスルートを確認する。 大規模な燃料火災が発生した場合には、原子炉建屋から100m以上離れた場所に配置している化学消防自動車等の泡消火設備により消火活動を行って、アクセスルートを確認する。 	<table border="1"> <tr> <td>機器の接続箇所へのアクセス性の確保</td> <td> ・恒設ライン等への接続箇所を2箇所設置しており、これらの接続箇所は分散して配置する。 ・各々の接続箇所までのアクセスルートは、それぞれ別のルートで確保する。 </td> </tr> </table>	機器の接続箇所へのアクセス性の確保	・恒設ライン等への接続箇所を2箇所設置しており、これらの接続箇所は分散して配置する。 ・各々の接続箇所までのアクセスルートは、それぞれ別のルートで確保する。		<p>○故意による大型航空機の衝突</p> <table border="1" data-bbox="1243 260 1787 663"> <thead> <tr> <th>災害に対する考慮事項</th> <th>対応状況</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> <table border="1"> <tr> <td>機器の防護・機能確保</td> <td> 機器の保管場所等の考慮 （頑健性のある構造物内での保管、原子炉建屋からの100m隔離） </td> </tr> </table> </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 可搬型重大事故等対処設備については、分散して保管することから、同時に機能喪失しないものと判断する。 可搬型重大事故等対処設備は、原子炉建屋、原子炉補助建屋及びディーゼル発電機建屋から100m以上の隔離距離を確保して保管することから、原子炉建屋内外等にある常設重大事故等対処設備及び設計基準事故対処設備と同時に機能喪失しないものと判断する。 </td> </tr> <tr> <td> <table border="1"> <tr> <td>機器の配備</td> <td> 機器の輸送手段の確保（輸送経路の障害の考慮） </td> </tr> </table> </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 可搬型重大事故等対処設備に係るアクセスルートについては、西側、東側の2ルート確保することから、大型航空機による原子炉建屋への衝突を想定した場合においても、1ルートの確保は期待できる。また、アクセスルートでガレキが発生した場合においては、原子炉建屋から100m以上隔離された場所に配備しているホイールロータ及びバックホウにより、ガレキを撤去することでアクセスルートを確認する。 大規模な航空機燃料火災が発生した場合には、原子炉建屋から100m以上離れた場所に配置している化学消防自動車等の泡消火設備により消火活動を行って、アクセスルートを確認する。 </td> </tr> <tr> <td> <table border="1"> <tr> <td>機器の接続箇所へのアクセス性の確保</td> <td> ・常設ラインへの接続箇所を2箇所設置しており、これらは分散して配置する。 ・各々の接続箇所までのアクセスルートは、それぞれ別のルートで確保する。 </td> </tr> </table> </td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	災害に対する考慮事項	対応状況	<table border="1"> <tr> <td>機器の防護・機能確保</td> <td> 機器の保管場所等の考慮 （頑健性のある構造物内での保管、原子炉建屋からの100m隔離） </td> </tr> </table>	機器の防護・機能確保	機器の保管場所等の考慮 （頑健性のある構造物内での保管、原子炉建屋からの100m隔離）	<ul style="list-style-type: none"> 可搬型重大事故等対処設備については、分散して保管することから、同時に機能喪失しないものと判断する。 可搬型重大事故等対処設備は、原子炉建屋、原子炉補助建屋及びディーゼル発電機建屋から100m以上の隔離距離を確保して保管することから、原子炉建屋内外等にある常設重大事故等対処設備及び設計基準事故対処設備と同時に機能喪失しないものと判断する。 	<table border="1"> <tr> <td>機器の配備</td> <td> 機器の輸送手段の確保（輸送経路の障害の考慮） </td> </tr> </table>	機器の配備	機器の輸送手段の確保（輸送経路の障害の考慮）	<ul style="list-style-type: none"> 可搬型重大事故等対処設備に係るアクセスルートについては、西側、東側の2ルート確保することから、大型航空機による原子炉建屋への衝突を想定した場合においても、1ルートの確保は期待できる。また、アクセスルートでガレキが発生した場合においては、原子炉建屋から100m以上隔離された場所に配備しているホイールロータ及びバックホウにより、ガレキを撤去することでアクセスルートを確認する。 大規模な航空機燃料火災が発生した場合には、原子炉建屋から100m以上離れた場所に配置している化学消防自動車等の泡消火設備により消火活動を行って、アクセスルートを確認する。 	<table border="1"> <tr> <td>機器の接続箇所へのアクセス性の確保</td> <td> ・常設ラインへの接続箇所を2箇所設置しており、これらは分散して配置する。 ・各々の接続箇所までのアクセスルートは、それぞれ別のルートで確保する。 </td> </tr> </table>	機器の接続箇所へのアクセス性の確保	・常設ラインへの接続箇所を2箇所設置しており、これらは分散して配置する。 ・各々の接続箇所までのアクセスルートは、それぞれ別のルートで確保する。		<p>【大飯】【女川】記載表現の相違 ・泊は、記載内容の充実の観点から、記載表現を大飯に合わせている。</p>
災害に対する考慮事項	対応状況																																												
<table border="1"> <tr> <td>機器の防護・機能確保</td> <td> 機器の保管場所等の考慮 （頑健性のある構造物内での保管、原子炉建屋からの100m隔離） </td> </tr> </table>	機器の防護・機能確保	機器の保管場所等の考慮 （頑健性のある構造物内での保管、原子炉建屋からの100m隔離）	<ul style="list-style-type: none"> 可搬型重大事故等対処設備については、分散配置して保管しており、同時に機能喪失しないものと判断する。 可搬型重大事故等対処設備は、原子炉建屋から100m以上隔離して配置していることから、原子炉建屋内外等にある常設重大事故等対処設備及び設計基準事故対処設備と同時に機能喪失に至ることはないものと判断する。 																																										
機器の防護・機能確保	機器の保管場所等の考慮 （頑健性のある構造物内での保管、原子炉建屋からの100m隔離）																																												
<table border="1"> <tr> <td>機器の配備</td> <td> 機器の輸送手段の確保（輸送経路の障害の考慮） </td> </tr> </table>	機器の配備	機器の輸送手段の確保（輸送経路の障害の考慮）	<ul style="list-style-type: none"> 可搬型重大事故等対処設備に係るアクセスルートについては、西側、東側の2ルート確保されており、大型航空機が原子炉建屋に衝突しても1ルートの確保は期待できる。また、アクセスルートでガレキが発生した場合においては、原子炉建屋から100m隔離された場所に配備しているブルドーザにより、ガレキを撤去しアクセスルートを確認する。 故意による大型航空機の衝突により大規模な燃料火災が発生した場合には、原子炉建屋から100m以上離れた場所に配置している化学消防自動車及び泡消火設備により消火活動を行って、アクセスルートを確認する。 																																										
機器の配備	機器の輸送手段の確保（輸送経路の障害の考慮）																																												
<table border="1"> <tr> <td>機器の接続箇所へのアクセス性の確保</td> <td> ・恒設ラインへの接続箇所を2箇所設置しており、これらは位置的な分散）が図られるとともに、各々の接続箇所までのアクセスルートが別ルートで確保できていることから、同時に機能喪失に至ることはないものと判断する。 </td> </tr> </table>	機器の接続箇所へのアクセス性の確保	・恒設ラインへの接続箇所を2箇所設置しており、これらは位置的な分散）が図られるとともに、各々の接続箇所までのアクセスルートが別ルートで確保できていることから、同時に機能喪失に至ることはないものと判断する。																																											
機器の接続箇所へのアクセス性の確保	・恒設ラインへの接続箇所を2箇所設置しており、これらは位置的な分散）が図られるとともに、各々の接続箇所までのアクセスルートが別ルートで確保できていることから、同時に機能喪失に至ることはないものと判断する。																																												
災害に対する考慮事項	対応状況																																												
<table border="1"> <tr> <td>機器の防護・機能確保</td> <td> 機器の保管場所等の考慮 （頑健性のある構造物内での保管、原子炉建屋からの100m隔離） </td> </tr> </table>	機器の防護・機能確保	機器の保管場所等の考慮 （頑健性のある構造物内での保管、原子炉建屋からの100m隔離）	<ul style="list-style-type: none"> 屋外に保管する可搬型重大事故等対処設備は、故意による大型航空機の衝突その他のテロリズムによる影響を考慮して、原子炉建屋及び制御建屋から100m以上の隔離距離を確保するとともに、当該可搬型重大事故等対処設備がその機能を代替する屋外の設計基準対処設備及び常設重大事故等対処設備から100m以上の隔離距離を確保した上で、当該建屋及び当該設備と同時に影響を受けない場所に分散して保管する。 																																										
機器の防護・機能確保	機器の保管場所等の考慮 （頑健性のある構造物内での保管、原子炉建屋からの100m隔離）																																												
<table border="1"> <tr> <td>機器の配備</td> <td> 機器の輸送手段の確保（輸送経路の障害の考慮） </td> </tr> </table>	機器の配備	機器の輸送手段の確保（輸送経路の障害の考慮）	<ul style="list-style-type: none"> 想定される重大事故等の対処に必要な可搬型重大事故等対処設備のアクセスルートについては、複数のルートを確保する。また、アクセスルートでガレキが発生した場合においても、原子炉建屋から100m以上隔離された場所に配備しているブルドーザにより、ガレキを撤去することでアクセスルートを確認する。 大規模な燃料火災が発生した場合には、原子炉建屋から100m以上離れた場所に配置している化学消防自動車等の泡消火設備により消火活動を行って、アクセスルートを確認する。 																																										
機器の配備	機器の輸送手段の確保（輸送経路の障害の考慮）																																												
<table border="1"> <tr> <td>機器の接続箇所へのアクセス性の確保</td> <td> ・恒設ライン等への接続箇所を2箇所設置しており、これらの接続箇所は分散して配置する。 ・各々の接続箇所までのアクセスルートは、それぞれ別のルートで確保する。 </td> </tr> </table>	機器の接続箇所へのアクセス性の確保	・恒設ライン等への接続箇所を2箇所設置しており、これらの接続箇所は分散して配置する。 ・各々の接続箇所までのアクセスルートは、それぞれ別のルートで確保する。																																											
機器の接続箇所へのアクセス性の確保	・恒設ライン等への接続箇所を2箇所設置しており、これらの接続箇所は分散して配置する。 ・各々の接続箇所までのアクセスルートは、それぞれ別のルートで確保する。																																												
災害に対する考慮事項	対応状況																																												
<table border="1"> <tr> <td>機器の防護・機能確保</td> <td> 機器の保管場所等の考慮 （頑健性のある構造物内での保管、原子炉建屋からの100m隔離） </td> </tr> </table>	機器の防護・機能確保	機器の保管場所等の考慮 （頑健性のある構造物内での保管、原子炉建屋からの100m隔離）	<ul style="list-style-type: none"> 可搬型重大事故等対処設備については、分散して保管することから、同時に機能喪失しないものと判断する。 可搬型重大事故等対処設備は、原子炉建屋、原子炉補助建屋及びディーゼル発電機建屋から100m以上の隔離距離を確保して保管することから、原子炉建屋内外等にある常設重大事故等対処設備及び設計基準事故対処設備と同時に機能喪失しないものと判断する。 																																										
機器の防護・機能確保	機器の保管場所等の考慮 （頑健性のある構造物内での保管、原子炉建屋からの100m隔離）																																												
<table border="1"> <tr> <td>機器の配備</td> <td> 機器の輸送手段の確保（輸送経路の障害の考慮） </td> </tr> </table>	機器の配備	機器の輸送手段の確保（輸送経路の障害の考慮）	<ul style="list-style-type: none"> 可搬型重大事故等対処設備に係るアクセスルートについては、西側、東側の2ルート確保することから、大型航空機による原子炉建屋への衝突を想定した場合においても、1ルートの確保は期待できる。また、アクセスルートでガレキが発生した場合においては、原子炉建屋から100m以上隔離された場所に配備しているホイールロータ及びバックホウにより、ガレキを撤去することでアクセスルートを確認する。 大規模な航空機燃料火災が発生した場合には、原子炉建屋から100m以上離れた場所に配置している化学消防自動車等の泡消火設備により消火活動を行って、アクセスルートを確認する。 																																										
機器の配備	機器の輸送手段の確保（輸送経路の障害の考慮）																																												
<table border="1"> <tr> <td>機器の接続箇所へのアクセス性の確保</td> <td> ・常設ラインへの接続箇所を2箇所設置しており、これらは分散して配置する。 ・各々の接続箇所までのアクセスルートは、それぞれ別のルートで確保する。 </td> </tr> </table>	機器の接続箇所へのアクセス性の確保	・常設ラインへの接続箇所を2箇所設置しており、これらは分散して配置する。 ・各々の接続箇所までのアクセスルートは、それぞれ別のルートで確保する。																																											
機器の接続箇所へのアクセス性の確保	・常設ラインへの接続箇所を2箇所設置しており、これらは分散して配置する。 ・各々の接続箇所までのアクセスルートは、それぞれ別のルートで確保する。																																												

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

2.1 可搬型設備等による対応

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>添付資料 2.1.10 大規模損壊の発生に備えて配備する資機材について</p> <p>大規模損壊発生時に想定される以下の a. ～ d. の環境下等において、緊急安全対策要員等が事故対応を行うために必要な資機材を表1に示すとおり配備している。</p> <p>なお、e. の資機材については、緊急時対策所及び中央制御室等において必要数を配備することとしており、詳細については表2に示す。（川内ヒアリング）</p> <p>a. 全交流電源喪失発生時の環境で対応するために必要な照明機能を有する資機材</p> <p>b. 地震及び津波の大規模な自然災害による火災、又は故意による大型航空機の衝突による航空機燃料火災の発生時に消火活動を実施するために着用する防護具及び消火剤等の資機材</p> <p>c. 炉心損傷及び原子炉格納容器破損による高線量の環境下において事故対応のために着用するマスク及び線量計等の資機材</p> <p>d. 化学薬品等が流失した場合に事故対応するために着用するマスク及び長靴等の資機材</p> <p>e. 大規模な自然災害により外部支援が受けられないことを想定した事故対応を行うための防護具、線量計及び食料等の資機材</p>	<p>添付資料 2.1.18 大規模損壊の発生に備えて配備する資機材について</p> <p>大規模損壊発生時に想定される以下の a. ～ c. の環境下等において、重大事故等対策要員等が事故対応を行うために必要な資機材を第1表に示すとおり配備する。</p> <p>d. の資機材については、中央制御室及び緊急時対策建屋において必要数を配備することとしており、詳細を第2表に示す。</p> <p>e. の資機材については、詳細を第3表に、f. の資機材については、詳細を第4表に示す。</p> <p>a. 全交流動力電源喪失が発生する環境で対応するために必要な照明機能を有する資機材を配備する。</p> <p>b. 地震及び津波のような大規模な自然災害による油タンク火災、又は故意による大型航空機の衝突に伴う大規模な航空機燃料火災の発生に備え、必要な消火活動を実施するために着用する防護具、消火薬剤等の資機材及び消火設備を配備する。</p> <p>c. 炉心損傷及び原子炉格納容器破損による高線量の環境下において、事故対応のために着用する全面マスク、汚染防護服（タイベック）及び個人線量計等の必要な資機材を配備する。</p> <p>d. 大規模な自然災害により外部支援が受けられない場合も事故対応を行うための防護具、線量計、食糧等の資機材を確保する。</p> <p>e. 大規模損壊発生時において、指揮者と現場間、発電所外等との連絡に必要な通信連絡設備を確保するため、多様な複数の通信連絡設備を整備する。 また、通常の通信連絡設備（自主対策設備）が使用不能な場合を想定した通信連絡設備（重大事故等対処設備）として、衛星電話設備、無線連絡設備、携行型通話装置及び統合原子力防災ネットワークを用いた通信連絡設備を配備する。</p> <p>f. 大規模損壊に特化した手順に使用する資機材を配備する。</p>	<p>添付資料2.1.12 大規模損壊の発生に備えて配備する資機材について</p> <p>大規模損壊発生時に想定される以下の a. ～ d. の環境下等において、運転員、災害対策要員等が事故対応を行うために必要な資機材を表12-1に示すとおり配備する。</p> <p>e. の資機材については、緊急時対策所及び中央制御室等において必要数を配備することとしており、詳細を表12-2に示す。</p> <p>f. の資機材については、詳細を表12-3に、g. の資機材については、詳細を表12-4に示す。</p> <p>a. 全交流動力電源喪失が発生する環境で対応するために必要な照明機能を有する資機材を配備する。</p> <p>b. 地震及び津波のような大規模な自然災害による油タンク火災、又は故意による大型航空機の衝突に伴う大規模な航空機燃料火災の発生に備え、必要な消火活動を実施するために着用する防護具、消火薬剤等の資機材及び消火設備を配備する。</p> <p>c. 炉心損傷及び原子炉格納容器破損による高線量の環境下において、事故対応のために着用するマスク、高線量対応防護服及び個人線量計等の必要な資機材を配備する。</p> <p>d. 化学薬品等が流出した場合に事故対応するために着用するマスク、長靴等の資機材を配備する。</p> <p>e. 大規模な自然災害により外部支援が受けられない場合も事故対応を行うための防護具、線量計、食料等の資機材を確保する。</p> <p>f. 大規模損壊発生時において、指揮者と現場間、発電所外等との連絡に必要な通信連絡設備を確保するため、多様な通信連絡設備を複数整備する。 また、通常の通信連絡設備が使用不能な場合を想定した通信連絡設備として、携行型通話装置、トランシーバ、衛星携帯電話及び統合原子力防災ネットワークに接続する通信連絡設備を配備するとともに、消火活動専用の通信連絡設備としてトランシーバ、衛星携帯電話を配備する。</p> <p>g. 大規模損壊に特化した手順に使用する資機材を配備する。</p>	<p>【大飯】【女川】記載表現の相違</p> <p>【女川】記載内容の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・泊は大飯と同様に化学薬品等の流出時着用する資機材を配備を配備する。（大飯と同様） <p>■記載内容の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・泊は通信連絡設備について記載している。大飯は「添付10-1」として、通信手段の確保について整理している。 <p>■記載方針の相違（女川審査実績反映）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・泊は女川審査実績を反映し、大規模

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

2.1 可搬型設備等による対応

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
			損壊に特化した手順において使用する資機材の配備について記載する。

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

2.1 可搬型設備等による対応

大飯発電所3/4号炉			女川原子力発電所2号炉			泊発電所3号炉			相違理由
表1 重大事故等及び大規模損壊の発生に備えた資機材リスト			第1表 重大事故等及び大規模損壊の発生に備えた資機材リスト			表12-1 重大事故等及び大規模損壊の発生に備えた資機材リスト			【大飯】【女川】記載内容の相違 ・整理方法は異なるが配備する資機材に大きな相違なし。
保管場所	品目	規定値	品目	保管場所	規定値*	品目	保管場所	規程値	
a. 全交流電源喪失発生時の環境で対応するために必要な照明機能を有する資機材			a. 全交流電源喪失発生時の環境で対応するために必要な照明機能を有する資機材			a. 全交流動力電源喪失発生時の環境で対応するために必要な照明機能を有する資機材			
緊急時対策所 第二事務所	ポータブル照明（予備バッテリー含む）	—	ヘッドライト	中央制御室 中央制御室待避所 緊急時対策所	重大事故等対応要領書	LEDヘッドランプ	3号中央制御室 1,2号中央制御室 51a倉庫・車庫 大和門扉横 2号原子炉補助建屋 エナメロン共相変初動対策室	原子力災害対策要領 重大事故等および大規模損壊対応要領	
日中央制御室	ポータブル照明（予備バッテリー含む） 懐中電灯 ランタン ヘッドライト	—	ランタン	中央制御室 中央制御室待避所 緊急時対策所		LED懐中電灯	緊急時対策所 3号中央制御室 51a倉庫・車庫 大和門扉横 2号原子炉補助建屋 1号原子炉補助建屋 2号原子炉補助建屋 緊急時対策所 総合管理事務所		
第一事務所 第一事務所	乾電池 懐中電灯 ヘッドライト	—	懐中電灯	中央制御室		乾電池	51a倉庫・車庫 大和門扉横 2号原子炉補助建屋 1号原子炉補助建屋 2号原子炉補助建屋 緊急時対策所 総合管理事務所		
b. 大規模火災発生時に消火活動を実施するために着用する防護具及び消火剤等の資機材			b. 大規模火災時に消火活動を実施するために着用する防護具及び消火剤等の資機材			b. 大規模火災発生時に消火活動を実施するために着用する防護具及び消火剤等の資機材			
第一事務所 第一出入管理室 1、2号炉補助建屋 アスファルト固化処理	耐熱服（手袋、ヘルメット） 空気呼吸器 ^{※1}	防火管理所達	耐熱服	第3保管エリア 第4保管エリア 事務本館	重大事故等対応要領書	耐熱服	51a倉庫・車庫 3号原子炉補助建屋 緊急時対策所 総合管理事務所		
第二事務所 3、4号炉制御建屋 消防車庫			防火服	事務本館 出入管理所 1号制御建屋更衣室 3号サービス建屋更衣室		防火服	51a倉庫・車庫 3号原子炉補助建屋 緊急時対策所 総合管理事務所		
A中央制御室 B中央制御室 委託消防詰所	空気呼吸器 ^{※1}	防火管理所達	消火薬剤	第3保管エリア 第4保管エリア		消火薬剤	51a倉庫・車庫 1号原子炉補助建屋		
消防車庫	防火服 個人線量計 全面マスク	—							
消防車庫	化学消防自動車 小型動力ポンプ付水樽車 消火薬剤	防火管理所達							
保管場所	品目	規定値	保管場所	品目	規定値	保管場所	品目	規定値	
日中央制御室 第二事務所	セルフエアセット ^{※1} （予備ボンベ含む） 全面マスク	—	日中央制御室 第二事務所	セルフエアセット ^{※1} （予備ボンベ含む） 全面マスク	—	日中央制御室 第二事務所	セルフエアセット ^{※1} （予備ボンベ含む） 全面マスク	—	
可搬型重大事故等対応設備保管場所（屋外）	放水砲 大容量ゼンブ（放水砲用）	大規模損壊所達	可搬型重大事故等対応設備保管場所（屋外）	放水砲 大容量ゼンブ（放水砲用）	—	可搬型重大事故等対応設備保管場所（屋外）	放水砲 大容量ゼンブ（放水砲用）	—	
c. 高線量の環境下で事故対応するために着用するマスク及び線量計等の資機材			c. 高線量の環境下において事故対応するために着用するマスク及び線量計等の資機材			c. 高線量の環境下で事故対応するために着用するマスク及び線量計等の資機材			
緊急時対策所	個人線量計 表面汚染密度測定用サーベイメータ ガンマ線測定用サーベイメータ 緊急時対策所内可搬型エアモニタ 緊急時対策所外可搬型エアモニタ タイベック 綿帽子 靴下 綿手袋 ゴム手袋 全面マスク 交換カートリッジ 靴カバー 長靴 タンクステンベスト ^{※2}	—	緊急時対策所	個人線量計 表面汚染密度測定用サーベイメータ ガンマ線測定用サーベイメータ 緊急時対策所内可搬型エアモニタ 緊急時対策所外可搬型エアモニタ タイベック 綿帽子 靴下 綿手袋 ゴム手袋 全面マスク 交換カートリッジ 靴カバー 長靴 タンクステンベスト ^{※2}	—	緊急時対策所	個人線量計 表面汚染密度測定用サーベイメータ ガンマ線測定用サーベイメータ 緊急時対策所内可搬型エアモニタ 緊急時対策所外可搬型エアモニタ タイベック 綿帽子 靴下 綿手袋 ゴム手袋 全面マスク 交換カートリッジ 靴カバー 長靴 セルフエアセット	—	
日中央制御室	個人線量計 表面汚染密度測定用サーベイメータ 電離箱サーベイメータ タイベック 綿帽子 靴下 綿手袋 ゴム手袋 アノラック 全面マスク 交換フィルター 靴カバー 長靴 セルフエアセット	—	日中央制御室	個人線量計 表面汚染密度測定用サーベイメータ 電離箱サーベイメータ タイベック 綿帽子 靴下 綿手袋 ゴム手袋 アノラック 全面マスク 交換フィルター 靴カバー 長靴 セルフエアセット	—	日中央制御室	個人線量計 表面汚染密度測定用サーベイメータ 電離箱サーベイメータ タイベック 綿帽子 靴下 綿手袋 ゴム手袋 アノラック 全面マスク 交換フィルター 靴カバー 長靴 セルフエアセット	—	
d. 化学薬品等が流出した場合に事故対応するために着用するマスク及び長靴等の資機材			d. 化学薬品等が流出した場合に事故対応するために着用するマスク及び長靴等の資機材			d. 化学薬品等が流出した場合に事故対応するために着用するマスク及び長靴等の資機材			
3、4号炉2次系化学室	全面マスク（ガス吸収型含む）	化学管理業務所別	3、4号炉2次系化学室	全面マスク（ガス吸収型含む）	化学管理業務所別	可搬型大容量海水送水ポンプ車 放水砲 泡剤設置機 可搬型大型送水ポンプ車 小型放水砲 泡消火剤用コンテナ式運搬車 泡消火剤用コンテナ	E.P.-31a以上の保管場所	原子力災害対策要領 重大事故等および大規模損壊対応要領	
貯蔵室	化学防護服		貯蔵室	化学防護服		e. 高線量の環境下で事故対応するために着用するマスク及び線量計等の資機材			
研砂館	化学防護手袋		研砂館	化学防護手袋		表12-2に記載			
委託消防詰所	化学防護長靴 保護メガネ		委託消防詰所	化学防護長靴 保護メガネ		d. 化学薬品等が流出した場合に事故対応するために着用するマスク及び長靴等の資機材			
						服付長靴	3号中央制御室	原子力災害対策要領 重大事故等および大規模損壊対応要領	
						化学保護具（ガス吸収型含む）	緊急時対策所		
						保護手袋	3号中央制御室		
						保護長靴	1,2号中央制御室		
						防毒マスク	総合管理事務所		
						保護メガネ	3号出入管理建屋 1,2号管理事務所		

※1：大規模火災が発生する環境で必要な資機材のうちセルフエアセット（空気呼吸器）は、高線量下での環境で対応するための資機材及び化学薬品が流出するような環境で対応するための資機材を兼ねる。
 ※2：タンクステンベストについては、着用により作業効率が下がり、作業時間の増加に伴いばく露量が増加するため、移動を伴う作業においては原則着用しない。ただし、高線量下で移動を伴わない作業の場合は、作業場所の状況に応じ着用する。

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

2.1 可搬型設備等による対応

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																																									
<p>表2 外部支援が受けられないことを想定した事故対応を行うための防護具、線量計及び食料等の資機材</p> <p>(1) 放射線管理用資機材及びチェンジングエリア用資機材等</p> <p>a. 防護具</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">品名</th> <th colspan="3">保管数</th> </tr> <tr> <th>緊急時対策所 指揮所*16</th> <th>緊急時対策所 待機場所*16</th> <th>構内保管*1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>汚染防護服(タイベック)</td> <td>1,900着*2</td> <td>1,200着*9</td> <td>約6,000着</td> </tr> <tr> <td>綿帽子</td> <td>950個*3</td> <td>600個*10</td> <td>約6,000個</td> </tr> <tr> <td>靴下</td> <td>950足*3</td> <td>600足*10</td> <td>約6,000足</td> </tr> <tr> <td>綿手袋</td> <td>950双*3</td> <td>600双*10</td> <td>約29,000双</td> </tr> <tr> <td>ゴム手袋</td> <td>1,900双*4</td> <td>1,200双*11</td> <td>約27,000双</td> </tr> <tr> <td>全面マスク</td> <td>120個*5</td> <td>90個*12</td> <td>約1,600個</td> </tr> <tr> <td>交換カートリッジ (2個で1組)</td> <td>950組*6</td> <td>600組*13</td> <td>約3,000組</td> </tr> <tr> <td>靴カバー</td> <td>950足*3</td> <td>600足*10</td> <td>約6,000足</td> </tr> <tr> <td>長靴</td> <td>200足*7</td> <td>100足*14</td> <td>約300足</td> </tr> <tr> <td>タンクステンベスト</td> <td>10着*8</td> <td>10着*8</td> <td>20着</td> </tr> <tr> <td>可搬型空気浄化装置</td> <td>2台*15</td> <td>2台*15</td> <td>約14台</td> </tr> </tbody> </table> <p>*1：平成27年6月現在の保有数量（構内用） *2：指揮所要員65名×7日＋余裕（2重化含む） *3：指揮所要員65名×7日＋余裕 *4：指揮所要員65名×7日×2重＋余裕 *5：指揮所要員65名＋余裕 *6：指揮所要員65名×7回(0/4-3前後各1回＋その後1日に1回=5回)＋余裕 *7：指揮所要員65名＋余裕 *8：指揮者1名＋放射線管理員1名＋作業員3名×2班 *9：待機所要員41名×7日＋余裕（2重化含む） *10：待機所要員41名×7日＋余裕 *11：待機所要員41名×7日×2重＋余裕 *12：待機所要員41名＋余裕 *13：待機所要員41名×7回(0/4-3前後各1回＋その後1日に1回=5回)＋余裕 *14：待機所要員44名＋余裕 *15：手備1台含む *16：一部定備資機材倉庫に保管</p>	品名	保管数			緊急時対策所 指揮所*16	緊急時対策所 待機場所*16	構内保管*1	汚染防護服(タイベック)	1,900着*2	1,200着*9	約6,000着	綿帽子	950個*3	600個*10	約6,000個	靴下	950足*3	600足*10	約6,000足	綿手袋	950双*3	600双*10	約29,000双	ゴム手袋	1,900双*4	1,200双*11	約27,000双	全面マスク	120個*5	90個*12	約1,600個	交換カートリッジ (2個で1組)	950組*6	600組*13	約3,000組	靴カバー	950足*3	600足*10	約6,000足	長靴	200足*7	100足*14	約300足	タンクステンベスト	10着*8	10着*8	20着	可搬型空気浄化装置	2台*15	2台*15	約14台	<p>第2表 外部支援が受けられないことを想定した事故対応を行うための防護具、線量計及び食糧等の資機材</p> <p>(1) 緊急時対策建屋に保管する放射線管理用資機材及びチェンジングエリア用資機材等</p> <p>a. 防護具</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>品名</th> <th>保管数*</th> <th>考え方</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>タイベック</td> <td>2,100着</td> <td>60名（本部要員38名＋余裕）×7日及び現場要員40名×6回/日×7日</td> </tr> <tr> <td>下着(上下セット)</td> <td>2,100着</td> <td>60名（本部要員38名＋余裕）×7日及び現場要員40名×6回/日×7日</td> </tr> <tr> <td>帽子</td> <td>2,100個</td> <td>60名（本部要員38名＋余裕）×7日及び現場要員40名×6回/日×7日</td> </tr> <tr> <td>靴下</td> <td>2,100足</td> <td>60名（本部要員38名＋余裕）×7日及び現場要員40名×6回/日×7日</td> </tr> <tr> <td>綿手袋</td> <td>2,100双</td> <td>60名（本部要員38名＋余裕）×7日及び現場要員40名×6回/日×7日</td> </tr> <tr> <td>ゴム手袋</td> <td>4,200双</td> <td>2,100双×2</td> </tr> <tr> <td>全面マスク</td> <td>900個</td> <td>60名（本部要員38名＋余裕）×3日及び現場要員40名×6回/日×3日（除染による再使用を考慮）</td> </tr> <tr> <td>マスク用チヨコール フィルター(位個/セット)</td> <td>2,100セット</td> <td>60名（本部要員38名＋余裕）×7日及び現場要員40名×6回/日×7日</td> </tr> <tr> <td>EVAシューズ(上下セット)</td> <td>1,050</td> <td>100名（本部要員38名＋余裕）×7日及び現場要員40名×6回/日×7日）×50%（年間降水日数を考慮）</td> </tr> <tr> <td>汚染区域用靴</td> <td>40足</td> <td>現場要員20名（放射線透過試験の現場要員）×2</td> </tr> <tr> <td>タンクステンベスト</td> <td>20着</td> <td>現場要員20名（放射線透過試験の現場要員）</td> </tr> </tbody> </table> <p>※：下欄を含む（今後、訓練等で見直しを行う。）</p>	品名	保管数*	考え方	タイベック	2,100着	60名（本部要員38名＋余裕）×7日及び現場要員40名×6回/日×7日	下着(上下セット)	2,100着	60名（本部要員38名＋余裕）×7日及び現場要員40名×6回/日×7日	帽子	2,100個	60名（本部要員38名＋余裕）×7日及び現場要員40名×6回/日×7日	靴下	2,100足	60名（本部要員38名＋余裕）×7日及び現場要員40名×6回/日×7日	綿手袋	2,100双	60名（本部要員38名＋余裕）×7日及び現場要員40名×6回/日×7日	ゴム手袋	4,200双	2,100双×2	全面マスク	900個	60名（本部要員38名＋余裕）×3日及び現場要員40名×6回/日×3日（除染による再使用を考慮）	マスク用チヨコール フィルター(位個/セット)	2,100セット	60名（本部要員38名＋余裕）×7日及び現場要員40名×6回/日×7日	EVAシューズ(上下セット)	1,050	100名（本部要員38名＋余裕）×7日及び現場要員40名×6回/日×7日）×50%（年間降水日数を考慮）	汚染区域用靴	40足	現場要員20名（放射線透過試験の現場要員）×2	タンクステンベスト	20着	現場要員20名（放射線透過試験の現場要員）	<p>表12-2 外部支援が受けられないことを想定した事故対応を行うための防護具、線量計及び食料等の資機材</p> <p>(1) 放射線管理用資機材及びチェンジングエリア用資機材等（緊急時対策所）</p> <p>a. 防護具及び除染資材</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>品名</th> <th>保管数</th> <th>考え方</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>タイベック</td> <td>940着</td> <td>指揮所：60名×1.1倍×7日 待機所：60名×1.1倍×7日</td> </tr> <tr> <td>紙帽子</td> <td>940個</td> <td>指揮所：60名×1.1倍×7日 待機所：60名×1.1倍×7日</td> </tr> <tr> <td>汚染区域用靴下</td> <td>940足</td> <td>指揮所：60名×1.1倍×7日 待機所：60名×1.1倍×7日</td> </tr> <tr> <td>綿手袋</td> <td>940双</td> <td>指揮所：60名×1.1倍×7日 待機所：60名×1.1倍×7日</td> </tr> <tr> <td>全面マスク</td> <td>940個</td> <td>指揮所：60名×1.1倍×7日 待機所：60名×1.1倍×7日</td> </tr> <tr> <td>オーバershーツ(靴カバー)</td> <td>940足</td> <td>指揮所：60名×1.1倍×7日 待機所：60名×1.1倍×7日</td> </tr> <tr> <td>電動ファン付きマスク</td> <td>8個</td> <td>6名^{※1}＋余裕</td> </tr> <tr> <td>チャコールフィルタ(以下内訳)</td> <td>1,868個</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>全面マスク用</td> <td>1,860個</td> <td>指揮所：60名×1.1倍×2個×7日 待機所：60名×1.1倍×2個×7日</td> </tr> <tr> <td>電動ファン付きマスク用</td> <td>8個</td> <td>6名^{※1}＋余裕</td> </tr> <tr> <td>ゴム手袋</td> <td>1,860双</td> <td>指揮所：60名×1.1倍×2重×7日 待機所：60名×1.1倍×2重×7日</td> </tr> <tr> <td>アノラック</td> <td>710着</td> <td>91名^{※2}×1.1倍×7日</td> </tr> <tr> <td>長靴</td> <td>710足</td> <td>91名^{※2}×1.1倍×7日</td> </tr> <tr> <td>圧縮酸素形箱型呼吸器</td> <td>9台</td> <td>91名^{※2}×10%</td> </tr> <tr> <td>セルフエアセット</td> <td>8台</td> <td>8名^{※3}×1台</td> </tr> <tr> <td>タンクステンベスト</td> <td>20着</td> <td>(現場指揮者1名＋放射線管理員1名＋作業員3名×2班)×2セット＋余裕</td> </tr> <tr> <td>ウェットティッシュ</td> <td>290個</td> <td>指揮所：60名×2個＋余裕 待機所：60名×2個＋余裕</td> </tr> <tr> <td>ウエス</td> <td>2箱</td> <td>1箱(24枚)/建屋×2建屋</td> </tr> <tr> <td>シャワー室</td> <td>2個</td> <td>1個/建屋×2建屋</td> </tr> <tr> <td>簡易シャワー</td> <td>2個</td> <td>1個/建屋×2建屋</td> </tr> <tr> <td>除染キット</td> <td>2セット</td> <td>1セット/建屋×2建屋</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1：事務局員（2名）＋放射線管理員（4名） ※2：本部長他（25名）＋事務局員（2名）＋技術員（2名）を除く人数 ※3：屋外作業実施回数</p>	品名	保管数	考え方	タイベック	940着	指揮所：60名×1.1倍×7日 待機所：60名×1.1倍×7日	紙帽子	940個	指揮所：60名×1.1倍×7日 待機所：60名×1.1倍×7日	汚染区域用靴下	940足	指揮所：60名×1.1倍×7日 待機所：60名×1.1倍×7日	綿手袋	940双	指揮所：60名×1.1倍×7日 待機所：60名×1.1倍×7日	全面マスク	940個	指揮所：60名×1.1倍×7日 待機所：60名×1.1倍×7日	オーバershーツ(靴カバー)	940足	指揮所：60名×1.1倍×7日 待機所：60名×1.1倍×7日	電動ファン付きマスク	8個	6名 ^{※1} ＋余裕	チャコールフィルタ(以下内訳)	1,868個	—	全面マスク用	1,860個	指揮所：60名×1.1倍×2個×7日 待機所：60名×1.1倍×2個×7日	電動ファン付きマスク用	8個	6名 ^{※1} ＋余裕	ゴム手袋	1,860双	指揮所：60名×1.1倍×2重×7日 待機所：60名×1.1倍×2重×7日	アノラック	710着	91名 ^{※2} ×1.1倍×7日	長靴	710足	91名 ^{※2} ×1.1倍×7日	圧縮酸素形箱型呼吸器	9台	91名 ^{※2} ×10%	セルフエアセット	8台	8名 ^{※3} ×1台	タンクステンベスト	20着	(現場指揮者1名＋放射線管理員1名＋作業員3名×2班)×2セット＋余裕	ウェットティッシュ	290個	指揮所：60名×2個＋余裕 待機所：60名×2個＋余裕	ウエス	2箱	1箱(24枚)/建屋×2建屋	シャワー室	2個	1個/建屋×2建屋	簡易シャワー	2個	1個/建屋×2建屋	除染キット	2セット	1セット/建屋×2建屋	<p>【大飯】【女川】記載内容の相違 ・発電所の違いによる品目及び保管数の相違。</p>
品名		保管数																																																																																																																																																										
	緊急時対策所 指揮所*16	緊急時対策所 待機場所*16	構内保管*1																																																																																																																																																									
汚染防護服(タイベック)	1,900着*2	1,200着*9	約6,000着																																																																																																																																																									
綿帽子	950個*3	600個*10	約6,000個																																																																																																																																																									
靴下	950足*3	600足*10	約6,000足																																																																																																																																																									
綿手袋	950双*3	600双*10	約29,000双																																																																																																																																																									
ゴム手袋	1,900双*4	1,200双*11	約27,000双																																																																																																																																																									
全面マスク	120個*5	90個*12	約1,600個																																																																																																																																																									
交換カートリッジ (2個で1組)	950組*6	600組*13	約3,000組																																																																																																																																																									
靴カバー	950足*3	600足*10	約6,000足																																																																																																																																																									
長靴	200足*7	100足*14	約300足																																																																																																																																																									
タンクステンベスト	10着*8	10着*8	20着																																																																																																																																																									
可搬型空気浄化装置	2台*15	2台*15	約14台																																																																																																																																																									
品名	保管数*	考え方																																																																																																																																																										
タイベック	2,100着	60名（本部要員38名＋余裕）×7日及び現場要員40名×6回/日×7日																																																																																																																																																										
下着(上下セット)	2,100着	60名（本部要員38名＋余裕）×7日及び現場要員40名×6回/日×7日																																																																																																																																																										
帽子	2,100個	60名（本部要員38名＋余裕）×7日及び現場要員40名×6回/日×7日																																																																																																																																																										
靴下	2,100足	60名（本部要員38名＋余裕）×7日及び現場要員40名×6回/日×7日																																																																																																																																																										
綿手袋	2,100双	60名（本部要員38名＋余裕）×7日及び現場要員40名×6回/日×7日																																																																																																																																																										
ゴム手袋	4,200双	2,100双×2																																																																																																																																																										
全面マスク	900個	60名（本部要員38名＋余裕）×3日及び現場要員40名×6回/日×3日（除染による再使用を考慮）																																																																																																																																																										
マスク用チヨコール フィルター(位個/セット)	2,100セット	60名（本部要員38名＋余裕）×7日及び現場要員40名×6回/日×7日																																																																																																																																																										
EVAシューズ(上下セット)	1,050	100名（本部要員38名＋余裕）×7日及び現場要員40名×6回/日×7日）×50%（年間降水日数を考慮）																																																																																																																																																										
汚染区域用靴	40足	現場要員20名（放射線透過試験の現場要員）×2																																																																																																																																																										
タンクステンベスト	20着	現場要員20名（放射線透過試験の現場要員）																																																																																																																																																										
品名	保管数	考え方																																																																																																																																																										
タイベック	940着	指揮所：60名×1.1倍×7日 待機所：60名×1.1倍×7日																																																																																																																																																										
紙帽子	940個	指揮所：60名×1.1倍×7日 待機所：60名×1.1倍×7日																																																																																																																																																										
汚染区域用靴下	940足	指揮所：60名×1.1倍×7日 待機所：60名×1.1倍×7日																																																																																																																																																										
綿手袋	940双	指揮所：60名×1.1倍×7日 待機所：60名×1.1倍×7日																																																																																																																																																										
全面マスク	940個	指揮所：60名×1.1倍×7日 待機所：60名×1.1倍×7日																																																																																																																																																										
オーバershーツ(靴カバー)	940足	指揮所：60名×1.1倍×7日 待機所：60名×1.1倍×7日																																																																																																																																																										
電動ファン付きマスク	8個	6名 ^{※1} ＋余裕																																																																																																																																																										
チャコールフィルタ(以下内訳)	1,868個	—																																																																																																																																																										
全面マスク用	1,860個	指揮所：60名×1.1倍×2個×7日 待機所：60名×1.1倍×2個×7日																																																																																																																																																										
電動ファン付きマスク用	8個	6名 ^{※1} ＋余裕																																																																																																																																																										
ゴム手袋	1,860双	指揮所：60名×1.1倍×2重×7日 待機所：60名×1.1倍×2重×7日																																																																																																																																																										
アノラック	710着	91名 ^{※2} ×1.1倍×7日																																																																																																																																																										
長靴	710足	91名 ^{※2} ×1.1倍×7日																																																																																																																																																										
圧縮酸素形箱型呼吸器	9台	91名 ^{※2} ×10%																																																																																																																																																										
セルフエアセット	8台	8名 ^{※3} ×1台																																																																																																																																																										
タンクステンベスト	20着	(現場指揮者1名＋放射線管理員1名＋作業員3名×2班)×2セット＋余裕																																																																																																																																																										
ウェットティッシュ	290個	指揮所：60名×2個＋余裕 待機所：60名×2個＋余裕																																																																																																																																																										
ウエス	2箱	1箱(24枚)/建屋×2建屋																																																																																																																																																										
シャワー室	2個	1個/建屋×2建屋																																																																																																																																																										
簡易シャワー	2個	1個/建屋×2建屋																																																																																																																																																										
除染キット	2セット	1セット/建屋×2建屋																																																																																																																																																										
<p>b. 計測器（被ばく管理、汚染管理）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">品名</th> <th colspan="3">保管数</th> </tr> <tr> <th>緊急時対策所 指揮所</th> <th>緊急時対策所 待機場所</th> <th>構内保管*1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>個人線量計 (電子式線量計)</td> <td>120台*2</td> <td>90台*7</td> <td>約2,900台</td> </tr> <tr> <td>表面汚染密度測定用 サーベイメータ</td> <td>5台*3</td> <td>5台*3</td> <td>約50台</td> </tr> <tr> <td>ガンマ線測定用 サーベイメータ</td> <td>5台*4</td> <td>5台*4</td> <td>約60台</td> </tr> <tr> <td>緊急時対策所内 可搬型エアモニタ</td> <td colspan="2">3台*5*8</td> <td>約15台</td> </tr> <tr> <td>緊急時対策所外 可搬型エアモニタ</td> <td colspan="2">2台*6*8</td> <td>約4台</td> </tr> </tbody> </table> <p>*1：平成27年6月現在の保有数量（構内用） *2：指揮所要員65名＋余裕 *3：チェンジングエリアにて使用 *4：現場作業時に使用 *5：緊急時対策所にて使用 *6：原子伊補助建屋にて使用 *7：待機所要員41名＋余裕 *8：手備1台を含む</p>	品名	保管数			緊急時対策所 指揮所	緊急時対策所 待機場所	構内保管*1	個人線量計 (電子式線量計)	120台*2	90台*7	約2,900台	表面汚染密度測定用 サーベイメータ	5台*3	5台*3	約50台	ガンマ線測定用 サーベイメータ	5台*4	5台*4	約60台	緊急時対策所内 可搬型エアモニタ	3台*5*8		約15台	緊急時対策所外 可搬型エアモニタ	2台*6*8		約4台	<p>b. 計測器（被ばく管理、汚染管理）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>品名</th> <th>保管数*</th> <th>考え方</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>個人線量計 (電子式線量計)</td> <td>200台</td> <td>100名（本部要員38名＋現場要員40名＋余裕）×2</td> </tr> <tr> <td>個人線量計 (ガラス管式)</td> <td>200台</td> <td>100名（本部要員38名＋現場要員40名＋余裕）×2</td> </tr> <tr> <td>表面汚染密度測定用 サーベイメータ</td> <td>8台</td> <td>チェンジングエリア用4台（身体サーベイを行う放射線管理員2名分＋余裕）＋緊急時対策建屋内及び屋外用4台（屋外等のモニタリングを行う放射線管理員2名分＋余裕）</td> </tr> <tr> <td>ガンマ線測定用 サーベイメータ</td> <td>8台</td> <td>チェンジングエリア用4台（チェンジングエリアのモニタリングを行う放射線管理員2名分＋余裕）＋緊急時対策建屋内及び屋外用4台（屋外等のモニタリングを行う放射線管理員2名分＋余裕）</td> </tr> <tr> <td>可搬型エアモニタ</td> <td>4台</td> <td>緊急時対策所内2台（1台＋余裕）＋緊急時対策建屋内2台（1台＋余裕）</td> </tr> </tbody> </table> <p>※：下欄を含む（今後、訓練等で見直しを行う。）</p>	品名	保管数*	考え方	個人線量計 (電子式線量計)	200台	100名（本部要員38名＋現場要員40名＋余裕）×2	個人線量計 (ガラス管式)	200台	100名（本部要員38名＋現場要員40名＋余裕）×2	表面汚染密度測定用 サーベイメータ	8台	チェンジングエリア用4台（身体サーベイを行う放射線管理員2名分＋余裕）＋緊急時対策建屋内及び屋外用4台（屋外等のモニタリングを行う放射線管理員2名分＋余裕）	ガンマ線測定用 サーベイメータ	8台	チェンジングエリア用4台（チェンジングエリアのモニタリングを行う放射線管理員2名分＋余裕）＋緊急時対策建屋内及び屋外用4台（屋外等のモニタリングを行う放射線管理員2名分＋余裕）	可搬型エアモニタ	4台	緊急時対策所内2台（1台＋余裕）＋緊急時対策建屋内2台（1台＋余裕）	<p>【大飯】【女川】記載内容の相違 ・発電所の違いによる品目及び保管数の相違。</p>																																																																																																													
品名		保管数																																																																																																																																																										
	緊急時対策所 指揮所	緊急時対策所 待機場所	構内保管*1																																																																																																																																																									
個人線量計 (電子式線量計)	120台*2	90台*7	約2,900台																																																																																																																																																									
表面汚染密度測定用 サーベイメータ	5台*3	5台*3	約50台																																																																																																																																																									
ガンマ線測定用 サーベイメータ	5台*4	5台*4	約60台																																																																																																																																																									
緊急時対策所内 可搬型エアモニタ	3台*5*8		約15台																																																																																																																																																									
緊急時対策所外 可搬型エアモニタ	2台*6*8		約4台																																																																																																																																																									
品名	保管数*	考え方																																																																																																																																																										
個人線量計 (電子式線量計)	200台	100名（本部要員38名＋現場要員40名＋余裕）×2																																																																																																																																																										
個人線量計 (ガラス管式)	200台	100名（本部要員38名＋現場要員40名＋余裕）×2																																																																																																																																																										
表面汚染密度測定用 サーベイメータ	8台	チェンジングエリア用4台（身体サーベイを行う放射線管理員2名分＋余裕）＋緊急時対策建屋内及び屋外用4台（屋外等のモニタリングを行う放射線管理員2名分＋余裕）																																																																																																																																																										
ガンマ線測定用 サーベイメータ	8台	チェンジングエリア用4台（チェンジングエリアのモニタリングを行う放射線管理員2名分＋余裕）＋緊急時対策建屋内及び屋外用4台（屋外等のモニタリングを行う放射線管理員2名分＋余裕）																																																																																																																																																										
可搬型エアモニタ	4台	緊急時対策所内2台（1台＋余裕）＋緊急時対策建屋内2台（1台＋余裕）																																																																																																																																																										

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

2.1 可搬型設備等による対応

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																																											
<p>c. チェンジングエリア用資機材</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">品名</th> <th colspan="2">保管数^{*1}</th> </tr> <tr> <th>緊急時対策所 指揮所</th> <th>緊急時対策所 待機場所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>エアビーム製チェンジング エリア</td> <td>1式</td> <td>1式</td> </tr> <tr> <td>養生シート</td> <td>6本</td> <td>6本</td> </tr> <tr> <td>バリア</td> <td>5個</td> <td>5個</td> </tr> <tr> <td>粘着マット</td> <td>5個</td> <td>5個</td> </tr> <tr> <td>ゴミ箱（スタンション含む）</td> <td>7個</td> <td>7個</td> </tr> <tr> <td>ポリ袋（赤・黄・黒）</td> <td>各200枚</td> <td>各200枚</td> </tr> <tr> <td>テープ（白・黒）</td> <td>各20巻</td> <td>各20巻</td> </tr> <tr> <td>ウエス</td> <td>2箱</td> <td>2箱</td> </tr> <tr> <td>ウェットティッシュ</td> <td>10個</td> <td>10個</td> </tr> <tr> <td>はさみ・カッター</td> <td>各2本</td> <td>各2本</td> </tr> <tr> <td>マジック</td> <td>2本</td> <td>2本</td> </tr> <tr> <td>簡易シャワー</td> <td>1台</td> <td>1台</td> </tr> <tr> <td>簡易タンク</td> <td>1台</td> <td>1台</td> </tr> <tr> <td>可搬型空気浄化装置 （ダクトを含む）</td> <td>1式</td> <td>1式</td> </tr> </tbody> </table> <p>*1：チェンジングエリア設置に必要な数量</p> <p>(2) 食料等（緊急時対策所） a. 飲料水、食料等</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">品名</th> <th colspan="2">保管数量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>食料</td> <td colspan="2">2,940食^{*1}</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">水</td> <td colspan="2">指揮所には1,680食^{*2}、待機場所には1,260食^{*3}を配備</td> </tr> <tr> <td colspan="2">1,470リットル^{*2}</td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="2">指揮所には840リットル^{*4}、待機場所には630リットル^{*5}を配備</td> </tr> </tbody> </table> <p>*1：指揮所65名+待機場所41名×3食×7日+余裕 *2：指揮所65名+待機場所41名×3食×900ミリリットル×7日+余裕 *3：指揮所65名×3食×7日+余裕 *4：指揮所65名×3食×500ミリリットル×7日+余裕 *5：待機場所41名×3食×7日+余裕 *6：待機場所41名×3食×500ミリリットル×7日+余裕</p>	品名	保管数 ^{*1}		緊急時対策所 指揮所	緊急時対策所 待機場所	エアビーム製チェンジング エリア	1式	1式	養生シート	6本	6本	バリア	5個	5個	粘着マット	5個	5個	ゴミ箱（スタンション含む）	7個	7個	ポリ袋（赤・黄・黒）	各200枚	各200枚	テープ（白・黒）	各20巻	各20巻	ウエス	2箱	2箱	ウェットティッシュ	10個	10個	はさみ・カッター	各2本	各2本	マジック	2本	2本	簡易シャワー	1台	1台	簡易タンク	1台	1台	可搬型空気浄化装置 （ダクトを含む）	1式	1式	品名	保管数量		食料	2,940食 ^{*1}		水	指揮所には1,680食 ^{*2} 、待機場所には1,260食 ^{*3} を配備		1,470リットル ^{*2}			指揮所には840リットル ^{*4} 、待機場所には630リットル ^{*5} を配備		<p>c. チェンジングエリア用資機材</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>品名</th> <th>保管数[※]</th> <th>考え方</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>養生シート（床用）</td> <td>8巻^{※1}</td> <td rowspan="18">チェンジングエリア設置 及び補修に必要な数量</td> </tr> <tr> <td>養生シート（壁用）</td> <td>12巻^{※2}</td> </tr> <tr> <td>バリア</td> <td>9個^{※3}</td> </tr> <tr> <td>フェンス</td> <td>24枚^{※4}</td> </tr> <tr> <td>積層シート</td> <td>3枚</td> </tr> <tr> <td>棚</td> <td>2台</td> </tr> <tr> <td>ヘルメット掛け</td> <td>1台</td> </tr> <tr> <td>ゴミ箱</td> <td>7個</td> </tr> <tr> <td>ポリ袋</td> <td>100枚</td> </tr> <tr> <td>テープ</td> <td>5巻</td> </tr> <tr> <td>ウエス</td> <td>2箱</td> </tr> <tr> <td>ウェットティッシュ</td> <td>50個</td> </tr> <tr> <td>はさみ</td> <td>3個</td> </tr> <tr> <td>カッター</td> <td>3個</td> </tr> <tr> <td>マジック</td> <td>3本</td> </tr> <tr> <td>除染エリア用ハウス</td> <td>1式^{※5}</td> </tr> <tr> <td>簡易シャワー</td> <td>1台^{※6}</td> </tr> <tr> <td>簡易タンク</td> <td>1台^{※7}</td> </tr> <tr> <td>トレイ</td> <td>1個</td> </tr> <tr> <td>バケツ</td> <td>2個</td> </tr> <tr> <td>乾電池内蔵型照明</td> <td>6台（予備1台）</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 仕様 1,800mm×500mm/巻 ※2 仕様 2,100mm×250mm/巻 ※3 仕様 900mm×240mm×235mm/個（アルミ製） ※4 仕様 1,200mm×900mm×25mm/枚（アルミ製） ※5 仕様 1,100mm×1,100mm×1,950mm/式（折りたたみ式、布製） ※6 仕様 タンク容量7.5リットル（手動ポンプ式） ※7 仕様 タンク容量20リットル（ポリタンク） ※8 予備を含む（今後、訓練等で見直しを行う。）</p> <p>d. 食糧等</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>品名</th> <th>保管数*</th> <th>考え方</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>食糧</td> <td>2,100食</td> <td>100名（本部要員38名+現場要員40名+余裕）×7日×3食</td> </tr> <tr> <td>飲料水（1.5リットル）</td> <td>1,400本</td> <td>100名（本部要員38名+現場要員40名+余裕）×7日×2本（1.5リットル/本）</td> </tr> <tr> <td>簡易トイレ</td> <td>4,900個</td> <td>100名（本部要員38名+現場要員40名+余裕）×（1回/1日×7日）=4,900個</td> </tr> <tr> <td>ヨウ素剤</td> <td>800錠</td> <td>100名（本部要員38名+現場要員40名+余裕）×（初日2錠+2日目は1錠/1日×6日）=800錠</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 予備を含む（今後、訓練等で見直しを行う。）</p>	品名	保管数 [※]	考え方	養生シート（床用）	8巻 ^{※1}	チェンジングエリア設置 及び補修に必要な数量	養生シート（壁用）	12巻 ^{※2}	バリア	9個 ^{※3}	フェンス	24枚 ^{※4}	積層シート	3枚	棚	2台	ヘルメット掛け	1台	ゴミ箱	7個	ポリ袋	100枚	テープ	5巻	ウエス	2箱	ウェットティッシュ	50個	はさみ	3個	カッター	3個	マジック	3本	除染エリア用ハウス	1式 ^{※5}	簡易シャワー	1台 ^{※6}	簡易タンク	1台 ^{※7}	トレイ	1個	バケツ	2個	乾電池内蔵型照明	6台（予備1台）	品名	保管数*	考え方	食糧	2,100食	100名（本部要員38名+現場要員40名+余裕）×7日×3食	飲料水（1.5リットル）	1,400本	100名（本部要員38名+現場要員40名+余裕）×7日×2本（1.5リットル/本）	簡易トイレ	4,900個	100名（本部要員38名+現場要員40名+余裕）×（1回/1日×7日）=4,900個	ヨウ素剤	800錠	100名（本部要員38名+現場要員40名+余裕）×（初日2錠+2日目は1錠/1日×6日）=800錠	<p>c. チェンジングエリア用資機材</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>品名</th> <th>保管数</th> <th>考え方</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>グリーンハウス</td> <td>2個</td> <td>1個/建屋×2建屋</td> </tr> <tr> <td>養生シート （透明・ピンク・黄）</td> <td>6本</td> <td>各色1本/建屋×2建屋</td> </tr> <tr> <td>バリア（600・750・900mm）</td> <td>6枚</td> <td>各サイズ1枚/建屋×2建屋</td> </tr> <tr> <td>作業用テープ（緑）</td> <td>20巻</td> <td>10巻/建屋×2建屋</td> </tr> <tr> <td>養生テープ（ピンク）</td> <td>40巻</td> <td>20巻/建屋×2建屋</td> </tr> <tr> <td>透明ロール袋（大）</td> <td>20本</td> <td>10本/建屋×2建屋</td> </tr> <tr> <td>粘着マット</td> <td>20枚</td> <td>10枚/建屋×2建屋</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 食料等（緊急時対策所） a. 食料等</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>品名</th> <th>保管数</th> <th>考え方</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>食料</td> <td>2,520食</td> <td>120名×3食×7日</td> </tr> <tr> <td>飲料水</td> <td>1,680L</td> <td>120名×4本×0.5L×7日</td> </tr> </tbody> </table>	品名	保管数	考え方	グリーンハウス	2個	1個/建屋×2建屋	養生シート （透明・ピンク・黄）	6本	各色1本/建屋×2建屋	バリア（600・750・900mm）	6枚	各サイズ1枚/建屋×2建屋	作業用テープ（緑）	20巻	10巻/建屋×2建屋	養生テープ（ピンク）	40巻	20巻/建屋×2建屋	透明ロール袋（大）	20本	10本/建屋×2建屋	粘着マット	20枚	10枚/建屋×2建屋	品名	保管数	考え方	食料	2,520食	120名×3食×7日	飲料水	1,680L	120名×4本×0.5L×7日	<p>【大阪】【女川】記載内容の相違 ・発電所の違いによる品目及び保管数の相違。</p> <p>【大阪】【女川】記載表現の相違</p> <p>【大阪】【女川】記載内容の相違 ・発電所の違いによる品目及び保管数の相違。</p>
品名		保管数 ^{*1}																																																																																																																																																												
	緊急時対策所 指揮所	緊急時対策所 待機場所																																																																																																																																																												
エアビーム製チェンジング エリア	1式	1式																																																																																																																																																												
養生シート	6本	6本																																																																																																																																																												
バリア	5個	5個																																																																																																																																																												
粘着マット	5個	5個																																																																																																																																																												
ゴミ箱（スタンション含む）	7個	7個																																																																																																																																																												
ポリ袋（赤・黄・黒）	各200枚	各200枚																																																																																																																																																												
テープ（白・黒）	各20巻	各20巻																																																																																																																																																												
ウエス	2箱	2箱																																																																																																																																																												
ウェットティッシュ	10個	10個																																																																																																																																																												
はさみ・カッター	各2本	各2本																																																																																																																																																												
マジック	2本	2本																																																																																																																																																												
簡易シャワー	1台	1台																																																																																																																																																												
簡易タンク	1台	1台																																																																																																																																																												
可搬型空気浄化装置 （ダクトを含む）	1式	1式																																																																																																																																																												
品名	保管数量																																																																																																																																																													
	食料	2,940食 ^{*1}																																																																																																																																																												
水	指揮所には1,680食 ^{*2} 、待機場所には1,260食 ^{*3} を配備																																																																																																																																																													
	1,470リットル ^{*2}																																																																																																																																																													
	指揮所には840リットル ^{*4} 、待機場所には630リットル ^{*5} を配備																																																																																																																																																													
品名	保管数 [※]	考え方																																																																																																																																																												
養生シート（床用）	8巻 ^{※1}	チェンジングエリア設置 及び補修に必要な数量																																																																																																																																																												
養生シート（壁用）	12巻 ^{※2}																																																																																																																																																													
バリア	9個 ^{※3}																																																																																																																																																													
フェンス	24枚 ^{※4}																																																																																																																																																													
積層シート	3枚																																																																																																																																																													
棚	2台																																																																																																																																																													
ヘルメット掛け	1台																																																																																																																																																													
ゴミ箱	7個																																																																																																																																																													
ポリ袋	100枚																																																																																																																																																													
テープ	5巻																																																																																																																																																													
ウエス	2箱																																																																																																																																																													
ウェットティッシュ	50個																																																																																																																																																													
はさみ	3個																																																																																																																																																													
カッター	3個																																																																																																																																																													
マジック	3本																																																																																																																																																													
除染エリア用ハウス	1式 ^{※5}																																																																																																																																																													
簡易シャワー	1台 ^{※6}																																																																																																																																																													
簡易タンク	1台 ^{※7}																																																																																																																																																													
トレイ	1個																																																																																																																																																													
バケツ	2個																																																																																																																																																													
乾電池内蔵型照明	6台（予備1台）																																																																																																																																																													
品名	保管数*	考え方																																																																																																																																																												
食糧	2,100食	100名（本部要員38名+現場要員40名+余裕）×7日×3食																																																																																																																																																												
飲料水（1.5リットル）	1,400本	100名（本部要員38名+現場要員40名+余裕）×7日×2本（1.5リットル/本）																																																																																																																																																												
簡易トイレ	4,900個	100名（本部要員38名+現場要員40名+余裕）×（1回/1日×7日）=4,900個																																																																																																																																																												
ヨウ素剤	800錠	100名（本部要員38名+現場要員40名+余裕）×（初日2錠+2日目は1錠/1日×6日）=800錠																																																																																																																																																												
品名	保管数	考え方																																																																																																																																																												
グリーンハウス	2個	1個/建屋×2建屋																																																																																																																																																												
養生シート （透明・ピンク・黄）	6本	各色1本/建屋×2建屋																																																																																																																																																												
バリア（600・750・900mm）	6枚	各サイズ1枚/建屋×2建屋																																																																																																																																																												
作業用テープ（緑）	20巻	10巻/建屋×2建屋																																																																																																																																																												
養生テープ（ピンク）	40巻	20巻/建屋×2建屋																																																																																																																																																												
透明ロール袋（大）	20本	10本/建屋×2建屋																																																																																																																																																												
粘着マット	20枚	10枚/建屋×2建屋																																																																																																																																																												
品名	保管数	考え方																																																																																																																																																												
食料	2,520食	120名×3食×7日																																																																																																																																																												
飲料水	1,680L	120名×4本×0.5L×7日																																																																																																																																																												

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

2.1 可搬型設備等による対応

大飯発電所3/4号炉				女川原子力発電所2号炉				泊発電所3号炉				相違理由
b. その他の資機材				e. その他の資機材				b. その他の資機材				【大飯】【女川】記載表現の相違 【大飯】【女川】記載内容の相違 ・発電所の違いによる品目及び保管数の相違。
名称	仕様等	台数		品名	保管数*	考え方		品名	保管数	考え方		
		指揮所	待機場所									
酸素濃度計	・測定範囲：0～25% ・測定精度：±0.5%(0.0～25.0%) 【メーカー値】 ・電源：乾電池（単3形電池）2本【約1年（無警報時）】 ・検知原理：ガルバニ電池式 ・管理目標：1.9%以上	2台*	2台*	酸素濃度計	2台	1台（故障時及び保守点検による待機時以外のバックアップ用として予備1台を保有する。）		酸素濃度・二酸化炭素濃度計	4台	2台/建屋×2建屋		
二酸化炭素濃度計	・測定範囲：0～1%*2 ・測定精度：±3%F.S（同一条件） ・電源：乾電池（単3形電池）4本 ・測定方式：非分散型赤外線検出法（NDIR Non Dispersive InfraRed）センサ ・管理目標：1.0%以下	2台*	2台*	二酸化炭素濃度計	2台	1台（故障時及び保守点検による待機時以外のバックアップ用として予備1台を保有する。）		安定よう素剤	2,000錠	120名×2錠/人/日×7日+余裕		
プロジェクター	緊急時対策所内の要員が必要な情報の共有を行いやすいよう、資料等を表示するプロジェクターを配備する。	1台	—	一灯テレビ（回線、機型）	1式	報道や気象情報等を入力するため		飯設トイレ	2台	1台/建屋×2建屋		
可搬型照明	・バッテリー式 ・光源：LED ・連続点灯時間：10時間以上	2台	2台	社内パソコン（回線、機型）	1式	社内情報共有に必要な資料・書類等を作成するため		簡易トイレ（大使用処理剤）	1,000個	120名×1個/人/日×7日+余裕		
簡易トイレ	ブルーム通過中に緊急時対策所から退出する必要があるように、連続使用可能な簡易トイレを配備する。	1式	1式	* 予備を含む（今後、訓練等で見直しを行う。）								
*1：予備各1台を含む *2：0～5%の範囲で測定可能（カタログ値）												

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

2.1 可搬型設備等による対応

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																			
<p>(3) 原子力災害対策活動で使用する主な資料</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>資料名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1. 組織及び体制に関する資料</td> <td>(1) 緊急時対応組織資料 ① 大阪発電所原子力事業者防災業務計画 ② 大阪発電所原子炉施設保安規定 ③ 原子力防災規程 ④ 非常時の措置通達 ⑤ 原子力防災業務要綱 ⑥ 大阪発電所事故時操作所則 ⑦ 大阪発電所重大事故等発生時における原子炉施設の保全のための活動に関する所達 ⑧ 大阪発電所大規模損壊発生時における原子炉施設の保全のための活動に関する所達 (2) 緊急時通信連絡体制資料 ① 原子力防災組織要員名簿等</td> </tr> <tr> <td>2. 社会環境に関する資料</td> <td>(1) 大阪発電所周辺人口関連資料 ① 方位別人口分布図 ② 集落別人口分布図 ③ 市町村人口表 (2) 大阪発電所周辺環境資料 ① 発電所周辺航空写真 ② 発電所周辺地図（2万5千分の1） ③ 発電所周辺地図（5万分の1） ④ 市町村市街図</td> </tr> <tr> <td>3. 放射能影響測定に関する資料</td> <td>(1) 大阪発電所気象関係資料 ① 気象観測データ (2) 緊急モニタリング資料 ① 空間線量モニタリング配置図 ② 環境試料サンプリング位置図 ③ 環境モニタリング測定データ (3) 大阪発電所設備資料 ① 主要系統模式図 ② 原子炉設置（変更）許可申請書 ③ 系統図 ④ プラント配置図 ⑤ プラント関係プロセス及び放射線計測配置図 ⑥ プラント主要設備概要 ⑦ 原子炉安全保護系ロジック一覧表</td> </tr> </tbody> </table>	種類	資料名	1. 組織及び体制に関する資料	(1) 緊急時対応組織資料 ① 大阪発電所原子力事業者防災業務計画 ② 大阪発電所原子炉施設保安規定 ③ 原子力防災規程 ④ 非常時の措置通達 ⑤ 原子力防災業務要綱 ⑥ 大阪発電所事故時操作所則 ⑦ 大阪発電所重大事故等発生時における原子炉施設の保全のための活動に関する所達 ⑧ 大阪発電所大規模損壊発生時における原子炉施設の保全のための活動に関する所達 (2) 緊急時通信連絡体制資料 ① 原子力防災組織要員名簿等	2. 社会環境に関する資料	(1) 大阪発電所周辺人口関連資料 ① 方位別人口分布図 ② 集落別人口分布図 ③ 市町村人口表 (2) 大阪発電所周辺環境資料 ① 発電所周辺航空写真 ② 発電所周辺地図（2万5千分の1） ③ 発電所周辺地図（5万分の1） ④ 市町村市街図	3. 放射能影響測定に関する資料	(1) 大阪発電所気象関係資料 ① 気象観測データ (2) 緊急モニタリング資料 ① 空間線量モニタリング配置図 ② 環境試料サンプリング位置図 ③ 環境モニタリング測定データ (3) 大阪発電所設備資料 ① 主要系統模式図 ② 原子炉設置（変更）許可申請書 ③ 系統図 ④ プラント配置図 ⑤ プラント関係プロセス及び放射線計測配置図 ⑥ プラント主要設備概要 ⑦ 原子炉安全保護系ロジック一覧表	<p>(2) 緊急時対策所に配備する原子力災害対策活動で使用する主な資料</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>資料名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1. 発電所周辺地図 ① 発電所周辺地域地図（1/25,000） ② 発電所周辺地域地図（1/50,000）</td> </tr> <tr> <td>2. 発電所周辺航空写真パネル</td> </tr> <tr> <td>3. 発電所気象観測データ ① 統計処理データ ② 毎時観測データ</td> </tr> <tr> <td>4. 発電所周辺環境モニタリング関連データ ① 空間線量モニタリング配置図 ② 環境試料サンプリング位置図 ③ 環境モニタリング測定データ</td> </tr> <tr> <td>5. 発電所周辺人口関連データ ① 方位別人口分布図 ② 集落の人口分布図 ③ 市町村人口表 ④ 市町村市街図</td> </tr> <tr> <td>6. 発電所主要系統模式図（各号炉）</td> </tr> <tr> <td>7. 原子炉設置許可申請書（各号炉）</td> </tr> <tr> <td>8. 系統図及びプラント配置図 ① 系統図 ② プラント配置図</td> </tr> <tr> <td>9. プラント関係プロセス及び放射線計測配置図（各号炉）</td> </tr> <tr> <td>10. プラント主要設備概要</td> </tr> <tr> <td>11. 原子炉安全保護系ロジック一覧表（各号炉）</td> </tr> <tr> <td>12. 規程類 ① 原子炉施設保安規定 ② 原子力事業者防災業務計画</td> </tr> <tr> <td>13. 事故時操作手順書類</td> </tr> </tbody> </table>	資料名	1. 発電所周辺地図 ① 発電所周辺地域地図（1/25,000） ② 発電所周辺地域地図（1/50,000）	2. 発電所周辺航空写真パネル	3. 発電所気象観測データ ① 統計処理データ ② 毎時観測データ	4. 発電所周辺環境モニタリング関連データ ① 空間線量モニタリング配置図 ② 環境試料サンプリング位置図 ③ 環境モニタリング測定データ	5. 発電所周辺人口関連データ ① 方位別人口分布図 ② 集落の人口分布図 ③ 市町村人口表 ④ 市町村市街図	6. 発電所主要系統模式図（各号炉）	7. 原子炉設置許可申請書（各号炉）	8. 系統図及びプラント配置図 ① 系統図 ② プラント配置図	9. プラント関係プロセス及び放射線計測配置図（各号炉）	10. プラント主要設備概要	11. 原子炉安全保護系ロジック一覧表（各号炉）	12. 規程類 ① 原子炉施設保安規定 ② 原子力事業者防災業務計画	13. 事故時操作手順書類	<p>(3) 原子力災害対策活動で使用する主な資料（緊急時対策所）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>資料名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1. 泊発電所サイト周辺地図 (1) 発電所周辺地図（1/25,000） (2) 発電所周辺地図（1/50,000）</td> </tr> <tr> <td>2. 泊発電所サイト周辺航空写真パネル</td> </tr> <tr> <td>3. 泊発電所気象観測データ (1) 統計処理データ (2) 毎時観測データ</td> </tr> <tr> <td>4. 泊発電所周辺環境モニタリング関連データ (1) 空間線量モニタリング配置図 (2) 環境試料サンプリング位置図 (3) 環境モニタリング測定データ</td> </tr> <tr> <td>5. 泊発電所周辺人口関連データ (1) 方位別人口分布図 (2) 集落の人口分布図 (3) 市町村人口表</td> </tr> <tr> <td>6. 泊発電所主要系統模式図</td> </tr> <tr> <td>7. 泊発電所原子炉設置許可申請書</td> </tr> <tr> <td>8. 泊発電所系統図及びプラント配置図 (1) 発電所系統図 (2) プラント配置図</td> </tr> <tr> <td>9. 泊発電所プラント関係プロセス及び放射線計測配置図</td> </tr> <tr> <td>10. 泊発電所プラント主要設備概要</td> </tr> <tr> <td>11. 泊発電所原子炉保護系ロジック一覧表</td> </tr> <tr> <td>12. 規程類 (1) 泊発電所原子炉施設保安規定 (2) 泊発電所原子力事業者防災業務計画</td> </tr> </tbody> </table>	資料名	1. 泊発電所サイト周辺地図 (1) 発電所周辺地図（1/25,000） (2) 発電所周辺地図（1/50,000）	2. 泊発電所サイト周辺航空写真パネル	3. 泊発電所気象観測データ (1) 統計処理データ (2) 毎時観測データ	4. 泊発電所周辺環境モニタリング関連データ (1) 空間線量モニタリング配置図 (2) 環境試料サンプリング位置図 (3) 環境モニタリング測定データ	5. 泊発電所周辺人口関連データ (1) 方位別人口分布図 (2) 集落の人口分布図 (3) 市町村人口表	6. 泊発電所主要系統模式図	7. 泊発電所原子炉設置許可申請書	8. 泊発電所系統図及びプラント配置図 (1) 発電所系統図 (2) プラント配置図	9. 泊発電所プラント関係プロセス及び放射線計測配置図	10. 泊発電所プラント主要設備概要	11. 泊発電所原子炉保護系ロジック一覧表	12. 規程類 (1) 泊発電所原子炉施設保安規定 (2) 泊発電所原子力事業者防災業務計画	<p>【大阪】【女川】 記載表現の相違</p>
種類	資料名																																					
1. 組織及び体制に関する資料	(1) 緊急時対応組織資料 ① 大阪発電所原子力事業者防災業務計画 ② 大阪発電所原子炉施設保安規定 ③ 原子力防災規程 ④ 非常時の措置通達 ⑤ 原子力防災業務要綱 ⑥ 大阪発電所事故時操作所則 ⑦ 大阪発電所重大事故等発生時における原子炉施設の保全のための活動に関する所達 ⑧ 大阪発電所大規模損壊発生時における原子炉施設の保全のための活動に関する所達 (2) 緊急時通信連絡体制資料 ① 原子力防災組織要員名簿等																																					
2. 社会環境に関する資料	(1) 大阪発電所周辺人口関連資料 ① 方位別人口分布図 ② 集落別人口分布図 ③ 市町村人口表 (2) 大阪発電所周辺環境資料 ① 発電所周辺航空写真 ② 発電所周辺地図（2万5千分の1） ③ 発電所周辺地図（5万分の1） ④ 市町村市街図																																					
3. 放射能影響測定に関する資料	(1) 大阪発電所気象関係資料 ① 気象観測データ (2) 緊急モニタリング資料 ① 空間線量モニタリング配置図 ② 環境試料サンプリング位置図 ③ 環境モニタリング測定データ (3) 大阪発電所設備資料 ① 主要系統模式図 ② 原子炉設置（変更）許可申請書 ③ 系統図 ④ プラント配置図 ⑤ プラント関係プロセス及び放射線計測配置図 ⑥ プラント主要設備概要 ⑦ 原子炉安全保護系ロジック一覧表																																					
資料名																																						
1. 発電所周辺地図 ① 発電所周辺地域地図（1/25,000） ② 発電所周辺地域地図（1/50,000）																																						
2. 発電所周辺航空写真パネル																																						
3. 発電所気象観測データ ① 統計処理データ ② 毎時観測データ																																						
4. 発電所周辺環境モニタリング関連データ ① 空間線量モニタリング配置図 ② 環境試料サンプリング位置図 ③ 環境モニタリング測定データ																																						
5. 発電所周辺人口関連データ ① 方位別人口分布図 ② 集落の人口分布図 ③ 市町村人口表 ④ 市町村市街図																																						
6. 発電所主要系統模式図（各号炉）																																						
7. 原子炉設置許可申請書（各号炉）																																						
8. 系統図及びプラント配置図 ① 系統図 ② プラント配置図																																						
9. プラント関係プロセス及び放射線計測配置図（各号炉）																																						
10. プラント主要設備概要																																						
11. 原子炉安全保護系ロジック一覧表（各号炉）																																						
12. 規程類 ① 原子炉施設保安規定 ② 原子力事業者防災業務計画																																						
13. 事故時操作手順書類																																						
資料名																																						
1. 泊発電所サイト周辺地図 (1) 発電所周辺地図（1/25,000） (2) 発電所周辺地図（1/50,000）																																						
2. 泊発電所サイト周辺航空写真パネル																																						
3. 泊発電所気象観測データ (1) 統計処理データ (2) 毎時観測データ																																						
4. 泊発電所周辺環境モニタリング関連データ (1) 空間線量モニタリング配置図 (2) 環境試料サンプリング位置図 (3) 環境モニタリング測定データ																																						
5. 泊発電所周辺人口関連データ (1) 方位別人口分布図 (2) 集落の人口分布図 (3) 市町村人口表																																						
6. 泊発電所主要系統模式図																																						
7. 泊発電所原子炉設置許可申請書																																						
8. 泊発電所系統図及びプラント配置図 (1) 発電所系統図 (2) プラント配置図																																						
9. 泊発電所プラント関係プロセス及び放射線計測配置図																																						
10. 泊発電所プラント主要設備概要																																						
11. 泊発電所原子炉保護系ロジック一覧表																																						
12. 規程類 (1) 泊発電所原子炉施設保安規定 (2) 泊発電所原子力事業者防災業務計画																																						

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

2.1 可搬型設備等による対応

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																																																																										
<p>(4) 放射線管理用資機材及びチェンジングエリア用資機材等 (B 中央制御室) a. 防護用資機材</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>保管数</th> <th>根拠</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>汚染防護服 (タイベック)</td> <td>46着(約6,000着)</td> <td>運転員等12名×1回(初動対応) + 余裕(2重化含む)</td> </tr> <tr> <td>綿帽子</td> <td>23個(約6,000個)</td> <td>運転員等12名×1回(初動対応) + 余裕</td> </tr> <tr> <td>靴下</td> <td>23足(約6,000足)</td> <td>運転員等12名×1回(初動対応) + 余裕</td> </tr> <tr> <td>綿手袋</td> <td>23双(約29,000双)</td> <td>運転員等12名×1回(初動対応) + 余裕</td> </tr> <tr> <td>ゴム手袋</td> <td>46双(約27,000双)</td> <td>運転員等12名×2双×1回(初動対応) + 余裕</td> </tr> <tr> <td>アノラック</td> <td>23着(約700着)</td> <td>運転員等12名×1回(初動対応) + 余裕</td> </tr> <tr> <td>全面マスク</td> <td>23個(約1,600個)</td> <td>運転員等12名×1回(初動対応) + 余裕</td> </tr> <tr> <td>靴カバー</td> <td>23足(約6,000足)</td> <td>運転員等12名×1回(初動対応) + 余裕</td> </tr> <tr> <td>長靴</td> <td>10足(約300足)</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>セルフエアセット</td> <td>2台(約70台)</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>交換カートリッジ (2個/組)</td> <td>23組(約3,000組)</td> <td>運転員等12名×1回(初動対応) + 余裕</td> </tr> </tbody> </table> <p>注：初動対応時に運転員は中央制御室保管の防護用資機材を使用。 () 内は構内保管数。1週間分の防護用資機材は構内保管分を使用。</p> <p>b. 計測器(被ばく管理・除染管理)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>保管数</th> <th>根拠</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>個人線量計</td> <td>23台(約2,900台)</td> <td>運転員等12名+余裕</td> </tr> <tr> <td>表面汚染密度測定用 サーベイメータ</td> <td>2台(約50台)</td> <td>中央制御室内等のモニタリング及び中央制御室入室者の汚染検査に使用</td> </tr> <tr> <td>ガンマ線測定用 サーベイメータ</td> <td>2台(約60台)</td> <td>中央制御室内等のモニタリングに使用</td> </tr> </tbody> </table> <p>注：() 内は構内保管数。</p>	名称	保管数	根拠	汚染防護服 (タイベック)	46着(約6,000着)	運転員等12名×1回(初動対応) + 余裕(2重化含む)	綿帽子	23個(約6,000個)	運転員等12名×1回(初動対応) + 余裕	靴下	23足(約6,000足)	運転員等12名×1回(初動対応) + 余裕	綿手袋	23双(約29,000双)	運転員等12名×1回(初動対応) + 余裕	ゴム手袋	46双(約27,000双)	運転員等12名×2双×1回(初動対応) + 余裕	アノラック	23着(約700着)	運転員等12名×1回(初動対応) + 余裕	全面マスク	23個(約1,600個)	運転員等12名×1回(初動対応) + 余裕	靴カバー	23足(約6,000足)	運転員等12名×1回(初動対応) + 余裕	長靴	10足(約300足)	-	セルフエアセット	2台(約70台)	-	交換カートリッジ (2個/組)	23組(約3,000組)	運転員等12名×1回(初動対応) + 余裕	名称	保管数	根拠	個人線量計	23台(約2,900台)	運転員等12名+余裕	表面汚染密度測定用 サーベイメータ	2台(約50台)	中央制御室内等のモニタリング及び中央制御室入室者の汚染検査に使用	ガンマ線測定用 サーベイメータ	2台(約60台)	中央制御室内等のモニタリングに使用	<p>(3) 中央制御室に保管する放射線管理用資機材及びチェンジングエリア用資機材等 a. 防護具</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>品名</th> <th>保管数*</th> <th>考え方</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>タイベック</td> <td>147着</td> <td>2号炉運転員7名×3回/日×7日</td> </tr> <tr> <td>手首(上下セット)</td> <td>147着</td> <td>2号炉運転員7名×3回/日×7日</td> </tr> <tr> <td>帽子</td> <td>147個</td> <td>2号炉運転員7名×3回/日×7日</td> </tr> <tr> <td>靴下</td> <td>147足</td> <td>2号炉運転員7名×3回/日×7日</td> </tr> <tr> <td>綿手袋</td> <td>147双</td> <td>2号炉運転員7名×3回/日×7日</td> </tr> <tr> <td>ゴム手袋</td> <td>294双</td> <td>147双×2</td> </tr> <tr> <td>全面マスク</td> <td>42個</td> <td>2号炉運転員7名×6日</td> </tr> <tr> <td>電動ファン付き全面マスク</td> <td>7個</td> <td>2号炉運転員7名×1日</td> </tr> <tr> <td>電動ファン付き 全面マスク用フィルター</td> <td>35個</td> <td>2号炉運転員7名×5回/日×1日</td> </tr> <tr> <td>マスク用サングラス フィルター(2個/セット)</td> <td>147セット</td> <td>2号炉運転員7名×3回/日×7日</td> </tr> <tr> <td>EVAスーツ(上下セット)</td> <td>14セット</td> <td>2号炉運転員7名×3回/日×7日×100%</td> </tr> <tr> <td>汚染区域用靴</td> <td>8足</td> <td>2号炉運転員のうち現場要員2名×2履×2</td> </tr> <tr> <td>自動式呼吸器</td> <td>4セット</td> <td>炉心損傷後における原子炉格納容器フィルターベントによる格納容器内部(現場操作)対応者2名+予備2</td> </tr> <tr> <td>耐熱服</td> <td>3セット</td> <td>インターフェースシステム(ICA)対応者2名+予備1</td> </tr> <tr> <td>タンデムスケンベスタ</td> <td>1着</td> <td>2号炉運転員のうち現場要員2名×2履</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 予備を含む(今後、訓練等で見直しを行う。)</p> <p>b. 計測器(被ばく管理, 汚染管理)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>品名</th> <th>保管数*</th> <th>考え方</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>個人線量計 (電子式線量計)</td> <td>11台</td> <td>2号炉運転員7名×2</td> </tr> <tr> <td>個人線量計 (ガラスバッジ)</td> <td>14台</td> <td>2号炉運転員7名×2</td> </tr> <tr> <td>表面汚染密度測定用 サーベイメータ</td> <td>4台</td> <td>チェンジングエリア用2台(身体サーベイを行う放射線管理員1名分+余裕) + 中央制御室内外用2台(モニタリングを行う放射線管理員1名分+余裕)</td> </tr> <tr> <td>ガンマ線測定用 サーベイメータ</td> <td>4台</td> <td>チェンジングエリア用2台(モニタリングを行う放射線管理員1名分+余裕) + 中央制御室内外用2台(モニタリングを行う放射線管理員1名分+余裕)</td> </tr> <tr> <td>可搬型エリアモニタ</td> <td>4台</td> <td>中央制御室内2台(1台+余裕) + 格納所内2台(1台+余裕)</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 予備を含む(今後、訓練等で見直しを行う。)</p>	品名	保管数*	考え方	タイベック	147着	2号炉運転員7名×3回/日×7日	手首(上下セット)	147着	2号炉運転員7名×3回/日×7日	帽子	147個	2号炉運転員7名×3回/日×7日	靴下	147足	2号炉運転員7名×3回/日×7日	綿手袋	147双	2号炉運転員7名×3回/日×7日	ゴム手袋	294双	147双×2	全面マスク	42個	2号炉運転員7名×6日	電動ファン付き全面マスク	7個	2号炉運転員7名×1日	電動ファン付き 全面マスク用フィルター	35個	2号炉運転員7名×5回/日×1日	マスク用サングラス フィルター(2個/セット)	147セット	2号炉運転員7名×3回/日×7日	EVAスーツ(上下セット)	14セット	2号炉運転員7名×3回/日×7日×100%	汚染区域用靴	8足	2号炉運転員のうち現場要員2名×2履×2	自動式呼吸器	4セット	炉心損傷後における原子炉格納容器フィルターベントによる格納容器内部(現場操作)対応者2名+予備2	耐熱服	3セット	インターフェースシステム(ICA)対応者2名+予備1	タンデムスケンベスタ	1着	2号炉運転員のうち現場要員2名×2履	品名	保管数*	考え方	個人線量計 (電子式線量計)	11台	2号炉運転員7名×2	個人線量計 (ガラスバッジ)	14台	2号炉運転員7名×2	表面汚染密度測定用 サーベイメータ	4台	チェンジングエリア用2台(身体サーベイを行う放射線管理員1名分+余裕) + 中央制御室内外用2台(モニタリングを行う放射線管理員1名分+余裕)	ガンマ線測定用 サーベイメータ	4台	チェンジングエリア用2台(モニタリングを行う放射線管理員1名分+余裕) + 中央制御室内外用2台(モニタリングを行う放射線管理員1名分+余裕)	可搬型エリアモニタ	4台	中央制御室内2台(1台+余裕) + 格納所内2台(1台+余裕)	<p>(4) 放射線管理用資機材及びチェンジングエリア用資機材等(3号炉中央制御室) a. 防護具</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>品名</th> <th>単位</th> <th>保管数</th> <th>考え方</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>タイベック</td> <td>着</td> <td>50着</td> <td>31名×1.5倍</td> </tr> <tr> <td>綿帽子</td> <td>個</td> <td>50個</td> <td>31名×1.5倍</td> </tr> <tr> <td>汚染区域用靴下</td> <td>足</td> <td>50足</td> <td>31名×1.5倍</td> </tr> <tr> <td>綿手袋</td> <td>双</td> <td>50双</td> <td>31名×1.5倍</td> </tr> <tr> <td>オーバージュース(靴カバー)</td> <td>足</td> <td>50足</td> <td>31名×1.5倍</td> </tr> <tr> <td>全面マスク</td> <td>個</td> <td>100個</td> <td>31名×2(中央制御室内での着用分)×1.5倍</td> </tr> <tr> <td>電動ファン付きマスク</td> <td>個</td> <td>10個</td> <td>8名+余裕</td> </tr> <tr> <td>チャコールフィルタ(以下内訳)</td> <td>個</td> <td>210個</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>全面マスク用</td> <td>個</td> <td>200個</td> <td>31名×2(中央制御室内での着用分)×1.5倍×2個</td> </tr> <tr> <td>電動ファン付きマスク用</td> <td>個</td> <td>10個</td> <td>8名+余裕</td> </tr> <tr> <td>ゴム手袋</td> <td>双</td> <td>100双</td> <td>31名×1.5倍×2重</td> </tr> <tr> <td>アノラック</td> <td>着</td> <td>50</td> <td>31名×1.5倍</td> </tr> <tr> <td>セルフエアセット</td> <td>台</td> <td>16台</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table> <p>b. 計測器(被ばく管理, 汚染管理)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>品名</th> <th>単位</th> <th>保管数</th> <th>考え方</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ポケット線量計</td> <td>台</td> <td>50台</td> <td>31名×1.5倍</td> </tr> <tr> <td>GM汚染サーベイメータ</td> <td>台</td> <td>3台</td> <td>中央制御室内のモニタリング及び中央制御室入室者の汚染検査に使用</td> </tr> <tr> <td>電離箱サーベイメータ</td> <td>台</td> <td>2台</td> <td>中央制御室内のモニタリングに使用</td> </tr> </tbody> </table>	品名	単位	保管数	考え方	タイベック	着	50着	31名×1.5倍	綿帽子	個	50個	31名×1.5倍	汚染区域用靴下	足	50足	31名×1.5倍	綿手袋	双	50双	31名×1.5倍	オーバージュース(靴カバー)	足	50足	31名×1.5倍	全面マスク	個	100個	31名×2(中央制御室内での着用分)×1.5倍	電動ファン付きマスク	個	10個	8名+余裕	チャコールフィルタ(以下内訳)	個	210個	-	全面マスク用	個	200個	31名×2(中央制御室内での着用分)×1.5倍×2個	電動ファン付きマスク用	個	10個	8名+余裕	ゴム手袋	双	100双	31名×1.5倍×2重	アノラック	着	50	31名×1.5倍	セルフエアセット	台	16台	-	品名	単位	保管数	考え方	ポケット線量計	台	50台	31名×1.5倍	GM汚染サーベイメータ	台	3台	中央制御室内のモニタリング及び中央制御室入室者の汚染検査に使用	電離箱サーベイメータ	台	2台	中央制御室内のモニタリングに使用	<p>【大飯】【女川】記載表現の相違</p> <p>【大飯】【女川】記載内容の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発電所の違いによる品目及び保管数の相違。 <p>■記載表現の相違</p> <p>【大飯】【女川】記載内容の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発電所の違いによる品目及び保管数の相違。
名称	保管数	根拠																																																																																																																																																																																											
汚染防護服 (タイベック)	46着(約6,000着)	運転員等12名×1回(初動対応) + 余裕(2重化含む)																																																																																																																																																																																											
綿帽子	23個(約6,000個)	運転員等12名×1回(初動対応) + 余裕																																																																																																																																																																																											
靴下	23足(約6,000足)	運転員等12名×1回(初動対応) + 余裕																																																																																																																																																																																											
綿手袋	23双(約29,000双)	運転員等12名×1回(初動対応) + 余裕																																																																																																																																																																																											
ゴム手袋	46双(約27,000双)	運転員等12名×2双×1回(初動対応) + 余裕																																																																																																																																																																																											
アノラック	23着(約700着)	運転員等12名×1回(初動対応) + 余裕																																																																																																																																																																																											
全面マスク	23個(約1,600個)	運転員等12名×1回(初動対応) + 余裕																																																																																																																																																																																											
靴カバー	23足(約6,000足)	運転員等12名×1回(初動対応) + 余裕																																																																																																																																																																																											
長靴	10足(約300足)	-																																																																																																																																																																																											
セルフエアセット	2台(約70台)	-																																																																																																																																																																																											
交換カートリッジ (2個/組)	23組(約3,000組)	運転員等12名×1回(初動対応) + 余裕																																																																																																																																																																																											
名称	保管数	根拠																																																																																																																																																																																											
個人線量計	23台(約2,900台)	運転員等12名+余裕																																																																																																																																																																																											
表面汚染密度測定用 サーベイメータ	2台(約50台)	中央制御室内等のモニタリング及び中央制御室入室者の汚染検査に使用																																																																																																																																																																																											
ガンマ線測定用 サーベイメータ	2台(約60台)	中央制御室内等のモニタリングに使用																																																																																																																																																																																											
品名	保管数*	考え方																																																																																																																																																																																											
タイベック	147着	2号炉運転員7名×3回/日×7日																																																																																																																																																																																											
手首(上下セット)	147着	2号炉運転員7名×3回/日×7日																																																																																																																																																																																											
帽子	147個	2号炉運転員7名×3回/日×7日																																																																																																																																																																																											
靴下	147足	2号炉運転員7名×3回/日×7日																																																																																																																																																																																											
綿手袋	147双	2号炉運転員7名×3回/日×7日																																																																																																																																																																																											
ゴム手袋	294双	147双×2																																																																																																																																																																																											
全面マスク	42個	2号炉運転員7名×6日																																																																																																																																																																																											
電動ファン付き全面マスク	7個	2号炉運転員7名×1日																																																																																																																																																																																											
電動ファン付き 全面マスク用フィルター	35個	2号炉運転員7名×5回/日×1日																																																																																																																																																																																											
マスク用サングラス フィルター(2個/セット)	147セット	2号炉運転員7名×3回/日×7日																																																																																																																																																																																											
EVAスーツ(上下セット)	14セット	2号炉運転員7名×3回/日×7日×100%																																																																																																																																																																																											
汚染区域用靴	8足	2号炉運転員のうち現場要員2名×2履×2																																																																																																																																																																																											
自動式呼吸器	4セット	炉心損傷後における原子炉格納容器フィルターベントによる格納容器内部(現場操作)対応者2名+予備2																																																																																																																																																																																											
耐熱服	3セット	インターフェースシステム(ICA)対応者2名+予備1																																																																																																																																																																																											
タンデムスケンベスタ	1着	2号炉運転員のうち現場要員2名×2履																																																																																																																																																																																											
品名	保管数*	考え方																																																																																																																																																																																											
個人線量計 (電子式線量計)	11台	2号炉運転員7名×2																																																																																																																																																																																											
個人線量計 (ガラスバッジ)	14台	2号炉運転員7名×2																																																																																																																																																																																											
表面汚染密度測定用 サーベイメータ	4台	チェンジングエリア用2台(身体サーベイを行う放射線管理員1名分+余裕) + 中央制御室内外用2台(モニタリングを行う放射線管理員1名分+余裕)																																																																																																																																																																																											
ガンマ線測定用 サーベイメータ	4台	チェンジングエリア用2台(モニタリングを行う放射線管理員1名分+余裕) + 中央制御室内外用2台(モニタリングを行う放射線管理員1名分+余裕)																																																																																																																																																																																											
可搬型エリアモニタ	4台	中央制御室内2台(1台+余裕) + 格納所内2台(1台+余裕)																																																																																																																																																																																											
品名	単位	保管数	考え方																																																																																																																																																																																										
タイベック	着	50着	31名×1.5倍																																																																																																																																																																																										
綿帽子	個	50個	31名×1.5倍																																																																																																																																																																																										
汚染区域用靴下	足	50足	31名×1.5倍																																																																																																																																																																																										
綿手袋	双	50双	31名×1.5倍																																																																																																																																																																																										
オーバージュース(靴カバー)	足	50足	31名×1.5倍																																																																																																																																																																																										
全面マスク	個	100個	31名×2(中央制御室内での着用分)×1.5倍																																																																																																																																																																																										
電動ファン付きマスク	個	10個	8名+余裕																																																																																																																																																																																										
チャコールフィルタ(以下内訳)	個	210個	-																																																																																																																																																																																										
全面マスク用	個	200個	31名×2(中央制御室内での着用分)×1.5倍×2個																																																																																																																																																																																										
電動ファン付きマスク用	個	10個	8名+余裕																																																																																																																																																																																										
ゴム手袋	双	100双	31名×1.5倍×2重																																																																																																																																																																																										
アノラック	着	50	31名×1.5倍																																																																																																																																																																																										
セルフエアセット	台	16台	-																																																																																																																																																																																										
品名	単位	保管数	考え方																																																																																																																																																																																										
ポケット線量計	台	50台	31名×1.5倍																																																																																																																																																																																										
GM汚染サーベイメータ	台	3台	中央制御室内のモニタリング及び中央制御室入室者の汚染検査に使用																																																																																																																																																																																										
電離箱サーベイメータ	台	2台	中央制御室内のモニタリングに使用																																																																																																																																																																																										

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

2.1 可搬型設備等による対応

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																																																																				
<p>c. 中央制御室チェンジングエリア設置用資機材</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>保管数</th> <th>相違</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>鋼製ボード</td><td>1式</td><td></td></tr> <tr><td>養生シート</td><td>6本</td><td></td></tr> <tr><td>バリア</td><td>5個</td><td></td></tr> <tr><td>粘着マット</td><td>5個</td><td></td></tr> <tr><td>ゴミ箱（スタンション含む）</td><td>7個</td><td></td></tr> <tr><td>ポリ袋（赤・黄・黒）</td><td>各200枚</td><td></td></tr> <tr><td>テープ（白・黒）</td><td>各20巻</td><td></td></tr> <tr><td>ウエス</td><td>2箱</td><td></td></tr> <tr><td>ウェットティッシュ</td><td>10個</td><td></td></tr> <tr><td>はさみ・カッター</td><td>各2本</td><td></td></tr> <tr><td>マジック</td><td>2本</td><td></td></tr> <tr><td>簡易シャワー</td><td>1台</td><td></td></tr> <tr><td>簡易タンク</td><td>1台</td><td></td></tr> <tr><td>チェンジングエリア 可搬型空気浄化装置（ダクト含む）</td><td>1式</td><td>チェンジングエリア設置に必要な数量</td></tr> </tbody> </table>	名称	保管数	相違	鋼製ボード	1式		養生シート	6本		バリア	5個		粘着マット	5個		ゴミ箱（スタンション含む）	7個		ポリ袋（赤・黄・黒）	各200枚		テープ（白・黒）	各20巻		ウエス	2箱		ウェットティッシュ	10個		はさみ・カッター	各2本		マジック	2本		簡易シャワー	1台		簡易タンク	1台		チェンジングエリア 可搬型空気浄化装置（ダクト含む）	1式	チェンジングエリア設置に必要な数量	<p>c. チェンジングエリア用資機材</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>品名</th> <th>保管数[※]</th> <th>考え方</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>養生シート（床用）</td><td>2巻^{※1}</td><td></td></tr> <tr><td>養生シート（壁用）</td><td>12巻^{※1}</td><td></td></tr> <tr><td>テープ</td><td>20巻</td><td></td></tr> <tr><td>積層シート</td><td>6枚</td><td></td></tr> <tr><td>ゴミ箱</td><td>7個</td><td></td></tr> <tr><td>ポリ袋</td><td>100枚</td><td></td></tr> <tr><td>ウエス</td><td>2箱</td><td></td></tr> <tr><td>ウェットティッシュ</td><td>50個</td><td></td></tr> <tr><td>はさみ</td><td>3丁</td><td></td></tr> <tr><td>カッター</td><td>3本</td><td></td></tr> <tr><td>マジック</td><td>3本</td><td></td></tr> <tr><td>バリア</td><td>8個^{※2}</td><td>チェンジングエリア設置及び補修に必要な数量</td></tr> <tr><td>フェンス</td><td>12枚^{※1}</td><td></td></tr> <tr><td>ヘルメット掛け</td><td>2台</td><td></td></tr> <tr><td>棚</td><td>2台</td><td></td></tr> <tr><td>除染エリア用ハウス</td><td>1式^{※3}</td><td></td></tr> <tr><td>簡易シャワー</td><td>1台^{※4}</td><td></td></tr> <tr><td>ポリタンク</td><td>1台^{※5}</td><td></td></tr> <tr><td>トレイ</td><td>1個</td><td></td></tr> <tr><td>バケツ</td><td>2個</td><td></td></tr> <tr><td>可搬型空気浄化設備</td><td>1台（予備1台）</td><td></td></tr> <tr><td>可搬型空気浄化設備用ダクト</td><td>1式</td><td></td></tr> <tr><td>乾電池内蔵型照明</td><td>4台（予備1台）</td><td></td></tr> </tbody> </table> <p>※1 仕様 1,800mm×500mm/巻 ※2 仕様 2,100mm×250mm/巻 ※3 仕様 900mm×240mm×225mm/個（アルミ製） ※4 仕様 1,200mm×900mm×25mm/枚（アルミ製） ※5 仕様 1,100mm×1,100mm×1,950mm/式（折りたたみ式、布製） ※6 仕様 タンク容量7.5リットル（手動ポンプ式） ※7 仕様 タンク容量20リットル（ポリタンク） ※8 予備を含む（今後、訓練等で見直しを行う。）</p> <p>d. 食糧等</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>品名</th> <th>保管数[※]</th> <th>考え方</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>食糧</td><td>147食</td><td>7名（2号炉運転員）×7日×3食</td></tr> <tr><td>飲料水（L3リットル）</td><td>98本</td><td>7名（2号炉運転員）×7日×2本</td></tr> <tr><td>簡易トイレ</td><td>30個</td><td>7名（2号炉運転員）×（3回/16時間（放射線異常発生中））×余裕＝30個</td></tr> <tr><td>リウ薬類</td><td>56錠</td><td>7名（2号炉運転員）×（3日2錠+2日1日1錠/日×6日）＝56錠</td></tr> </tbody> </table> <p>※ 予備を含む（今後、訓練等で見直しを行う。）</p>	品名	保管数 [※]	考え方	養生シート（床用）	2巻 ^{※1}		養生シート（壁用）	12巻 ^{※1}		テープ	20巻		積層シート	6枚		ゴミ箱	7個		ポリ袋	100枚		ウエス	2箱		ウェットティッシュ	50個		はさみ	3丁		カッター	3本		マジック	3本		バリア	8個 ^{※2}	チェンジングエリア設置及び補修に必要な数量	フェンス	12枚 ^{※1}		ヘルメット掛け	2台		棚	2台		除染エリア用ハウス	1式 ^{※3}		簡易シャワー	1台 ^{※4}		ポリタンク	1台 ^{※5}		トレイ	1個		バケツ	2個		可搬型空気浄化設備	1台（予備1台）		可搬型空気浄化設備用ダクト	1式		乾電池内蔵型照明	4台（予備1台）		品名	保管数 [※]	考え方	食糧	147食	7名（2号炉運転員）×7日×3食	飲料水（L3リットル）	98本	7名（2号炉運転員）×7日×2本	簡易トイレ	30個	7名（2号炉運転員）×（3回/16時間（放射線異常発生中））×余裕＝30個	リウ薬類	56錠	7名（2号炉運転員）×（3日2錠+2日1日1錠/日×6日）＝56錠	<p>c. チェンジングエリア用資機材</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>品名</th> <th>保管数</th> <th>考え方</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>グリーンハウス（透明）</td><td>2個</td><td>予備1個含む</td></tr> <tr><td>グリーンハウス専用フレーム</td><td>1個</td><td>—</td></tr> <tr><td>養生シート（透明・ピンク・白）</td><td>9本</td><td>各色3本</td></tr> <tr><td>バリア（600・750・900mm）</td><td>9枚</td><td>各サイズ3枚</td></tr> <tr><td>作業用テープ（緑）</td><td>5巻</td><td>—</td></tr> <tr><td>養生テープ（ピンク）</td><td>20巻</td><td>—</td></tr> <tr><td>透明ロール袋（大）</td><td>10本</td><td>—</td></tr> <tr><td>粘着マット</td><td>10枚</td><td>—</td></tr> <tr><td>ウエス</td><td>1箱</td><td>24束/箱</td></tr> <tr><td>ウェットティッシュ</td><td>62個</td><td>31名×2個</td></tr> <tr><td>はさみ・カッター</td><td>各2個</td><td>必要数</td></tr> <tr><td>マジック</td><td>2本</td><td>必要数</td></tr> <tr><td>簡易テント</td><td>1個</td><td>必要数</td></tr> <tr><td>簡易シャワー</td><td>1個</td><td>必要数</td></tr> <tr><td>微量管理用テーブル</td><td>1台</td><td>必要数</td></tr> </tbody> </table>	品名	保管数	考え方	グリーンハウス（透明）	2個	予備1個含む	グリーンハウス専用フレーム	1個	—	養生シート（透明・ピンク・白）	9本	各色3本	バリア（600・750・900mm）	9枚	各サイズ3枚	作業用テープ（緑）	5巻	—	養生テープ（ピンク）	20巻	—	透明ロール袋（大）	10本	—	粘着マット	10枚	—	ウエス	1箱	24束/箱	ウェットティッシュ	62個	31名×2個	はさみ・カッター	各2個	必要数	マジック	2本	必要数	簡易テント	1個	必要数	簡易シャワー	1個	必要数	微量管理用テーブル	1台	必要数	<p>■記載表現の相違</p> <p>【大飯】【女川】記載内容の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発電所の違いによる品目及び保管数の相違。 <p>【女川】配備する資機材等の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・泊は、中央制御室の運転員を考慮した食料等を緊急時対策所に配備する。
名称	保管数	相違																																																																																																																																																																																					
鋼製ボード	1式																																																																																																																																																																																						
養生シート	6本																																																																																																																																																																																						
バリア	5個																																																																																																																																																																																						
粘着マット	5個																																																																																																																																																																																						
ゴミ箱（スタンション含む）	7個																																																																																																																																																																																						
ポリ袋（赤・黄・黒）	各200枚																																																																																																																																																																																						
テープ（白・黒）	各20巻																																																																																																																																																																																						
ウエス	2箱																																																																																																																																																																																						
ウェットティッシュ	10個																																																																																																																																																																																						
はさみ・カッター	各2本																																																																																																																																																																																						
マジック	2本																																																																																																																																																																																						
簡易シャワー	1台																																																																																																																																																																																						
簡易タンク	1台																																																																																																																																																																																						
チェンジングエリア 可搬型空気浄化装置（ダクト含む）	1式	チェンジングエリア設置に必要な数量																																																																																																																																																																																					
品名	保管数 [※]	考え方																																																																																																																																																																																					
養生シート（床用）	2巻 ^{※1}																																																																																																																																																																																						
養生シート（壁用）	12巻 ^{※1}																																																																																																																																																																																						
テープ	20巻																																																																																																																																																																																						
積層シート	6枚																																																																																																																																																																																						
ゴミ箱	7個																																																																																																																																																																																						
ポリ袋	100枚																																																																																																																																																																																						
ウエス	2箱																																																																																																																																																																																						
ウェットティッシュ	50個																																																																																																																																																																																						
はさみ	3丁																																																																																																																																																																																						
カッター	3本																																																																																																																																																																																						
マジック	3本																																																																																																																																																																																						
バリア	8個 ^{※2}	チェンジングエリア設置及び補修に必要な数量																																																																																																																																																																																					
フェンス	12枚 ^{※1}																																																																																																																																																																																						
ヘルメット掛け	2台																																																																																																																																																																																						
棚	2台																																																																																																																																																																																						
除染エリア用ハウス	1式 ^{※3}																																																																																																																																																																																						
簡易シャワー	1台 ^{※4}																																																																																																																																																																																						
ポリタンク	1台 ^{※5}																																																																																																																																																																																						
トレイ	1個																																																																																																																																																																																						
バケツ	2個																																																																																																																																																																																						
可搬型空気浄化設備	1台（予備1台）																																																																																																																																																																																						
可搬型空気浄化設備用ダクト	1式																																																																																																																																																																																						
乾電池内蔵型照明	4台（予備1台）																																																																																																																																																																																						
品名	保管数 [※]	考え方																																																																																																																																																																																					
食糧	147食	7名（2号炉運転員）×7日×3食																																																																																																																																																																																					
飲料水（L3リットル）	98本	7名（2号炉運転員）×7日×2本																																																																																																																																																																																					
簡易トイレ	30個	7名（2号炉運転員）×（3回/16時間（放射線異常発生中））×余裕＝30個																																																																																																																																																																																					
リウ薬類	56錠	7名（2号炉運転員）×（3日2錠+2日1日1錠/日×6日）＝56錠																																																																																																																																																																																					
品名	保管数	考え方																																																																																																																																																																																					
グリーンハウス（透明）	2個	予備1個含む																																																																																																																																																																																					
グリーンハウス専用フレーム	1個	—																																																																																																																																																																																					
養生シート（透明・ピンク・白）	9本	各色3本																																																																																																																																																																																					
バリア（600・750・900mm）	9枚	各サイズ3枚																																																																																																																																																																																					
作業用テープ（緑）	5巻	—																																																																																																																																																																																					
養生テープ（ピンク）	20巻	—																																																																																																																																																																																					
透明ロール袋（大）	10本	—																																																																																																																																																																																					
粘着マット	10枚	—																																																																																																																																																																																					
ウエス	1箱	24束/箱																																																																																																																																																																																					
ウェットティッシュ	62個	31名×2個																																																																																																																																																																																					
はさみ・カッター	各2個	必要数																																																																																																																																																																																					
マジック	2本	必要数																																																																																																																																																																																					
簡易テント	1個	必要数																																																																																																																																																																																					
簡易シャワー	1個	必要数																																																																																																																																																																																					
微量管理用テーブル	1台	必要数																																																																																																																																																																																					
<p>d. その他資機材（可搬型照明）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>品名</th> <th>保管数</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>可搬型照明（SA）</td><td>9個</td><td>B中央制御室用6個 B中央制御室チェンジングエリア用2個 予備1個</td></tr> <tr><td>酸素濃度計</td><td>3台</td><td>B中央制御室用（予備2台含む）</td></tr> <tr><td>二酸化炭素濃度計</td><td>3台</td><td>B中央制御室用（予備2台含む）</td></tr> <tr><td>懐中電灯</td><td>10個</td><td>B中央制御室用</td></tr> <tr><td>ランタン</td><td>4個</td><td>B中央制御室用</td></tr> </tbody> </table>	品名	保管数	備考	可搬型照明（SA）	9個	B中央制御室用6個 B中央制御室チェンジングエリア用2個 予備1個	酸素濃度計	3台	B中央制御室用（予備2台含む）	二酸化炭素濃度計	3台	B中央制御室用（予備2台含む）	懐中電灯	10個	B中央制御室用	ランタン	4個	B中央制御室用	<p>e. その他資機材</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>品名</th> <th>保管数[※]</th> <th>考え方</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>酸素濃度計</td><td>2台</td><td>1台（故障時及び保守点検による待機時外務のバックアップ用として予備1台を保有する。）</td></tr> <tr><td>二酸化炭素濃度計</td><td>2台</td><td>1台（故障時及び保守点検による待機時外務のバックアップ用として予備1台を保有する。）</td></tr> <tr><td>可搬型照明（SA）</td><td>10個</td><td>2号炉運転員7名分+予備3個</td></tr> <tr><td>可搬型照明（ヘッドライト）</td><td>10個</td><td>2号炉運転員7名分+予備3個</td></tr> <tr><td>可搬型照明（ランタン）</td><td>4個</td><td>発電機長1個+発電副長1個+運転員1個+予備1</td></tr> <tr><td>可搬型照明（懐中電灯）</td><td>10個</td><td>2号炉運転員7名分+予備3個</td></tr> </tbody> </table> <p>※ 予備を含む（今後、訓練等で見直しを行う。）</p>	品名	保管数 [※]	考え方	酸素濃度計	2台	1台（故障時及び保守点検による待機時外務のバックアップ用として予備1台を保有する。）	二酸化炭素濃度計	2台	1台（故障時及び保守点検による待機時外務のバックアップ用として予備1台を保有する。）	可搬型照明（SA）	10個	2号炉運転員7名分+予備3個	可搬型照明（ヘッドライト）	10個	2号炉運転員7名分+予備3個	可搬型照明（ランタン）	4個	発電機長1個+発電副長1個+運転員1個+予備1	可搬型照明（懐中電灯）	10個	2号炉運転員7名分+予備3個	<p>d. その他資機材</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>品名</th> <th>保管数</th> <th>考え方</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>可搬型照明（SA） （チェンジングエリア用）</td><td>3個</td><td>チェンジングエリアの照明に必要な数量（予備1個含む）</td></tr> </tbody> </table>	品名	保管数	考え方	可搬型照明（SA） （チェンジングエリア用）	3個	チェンジングエリアの照明に必要な数量（予備1個含む）	<p>【大飯】【女川】記載表現の相違</p> <p>【大飯】【女川】記載内容の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発電所の違いによる品目及び保管数の相違。 																																																																																																																																							
品名	保管数	備考																																																																																																																																																																																					
可搬型照明（SA）	9個	B中央制御室用6個 B中央制御室チェンジングエリア用2個 予備1個																																																																																																																																																																																					
酸素濃度計	3台	B中央制御室用（予備2台含む）																																																																																																																																																																																					
二酸化炭素濃度計	3台	B中央制御室用（予備2台含む）																																																																																																																																																																																					
懐中電灯	10個	B中央制御室用																																																																																																																																																																																					
ランタン	4個	B中央制御室用																																																																																																																																																																																					
品名	保管数 [※]	考え方																																																																																																																																																																																					
酸素濃度計	2台	1台（故障時及び保守点検による待機時外務のバックアップ用として予備1台を保有する。）																																																																																																																																																																																					
二酸化炭素濃度計	2台	1台（故障時及び保守点検による待機時外務のバックアップ用として予備1台を保有する。）																																																																																																																																																																																					
可搬型照明（SA）	10個	2号炉運転員7名分+予備3個																																																																																																																																																																																					
可搬型照明（ヘッドライト）	10個	2号炉運転員7名分+予備3個																																																																																																																																																																																					
可搬型照明（ランタン）	4個	発電機長1個+発電副長1個+運転員1個+予備1																																																																																																																																																																																					
可搬型照明（懐中電灯）	10個	2号炉運転員7名分+予備3個																																																																																																																																																																																					
品名	保管数	考え方																																																																																																																																																																																					
可搬型照明（SA） （チェンジングエリア用）	3個	チェンジングエリアの照明に必要な数量（予備1個含む）																																																																																																																																																																																					

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

2.1 可搬型設備等による対応

大阪発電所 3 / 4号炉

添付10-1
 通信手段の確保

大規模損壊の発生時において、指揮者と現場間、発電所外等との通信手段を確保するため、多様な複数の通信手段を整備している。

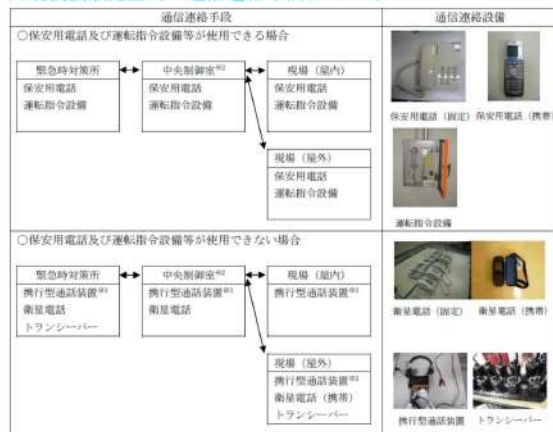
通常の通信手段が使用不能な場合を想定した通信手段として、携行型通話装置、トランシーバー、衛星電話（携帯）及び統合原子力防災ネットワークに接続する通信連絡設備を配備するとともに、消火活動専用の通信設備としてトランシーバー、衛星携帯電話を配備する。（川内ヒアリング）

<携行型通話装置について>

- ・携行型通話装置の通話可能距離は、約20km※1であるため、発電所内を十分にカバーできる。
- ・大規模損壊時の対処において、緊急時対策所にて携行型通話装置を使用する場合、最大の通話距離となるのは4号炉空冷式非常用発電装置であり、その範囲で通話できることを定期的に確認している。

※1：1対1通話の場合。4～5台のグループ通話の場合は約10km。

大規模損壊発生時の通信連絡手段について



※2：中央制御室が使用不能な場合は、緊急時対策所と現場で連絡を取り実施。

※3：携行型通話装置の通信線は既に敷設済みであるが、断線を考慮して通信線約4,000mを配備している。

女川原子力発電所 2号炉

第3表 通信連絡設備の確保

通信種別	主要設備	通信連絡の場所
発電所内	携行型通話装置※1	・中央制御室一現場（屋内）
	携行型通話装置（中継用ケーブルを含む）	・緊急時対策所一現場（屋内）※2
	遠隔通話（ロープウェイ） （警備隊専用機）	・緊急時対策所一中央制御室 ・緊急時対策所一現場（屋外） ・中央制御室一現場（屋内） ・中央制御室一現場（屋外） ・現場（屋内）一現場（屋外）
	移動無線設備 移動無線設備（充電型）	・緊急時対策所一現場（屋外）
発電所内外	無線連絡設備（固定型）※1	・緊急時対策所一中央制御室 ・緊急時対策所一現場（屋外） ・中央制御室一現場（屋内） ・中央制御室一現場（屋外）
	無線連絡設備（携帯型）※1	・緊急時対策所一中央制御室 ・緊急時対策所一現場（屋外） ・中央制御室一現場（屋内） ・中央制御室一現場（屋外）
	電力保安通信用電話設備	・中央制御室 ・現場（屋外）一現場（屋外）
	衛星電話設備	・緊急時対策所一中央制御室
発電所内	統合原子力防災ネットワークを用いた遠隔通話設備	・IP電話※4 ・IP-FAX※4 ・IP電話※4 ・IP-FAX※4
	加入電話設備	・加入電話
	電力保安通信用電話設備	・電力保安電話（固定型）
	データ伝送設備	・データ伝送設備

※1 重大事故等対応設備
 ※2 中央制御室の機能喪失時は、緊急時対策所に配置している携行型通話装置及び中継用ケーブルを使用し、緊急時対策所から現場（屋内）までケーブルを直引して通話連絡を行う。

泊発電所 3号炉

表12-3 通信連絡設備の確保

通信種別	主要設備	通信連絡の場所
通信連絡設備（発電所内）	運転指令設備 （警備装置を含む。）	・緊急時対策所一中央制御室 ・緊急時対策所一現場（屋内） ・中央制御室一現場（屋内） ・中央制御室一現場（屋外） ・現場（屋内）一現場（屋外） ・緊急時対策所（指揮所） 一緊急時対策所（待機所）
	電力保安通信用電話設備	保安電話（固定）※1 保安電話（携帯）※1
	無線連絡設備	トランシーバー※2
	携行型通話装置※3	
通信連絡設備（発電所外）	衛星電話設備	衛星電話設備（固定）※1 ※2 衛星携帯電話※1 ※2
	無線通話装置	固定無線機 車載無線機
	テレビ会議システム（指揮所・待機所間）※2	
	インターフォン※2	
データ伝送設備（発電所内）	データ収集計算機※1 ※2 データ表示端末※2	・原子力補助建屋 ・緊急時対策所
通信連絡設備（発電所外）	加入電話設備	固定電話 FAX
	携帯電話	
	電力保安通信用電話設備	保安電話（固定）※1 保安電話（携帯）※1 衛星保安電話
	専用電話設備	固定電話 FAX
通信連絡設備（発電所外）	衛星電話設備	衛星電話設備（固定）※1 ※2 衛星電話設備（FAX）※2 衛星携帯電話※1 ※2
	統合原子力防災ネットワークに接続する通信連絡設備	TV会議システム※2 IP電話※2 IP-FAX※2
データ伝送設備（発電所外）	データ収集計算機※1 ※2 EISS伝送サーバ※2	

※1 発電所内と発電所外で共用
 ※2 重大事故等対応設備
 ※3 大型航空機の衝突による中央制御室の機能喪失時は、緊急時対策所と現場（屋内）まで通話装置用ケーブルを直引して通信連絡を行う。通話装置用ケーブルは発電所構内に5km分以上を配備する。なお、携行型通話装置の最大通話可能距離は約10km（1対1通話の場合、5台のグループ通話の場合は約3km）であるため、発電所内において想定される通話範囲を十分にカバーできる。

【大阪】 【女川】 記載表現の相違

【大阪】 【女川】 記載内容の相違

・発電所の違いによる通信連絡設備及び通信連絡の場所の相違。

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

2.1 可搬型設備等による対応

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																				
	<p>第4表 大規模損壊に特化した手順に使用する資機材</p> <table border="1" data-bbox="667 172 1191 263"> <thead> <tr> <th>品目</th> <th>保管場所</th> <th>保管数^{※1}</th> <th>規定額^{※2}</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">治具</td> <td>第2保管エリア</td> <td>1個</td> <td rowspan="3">重大事故等対応要領書</td> </tr> <tr> <td>第3保管エリア</td> <td>1個</td> </tr> <tr> <td>第4保管エリア</td> <td>1個</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 今後、訓練等で見直しを行う。 ※2 記載する社内規定額については今後の運用を踏まえた検討により変更となる可能性がある。</p>	品目	保管場所	保管数 ^{※1}	規定額 ^{※2}	治具	第2保管エリア	1個	重大事故等対応要領書	第3保管エリア	1個	第4保管エリア	1個	<p>第12-4 大規模損壊に特化した手順に使用する資機材</p> <table border="1" data-bbox="1243 178 1825 236"> <thead> <tr> <th>品目</th> <th>保管場所</th> <th>保管数</th> <th>規程額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>治具</td> <td>3号炉原子炉補助建屋</td> <td>1組</td> <td>重大事故等および大規模損壊対応要領</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1：今後、訓練等で見直しを行う可能性がある。 ※2：記載する社内規程額については今後の運用を踏まえた検討により変更となる可能性がある。</p>	品目	保管場所	保管数	規程額	治具	3号炉原子炉補助建屋	1組	重大事故等および大規模損壊対応要領	<p>【女川】記載表現の相違</p>
品目	保管場所	保管数 ^{※1}	規定額 ^{※2}																				
治具	第2保管エリア	1個	重大事故等対応要領書																				
	第3保管エリア	1個																					
	第4保管エリア	1個																					
品目	保管場所	保管数	規程額																				
治具	3号炉原子炉補助建屋	1組	重大事故等および大規模損壊対応要領																				

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

2.1 可搬型設備等による対応

大阪発電所 3 / 4号炉	女川原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由						
<p>大阪発電所 3 / 4号炉 添付資料 2.1.11 設置基準対応設備に係る要求事項に対する大規模損壊での対応状況</p> <table border="1" data-bbox="73 231 651 1085"> <tr> <td data-bbox="73 231 268 1085"> <p>外部からの衝撃による損傷の防止</p> <p>免震用原子炉及びその附属施設の位置に関する規則 第七条 設計基準対象施設が想定される自然現象（地震及び津波を除く。）によりその安全性を損なうおそれがある場合は、防護措置、基礎地盤の改良その他の適切な措置を講じなければならない。</p> <p>2 重要安全施設は、当該重要安全施設に大きな影響を及ぼすおそれがあると思われる自然現象により当該重要安全施設に作用する衝撃及び設計基準事象に生ずる応力を適切に考慮しなければならない。</p> <p>「外部からの衝撃による損傷の防止」（外部現象別）の大規模損壊での対応状況 図内外の基準等で示される外乱事象 74 事象の中から、影響の大きな事象を考慮して抽出した以下の事象（地震及び津波を除く。）に對して、評価及び対策を実施している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 豪雪（降雪） ・原子炉建屋の設計基準事象である100cmを大きく上回る510cmでも基力として耐えらるると評価していることから、屋内設備の機能は維持されるものと判断する。 ・豪雨が発生する場合でも事前予部が可能であることから、要員を確保して除雪することにより屋外設備について十分な対策が実施できると判断する。 ■ 火山（火山活動・爆収） ・10mを超える砕石が発生した場合においても、事前の予備警報により要員を確保して砕石を確保すること、屋外の可搬型重大事故等対応設備については防護されるものと判断する。 ・屋内の設備については、頑固性のある原子炉建屋、原子炉周辺建屋及び格納容器に基つき建屋の設計を実施している。このH₁、H₂を上限する54.3m/sの風速(2.3m/s)の最大瞬間風速（発生確率 10⁻⁷）を仮定しても、②の設計電圧範囲に包摂される。 ・地震評価においては、設計電圧範囲内であれば、安全機能を有する系統及び機器を収納する建屋は防護されるとしている。 ■ 豪雪 </td> <td data-bbox="268 231 651 1085"> <p>外部からの衝撃による損傷の防止</p> <p>免震用原子炉及びその附属施設の位置に関する規則 第七条 設計基準対象施設が想定される自然現象（地震及び津波を除く。）によりその安全性を損なうおそれがある場合は、防護措置、基礎地盤の改良その他の適切な措置を講じなければならない。</p> <p>2 重要安全施設は、当該重要安全施設に大きな影響を及ぼすおそれがあると思われる自然現象により当該重要安全施設に作用する衝撃及び設計基準事象に生ずる応力を適切に考慮しなければならない。</p> <p>「外部からの衝撃による損傷の防止」（外部現象別）の大規模損壊での対応状況 図内外の基準等で示される外乱事象 74 事象の中から、影響の大きな事象を考慮して抽出した以下の事象（地震及び津波を除く。）に對して、評価及び対策を実施している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 豪雪（降雪） ・原子炉建屋の設計基準事象である100cmを大きく上回る510cmでも基力として耐えらるると評価していることから、屋内設備の機能は維持されるものと判断する。 ・豪雨が発生する場合でも事前予部が可能であることから、要員を確保して除雪することにより屋外設備について十分な対策が実施できると判断する。 ■ 火山（火山活動・爆収） ・10mを超える砕石が発生した場合においても、事前の予備警報により要員を確保して砕石を確保すること、屋外の可搬型重大事故等対応設備については防護されるものと判断する。 ・屋内の設備については、頑固性のある原子炉建屋、原子炉周辺建屋及び格納容器に基つき建屋の設計を実施している。このH₁、H₂を上限する54.3m/sの風速(2.3m/s)の最大瞬間風速（発生確率 10⁻⁷）を仮定しても、②の設計電圧範囲に包摂される。 ・地震評価においては、設計電圧範囲内であれば、安全機能を有する系統及び機器を収納する建屋は防護されるとしている。 ■ 豪雪 </td> </tr> </table>	<p>外部からの衝撃による損傷の防止</p> <p>免震用原子炉及びその附属施設の位置に関する規則 第七条 設計基準対象施設が想定される自然現象（地震及び津波を除く。）によりその安全性を損なうおそれがある場合は、防護措置、基礎地盤の改良その他の適切な措置を講じなければならない。</p> <p>2 重要安全施設は、当該重要安全施設に大きな影響を及ぼすおそれがあると思われる自然現象により当該重要安全施設に作用する衝撃及び設計基準事象に生ずる応力を適切に考慮しなければならない。</p> <p>「外部からの衝撃による損傷の防止」（外部現象別）の大規模損壊での対応状況 図内外の基準等で示される外乱事象 74 事象の中から、影響の大きな事象を考慮して抽出した以下の事象（地震及び津波を除く。）に對して、評価及び対策を実施している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 豪雪（降雪） ・原子炉建屋の設計基準事象である100cmを大きく上回る510cmでも基力として耐えらるると評価していることから、屋内設備の機能は維持されるものと判断する。 ・豪雨が発生する場合でも事前予部が可能であることから、要員を確保して除雪することにより屋外設備について十分な対策が実施できると判断する。 ■ 火山（火山活動・爆収） ・10mを超える砕石が発生した場合においても、事前の予備警報により要員を確保して砕石を確保すること、屋外の可搬型重大事故等対応設備については防護されるものと判断する。 ・屋内の設備については、頑固性のある原子炉建屋、原子炉周辺建屋及び格納容器に基つき建屋の設計を実施している。このH₁、H₂を上限する54.3m/sの風速(2.3m/s)の最大瞬間風速（発生確率 10⁻⁷）を仮定しても、②の設計電圧範囲に包摂される。 ・地震評価においては、設計電圧範囲内であれば、安全機能を有する系統及び機器を収納する建屋は防護されるとしている。 ■ 豪雪 	<p>外部からの衝撃による損傷の防止</p> <p>免震用原子炉及びその附属施設の位置に関する規則 第七条 設計基準対象施設が想定される自然現象（地震及び津波を除く。）によりその安全性を損なうおそれがある場合は、防護措置、基礎地盤の改良その他の適切な措置を講じなければならない。</p> <p>2 重要安全施設は、当該重要安全施設に大きな影響を及ぼすおそれがあると思われる自然現象により当該重要安全施設に作用する衝撃及び設計基準事象に生ずる応力を適切に考慮しなければならない。</p> <p>「外部からの衝撃による損傷の防止」（外部現象別）の大規模損壊での対応状況 図内外の基準等で示される外乱事象 74 事象の中から、影響の大きな事象を考慮して抽出した以下の事象（地震及び津波を除く。）に對して、評価及び対策を実施している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 豪雪（降雪） ・原子炉建屋の設計基準事象である100cmを大きく上回る510cmでも基力として耐えらるると評価していることから、屋内設備の機能は維持されるものと判断する。 ・豪雨が発生する場合でも事前予部が可能であることから、要員を確保して除雪することにより屋外設備について十分な対策が実施できると判断する。 ■ 火山（火山活動・爆収） ・10mを超える砕石が発生した場合においても、事前の予備警報により要員を確保して砕石を確保すること、屋外の可搬型重大事故等対応設備については防護されるものと判断する。 ・屋内の設備については、頑固性のある原子炉建屋、原子炉周辺建屋及び格納容器に基つき建屋の設計を実施している。このH₁、H₂を上限する54.3m/sの風速(2.3m/s)の最大瞬間風速（発生確率 10⁻⁷）を仮定しても、②の設計電圧範囲に包摂される。 ・地震評価においては、設計電圧範囲内であれば、安全機能を有する系統及び機器を収納する建屋は防護されるとしている。 ■ 豪雪 	<p>女川原子力発電所 2号炉 添付資料 2.1.19 設計基準対象施設に係る要求事項に対する大規模損壊での対応状況</p> <table border="1" data-bbox="651 231 1229 1085"> <tr> <td data-bbox="651 231 869 1085"> <p>外部からの衝撃による損傷の防止</p> <p>実用発電用原子炉及びその附属施設の位置、構造及び設備の基準に関する規則 第六条 安全施設（兼用キヤスクを除く。）は、想定される自然現象（地震及び津波を除く。次項において同じ。）が発生した場合においても当該重要安全施設に作用する衝撃及び設計基準事象に生ずる応力を適切に考慮しなければならない。</p> <p>2 重要安全施設は、当該重要安全施設に大きな影響を及ぼすおそれがあると思われる自然現象により当該重要安全施設に作用する衝撃及び設計基準事象に生ずる応力を適切に考慮しなければならない。</p> <p>「外部からの衝撃による損傷の防止」の大規模損壊での対応状況 添付資料2.1.1 第3表参照。</p> </td> <td data-bbox="869 231 1229 1085"> <p>外部からの衝撃による損傷の防止</p> <p>実用発電用原子炉及びその附属施設の技術基準に関する規則 第七条 設計基準対象施設（兼用キヤスクを除く。）が想定される自然現象（地震及び津波を除く。）によりその安全性を損なうおそれがある場合は、防護措置、基礎地盤の改良その他の適切な措置を講じなければならない。</p> <p>2 重要安全施設は、当該重要安全施設に大きな影響を及ぼすおそれがあると思われる自然現象により当該重要安全施設に作用する衝撃及び設計基準事象に生ずる応力を適切に考慮しなければならない。</p> <p>「外部からの衝撃による損傷の防止」の大規模損壊での対応状況 添付資料2.1.1 第3表参照。</p> </td> </tr> </table>	<p>外部からの衝撃による損傷の防止</p> <p>実用発電用原子炉及びその附属施設の位置、構造及び設備の基準に関する規則 第六条 安全施設（兼用キヤスクを除く。）は、想定される自然現象（地震及び津波を除く。次項において同じ。）が発生した場合においても当該重要安全施設に作用する衝撃及び設計基準事象に生ずる応力を適切に考慮しなければならない。</p> <p>2 重要安全施設は、当該重要安全施設に大きな影響を及ぼすおそれがあると思われる自然現象により当該重要安全施設に作用する衝撃及び設計基準事象に生ずる応力を適切に考慮しなければならない。</p> <p>「外部からの衝撃による損傷の防止」の大規模損壊での対応状況 添付資料2.1.1 第3表参照。</p>	<p>外部からの衝撃による損傷の防止</p> <p>実用発電用原子炉及びその附属施設の技術基準に関する規則 第七条 設計基準対象施設（兼用キヤスクを除く。）が想定される自然現象（地震及び津波を除く。）によりその安全性を損なうおそれがある場合は、防護措置、基礎地盤の改良その他の適切な措置を講じなければならない。</p> <p>2 重要安全施設は、当該重要安全施設に大きな影響を及ぼすおそれがあると思われる自然現象により当該重要安全施設に作用する衝撃及び設計基準事象に生ずる応力を適切に考慮しなければならない。</p> <p>「外部からの衝撃による損傷の防止」の大規模損壊での対応状況 添付資料2.1.1 第3表参照。</p>	<p>泊発電所 3号炉 添付資料 2.1.13 設計基準対象施設に係る要求事項に対する大規模損壊での対応状況</p> <table border="1" data-bbox="1229 231 1807 1141"> <tr> <td data-bbox="1229 231 1411 1141"> <p>外部からの衝撃による損傷の防止</p> <p>実用発電用原子炉及びその附属施設の位置、構造及び設備の基準に関する規則 第六条 安全施設（兼用キヤスクを除く。）は、想定される自然現象（地震及び津波を除く。次項において同じ。）が発生した場合においても当該重要安全施設に作用する衝撃及び設計基準事象に生ずる応力を適切に考慮しなければならない。</p> <p>2 重要安全施設は、当該重要安全施設に大きな影響を及ぼすおそれがあると思われる自然現象により当該重要安全施設に作用する衝撃及び設計基準事象に生ずる応力を適切に考慮しなければならない。</p> <p>「外部からの衝撃による損傷の防止」の大規模損壊での対応状況 添付資料 2.1.1 表1-3参照。</p> </td> <td data-bbox="1411 231 1807 1141"> <p>外部からの衝撃による損傷の防止</p> <p>実用発電用原子炉及びその附属施設の技術基準に関する規則 第七条 設計基準対象施設（兼用キヤスクを除く。）が想定される自然現象（地震及び津波を除く。）によりその安全性を損なうおそれがある場合は、防護措置、基礎地盤の改良その他の適切な措置を講じなければならない。</p> <p>2 重要安全施設は、当該重要安全施設に大きな影響を及ぼすおそれがあると思われる自然現象により当該重要安全施設に作用する衝撃及び設計基準事象に生ずる応力を適切に考慮しなければならない。</p> <p>「外部からの衝撃による損傷の防止」の大規模損壊での対応状況 添付資料 2.1.1 表1-3参照。</p> </td> </tr> </table>	<p>外部からの衝撃による損傷の防止</p> <p>実用発電用原子炉及びその附属施設の位置、構造及び設備の基準に関する規則 第六条 安全施設（兼用キヤスクを除く。）は、想定される自然現象（地震及び津波を除く。次項において同じ。）が発生した場合においても当該重要安全施設に作用する衝撃及び設計基準事象に生ずる応力を適切に考慮しなければならない。</p> <p>2 重要安全施設は、当該重要安全施設に大きな影響を及ぼすおそれがあると思われる自然現象により当該重要安全施設に作用する衝撃及び設計基準事象に生ずる応力を適切に考慮しなければならない。</p> <p>「外部からの衝撃による損傷の防止」の大規模損壊での対応状況 添付資料 2.1.1 表1-3参照。</p>	<p>外部からの衝撃による損傷の防止</p> <p>実用発電用原子炉及びその附属施設の技術基準に関する規則 第七条 設計基準対象施設（兼用キヤスクを除く。）が想定される自然現象（地震及び津波を除く。）によりその安全性を損なうおそれがある場合は、防護措置、基礎地盤の改良その他の適切な措置を講じなければならない。</p> <p>2 重要安全施設は、当該重要安全施設に大きな影響を及ぼすおそれがあると思われる自然現象により当該重要安全施設に作用する衝撃及び設計基準事象に生ずる応力を適切に考慮しなければならない。</p> <p>「外部からの衝撃による損傷の防止」の大規模損壊での対応状況 添付資料 2.1.1 表1-3参照。</p>	<p>相違理由</p> <p>■記載内容の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・泊は女川審査実績を踏まえた自然現象によるプラントへの影響評価を行っており、添付資料 2.1.1 にて整理していることから、女川と同様に当該資料に紐づけた記載としている。
<p>外部からの衝撃による損傷の防止</p> <p>免震用原子炉及びその附属施設の位置に関する規則 第七条 設計基準対象施設が想定される自然現象（地震及び津波を除く。）によりその安全性を損なうおそれがある場合は、防護措置、基礎地盤の改良その他の適切な措置を講じなければならない。</p> <p>2 重要安全施設は、当該重要安全施設に大きな影響を及ぼすおそれがあると思われる自然現象により当該重要安全施設に作用する衝撃及び設計基準事象に生ずる応力を適切に考慮しなければならない。</p> <p>「外部からの衝撃による損傷の防止」（外部現象別）の大規模損壊での対応状況 図内外の基準等で示される外乱事象 74 事象の中から、影響の大きな事象を考慮して抽出した以下の事象（地震及び津波を除く。）に對して、評価及び対策を実施している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 豪雪（降雪） ・原子炉建屋の設計基準事象である100cmを大きく上回る510cmでも基力として耐えらるると評価していることから、屋内設備の機能は維持されるものと判断する。 ・豪雨が発生する場合でも事前予部が可能であることから、要員を確保して除雪することにより屋外設備について十分な対策が実施できると判断する。 ■ 火山（火山活動・爆収） ・10mを超える砕石が発生した場合においても、事前の予備警報により要員を確保して砕石を確保すること、屋外の可搬型重大事故等対応設備については防護されるものと判断する。 ・屋内の設備については、頑固性のある原子炉建屋、原子炉周辺建屋及び格納容器に基つき建屋の設計を実施している。このH₁、H₂を上限する54.3m/sの風速(2.3m/s)の最大瞬間風速（発生確率 10⁻⁷）を仮定しても、②の設計電圧範囲に包摂される。 ・地震評価においては、設計電圧範囲内であれば、安全機能を有する系統及び機器を収納する建屋は防護されるとしている。 ■ 豪雪 	<p>外部からの衝撃による損傷の防止</p> <p>免震用原子炉及びその附属施設の位置に関する規則 第七条 設計基準対象施設が想定される自然現象（地震及び津波を除く。）によりその安全性を損なうおそれがある場合は、防護措置、基礎地盤の改良その他の適切な措置を講じなければならない。</p> <p>2 重要安全施設は、当該重要安全施設に大きな影響を及ぼすおそれがあると思われる自然現象により当該重要安全施設に作用する衝撃及び設計基準事象に生ずる応力を適切に考慮しなければならない。</p> <p>「外部からの衝撃による損傷の防止」（外部現象別）の大規模損壊での対応状況 図内外の基準等で示される外乱事象 74 事象の中から、影響の大きな事象を考慮して抽出した以下の事象（地震及び津波を除く。）に對して、評価及び対策を実施している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 豪雪（降雪） ・原子炉建屋の設計基準事象である100cmを大きく上回る510cmでも基力として耐えらるると評価していることから、屋内設備の機能は維持されるものと判断する。 ・豪雨が発生する場合でも事前予部が可能であることから、要員を確保して除雪することにより屋外設備について十分な対策が実施できると判断する。 ■ 火山（火山活動・爆収） ・10mを超える砕石が発生した場合においても、事前の予備警報により要員を確保して砕石を確保すること、屋外の可搬型重大事故等対応設備については防護されるものと判断する。 ・屋内の設備については、頑固性のある原子炉建屋、原子炉周辺建屋及び格納容器に基つき建屋の設計を実施している。このH₁、H₂を上限する54.3m/sの風速(2.3m/s)の最大瞬間風速（発生確率 10⁻⁷）を仮定しても、②の設計電圧範囲に包摂される。 ・地震評価においては、設計電圧範囲内であれば、安全機能を有する系統及び機器を収納する建屋は防護されるとしている。 ■ 豪雪 								
<p>外部からの衝撃による損傷の防止</p> <p>実用発電用原子炉及びその附属施設の位置、構造及び設備の基準に関する規則 第六条 安全施設（兼用キヤスクを除く。）は、想定される自然現象（地震及び津波を除く。次項において同じ。）が発生した場合においても当該重要安全施設に作用する衝撃及び設計基準事象に生ずる応力を適切に考慮しなければならない。</p> <p>2 重要安全施設は、当該重要安全施設に大きな影響を及ぼすおそれがあると思われる自然現象により当該重要安全施設に作用する衝撃及び設計基準事象に生ずる応力を適切に考慮しなければならない。</p> <p>「外部からの衝撃による損傷の防止」の大規模損壊での対応状況 添付資料2.1.1 第3表参照。</p>	<p>外部からの衝撃による損傷の防止</p> <p>実用発電用原子炉及びその附属施設の技術基準に関する規則 第七条 設計基準対象施設（兼用キヤスクを除く。）が想定される自然現象（地震及び津波を除く。）によりその安全性を損なうおそれがある場合は、防護措置、基礎地盤の改良その他の適切な措置を講じなければならない。</p> <p>2 重要安全施設は、当該重要安全施設に大きな影響を及ぼすおそれがあると思われる自然現象により当該重要安全施設に作用する衝撃及び設計基準事象に生ずる応力を適切に考慮しなければならない。</p> <p>「外部からの衝撃による損傷の防止」の大規模損壊での対応状況 添付資料2.1.1 第3表参照。</p>								
<p>外部からの衝撃による損傷の防止</p> <p>実用発電用原子炉及びその附属施設の位置、構造及び設備の基準に関する規則 第六条 安全施設（兼用キヤスクを除く。）は、想定される自然現象（地震及び津波を除く。次項において同じ。）が発生した場合においても当該重要安全施設に作用する衝撃及び設計基準事象に生ずる応力を適切に考慮しなければならない。</p> <p>2 重要安全施設は、当該重要安全施設に大きな影響を及ぼすおそれがあると思われる自然現象により当該重要安全施設に作用する衝撃及び設計基準事象に生ずる応力を適切に考慮しなければならない。</p> <p>「外部からの衝撃による損傷の防止」の大規模損壊での対応状況 添付資料 2.1.1 表1-3参照。</p>	<p>外部からの衝撃による損傷の防止</p> <p>実用発電用原子炉及びその附属施設の技術基準に関する規則 第七条 設計基準対象施設（兼用キヤスクを除く。）が想定される自然現象（地震及び津波を除く。）によりその安全性を損なうおそれがある場合は、防護措置、基礎地盤の改良その他の適切な措置を講じなければならない。</p> <p>2 重要安全施設は、当該重要安全施設に大きな影響を及ぼすおそれがあると思われる自然現象により当該重要安全施設に作用する衝撃及び設計基準事象に生ずる応力を適切に考慮しなければならない。</p> <p>「外部からの衝撃による損傷の防止」の大規模損壊での対応状況 添付資料 2.1.1 表1-3参照。</p>								

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

2.1 可搬型設備等による対応

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>・設計で考慮する地震強度(100m/s)(卓越振幅 約1.65m(約17))に対しては防護される。緊急停車の可能な小さい当該の地震強度を算に超えるような大規模地震が来襲し、海水ポンプ等の電機設備が破損を来した場合には、電源及び原子炉冷却機能を確保できるように重大事故等対応設備の保管庫内を確保する。</p> <p>・屋外に分散配置している可搬型重大事故等対応設備については、3、4号炉の原子炉建屋から上記設備の電管による被覆層以上の構造物があり、垂直移動が向上を考慮して適切に分散配置されているのは防護可能と判断する。(電管移動方向については、屋外はより階付-2階付及び2階付の向きであり、大飯発電所2号炉での緊急発電については西から東(南側から山側)→移動している。)</p> <p>・原子炉建屋及び格納容器については、信頼性を有しており大規模地震であっても軽微に破損されることはないことから、建屋内の設備については防護されるものと判断する。</p> <p>■ 凍結</p> <p>・敷居付が凍結された日最低気温である-10.0℃を大きく下回る-28.3℃での最低温(緊急凍結時)が発生した場合においても、格納容器は同様の設備が確保されていることから影響を及ぼすことはないと判断する。</p> <p>・屋外に配置している可搬型重大事故等対応設備が凍結により機能喪失する可能性があるが、緊急時により事前の予備が可能なため、凍結までの時間的余裕があり、必要な措置を講じることが可能であり、機能は維持されるものと判断する。</p> <p>■ 森林火災</p> <p>・防火壁を耐えるような森林火災が発生した場合においても、予防火壁の周辺に漏水し延焼防止の措置を図ることから、当該の設備まで影響を及ぼす可能性は低いものと判断する。</p> <p>・平時の制御は立てられることから、屋外の可搬型重大事故等対応設備については移動する等して防護できるものと判断する。</p> <p>・建屋内の設備については防護できるものと判断する。ただし、屋外にある室外式非常用発電機については機能喪失に至る可能性も考慮する。</p> <p>■ 生物学的破壊</p> <p>・海生動物の大量発生した場合には、海水ポンプの機能喪失に至る可能性があるが、可搬型重大事故等対応設備に対して影響はない。</p> <p>■ 落石</p> <p>・建設設備の設置等により、原子炉建屋への落石防止が図られていることから発生確率は低いと判断するが、設計想定を超える落石サイズにより屋外設備の一部に影響を受ける可能性がある。また、屋外設備については落石により機能喪失する可能性もあるが、事前に必要措置が講じられていることから、可搬型重大事故等対応設備自体は防護できるものと判断する。</p>			

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

2.1 可搬型設備等による対応

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>3 安全施設は、工場等内又はその周辺において想定される発電用原子炉施設の安全性を損なわせる原因となるおそれがある場合であって人為によるもの（故意によるものを除く。）に対して安全機能を損なわれないものでなければならぬ。</p> <p>2 周辺監視区域に隣接する地域に事業所、鉄道、道路その他の外部からの衝撃が発生するおそれがある原因がある場合には、事業所における火災又は爆発事故、危険物を搭載した車両、船舶又は航空機の事故その他の地震及び地震周辺の状況から想定される事象であって人為によるもの（故意によるものを除く。）により発電用原子炉施設の安全性が損なわれないよう、防護措置その他の適切な措置を講じなければならぬ。</p> <p>3 航空機の墜落により発電用原子炉施設の安全性を損なうおそれがある場合は、防護措置その他の適切な措置を講じなければならぬ。</p> <p>「外部からの衝撃による損傷の防止」（外部輸送物）の大規模損壊での対応状況 大阪発電所周辺には、火車や爆発、有毒ガスの懸念がある石油コンビナート等が存在せず、また、ダム等も存在しないため、それによる影響を考慮する必要はない。</p> <p>緑気塵により誘導電流が発生する可能性があるが、影響が見えなだとしても変圧器等の一部に限られることなどから、出力を絞る等の対応については地盤電圧計又は全電磁的障害による影響は極めて低いものの、万一発生した場合には、通信障害や安全施設設備への悪影響が考えられるが、この影響については地盤電圧計又は全交流電源失時の安全保護機能喪失に包含されるため、除外する。</p> <p>乗来物（航空機衝突）は「発電用原子炉施設への航空機落下機種の評価基準について」（平成21年・05・05 院院第1号）に基づき評価しており、判定基準の「10⁻⁷回/年」を下回る結果となっている。</p> <p>また乗来物（航空機衝突）は故意による大型航空機の衝突に内包され、この場合においても衝突箇所によっては、使用可能な航空機重大事故等対応設備があること、さらに超外的可搬型重大事故等対応設備は原子炉建屋等及び同機能を有する可搬型設備と100m以上隔離し配置すること、同様の機能を有する設備間において同時に機能喪失しないことから、対応可能である。</p>	<p>外部からの衝撃による損傷の防止 実用発電用原子炉及びその附属施設の技術基準に関する規則</p> <p>3 安全施設（兼用キヤスクを除く。）は、工場等内又はその周辺において想定される発電用原子炉施設の安全性を損なわせる原因となるおそれがある場合であって人為によるもの（故意によるものを除く。以下「人為による事象」という。）に対して安全機能を損なわれないものでなければならぬ。</p> <p>2 周辺監視区域に隣接する地域に事業所、鉄道、道路その他の外部からの衝撃が発生するおそれがある原因がある場合には、事業所における火災又は爆発事故、危険物を搭載した車両、船舶又は航空機の事故その他の地震及び地震周辺の状況から想定される事象であって人為によるもの（故意によるものを除く。以下「人為による事象」という。）により発電用原子炉施設の安全性を損なうおそれがある場合（兼用キヤスクを除く。）の安全性を損なわれないよう、防護措置その他の適切な措置を講じなければならぬ。</p> <p>3 航空機の墜落により発電用原子炉施設（兼用キヤスクを除く。）の他の適切な措置を講じなければならぬ。</p> <p>「外部からの衝撃による損傷の防止」の大規模損壊での対応状況 本文2.1.2.1(2)参照。</p>	<p>外部からの衝撃による損傷の防止 実用発電用原子炉及びその附属施設の技術基準に関する規則</p> <p>3 安全施設（兼用キヤスクを除く。）は、工場等内又はその周辺において想定される発電用原子炉施設の安全性を損なわせる原因となるおそれがある場合であって人為によるもの（故意によるものを除く。以下「人為による事象」という。）に対して安全機能を損なわれないものでなければならぬ。</p> <p>2 周辺監視区域に隣接する地域に事業所、鉄道、道路その他の外部からの火災又は爆発事故、危険物を搭載した車両、船舶又は航空機の事故その他の地震及び地震周辺の状況から想定される事象であって人為によるもの（故意によるものを除く。以下「人為による事象」という。）により発電用原子炉施設の他の適切な措置を講じなければならぬ。</p> <p>3 航空機の墜落により発電用原子炉施設（兼用キヤスクを除く。）の安全性を損なうおそれがある場合は、防護措置その他の適切な措置を講じなければならぬ。</p> <p>「外部からの衝撃による損傷の防止」の大規模損壊での対応状況 本文2.1.2.1(2)参照。</p>	<p>相違理由</p> <p>■記載内容の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> 泊は人為事象による発電用原子炉施設への影響については、故意による大型航空機の衝突に代表させることができると、本文にて整理していることから、女川と同様に当該箇所に関連した記載としている。

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

2.1 可搬型設備等による対応

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>火災による損傷の防止</p> <p>免電用原子炉及びその付属施設の位置に関する規則</p> <p>第八条 設計基準対象施設は、火災により発電用原子炉施設の安全性が損なわれないよう、火災の発生を防止することができ、かつ、早期に火災発生を感知する設備及び消火を行う設備並びに火災の影響を軽減する機能を有するものでなければならぬ。</p> <p>第十一條 設計基準対象施設が火災によりその安全性が損なわれよう、次に掲げる措置を講じなければならぬ。</p> <p>一 火災の発生を防止すること、</p> <p>イ 耐火性及び引火性の物質を内包する系統の漏えい防止その他の措置を講ずること、</p> <p>ロ 安全施設（設置許可基準規則第二条第八号に規定する安全施設をいう。以下同じ。）には、不燃性材料又は難燃性材料を使用すること、ただし、次に掲げる場合には、この限りではない。</p> <p>(1) 安全施設に使用する材料が、不燃性材料又は難燃性材料と同等以上の性能を有するもの（以下「代替材料」という。）である場合</p> <p>(2) 安全施設の機能を確保するために必要な代替材料の使用が技術上困難な場合であって、安全施設における火災に起因して他の安全施設において火災が発生することを防止するための措置が講じられている場合</p> <p>ハ 火災が発生することを防止するための措置が講じられている場合</p> <p>九 制御設備その他の自然現象による火災発生を防止するための設備を施設すること。</p> <p>ニ 水源の供給設備その他の水源が内部に存在する可能性のある設備にあつては、水源の乾燥が起きた場合においても発電用原子炉施設の安全性を損なわれないよう施設すること。</p> <p>ホ 放射線分解により発生し、蒸餾した水蒸気が急速な乾燥によって、発電用原子炉施設の安全性を損なわれないよう施設すること。</p> <p>二 水災の感知及び消火のため、次に掲げることにより、早期に火災発生を感知</p>	<p>火災による損傷の防止</p> <p>実用発電用原子炉及びその付属施設の技術基準に関する規則</p> <p>第十一條 設計基準対象施設が火災によりその安全性が損なわれよう、次に掲げる措置を講じなければならぬ。</p> <p>一 火災の発生を防止すること、</p> <p>イ 耐火性及び引火性の物質を内包する系統の漏えい防止その他の措置を講ずること。</p> <p>ロ 安全施設（設置許可基準規則第二条第八号に規定する安全施設をいう。以下同じ。）には、不燃性材料又は難燃性材料を使用すること、ただし、次に掲げる場合には、この限りでない。</p> <p>(1) 安全施設に使用する材料が、不燃性材料又は難燃性材料と同等以上の性能を有するもの（以下「代替材料」という。）である場合</p> <p>(2) 安全施設の機能を確保するために必要な代替材料の使用が技術上困難な場合であって、安全施設における火災に起因して他の安全施設において火災が発生することを防止するための措置が講じられている場合</p> <p>ハ 制御設備その他の自然現象による火災発生を防止するための設備を施設すること。</p> <p>ニ 水源の供給設備その他の水源が内部に存在する可能性のある設備にあつては、水源の乾燥が起きた場合においても発電用原子炉施設の安全性を損なわれないよう施設すること。</p>	<p>火災による損傷の防止</p> <p>実用発電用原子炉及びその付属施設の技術基準に関する規則</p> <p>第十一條 設計基準対象施設が火災によりその安全性が損なわれよう、次に掲げる措置を講じなければならぬ。</p> <p>一 火災の発生を防止すること、</p> <p>イ 耐火性及び引火性の物質を内包する系統の漏えい防止その他の措置を講ずること。</p> <p>ロ 安全施設（設置許可基準規則第二条第八号に規定する安全施設をいう。以下同じ。）には、不燃性材料又は難燃性材料を使用すること、ただし、次に掲げる場合には、この限りでない。</p> <p>(1) 安全施設に使用する材料が、不燃性材料又は難燃性材料と同等以上の性能を有するもの（以下「代替材料」という。）である場合</p> <p>(2) 安全施設の機能を確保するために必要な代替材料の使用が技術上困難な場合であつて、安全施設における火災に起因して他の安全施設において火災が発生することを防止するための措置が講じられている場合</p> <p>ハ 制御設備その他の自然現象による火災発生を防止するための設備を施設すること。</p> <p>ニ 水源の供給設備その他の水源が内部に存在する可能性のある設備にあつては、水源の乾燥が起きた場合においても発電用原子炉施設の安全性を損なわれないよう施設すること。</p> <p>ホ 放射線分解により発生し、蒸餾した水蒸気が急速な乾燥によって、発電用原子炉施設の安全性を損なわれないよう施設すること。</p> <p>二 水災の感知及び消火のため、次に掲げることにより、早期に火災発生を感知する設備（以下「火災感知設備」という。）及び消火を行う設備（以下「消火設備」という。）を施設すること。</p> <p>イ 火災と同時に発生すると判定される自然現象により、その機能が損なわれないこと。</p> <p>ロ 消火設備にあつては、その制御、誤作動又は誤検出が起きた場合においても発電用原子炉施設の安全性が損なわれないこと。</p> <p>三 火災の影響を軽減するため、耐火性を有する部の設置その他の火災の発生を防止するための措置が講じられること。</p>	

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

2.1 可搬型設備等による対応

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>知する設備（以下「火災感知設備」という。）及び早期に消火を行う設備（以下「消火設備」という。）を短縮すること。</p> <p>イ 火災と同時に発生すると想定される自然現象により、その機能が損なわれることがないこと。</p> <p>ロ 消火設備にあつては、その損壊、誤作動又は誤操作が起きた場合において、も発電用原子炉施設の安全性が損なわれることがないこと。</p> <p>三 火災の影響を軽減するため、耐火性能を有する壁の設置その他の延焼を防止するための措置その他の発電用原子炉施設の火災により発電用原子炉を停止する機能が損なわれることがないようするための措置を講ずること。</p>	<p>火災による損傷の防止</p> <p>実用発電用原子炉及びその附属施設の位置、構造及び設備の基準に関する規則</p> <p>ホ 放射線分解により発生し、蓄積した水素の急速な燃焼によって、発電用原子炉施設の安全性を損なうおそれがある場合には、水素の蓄積を防止する措置を講ずること。</p> <p>二 火災の感知及び消火のため、次に掲げるところにより、早期に火災感知、早期に火災発生を感知する設備（以下「火災感知設備」という。）及び早期に消火を行う設備（以下「消火設備」という。）を短縮すること。</p> <p>イ 火災と同時に発生すると想定される自然現象により、その機能が損なわれることがないこと。</p> <p>ロ 消火設備にあつては、その損壊、誤作動又は誤操作が起きた場合において、も発電用原子炉施設の安全性が損なわれることがないこと。</p> <p>三 火災の影響を軽減するため、耐火性能を有する壁の設置その他の延焼を防止するための措置その他の発電用原子炉施設の火災により発電用原子炉を停止する機能が損なわれることがないようするための措置を講ずること。</p>	<p>二 火災の感知及び消火のため、次に掲げるところにより、早期に火災発生を感知する設備（以下「火災感知設備」という。）及び早期に消火を行う設備（以下「消火設備」という。）を短縮すること。</p> <p>イ 火災と同時に発生すると想定される自然現象により、その機能が損なわれることがないこと。</p> <p>ロ 消火設備にあつては、その損壊、誤作動又は誤操作が起きた場合において、も発電用原子炉施設の安全性が損なわれることがないこと。</p> <p>三 火災の影響を軽減するため、耐火性能を有する壁の設置その他の延焼を防止するための措置その他の発電用原子炉施設の火災により発電用原子炉を停止する機能が損なわれることがないようするための措置を講ずること。</p>	

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

2.1 可搬型設備等による対応

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>第四十一条 重大事故等対処施設は、火災により重大事故等に対応するために必要な機能を損なうおそれがないよう、火災の発生を防止することができ、かつ、火災感知設備及び消火設備を有するものでなければならぬ。</p> <p>第五十二条 重大事故等対処施設が火災によりその重大事故等に対応するため必要な機能が損なわれまいよう、次に掲げる措置を講じなければならぬ。</p> <p>イ 火災の発生を防止するため、次の措置を講ずること。</p> <p>イ 耐火性又は引火性の物質を内包する系統の漏えい防止その他の措置を講ずること。</p> <p>ロ 重大事故等対処施設には、不燃性材料又は難燃性材料を使用すること。ただし、次に掲げる場合は、この限りでない。</p> <p>(1) 重大事故等対処施設に使用する材料が、代替材料である場合</p> <p>(2) 重大事故等対処施設の機能を確保するために必要な代替材料の使用が技術上困難な場合であって、重大事故等対処施設における火災に起因して他の重大事故等対処施設において火災が発生することを防止するための措置が講じられている場合</p> <p>ハ 措置設備その他の自然現象による火災発生を防止するための設備を施設すること。</p>	<p>実用発電用原子炉及びその附属施設の技術基準に関する規則</p> <p>第五十一条 重大事故等対処施設は、火災により重大事故等に対応するために必要な機能を損なうおそれがないよう、火災の発生を防止することができ、かつ、火災感知設備及び消火設備を有するものでなければならぬ。</p> <p>イ 火災の発生を防止するため、次の措置を講ずること。</p> <p>ロ 重大事故等対処施設には、不燃性材料又は難燃性材料を使用すること。ただし、次に掲げる場合は、この限りでない。</p> <p>(1) 重大事故等対処施設に使用する材料が、代替材料である場合</p> <p>(2) 重大事故等対処施設の機能を確保するために必要な代替材料の使用が技術上困難な場合であって、重大事故等対処施設における火災に起因して他の重大事故等対処施設において火災が発生することを防止するための措置が講じられている場合</p> <p>ハ 措置設備その他の自然現象による火災発生を防止するための設備を施設すること。</p> <p>ニ 水素の供給設備その他の水素が内部に存在する可能性がある設備にあつては、水素の燃焼が起きる場合において、重大事故等対処施設に必要となる機能を損なわないうよう施設すること。</p>	<p>第五十二条 重大事故等対処施設が火災によりその重大事故等に対応するために必要な機能が損なわれまいよう、次に掲げる措置を講じなければならぬ。</p> <p>イ 火災の発生を防止するため、次の措置を講ずること。</p> <p>イ 耐火性又は引火性の物質を内包する系統の漏えい防止その他の措置を講ずること。</p> <p>ロ 重大事故等対処施設には、不燃性材料又は難燃性材料を使用すること。ただし、次に掲げる場合は、この限りでない。</p> <p>(1) 重大事故等対処施設に使用する材料が、代替材料である場合</p> <p>(2) 重大事故等対処施設の機能を確保するために必要な代替材料の使用が技術上困難な場合であって、重大事故等対処施設における火災に起因して他の重大事故等対処施設において火災が発生することを防止するための措置が講じられている場合</p>	

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

2.1 可搬型設備等による対応

大阪発電所3／4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>二 水素の供給設備その他の水素が内部に存在する可能性がある設備にあっては、水素の燃焼が起きた場合においても重大事故等対処施設の重大事故等に対応するために必要な機能を損なわないよう施設すること。</p> <p>ホ 放射線分解により発生し、蓄積した水素の急速な燃焼によって、重大事故等対処施設の重大事故等に対処するために必要な機能を損なうおそれがある場合には、水素の蓄積を防止する措置を講ずること。</p> <p>二 火災の感知及び消火のため、火災と同時に発生すると想定される自然現象により、火災感知設備及び消火設備の機能が損なわれることがないように施設すること。</p> <p>火災による損傷防止のうち、「影響の軽減」の大規模損壊での対応状況 大規模地震により耐震性の低い機器については補強し、潤滑油を火災源として大気が発生することが考えられる。 大規模地震が発生した場合に、期待する消火設備が機能せず、火災により建屋内の設計基準事故等対処設備等の機能が喪失する可能性がある。この場合においても、屋外に保管している可搬型重大事故等対処施設による事故緩和対応に期待できることから、プラントに及ぼす影響は、大規模地震発生時の場合と同様になるものと判断する。</p>	<p>火災による損傷の防止 実用発電用原子炉及びその附属施設の技術基準に関する規則</p> <p>ホ 放射線分解により発生し、蓄積した水素の急速な燃焼によって、重大事故等対処施設の重大事故等に対処するために必要な機能を用いるおそれがある場合には、水素の蓄積を防止する措置を講ずること。</p> <p>二 火災の感知及び消火のため、火災と同時に発生すると想定される自然現象により、火災感知設備及び消火設備の機能が損なわれることがないように施設すること。</p> <p>火災による損傷防止のうち「影響の軽減」の大規模損壊での対応状況 本文2.1.2.1(3)b.(a)イ参照。</p>	<p>ハ 諸設備その他の自然現象による火災発生を防止するための設備を施設すること。</p> <p>ニ 水素の供給設備その他の水素が内部に存在する可能性がある設備にあっては、水素の燃焼が起きた場合においても重大事故等対処施設の重大事故等に対処するために必要な機能を損なわないよう施設すること。</p> <p>ホ 放射線分解により発生し、蓄積した水素の急速な燃焼によって、重大事故等対処施設の重大事故等に対処するために必要な機能を損なうおそれがある場合には、水素の蓄積を防止する措置を講ずること。</p> <p>二 火災の感知及び消火のため、火災と同時に発生すると想定される自然現象により、火災感知設備及び消火設備の機能が損なわれることがないように施設すること。</p> <p>火災による損傷の防止のうち「影響の軽減」の大規模損壊での対応状況 本文2.1.2.1(3)b.(a)イ参照。</p>	<p>相違理由</p> <p>■記載内容の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> 泊は火災による影響軽減の対応として、大規模な火災が発生した場合における消火活動に関する手順等を整備することについて、本文にて整理していることから、女川と同様に当該箇所に基づけた記載としている。

2.1 可搬型設備等による対応

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																														
<table border="1"><thead><tr><th colspan="2">漏水による損傷の防止</th></tr></thead><tbody><tr><td>発電用原子炉及びその付属施設の位置、構造及び設備の基準に関する規則</td><td>発電用原子炉及びその付属施設の技術基準に関する規則</td></tr><tr><td>第九條 安全施設は、発電用原子炉施設内における漏水が発生した場合において、その安全性を損なわないものでなければならぬ。</td><td>第十二條 設計基準対象施設が発電用原子炉施設内における漏水の発生によりその安全性を損なうおそれがある場合は、防護措置その他の適切な措置を講じなければならない。</td></tr><tr><td>「漏水による損傷の防止」(内部漏水)の大規模損傷での対応状況 基準地運動を一定程度超える地運動により、漏水した水が全て最下階に溜留した場合でも、最下階の設計基準事故等対策設備の機能が喪失する可能性があるが、それ以上に設置している設備については防護されること、また屋外に設置している可搬型重大事故等対策設備による緊急・給水が可能なることから、安全機能が損なわれないことと判断する。</td><td>2 設計基準対象施設が発電用原子炉施設内の放射性物質を含む液体を内包する容器又は配管の破損により当該容器又は配管から放射性物質を含む液体が漏れ出し、当該液体が管理区域外へ漏えいし、当該液体が管理区域外へ漏えいしないものである場合において、当該液体が管理区域外へ漏えいしないものではないものではない。</td></tr><tr><td>設計基準対象施設に付する要求であり、大規模損傷では対象外である。</td><td>2 設計基準対象施設は、発電用原子炉施設内の放射性物質を含む液体を内包する容器、配管その他の設備から放射性物質を含む液体が管理区域外へ漏えいしないものではない。</td></tr></tbody></table>	漏水による損傷の防止		発電用原子炉及びその付属施設の位置、構造及び設備の基準に関する規則	発電用原子炉及びその付属施設の技術基準に関する規則	第九條 安全施設は、発電用原子炉施設内における漏水が発生した場合において、その安全性を損なわないものでなければならぬ。	第十二條 設計基準対象施設が発電用原子炉施設内における漏水の発生によりその安全性を損なうおそれがある場合は、防護措置その他の適切な措置を講じなければならない。	「漏水による損傷の防止」(内部漏水)の大規模損傷での対応状況 基準地運動を一定程度超える地運動により、漏水した水が全て最下階に溜留した場合でも、最下階の設計基準事故等対策設備の機能が喪失する可能性があるが、それ以上に設置している設備については防護されること、また屋外に設置している可搬型重大事故等対策設備による緊急・給水が可能なることから、安全機能が損なわれないことと判断する。	2 設計基準対象施設が発電用原子炉施設内の放射性物質を含む液体を内包する容器又は配管の破損により当該容器又は配管から放射性物質を含む液体が漏れ出し、当該液体が管理区域外へ漏えいし、当該液体が管理区域外へ漏えいしないものである場合において、当該液体が管理区域外へ漏えいしないものではないものではない。	設計基準対象施設に付する要求であり、大規模損傷では対象外である。	2 設計基準対象施設は、発電用原子炉施設内の放射性物質を含む液体を内包する容器、配管その他の設備から放射性物質を含む液体が管理区域外へ漏えいしないものではない。	<table border="1"><thead><tr><th colspan="2">漏水による損傷の防止等</th></tr></thead><tbody><tr><td>実用発電用原子炉及びその付属施設的位置、構造及び設備の基準に関する規則</td><td>実用発電用原子炉及びその付属施設の技術基準に関する規則</td></tr><tr><td>第九條 安全施設は、発電用原子炉施設内における漏水が発生した場合において、その安全性を損なわないものでなければならぬ。</td><td>第十二條 設計基準対象施設が発電用原子炉施設内における漏水の発生によりその安全性を損なうおそれがある場合は、防護措置その他の適切な措置を講じなければならない。</td></tr><tr><td>「漏水による損傷の防止等」(内部漏水)の大規模損傷での対応状況 津波のシナリオにおいて、建屋地下階が浸水するシナリオを想定していることから、津波のシナリオに代表できる。</td><td>2 設計基準対象施設は、発電用原子炉施設内の放射性物質を含む液体を内包する容器、配管その他の設備から放射性物質を含む液体が管理区域外へ漏えいしないものではない。</td></tr><tr><td>設計基準対象施設に対する要求であり、大規模損傷では対象外である。</td><td>2 設計基準対象施設は、発電用原子炉施設内の放射性物質を含む液体を内包する容器、配管その他の設備から放射性物質を含む液体が管理区域外へ漏えいしないものではない。</td></tr></tbody></table>	漏水による損傷の防止等		実用発電用原子炉及びその付属施設的位置、構造及び設備の基準に関する規則	実用発電用原子炉及びその付属施設の技術基準に関する規則	第九條 安全施設は、発電用原子炉施設内における漏水が発生した場合において、その安全性を損なわないものでなければならぬ。	第十二條 設計基準対象施設が発電用原子炉施設内における漏水の発生によりその安全性を損なうおそれがある場合は、防護措置その他の適切な措置を講じなければならない。	「漏水による損傷の防止等」(内部漏水)の大規模損傷での対応状況 津波のシナリオにおいて、建屋地下階が浸水するシナリオを想定していることから、津波のシナリオに代表できる。	2 設計基準対象施設は、発電用原子炉施設内の放射性物質を含む液体を内包する容器、配管その他の設備から放射性物質を含む液体が管理区域外へ漏えいしないものではない。	設計基準対象施設に対する要求であり、大規模損傷では対象外である。	2 設計基準対象施設は、発電用原子炉施設内の放射性物質を含む液体を内包する容器、配管その他の設備から放射性物質を含む液体が管理区域外へ漏えいしないものではない。	<table border="1"><thead><tr><th colspan="2">漏水による損傷の防止等</th></tr></thead><tbody><tr><td>実用発電用原子炉及びその付属施設的位置、構造及び設備の基準に関する規則</td><td>実用発電用原子炉及びその付属施設の技術基準に関する規則</td></tr><tr><td>第九條 安全施設は、発電用原子炉施設内における漏水が発生した場合において、その安全性を損なわないものでなければならぬ。</td><td>第十二條 設計基準対象施設が発電用原子炉施設内における漏水の発生によりその安全性を損なうおそれがある場合は、防護措置その他の適切な措置を講じなければならない。</td></tr><tr><td>「漏水による損傷の防止等」(内部漏水)の大規模損傷での対応状況 津波のシナリオにおいて、建屋地下階が浸水するシナリオを想定していることから、津波のシナリオに代表できる。</td><td>2 設計基準対象施設は、発電用原子炉施設内の放射性物質を含む液体を内包する容器、配管その他の設備から放射性物質を含む液体が管理区域外へ漏えいしないものではない。</td></tr><tr><td>設計基準対象施設に対する要求であり、大規模損傷では対象外である。</td><td>2 設計基準対象施設は、発電用原子炉施設内の放射性物質を含む液体を内包する容器、配管その他の設備から放射性物質を含む液体が管理区域外へ漏えいしないものではない。</td></tr></tbody></table>	漏水による損傷の防止等		実用発電用原子炉及びその付属施設的位置、構造及び設備の基準に関する規則	実用発電用原子炉及びその付属施設の技術基準に関する規則	第九條 安全施設は、発電用原子炉施設内における漏水が発生した場合において、その安全性を損なわないものでなければならぬ。	第十二條 設計基準対象施設が発電用原子炉施設内における漏水の発生によりその安全性を損なうおそれがある場合は、防護措置その他の適切な措置を講じなければならない。	「漏水による損傷の防止等」(内部漏水)の大規模損傷での対応状況 津波のシナリオにおいて、建屋地下階が浸水するシナリオを想定していることから、津波のシナリオに代表できる。	2 設計基準対象施設は、発電用原子炉施設内の放射性物質を含む液体を内包する容器、配管その他の設備から放射性物質を含む液体が管理区域外へ漏えいしないものではない。	設計基準対象施設に対する要求であり、大規模損傷では対象外である。	2 設計基準対象施設は、発電用原子炉施設内の放射性物質を含む液体を内包する容器、配管その他の設備から放射性物質を含む液体が管理区域外へ漏えいしないものではない。	<p>■記載内容の相違</p> <ul style="list-style-type: none">記載している内容は異なるものの、内部漏水による影響として建屋の地下階が浸水することを想定しており、実質的に相違はない。
漏水による損傷の防止																																	
発電用原子炉及びその付属施設の位置、構造及び設備の基準に関する規則	発電用原子炉及びその付属施設の技術基準に関する規則																																
第九條 安全施設は、発電用原子炉施設内における漏水が発生した場合において、その安全性を損なわないものでなければならぬ。	第十二條 設計基準対象施設が発電用原子炉施設内における漏水の発生によりその安全性を損なうおそれがある場合は、防護措置その他の適切な措置を講じなければならない。																																
「漏水による損傷の防止」(内部漏水)の大規模損傷での対応状況 基準地運動を一定程度超える地運動により、漏水した水が全て最下階に溜留した場合でも、最下階の設計基準事故等対策設備の機能が喪失する可能性があるが、それ以上に設置している設備については防護されること、また屋外に設置している可搬型重大事故等対策設備による緊急・給水が可能なることから、安全機能が損なわれないことと判断する。	2 設計基準対象施設が発電用原子炉施設内の放射性物質を含む液体を内包する容器又は配管の破損により当該容器又は配管から放射性物質を含む液体が漏れ出し、当該液体が管理区域外へ漏えいし、当該液体が管理区域外へ漏えいしないものである場合において、当該液体が管理区域外へ漏えいしないものではないものではない。																																
設計基準対象施設に付する要求であり、大規模損傷では対象外である。	2 設計基準対象施設は、発電用原子炉施設内の放射性物質を含む液体を内包する容器、配管その他の設備から放射性物質を含む液体が管理区域外へ漏えいしないものではない。																																
漏水による損傷の防止等																																	
実用発電用原子炉及びその付属施設的位置、構造及び設備の基準に関する規則	実用発電用原子炉及びその付属施設の技術基準に関する規則																																
第九條 安全施設は、発電用原子炉施設内における漏水が発生した場合において、その安全性を損なわないものでなければならぬ。	第十二條 設計基準対象施設が発電用原子炉施設内における漏水の発生によりその安全性を損なうおそれがある場合は、防護措置その他の適切な措置を講じなければならない。																																
「漏水による損傷の防止等」(内部漏水)の大規模損傷での対応状況 津波のシナリオにおいて、建屋地下階が浸水するシナリオを想定していることから、津波のシナリオに代表できる。	2 設計基準対象施設は、発電用原子炉施設内の放射性物質を含む液体を内包する容器、配管その他の設備から放射性物質を含む液体が管理区域外へ漏えいしないものではない。																																
設計基準対象施設に対する要求であり、大規模損傷では対象外である。	2 設計基準対象施設は、発電用原子炉施設内の放射性物質を含む液体を内包する容器、配管その他の設備から放射性物質を含む液体が管理区域外へ漏えいしないものではない。																																
漏水による損傷の防止等																																	
実用発電用原子炉及びその付属施設的位置、構造及び設備の基準に関する規則	実用発電用原子炉及びその付属施設の技術基準に関する規則																																
第九條 安全施設は、発電用原子炉施設内における漏水が発生した場合において、その安全性を損なわないものでなければならぬ。	第十二條 設計基準対象施設が発電用原子炉施設内における漏水の発生によりその安全性を損なうおそれがある場合は、防護措置その他の適切な措置を講じなければならない。																																
「漏水による損傷の防止等」(内部漏水)の大規模損傷での対応状況 津波のシナリオにおいて、建屋地下階が浸水するシナリオを想定していることから、津波のシナリオに代表できる。	2 設計基準対象施設は、発電用原子炉施設内の放射性物質を含む液体を内包する容器、配管その他の設備から放射性物質を含む液体が管理区域外へ漏えいしないものではない。																																
設計基準対象施設に対する要求であり、大規模損傷では対象外である。	2 設計基準対象施設は、発電用原子炉施設内の放射性物質を含む液体を内包する容器、配管その他の設備から放射性物質を含む液体が管理区域外へ漏えいしないものではない。																																

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

2.1 可搬型設備等による対応

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由						
<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width:50%; vertical-align: top;"> <p>安全施設</p> <p>発電用原子炉及びその付属施設の位置、構造及び設備の基準に関する原則</p> <p>第十二条</p> <p>5 安全施設は、蒸気タービン、ポンプその他の機器又は配管の損傷に伴う飛散物により、安全性を損なうものでなければならぬ。</p> <p>「安全施設及び設計基準対象施設の機能」（内部飛来物）の大規模損壊での対応状況</p> <p>■ 高速回転機器の破損による飛来物</p> <p>タービンミサイルについては、蒸気タービン及び発電機の破損防止対策を行うことにより、蒸気タービン、ポンプその他の機器の破損による飛散物により、安全性を損なうことが想定されるものには、防護施設の設置その他の損傷防止措置を講じなければならない。</p> <p>1 冷却材ポンプのミサイルについては、フライホイールの限界回転数が、運転中の異常な過渡変化時及び設計基準事故時に想定される最大回転数に比べて十分大きく、また、製作段階及び運用期間における品質管理を十分実施することにより、ポンプミサイルを考慮する必要がない。</p> <p>また、安全機能を有する構築物、系統及び機器のうち独立性を要求されているものは、相互の連鎖制御又は制御によって分離し、ある系列で発生が想定される飛来物が他の系列に影響を与えず、かつ、ある系統で発生が想定される飛来物に伴う漏水等の二次的影響が他の系列に波及しない設計としている。</p> <p>他に建屋内でミサイルが発生し重大事故等対応施設の損傷に至った場合においても屋外の可搬型重大事故等対応施設にて対応が可能である。</p> </td> <td style="width:50%; vertical-align: top;"> <p>設計基準対象施設の機能</p> <p>発電用原子炉及びその付属施設の技術基準に関する原則</p> <p>第十五条</p> <p>4 設計基準対象施設に属する設備であって、蒸気タービン、ポンプその他の機器又は配管の損傷に伴う飛散物により、安全性を損なうことが想定されるものには、防護施設の設置その他の損傷防止措置を講じなければならない。</p> </td> </tr> </table>	<p>安全施設</p> <p>発電用原子炉及びその付属施設の位置、構造及び設備の基準に関する原則</p> <p>第十二条</p> <p>5 安全施設は、蒸気タービン、ポンプその他の機器又は配管の損傷に伴う飛散物により、安全性を損なうものでなければならぬ。</p> <p>「安全施設及び設計基準対象施設の機能」（内部飛来物）の大規模損壊での対応状況</p> <p>■ 高速回転機器の破損による飛来物</p> <p>タービンミサイルについては、蒸気タービン及び発電機の破損防止対策を行うことにより、蒸気タービン、ポンプその他の機器の破損による飛散物により、安全性を損なうことが想定されるものには、防護施設の設置その他の損傷防止措置を講じなければならない。</p> <p>1 冷却材ポンプのミサイルについては、フライホイールの限界回転数が、運転中の異常な過渡変化時及び設計基準事故時に想定される最大回転数に比べて十分大きく、また、製作段階及び運用期間における品質管理を十分実施することにより、ポンプミサイルを考慮する必要がない。</p> <p>また、安全機能を有する構築物、系統及び機器のうち独立性を要求されているものは、相互の連鎖制御又は制御によって分離し、ある系列で発生が想定される飛来物が他の系列に影響を与えず、かつ、ある系統で発生が想定される飛来物に伴う漏水等の二次的影響が他の系列に波及しない設計としている。</p> <p>他に建屋内でミサイルが発生し重大事故等対応施設の損傷に至った場合においても屋外の可搬型重大事故等対応施設にて対応が可能である。</p>	<p>設計基準対象施設の機能</p> <p>発電用原子炉及びその付属施設の技術基準に関する原則</p> <p>第十五条</p> <p>4 設計基準対象施設に属する設備であって、蒸気タービン、ポンプその他の機器又は配管の損傷に伴う飛散物により、安全性を損なうことが想定されるものには、防護施設の設置その他の損傷防止措置を講じなければならない。</p>	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width:50%; vertical-align: top;"> <p>安全施設</p> <p>発電用原子炉及びその付属施設の位置、構造及び設備の基準に関する原則</p> <p>第十二条</p> <p>5 安全施設は、蒸気タービン、ポンプその他の機器又は配管の損傷に伴う飛散物により、安全性を損なうものでなければならぬ。</p> <p>「安全施設及び設計基準対象施設の機能」（内部飛来物）の大規模損壊での対応状況</p> <p>飛来物衝突影響については、大型航空機の衝突のシナリオに代表できる。</p> </td> <td style="width:50%; vertical-align: top;"> <p>設計基準対象施設の機能</p> <p>実用発電用原子炉及びその付属施設の技術基準に関する原則</p> <p>第十五条</p> <p>4 設計基準対象施設に属する設備であって、蒸気タービン、ポンプその他の機器又は配管の損傷に伴う飛散物により、安全性を損なうことが想定されるものには、防護施設の設置その他の損傷防止措置を講じなければならない。</p> </td> </tr> </table>	<p>安全施設</p> <p>発電用原子炉及びその付属施設の位置、構造及び設備の基準に関する原則</p> <p>第十二条</p> <p>5 安全施設は、蒸気タービン、ポンプその他の機器又は配管の損傷に伴う飛散物により、安全性を損なうものでなければならぬ。</p> <p>「安全施設及び設計基準対象施設の機能」（内部飛来物）の大規模損壊での対応状況</p> <p>飛来物衝突影響については、大型航空機の衝突のシナリオに代表できる。</p>	<p>設計基準対象施設の機能</p> <p>実用発電用原子炉及びその付属施設の技術基準に関する原則</p> <p>第十五条</p> <p>4 設計基準対象施設に属する設備であって、蒸気タービン、ポンプその他の機器又は配管の損傷に伴う飛散物により、安全性を損なうことが想定されるものには、防護施設の設置その他の損傷防止措置を講じなければならない。</p>	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width:50%; vertical-align: top;"> <p>安全施設</p> <p>発電用原子炉及びその付属施設の位置、構造及び設備の基準に関する原則</p> <p>第十二条</p> <p>5 安全施設は、蒸気タービン、ポンプその他の機器又は配管の損傷に伴う飛散物により、安全性を損なうものでなければならぬ。</p> <p>「安全施設及び設計基準対象施設の機能」（内部飛来物）の大規模損壊での対応状況</p> <p>飛来物衝突影響については、大型航空機の衝突のシナリオに代表できる。</p> </td> <td style="width:50%; vertical-align: top;"> <p>設計基準対象施設の機能</p> <p>実用発電用原子炉及びその付属施設の技術基準に関する原則</p> <p>第十五条</p> <p>4 設計基準対象施設に属する設備であって、蒸気タービン、ポンプその他の機器又は配管の損傷に伴う飛散物により、安全性を損なうことが想定されるものには、防護施設の設置その他の損傷防止措置を講じなければならない。</p> </td> </tr> </table>	<p>安全施設</p> <p>発電用原子炉及びその付属施設の位置、構造及び設備の基準に関する原則</p> <p>第十二条</p> <p>5 安全施設は、蒸気タービン、ポンプその他の機器又は配管の損傷に伴う飛散物により、安全性を損なうものでなければならぬ。</p> <p>「安全施設及び設計基準対象施設の機能」（内部飛来物）の大規模損壊での対応状況</p> <p>飛来物衝突影響については、大型航空機の衝突のシナリオに代表できる。</p>	<p>設計基準対象施設の機能</p> <p>実用発電用原子炉及びその付属施設の技術基準に関する原則</p> <p>第十五条</p> <p>4 設計基準対象施設に属する設備であって、蒸気タービン、ポンプその他の機器又は配管の損傷に伴う飛散物により、安全性を損なうことが想定されるものには、防護施設の設置その他の損傷防止措置を講じなければならない。</p>	<p>■記載内容の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> 泊は人為事象による発電用原子炉施設への影響については、大型航空機の衝突に代表させることができると理している。
<p>安全施設</p> <p>発電用原子炉及びその付属施設の位置、構造及び設備の基準に関する原則</p> <p>第十二条</p> <p>5 安全施設は、蒸気タービン、ポンプその他の機器又は配管の損傷に伴う飛散物により、安全性を損なうものでなければならぬ。</p> <p>「安全施設及び設計基準対象施設の機能」（内部飛来物）の大規模損壊での対応状況</p> <p>■ 高速回転機器の破損による飛来物</p> <p>タービンミサイルについては、蒸気タービン及び発電機の破損防止対策を行うことにより、蒸気タービン、ポンプその他の機器の破損による飛散物により、安全性を損なうことが想定されるものには、防護施設の設置その他の損傷防止措置を講じなければならない。</p> <p>1 冷却材ポンプのミサイルについては、フライホイールの限界回転数が、運転中の異常な過渡変化時及び設計基準事故時に想定される最大回転数に比べて十分大きく、また、製作段階及び運用期間における品質管理を十分実施することにより、ポンプミサイルを考慮する必要がない。</p> <p>また、安全機能を有する構築物、系統及び機器のうち独立性を要求されているものは、相互の連鎖制御又は制御によって分離し、ある系列で発生が想定される飛来物が他の系列に影響を与えず、かつ、ある系統で発生が想定される飛来物に伴う漏水等の二次的影響が他の系列に波及しない設計としている。</p> <p>他に建屋内でミサイルが発生し重大事故等対応施設の損傷に至った場合においても屋外の可搬型重大事故等対応施設にて対応が可能である。</p>	<p>設計基準対象施設の機能</p> <p>発電用原子炉及びその付属施設の技術基準に関する原則</p> <p>第十五条</p> <p>4 設計基準対象施設に属する設備であって、蒸気タービン、ポンプその他の機器又は配管の損傷に伴う飛散物により、安全性を損なうことが想定されるものには、防護施設の設置その他の損傷防止措置を講じなければならない。</p>								
<p>安全施設</p> <p>発電用原子炉及びその付属施設の位置、構造及び設備の基準に関する原則</p> <p>第十二条</p> <p>5 安全施設は、蒸気タービン、ポンプその他の機器又は配管の損傷に伴う飛散物により、安全性を損なうものでなければならぬ。</p> <p>「安全施設及び設計基準対象施設の機能」（内部飛来物）の大規模損壊での対応状況</p> <p>飛来物衝突影響については、大型航空機の衝突のシナリオに代表できる。</p>	<p>設計基準対象施設の機能</p> <p>実用発電用原子炉及びその付属施設の技術基準に関する原則</p> <p>第十五条</p> <p>4 設計基準対象施設に属する設備であって、蒸気タービン、ポンプその他の機器又は配管の損傷に伴う飛散物により、安全性を損なうことが想定されるものには、防護施設の設置その他の損傷防止措置を講じなければならない。</p>								
<p>安全施設</p> <p>発電用原子炉及びその付属施設の位置、構造及び設備の基準に関する原則</p> <p>第十二条</p> <p>5 安全施設は、蒸気タービン、ポンプその他の機器又は配管の損傷に伴う飛散物により、安全性を損なうものでなければならぬ。</p> <p>「安全施設及び設計基準対象施設の機能」（内部飛来物）の大規模損壊での対応状況</p> <p>飛来物衝突影響については、大型航空機の衝突のシナリオに代表できる。</p>	<p>設計基準対象施設の機能</p> <p>実用発電用原子炉及びその付属施設の技術基準に関する原則</p> <p>第十五条</p> <p>4 設計基準対象施設に属する設備であって、蒸気タービン、ポンプその他の機器又は配管の損傷に伴う飛散物により、安全性を損なうことが想定されるものには、防護施設の設置その他の損傷防止措置を講じなければならない。</p>								

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

2.1 可搬型設備等による対応

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																		
<p>添付資料 2.1.12 大規模損壊発生時における放射線防護に係る対応について</p> <p>(1) 放射線防護具類の着用 大規模損壊発生時、作業者は、個人線量計を装着し、表-2.1.12-1の緊急作業に係る線量限度を超えないように確認を行う。</p> <p>また、放射性物質の放出後、放射性物質濃度の高い場所で作業を行う場合は、全面マスク等の放射線防護具を装着する。 なお、プラントの状況把握の困難な大規模損壊初動対応においては、副原子力防災管理者又は当直課長が、プラント状況（炉心損傷の可能性、原子炉周辺建屋の破損、原子炉周辺建屋（貯蔵槽内燃料体等）の破損及び使用済燃料ピットからの漏えいの有無等）を考慮し、大気に放出された放射性物質が大規模損壊対応に影響を与える可能性がある場合、放射線防護具類の着用を指示する。</p> <p>以下に、大規模損壊対応及び消火活動対応に必要な装備品について整理する。（川内ヒアリング）</p> <p>a. 大規模損壊対応時に着用する装備品について</p> <p>【プラント対応時の装備品】</p> <table border="1" data-bbox="91 901 622 1109"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>着用基準</th> <th>屋内</th> <th>屋外</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>個人線量計</td> <td>対応者は必ず着用</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>綿手袋</td> <td>身体汚染の恐れがある場合</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>汚染防護服(タイベック)、ゴム手袋等</td> <td>身体汚染の恐れがある場合</td> <td>△</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>アノラック、汚染作業用長靴(胴長靴^{※1})</td> <td>身体汚染の恐れがある場合(湿潤作業)</td> <td>□</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>全面マスク^{※2}</td> <td rowspan="2">身体汚染のおそれがある場合(内部被ばく防止)</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>半面マスク</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>自給式呼吸器・セルフエアセット^{※2}</td> <td rowspan="2">高線量下で移動を伴わない作業等、状況に応じて着用</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>高線量対応防護服^{※3}(タンダステンベスト)</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table> <p>○：必ず着用 △：緊急を要する作業以外は着用 □：管理区域内で内部溢水が起きている場所へのアクセス時のみ着用 △：管理区域内で内部溢水が起きている場所へのアクセス時のみ着用 ※1：屋外での着用は困難な場合 ※2：全身着用が前提。全面マスク、セルフエアセットについては、現場の状況に応じて着用する。 ※3：着用により作業効率が下がり、作業時間の増加に伴い被ばく線量が増加するため、移動を伴う作業においては原則着用しない。</p>	名称	着用基準	屋内	屋外	個人線量計	対応者は必ず着用	○	○	綿手袋	身体汚染の恐れがある場合	○	○	汚染防護服(タイベック)、ゴム手袋等	身体汚染の恐れがある場合	△	○	アノラック、汚染作業用長靴(胴長靴 ^{※1})	身体汚染の恐れがある場合(湿潤作業)	□	-	全面マスク ^{※2}	身体汚染のおそれがある場合(内部被ばく防止)	○	○	半面マスク	-	-	自給式呼吸器・セルフエアセット ^{※2}	高線量下で移動を伴わない作業等、状況に応じて着用	-	-	高線量対応防護服 ^{※3} (タンダステンベスト)	-	-	<p>添付資料 2.1.20 大規模損壊発生時における放射線防護に係る対応について</p> <p>大規模損壊発生時、作業者は、個人線量計を着用し、緊急作業従事者は緊急作業に係る線量限度（100mSv又は250mSv）、緊急作業従事者でない者は通常の線量限度（50mSv/年、100mSv/5年）を超えないように確認を行う。</p> <p>また、放射性物質の放出後、放射性物質濃度の高い場所で作業を行う場合は、全面マスク等の放射線防護具を着用する。 なお、プラントの状況把握の困難な大規模損壊初動対応においては、放射線管理班長、夜間及び休日の場合は総括責任者又は発電課長が、プラント状況（炉心損傷の可能性、原子炉格納容器の破損、使用済燃料プールからの漏えいの有無等）を考慮し、大気に放出された放射性物質が大規模損壊対応に影響を与える可能性がある場合、放射線防護具類の着用を指示する。</p> <p>以下に、大規模損壊対応及び消火活動対応に必要な装備品について整理する。</p> <p>1. 大規模損壊対応時に着用する装備品について 大規模損壊対応時に着用する装備品として、第1表にプラント対応時の装備品、第2表に火災対応時の装備品を示す。また、第3表に緊急作業に係る線量限度を示す。</p> <p>第1表 プラント対応時の装備品</p> <table border="1" data-bbox="667 893 1220 1204"> <thead> <tr> <th rowspan="2">名称</th> <th colspan="2">着用基準</th> </tr> <tr> <th>炉心損傷の徴候等あり</th> <th>炉心損傷の徴候等なし</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>個人線量計(ガラスバッチ)</td> <td>現場作業を行っている間も含め必ず着用</td> <td>同左</td> </tr> <tr> <td>個人線量計(電子式線量計)</td> <td>現場作業を行っている間も含め必ず着用</td> <td>同左</td> </tr> <tr> <td>綿手袋、ゴム手袋</td> <td>必ず着用</td> <td>同左</td> </tr> <tr> <td>汚染防護服(タイベック)</td> <td>緊急を要する作業を除き着用</td> <td>同左</td> </tr> <tr> <td>EVAシューズ、長靴、胴長靴</td> <td>湿潤作業を行う場合に着用</td> <td>同左</td> </tr> <tr> <td>高線量対応防護服(タンダステンベスト)</td> <td>移動を伴わない高線量下での作業を行う場合に着用</td> <td>同左</td> </tr> <tr> <td>全面マスク(電動ファン付全面マスクを含む)</td> <td>管理区域内で内部被ばくのおそれがある場合に着用</td> <td>同左</td> </tr> <tr> <td>自給式呼吸器</td> <td>火災等のおそれがある場合に着用</td> <td>同左</td> </tr> </tbody> </table>	名称	着用基準		炉心損傷の徴候等あり	炉心損傷の徴候等なし	個人線量計(ガラスバッチ)	現場作業を行っている間も含め必ず着用	同左	個人線量計(電子式線量計)	現場作業を行っている間も含め必ず着用	同左	綿手袋、ゴム手袋	必ず着用	同左	汚染防護服(タイベック)	緊急を要する作業を除き着用	同左	EVAシューズ、長靴、胴長靴	湿潤作業を行う場合に着用	同左	高線量対応防護服(タンダステンベスト)	移動を伴わない高線量下での作業を行う場合に着用	同左	全面マスク(電動ファン付全面マスクを含む)	管理区域内で内部被ばくのおそれがある場合に着用	同左	自給式呼吸器	火災等のおそれがある場合に着用	同左	<p>添付資料 2.1.14 大規模損壊発生時における放射線防護に係る対応について</p> <p>大規模損壊発生時、作業者は、個人線量計を着用し、緊急作業従事者は緊急作業に係る線量限度（100mSv又は250mSv）、緊急作業従事者でない者は通常の線量限度（50mSv/年、100mSv/5年）を超えないように確認を行う。</p> <p>また、放射性物質の放出後、放射性物質濃度の高い場所で作業を行う場合は、全面マスク等の放射線防護具を着用する。 なお、プラントの状況把握の困難な大規模損壊初動対応においては、原子力防災管理者（夜間及び休日（平日の勤務時間帯以外）は副原子力防災管理者）又は発電課長（当直）が、プラント状況（炉心損傷の可能性、原子炉格納容器の破損、燃料取扱棟の損傷及び使用済燃料ピットからの漏えいの有無等）を考慮し、大気に放出された放射性物質が大規模損壊対応に影響を与える可能性がある場合、放射線防護具類の着用を指示する。</p> <p>以下に、大規模損壊対応及び消火活動対応に必要な装備品について整理する。</p> <p>1. 大規模損壊発生時に着用する装備品について 大規模損壊対応時に着用する装備品として、表14-1にプラント対応時の装備品、表14-2に火災対応時の装備品を示す。また、表14-3に緊急作業に係る線量限度を示す。</p> <p>表14-1 プラント対応時の装備品</p> <table border="1" data-bbox="1243 885 1765 1236"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>着用基準</th> <th>屋内</th> <th>屋外</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>個人線量計</td> <td>対応者は必ず着用</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>綿手袋</td> <td>身体汚染のおそれがある場合</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>汚染防護服(タイベック)・ゴム手袋等</td> <td>身体汚染のおそれがある場合</td> <td>△</td> <td>△</td> </tr> <tr> <td>アノラック・汚染作業用長靴(胴長靴^{※1})</td> <td>身体汚染のおそれがある場合(湿潤作業)</td> <td>□</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>全面マスク^{※2}</td> <td rowspan="2">内部被ばくのおそれがある場合</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>電動ファン付きマスク^{※2}</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>セルフエアセット^{※2}</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>高放射線対応防護具(タンダステンベスト)</td> <td>移動を伴わない高線量下での作業を行う場合</td> <td>-^{※3}</td> <td>-^{※3}</td> </tr> </tbody> </table> <p>○：必ず着用 △：緊急を要する作業以外は着用 □：管理区域内で内部溢水が起きている場所へのアクセス時のみ着用 -：着用不要 ※1：溢水水位が高い場合 ※2：全面マスク、電動ファン付きマスク、セルフエアセットについては、現場の状況に応じていずれかを装着する。 ※3：着用により作業効率が下がり、作業時間の増加に伴い被ばく線量が増加するため、移動を伴う作業においては原則着用しない。</p>	名称	着用基準	屋内	屋外	個人線量計	対応者は必ず着用	○	○	綿手袋	身体汚染のおそれがある場合	○	○	汚染防護服(タイベック)・ゴム手袋等	身体汚染のおそれがある場合	△	△	アノラック・汚染作業用長靴(胴長靴 ^{※1})	身体汚染のおそれがある場合(湿潤作業)	□	-	全面マスク ^{※2}	内部被ばくのおそれがある場合	○	○	電動ファン付きマスク ^{※2}			セルフエアセット ^{※2}				高放射線対応防護具(タンダステンベスト)	移動を伴わない高線量下での作業を行う場合	- ^{※3}	- ^{※3}	<p>【大飯】【女川】記載表現の相違</p> <p>【大飯】【女川】記載表現の相違 ・泊は、女川と同様に「着用」で統一している。</p> <p>【大飯】【女川】記載表現の相違</p> <p>【大飯】【女川】記載内容の相違</p> <p>【大飯】【女川】記載表現の相違</p>
名称	着用基準	屋内	屋外																																																																																																		
個人線量計	対応者は必ず着用	○	○																																																																																																		
綿手袋	身体汚染の恐れがある場合	○	○																																																																																																		
汚染防護服(タイベック)、ゴム手袋等	身体汚染の恐れがある場合	△	○																																																																																																		
アノラック、汚染作業用長靴(胴長靴 ^{※1})	身体汚染の恐れがある場合(湿潤作業)	□	-																																																																																																		
全面マスク ^{※2}	身体汚染のおそれがある場合(内部被ばく防止)	○	○																																																																																																		
半面マスク		-	-																																																																																																		
自給式呼吸器・セルフエアセット ^{※2}	高線量下で移動を伴わない作業等、状況に応じて着用	-	-																																																																																																		
高線量対応防護服 ^{※3} (タンダステンベスト)		-	-																																																																																																		
名称	着用基準																																																																																																				
	炉心損傷の徴候等あり	炉心損傷の徴候等なし																																																																																																			
個人線量計(ガラスバッチ)	現場作業を行っている間も含め必ず着用	同左																																																																																																			
個人線量計(電子式線量計)	現場作業を行っている間も含め必ず着用	同左																																																																																																			
綿手袋、ゴム手袋	必ず着用	同左																																																																																																			
汚染防護服(タイベック)	緊急を要する作業を除き着用	同左																																																																																																			
EVAシューズ、長靴、胴長靴	湿潤作業を行う場合に着用	同左																																																																																																			
高線量対応防護服(タンダステンベスト)	移動を伴わない高線量下での作業を行う場合に着用	同左																																																																																																			
全面マスク(電動ファン付全面マスクを含む)	管理区域内で内部被ばくのおそれがある場合に着用	同左																																																																																																			
自給式呼吸器	火災等のおそれがある場合に着用	同左																																																																																																			
名称	着用基準	屋内	屋外																																																																																																		
個人線量計	対応者は必ず着用	○	○																																																																																																		
綿手袋	身体汚染のおそれがある場合	○	○																																																																																																		
汚染防護服(タイベック)・ゴム手袋等	身体汚染のおそれがある場合	△	△																																																																																																		
アノラック・汚染作業用長靴(胴長靴 ^{※1})	身体汚染のおそれがある場合(湿潤作業)	□	-																																																																																																		
全面マスク ^{※2}	内部被ばくのおそれがある場合	○	○																																																																																																		
電動ファン付きマスク ^{※2}																																																																																																					
セルフエアセット ^{※2}																																																																																																					
高放射線対応防護具(タンダステンベスト)	移動を伴わない高線量下での作業を行う場合	- ^{※3}	- ^{※3}																																																																																																		

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

2.1 可搬型設備等による対応

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																													
<p>【火災対応時の装備品】</p> <table border="1" data-bbox="94 199 622 327"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>着用基準</th> <th>屋内</th> <th>屋外</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>個人線量計</td> <td>対応者は必ず着用</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>全面マスク※1</td> <td>内部被ばくの恐れがある場合又は建屋内など煙により消火活動に影響がある場合</td> <td>△</td> <td>△</td> </tr> <tr> <td>半面マスク</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>セルフエアセット※1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>防火服</td> <td>火災近くでの対応者は必ず着用</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table> <p>○：必ず着用 △：緊急に要する作業以外に着用 ※1：全面マスク、全面マスク、セルフエアセットについては、現場の状況に応じてどちらかを着用する。</p> <p>表-2.1.12-1 緊急作業に係る線量限度</p> <table border="1" data-bbox="94 587 582 651"> <thead> <tr> <th colspan="2">緊急作業に係る線量限度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>実効線量</td> <td>250mSv</td> </tr> </tbody> </table> <p>(女子については、妊娠する可能性がないと診断された者に限る)</p> <p>b. 放射線防護具等の携行について 大規模損壊対応において、作業者は、各箇所に配備されている装備品一式を携行し、副原子力防災管理者又は当直課長の指示により必要な放射線防護具の着用を行う。</p> <p>なお、個人線量計については、被ばく管理のため必ず着用し、各対応を行う。</p> <p>【配備箇所】</p> <ul style="list-style-type: none"> 中央制御室 緊急時対策所指揮所 緊急時対策所待機場所 <p>委託消防隊については、個別に個人線量計、セルフエアセットを配備している。</p> <p>【携行品一式】 放射線防護具：タイベック、ゴム手袋、全面マスク、個人線量計</p>	名称	着用基準	屋内	屋外	個人線量計	対応者は必ず着用	○	○	全面マスク※1	内部被ばくの恐れがある場合又は建屋内など煙により消火活動に影響がある場合	△	△	半面マスク				セルフエアセット※1				防火服	火災近くでの対応者は必ず着用	○	○	緊急作業に係る線量限度		実効線量	250mSv	<p>第2表 火災対応時の装備品</p> <table border="1" data-bbox="669 199 1218 414"> <thead> <tr> <th rowspan="2">名称</th> <th colspan="2">着用基準</th> </tr> <tr> <th>伊心指図の厳格等あり</th> <th>伊心指図の厳格等なし</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>個人線量計</td> <td>視見作業を行っていない間も含め必ず着用</td> <td>同左</td> </tr> <tr> <td>個人線量計（ガラスベック）</td> <td>視見作業を行っていない間も含め必ず着用</td> <td>同左</td> </tr> <tr> <td>個人線量計（電子式線量計）</td> <td>視見作業を行っていない間も含め必ず着用</td> <td>同左</td> </tr> <tr> <td>全面マスク（電動ファン付全面マスクを含む）</td> <td>必ず着用</td> <td>管理区域内で内部被ばくのおそれがある場合に着用</td> </tr> <tr> <td>自動式呼吸器</td> <td>簡文等のおそれがある場合に着用</td> <td>同左</td> </tr> <tr> <td>防火服</td> <td>火災近くでの作業を行う場合に着用</td> <td>同左</td> </tr> </tbody> </table> <p>第3表 緊急作業に係る線量限度</p> <table border="1" data-bbox="669 574 1218 638"> <thead> <tr> <th colspan="2">緊急作業に係る線量限度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>実効線量</td> <td>100mSv 又は 250mSv（緊急作業従事者に設定された者）</td> </tr> </tbody> </table> <p>(女子については、妊娠不能と診断された者に限る。)</p> <p>2. 放射線防護具等の携行について 大規模損壊対応において、作業者は、各箇所に配備されている装備品一式を携行し、放射線管理班長、夜間及び休日の場合は総括責任者又は発電課長の指示により必要な放射線防護具の着用を行う。</p> <p>なお、個人線量計については、被ばく管理のため必ず着用し、各対応を行う。</p> <p>(1) 配備場所</p> <ul style="list-style-type: none"> 中央制御室 緊急時対策建屋 <p>(2) 携行品一式</p> <ul style="list-style-type: none"> 放射線防護具：汚染防護服（タイベック）、綿手袋、ゴム手袋、全面マスク 	名称	着用基準		伊心指図の厳格等あり	伊心指図の厳格等なし	個人線量計	視見作業を行っていない間も含め必ず着用	同左	個人線量計（ガラスベック）	視見作業を行っていない間も含め必ず着用	同左	個人線量計（電子式線量計）	視見作業を行っていない間も含め必ず着用	同左	全面マスク（電動ファン付全面マスクを含む）	必ず着用	管理区域内で内部被ばくのおそれがある場合に着用	自動式呼吸器	簡文等のおそれがある場合に着用	同左	防火服	火災近くでの作業を行う場合に着用	同左	緊急作業に係る線量限度		実効線量	100mSv 又は 250mSv（緊急作業従事者に設定された者）	<p>表14-2 火災対応時の装備品</p> <table border="1" data-bbox="1245 191 1771 422"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>着用基準</th> <th>屋内</th> <th>屋外</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>個人線量計</td> <td>対応者は必ず着用</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>全面マスク※1</td> <td rowspan="3">内部被ばくのおそれがある場合又は建屋内等において煙により消火活動に影響がある場合</td> <td rowspan="3">△</td> <td rowspan="3">△</td> </tr> <tr> <td>電動ファン付きマスク※1</td> </tr> <tr> <td>セルフエアセット※1</td> </tr> <tr> <td>防火服</td> <td>火災近くでの対応者は必ず着用</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table> <p>○：必ず着用 △：緊急を要する作業以外に着用 ※1：全面マスク、電動ファン付きマスク、セルフエアセットについては、現場の状況に応じていずれかを着用する。</p> <p>表14-3 緊急作業に係る線量限度</p> <table border="1" data-bbox="1245 566 1749 646"> <thead> <tr> <th colspan="2">緊急作業に係る線量限度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>実効線量</td> <td>100mSv 又は 250mSv（緊急作業従事者に設定された者）</td> </tr> </tbody> </table> <p>(女子については、妊娠不能と診断された者に限る。)</p> <p>2. 放射線防護具等の携行について 大規模損壊対応において、作業者は、各箇所に配備されている装備品一式を携行し、原子力防災管理者（夜間及び休日の場合は副原子力防災管理者）又は発電課長（当直）の指示により必要な放射線防護具の着用を行う。</p> <p>なお、個人線量計については、被ばく管理のため必ず着用し、各対応を行う。</p> <p>(1) 配備箇所</p> <ul style="list-style-type: none"> 中央制御室 緊急時対策所指揮所 緊急時対策所待機場所 災害対策要員宿直場所 <p>消火要員については、個別に個人線量計、セルフエアセットを配備する。</p> <p>(2) 携行品一式</p> <ul style="list-style-type: none"> 放射線防護具類：汚染防護服（タイベック）、綿手袋、ゴム手袋、全面マスク、電動ファン付きマスク 	名称	着用基準	屋内	屋外	個人線量計	対応者は必ず着用	○	○	全面マスク※1	内部被ばくのおそれがある場合又は建屋内等において煙により消火活動に影響がある場合	△	△	電動ファン付きマスク※1	セルフエアセット※1	防火服	火災近くでの対応者は必ず着用	○	○	緊急作業に係る線量限度		実効線量	100mSv 又は 250mSv（緊急作業従事者に設定された者）	<p>■記載内容の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> 泊は、緊急作業従事者でない者に対する線量も含めて記載している。 <p>【大飯】【女川】記載表現の相違</p> <p>【大飯】【女川】配備箇所の相違</p> <p>■記載表現の相違</p> <p>【女川】記載内容の相違</p> <p>■記載方針の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> 泊は、個人線量計については必ず着用することとしているため、携行品には含まれていない。 <p>【大飯】【女川】記載表現の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> 泊は全面マスク、セルフエアセット以外に電動ファン付きマスクと配備する。（島根同様）
名称	着用基準	屋内	屋外																																																																													
個人線量計	対応者は必ず着用	○	○																																																																													
全面マスク※1	内部被ばくの恐れがある場合又は建屋内など煙により消火活動に影響がある場合	△	△																																																																													
半面マスク																																																																																
セルフエアセット※1																																																																																
防火服	火災近くでの対応者は必ず着用	○	○																																																																													
緊急作業に係る線量限度																																																																																
実効線量	250mSv																																																																															
名称	着用基準																																																																															
	伊心指図の厳格等あり	伊心指図の厳格等なし																																																																														
個人線量計	視見作業を行っていない間も含め必ず着用	同左																																																																														
個人線量計（ガラスベック）	視見作業を行っていない間も含め必ず着用	同左																																																																														
個人線量計（電子式線量計）	視見作業を行っていない間も含め必ず着用	同左																																																																														
全面マスク（電動ファン付全面マスクを含む）	必ず着用	管理区域内で内部被ばくのおそれがある場合に着用																																																																														
自動式呼吸器	簡文等のおそれがある場合に着用	同左																																																																														
防火服	火災近くでの作業を行う場合に着用	同左																																																																														
緊急作業に係る線量限度																																																																																
実効線量	100mSv 又は 250mSv（緊急作業従事者に設定された者）																																																																															
名称	着用基準	屋内	屋外																																																																													
個人線量計	対応者は必ず着用	○	○																																																																													
全面マスク※1	内部被ばくのおそれがある場合又は建屋内等において煙により消火活動に影響がある場合	△	△																																																																													
電動ファン付きマスク※1																																																																																
セルフエアセット※1																																																																																
防火服	火災近くでの対応者は必ず着用	○	○																																																																													
緊急作業に係る線量限度																																																																																
実効線量	100mSv 又は 250mSv（緊急作業従事者に設定された者）																																																																															

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

2.1 可搬型設備等による対応

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>e. 火災対応時の装備品について 大規模損壊時の消火活動の装備品については、中央制御室又は、出入管理所等に配備してある防火服及びセルフエアセット等の必要な装備品を着用し消火対応を行う。</p> <p>【装備品】</p> <ul style="list-style-type: none"> 個人線量計 全面マスク又はセルフエアセット 防火服 <p>d. 大規模損壊対応時の留意事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 作業者は、個人線量計を携帯するとともに、適時、線量を確認し、自身の被ばく状況を把握する。（川内ヒアリング） 作業者は、被ばく管理のため、消火活動時の滞在箇所、滞在時間及び被ばく線量等の情報を確認及び記録する。 予期せぬ放射線量の上昇が確認された場合は、その場を一時的に離れ、対策本部（対策本部設置前であれば、副原子力防災管理者又は当直課長）の指示により対応する。 	<p>3. 火災対応時の装備品について 大規模損壊時の消火活動の装備品については、中央制御室又は出入管理所等に配備してある防火服及び自給式呼吸器等の必要な装備品を着用し消火対応を行う。</p> <p>(1) 装備品</p> <ul style="list-style-type: none"> 個人線量計 全面マスク又は自給式呼吸器 防火服 <p>4. 大規模損壊対応時の留意事項</p> <p>作業者は、個人線量計を着用するとともに、適時、線量を確認し、自身の被ばく状況を把握する。</p> <p>作業者は、被ばく管理のため、消火活動時の滞在箇所、滞在時間及び被ばく線量等の情報を確認・記録する。</p> <p>予期せぬ放射線量の上昇が確認された場合は、その場を一時的に離れ、発電所対策本部（放射線管理班長、夜間及び休日の場合は総括責任者）又は発電課長の指示により対応する。</p>	<p>3. 火災対応時の装備品について 大規模損壊時の消火活動の装備品については、51m倉庫・車庫又は出入管理室等に配備してある防火服及びセルフエアセット等の必要な装備品を着用し消火対応を行う。</p> <p>(1) 装備品</p> <ul style="list-style-type: none"> 個人線量計 全面マスク、電動ファン付きマスク又はセルフエアセット 防火服 <p>4. 大規模損壊対応時の留意事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 作業者は、個人線量計を着用するとともに、適時、線量を確認し、自身の被ばく状況を把握する。 作業者は、被ばく管理のため、消火活動時の滞り場所、滞在時間及び被ばく線量等の情報を確認・記録する。 予期せぬ放射線量の上昇が確認された場合は、その場を一時的に離れ、発電所対策本部（原子力防災管理者（夜間及び休日の場合は副原子力防災管理者））又は発電課長（当直）の指示により対応する。 	<p>【大飯】【女川】記載表現の相違</p> <p>【大飯】【女川】記載表現の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> 泊は全面マスク、セルフエアセット以外に電動ファン付きマスクと配備する。（島根同様） <p>【大飯】【女川】記載表現の相違</p>

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

2.1 可搬型設備等による対応

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>添付資料 2.1.13 緊急時における対応要員の確保の考え方について</p>	<p>添付資料 2.1.17 重大事故等と大規模損壊対応に係る体制整備等の考え方</p> <p>重大事故等と大規模損壊との対応内容を整理し、その相違部分を踏まえた体制の整備等の考え方を以下に取りまとめた。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>1. 項～4. 項について、大飯に相当する資料がないことから、これらの項の泊欄は、女川との比較結果にて色識別する</p> </div> <p>1. 重大事故等への対応 重大事故等の発生に対して、炉心の著しい損傷防止あるいは原子炉格納容器の破損防止、使用済燃料プール内の燃料体等の著しい損傷防止及び原子炉運転停止中における燃料体の著しい損傷防止を目的に発電所の体制及び発電所を支援するための体制を整備している。 重大事故等時に組織として適切な対応を行うためには、事故対応に必要な重大事故等対処設備の取扱いと手順の策定が重要である。 そこで重大事故等対処設備に係る事項について、切替えの容易性及びアクセスルートの確保を図り、復旧作業に係る事項について、予備品等の確保及び保管場所等の整備を行っている。 また、支援に係る事項、教育及び訓練の実施並びに手順の整備に係る事項を、通常業務の組織体制における実務経験を活かした体制で対応できるよう整備している。</p> <p>2. 大規模損壊への対応 大規模損壊に至る可能性のある事象は、基準地震動 Ss 及び基準津波等の設計基準又は観測記録を超えるような規模の自然災害並びに故意による大型航空機の衝突その他のテロリズムを想定しており、計装・制御系の喪失、大規模な LOCA、原子炉格納容器の損傷等のプラントが受ける影響並びに</p> <p>中央制御室の機能喪失（運転員を含む。）、夜間及び休日（平日の勤務時間帯以外。）における参集要員の遅延、大規模な火災の発生等の被害の程度が、重大事故等に比べて広範囲で不確定なものとなる。 このことから、発電所施設の被害状況等の把握を迅速に行うとともに、得られた情報及び残存する資源等の活用により、「炉心の著しい損傷の緩和」、「原子炉格納容器の破損緩和」、「使用済燃料プールの水位確保及び燃料体の著しい損傷の緩和」又は「発電所外への放射性物質の放出低減」を目的とした効果的な対応を速やか、かつ臨機応変に選択し実行することで事象進展の抑制及び緩和措置を図る。</p>	<p>添付資料 2.1.15 重大事故等と大規模損壊対応に係る体制整備等の考え方</p> <p>重大事故等と大規模損壊との対応内容を整理し、その相違部分を踏まえた体制の整備、要員確保等の考え方について以下に取りまとめた。</p> <p>1. 重大事故等への対応 重大事故等の発生に対して、炉心の著しい損傷防止又は原子炉格納容器の破損防止、使用済燃料ピット内の燃料体等の著しい損傷防止及び原子炉運転停止中における燃料体の著しい損傷防止を目的に発電所の体制及び発電所を支援するための体制を整備している。 重大事故等時に組織として適切な対応を行うためには、事故対応に必要な重大事故等対処設備の取扱いと手順の策定が重要である。 そこで重大事故等対処設備に係る事項について、切替えの容易性及びアクセスルートの確保を図り、復旧作業に係る事項について、予備品等の確保及び保管場所等の整備を行っている。 また、支援に係る事項、教育及び訓練の実施並びに手順の整備に係る事項を、通常業務の組織体制における実務経験を活かした体制で対応できるよう整備している。</p> <p>2. 大規模損壊への対応 大規模損壊に至る可能性のある事象として、基準地震動及び基準津波等の設計基準又は観測記録を超えるような規模の自然災害並びに故意による大型航空機の衝突その他のテロリズムを想定しており、中央制御室における監視及び制御機能の喪失、大規模な LOCA、原子炉格納容器の破損等のプラントが受ける影響並びに</p> <p>中央制御室の機能喪失（運転員を含む。）、夜間及び休日（平日の勤務時間帯以外。）における参集要員の遅延、大規模な火災の発生等の被害の程度が、重大事故等に比べて広範囲で不確定なものとなる。 このことから、発電所施設の被害状況等の把握を迅速に行うとともに、得られた情報及び残存する資源等の活用により、「炉心の著しい損傷の緩和」、「原子炉格納容器の破損緩和」、「使用済燃料ピットの水位確保及び燃料体の著しい損傷の緩和」又は「発電所外への放射性物質の放出低減」を目的とした効果的な対応を速やか、かつ臨機応変に選択し実行することで事象進展の抑制及び緩和措置を図る。</p>	<p>相違理由</p> <p>■記載内容の相違 ・泊は女川と同様に、要員の確保を含む体制の整備の考え方について整理する。</p> <p>【女川】記載表現の相違</p> <p>【女川】記載表現の相違</p> <p>【女川】記載表現の相違</p>

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

2.1 可搬型設備等による対応

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>3. 重大事故等と大規模損壊への対応の違い 2項に示すとおり、大規模損壊時は重大事故等に比べてその被害範囲が広範囲で不確定なものであり、重大事故等のように損傷箇所がある程度限定された想定に基づく事故対応とは異なる。 そのため、発電所施設の被害状況等の把握を迅速に行うとともに、得られた情報及び残存する資源等の活用により、効果的な対応を速やか、かつ臨機応変に選択し実行する。 大規模損壊発生時は、共通要因で機能喪失することのない可搬型重大事故等対処設備を活用した手順等で対応することにより、炉心損傷緩和、原子炉格納容器破損緩和等の措置を図る。</p> <p>4. 対応の違いを踏まえた大規模損壊対応に係る体制の整備の考え方 3項で示した対応の違いはあるものの、被害状況等の把握を迅速に行うとともに、得られた情報及び残存する資源等の活用に対応するには、通常業務の組織体制における実務経験を活かすことができる重大事故等に対応するための体制が最も有効に機能すると評価できる。 運用面においても重大事故等に対応するための体制で引き続き対応することは、迅速な対応を求められる大規模損壊対応に適している。このように、大規模損壊対応に係る体制の整備として重大事故等に対応するための体制で臨むことは有効である。ただし、中央制御室（運転員を含む。）の機能喪失及び重大事故等の対応で期待する重大事故等対処設備の一部が使用できない等の大規模損壊時の特徴的な状況においても、夜間及び休日（平日の勤務時間帯以外。）も含めて流動性を持って柔軟に対応できるよう体制を整備する。 このため、大規模損壊発生時の体制は第1図から第5図並びに第1表に示す重大事故等対応のための体制を基本としつつ、大規模損壊対応のために必要な体制、要員、教育及び訓練、外部からの支援等に関して、以下のとおり差異内容を考慮すべき事項として評価し、付加分を整備、充実内容として整備する。</p> <p>なお、下記事項における技術的能力1.0と2.1に関する考え方の相違点について項目ごとに別紙に整理する。</p>	<p>3. 重大事故等と大規模損壊への対応の違い 2項に示すとおり、大規模損壊時は重大事故等に比べてその被害範囲が広範囲で不確定なものであり、重大事故等のように損傷箇所がある程度限定された想定に基づく事故対応とは異なる。 そのため、発電所施設の被害状況等の把握を迅速に行うとともに、得られた情報及び残存する資源等の活用により、効果的な対応を速やか、かつ臨機応変に選択し実行する。 大規模損壊発生時は、共通要因で機能喪失することのない可搬型重大事故等対処設備を活用した手順等で対応することにより、炉心損傷緩和、原子炉格納容器破損緩和等の措置を図る。</p> <p>4. 対処の相違を踏まえた大規模損壊対応に係る体制の整備の考え方 3項で示した対応の違いはあるものの、被害状況等の把握を迅速に行うとともに、得られた情報及び残存する資源等の活用に対応するには、通常業務の組織体制における実務経験を活かすことができる重大事故等に対応するための体制が最も有効に機能すると評価できる。 運用面においても重大事故等に対応するための体制で引き続き対応することは、迅速な対応を求められる大規模損壊対応に適している。このように、大規模損壊対応に係る体制の整備として重大事故等に対応するための体制で臨むことは有効である。ただし、中央制御室（運転員を含む。）の機能喪失及び重大事故等の対応で期待する重大事故等対処設備の一部が使用できない等の大規模損壊時の特徴的な状況においても、夜間及び休日（平日の勤務時間帯以外。）も含めて流動性を持って柔軟に対応できる体制を整備する。 このため、大規模損壊発生時の体制は図15-1から図15-4及び表15-1に示す重大事故等対応のための体制を基本としつつ、大規模損壊対応のために必要な体制、要員、教育及び訓練、外部からの支援等に関して、以下のとおり差異内容を考慮すべき事項として評価し、付加分を整備、充実内容として整備する。</p> <p>なお、下記事項における技術的能力1.0と2.1に関する考え方の相違点について項目ごとに別紙に整理する。</p>	<p>【女川】 記載表現の相違</p>

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

2.1 可搬型設備等による対応

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>(1) 体制の整備</p> <p>a. 大規模損壊として考慮すべき事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・夜間及び休日（平日の勤務時間帯以外。）における参集要員の参集遅延 ・中央制御室（運転員を含む。）の機能喪失 <p>b. 整備、充実内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・夜間及び休日（平日の勤務時間帯以外。）においては、総括責任者（副原子力防災管理者）が指揮を執る。総括責任者（副原子力防災管理者）がその職務を遂行できない場合には、連絡責任者が代行する。 ・夜間及び休日（平日の勤務時間帯以外。）において、大規模な自然災害が発生した場合には、要員参集までに時間を要する可能性があるが、発電所構内に常時確保する重大事故等対応要員により、参集要員が参集するまでの当面の間は、事故対応が行えるよう体制を整備する。 ・中央制御室（運転員を含む。）が機能しない場合においても、重大事故等に対処する要員にて対応が可能な体制を整備する。 ・複数号炉の同時被災の場合において、情報の混乱や指揮命令が遅れることのないよう、運転号炉及び停止号炉に統括を配置し、発電所対策本部長の活動方針の下、対象号炉の事故影響緩和・拡大防止に係るプラント運転操作への助言や可搬型重大事故等対処設備を用いた対応、不具合設備の復旧等の統括を行わせる。 <p>(2) 要員の配置</p> <p>a. 大規模損壊として考慮すべき事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中央制御室（運転員を含む。）の機能喪失 <p>b. 整備、充実内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・夜間及び休日（平日の勤務時間帯以外。）における総括責任者（副原子力防災管理者）を含む重大事故等に対処する要員は、分散して待機する。 	<p>(1) 体制の整備</p> <p>a. 大規模損壊対応として考慮すべき事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・夜間及び休日（平日の勤務時間帯以外）における全体指揮者（副原子力防災管理者）の損耗 ・夜間及び休日（平日の勤務時間帯以外）における参集要員の参集遅延 ・中央制御室（運転員を含む。）の機能喪失 <p>b. 整備、充実内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・夜間及び休日（平日の勤務時間帯以外）においては、全体指揮者（副原子力防災管理者）が指揮を執る。全体指揮者（副原子力防災管理者）がその職務を遂行できない場合は、発電課長（当直）が代行する。 ・夜間及び休日（平日の勤務時間帯以外）において、大規模な自然災害が発生した場合には、要員参集までに時間を要する可能性があるが、発電所構内に常時確保する発電所災害対策要員により、参集要員が参集するまでの当面の間は、事故対応が行えるよう体制を整備する。 ・中央制御室（運転員を含む。）が機能しない場合においても、発電所災害対策要員にて対応が可能な体制を整備する。 <p>(2) 要員の配置</p> <p>a. 大規模損壊として考慮すべき事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中央制御室（運転員を含む。）の機能喪失 <p>b. 整備、充実内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・夜間及び休日（平日の勤務時間帯以外）における全体指揮者（副原子力防災管理者）を含む重大事故等に対処する要員は、分散して待機する。 	<p>【女川】記載内容の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・記載内容は異なるが、整備、充実内容として左記の考慮事項を踏まえて整理していることに相違はない。 <p>【女川】体制（代行者）の相違</p>

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

2.1 可搬型設備等による対応

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>(3) 教育及び訓練</p> <p>a. 大規模損壊として考慮すべき事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・通常の指揮命令系統が機能しない場合への対応 ・初動で対応する要員を最大限に活用する観点から、臨機応変な配置変更に対応できる知識及び技能を習得するなど、流動性を持って柔軟に対応可能にすること <p>b. 整備、充実内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・原子力防災管理者及び副原子力防災管理者に対し、通常の指揮命令系統が機能しない場合及び残存する資源等を最大限に活用しなければならない事態を想定した個別の教育及び訓練を実施する。 ・大規模損壊時に対応する手順及び資機材の取扱い等を習得するための教育を定期的実施する。 ・運転員（1号及び3号炉運転員を含む。）及び重大事故等対応要員については、役割に応じて付与される力量に加え、被災又は想定より多い要員が必要となった場合において、優先順位の高い緩和措置の実施に遅れが生じることがないように、本来の役割以外の教育及び訓練の充実を図る。 <p>具体的には、大規模損壊発生時、まずアクセスルート確保作業を行った上で、原子炉注水又は放水砲の対応が想定されるため、それらの活動を担当する運転員（1号及び3号炉運転員を含む。）及び重大事故等対応要員については流動性を持って活動できるよう教育・訓練を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・初期消火要員（消防車隊）に含まれる協力会社社員及び原子炉への注水等に当たる協力会社社員については、それぞれの活動に必要な力量を付与できるよう、業務委託契約に基づいた教育・訓練を実施する。 ・大規模損壊発生時に対応する組織とそれを支援する組織の実効性等を確認するための総合的な訓練を定期的にかつ継続的に実施する。（第2表、第3表、第4表参照） <p>(4) 手順</p> <p>a. 大規模損壊として考慮すべき事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大規模な火災の発生 ・重大事故等と比べて広範囲で不確定な被害 ・重大事故等時では有効に機能しない設備等が大規模損壊のような状況下では有効に機能する場合も考えられるため、事象進展の抑制及び緩和に資するための設備等の活用 	<p>(3) 教育及び訓練</p> <p>a. 大規模損壊対応として考慮すべき事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・通常の指揮命令系統が機能しない場合への対応 ・初動で対応する要員を最大限に活用する観点から、臨機応変な配置変更に対応できる知識及び技能を習得するなど、流動性を持って柔軟に対応可能にすること <p>b. 整備、充実内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・原子力防災管理者及び副原子力防災管理者に対し、通常の指揮命令系統が機能しない場合及び残存する資源等を最大限に活用しなければならない事態を想定した個別の教育及び訓練を実施する。 ・大規模損壊時に対応する手順及び資機材の取扱い等を習得するための教育を定期的実施する。 ・災害対策要員、災害対策要員（支援）及び消火要員については、役割に応じて付与される力量に加え、被災又は想定より多い要員が必要となった場合において、優先順位の高い緩和措置の実施に遅れが生じることがないように、本来の役割以外の教育及び訓練の充実を図る。 <ul style="list-style-type: none"> ・大規模損壊発生時に対応する組織とそれを支援する組織の実効性等を確認するための総合的な訓練を定期的にかつ継続的に実施する。大規模損壊対応に係る訓練一覧について表15-2に示す。 <p>(4) 手順</p> <p>a. 大規模損壊対応として考慮すべき事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大規模な火災の発生 ・重大事故等と比べて広範囲で不確定な被害 ・重大事故等時では有効に機能しない設備等が大規模損壊のような状況下では有効に機能する場合も考えられるため、事象進展の抑制及び緩和に資するための設備等の活用 	<p>【女川】 記載内容の相違</p>

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

2.1 可搬型設備等による対応

大飯発電所 3 / 4号炉	女川原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由
	<p>b. 整備, 充実内容</p> <ul style="list-style-type: none"> 大規模な火災が発生した場合における消火活動に関する手順として、故意による大型航空機の衝突による航空機燃料火災を想定し、化学消防自動車によるアクセスルート消火の手順に加え、技術的能力 1.12 で整備する放水砲を活用した手順を整備する。 <p>(5) 本店対策本部体制の確立</p> <ul style="list-style-type: none"> 大規模損壊発生時における本店対策本部の設置による発電所への支援体制は、技術的能力 1.0 で整備する支援体制と同様である。 <p>(6) 外部支援体制の確立</p> <ul style="list-style-type: none"> 大規模損壊発生時における外部支援体制は、技術的能力 1.0 で整備する外部支援体制と同様である。 <p>(7) 可搬型重大事故等対処設備の保管場所とアクセスルート</p> <ul style="list-style-type: none"> 大規模損壊発生時において可搬型重大事故等対処設備は、同等の機能を有する設計基準事故対処設備及び常設重大事故等対処設備と同時に機能喪失することのないよう外部事象の影響を受けにくい場所に保管する。 <p>(8) 資機材の配備</p> <ul style="list-style-type: none"> 大規模損壊発生時の対応に必要な資機材については、重大事故等対策で配備する資機材の基本的な考え方を基に高線量の環境、大規模な火災の発生及び外部支援が受けられない状況を想定し配備する。 	<p>b. 整備, 充実内容</p> <ul style="list-style-type: none"> 大規模な火災が発生した場合における消火活動に関する手順として、技術的能力 1.12 で整備する化学消防自動車及び水槽付消防ポンプ車、大規模火災用消防自動車、可搬型大型送水ポンプ車及び小型放水砲並びに可搬型大容量海水送水ポンプ車及び放水砲を活用した泡消火の手順に加え、使用済燃料ピットへのスプレーに用いる可搬型スプレインズルを活用した延焼防止の手順を整備する。 大規模損壊の状況下において、重大事故等発生時には有効に機能しない設備等にも期待できる可能性を考慮し、事象進展の抑制及び緩和に資するため、重大事故等対処設備に加えて設計基準事故対処設備等も含めて、対応の優先順位を明示した個別戦略フローを整備する。 大規模損壊対応に特化した手順として、化学消防自動車により炉心注水、格納容器スプレー、及び使用済燃料ピットへの注水又はスプレーする手順、現場において直接ポンプ等を起動する手順等を整備する。 <p>(5) 本店対策本部体制の確立</p> <ul style="list-style-type: none"> 大規模損壊発生時における本店対策本部の設置による発電所への支援体制は、技術的能力 1.0 で整備する支援体制と同様である。 <p>(6) 外部支援体制の確立</p> <ul style="list-style-type: none"> 大規模損壊発生時における外部支援体制は、技術的能力 1.0 で整備する外部支援体制と同様である。 <p>(7) 可搬型重大事故等対処設備の保管場所とアクセスルート</p> <ul style="list-style-type: none"> 大規模損壊発生時において可搬型重大事故等対処設備は、同等の機能を有する設計基準事故対処設備及び常設重大事故等対処設備と同時に機能喪失することのないよう外部事象の影響を受けにくい場所に保管する。 <p>(8) 資機材の配備</p> <ul style="list-style-type: none"> 大規模損壊発生時の対応に必要な資機材については、重大事故等対策で配備する資機材の基本的な考え方を基に高線量の環境、大規模な火災の発生及び外部支援が受けられない状況を想定し配備する。 	<p>【女川】 運用の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> 泊は大規模損壊の発生を判断すれば、大規模損壊への対応手順書に基づいた対応を行う。 <p>【女川】 記載内容の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> 泊は大規模損壊に特化した手順について記載している。

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

2.1 可搬型設備等による対応

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>1. 要員の確保の考え方</p> <p>発電所に緊急事態が発生した場合、原子力防災体制を発令して、通常体制から緊急時対応体制に移行させ、要員を非常召集する。</p> <p>この際、初期に出来るだけ多くの要員を確保し、状況に応じて即応できる要員配置を行うものであり、大規模損壊発生時においても同様である。</p> <p>召集にあたっては、最初に予め定められた人数の発電所対策本部の要員を発電所に派遣するものとし、それ以外の要員は無用な被ばくを避ける観点から、発電所近傍の集合場所で待機し、発電所派遣要員の交代又は追加派遣に備える。</p> <p>発電所に派遣された要員は、プラント状態に応じた各対策に必要な要員を配置し、初期対応として、集中的に、可能な限り速やかに、炉心損傷や格納容器破損の発生防止措置、拡大防止・緩和措置を行う。</p> <p>これらは緊急時組織に求められる対応に必要な要員数とその交代（不測の事態への追加派遣を含む）を考慮したものである。初動対応を終え、あるいは必要な措置を継続的に実施する段階においては、シフト体制等へ移行させ、事態の拡大防止、影響緩和の長期的な体制に移行する。</p> <p>なお、大規模損壊等により炉心が損傷した場合において、原子炉格納容器破損のおそれ又は破損の有無を判断基準として、最低限必要な要員及びその他の要員を振り分け、要員の動静を判断する。</p> <p>具体的には、最低限必要な要員は、ブルーム放出時緊急時対策所等に留まり、ブルーム通過後、活動を再開する。その他の要員は発電所外へ一時退避し、その後、交替要員として発電所へ再度参集する。</p> <p>2. 発電所構内での要員の確保</p> <p>大規模損壊発生時においては、中央制御室（運転員(当直員)を含む）が機能しないこと及び原子力防災体制の確立に時間を要する場合を想定し、重大事故等対策要員を発電所内に少なくとも64名（消火活動要員7名を含む。）待機させている。</p> <p>なお、大規模な自然災害により、召集要員が発電所への移動に時間を要する場合及び発電所への外部からのアクセスが制限される場合であっても、発電所構内に待機させている要員にて当面の間は事故対応が行えるよう体制を整える。</p>		<p>5. 大規模損壊発生時における要員（参集要員）確保の基本的な考え方</p> <p>発電所に緊急事態が発生した場合、原子力防災体制を発令して、通常体制から原子力災害対策本部体制に移行させ、要員を非常召集する。</p> <p>この際、初期にできるだけ多くの要員を確保し、状況に応じて即応できる要員配置を行うものであり、大規模損壊発生時においても同様である。</p> <p>召集にあたっては、最初にあらかじめ定められた人数の災害対策本部要員を発電所に召集するものとし、それ以外の要員は無用な被ばくを避ける観点から、発電所近傍の集合場所で待機し、発電所災害対策要員との交代又は追加召集に備える。</p> <p>発電所に召集された要員は、プラントの状況に応じた各対策に必要な要員として配置され、発電所に常駐する災害対策要員等とともに、初期対応として、集中的にかつ可能な限り速やかに、炉心損傷の緩和、原子炉格納容器の破損緩和、使用済燃料ピットにおける燃料体等の著しい損傷緩和等の対応を行う。</p> <p>これらは、原子力防災体制に求められる対応に必要な要員とその交代要員（不測の事態への追加召集を含む）を考慮したものである。初動対応を終え、又は必要な措置を継続的に実施する段階においては、シフト体制等へ移行させ、事態の拡大防止、影響緩和等の長期的な対応を行うための体制へ移行する。</p> <p>なお、大規模損壊等により炉心が損傷した場合においては、原子炉格納容器破損のおそれ又は破損の有無を判断基準として、最低限必要な要員及びその他の要員に振り分け、要員の動静を判断する。</p> <p>具体的には、最低限必要な要員は、ブルーム放出時においては緊急時対策所にとどまり、ブルーム通過後に活動を再開する。その他の要員は発電所外へ一時避難し、その後、交代要員として発電所へ再度参集する。</p>	<p>■記載内容の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・泊は女川と同様に、要員の確保を含む体制の整備の考え方について整理する。 <p>■記載内容の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大飯の2項及び3項の内容は、泊は1項～4項のなかで整理することから、こゝでは記載しない。

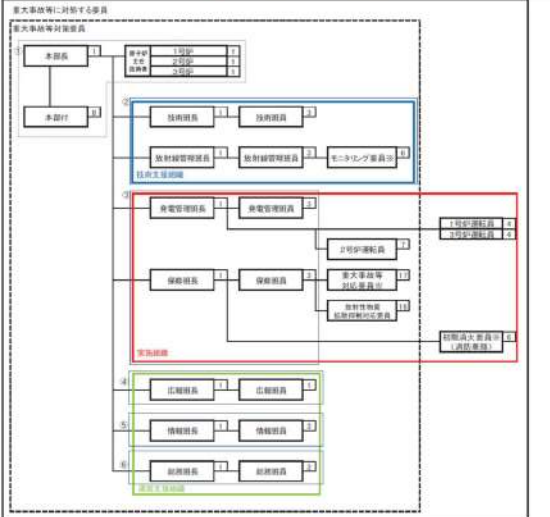
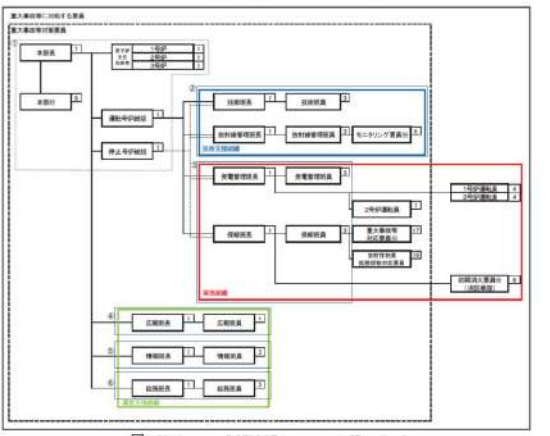
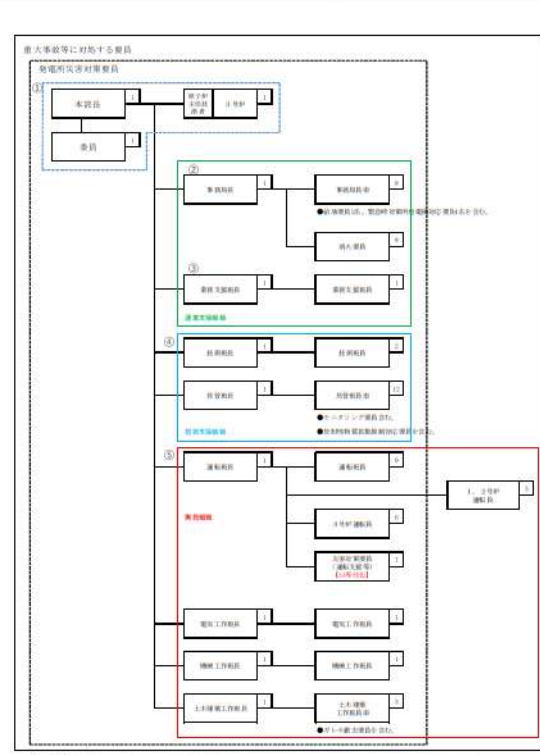
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

2.1 可搬型設備等による対応

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
 <p>3. 3.4号炉同時発災時における対応要員欠員時の対応 3号炉及び4号炉同時被災時は、号炉ごとに情報収集や事故対策の検討等を行い、情報の混乱や指揮命令が遅れることのないよう原子力防災体制を整備する。 大規模損壊等により、発電所に待機している重大事故等対策要員が被災するような状況においても、構内で他の業務を行っている者を重大事故等対策要員の役割に割り当てる等の措置ができるように教育を行い、必要な要員を確保する。 また、発電所内に待機している重大事故等対策要員を最大限に活用するため、担当する役務以外の役務についても対応できるよう教育を実施し、お互いに補完できる体制とする。 以上のように、様々な事態を想定して重大事故等対策要員を確保する方針としていることから、必要な要員は確保できるものと考えているが、大規模損壊においては、不測の事態が発生することも考えられ、限られた人的資源により対応が必要となる場合も想定される。 この場合、全体指揮者（原子力防災管理者）は、ユニット指揮者から入手したプラント情報を基に放射性物質の放出低減の観点でもっとも優先すべき対応を決定し、その対応に必要な要員を重点的に割り当てる。その際、事故進展は時々刻々と変化することを認識し、各プラントの状況を常に確認しつつ、必要な対応が遅滞なく適切に行えるよう努める。 具体的には、3号炉と4号炉の両ユニットにおいて原子炉格納容器損傷のおそれがある場合、1次冷却系及び格納容器内の温度・圧力等の上昇状況を把握して3号炉の方が原子炉格納容器破損に至る余裕時間が短ければ、3号炉の対応を優先的に実施する。そのうえで炉心損傷防止、格納容器破損防止、使用済燃料ピットでの燃料損傷防止の観点でより厳しい状況への対応を優先して実施する。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>			

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

2.1 可搬型設備等による対応

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>重大事故等に対処する委員</p>  <p>第1図 発電所対策本部体制</p>  <p>第2図 発電所対策本部体制（複数炉が同時被災発生時）</p>	<p>重大事故等に対処する委員</p>  <p>図15-1 発電所対策本部体制</p>	

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

2.1 可搬型設備等による対応

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>大飯発電所3/4号炉</p> <p>初動体制(44名) 大飯発電所3号炉 大飯発電所4号炉</p> <p>発電所対策本部体制(98名) 大飯発電所3号炉 大飯発電所4号炉</p>	<p>女川原子力発電所2号炉</p> <p>初動体制(44名) 女川原子力発電所2号炉</p> <p>発電所対策本部体制(98名) 女川原子力発電所2号炉</p>	<p>泊発電所3号炉</p> <p>初動体制(44名) 泊発電所3号炉</p> <p>発電所対策本部体制(98名) 泊発電所3号炉</p> <p>図15-2 初動体制及び全体体制の構成</p> <p>赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違） 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違） 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）</p>	<p>相違理由</p> <p>図15-2の初動体制及び全体体制の構成は、各発電所の特性や設備の相違を反映している。赤字、青字、緑字は、各発電所間の相違を明確に示している。</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

2.1 可搬型設備等による対応

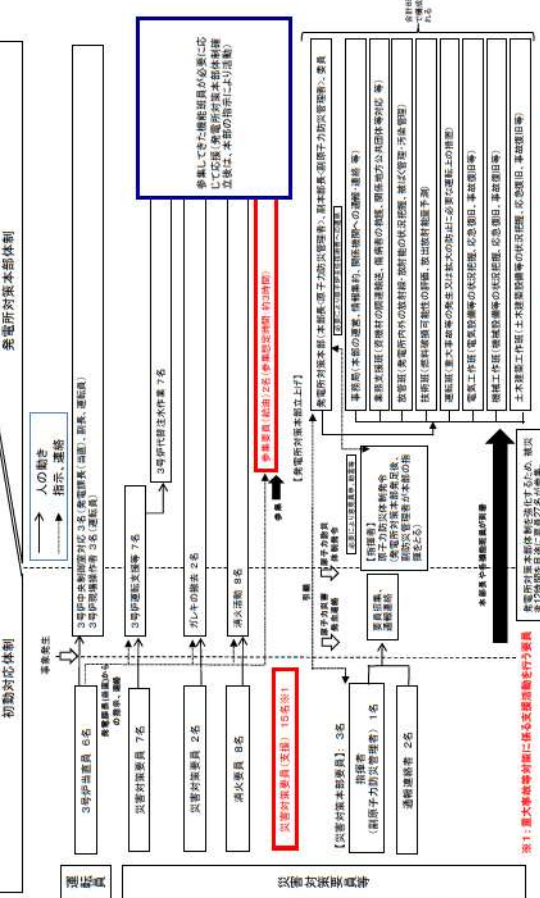
大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																				
<p>大飯発電所3/4号炉</p>	<p>女川原子力発電所2号炉</p> <table border="1" data-bbox="672 183 1097 1141"> <tr> <th>機能・役割</th> <th>初動体制</th> <th>44名</th> <th>電電所対策本部体制</th> <th>98名</th> </tr> <tr> <td>意思決定・指揮</td> <td>総括責任者 連絡責任者 自治体・電源責任者 消防責任者 自治体・電源責任者 自治体・電源責任者</td> <td>6名</td> <td>①本部長 ②本部長 ③放射線管理班 ④放射線管理班 ⑤放射線班 ⑥放射線班 ⑦放射線班 ⑧放射線班 ⑨放射線班</td> <td>38名</td> </tr> <tr> <td>本部署員</td> <td>3号炉運転員 2号炉運転員 1号及び3号炉運転員</td> <td>7名</td> <td>⑩2号炉運転員</td> <td>7名</td> </tr> <tr> <td>現場要員</td> <td>事故の影響緩和・拡大防止に係るプラントの運転操作 事故の影響緩和・拡大防止に係る給水対応、電源対応、アクセスルード確保 放射線モニタリング 緊急時モニタリング 初期消火活動</td> <td>8名 17名 — — 6名</td> <td>⑪1号及び3号炉運転員 ⑫重大事故等対応要員 ⑬放射性物質拡散抑制対応要員 ⑭モニタリング要員 ⑮初期消火要員（消防車隊）</td> <td>8名 17名 16名 6名 6名</td> </tr> </table> <p>※要員数については、右側の設備等の設置により人数を見直す可能性があります。</p>	機能・役割	初動体制	44名	電電所対策本部体制	98名	意思決定・指揮	総括責任者 連絡責任者 自治体・電源責任者 消防責任者 自治体・電源責任者 自治体・電源責任者	6名	①本部長 ②本部長 ③放射線管理班 ④放射線管理班 ⑤放射線班 ⑥放射線班 ⑦放射線班 ⑧放射線班 ⑨放射線班	38名	本部署員	3号炉運転員 2号炉運転員 1号及び3号炉運転員	7名	⑩2号炉運転員	7名	現場要員	事故の影響緩和・拡大防止に係るプラントの運転操作 事故の影響緩和・拡大防止に係る給水対応、電源対応、アクセスルード確保 放射線モニタリング 緊急時モニタリング 初期消火活動	8名 17名 — — 6名	⑪1号及び3号炉運転員 ⑫重大事故等対応要員 ⑬放射性物質拡散抑制対応要員 ⑭モニタリング要員 ⑮初期消火要員（消防車隊）	8名 17名 16名 6名 6名	<p>泊発電所3号炉</p>  <p>第4図 初動体制から電電所対策本部への移行</p>	<p>相違理由</p>
機能・役割	初動体制	44名	電電所対策本部体制	98名																			
意思決定・指揮	総括責任者 連絡責任者 自治体・電源責任者 消防責任者 自治体・電源責任者 自治体・電源責任者	6名	①本部長 ②本部長 ③放射線管理班 ④放射線管理班 ⑤放射線班 ⑥放射線班 ⑦放射線班 ⑧放射線班 ⑨放射線班	38名																			
本部署員	3号炉運転員 2号炉運転員 1号及び3号炉運転員	7名	⑩2号炉運転員	7名																			
現場要員	事故の影響緩和・拡大防止に係るプラントの運転操作 事故の影響緩和・拡大防止に係る給水対応、電源対応、アクセスルード確保 放射線モニタリング 緊急時モニタリング 初期消火活動	8名 17名 — — 6名	⑪1号及び3号炉運転員 ⑫重大事故等対応要員 ⑬放射性物質拡散抑制対応要員 ⑭モニタリング要員 ⑮初期消火要員（消防車隊）	8名 17名 16名 6名 6名																			

図15-3 初動体制から電電所対策本部への移行

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

2.1 可搬型設備等による対応

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																												
	<p style="text-align: center;">第1表 各職位のミッション</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">職 位</th> <th style="width: 85%;">ミ ッ シ ョ ン</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>本部長</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 防災体制の発令、変更の決定 対策本部の指揮・統括 重要な事項の意思決定 </td> </tr> <tr> <td>原子炉主任技術者</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 原子炉安全に関する保安の監督、本部長への助言 </td> </tr> <tr> <td>本部付</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 本部長及び各班長への助言・助勢 </td> </tr> <tr> <td>情報班</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 発電所対策本部の運営支援 社外関係機関への通報連絡 事故対応に必要な情報（本店対策本部の支援状況等）の収集 </td> </tr> <tr> <td>総務班</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 要員の呼集、参集状況の把握 食料・被服の調達 宿泊関係の手配 医療活動 所内の警備指示 一般入所者の避難指示 物的防護施設の運用指示 資材の調達及び輸送に関する一元管理 ほかの座に属さない事項 </td> </tr> <tr> <td>広報班</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 社外対応情報の収集 報道機関対応者への支援 </td> </tr> <tr> <td>技術班</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> プラントパラメータ等の把握とプラント状態の進展予測・評価 プラント状態の進展予測・評価結果の事故対応方針への反映 アクシデントマネジメントに関する検討 </td> </tr> <tr> <td>放射線管理班</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 発電所内外の放射線・放射能の状況把握、影響範囲の評価 被ばく管理、汚染拡大防止措置に関する重大事故対策要員への指示 影響範囲の評価に基づく対応方針に関する助言 放射線の影響に関する検討 </td> </tr> <tr> <td>保健班</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 事故の影響緩和・拡大防止に係る可搬型設備の準備と操作 可搬型設備の準備状況の把握 不具合設備の応急復旧の実施 火災発生時における消火活動 </td> </tr> <tr> <td>発電管理班</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 運転員からの重要パラメータ及び背設設備の状況入手 運転員からの支援要請に対する対応 運転員における重要パラメータ及び背設設備の状況把握と操作 運転員における中央制御室内監視・操作の実施、事故の影響緩和、拡大防止に係る運転操作 </td> </tr> </tbody> </table>	職 位	ミ ッ シ ョ ン	本部長	<ul style="list-style-type: none"> 防災体制の発令、変更の決定 対策本部の指揮・統括 重要な事項の意思決定 	原子炉主任技術者	<ul style="list-style-type: none"> 原子炉安全に関する保安の監督、本部長への助言 	本部付	<ul style="list-style-type: none"> 本部長及び各班長への助言・助勢 	情報班	<ul style="list-style-type: none"> 発電所対策本部の運営支援 社外関係機関への通報連絡 事故対応に必要な情報（本店対策本部の支援状況等）の収集 	総務班	<ul style="list-style-type: none"> 要員の呼集、参集状況の把握 食料・被服の調達 宿泊関係の手配 医療活動 所内の警備指示 一般入所者の避難指示 物的防護施設の運用指示 資材の調達及び輸送に関する一元管理 ほかの座に属さない事項 	広報班	<ul style="list-style-type: none"> 社外対応情報の収集 報道機関対応者への支援 	技術班	<ul style="list-style-type: none"> プラントパラメータ等の把握とプラント状態の進展予測・評価 プラント状態の進展予測・評価結果の事故対応方針への反映 アクシデントマネジメントに関する検討 	放射線管理班	<ul style="list-style-type: none"> 発電所内外の放射線・放射能の状況把握、影響範囲の評価 被ばく管理、汚染拡大防止措置に関する重大事故対策要員への指示 影響範囲の評価に基づく対応方針に関する助言 放射線の影響に関する検討 	保健班	<ul style="list-style-type: none"> 事故の影響緩和・拡大防止に係る可搬型設備の準備と操作 可搬型設備の準備状況の把握 不具合設備の応急復旧の実施 火災発生時における消火活動 	発電管理班	<ul style="list-style-type: none"> 運転員からの重要パラメータ及び背設設備の状況入手 運転員からの支援要請に対する対応 運転員における重要パラメータ及び背設設備の状況把握と操作 運転員における中央制御室内監視・操作の実施、事故の影響緩和、拡大防止に係る運転操作 	<p style="text-align: center;">表15-1 各職位のミッション</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">職 位</th> <th style="width: 85%;">ミ ッ シ ョ ン</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>本部長</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 発電所対策本部の設置・運営・統括及び活動に関する方針決定 発電所原子力防災体制の発令、解除の決定 </td> </tr> <tr> <td>発電用原子炉主任技術者</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 原子炉安全に関する保安の監督、本部長への助言 </td> </tr> <tr> <td>副本部長</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 本部長の補佐 </td> </tr> <tr> <td>委員※2</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 本部長への意見具申 各班長への助言又は協力 ※2：複数号炉において原子力災害が同時に発生した場合には、本部長が委員の中から号炉毎に責任者を指名する。各責任者は、各号炉の指揮をとる。 </td> </tr> <tr> <td>事務局</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 発電所対策本部の運営 関係箇所への通報、連絡及び報告 所内外の情報収集及び各班情報の収集 火災を伴う場合の消火活動 可搬型設備への給油 </td> </tr> <tr> <td>業務支援班</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 人・資機材の調達輸送 原子力事業所内の警備（入構規制含む） 原子力災害医療の実施 広報活動 避難誘導 </td> </tr> <tr> <td>技術班</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 事故状況の把握評価 燃料破損の可能性の評価、放出放射能量の予測 事故時影響緩和と操作の検討・評価 </td> </tr> <tr> <td>放管理班</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 発電所内外の放射線・放射能の状況把握 被ばく管理、汚染管理 放出放射能量の推定及び放射能影響範囲の推定 </td> </tr> <tr> <td>電気工作班 機械工作班 土木建築工作班</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 不具合設備の応急復旧の実施 屋外アクセスルートのカギ撤去 </td> </tr> <tr> <td>運転班</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 発電所設備の異常の状況及び機器動作状況の把握、事故拡大の可能性等の予測 事故拡大防止に必要な措置 給電指令箇所との連絡 事故の影響緩和・拡大防止に係る可搬型設備の準備と操作 可搬型設備の準備状況の把握 </td> </tr> </tbody> </table>	職 位	ミ ッ シ ョ ン	本部長	<ul style="list-style-type: none"> 発電所対策本部の設置・運営・統括及び活動に関する方針決定 発電所原子力防災体制の発令、解除の決定 	発電用原子炉主任技術者	<ul style="list-style-type: none"> 原子炉安全に関する保安の監督、本部長への助言 	副本部長	<ul style="list-style-type: none"> 本部長の補佐 	委員※2	<ul style="list-style-type: none"> 本部長への意見具申 各班長への助言又は協力 ※2：複数号炉において原子力災害が同時に発生した場合には、本部長が委員の中から号炉毎に責任者を指名する。各責任者は、各号炉の指揮をとる。 	事務局	<ul style="list-style-type: none"> 発電所対策本部の運営 関係箇所への通報、連絡及び報告 所内外の情報収集及び各班情報の収集 火災を伴う場合の消火活動 可搬型設備への給油 	業務支援班	<ul style="list-style-type: none"> 人・資機材の調達輸送 原子力事業所内の警備（入構規制含む） 原子力災害医療の実施 広報活動 避難誘導 	技術班	<ul style="list-style-type: none"> 事故状況の把握評価 燃料破損の可能性の評価、放出放射能量の予測 事故時影響緩和と操作の検討・評価 	放管理班	<ul style="list-style-type: none"> 発電所内外の放射線・放射能の状況把握 被ばく管理、汚染管理 放出放射能量の推定及び放射能影響範囲の推定 	電気工作班 機械工作班 土木建築工作班	<ul style="list-style-type: none"> 不具合設備の応急復旧の実施 屋外アクセスルートのカギ撤去 	運転班	<ul style="list-style-type: none"> 発電所設備の異常の状況及び機器動作状況の把握、事故拡大の可能性等の予測 事故拡大防止に必要な措置 給電指令箇所との連絡 事故の影響緩和・拡大防止に係る可搬型設備の準備と操作 可搬型設備の準備状況の把握 	
職 位	ミ ッ シ ョ ン																																														
本部長	<ul style="list-style-type: none"> 防災体制の発令、変更の決定 対策本部の指揮・統括 重要な事項の意思決定 																																														
原子炉主任技術者	<ul style="list-style-type: none"> 原子炉安全に関する保安の監督、本部長への助言 																																														
本部付	<ul style="list-style-type: none"> 本部長及び各班長への助言・助勢 																																														
情報班	<ul style="list-style-type: none"> 発電所対策本部の運営支援 社外関係機関への通報連絡 事故対応に必要な情報（本店対策本部の支援状況等）の収集 																																														
総務班	<ul style="list-style-type: none"> 要員の呼集、参集状況の把握 食料・被服の調達 宿泊関係の手配 医療活動 所内の警備指示 一般入所者の避難指示 物的防護施設の運用指示 資材の調達及び輸送に関する一元管理 ほかの座に属さない事項 																																														
広報班	<ul style="list-style-type: none"> 社外対応情報の収集 報道機関対応者への支援 																																														
技術班	<ul style="list-style-type: none"> プラントパラメータ等の把握とプラント状態の進展予測・評価 プラント状態の進展予測・評価結果の事故対応方針への反映 アクシデントマネジメントに関する検討 																																														
放射線管理班	<ul style="list-style-type: none"> 発電所内外の放射線・放射能の状況把握、影響範囲の評価 被ばく管理、汚染拡大防止措置に関する重大事故対策要員への指示 影響範囲の評価に基づく対応方針に関する助言 放射線の影響に関する検討 																																														
保健班	<ul style="list-style-type: none"> 事故の影響緩和・拡大防止に係る可搬型設備の準備と操作 可搬型設備の準備状況の把握 不具合設備の応急復旧の実施 火災発生時における消火活動 																																														
発電管理班	<ul style="list-style-type: none"> 運転員からの重要パラメータ及び背設設備の状況入手 運転員からの支援要請に対する対応 運転員における重要パラメータ及び背設設備の状況把握と操作 運転員における中央制御室内監視・操作の実施、事故の影響緩和、拡大防止に係る運転操作 																																														
職 位	ミ ッ シ ョ ン																																														
本部長	<ul style="list-style-type: none"> 発電所対策本部の設置・運営・統括及び活動に関する方針決定 発電所原子力防災体制の発令、解除の決定 																																														
発電用原子炉主任技術者	<ul style="list-style-type: none"> 原子炉安全に関する保安の監督、本部長への助言 																																														
副本部長	<ul style="list-style-type: none"> 本部長の補佐 																																														
委員※2	<ul style="list-style-type: none"> 本部長への意見具申 各班長への助言又は協力 ※2：複数号炉において原子力災害が同時に発生した場合には、本部長が委員の中から号炉毎に責任者を指名する。各責任者は、各号炉の指揮をとる。 																																														
事務局	<ul style="list-style-type: none"> 発電所対策本部の運営 関係箇所への通報、連絡及び報告 所内外の情報収集及び各班情報の収集 火災を伴う場合の消火活動 可搬型設備への給油 																																														
業務支援班	<ul style="list-style-type: none"> 人・資機材の調達輸送 原子力事業所内の警備（入構規制含む） 原子力災害医療の実施 広報活動 避難誘導 																																														
技術班	<ul style="list-style-type: none"> 事故状況の把握評価 燃料破損の可能性の評価、放出放射能量の予測 事故時影響緩和と操作の検討・評価 																																														
放管理班	<ul style="list-style-type: none"> 発電所内外の放射線・放射能の状況把握 被ばく管理、汚染管理 放出放射能量の推定及び放射能影響範囲の推定 																																														
電気工作班 機械工作班 土木建築工作班	<ul style="list-style-type: none"> 不具合設備の応急復旧の実施 屋外アクセスルートのカギ撤去 																																														
運転班	<ul style="list-style-type: none"> 発電所設備の異常の状況及び機器動作状況の把握、事故拡大の可能性等の予測 事故拡大防止に必要な措置 給電指令箇所との連絡 事故の影響緩和・拡大防止に係る可搬型設備の準備と操作 可搬型設備の準備状況の把握 																																														

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

2.1 可搬型設備等による対応

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																		
<p>大飯発電所3/4号炉</p>	<p>女川原子力発電所2号炉</p> <table border="1" data-bbox="667 175 1198 438"> <caption>第2表 大規模損壊対応に関する教育及び訓練</caption> <thead> <tr> <th>教育訓練名</th> <th>目的</th> <th>内容</th> <th>対象者</th> <th>頻度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>大規模損壊対応教育（訓練、状況判別）</td> <td>大規模損壊時に通常の稼働統合系統が機能しない場合及び残存する資源等を最大限に活用しなければならない事象を想定した対応の習得</td> <td>・残存する資源・設備が設定される場合の対応の概要解説 ・中央制御室の機能が喪失した場合の損壊対応の指揮、状況判別</td> <td>原子力保安管理者／原子力保安監督員</td> <td>1回以上/年</td> </tr> <tr> <td>大規模損壊対応訓練（演習訓練）</td> <td>大規模損壊に特化した多様な設備を柔軟に用いる対応の習得</td> <td>・注水用ヘッドを活用した取水 ・大容量送水ポンプ（タイプ1）の稼働モードの演習訓練 ・送水ポンプを水漏れ止め取水ポンプによる取水</td> <td>重大事故等対応要員</td> <td>1回以上/年</td> </tr> <tr> <td>大規模損壊対応訓練</td> <td>大規模損壊発生時に対応する組織とそれを支援する組織の实效性等の確認</td> <td>・非稼働時の活動 ・危機意識の醸成 ・本部の意思決定 ・通常の指揮命令系統が機能しない場合の対応（要員の組織の考慮）</td> <td>重大事故等に対応する要員</td> <td>1回以上/年</td> </tr> </tbody> </table> <p>※教育訓練に教育する教育員の訓練の名称、頻度は、今後の検討により変更となる可能性がある。</p>	教育訓練名	目的	内容	対象者	頻度	大規模損壊対応教育（訓練、状況判別）	大規模損壊時に通常の稼働統合系統が機能しない場合及び残存する資源等を最大限に活用しなければならない事象を想定した対応の習得	・残存する資源・設備が設定される場合の対応の概要解説 ・中央制御室の機能が喪失した場合の損壊対応の指揮、状況判別	原子力保安管理者／原子力保安監督員	1回以上/年	大規模損壊対応訓練（演習訓練）	大規模損壊に特化した多様な設備を柔軟に用いる対応の習得	・注水用ヘッドを活用した取水 ・大容量送水ポンプ（タイプ1）の稼働モードの演習訓練 ・送水ポンプを水漏れ止め取水ポンプによる取水	重大事故等対応要員	1回以上/年	大規模損壊対応訓練	大規模損壊発生時に対応する組織とそれを支援する組織の实效性等の確認	・非稼働時の活動 ・危機意識の醸成 ・本部の意思決定 ・通常の指揮命令系統が機能しない場合の対応（要員の組織の考慮）	重大事故等に対応する要員	1回以上/年	<p>泊発電所3号炉</p> <p>表15-2 大規模損壊対応に係る教育及び訓練一覧</p> <table border="1" data-bbox="1243 191 1780 1093"> <thead> <tr> <th>教育訓練名</th> <th>目的</th> <th>内容</th> <th>対象者</th> <th>頻度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>大規模損壊対応教育（訓練、状況判別）</td> <td>大規模損壊時に通常の稼働統合系統が機能しない場合及び残存する資源等を最大限に活用しなければならない事象を想定した対応の習得</td> <td>・残存する資源・設備が設定される場合の対応の概要解説 ・中央制御室の機能が喪失した場合の損壊対応の指揮、状況判別</td> <td>原子力保安管理者／原子力保安監督員</td> <td>1回以上/年</td> </tr> <tr> <td>大規模損壊対応訓練（演習訓練）</td> <td>大規模損壊に特化した多様な設備を柔軟に用いる対応の習得</td> <td>・注水用ヘッドを活用した取水 ・大容量送水ポンプ（タイプ1）の稼働モードの演習訓練 ・送水ポンプを水漏れ止め取水ポンプによる取水</td> <td>重大事故等対応要員</td> <td>1回以上/年</td> </tr> <tr> <td>大規模損壊対応訓練</td> <td>大規模損壊発生時に対応する組織とそれを支援する組織の实效性等の確認</td> <td>・非稼働時の活動 ・危機意識の醸成 ・本部の意思決定 ・通常の指揮命令系統が機能しない場合の対応（要員の組織の考慮）</td> <td>重大事故等に対応する要員</td> <td>1回以上/年</td> </tr> </tbody> </table>	教育訓練名	目的	内容	対象者	頻度	大規模損壊対応教育（訓練、状況判別）	大規模損壊時に通常の稼働統合系統が機能しない場合及び残存する資源等を最大限に活用しなければならない事象を想定した対応の習得	・残存する資源・設備が設定される場合の対応の概要解説 ・中央制御室の機能が喪失した場合の損壊対応の指揮、状況判別	原子力保安管理者／原子力保安監督員	1回以上/年	大規模損壊対応訓練（演習訓練）	大規模損壊に特化した多様な設備を柔軟に用いる対応の習得	・注水用ヘッドを活用した取水 ・大容量送水ポンプ（タイプ1）の稼働モードの演習訓練 ・送水ポンプを水漏れ止め取水ポンプによる取水	重大事故等対応要員	1回以上/年	大規模損壊対応訓練	大規模損壊発生時に対応する組織とそれを支援する組織の实效性等の確認	・非稼働時の活動 ・危機意識の醸成 ・本部の意思決定 ・通常の指揮命令系統が機能しない場合の対応（要員の組織の考慮）	重大事故等に対応する要員	1回以上/年	<p>相違理由</p>																										
教育訓練名	目的	内容	対象者	頻度																																																																	
大規模損壊対応教育（訓練、状況判別）	大規模損壊時に通常の稼働統合系統が機能しない場合及び残存する資源等を最大限に活用しなければならない事象を想定した対応の習得	・残存する資源・設備が設定される場合の対応の概要解説 ・中央制御室の機能が喪失した場合の損壊対応の指揮、状況判別	原子力保安管理者／原子力保安監督員	1回以上/年																																																																	
大規模損壊対応訓練（演習訓練）	大規模損壊に特化した多様な設備を柔軟に用いる対応の習得	・注水用ヘッドを活用した取水 ・大容量送水ポンプ（タイプ1）の稼働モードの演習訓練 ・送水ポンプを水漏れ止め取水ポンプによる取水	重大事故等対応要員	1回以上/年																																																																	
大規模損壊対応訓練	大規模損壊発生時に対応する組織とそれを支援する組織の实效性等の確認	・非稼働時の活動 ・危機意識の醸成 ・本部の意思決定 ・通常の指揮命令系統が機能しない場合の対応（要員の組織の考慮）	重大事故等に対応する要員	1回以上/年																																																																	
教育訓練名	目的	内容	対象者	頻度																																																																	
大規模損壊対応教育（訓練、状況判別）	大規模損壊時に通常の稼働統合系統が機能しない場合及び残存する資源等を最大限に活用しなければならない事象を想定した対応の習得	・残存する資源・設備が設定される場合の対応の概要解説 ・中央制御室の機能が喪失した場合の損壊対応の指揮、状況判別	原子力保安管理者／原子力保安監督員	1回以上/年																																																																	
大規模損壊対応訓練（演習訓練）	大規模損壊に特化した多様な設備を柔軟に用いる対応の習得	・注水用ヘッドを活用した取水 ・大容量送水ポンプ（タイプ1）の稼働モードの演習訓練 ・送水ポンプを水漏れ止め取水ポンプによる取水	重大事故等対応要員	1回以上/年																																																																	
大規模損壊対応訓練	大規模損壊発生時に対応する組織とそれを支援する組織の实效性等の確認	・非稼働時の活動 ・危機意識の醸成 ・本部の意思決定 ・通常の指揮命令系統が機能しない場合の対応（要員の組織の考慮）	重大事故等に対応する要員	1回以上/年																																																																	
<p>第3表 保修班に対する知識及び技能の流動性</p> <table border="1" data-bbox="672 550 1176 798"> <thead> <tr> <th rowspan="2">常時確保する要員数 （重大事故等対応要員）</th> <th colspan="3">対応可能とする現場作業</th> </tr> <tr> <th>注水・除熱</th> <th>電源確保・給油</th> <th>がれき撤去・放射物取扱撤去</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・注水に係る要員：9名 ・除熱に係る要員：【6名】※</td> <td>◎</td> <td>-</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>・電源確保に係る要員：4名</td> <td>-</td> <td>◎</td> <td>○【確認】</td> </tr> <tr> <td>・がれき撤去に係る要員：2名</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>◎</td> </tr> <tr> <td>・給油に係る要員：2名</td> <td>-</td> <td>◎</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table> <p>【凡例】◎：主たる業務、○：その他担当する業務 ○【確認】：アクセスシート確認要否の確認、-：対象外 ※ 要員数は、注水に係る要員の再掲。注水作業の力量を有している者は、除熱に係る要員の力量を付与したうえで常時配置している。</p>	常時確保する要員数 （重大事故等対応要員）	対応可能とする現場作業			注水・除熱	電源確保・給油	がれき撤去・放射物取扱撤去	・注水に係る要員：9名 ・除熱に係る要員：【6名】※	◎	-	○	・電源確保に係る要員：4名	-	◎	○【確認】	・がれき撤去に係る要員：2名	-	-	◎	・給油に係る要員：2名	-	◎	-	<p>第3表 保修班に対する知識及び技能の流動性</p> <table border="1" data-bbox="672 550 1176 798"> <thead> <tr> <th rowspan="2">常時確保する要員数 （重大事故等対応要員）</th> <th colspan="3">対応可能とする現場作業</th> </tr> <tr> <th>注水・除熱</th> <th>電源確保・給油</th> <th>がれき撤去・放射物取扱撤去</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・注水に係る要員：9名 ・除熱に係る要員：【6名】※</td> <td>◎</td> <td>-</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>・電源確保に係る要員：4名</td> <td>-</td> <td>◎</td> <td>○【確認】</td> </tr> <tr> <td>・がれき撤去に係る要員：2名</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>◎</td> </tr> <tr> <td>・給油に係る要員：2名</td> <td>-</td> <td>◎</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table> <p>【凡例】◎：主たる業務、○：その他担当する業務 ○【確認】：アクセスシート確認要否の確認、-：対象外 ※ 要員数は、注水に係る要員の再掲。注水作業の力量を有している者は、除熱に係る要員の力量を付与したうえで常時配置している。</p>	常時確保する要員数 （重大事故等対応要員）	対応可能とする現場作業			注水・除熱	電源確保・給油	がれき撤去・放射物取扱撤去	・注水に係る要員：9名 ・除熱に係る要員：【6名】※	◎	-	○	・電源確保に係る要員：4名	-	◎	○【確認】	・がれき撤去に係る要員：2名	-	-	◎	・給油に係る要員：2名	-	◎	-	<p>表15-2 大規模損壊対応に係る教育及び訓練一覧</p> <table border="1" data-bbox="1243 191 1780 1093"> <thead> <tr> <th>教育訓練名</th> <th>目的</th> <th>内容</th> <th>対象者</th> <th>頻度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>大規模損壊対応教育（訓練、状況判別）</td> <td>大規模損壊時に通常の稼働統合系統が機能しない場合及び残存する資源等を最大限に活用しなければならない事象を想定した対応の習得</td> <td>・残存する資源・設備が設定される場合の対応の概要解説 ・中央制御室の機能が喪失した場合の損壊対応の指揮、状況判別</td> <td>原子力保安管理者／原子力保安監督員</td> <td>1回以上/年</td> </tr> <tr> <td>大規模損壊対応訓練（演習訓練）</td> <td>大規模損壊に特化した多様な設備を柔軟に用いる対応の習得</td> <td>・注水用ヘッドを活用した取水 ・大容量送水ポンプ（タイプ1）の稼働モードの演習訓練 ・送水ポンプを水漏れ止め取水ポンプによる取水</td> <td>重大事故等対応要員</td> <td>1回以上/年</td> </tr> <tr> <td>大規模損壊対応訓練</td> <td>大規模損壊発生時に対応する組織とそれを支援する組織の实效性等の確認</td> <td>・非稼働時の活動 ・危機意識の醸成 ・本部の意思決定 ・通常の指揮命令系統が機能しない場合の対応（要員の組織の考慮）</td> <td>重大事故等に対応する要員</td> <td>1回以上/年</td> </tr> </tbody> </table>	教育訓練名	目的	内容	対象者	頻度	大規模損壊対応教育（訓練、状況判別）	大規模損壊時に通常の稼働統合系統が機能しない場合及び残存する資源等を最大限に活用しなければならない事象を想定した対応の習得	・残存する資源・設備が設定される場合の対応の概要解説 ・中央制御室の機能が喪失した場合の損壊対応の指揮、状況判別	原子力保安管理者／原子力保安監督員	1回以上/年	大規模損壊対応訓練（演習訓練）	大規模損壊に特化した多様な設備を柔軟に用いる対応の習得	・注水用ヘッドを活用した取水 ・大容量送水ポンプ（タイプ1）の稼働モードの演習訓練 ・送水ポンプを水漏れ止め取水ポンプによる取水	重大事故等対応要員	1回以上/年	大規模損壊対応訓練	大規模損壊発生時に対応する組織とそれを支援する組織の实效性等の確認	・非稼働時の活動 ・危機意識の醸成 ・本部の意思決定 ・通常の指揮命令系統が機能しない場合の対応（要員の組織の考慮）	重大事故等に対応する要員	1回以上/年	<p>相違理由</p>
常時確保する要員数 （重大事故等対応要員）		対応可能とする現場作業																																																																			
	注水・除熱	電源確保・給油	がれき撤去・放射物取扱撤去																																																																		
・注水に係る要員：9名 ・除熱に係る要員：【6名】※	◎	-	○																																																																		
・電源確保に係る要員：4名	-	◎	○【確認】																																																																		
・がれき撤去に係る要員：2名	-	-	◎																																																																		
・給油に係る要員：2名	-	◎	-																																																																		
常時確保する要員数 （重大事故等対応要員）	対応可能とする現場作業																																																																				
	注水・除熱	電源確保・給油	がれき撤去・放射物取扱撤去																																																																		
・注水に係る要員：9名 ・除熱に係る要員：【6名】※	◎	-	○																																																																		
・電源確保に係る要員：4名	-	◎	○【確認】																																																																		
・がれき撤去に係る要員：2名	-	-	◎																																																																		
・給油に係る要員：2名	-	◎	-																																																																		
教育訓練名	目的	内容	対象者	頻度																																																																	
大規模損壊対応教育（訓練、状況判別）	大規模損壊時に通常の稼働統合系統が機能しない場合及び残存する資源等を最大限に活用しなければならない事象を想定した対応の習得	・残存する資源・設備が設定される場合の対応の概要解説 ・中央制御室の機能が喪失した場合の損壊対応の指揮、状況判別	原子力保安管理者／原子力保安監督員	1回以上/年																																																																	
大規模損壊対応訓練（演習訓練）	大規模損壊に特化した多様な設備を柔軟に用いる対応の習得	・注水用ヘッドを活用した取水 ・大容量送水ポンプ（タイプ1）の稼働モードの演習訓練 ・送水ポンプを水漏れ止め取水ポンプによる取水	重大事故等対応要員	1回以上/年																																																																	
大規模損壊対応訓練	大規模損壊発生時に対応する組織とそれを支援する組織の实效性等の確認	・非稼働時の活動 ・危機意識の醸成 ・本部の意思決定 ・通常の指揮命令系統が機能しない場合の対応（要員の組織の考慮）	重大事故等に対応する要員	1回以上/年																																																																	
<p>第4表 協力会社社員の活動範囲（初動）</p> <table border="1" data-bbox="672 1013 1176 1141"> <thead> <tr> <th></th> <th>消火活動</th> <th>注水・除熱</th> <th>がれき撤去</th> <th>燃料補給</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>重大事故等対応要員</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>初期消火要員（消防車隊）</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table> <p>※今後の訓練等の結果により活動範囲を見直す可能性がある。</p>		消火活動	注水・除熱	がれき撤去	燃料補給	重大事故等対応要員	-	○	○	○	初期消火要員（消防車隊）	○	-	-	-	<p>第4表 協力会社社員の活動範囲（初動）</p> <table border="1" data-bbox="672 1013 1176 1141"> <thead> <tr> <th></th> <th>消火活動</th> <th>注水・除熱</th> <th>がれき撤去</th> <th>燃料補給</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>重大事故等対応要員</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>初期消火要員（消防車隊）</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table> <p>※今後の訓練等の結果により活動範囲を見直す可能性がある。</p>		消火活動	注水・除熱	がれき撤去	燃料補給	重大事故等対応要員	-	○	○	○	初期消火要員（消防車隊）	○	-	-	-	<p>表15-2 大規模損壊対応に係る教育及び訓練一覧</p> <table border="1" data-bbox="1243 191 1780 1093"> <thead> <tr> <th>教育訓練名</th> <th>目的</th> <th>内容</th> <th>対象者</th> <th>頻度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>大規模損壊対応教育（訓練、状況判別）</td> <td>大規模損壊時に通常の稼働統合系統が機能しない場合及び残存する資源等を最大限に活用しなければならない事象を想定した対応の習得</td> <td>・残存する資源・設備が設定される場合の対応の概要解説 ・中央制御室の機能が喪失した場合の損壊対応の指揮、状況判別</td> <td>原子力保安管理者／原子力保安監督員</td> <td>1回以上/年</td> </tr> <tr> <td>大規模損壊対応訓練（演習訓練）</td> <td>大規模損壊に特化した多様な設備を柔軟に用いる対応の習得</td> <td>・注水用ヘッドを活用した取水 ・大容量送水ポンプ（タイプ1）の稼働モードの演習訓練 ・送水ポンプを水漏れ止め取水ポンプによる取水</td> <td>重大事故等対応要員</td> <td>1回以上/年</td> </tr> <tr> <td>大規模損壊対応訓練</td> <td>大規模損壊発生時に対応する組織とそれを支援する組織の实效性等の確認</td> <td>・非稼働時の活動 ・危機意識の醸成 ・本部の意思決定 ・通常の指揮命令系統が機能しない場合の対応（要員の組織の考慮）</td> <td>重大事故等に対応する要員</td> <td>1回以上/年</td> </tr> </tbody> </table>	教育訓練名	目的	内容	対象者	頻度	大規模損壊対応教育（訓練、状況判別）	大規模損壊時に通常の稼働統合系統が機能しない場合及び残存する資源等を最大限に活用しなければならない事象を想定した対応の習得	・残存する資源・設備が設定される場合の対応の概要解説 ・中央制御室の機能が喪失した場合の損壊対応の指揮、状況判別	原子力保安管理者／原子力保安監督員	1回以上/年	大規模損壊対応訓練（演習訓練）	大規模損壊に特化した多様な設備を柔軟に用いる対応の習得	・注水用ヘッドを活用した取水 ・大容量送水ポンプ（タイプ1）の稼働モードの演習訓練 ・送水ポンプを水漏れ止め取水ポンプによる取水	重大事故等対応要員	1回以上/年	大規模損壊対応訓練	大規模損壊発生時に対応する組織とそれを支援する組織の实效性等の確認	・非稼働時の活動 ・危機意識の醸成 ・本部の意思決定 ・通常の指揮命令系統が機能しない場合の対応（要員の組織の考慮）	重大事故等に対応する要員	1回以上/年	<p>相違理由</p>																
	消火活動	注水・除熱	がれき撤去	燃料補給																																																																	
重大事故等対応要員	-	○	○	○																																																																	
初期消火要員（消防車隊）	○	-	-	-																																																																	
	消火活動	注水・除熱	がれき撤去	燃料補給																																																																	
重大事故等対応要員	-	○	○	○																																																																	
初期消火要員（消防車隊）	○	-	-	-																																																																	
教育訓練名	目的	内容	対象者	頻度																																																																	
大規模損壊対応教育（訓練、状況判別）	大規模損壊時に通常の稼働統合系統が機能しない場合及び残存する資源等を最大限に活用しなければならない事象を想定した対応の習得	・残存する資源・設備が設定される場合の対応の概要解説 ・中央制御室の機能が喪失した場合の損壊対応の指揮、状況判別	原子力保安管理者／原子力保安監督員	1回以上/年																																																																	
大規模損壊対応訓練（演習訓練）	大規模損壊に特化した多様な設備を柔軟に用いる対応の習得	・注水用ヘッドを活用した取水 ・大容量送水ポンプ（タイプ1）の稼働モードの演習訓練 ・送水ポンプを水漏れ止め取水ポンプによる取水	重大事故等対応要員	1回以上/年																																																																	
大規模損壊対応訓練	大規模損壊発生時に対応する組織とそれを支援する組織の实效性等の確認	・非稼働時の活動 ・危機意識の醸成 ・本部の意思決定 ・通常の指揮命令系統が機能しない場合の対応（要員の組織の考慮）	重大事故等に対応する要員	1回以上/年																																																																	

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

2.1 可搬型設備等による対応

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																								
	別紙	別紙																									
	技術的能力1.0と技術的能力2.1の体制整備に関する考え方の相違点について	技術的能力1.0と技術的能力2.1の体制整備に関する考え方の相違点について																									
	<table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>技術的能力1.0</th> <th>技術的能力2.1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>体制の整備 (要員の配置)</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 重大事故等対策を実施する実施組織及びその支援組織の役割分担及び責任者を定め、効果的な重大事故等対策を実施し得る体制を整備 実施組織について、必要な役割の分担を行い重大事故等対策が円滑に実施できる体制を整備 発電所対策本部における指揮命令系統の明確化 </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 重大事故等に対応するための体制を基本とし、更に以下の事項を考慮することで体制の充実を図る 夜間及び休日（平日の勤務時間帯以外）において、大規模な自然災害が発生した場合には、要員参集までに時間を要する可能性があるが、発電所構内に常時確保する重大事故等対応要員により、参集要員が参集するまでの当面の間は事故対応が行えるよう体制を整備 中央制御室（運転員を含む。）が機能しない場合においても、重大事故等に対処する要員にて対応が可能な体制を整備 </td> </tr> <tr> <td>教育及び訓練</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 運転員、実施組織（運転員を除く。）、支援組織に対して必要な教育及び訓練を計画的に実施 年1回の実施頻度では力量維持が困難と判断される教育及び訓練については、年2回以上に見直す 要員の各役割に応じて、重大事故等時のプラントの挙動に関する知識の向上を図るとともに、定期的に知識ベースの理解向上に資する教育の実施 悪条件（高線量下、夜間、悪天候（降雨、降雪、強風等）、照明機能低下等）を想定した要請訓練の実施 </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 重大事故等対策にて実施する教育及び訓練に以下の事項を加えることで教育及び訓練の充実を図る 大規模損壊時に対応する手順及び資機材の取扱い等を習得するための教育及び訓練を実施 運転員及び重大事故等対応要員が流動性を持って柔軟に対応できるよう教育及び訓練を計画的に実施 原子力防災管理者及び副原子力防災管理者に対し、通常の指揮命令系統が機能しない場合及び残存する資源等を最大限に活用しなければならない事態を想定した個別の教育及び訓練の実施 大規模損壊発生時に対応する組織とそれを支援する組織の実効性等を確認するための定期的な総合訓練を継続的に実施 </td> </tr> <tr> <td>手順</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 技術的能力1.1～1.19で整備した手順等により、炉心損傷防止、原子炉格納容器破損防止等に対応 </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 技術的能力1.2～1.14で整備した手順に加え、大規模損壊への対応で整備した手順等により炉心損傷抑制、原子炉格納容器破損緩和等に対応 大規模損壊発生時の本店の支援体制は、技術的能力1.0と同様 </td> </tr> <tr> <td>本店対策本部体制</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 発電所への本店の支援体制として本店対策本部の設置 </td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	項目	技術的能力1.0	技術的能力2.1	体制の整備 (要員の配置)	<ul style="list-style-type: none"> 重大事故等対策を実施する実施組織及びその支援組織の役割分担及び責任者を定め、効果的な重大事故等対策を実施し得る体制を整備 実施組織について、必要な役割の分担を行い重大事故等対策が円滑に実施できる体制を整備 発電所対策本部における指揮命令系統の明確化 	<ul style="list-style-type: none"> 重大事故等に対応するための体制を基本とし、更に以下の事項を考慮することで体制の充実を図る 夜間及び休日（平日の勤務時間帯以外）において、大規模な自然災害が発生した場合には、要員参集までに時間を要する可能性があるが、発電所構内に常時確保する重大事故等対応要員により、参集要員が参集するまでの当面の間は事故対応が行えるよう体制を整備 中央制御室（運転員を含む。）が機能しない場合においても、重大事故等に対処する要員にて対応が可能な体制を整備 	教育及び訓練	<ul style="list-style-type: none"> 運転員、実施組織（運転員を除く。）、支援組織に対して必要な教育及び訓練を計画的に実施 年1回の実施頻度では力量維持が困難と判断される教育及び訓練については、年2回以上に見直す 要員の各役割に応じて、重大事故等時のプラントの挙動に関する知識の向上を図るとともに、定期的に知識ベースの理解向上に資する教育の実施 悪条件（高線量下、夜間、悪天候（降雨、降雪、強風等）、照明機能低下等）を想定した要請訓練の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 重大事故等対策にて実施する教育及び訓練に以下の事項を加えることで教育及び訓練の充実を図る 大規模損壊時に対応する手順及び資機材の取扱い等を習得するための教育及び訓練を実施 運転員及び重大事故等対応要員が流動性を持って柔軟に対応できるよう教育及び訓練を計画的に実施 原子力防災管理者及び副原子力防災管理者に対し、通常の指揮命令系統が機能しない場合及び残存する資源等を最大限に活用しなければならない事態を想定した個別の教育及び訓練の実施 大規模損壊発生時に対応する組織とそれを支援する組織の実効性等を確認するための定期的な総合訓練を継続的に実施 	手順	<ul style="list-style-type: none"> 技術的能力1.1～1.19で整備した手順等により、炉心損傷防止、原子炉格納容器破損防止等に対応 	<ul style="list-style-type: none"> 技術的能力1.2～1.14で整備した手順に加え、大規模損壊への対応で整備した手順等により炉心損傷抑制、原子炉格納容器破損緩和等に対応 大規模損壊発生時の本店の支援体制は、技術的能力1.0と同様 	本店対策本部体制	<ul style="list-style-type: none"> 発電所への本店の支援体制として本店対策本部の設置 		<table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>技術的能力1.0</th> <th>技術的能力2.1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>体制の整備</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 重大事故等対策を実施する実施組織及びその支援組織の役割分担及び責任者を定め、効果的な重大事故等対策を実施できる体制を整備 実施組織について、必要な役割分担を行い重大事故等対策が円滑に実施できる体制を整備 発電所対策本部における指揮命令系統の明確化 </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 重大事故等に対応するための体制を基本とし、さらに以下の事項等を考慮することで体制の充実を図る 夜間及び休日（平日の勤務時間帯以外）においては、全体指揮者（副原子力防災管理者）がその職務を遂行できない場合は、発電所長（当直）が指揮を執ることができる体制の整備 夜間及び休日（平日の勤務時間帯以外）において、大規模な自然災害が発生した場合には、要員参集までに時間を要する可能性があるが、発電所構内に常時確保する発電所対策要員により、参集要員が参集するまでの当面の間は、事故対応が行えるよう体制を整備 中央制御室（運転員を含む。）が機能しない場合においても、重大事故等に対処する要員にて対応が可能な体制を整備 </td> </tr> <tr> <td>教育及び訓練</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 重大事故等に対処する要員に対し必要な教育及び訓練を年1回以上実施 複数の教育及び訓練項目において手順の類似がない項目については年2回以上実施 重大事故等に対処する要員の役割に応じて、重大事故等よりも厳しいプラント状態となった場合でも対応できるような重大事故等の内容、基本的な対処方法等、知識ベースの理解向上に資する教育の定期的な実施 重大事故等時の事象進展により高線量下になる場所を想定し放射線防護具を使用した事故対応訓練、夜間、積雪、寒冷等の悪天候下等を想定した事故時対応訓練等の実施 </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 重大事故等対策にて実施する訓練及び教育を基本とし、さらに以下の事項等を考慮することで教育及び訓練の充実を図る 大規模損壊発生時に対応する手順及び事故対応用の資機材の取扱い等を習得するための教育及び訓練の実施 運転員及び発電所対策要員が流動性を持って柔軟に対応できるよう教育及び訓練を計画的に実施 原子力防災管理者及び副原子力防災管理者に対し、通常の指揮命令系統が機能しない場合及び残存する資源等を最大限に活用しなければならない事態を想定した個別の教育及び訓練の実施 大規模損壊発生時に対応する組織とそれを支援する組織の実効性等を確認するための定期的な総合訓練を継続的に実施 </td> </tr> </tbody> </table>	項目	技術的能力1.0	技術的能力2.1	体制の整備	<ul style="list-style-type: none"> 重大事故等対策を実施する実施組織及びその支援組織の役割分担及び責任者を定め、効果的な重大事故等対策を実施できる体制を整備 実施組織について、必要な役割分担を行い重大事故等対策が円滑に実施できる体制を整備 発電所対策本部における指揮命令系統の明確化 	<ul style="list-style-type: none"> 重大事故等に対応するための体制を基本とし、さらに以下の事項等を考慮することで体制の充実を図る 夜間及び休日（平日の勤務時間帯以外）においては、全体指揮者（副原子力防災管理者）がその職務を遂行できない場合は、発電所長（当直）が指揮を執ることができる体制の整備 夜間及び休日（平日の勤務時間帯以外）において、大規模な自然災害が発生した場合には、要員参集までに時間を要する可能性があるが、発電所構内に常時確保する発電所対策要員により、参集要員が参集するまでの当面の間は、事故対応が行えるよう体制を整備 中央制御室（運転員を含む。）が機能しない場合においても、重大事故等に対処する要員にて対応が可能な体制を整備 	教育及び訓練	<ul style="list-style-type: none"> 重大事故等に対処する要員に対し必要な教育及び訓練を年1回以上実施 複数の教育及び訓練項目において手順の類似がない項目については年2回以上実施 重大事故等に対処する要員の役割に応じて、重大事故等よりも厳しいプラント状態となった場合でも対応できるような重大事故等の内容、基本的な対処方法等、知識ベースの理解向上に資する教育の定期的な実施 重大事故等時の事象進展により高線量下になる場所を想定し放射線防護具を使用した事故対応訓練、夜間、積雪、寒冷等の悪天候下等を想定した事故時対応訓練等の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 重大事故等対策にて実施する訓練及び教育を基本とし、さらに以下の事項等を考慮することで教育及び訓練の充実を図る 大規模損壊発生時に対応する手順及び事故対応用の資機材の取扱い等を習得するための教育及び訓練の実施 運転員及び発電所対策要員が流動性を持って柔軟に対応できるよう教育及び訓練を計画的に実施 原子力防災管理者及び副原子力防災管理者に対し、通常の指揮命令系統が機能しない場合及び残存する資源等を最大限に活用しなければならない事態を想定した個別の教育及び訓練の実施 大規模損壊発生時に対応する組織とそれを支援する組織の実効性等を確認するための定期的な総合訓練を継続的に実施 	
項目	技術的能力1.0	技術的能力2.1																									
体制の整備 (要員の配置)	<ul style="list-style-type: none"> 重大事故等対策を実施する実施組織及びその支援組織の役割分担及び責任者を定め、効果的な重大事故等対策を実施し得る体制を整備 実施組織について、必要な役割の分担を行い重大事故等対策が円滑に実施できる体制を整備 発電所対策本部における指揮命令系統の明確化 	<ul style="list-style-type: none"> 重大事故等に対応するための体制を基本とし、更に以下の事項を考慮することで体制の充実を図る 夜間及び休日（平日の勤務時間帯以外）において、大規模な自然災害が発生した場合には、要員参集までに時間を要する可能性があるが、発電所構内に常時確保する重大事故等対応要員により、参集要員が参集するまでの当面の間は事故対応が行えるよう体制を整備 中央制御室（運転員を含む。）が機能しない場合においても、重大事故等に対処する要員にて対応が可能な体制を整備 																									
教育及び訓練	<ul style="list-style-type: none"> 運転員、実施組織（運転員を除く。）、支援組織に対して必要な教育及び訓練を計画的に実施 年1回の実施頻度では力量維持が困難と判断される教育及び訓練については、年2回以上に見直す 要員の各役割に応じて、重大事故等時のプラントの挙動に関する知識の向上を図るとともに、定期的に知識ベースの理解向上に資する教育の実施 悪条件（高線量下、夜間、悪天候（降雨、降雪、強風等）、照明機能低下等）を想定した要請訓練の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 重大事故等対策にて実施する教育及び訓練に以下の事項を加えることで教育及び訓練の充実を図る 大規模損壊時に対応する手順及び資機材の取扱い等を習得するための教育及び訓練を実施 運転員及び重大事故等対応要員が流動性を持って柔軟に対応できるよう教育及び訓練を計画的に実施 原子力防災管理者及び副原子力防災管理者に対し、通常の指揮命令系統が機能しない場合及び残存する資源等を最大限に活用しなければならない事態を想定した個別の教育及び訓練の実施 大規模損壊発生時に対応する組織とそれを支援する組織の実効性等を確認するための定期的な総合訓練を継続的に実施 																									
手順	<ul style="list-style-type: none"> 技術的能力1.1～1.19で整備した手順等により、炉心損傷防止、原子炉格納容器破損防止等に対応 	<ul style="list-style-type: none"> 技術的能力1.2～1.14で整備した手順に加え、大規模損壊への対応で整備した手順等により炉心損傷抑制、原子炉格納容器破損緩和等に対応 大規模損壊発生時の本店の支援体制は、技術的能力1.0と同様 																									
本店対策本部体制	<ul style="list-style-type: none"> 発電所への本店の支援体制として本店対策本部の設置 																										
項目	技術的能力1.0	技術的能力2.1																									
体制の整備	<ul style="list-style-type: none"> 重大事故等対策を実施する実施組織及びその支援組織の役割分担及び責任者を定め、効果的な重大事故等対策を実施できる体制を整備 実施組織について、必要な役割分担を行い重大事故等対策が円滑に実施できる体制を整備 発電所対策本部における指揮命令系統の明確化 	<ul style="list-style-type: none"> 重大事故等に対応するための体制を基本とし、さらに以下の事項等を考慮することで体制の充実を図る 夜間及び休日（平日の勤務時間帯以外）においては、全体指揮者（副原子力防災管理者）がその職務を遂行できない場合は、発電所長（当直）が指揮を執ることができる体制の整備 夜間及び休日（平日の勤務時間帯以外）において、大規模な自然災害が発生した場合には、要員参集までに時間を要する可能性があるが、発電所構内に常時確保する発電所対策要員により、参集要員が参集するまでの当面の間は、事故対応が行えるよう体制を整備 中央制御室（運転員を含む。）が機能しない場合においても、重大事故等に対処する要員にて対応が可能な体制を整備 																									
教育及び訓練	<ul style="list-style-type: none"> 重大事故等に対処する要員に対し必要な教育及び訓練を年1回以上実施 複数の教育及び訓練項目において手順の類似がない項目については年2回以上実施 重大事故等に対処する要員の役割に応じて、重大事故等よりも厳しいプラント状態となった場合でも対応できるような重大事故等の内容、基本的な対処方法等、知識ベースの理解向上に資する教育の定期的な実施 重大事故等時の事象進展により高線量下になる場所を想定し放射線防護具を使用した事故対応訓練、夜間、積雪、寒冷等の悪天候下等を想定した事故時対応訓練等の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 重大事故等対策にて実施する訓練及び教育を基本とし、さらに以下の事項等を考慮することで教育及び訓練の充実を図る 大規模損壊発生時に対応する手順及び事故対応用の資機材の取扱い等を習得するための教育及び訓練の実施 運転員及び発電所対策要員が流動性を持って柔軟に対応できるよう教育及び訓練を計画的に実施 原子力防災管理者及び副原子力防災管理者に対し、通常の指揮命令系統が機能しない場合及び残存する資源等を最大限に活用しなければならない事態を想定した個別の教育及び訓練の実施 大規模損壊発生時に対応する組織とそれを支援する組織の実効性等を確認するための定期的な総合訓練を継続的に実施 																									

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

2.1 可搬型設備等による対応

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																													
【比較のため再掲】																																																
<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>技術的能力1.0</th> <th>技術的能力2.1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>体制の整備 (要員の配置)</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 重大事故等対策を実施する実施組織及びその支援組織の役割分担及び責任者を定め、効果的な重大事故等対策を実施し得る体制を整備 実施組織について、必要な役割の分担を行い重大事故等対策が円滑に実施できる体制を整備 発電所対策本部における指揮命令系統の明確化 </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 重大事故等に対応するための体制を基本とし、更に以下の事項を考慮することで体制の充実を図る 夜間及び休日(平日の勤務時間帯以外)において、大規模な自然災害が発生した場合には、要員参集までに時間を要する可能性があるが、発電所構内に常時確保する重大事故等対応要員により、参集要員が参集するまでの当面の間は事故対応が行えるよう体制を整備 中央制御室(運転員を含む)が機能しない場合においても、重大事故等に対処する要員にて対応が可能な体制を整備 </td> </tr> <tr> <td>教育及び訓練</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 運転員、実施組織(運転員を除く)、支援組織に対して必要な教育及び訓練を計画的に実施 年1回の実施頻度では力量維持が困難と判断される教育及び訓練については、年2回以上に見直す 要員の各役割に応じた、重大事故等時のプラントの挙動に関する知識の向上を図るとともに、定期的に知識ベースの理解向上に資する教育の実施 悪条件(高線量下、夜間、悪天候(降雨、降雪、強風等)、照明機能低下等)を想定した要素訓練の実施 </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 重大事故等対策にて実施する教育及び訓練に以下の事項を加えることで教育及び訓練の充実を図る 大規模損壊時に対応する手順及び資機材の取扱い等を習得するための教育及び訓練を実施 運転員及び重大事故等対応要員が流動性を持って柔軟に対応できるよう教育及び訓練を計画的に実施 原子力防災管理者及び副原子力防災管理者に対し、通常の指揮命令系統が機能しない場合及び残存する資源等を最大限に活用しなければならない事態を想定した個別の教育及び訓練の実施 大規模損壊発生時に対応する組織とそれを支援する組織の実効性等を確認するための定期的な総合訓練を継続的に実施 </td> </tr> <tr> <td>手順</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 技術的能力1.1~1.19で整備した手順等により、炉心損傷防止、原子炉格納容器破損防止等に対応 </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 技術的能力1.2~1.14で整備した手順に加え、大規模損壊への対応で整備した手順等により炉心損傷緩和、原子炉格納容器破損緩和等に対応 </td> </tr> <tr> <td>本店対策本部体制</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 発電所への本店の支援体制として本店対策本部の設置 </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 大規模損壊発生時の本店の支援体制は、技術的能力1.0と同様 </td> </tr> </tbody> </table>	項目	技術的能力1.0	技術的能力2.1	体制の整備 (要員の配置)	<ul style="list-style-type: none"> 重大事故等対策を実施する実施組織及びその支援組織の役割分担及び責任者を定め、効果的な重大事故等対策を実施し得る体制を整備 実施組織について、必要な役割の分担を行い重大事故等対策が円滑に実施できる体制を整備 発電所対策本部における指揮命令系統の明確化 	<ul style="list-style-type: none"> 重大事故等に対応するための体制を基本とし、更に以下の事項を考慮することで体制の充実を図る 夜間及び休日(平日の勤務時間帯以外)において、大規模な自然災害が発生した場合には、要員参集までに時間を要する可能性があるが、発電所構内に常時確保する重大事故等対応要員により、参集要員が参集するまでの当面の間は事故対応が行えるよう体制を整備 中央制御室(運転員を含む)が機能しない場合においても、重大事故等に対処する要員にて対応が可能な体制を整備 	教育及び訓練	<ul style="list-style-type: none"> 運転員、実施組織(運転員を除く)、支援組織に対して必要な教育及び訓練を計画的に実施 年1回の実施頻度では力量維持が困難と判断される教育及び訓練については、年2回以上に見直す 要員の各役割に応じた、重大事故等時のプラントの挙動に関する知識の向上を図るとともに、定期的に知識ベースの理解向上に資する教育の実施 悪条件(高線量下、夜間、悪天候(降雨、降雪、強風等)、照明機能低下等)を想定した要素訓練の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 重大事故等対策にて実施する教育及び訓練に以下の事項を加えることで教育及び訓練の充実を図る 大規模損壊時に対応する手順及び資機材の取扱い等を習得するための教育及び訓練を実施 運転員及び重大事故等対応要員が流動性を持って柔軟に対応できるよう教育及び訓練を計画的に実施 原子力防災管理者及び副原子力防災管理者に対し、通常の指揮命令系統が機能しない場合及び残存する資源等を最大限に活用しなければならない事態を想定した個別の教育及び訓練の実施 大規模損壊発生時に対応する組織とそれを支援する組織の実効性等を確認するための定期的な総合訓練を継続的に実施 	手順	<ul style="list-style-type: none"> 技術的能力1.1~1.19で整備した手順等により、炉心損傷防止、原子炉格納容器破損防止等に対応 	<ul style="list-style-type: none"> 技術的能力1.2~1.14で整備した手順に加え、大規模損壊への対応で整備した手順等により炉心損傷緩和、原子炉格納容器破損緩和等に対応 	本店対策本部体制	<ul style="list-style-type: none"> 発電所への本店の支援体制として本店対策本部の設置 	<ul style="list-style-type: none"> 大規模損壊発生時の本店の支援体制は、技術的能力1.0と同様 	<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>技術的能力1.0</th> <th>技術的能力2.1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>外部支援</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> プラントメーカー及び協力会社から重大事故発生後の現場操作対応等を実施する要員の派遣や事故収束に向けた対策立案等の技術支援や要員の派遣等について、必要な支援が受けられる体制を整備 原子力事業所災害対策支援拠点の整備 </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 技術的能力1.0での原子力災害発生時における外部支援体制と同様 技術的能力1.0と同様に、発電所において原子力災害対策特別措置法第10条特定事象が発生した場合に、原子力事業所災害対策支援拠点を整備 </td> </tr> <tr> <td>可搬型重大事故等対応設備の保管場所とアクセスルート</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 想定される14事象の自然現象及び7事象の人為事象のうち、保管場所とアクセスルートに大きな影響を及ぼす可能性があるものとして地震を考慮 </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 保管場所とアクセスルートに大きな影響を及ぼす可能性があるものとして、大規模な地震、大規模な津波及び故意による大型航空機の衝突を考慮 </td> </tr> <tr> <td>資機材の配備</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 事故発生後の7日間は、外部からの支援がなくても継続した事故対応が維持できるように必要数量を発電所内に確保 </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 配備する資機材については、大規模損壊発生時における活動を考慮しても対応要員数等から技術的能力1.0で整備する数量で対応可能 保管場所についても分散していることから技術的能力1.0での整備事項と同様 </td> </tr> </tbody> </table>	項目	技術的能力1.0	技術的能力2.1	外部支援	<ul style="list-style-type: none"> プラントメーカー及び協力会社から重大事故発生後の現場操作対応等を実施する要員の派遣や事故収束に向けた対策立案等の技術支援や要員の派遣等について、必要な支援が受けられる体制を整備 原子力事業所災害対策支援拠点の整備 	<ul style="list-style-type: none"> 技術的能力1.0での原子力災害発生時における外部支援体制と同様 技術的能力1.0と同様に、発電所において原子力災害対策特別措置法第10条特定事象が発生した場合に、原子力事業所災害対策支援拠点を整備 	可搬型重大事故等対応設備の保管場所とアクセスルート	<ul style="list-style-type: none"> 想定される14事象の自然現象及び7事象の人為事象のうち、保管場所とアクセスルートに大きな影響を及ぼす可能性があるものとして地震を考慮 	<ul style="list-style-type: none"> 保管場所とアクセスルートに大きな影響を及ぼす可能性があるものとして、大規模な地震、大規模な津波及び故意による大型航空機の衝突を考慮 	資機材の配備	<ul style="list-style-type: none"> 事故発生後の7日間は、外部からの支援がなくても継続した事故対応が維持できるように必要数量を発電所内に確保 	<ul style="list-style-type: none"> 配備する資機材については、大規模損壊発生時における活動を考慮しても対応要員数等から技術的能力1.0で整備する数量で対応可能 保管場所についても分散していることから技術的能力1.0での整備事項と同様 	<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>技術的能力1.0</th> <th>技術的能力2.1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>手順</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 技術的能力1.1から1.19への対応として整備した手順等により、炉心損傷防止、原子炉格納容器破損防止等に対応 </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 技術的能力2.1への対応として整備した手順及び技術的能力1.2から1.14について大規模損壊の発生を想定して整備した手順等により、炉心損傷緩和、原子炉格納容器破損緩和等に対応 </td> </tr> <tr> <td>支援組織</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 原子力防災体制の発令により、本店の原子力施設事態即応センターに発電所外部の支援組織として本店対策本部を設置し、原子力部門のみではなく他部門も含めた全社での体制にて原子力災害対策活動を実施 </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 大規模損壊発生時の本店の支援体制は、技術的能力1.0と同様 </td> </tr> <tr> <td>外部支援</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> プラントメーカー、協力会社、他の原子力事業者との支援計画の整備 原子力事業所災害対策支援拠点の整備 </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 大規模損壊発生時の発電所への外部支援体制は技術的能力1.0と同様 </td> </tr> <tr> <td>保管場所とアクセスルート</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 想定される14事象の自然現象及び7事象の人為事象のうち、保管場所とアクセスルートに大きな影響を及ぼす可能性があるものとして地震を考慮 </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 保管場所とアクセスルートに大きな影響を及ぼす可能性があるものとして、大規模な地震及び津波並びに故意による大型航空機の衝突を考慮 </td> </tr> <tr> <td>配備する資機材</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 事故発生後から7日間は、外部からの支援がなくても継続した事故対応が維持できるように必要数量を発電所内に確保 </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 配備する資機材については、大規模損壊発生時における活動を考慮しても対応要員数等から判断して、技術的能力1.0で整備する数量で対応可能 保管場所についても、分散していることから技術的能力1.0での整備事項と同様 </td> </tr> </tbody> </table>	項目	技術的能力1.0	技術的能力2.1	手順	<ul style="list-style-type: none"> 技術的能力1.1から1.19への対応として整備した手順等により、炉心損傷防止、原子炉格納容器破損防止等に対応 	<ul style="list-style-type: none"> 技術的能力2.1への対応として整備した手順及び技術的能力1.2から1.14について大規模損壊の発生を想定して整備した手順等により、炉心損傷緩和、原子炉格納容器破損緩和等に対応 	支援組織	<ul style="list-style-type: none"> 原子力防災体制の発令により、本店の原子力施設事態即応センターに発電所外部の支援組織として本店対策本部を設置し、原子力部門のみではなく他部門も含めた全社での体制にて原子力災害対策活動を実施 	<ul style="list-style-type: none"> 大規模損壊発生時の本店の支援体制は、技術的能力1.0と同様 	外部支援	<ul style="list-style-type: none"> プラントメーカー、協力会社、他の原子力事業者との支援計画の整備 原子力事業所災害対策支援拠点の整備 	<ul style="list-style-type: none"> 大規模損壊発生時の発電所への外部支援体制は技術的能力1.0と同様 	保管場所とアクセスルート	<ul style="list-style-type: none"> 想定される14事象の自然現象及び7事象の人為事象のうち、保管場所とアクセスルートに大きな影響を及ぼす可能性があるものとして地震を考慮 	<ul style="list-style-type: none"> 保管場所とアクセスルートに大きな影響を及ぼす可能性があるものとして、大規模な地震及び津波並びに故意による大型航空機の衝突を考慮 	配備する資機材	<ul style="list-style-type: none"> 事故発生後から7日間は、外部からの支援がなくても継続した事故対応が維持できるように必要数量を発電所内に確保 	<ul style="list-style-type: none"> 配備する資機材については、大規模損壊発生時における活動を考慮しても対応要員数等から判断して、技術的能力1.0で整備する数量で対応可能 保管場所についても、分散していることから技術的能力1.0での整備事項と同様 	
項目	技術的能力1.0	技術的能力2.1																																														
体制の整備 (要員の配置)	<ul style="list-style-type: none"> 重大事故等対策を実施する実施組織及びその支援組織の役割分担及び責任者を定め、効果的な重大事故等対策を実施し得る体制を整備 実施組織について、必要な役割の分担を行い重大事故等対策が円滑に実施できる体制を整備 発電所対策本部における指揮命令系統の明確化 	<ul style="list-style-type: none"> 重大事故等に対応するための体制を基本とし、更に以下の事項を考慮することで体制の充実を図る 夜間及び休日(平日の勤務時間帯以外)において、大規模な自然災害が発生した場合には、要員参集までに時間を要する可能性があるが、発電所構内に常時確保する重大事故等対応要員により、参集要員が参集するまでの当面の間は事故対応が行えるよう体制を整備 中央制御室(運転員を含む)が機能しない場合においても、重大事故等に対処する要員にて対応が可能な体制を整備 																																														
教育及び訓練	<ul style="list-style-type: none"> 運転員、実施組織(運転員を除く)、支援組織に対して必要な教育及び訓練を計画的に実施 年1回の実施頻度では力量維持が困難と判断される教育及び訓練については、年2回以上に見直す 要員の各役割に応じた、重大事故等時のプラントの挙動に関する知識の向上を図るとともに、定期的に知識ベースの理解向上に資する教育の実施 悪条件(高線量下、夜間、悪天候(降雨、降雪、強風等)、照明機能低下等)を想定した要素訓練の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 重大事故等対策にて実施する教育及び訓練に以下の事項を加えることで教育及び訓練の充実を図る 大規模損壊時に対応する手順及び資機材の取扱い等を習得するための教育及び訓練を実施 運転員及び重大事故等対応要員が流動性を持って柔軟に対応できるよう教育及び訓練を計画的に実施 原子力防災管理者及び副原子力防災管理者に対し、通常の指揮命令系統が機能しない場合及び残存する資源等を最大限に活用しなければならない事態を想定した個別の教育及び訓練の実施 大規模損壊発生時に対応する組織とそれを支援する組織の実効性等を確認するための定期的な総合訓練を継続的に実施 																																														
手順	<ul style="list-style-type: none"> 技術的能力1.1~1.19で整備した手順等により、炉心損傷防止、原子炉格納容器破損防止等に対応 	<ul style="list-style-type: none"> 技術的能力1.2~1.14で整備した手順に加え、大規模損壊への対応で整備した手順等により炉心損傷緩和、原子炉格納容器破損緩和等に対応 																																														
本店対策本部体制	<ul style="list-style-type: none"> 発電所への本店の支援体制として本店対策本部の設置 	<ul style="list-style-type: none"> 大規模損壊発生時の本店の支援体制は、技術的能力1.0と同様 																																														
項目	技術的能力1.0	技術的能力2.1																																														
外部支援	<ul style="list-style-type: none"> プラントメーカー及び協力会社から重大事故発生後の現場操作対応等を実施する要員の派遣や事故収束に向けた対策立案等の技術支援や要員の派遣等について、必要な支援が受けられる体制を整備 原子力事業所災害対策支援拠点の整備 	<ul style="list-style-type: none"> 技術的能力1.0での原子力災害発生時における外部支援体制と同様 技術的能力1.0と同様に、発電所において原子力災害対策特別措置法第10条特定事象が発生した場合に、原子力事業所災害対策支援拠点を整備 																																														
可搬型重大事故等対応設備の保管場所とアクセスルート	<ul style="list-style-type: none"> 想定される14事象の自然現象及び7事象の人為事象のうち、保管場所とアクセスルートに大きな影響を及ぼす可能性があるものとして地震を考慮 	<ul style="list-style-type: none"> 保管場所とアクセスルートに大きな影響を及ぼす可能性があるものとして、大規模な地震、大規模な津波及び故意による大型航空機の衝突を考慮 																																														
資機材の配備	<ul style="list-style-type: none"> 事故発生後の7日間は、外部からの支援がなくても継続した事故対応が維持できるように必要数量を発電所内に確保 	<ul style="list-style-type: none"> 配備する資機材については、大規模損壊発生時における活動を考慮しても対応要員数等から技術的能力1.0で整備する数量で対応可能 保管場所についても分散していることから技術的能力1.0での整備事項と同様 																																														
項目	技術的能力1.0	技術的能力2.1																																														
手順	<ul style="list-style-type: none"> 技術的能力1.1から1.19への対応として整備した手順等により、炉心損傷防止、原子炉格納容器破損防止等に対応 	<ul style="list-style-type: none"> 技術的能力2.1への対応として整備した手順及び技術的能力1.2から1.14について大規模損壊の発生を想定して整備した手順等により、炉心損傷緩和、原子炉格納容器破損緩和等に対応 																																														
支援組織	<ul style="list-style-type: none"> 原子力防災体制の発令により、本店の原子力施設事態即応センターに発電所外部の支援組織として本店対策本部を設置し、原子力部門のみではなく他部門も含めた全社での体制にて原子力災害対策活動を実施 	<ul style="list-style-type: none"> 大規模損壊発生時の本店の支援体制は、技術的能力1.0と同様 																																														
外部支援	<ul style="list-style-type: none"> プラントメーカー、協力会社、他の原子力事業者との支援計画の整備 原子力事業所災害対策支援拠点の整備 	<ul style="list-style-type: none"> 大規模損壊発生時の発電所への外部支援体制は技術的能力1.0と同様 																																														
保管場所とアクセスルート	<ul style="list-style-type: none"> 想定される14事象の自然現象及び7事象の人為事象のうち、保管場所とアクセスルートに大きな影響を及ぼす可能性があるものとして地震を考慮 	<ul style="list-style-type: none"> 保管場所とアクセスルートに大きな影響を及ぼす可能性があるものとして、大規模な地震及び津波並びに故意による大型航空機の衝突を考慮 																																														
配備する資機材	<ul style="list-style-type: none"> 事故発生後から7日間は、外部からの支援がなくても継続した事故対応が維持できるように必要数量を発電所内に確保 	<ul style="list-style-type: none"> 配備する資機材については、大規模損壊発生時における活動を考慮しても対応要員数等から判断して、技術的能力1.0で整備する数量で対応可能 保管場所についても、分散していることから技術的能力1.0での整備事項と同様 																																														

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

2.1 可搬型設備等による対応

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: right;">添付資料 2.1.14</p> <p>原子力災害と一般災害の複合災害発生時における対応の考え方について</p> <p>原子力災害と一般災害の複合災害発生時においては、両者を統合した原子力緊急時対策・非常災害対策統合本部を設置する。</p> <p>同本部を設置した場合は、同本部の本部長は原子力緊急時対策本部長とし、本部長は必要に応じて、原子力災害を除く対応の指揮を、指名するものに代行させることとしている。</p> <p>また、本部内の災害対策を行う各係は、原子力災害対応として必要となる電源施設の復旧、電源供給、ロジスティック関係等の支援を行う。</p>		<p style="text-align: right;">添付資料 2.1.16</p> <p>原子力災害と一般災害の複合災害発生時における対応の考え方について</p> <p>原子炉施設において大規模損壊等の原子力災害が発生した場合には、発電所に発電所長を本部長とする「発電所対策本部」及び発電所の支援を実施するための社長を本部長とする「本店対策本部」を本店に設置する。</p> <p>また、大規模地震等の自然災害が発生した場合には、発電所長を支部長とした「非常災害対策泊発電所支部」が発電所に、社長を本部長とした「非常災害対策本部」を本店に設置する。</p> <p>大規模損壊等の原子力災害と大規模な自然災害（一般災害）が同時に発生する複合災害発生時においては、発電所及び本店にてそれぞれ以下のとおり対応する。</p> <p>【発電所】 自然災害と大規模損壊等の原子力災害が重畳し、「非常災害対策泊発電所支部」及び「発電所対策本部」が並立するような場合には、非常災害対策泊発電所支部運営は発電所対策本部が実施する。</p> <p>夜間及び休日（平日の勤務時間帯以外）時において当該事象が発生した場合においては、発電所内に常駐する運転員、災害対策要員等にて初動対応を行い、自然災害に対しては、本部長の指揮下で、常駐する運転員、災害対策要員等及び所外から参集する参集要員が役割に応じて適確に対処する。</p> <p>【本店】 自然災害と大規模損壊等の原子力災害が重畳し、「非常災害対策本部」及び「本店対策本部」が並立するような場合には、両組織が密接に連携を図り災害対策（発電所支援を含む）を行う。</p> <p>社長は、本店対策本部の本部長として指揮し、また、非常災害対策本部についても社長が本部長として指揮するが、副社長が本部長代行となり、非常災害対策本部の責任者として指揮する。</p> <p>また、本部内の災害対策を行う各係は、原子力災害対応として必要となる電源施設の復旧、電源供給、ロジスティック等の支援業務を行う。</p>	<p>【女川】 記載内容の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・女川は同様の資料はない。 <p>■記載内容の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・泊は原子力災害と非常災害（一般災害）が複合災害発生時において、発電所と本店とで対応が異なるため、それぞれについて記載している。 <p>■運用の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・泊は、原子力災害と非常災害（一般災害）の複合災害発生時は、両組織は並立し、密接に連携を図りながら災害対策を行う。

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

2.1 可搬型設備等による対応

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>上記については以下の社内規定を定めている。</p> <p>1. 「災害」に対して、当社は次の体制を準備している。</p> <p>(1) 自然現象や甚大な供給支障に対応する「非常災害対策本部」(非常災害対策規程)</p> <p>(2) 原子力災害に対応する「原子力緊急時対策本部」(原子力防災規程)</p> <p>() 内の記載は社内規定を示す(以下、同様)。</p> <p>2. このうち自然災害を起因として原子力災害に至った場合は、以下の対応とする。</p> <p>(1) 非常災害対策本部を直ちに設置する(非常災害対策規程)</p> <p>(2) 警戒事象が発生したとき又は、原子力規制庁から警戒事態の発生について連絡を受けたとき及び、原子力災害(原子力災害が生ずる蓋然性を含む。)が発生し、通常の組織では対処することが困難な場合、原子力防災管理者は、原子力防災体制等を発令し、発電所対策本部を設置する。(原子力防災規程)</p>		<p>これらの体制及び対応については、以下のとおり社内規程に定めている。なお、()内に具体的な社内規程名称を示す。</p> <p>1. 発電所での「災害」発生に備えた次の体制を準備する。</p> <p>【発電所】</p> <p>(1) 発電所において発生した自然災害に対応する「非常災害対策泊発電所支部」(非常災害対策規程(非常事態対策組織泊発電所支部運営マニュアル))</p> <p>(2) 原子力災害に対応する「発電所対策本部」(泊発電所原子力災害対策要領)</p> <p>【本店】</p> <p>(3) 自然現象や甚大な供給支障に対応する「非常災害対策本部」(非常事態対策規程)</p> <p>(4) 原子力災害に対応する(発電所を支援する)「本店対策本部」(原子力部原子力災害対策マニュアル)</p> <p>「災害」発生に備えた発電所及び本店における体制として、図16-1に非常事態対策組織の体制、図16-2に原子力防災組織の体制をそれぞれ示す。</p> <p>2. 自然災害を起因として原子力災害に至った場合には以下の対応とする。</p> <p>(1) 自然災害が発生した場合には、直ちに非常災害対策本部及び非常災害対策泊発電所支部を設置する。(非常事態対策規程(非常事態対策組織泊発電所支部運営マニュアル))</p> <p>(2) 警戒事態が発生した場合又は原子力規制庁から警戒事態の発生について連絡を受けた場合及び原子力災害(原子力災害に至る蓋然性がある場合を含む)が発生し通常の組織では対処することが困難な場合、原子力防災管理者は、原子力防災準備体制又は原子力防災体制を発令し発電所対策本部を設置する。(泊発電所原子力災害対策要領)</p> <p>(3) (2)について発電所から報告を受けた場合、社長は、本店において原子力防災準備体制又は原子力防災体制を発令し本店対策本部(原子力防災準備体制発令時は、関係者の招集のみ)を設置する。(原子力部原子力災害対策マニュアル)</p>	<p>■記載表現の相違</p> <p>■記載内容の相違</p> <p>■記載表現の相違</p> <p>■記載表現の相違</p> <p>■記載表現の相違</p> <p>■記載表現の相違</p> <p>■記載表現の相違</p> <p>■記載表現の相違</p> <p>■記載表現の相違</p> <p>■記載表現の相違</p> <p>■記載内容の相違</p> <p>・泊は、発電所から報告を受けた場合の本店対策本部の設置について記載している。</p>

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

2.1 可搬型設備等による対応

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>(3) 「原子力緊急事態宣言」が発令された場合又は発令が予想される場合には、原子力防災規程による原子力緊急時対策本部と非常災害対策本部を統合した原子力緊急時対策・非常災害対策統合本部(以下、「統合本部」という。)を設置することができる。(非常災害対策規程)</p> <p>(4) 統合本部の本部長は、原子力防災規程に定める原子力緊急時対策本部長とする。(非常災害対策規程)</p> <p>3. 社長は、原子力緊急事態宣言が発出された場合、又はそのおそれがある場合は、原則※として、中之島から若狭へ移動し、原子力災害の指揮を執ることとしている。 ※：移動経路や移動手段が確保できない等、物理的に駆けつけられない場合等を考慮</p> <p>4. (統合本部の)本部長は必要に応じて、原子力災害を除く災害対応の指揮を、本部長が指名する者に代行させることができる。(非常災害対策規程) これは、前記3項の通り、社長が若狭へ移動する場合は、中之島の非常災害対策本部の指揮を副社長等が行うこととしている。</p>		<p>3. 本店において、「非常災害対策本部」と「本店対策本部」が並立するような場合には、両組織が密接に連携を図り災害対策(発電所支援を含む)を行う。(非常事態対策規程(非常事態対策組織本部運営マニュアル))</p> <p>4. 泊発電所において、「非常災害対策泊発電所支部」及び「発電所対策本部」が並立するような場合には、支部運営は発電所対策本部が実施する。(非常事態対策規程(非常事態対策組織泊発電所支部運営マニュアル))</p>	<p>■記載表現の相違</p> <p>■記載表現の相違</p> <p>■運用の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> 大阪は、本店対策本部を中之島と若狭に設置するが、原子力本部のある若狭において指揮を執ることを原則としている。 なお、当社の本店対策本部は1箇所(札幌)のみである。

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

2.1 可搬型設備等による対応

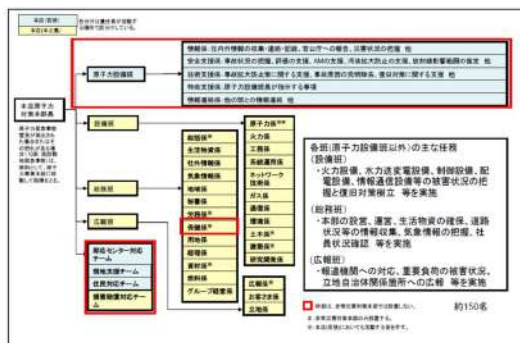
大飯発電所3/4号炉

女川原子力発電所2号炉

泊発電所3号炉

相違理由

5. 統合本部組織図の概要(本店原子力緊急時対策本部と同様)



統合本部の組織については、上図のとおりであり、各班・係が情報を共有し、相互に支援を行うことにより、災害の拡大防止、復旧等にあたることとしている。

例えば、原子力災害の直接的な対応は本店対策本部(若狭)に設置される原子力設備班が対応するが、他の各係は、対策用の電源確保のための送電システムの故障復旧や発電所開閉所などの故障復旧が必要な場合等は工務係が、また、不足する電力確保のための火力発電所の追加起動、需給調整は、火力係、系統運用係が対応するなど、全社大で原子力災害の対応にあたることになる。

なお、各係が行う上記の原子力災害のために必要な対応は、自部門の施設復旧、電力供給の回復を実施しつつ行うものであることから、各々が実施する措置を妨げるものではない。

以上

【原子力発電所支所構成】

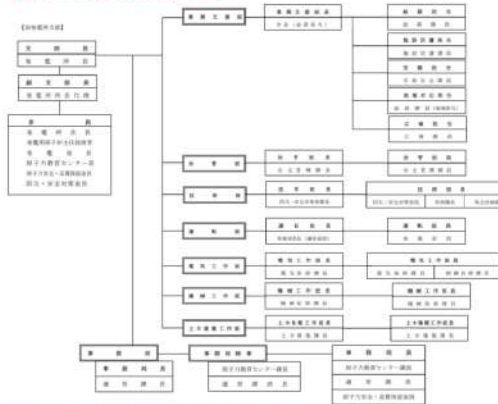


図 16-1 非常事態対策組織の体制(1/2)

■記載表現の相違

【本部構成(本店)】

本部長 北電HD社長	情報通信班(情報通信支援班 [※]) 班長 情報通信部長 情報通信技術班(情報通信技術支援班 [※]) 班長 情報通信技術部長
副本部長 北電NW社長 北電HD防災担当役員 (総務部担当)	業務班(業務支援班 [※]) 班長 業務部長 販売推進班(販売推進支援班 [※]) 班長 販売推進部長 工務班(工務支援班 [※]) 班長 工務部長 配電班(配電支援班 [※]) 班長 配電部長 火力班(火力支援班 [※]) 班長 火力部長 原子力班(原子力支援班 [※]) 班長 原子力部長 水力班 班長 水力部長 土木班 班長 土木部長
本部委員 北電HD副社長執行役員 北電HD常務執行役員 北電HD副社長・常務が 指名する者	人事労務班(後方支援班 [※]) 班長 人事労務部長 流通人事労務班(後方支援班 [※]) 班長 流通総務部長 広報班 班長 広報部長 総務班 班長 総務部長 立地班 班長 総務部立地班長 経理班 班長 経理部長 資材班 班長 資材部長 流通資材班 班長 流通総務部長 支店事務簡支援班 班長 流通総務部長 東京支社班 班長 東京支社長 東京事務所 班長 企画部東京事務所長 ※印は、支店支援班を示す。 なお、事象に応じて、上記以外の班を臨時に設置することができる。

本部事務局	第一総機関(森発電所・各水力センター) ※1
事務局長	北電HD総務部長
副本務局長	流通総務部長および工務部長(系統運用担当)
事務局幹事	事務局長が総務部および流通総務部から指名する者
事務局付(事務局運営担当) (対外対応担当)	北電HD総務部防災G Lまたは同G Lが指名する者 広瀬部広瀬企画G Lまたは同G Lが指名する者 ※2 被災設備対外対応担当G Lまたは同G Lが指名する者 ※2
(情報集約・支店 支援担当)	情報集約担当G Lまたは同G Lが指名する者 ※2 支店支援担当G Lまたは同G Lが指名する者 ※2 なお、各担当リーダーについては、「非常事態対策組織本部運営マニュアル」に定める。
事務局員	各部各グループから必要人数

※1 森発電所は火力班、水力センターは水力班の指揮下で対策活動を行う。
 ※2 当該G Lは、あらかじめ各部署内で調整し当該グループ員または他G Lの中から事務局付を指名することができる。

図 16-1 非常事態対策組織の体制(2/2)

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

2.1 可搬型設備等による対応

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																
		<p>【本店対策本部（1/2）】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>部門</th> <th>新</th> <th>旧</th> <th>泊3号炉対策本部 上層機関</th> <th>泊3号炉対策本部 実行機関</th> <th>対応率*</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">対策本部</td> <td rowspan="4">総務課</td> <td>1. 総務課長官</td> <td>1. 1</td> <td>1. 1</td> <td rowspan="4">2/5赤</td> </tr> <tr> <td>2. 総務課長官の補佐</td> <td>2. 1</td> <td>2. 1</td> </tr> <tr> <td>3. 総務課長官の補佐</td> <td>3. 1</td> <td>3. 1</td> </tr> <tr> <td>4. 総務課長官の補佐</td> <td>4. 1</td> <td>4. 1</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">対策本部</td> <td rowspan="4">総務課</td> <td>1. 総務課長官の補佐</td> <td>1. 1</td> <td>1. 1</td> <td rowspan="4">2/3赤</td> </tr> <tr> <td>2. 総務課長官の補佐</td> <td>2. 1</td> <td>2. 1</td> </tr> <tr> <td>3. 総務課長官の補佐</td> <td>3. 1</td> <td>3. 1</td> </tr> <tr> <td>4. 総務課長官の補佐</td> <td>4. 1</td> <td>4. 1</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">対策本部</td> <td rowspan="4">総務課</td> <td>1. 総務課長官の補佐</td> <td>1. 1</td> <td>1. 1</td> <td rowspan="4">3/3赤**</td> </tr> <tr> <td>2. 総務課長官の補佐</td> <td>2. 1</td> <td>2. 1</td> </tr> <tr> <td>3. 総務課長官の補佐</td> <td>3. 1</td> <td>3. 1</td> </tr> <tr> <td>4. 総務課長官の補佐</td> <td>4. 1</td> <td>4. 1</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">対策本部</td> <td rowspan="4">総務課</td> <td>1. 総務課長官の補佐</td> <td>1. 1</td> <td>1. 1</td> <td rowspan="4">4/6赤</td> </tr> <tr> <td>2. 総務課長官の補佐</td> <td>2. 1</td> <td>2. 1</td> </tr> <tr> <td>3. 総務課長官の補佐</td> <td>3. 1</td> <td>3. 1</td> </tr> <tr> <td>4. 総務課長官の補佐</td> <td>4. 1</td> <td>4. 1</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">対策本部</td> <td rowspan="4">総務課</td> <td>1. 総務課長官の補佐</td> <td>1. 1</td> <td>1. 1</td> <td rowspan="4">3/6赤</td> </tr> <tr> <td>2. 総務課長官の補佐</td> <td>2. 1</td> <td>2. 1</td> </tr> <tr> <td>3. 総務課長官の補佐</td> <td>3. 1</td> <td>3. 1</td> </tr> <tr> <td>4. 総務課長官の補佐</td> <td>4. 1</td> <td>4. 1</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">対策本部</td> <td rowspan="4">総務課</td> <td>1. 総務課長官の補佐</td> <td>1. 1</td> <td>1. 1</td> <td rowspan="4">3/6赤</td> </tr> <tr> <td>2. 総務課長官の補佐</td> <td>2. 1</td> <td>2. 1</td> </tr> <tr> <td>3. 総務課長官の補佐</td> <td>3. 1</td> <td>3. 1</td> </tr> <tr> <td>4. 総務課長官の補佐</td> <td>4. 1</td> <td>4. 1</td> </tr> </tbody> </table>	部門	新	旧	泊3号炉対策本部 上層機関	泊3号炉対策本部 実行機関	対応率*	対策本部	総務課	1. 総務課長官	1. 1	1. 1	2/5赤	2. 総務課長官の補佐	2. 1	2. 1	3. 総務課長官の補佐	3. 1	3. 1	4. 総務課長官の補佐	4. 1	4. 1	対策本部	総務課	1. 総務課長官の補佐	1. 1	1. 1	2/3赤	2. 総務課長官の補佐	2. 1	2. 1	3. 総務課長官の補佐	3. 1	3. 1	4. 総務課長官の補佐	4. 1	4. 1	対策本部	総務課	1. 総務課長官の補佐	1. 1	1. 1	3/3赤**	2. 総務課長官の補佐	2. 1	2. 1	3. 総務課長官の補佐	3. 1	3. 1	4. 総務課長官の補佐	4. 1	4. 1	対策本部	総務課	1. 総務課長官の補佐	1. 1	1. 1	4/6赤	2. 総務課長官の補佐	2. 1	2. 1	3. 総務課長官の補佐	3. 1	3. 1	4. 総務課長官の補佐	4. 1	4. 1	対策本部	総務課	1. 総務課長官の補佐	1. 1	1. 1	3/6赤	2. 総務課長官の補佐	2. 1	2. 1	3. 総務課長官の補佐	3. 1	3. 1	4. 総務課長官の補佐	4. 1	4. 1	対策本部	総務課	1. 総務課長官の補佐	1. 1	1. 1	3/6赤	2. 総務課長官の補佐	2. 1	2. 1	3. 総務課長官の補佐	3. 1	3. 1	4. 総務課長官の補佐	4. 1	4. 1	
部門	新	旧	泊3号炉対策本部 上層機関	泊3号炉対策本部 実行機関	対応率*																																																																																														
対策本部	総務課	1. 総務課長官	1. 1	1. 1	2/5赤																																																																																														
		2. 総務課長官の補佐	2. 1	2. 1																																																																																															
		3. 総務課長官の補佐	3. 1	3. 1																																																																																															
		4. 総務課長官の補佐	4. 1	4. 1																																																																																															
対策本部	総務課	1. 総務課長官の補佐	1. 1	1. 1	2/3赤																																																																																														
		2. 総務課長官の補佐	2. 1	2. 1																																																																																															
		3. 総務課長官の補佐	3. 1	3. 1																																																																																															
		4. 総務課長官の補佐	4. 1	4. 1																																																																																															
対策本部	総務課	1. 総務課長官の補佐	1. 1	1. 1	3/3赤**																																																																																														
		2. 総務課長官の補佐	2. 1	2. 1																																																																																															
		3. 総務課長官の補佐	3. 1	3. 1																																																																																															
		4. 総務課長官の補佐	4. 1	4. 1																																																																																															
対策本部	総務課	1. 総務課長官の補佐	1. 1	1. 1	4/6赤																																																																																														
		2. 総務課長官の補佐	2. 1	2. 1																																																																																															
		3. 総務課長官の補佐	3. 1	3. 1																																																																																															
		4. 総務課長官の補佐	4. 1	4. 1																																																																																															
対策本部	総務課	1. 総務課長官の補佐	1. 1	1. 1	3/6赤																																																																																														
		2. 総務課長官の補佐	2. 1	2. 1																																																																																															
		3. 総務課長官の補佐	3. 1	3. 1																																																																																															
		4. 総務課長官の補佐	4. 1	4. 1																																																																																															
対策本部	総務課	1. 総務課長官の補佐	1. 1	1. 1	3/6赤																																																																																														
		2. 総務課長官の補佐	2. 1	2. 1																																																																																															
		3. 総務課長官の補佐	3. 1	3. 1																																																																																															
		4. 総務課長官の補佐	4. 1	4. 1																																																																																															
		<p>【本店対策本部（2/2）】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>部門</th> <th>新</th> <th>旧</th> <th>泊3号炉対策本部 上層機関</th> <th>泊3号炉対策本部 実行機関</th> <th>対応率*</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">対策本部</td> <td rowspan="4">総務課</td> <td>1. 総務課長官</td> <td>1. 1</td> <td>1. 1</td> <td rowspan="4">1/0赤</td> </tr> <tr> <td>2. 総務課長官の補佐</td> <td>2. 1</td> <td>2. 1</td> </tr> <tr> <td>3. 総務課長官の補佐</td> <td>3. 1</td> <td>3. 1</td> </tr> <tr> <td>4. 総務課長官の補佐</td> <td>4. 1</td> <td>4. 1</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">対策本部</td> <td rowspan="4">総務課</td> <td>1. 総務課長官の補佐</td> <td>1. 1</td> <td>1. 1</td> <td rowspan="4">4/6赤</td> </tr> <tr> <td>2. 総務課長官の補佐</td> <td>2. 1</td> <td>2. 1</td> </tr> <tr> <td>3. 総務課長官の補佐</td> <td>3. 1</td> <td>3. 1</td> </tr> <tr> <td>4. 総務課長官の補佐</td> <td>4. 1</td> <td>4. 1</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">対策本部</td> <td rowspan="4">総務課</td> <td>1. 総務課長官の補佐</td> <td>1. 1</td> <td>1. 1</td> <td rowspan="4">3/6赤</td> </tr> <tr> <td>2. 総務課長官の補佐</td> <td>2. 1</td> <td>2. 1</td> </tr> <tr> <td>3. 総務課長官の補佐</td> <td>3. 1</td> <td>3. 1</td> </tr> <tr> <td>4. 総務課長官の補佐</td> <td>4. 1</td> <td>4. 1</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">対策本部</td> <td rowspan="4">総務課</td> <td>1. 総務課長官の補佐</td> <td>1. 1</td> <td>1. 1</td> <td rowspan="4">3/6赤</td> </tr> <tr> <td>2. 総務課長官の補佐</td> <td>2. 1</td> <td>2. 1</td> </tr> <tr> <td>3. 総務課長官の補佐</td> <td>3. 1</td> <td>3. 1</td> </tr> <tr> <td>4. 総務課長官の補佐</td> <td>4. 1</td> <td>4. 1</td> </tr> </tbody> </table>	部門	新	旧	泊3号炉対策本部 上層機関	泊3号炉対策本部 実行機関	対応率*	対策本部	総務課	1. 総務課長官	1. 1	1. 1	1/0赤	2. 総務課長官の補佐	2. 1	2. 1	3. 総務課長官の補佐	3. 1	3. 1	4. 総務課長官の補佐	4. 1	4. 1	対策本部	総務課	1. 総務課長官の補佐	1. 1	1. 1	4/6赤	2. 総務課長官の補佐	2. 1	2. 1	3. 総務課長官の補佐	3. 1	3. 1	4. 総務課長官の補佐	4. 1	4. 1	対策本部	総務課	1. 総務課長官の補佐	1. 1	1. 1	3/6赤	2. 総務課長官の補佐	2. 1	2. 1	3. 総務課長官の補佐	3. 1	3. 1	4. 総務課長官の補佐	4. 1	4. 1	対策本部	総務課	1. 総務課長官の補佐	1. 1	1. 1	3/6赤	2. 総務課長官の補佐	2. 1	2. 1	3. 総務課長官の補佐	3. 1	3. 1	4. 総務課長官の補佐	4. 1	4. 1																															
部門	新	旧	泊3号炉対策本部 上層機関	泊3号炉対策本部 実行機関	対応率*																																																																																														
対策本部	総務課	1. 総務課長官	1. 1	1. 1	1/0赤																																																																																														
		2. 総務課長官の補佐	2. 1	2. 1																																																																																															
		3. 総務課長官の補佐	3. 1	3. 1																																																																																															
		4. 総務課長官の補佐	4. 1	4. 1																																																																																															
対策本部	総務課	1. 総務課長官の補佐	1. 1	1. 1	4/6赤																																																																																														
		2. 総務課長官の補佐	2. 1	2. 1																																																																																															
		3. 総務課長官の補佐	3. 1	3. 1																																																																																															
		4. 総務課長官の補佐	4. 1	4. 1																																																																																															
対策本部	総務課	1. 総務課長官の補佐	1. 1	1. 1	3/6赤																																																																																														
		2. 総務課長官の補佐	2. 1	2. 1																																																																																															
		3. 総務課長官の補佐	3. 1	3. 1																																																																																															
		4. 総務課長官の補佐	4. 1	4. 1																																																																																															
対策本部	総務課	1. 総務課長官の補佐	1. 1	1. 1	3/6赤																																																																																														
		2. 総務課長官の補佐	2. 1	2. 1																																																																																															
		3. 総務課長官の補佐	3. 1	3. 1																																																																																															
		4. 総務課長官の補佐	4. 1	4. 1																																																																																															

図 16-2 原子力防災組織の体制（3/4）

図 16-2 原子力防災組織の体制（4/4）

比較対象プラント選定の詳細（技術的能力）

【2.1：大規模損壊】

項目		内容
基準適合に係る設計を 反映するために 比較するプラント	プラント名	大飯3 / 4号炉
	具体的理由	当該条文は、大規模損壊の発生時における当該事故に対処するために必要な手順書、体制及び資機材の整備に係る原子炉施設に共通の要求に係る条文であるが、大規模損壊対応に係る手順書体系や大規模損壊発生時の初動対応フローの構成等の運用に係る泊3号炉の考え方（基準への適合方針）は、大飯3 / 4号炉との類似性を有している。また、技術的能力審査基準1.2から1.14の各項目について、大規模な自然災害及び故意による大型航空機の衝突その他テロリズムを想定した手順等を整備する方針を示すにあたっては、蒸気発生器2次側による炉心冷却や格納容器再循環ユニットによる格納容器内自然対流冷却のようなPWR固有のプラント設計に基づいて整備する手順等が含まれることから、PWRプラントとしての基準への適合性を網羅的に比較する観点から大飯3 / 4号炉を選定する。
先行審査知見を 反映するために 比較するプラント	プラント名	女川2号炉
	反映すべき知見を得るための主な方法	① 比較表による比較：比較表に掲載し、先行審査知見（基準適合上で考慮すべき事項、記載内容の充実を図るべき点）の比較・整理を行い、記載内容の充足性を確認した。（文言単位の比較は行わない） ② 資料構成の比較*：当該条文のまとめ資料の構成について比較・整理を行い、その結果、基準適合性の網羅的な説明に必要な資料が揃っていることを確認した。
	(当該方法の選定理由)	① 当該条文は、原子炉施設に共通の要求に係る条文であり、文章構成も類似の部分があることから、比較表形式での比較により先行審査知見の確認が可能のため。 ② 資料の文章構成が異なる場合であっても、資料構成の比較・整理により基準適合の説明のために必要な資料の充足性を確認することが可能のため。

※ 女川2号炉との資料構成の比較に加え、PWRの先行審査実績の取り込みの総括として、大飯3 / 4号炉のまとめ資料の作成状況（資料構成と内容）を条文・審査項目毎に確認し、基準適合性の網羅的な説明に必要な資料が揃っていることを確認する。

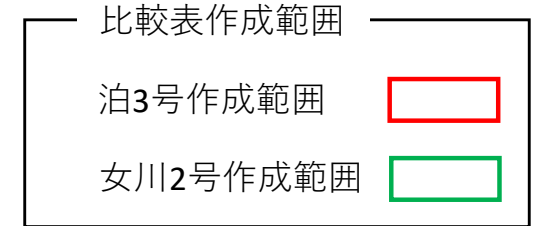
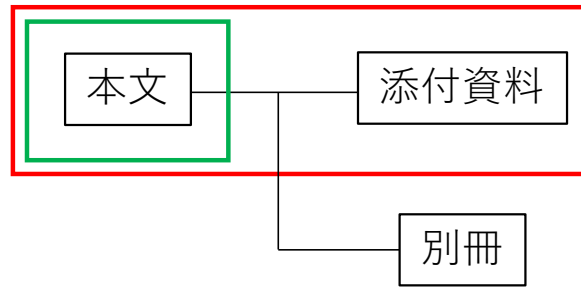
【凡例】 ○：記載あり
 ×：記載なし
 (○)：本文の資料の他箇所に記載
 △：他条文の資料などに記載

2.1 可搬型設備等による対応

プラント		泊3号炉 作成状況		まとめ資料の作成を不要とした理由	まとめ資料または比較表を新たに作成することとした理由 もしくは 記載の充実を図ることとした理由	比較表を作成していない理由
女川	泊	まとめ資料	比較表			
本文	本文	○	○			
添付資料	添付資料					
添付資料2.1.1 大規模損壊を発生させる可能性のある大規模な自然現象の抽出プロセスについて	添付資料2.1.1 大規模損壊を発生させる可能性のある大規模な自然災害の抽出プロセスについて	○	×→○			
添付資料2.1.2 竜巻事象に対する事故シナリオ抽出	補足(1) 竜巻事象に対する事故シナリオ抽出	(○)→○	×→○		大規模損壊を発生させる可能性のある自然災害の選定プロセスにおいて、大規模な自然災害による原子炉施設への影響（設備等の損傷・機能喪失モード）の網羅的な抽出及びその影響に伴う起因事象・事故シナリオの特定に係る検討内容について記載の充実を図るため、新たに資料を作成することとした。	
添付資料2.1.3 凍結事象に対する事故シナリオ抽出	補足(2) 凍結事象に対する事故シナリオ抽出	(○)→○	×→○			
添付資料2.1.4 積雪事象に対する事故シナリオ抽出	補足(3) 積雪事象に対する事故シナリオ抽出	(○)→○	×→○			
添付資料2.1.5 落雷事象に対する事故シナリオ抽出	補足(4) 落雷事象に対する事故シナリオ抽出	(○)→○	×→○			
添付資料2.1.6 火山の影響に対する事故シナリオ抽出	補足(5) 火山の影響に対する事故シナリオ抽出	(○)→○	×→○			
添付資料2.1.7 森林火災事象に対する事故シナリオ抽出	補足(6) 森林火災事象に対する事故シナリオ抽出	(○)→○	×→○			
添付資料2.1.8 自然現象の重畳に対する事故シナリオ抽出	補足(7) 自然現象の重畳に対する事故シナリオ抽出	(○)→○	×→○			
添付資料2.1.9 PRAで選定しなかった事故シナリオ等への対応について	添付資料2.1.2 PRAの結果に基づく事故シナリオグループの選定にて抽出しなかった事故シナリオ等への対応について	○	×→○			
添付資料2.1.10 大規模損壊発生時の対応	添付資料2.1.3 大規模損壊発生時の対応	○	×→○			(基準適合性を確認するために必要な評価方針は、本文に記載されており比較表を作成し考察しているため、比較表を作成していなかったが、先行の審査実績を網羅的に確認するため、作成することとした)
添付資料2.1.11 個別戦略フローにおける対応手順書等及び設備一覧について	添付資料2.1.4 大規模損壊発生時に使用する対応手順書及び設備一覧	○	×→○			
添付資料2.1.12 使用済燃料プール大規模漏えい時の対応について	添付資料2.1.5 大規模損壊発生時における格納容器水素イグナイタの起動判断について	○	×→○			
添付資料2.1.13 放水砲の設置位置及び使用方法等について	添付資料2.1.6 使用済燃料ピットからの大規模な漏えい発生時の対応について	○	×→○			
添付資料2.1.14 外部事象に対する対応操作の適合性について	添付資料2.1.8 大規模損壊発生時において中央制御室の監視及び制御機能の一部に期待できる場合の対応について	○	×→○			
添付資料2.1.15 米国ガイド(NEI-06-12及びNEI-12-06)で参考とした事項について	添付資料2.1.9 外部事象に対する設備の防護判断と対応操作の適用性について	○	×→○			
添付資料2.1.16 大規模損壊発生時に必要な可搬型重大事故等対処設備等の配備及び防護の状況について	添付資料2.1.10 米国ガイド(NEI-06-12及びNEI-12-06)で参考とした事項について	○	×→○			
添付資料2.1.17 重大事故等と大規模損壊対応に係る体制整備等の考え方	添付資料2.1.11 大規模損壊発生時に必要な可搬型重大事故等対処設備等の配備及び防護の状況について	○	×→○			
添付資料2.1.18 大規模損壊の発生に備えて配備する資機材について	添付資料2.1.12 大規模損壊発生時における体制の整備等の考え方について	○	×→○			
添付資料2.1.19 設計基準対象施設に係る要求事項に対する大規模損壊での対応状況	添付資料2.1.13 大規模損壊の発生に備えて配備する資機材について	○	×→○			
添付資料2.1.20 大規模損壊発生時における放射線防護に係る対応について	添付資料2.1.14 設計基準対象施設に係る要求事項に対する大規模損壊での対応状況	○	×→○			
	添付資料2.1.15 大規模損壊発生時における放射線防護に係る対応について	○	×→○			
	添付資料2.1.16 原子力災害と一般災害の複合災害発生時における対応の考え方について	○	×→○			

泊3号炉 比較表の作成範囲

技術的能力2.1



※ () 書きは泊と女川で資料名が異なる場合の女川の資料名称
破線の四角は泊になく、女川にしかない資料

資料構成	資料概要	比較表を作成していない理由
本文	設置変更許可申請書本文及び添付書類十に記載する内容を記載した資料	各社非公開資料としているため比較表を作成していない。
添付資料	評価方針に基づき実施した評価結果等を取りまとめた資料	
別冊	対策、大規模な自然災害の想定、テロの想定脅威の具体的な内容を示した資料（非公開資料）	